

316-158

米 果

44

漢

文
大
集

44. 4. 14
丙寅

史記列傳上

解題

史記ハ漢司馬遷撰遷ノ父談太史公ト爲リ嘗テ史ヲ修スルノ志アリ未ダ成ラズ將ニ卒セントス遷ニ託スルニ其事ヲ以テス遷又太史公ト爲ル先人次スル所ノ舊聞ヲ論ズ李陵ノ禍ニ遭フニ及ビ憤ヲ發シ遂ニ此書ヲ著ス黃帝ヨリ始メ漢武帝ニ至ル凡十ニ本紀十表八書三十世家七十列傳共ニ一百三十卷ト爲ス其中漢景帝紀武帝紀禮書樂書兵書漢興以來將相年表日者列傳三王世家龜策列傳斬列傳ノ十篇未ダ成ラズ錄アルノミ後ニ褚少孫之ヲ補フ少孫ハ張守節正義ニ據ルニ潁川ノ人漢元帝成帝間ノ博士ト爲ス又褚顛家傳ヲ引キ以テ梁相褚大弟ノ孫ニシテ宣帝ノ時博士ト爲リ沛ニ寓居シ大儒王式ニ事フ故ニ先生ト號スト爲ス二說同ジカラズ然ルニ宣帝ノ末成帝ノ初ヲ距ル十七八年ニ過ギズ其相去ル亦未ダ遠カラザルナリ篇中間又後人ノ増入スル所アリ則散佚スル所アルノミニ非ズ且兼テ竄易スル所アリ然ルニ其全書ハ則仍舊ノ原本ナリ遷ノ事蹟ハ卷末ノ太史公自序及ビ漢書本傳ニ詳ナリ

其注解ハ史記集解百三十卷劉宋裴駟撰駟字ハ龍駒河東聞喜ノ人裴徐廣音義粗發明アルモ殊ニ省略ヲ恨ムヲ以テ九經諸史并ニ漢書音義及ビ衆書ノ目ヲ採リ別ニ此書

ヲ撰ス其引證スル所先儒ノ舊說多ク核據頗浩博ナリ史記索隱三十卷唐司馬貞撰貞ハ河内ノ人開元中官朝散大夫宏文館學士タリ貞初メ史記ヲ崇文館學士張嘉會ニ受ク褚少孫補書多ク踏駁ニ傷スルヲ病シ又裴綱集解舊ト音義アリ年遠クシテ散佚シ諸家音義ノ書亦傳ヲ失フヲ以テ乃チ裴綱集解ニ因テ撰シテ此書ヲ爲ル史記正義百三十卷唐張守節撰守節始末未ダ詳ナラズ其原書自序ニ據ルニ三十卷ト爲ス晁公武陳振孫二家ノ錄スル所二十卷ニ作ル蓋其字ヲ標シ注ヲ別スル亦必ズ索隱ノ如シ以上三書原本各單行ス明代ニ至リ國子監本ヲ刊スル時三書ヲ句下ニ散入シ更ニ刪節スル所多シ今據ル所ノ評林ハ明萬曆間吳興凌雅隆輯校シ溫陵李光緒增補ス其體裁蓋仍監本ニ據ルナリ。

今校正ニ方リ引用スル所ノ書ハ清方苞ノ史記注補正王鳴盛ノ十七史商榷錢大昕ノ二十二史劄異趙翼ノ二十二史劄記及ビ同治中校刊スル所ノ張文虎ノ史記札記等ナリ。

明治四十三年九月

文學博士 重野安釋識

史記年表例言

一司馬遷十表ヲ著ス曰三代世表黃帝ヨリ以來周共和ニ訖ル曰十二諸侯年表共和ヨリ孔子ノ時ニ訖ル即春秋ノ世ナリ曰六國年表春秋ノ後ヲ踵ギ周元王ニ起リ六國ノ時事ヲ表シ秦二世ニ訖ル曰秦楚之際月表二世元年陳勝劉項兵ヲ起スニ始リ漢五年ニ訖ル曰漢興以來諸侯年表曰高祖功臣侯者年表曰惠景間侯者年表曰建元以來侯者年表曰建元以來王子侯者年表曰漢興以來將相名臣年表而シテ第十將相名臣年表ハ本缺ク漢褚少孫之ヲ補フ。

一司馬遷ノ表頗詳悉ナレドモ錯雜シテ遠ニ解シ難キモノアリ亦閒誤謬ナキニ非ズ今資治通鑑綱目金履祥通鑑前編及舉要清通鑑輯覽等ノ書ヲ參考シテ此表ヲ作り其大略ヲ知ラシム。

一周厲王三十年以前ハ記載稀疎ナルヲ以テ唯其事アルノ年ヲ載セ以後ハ年ヲ逐々テ之ヲ記シ以テ漢武帝天漢四年司馬遷史記ヲ作ルニ訖ル。

本表編纂ニ付テハ、病軀殆ド執筆ニ堪ヘズ、河田熊氏ノ助力ニ成ルモノ太多シ、附記シテ以テ謝意ヲ表ス。

明治四十三年十一月

成 齋 識

史記年表

紀元	西曆	年次	事	蹟					
三〇	漢	平	陳二都ス、始テ八卦ヲ畫ス、民ニ佃漁畜牧ヲ教フ、 龍ヲ以テ官ニ起ス、書契ヲ作ル、麻粟ヲ制ス、琴瑟ヲ作ル。	三〇載 戊辰	三〇載 戊辰	太昊伏羲氏	龍ヲ以テ官ニ起ス、書契ヲ作ル、麻粟ヲ制ス、琴瑟ヲ作ル。	三〇載 戊辰	太昊伏羲氏
二九	漢	支	蚩黃ヲ作ル、共工氏亂ヲ作シ、颯戩ト戰ヒ、勝タズ。	二九載 卯乙	二九載 卯乙	女媧氏	蚩黃ヲ作ル、共工氏亂ヲ作シ、颯戩ト戰ヒ、勝タズ。	二九載 卯乙	女媧氏
二八	漢	平	陳二都シ、曲阜ニ遷ル、火ヲ以テ官ニ起ス、初テ耒耨ヲ作リ、五穀ヲ藝リ、始テ醫藥ヲ制ス、市易ヲ爲ス。	二八載 辰甲	二八載 辰甲	炎帝神農氏	陳二都シ、曲阜ニ遷ル、火ヲ以テ官ニ起ス、初テ耒耨ヲ作リ、五穀ヲ藝リ、始テ醫藥ヲ制ス、市易ヲ爲ス。	二八載 辰甲	炎帝神農氏
二七	漢	支	炎帝ト戰ヒ之ニ代ル、蚩尤ヲ逐ヒテ、雲ヲ以テ官ニ起ス、風后等ヲ舉テ民ヲ治メシム、天下ヲ行リ、宿務ヲ益山ニ合ス。	二七載 辰甲	二七載 辰甲	黃帝軒轅氏	炎帝ト戰ヒ之ニ代ル、蚩尤ヲ逐ヒテ、雲ヲ以テ官ニ起ス、風后等ヲ舉テ民ヲ治メシム、天下ヲ行リ、宿務ヲ益山ニ合ス。	二七載 辰甲	黃帝軒轅氏
二六	漢	平	材ヲ養ヒ地ニ任ジ、時ヲ行ヒ天ニ象ル。	二六載 辰甲	二六載 辰甲	帝顓頊高辛氏	材ヲ養ヒ地ニ任ジ、時ヲ行ヒ天ニ象ル。	二六載 辰甲	帝顓頊高辛氏
二五	漢	支	羲和ニ命テ曆象ヲ治ム。	二五載 辰甲	二五載 辰甲	帝堯陶唐氏	羲和ニ命テ曆象ヲ治ム。	二五載 辰甲	帝堯陶唐氏
二四	漢	平	問法ヲ置ク。	二四載 辰甲	二四載 辰甲	二載 巳乙	問法ヲ置ク。	二四載 辰甲	二載 巳乙
二三	漢	支	虞舜孝ヲ以テ聞ユ。	二三載 辰甲	二三載 辰甲	六〇載 卯癸	虞舜孝ヲ以テ聞ユ。	二三載 辰甲	六〇載 卯癸
二二	漢	平	洪水アリ、縣ニ命ジ之ヲ治メシム。	二二載 辰甲	二二載 辰甲	六一載 辰甲	洪水アリ、縣ニ命ジ之ヲ治メシム。	二二載 辰甲	六一載 辰甲
二一	漢	支	舜ヲ舉テ登庸ス、舜八元ノ體ヲ學ゲ、五典ヲ和ゲ、百揆ヲ敘ス、四凶ノ族ヲ流ス。	二一載 辰丙	二一載 辰丙	帝舜有虞氏	舜ヲ舉テ登庸ス、舜八元ノ體ヲ學ゲ、五典ヲ和ゲ、百揆ヲ敘ス、四凶ノ族ヲ流ス。	二一載 辰丙	帝舜有虞氏
二〇	漢	平	舜ニ命ジ位ヲ攝ス、縣ヲ羽山ニ遷シ、驩兜ヲ崇山ニ放リ、禹ニ命ジ水ヲ治メシム。	二〇載 辰丙	二〇載 辰丙	七三載 卯乙	舜ニ命ジ位ヲ攝ス、縣ヲ羽山ニ遷シ、驩兜ヲ崇山ニ放リ、禹ニ命ジ水ヲ治メシム。	二〇載 辰丙	七三載 卯乙
一九	漢	支	舜終テ文祖ニ受ク、七政ヲ齊ヘ、董祀ヲ舉ゲ、董后ヲ觀ス。	一九載 辰丙	一九載 辰丙	七四載 辰丙	舜終テ文祖ニ受ク、七政ヲ齊ヘ、董祀ヲ舉ゲ、董后ヲ觀ス。	一九載 辰丙	七四載 辰丙
一八	漢	平	巡守ス、共工ヲ幽州ニ流ス。	一八載 辰丙	一八載 辰丙	七六載 未己	巡守ス、共工ヲ幽州ニ流ス。	一八載 辰丙	七六載 未己
一七	漢	支	禹水ヲ治メ功ヲ成ス。	一七載 辰丙	一七載 辰丙	八〇載 亥癸	禹水ヲ治メ功ヲ成ス。	一七載 辰丙	八〇載 亥癸
一六	漢	平	禹ニ命ジ位ヲ攝ス、十二州ヲ分ク。	一六載 辰丙	一六載 辰丙	八一載 子甲	禹ニ命ジ位ヲ攝ス、十二州ヲ分ク。	一六載 辰丙	八一載 子甲
一五	漢	支	帝堯崩ス。	一五載 辰丙	一五載 辰丙	一〇〇載 未癸	帝堯崩ス。	一五載 辰丙	一〇〇載 未癸
一四	漢	平	舜魏ク終テ服ス、三年始テ位ニ即ク、十二牧ニ會リ、九百ヲ命テ、曉ノ子朱ヲ丹ニ封ス。	一四載 辰丙	一四載 辰丙	一〇載 辰丙	舜魏ク終テ服ス、三年始テ位ニ即ク、十二牧ニ會リ、九百ヲ命テ、曉ノ子朱ヲ丹ニ封ス。	一四載 辰丙	一〇載 辰丙
一三	漢	支	禹ニ命ジ位ヲ攝ス。	一三載 辰丙	一三載 辰丙	三二載 巳丁	禹ニ命ジ位ヲ攝ス。	一三載 辰丙	三二載 巳丁

史記年表

四八載	西癸	帝南巡シ若稽ニ崩ス。	帝少康、子子立ツ。
一八載	子丙	禹位ニ即ク、國ヲ夏ト號ス。	帝崩ズ、子槐立ツ。
二載	丑丁	皋陶ヲ賜ケ將ニ政ヲ授ケントス、而テ皋陶卒ス、其後ヲ禹六ニ封ズ、益ヲ魯ヲ相ト爲ス。	帝崩ズ、子芒立ツ。
八載	未癸	禹會稽ニ崩ズ。	帝崩ズ、子泄立ツ。
一載	申甲	諸侯禹ノ子啓ヲ奉シテ位ニ即ク。	帝崩ズ、子不降立ツ。
三載	戌丙	有扈氏ヲ伐テ之ヲ滅ス。	帝崩ズ、弟胤立ツ。
九載	辰壬	平崩ズ、子太康立ツ。	帝崩ズ、子履立ツ。
帝太康	辰壬	帝國ヲ失フ、兄弟五人散ラセテ作ル。	帝胤、不降ノ子孔甲立ツ。
一九載	亥辛	帝崩ズ、弟中康立ツ。	帝胤ヲ以テ御龍氏ト爲ス。
帝中康	酉辛	帝崩ズ、弟中康立ツ。	帝胤ヲ以テ御龍氏ト爲ス。
一載	戌壬	胤侯ニ命ジ六師ヲ掌ラシム。	帝胤、子胤立ツ。
二載	亥癸	胤侯ニ命ジ義和ヲ征ス。	帝胤ズ、子胤立ツ。
一三載	戌甲	帝崩ズ、子相立ツ。	帝胤ズ、子胤立ツ、是ヲ桀ト爲ス。
帝相	戌甲	帝崩ズ、子少康立ツ。	公劉幽ニ遷ル、周道此ヨリ興ル。
二八載	寅壬	帝崩ズ、子少康立ツ。	

三五載	丑丁	商湯ヲ桀ニ討テ、桀ニシテ之ヲ釋ス。	帝小甲、弟盤己立ツ。
三六載	寅戊	商湯萬ヲ征ス。	帝盤己、弟太康立ツ。
三七載	卯己	商湯伊尹ヲ進ム。	帝太康、子仲丁立ツ。
四〇載	午壬	伊尹復桀ニ歸ル。	三祀、諸侯衆ク朝ス。
四二載	申甲	商湯ヲ夏桀ニ囚フ、既ニシテ之ヲ釋ス。	七五祀、帝仲丁立ツ。
夏五三載	未乙	商湯夏桀ヲ伐ツ、桀鳴條ニ走ル、遂ニ放レテ死ス、夏亡フ、大ニ桀侯ニ命ジ伊尹仲虺ヲ相ト爲ス。	帝仲丁、弟太康立ツ。
商八祀	未乙	商湯夏桀ヲ伐ツ、桀鳴條ニ走ル、遂ニ放レテ死ス、夏亡フ、大ニ桀侯ニ命ジ伊尹仲虺ヲ相ト爲ス。	六祀、都ヲ啟ニ遷ス。
商九祀	未乙	商湯夏桀ヲ伐ツ、桀鳴條ニ走ル、遂ニ放レテ死ス、夏亡フ、大ニ桀侯ニ命ジ伊尹仲虺ヲ相ト爲ス。	一三祀、帝胤ズ、弟外壬立ツ。
商一〇祀	未乙	商湯夏桀ヲ伐ツ、桀鳴條ニ走ル、遂ニ放レテ死ス、夏亡フ、大ニ桀侯ニ命ジ伊尹仲虺ヲ相ト爲ス。	一五祀、帝胤ズ、弟河甲立ツ。
商一三〇祀	未乙	商湯夏桀ヲ伐ツ、桀鳴條ニ走ル、遂ニ放レテ死ス、夏亡フ、大ニ桀侯ニ命ジ伊尹仲虺ヲ相ト爲ス。	一祀、帝河甲立ツ。
帝太甲	申戊	伊尹帝ヲ樹宮ニ居ル。	帝胤ズ、子祖乙立ツ。
一祀	申戊	伊尹帝ヲ奉シテ宮ニ歸ス。	帝胤、相ニ遷ス。
三祀	戌庚	帝胤ズ、子沃丁立ツ。	帝胤ズ、子祖乙立ツ。
三三祀	辰庚	帝胤ズ、子沃丁立ツ。	帝胤ズ、子祖乙立ツ。
帝沃丁	辰庚	帝胤ズ、子沃丁立ツ。	帝胤ズ、子祖乙立ツ。
八祀	子戊	伊尹卒ス。	都ヲ那ニ遷ス、原箕ヲ以テ相ト爲ス。
二九祀	西己	帝胤ズ、弟太康立ツ。	帝胤ズ、子祖辛立ツ。
帝太康	西己	帝胤ズ、弟太康立ツ。	帝胤ズ、子祖辛立ツ。
二五祀	戌甲	帝胤ズ、子小甲立ツ。	帝胤ズ、弟沃甲立ツ。

史記年表

二〇	午壬	魯公禽慶卒、弟鳩公立繼之。
二一	未癸	魯公季闚門于莒。
二六	子戌	召公奭卒、王崩、子瑕立、魯公禽慶卒、子陶公卒立。
昭王	寅壬	魯公子儀其君卒、狀シテ自立ス、是ヲ魏公ト爲ス。
五一	卯己	王南ニ巡狩シ、江上ニ崩ズ、子滿立。
種王	午壬	君牙大司寇ト爲シ、伯開ヲ太僕正ト爲ス。
三一	申丙	王八駿馬ヲ得テ西ニ巡狩ス、徐戎叛ス、王歸リ征シテ之ニ克ツ、遼交ヲ道城ニ封ズ。
一七	申丙	犬戎ヲ征ス。
三五	寅甲	甫侯ニ命ジテ甫刑ヲ作ル。
五〇	巳己	王崩ズ、子懿立。
五五	戌甲	密ヲ滅ス。
共王	丑丁	王崩ズ、子懿立。
一二	戌丙	王崩ズ、共王ノ弟辟方立。
德王	亥辛	王崩ズ、共王ノ弟辟方立。
二五	亥辛	王崩ズ、共王ノ弟辟方立。
816	三三卯乙	魯王方
817	三二寅甲	非子ヲ秦ニ封ズ。
818	三一丑癸	王崩ズ、懿王ノ子懿立。
819	三〇壬子	齊獻公葬、子武公葬立。
820	二八戌庚	齊獻公葬、子武公葬立。
821	二四午丙	齊侯公罔滅、子陶公葬立。
822	二二卯癸	齊非子卒、子秦侯立。
823	二〇寅壬	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
824	一九丑辛	齊公子由基君靜ヲ殺シテ自立ス。
825	一六午壬	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
826	一五寅甲	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
827	一四卯己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
828	一三辰戊	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
829	一二巳己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
830	一一午庚	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
831	一〇未辛	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
832	〇九申壬	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
833	〇八酉癸	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
834	〇七戌甲	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
835	〇六卯己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
836	〇五辰戊	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
837	〇四巳己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
838	〇三午庚	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
839	〇二未辛	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
840	〇一申壬	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
841	〇〇酉癸	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
842	九九戌甲	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
843	九八卯己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
844	九七辰戊	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
845	九六巳己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。

846	三四辰丙	秦公伯卒、秦仲立。
847	三五巳丁	四戎叛シ、犬丘大駱ノ族ヲ滅ス。
848	三六午戊	國人叛シ王ヲ殺シ、王出テ逃ニ居ル。
849	三七未己	王逃ニ在リ、召公周公政ヲ行フ、是ヲ共和ト曰フ、晉靖侯宜臼卒、子獻侯司徒立。
850	三八申庚	王逃ニ在リ。
851	三九酉辛	王逃ニ在リ。
852	四〇戌壬	王逃ニ在リ。
853	四一亥癸	蔡武侯驥卒、子夷侯立、楚熊勇卒、弟熊嚴立。
854	四二子甲	王逃ニ在リ。
855	四三丑乙	王逃ニ在リ。
856	四四寅丙	王逃ニ在リ、曹夷伯算卒、弟幽伯攸立。
857	四五卯丁	王逃ニ在リ。
858	四六辰戊	王逃ニ在リ。
859	四七巳己	王逃ニ在リ。
860	四八午庚	王逃ニ在リ、宋釐公葬、子惠公葬立。
861	四九未辛	王逃ニ在リ。
862	五〇申壬	王逃ニ在リ。
863	五一酉癸	王逃ニ在リ、周公召公奭子靜ヲ葬シテ位ニ即ク、諸侯懼周ヲ祭トス、楚熊嚴卒、子熊相立。
864	五二戌甲	秦仲ニ命ジテ西戎ヲ征ス、尹吉甫ニ命ジ、驪統ヲ伐ツ、燕侯慶卒、子釐侯立。
865	五三卯乙	方叔ニ命ジ南蠻ヲ征ス、召虎ニ命ジ淮夷ヲ平ケ、王親ラ徐戎ヲ征ス、魯眞公葬、子釐侯立。
866	五四辰戊	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
867	五五巳己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
868	五六午庚	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
869	五七未辛	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
870	五八申壬	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
871	五九酉癸	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
872	六〇戌甲	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
873	六一卯己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
874	六二辰戊	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
875	六三巳己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
876	六四午庚	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
877	六五未辛	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
878	六六申壬	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
879	六七酉癸	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
880	六八戌甲	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
881	六九卯己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
882	七〇辰戊	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
883	七一巳己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
884	七二午庚	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
885	七三未辛	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
886	七四申壬	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
887	七五酉癸	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
888	七六戌甲	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
889	七七卯己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
890	七八辰戊	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
891	七九巳己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
892	八〇午庚	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
893	八一未辛	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
894	八二申壬	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
895	八三酉癸	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
896	八四戌甲	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
897	八五卯己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
898	八六辰戊	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
899	八七巳己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
900	八八午庚	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
901	八九未辛	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
902	九〇申壬	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
903	九一酉癸	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
904	九二戌甲	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
905	九三卯己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
906	九四辰戊	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
907	九五巳己	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
908	九六午庚	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
909	九七未辛	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
910	九八申壬	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
911	九九酉癸	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。
912	一〇〇戌甲	齊侯仲孫糾ニ治ス、宋厲公歸記號ス、子釐公葬立。

817	818	819	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819
二一 午甲	二〇 巳癸	一九 辰壬	一八 卯辛	一七 寅庚	一六 丑己	一五 子戊	一四 亥丁	一三 戌丙	一二 酉乙	一一 申甲	一〇 未癸	九 午壬
魯公兄括ノ子伯御、其君魯公戲ヲ弑シテ自立ス。			蔡侯侯薨ズ、子釐侯所事立ツ。		晉侯侯薨ズ、子穆侯所事立ツ。	衛釐公薨ズ、少子武公和立ツ。			魯侯來朝ス、其少子釐ヲ弑シテ自立ス。魯武公卒ス、釐立ツ。王十歳ニ葬セシメス、齊桓公ノ子厲公ヲ弑ス、齊人ノ之ヲ弑シテ赤ヲ立ツ。			
794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806
三四 未丁	三三 午丙	三二 巳乙	三一 辰甲	三〇 卯癸	二九 寅壬	二八 丑辛	二七 子庚	二六 亥己	二五 戌戊	二四 酉丁	二三 申丙	二二 未乙
	齊侯公薨ズ、子莊公辟立ツ。	齊侯公薨ズ、子莊公辟立ツ。			王魯ヲ使テ伯御ヲ弑シ、懿公ノ弟稱ヲ立ツ。是ヲ弑ス。子惠伯胤立ツ。	宋襄公薨ズ、子威公立ツ。楚熊渠卒ス、子熊渠立ツ。	宋惠公薨ズ、子襄公立ツ。	晉師千歳ニ戰フ、子成帥ヲ生ム。		齊文公赤薨ズ、子成公脱立ツ。	晉侯侯薨ズ、太子仇ヲ生ム。	王弟友ヲ鄭ニ封ズ。

781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793
四六 未己	四五 午戊	四四 巳丁	四三 辰丙	四二 卯乙	四一 寅甲	四〇 丑癸	三九 子壬	三八 亥辛	三七 戌庚	三六 酉己	三五 申戊	
幽王宮涅立ツ。 姜氏ヲ立テ王后ト爲シ、宣曰ク太子ト爲ス、姜氏ハ申侯ノ女ナリ、故太子仇殺テ殺シテ弑シテ立ツ。陳武公薨ズ、子夷公脱立ツ。			晉穆侯妻王姜ス、弟驪叔自立ス、太子仇出奔ス。			民ヲ太原ニ移テ。	秦戎ヲ伐テ、王帥千歳ニ敗績ス。		齊釐侯薨ズ、子頃侯立ツ。楚熊渠卒ス、子熊渠立ツ。是ヲ弑シテ爲ス。			
768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	784
三 酉癸	二 申壬	一 未辛	一一 午庚	一〇 巳己	九 辰戊	八 卯丁	七 寅丙	六 丑乙	五 子甲	四 亥癸	三 戌壬	二 酉辛
	魯季公弗立ツ。		申侯大敗ト入寇シ王ヲ弑ス、鄭伯友之ニ死ス、是則公ト爲ス。晉南襄兵ヲ以テ來テ弑ス。故太子宣曰ク立ツ。鄭人則公子武公脱ヲ立ツ。故太子宣東流ニ逃ル。鄭人則公子武公脱ヲ立ツ。故太子宣命之曰二國ス、遂ニ上洛ヲ西時ニ祀ル。			鄭伯友ヲ霜徒ト爲ス。		十月朔日之ヲ食スルアリ。	申后及太子宣曰ヲ殺シ、獲賊ヲ后ト爲シ、其子伯服ヲ太子ト爲ス。	陳災公脱薨ズ、弟平公脱立ツ、秦莊公卒ス、子襄公立ツ。	獲賊ヲ納レ之ヲ殺ス。	三川湯キ岐山崩ル。

755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767
一六 戌丙	一五 酉乙	一四 申甲	一三 未癸	一二 午壬	一一 巳辛	一〇 辰庚	九 卯己	八 寅戊	七 丑丁	六 子丙	五 亥乙	四 戌甲
陳平公登薨ズ、子文公嗣立ツ。	秦獻時ヲ作ル。	曹穆公武薨ズ、子桓公終生立ツ。	衛武公和薨ズ、子莊公揚立ツ、楚甯放卒ス、子熊 助立ツ、是ヲ弟曰トス。	蔡共食與薨ズ、子戴侯立ツ、曹惠伯賜薨ズ、子石甫 立ツ、其弟武之ヲ弑シテ自立ス、是ヲ穆公ト爲ス。	蔡黨侯薨ズ、子共侯興立ツ、秦東涿涓ノ會ニ往ル。		楚甯放卒ス、子熊坎立ツ、是ヲ甯放ト爲ス。	燕哀侯薨ズ、子鄭侯立ツ。	秦襄公城ヲ伐テ岐ニ至テ薨ズ、子文公立ツ、宋戴 公薨ズ、子武公登立ツ。			燕頃侯薨ズ、子襄侯立ツ。
742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754
二九 亥己	二八 戌戊	二七 酉丁	二六 申丙	二五 未乙	二四 午甲	二三 巳癸	二二 辰壬	二一 卯辛	二〇 寅庚	一九 丑己	一八 子戊	一七 亥丁
	鄭伯其弟段ヲ京ニ封ズ。	鄭武公猶突薨ズ、子莊公猶生立ツ。	晉侯其叔父成師ヲ曲沃ニ封ズ、陳文公圍略ズ、子 頰公鮑立ツ。	晉文侯仇薨ズ、子昭侯伯立ツ、秦初テ三族ノ罪アリ。		宋武公司空薨ズ、子宣公力立ツ。		秦伯大ニ戒師ヲ敗リ、岐西ノ地ヲ收メ、岐東ヲ王ニ 獻ズ、蔡戴侯薨ズ、子宣侯伯立ツ。			秦初ヲ史アリ、事ヲ記ス。	

729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741
四二 子壬	四一 亥辛	四〇 戌庚	三九 酉己	三八 申戊	三七 未丁	三六 午丙	三五 巳乙	三四 辰甲	三三 卯癸	三二 寅壬	三一 丑辛	三〇 子庚
燕頃侯薨ズ、子襄侯立ツ。	宋宣公力薨ズ、其子與夷ヲ弟穆公和ヲ立ツ、 鄭侯立ツ。	齊莊公驪薨ズ、子釐公緡用立ツ、晉曲沃成師卒ス、 是ヲ桓公ト爲ス、子莊伯驪代リ立ツ。		衛州吁用奔ス。		衛莊公揚薨ズ、子桓公完立ツ。				晉潘父其君昭侯伯ヲ弑シ、曲沃成師ヲ納ル、克テ ス、國人昭侯ノ子孝侯ヲ立ツ、潘父ヲ誅ス。		衛武公和薨ズ、子莊公揚立ツ、楚甯放卒ス、弟熊通時曰ノ 子ヲ弑シテ自立ス、是ヲ武王ト爲ス。
711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723
四 丑乙	三 子甲	二 亥癸	一 戌壬	五 酉辛	五〇 申庚	四九 未己	四八 午戊	四七 巳丁	四六 辰丙	四五 卯乙	四四 寅甲	四三 丑癸
	晉莊侯伯卒ス、子武公緡代リ立ツ、秦文公薨ズ、 子孫侯立ツ。	鄭伯人朝ス、王禮セズ、其ヲ取ルヲ怒ルナリ。	鄭侯ノ從卒ス、曲沃叛ス、王緡公ニ命ジ曲沃ヲ伐テ、 立ツ。	衛州吁其君桓公完ヲ弑シテ自立ス、宋陳侯用ト鄭 伯ト爲ス。	鄭伯其母ニ大隱ニ見ユ。	魯隱公息姑ノ元年以来春秋ノ世ト爲ス、鄭伯其弟段 ニ惡ニ克ツ、其母姜氏成嬖ニ遷ス。	魯惠公弗涅薨ズ、其子息姑國ヲ攝シ、君事ヲ行フ。	晉曲沃莊伯翼ニ入り、其君姜侯平ヲ弑ス、國人之 ヲ遷ヒ、孝侯ノ子昭侯ヲ立ツ。				

703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	
一七 寅戌	一六 丑丁	一五 子丙	一四 亥乙	一三 戌甲	一二 酉癸	一一 申壬	一〇 未辛	九 午庚	八 巳己	七 辰戊	六 卯丁	五 寅丙	
	楚子隨子使ツ、隨楚下、楚潛シテ王ヲ弑ス、王 殺テ命テ、曲沃ヲ伐テ、晉哀侯ヲ弑シテ、立ツ、 齊公孫ス、三女田子ヲ廢シテ、出テ立ツ。	晉曲沃武公晉哀侯ヲ弑ス。	齊無知其甘與公諸兒ヲ弑シテ自立ス、侯弟糾魯ニ 奔リ、小白宮ニ奔ル。	陳桓公鮑葵ズ、文公ノ子佗子冠ヲ弑シテ自立ス、 是ヲ厲公ト爲ス、王都ヲ伐ツ、鄭射シテ傷ク。	北戎齊ヲ伐ツ、僖王ニ辭シ、王許サズ、 楚子熊通魯ヲ伐ツ、鄭世子忽之ヲ救ヒ、我師ヲ敗ル。	晉曲沃武公晉哀侯ヲ弑ス。	晉曲沃武公晉哀侯ヲ弑ス、 立ツ、是ヲ小白侯ト爲ス。	宋華齊其君嬖公與齊ヲ弑シ、大夫孔父及之、穆 公ノ子莊公馮ヲ立ツ。	鄭伯齊ト宋ヲ伐テ、鄭及防ヲ取ル。	魯公子慶其君隱公ヲ弑シ、桓公尤ヲ立ツ、九一ニ 執ニ作ル。	鄭伯齊ト宋ヲ伐テ、鄭及防ヲ取ル。	鄭伯王左卿士、爲リ宋ヲ伐ツ。	鄭伯枋田ヲテ、許田ニ易フ、蔡宣侯借父弑ス、 子桓侯封人立ツ。
690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	
七 卯辛	六 寅庚	五 丑己	四 子戊	三 亥丁	二 戌丙	一 酉乙	三三 申甲	三二 未癸	三一 午壬	二〇 巳辛	一九 辰庚	一八 卯己	
	齊侯無弑、山戎武伯伐之、燕ヲシテ、實ヲ五ニ修 セシム、齊宣公孫ス、弟宣公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。

677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689
五 辰甲	四 卯癸	三 寅壬	二 丑辛	一 子庚	一五 亥己	一四 戌戊	一三 酉丁	一二 申丙	一一 未乙	一〇 午甲	九 巳癸	八 辰壬
王崩ス、子胡齊立ツ、宋南宮儀其君胡公捷ヲ弑ス、 宋人爲公第弑テ立ツ、是ヲ桓公ト爲ス、萬陳ニ奔 ル、宋人之ヲ殺ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。	齊侯齊侯ト柯ニ會盟ス。
684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696
一三 酉丁	一二 申丙	一一 未乙	一〇 午甲	九 巳癸	八 辰壬	七 辛亥	六 戌庚	五 酉己	四 申戊	三 未丁	二 午丙	一 巳乙
齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。
697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709
一三 酉丁	一二 申丙	一一 未乙	一〇 午甲	九 巳癸	八 辰壬	七 辛亥	六 戌庚	五 酉己	四 申戊	三 未丁	二 午丙	一 巳乙
齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。	齊桓侯弑ス、子莊公立ツ。

二五	寅甲	衛侯齊二出奔ス、衛人定公ノ弟蒯公執チ立ツ。	二五	547
二四	丑癸	晉悼公州荈ズ、子平公彪立ツ。	二四	548
二三	寅壬	衛侯齊二出奔ス、衛人定公ノ弟蒯公執チ立ツ。	二三	549
二二	辰戌	齊文公薨ズ、懿公立ツ。	二二	550
二一	戌庚	孔子生ル。	二一	551
二〇	酉己	齊景公薨ズ、子光光執チ立ツ、其弟荼公行曰チ立ツ、吳	二〇	552
一九	申戊	齊景公薨ズ、子光光執チ立ツ、其弟荼公行曰チ立ツ、吳	一九	553
一八	未丁	齊景公薨ズ、子光光執チ立ツ、其弟荼公行曰チ立ツ、吳	一八	554
一七	午丙	齊侯諸侯ト齊ヲ圍ム、曹成公負芻薨ズ、子武公勝	一七	555
一六	巳乙	齊侯諸侯ト齊ヲ圍ム、曹成公負芻薨ズ、子武公勝	一六	556
一五	辰甲	齊侯諸侯ト齊ヲ圍ム、曹成公負芻薨ズ、子武公勝	一五	557
一四	卯癸	齊侯諸侯ト齊ヲ圍ム、曹成公負芻薨ズ、子武公勝	一四	558
一三	寅壬	齊侯諸侯ト齊ヲ圍ム、曹成公負芻薨ズ、子武公勝	一三	559

二八	521	辰庚	二四	巳癸	楚子常吳伐之、吳楚師ヲ環尊ニ破ル。	二八	521
二七	522	卯己	二三	辰壬	楚子常吳伐之、吳楚師ヲ環尊ニ破ル。	二七	522
二六	523	寅戊	二二	卯辛	吳楚師ヲ環尊ニ破ル、曹公通娶公ヲ執シ自自立	二六	523
二五	524	丑丁	二一	寅庚	吳楚師ヲ環尊ニ破ル、曹公通娶公ヲ執シ自自立	二五	524
二四	525	子丙	二〇	丑己	晉頃公去疾薨ズ、子定公午立ツ。	二四	525
二三	526	亥乙	一九	子戌	晉頃公去疾薨ズ、子定公午立ツ。	二三	526
二二	527	戌甲	一八	亥丁	吳子餘昧卒ス、子僚立ツ、王太子壽卒ス。	二二	527
二一	528	酉癸	一七	戌丙	曹武公勝薨ズ、子平公頃立ツ。	二一	528
二〇	529	申壬	一六	酉乙	楚公子比殺ヨリ楚ニ歸リ、其君麇王圍ヲ執ス、公子	二〇	529
一九	530	未辛	一五	申甲	楚公子比殺ヨリ楚ニ歸リ、其君麇王圍ヲ執ス、公子	一九	530
一八	531	午庚	一四	未癸	楚子孫靈侯殺テ諸殺シ蔡ヲ滅ス。	一八	531
一七	532	巳己	一三	午壬	晉平公彪薨ズ、子昭公夷立ツ、宋平公成薨ズ、子	一七	532
一六	533	辰戌	一二	巳辛	晉平公彪薨ズ、子昭公夷立ツ、宋平公成薨ズ、子	一六	533

史記年表

一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九	八	七	六	五	四
469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481
二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三
午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛	子庚	亥己	戌戊	酉丁	申丙	未乙	午甲
魯公孟孫將去魯、曹公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。
二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	一九	一八	一七
482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494
三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	二九	二八	二七	二六
未己	午戊	巳丁	辰丙	卯乙	寅甲	丑癸	子壬	亥辛	戌庚	酉己	申戊	未丁
魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。

一〇

一〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一
475	476	477	478	479	480	481	482	483	484
三九	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二
申庚	酉辛	戌壬	亥癸	子甲	丑乙	寅丙	卯丁	辰戊	巳己
魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。
八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七
484	485	486	487	488	489	490	491	492	493
一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九
西癸	戌甲	亥乙	子丙	丑丁	寅戊	卯己	辰庚	巳辛	午壬
魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。	魯公將立、魯公將立。

史記年表

二二	四丙	晉知伯魏駒敗虎ト道無位ヲ攻ム、無位晉陽ニ奔ル、鄭人宣公易ヲ執シ、宣公弟共公立ツ。	三四	442	二七	亥己	王崩ズ、長子哀王去疾立リ、弟叔武王ヲ弑シ自立ス、哀王弟申王ト對ス、秦南陽ニ入ル。
二一	四丙	晉知伯晉陽ヲ圍ム。	三三	441	二八	子庚	王崩ズ、長子哀王去疾立リ、弟叔武王ヲ弑シ自立ス、哀王弟申王ト對ス、秦南陽ニ入ル。
二〇	亥丁	晉知伯晉陽ヲ圍ム。	三二	440	二九	丑辛	晉知伯魏駒ト約シ、知伯ヲ攻テ之ヲ滅シ、其地ヲ三分ス、齊田經其宗人ヲ以テ齊都魯大夫ト爲シ、三晉ト値テ盟ス。
一九	子戊	晉知伯魏駒ト約シ、知伯ヲ攻テ之ヲ滅シ、其地ヲ三分ス、齊田經其宗人ヲ以テ齊都魯大夫ト爲シ、三晉ト値テ盟ス。	三一	439	一〇	寅壬	晉哀公臨菑ズ、子出公柳立ツ。
一八	丑己	晉知開秦ニ奔ル。	三〇	438	一一	卯癸	晉侯驪魏趙氏ニ朝シ、獨繆曲沃ヲ有ス。
一七	寅己	晉知開秦ニ奔ル。	二九	437	一二	辰甲	晉侯驪魏趙氏ニ朝シ、獨繆曲沃ヲ有ス。
一六	卯辛	燕孝公薨ズ、成公立ツ。	二八	436	一三	巳乙	晉侯驪魏趙氏ニ朝シ、獨繆曲沃ヲ有ス。
一五	辰壬	燕孝公薨ズ、成公立ツ。	二七	435	一四	午丙	燕成公薨ジ、湣公立ツ。
一四	巳癸	晉知寬秦ニ奔ル。	二六	434	一五	未丁	燕成公薨ジ、湣公立ツ。
一三	午甲	楚子蔡ヲ滅ス、蔡侯齊出奔ス。	二五	433	一六	申戊	楚子蔡ヲ滅ス、蔡侯齊出奔ス。
一二	未乙	楚子蔡ヲ滅ス、蔡侯齊出奔ス。	二四	432	一七	酉己	楚子蔡ヲ滅ス、蔡侯齊出奔ス。
一一	申丙	楚子蔡ヲ滅ス、蔡侯齊出奔ス。	二三	431	一八	戌庚	魯悼公薨ズ、子元公蒯立ツ。
一〇	酉丁	秦義渠ヲ伐テ其君ヲ執ヘテ歸ル。	二二	430	一九	亥辛	魯悼公薨ズ、子元公蒯立ツ。
〇九	戌戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二一	429	二〇	子丙	魯悼公薨ズ、子元公蒯立ツ。

四七	四丁	秦穆公薨ズ、弟懷公立ツ。	四〇	416	一〇	丑乙	秦穆公薨ズ、弟懷公立ツ。
四六	四丙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	三九	415	一一	寅丙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
四五	申丙	楚子紀ヲ滅ス、楚秦ト平ク、楚東地ヲ侵シテ涇ニ至ル。	三八	414	一二	卯丁	楚子紀ヲ滅ス、楚秦ト平ク、楚東地ヲ侵シテ涇ニ至ル。
四四	酉丁	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	三七	413	一三	辰戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
四三	戌戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	三六	412	一四	巳己	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
四二	亥己	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	三五	411	一五	午庚	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
四一	子壬	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	三四	410	一六	未辛	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
四〇	丑癸	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	三三	409	一七	申壬	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
三九	寅甲	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	三二	408	一八	酉癸	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
三八	卯乙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	三一	407	一九	戌甲	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
三七	辰丙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	三〇	406	二〇	亥乙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
三六	巳丁	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二九	405	二一	子丙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
三五	午戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二八	404	二二	丑丁	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
三四	未己	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二七	403	二三	寅戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
三三	申庚	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二六	402	二四	卯己	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
三二	酉辛	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二五	401	二五	辰庚	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
三一	戌壬	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二四	400	二六	巳辛	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
三〇	亥癸	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二三	399	二七	午壬	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
二九	子甲	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二二	398	二八	未癸	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
二八	丑乙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二一	397	二九	申甲	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
二七	寅丙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	二〇	396	三〇	酉乙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
二六	卯丁	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	一九	395	三一	戌丙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
二五	辰戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	一八	394	三二	亥丁	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
二四	巳己	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	一七	393	三三	子戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
二三	午庚	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	一六	392	三四	丑己	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
二二	未辛	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	一五	391	三五	寅庚	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
二一	申壬	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	一四	390	三六	卯辛	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
二〇	酉癸	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	一三	389	三七	辰壬	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
一九	戌甲	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	一二	388	三八	巳癸	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
一八	亥乙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	一一	387	三九	午甲	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
一七	子丙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	一〇	386	四〇	未乙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
一六	丑丁	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	〇九	385	四一	申丙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
一五	寅戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	〇八	384	四二	酉丁	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
一四	卯己	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	〇七	383	四三	戌戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
一三	辰庚	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	〇六	382	四四	亥己	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
一二	巳辛	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	〇五	381	四五	子庚	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
一一	午壬	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	〇四	380	四六	丑辛	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
一〇	未癸	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	〇三	379	四七	寅壬	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
〇九	申甲	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	〇二	378	四八	卯癸	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
〇八	酉乙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	〇一	377	四九	辰甲	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
〇七	戌丙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	〇〇	376	五〇	巳乙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
〇六	亥丁	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	九九	375	五一	午丙	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
〇五	子戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	九八	374	五二	未丁	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
〇四	丑己	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	九七	373	五三	申戊	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
〇三	寅庚	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	九六	372	五四	酉己	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
〇二	卯辛	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	九五	371	五五	戌庚	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
〇一	辰壬	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	九四	370	五六	亥辛	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。
〇〇	巳癸	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。	九三	369	五七	子壬	秦厲公共薨ズ、子躒公立ツ。

七三	三	三九	三	卯辛	秦晉武城二戰フ、齊魏師ヲ平陸ニ敗ル。
七四	四	三八	四	辰壬	齊田和魏侯ト淵澤ニ會シ、諸侯ト爲ルヲ求ム。
七五	五	三九	五	巳癸	
七六	六	三九	六	午甲	秦魏ナレバ、魏文侯、秦昭襄王ニ至ル、秦簡公死ス、子顯公立ツ、魏景侯死ス、子列侯取立ツ、趙烈侯繼立ス、子武公立ス。
七七	七	三八	七	未乙	去、年、趙武侯死ス、國人烈侯子敬侯取立ツ、邯鄲ナリトテ、初、魏田和ニ命ジ諸侯ト爲ス、魏趙邯鄲ナリトテ、魏烈侯死ス、宋太子立ツ、齊太公和死ス、子桓公立ツ。
七八	八	三八	八	申丙	秦昭襄王死ス、太子立ツ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
七九	九	三八	九	酉丁	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
八〇	一〇	三八	一〇	戌戊	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
八一	一一	三八	一一	亥己	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
八二	一二	三八	一二	子庚	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
八三	一三	三八	一三	丑辛	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
八四	一四	三八	一四	寅壬	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
八五	一五	三八	一五	卯癸	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
八六	一六	三八	一六	辰甲	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
八七	一七	三八	一七	巳乙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
八八	一八	三八	一八	午丙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
八九	一九	三八	一九	未丁	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
九〇	二〇	三八	二〇	申戊	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
九一	二一	三八	二一	酉己	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
九二	二二	三八	二二	戌庚	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
九三	二三	三八	二三	亥辛	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
九四	二四	三八	二四	子壬	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
九五	二五	三八	二五	丑癸	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
九六	二六	三八	二六	寅甲	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
九七	二七	三八	二七	卯乙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
九八	二八	三八	二八	辰丙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
九九	二九	三八	二九	巳丁	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一〇〇	三〇	三八	三〇	午戊	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一〇一	三一	三八	三一	未己	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一〇二	三二	三八	三二	申庚	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一〇三	三三	三八	三三	酉辛	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一〇四	三四	三八	三四	戌壬	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一〇五	三五	三八	三五	亥癸	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一〇六	三六	三八	三六	子甲	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一〇七	三七	三八	三七	丑乙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一〇八	三八	三八	三八	寅丙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一〇九	三九	三八	三九	卯丁	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一一〇	四〇	三八	四〇	辰戊	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一一一	四一	三八	四一	巳己	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。

一六	一六	三六	一六	辰甲	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一七	一七	三六	一七	巳乙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一八	一八	三六	一八	午丙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
一九	一九	三六	一九	未丁	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
二〇	二〇	三六	二〇	申戊	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
二一	二一	三六	二一	酉己	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
二二	二二	三六	二二	戌庚	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
二三	二三	三六	二三	亥辛	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
二四	二四	三六	二四	子壬	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
二五	二五	三六	二五	丑癸	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
二六	二六	三六	二六	寅甲	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
二七	二七	三六	二七	卯乙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
二八	二八	三六	二八	辰丙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
二九	二九	三六	二九	巳丁	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
三〇	三〇	三六	三〇	午戊	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
三一	三一	三六	三一	未己	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
三二	三二	三六	三二	申庚	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
三三	三三	三六	三三	酉辛	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
三四	三四	三六	三四	戌壬	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
三五	三五	三六	三五	亥癸	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
三六	三六	三六	三六	子甲	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
三七	三七	三六	三七	丑乙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
三八	三八	三六	三八	寅丙	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
三九	三九	三六	三九	卯丁	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
四〇	四〇	三六	四〇	辰戊	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。
四一	四一	三六	四一	巳己	魏趙ナレバ、魏文侯死ス、子哀侯立ツ、魯穆公死ス、子共公立ツ。

九四	二九	一六	戎壬	趙君太子華ナ殺シ、少子阿ナ立テ、自ヲ主トシ、 ス。楚、楚ヲ伐テ、楚君ヲ執レテ歸ル。楚人子頃襄 王、故ク立ツ。秦、丹、女ヲ承トヘテ歸ル。
九三	二八	一七	亥癸	田文、秦ヨリ逃レ齊ニ歸リ、齊、韓、魏、秦、四君、其弟、 野、シテ、平原君ト爲ス。魯、平、公、叔、孫、ス。子文、公、賈、立、立、 楚君、秦ヨリ趙ニ走ル。趙、納レズ。秦、退、及、シ、以、テ、 歸ル。
九二	二七	一八	子甲	楚、懷、王、槐、秦ニ、送、ス。魏、襄、王、秦ニ、子、昭、王、送、立、 韓、宣、王、倉、魏、ス。子、熊、王、魏、立、 趙、中山、ヲ、滅、ス。故、太子、章、自、作、テ、公、子、成、立、 趙、シ、逃、レ、武、襄、王、死、テ、秦、魏、再、立、 秦、魏、ヲ、解、ニ、敗、ル。
九一	二六	一九	丑乙	魏、韓、共ニ秦ヲ伐テ、秦白起之ヲ敗リ五城ヲ拔ク。 楚君、韓ヲ秦ニ迎テ。
九〇	二五	二〇	寅丙	秦、韓、子、伐、テ、宛、ヲ、拔、ク。秦、魏、再、封、シ、 魏、侯、ト、爲、ス。 東、周、君、秦ニ、如、ク。秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、城、ヲ、取、ル。
八九	二四	二一	卯丁	秦、若、西、帝、ト、稱、シ、使、ヲ、遣、リ、齊、君、ヲ、東、帝、 ニ、シ、テ、之、ヲ、去、シ、秦、趙、ヲ、攻、テ、魏、國、ヲ、拔、ク。
八八	二三	二二	辰戊	秦、魏、ヲ、攻、テ、新、垣、曲、陽、ヲ、拔、ク。
八七	二二	二一	巳己	秦、魏、ヲ、攻、テ、新、垣、曲、陽、ヲ、拔、ク。
八六	二一	二〇	午庚	秦、魏、ヲ、攻、テ、新、垣、曲、陽、ヲ、拔、ク。
八五	二〇	一九	未辛	秦、魏、ヲ、攻、テ、新、垣、曲、陽、ヲ、拔、ク。
八四	一九	一八	申壬	秦、魏、ヲ、攻、テ、新、垣、曲、陽、ヲ、拔、ク。
八三	一八	一七	酉癸	秦、魏、ヲ、攻、テ、新、垣、曲、陽、ヲ、拔、ク。
八二	一七	一六	戌甲	秦、魏、ヲ、攻、テ、新、垣、曲、陽、ヲ、拔、ク。

一八	二七	四二	子戊	趙、魏、共ニ秦ヲ伐テ、秦之ヲ敗レ六十二城ヲ取リ、魏 南陽ヲ割、和ス。韓、宣、王、行、秦ニ、入、 一、九、二、七、二、九、 楚、太子、完、秦ニ、入、 秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
一七	二六	四一	丑己	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
一六	二五	四〇	寅丙	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
一五	二四	三九	卯丁	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
一四	二三	三八	辰戊	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
一三	二二	三七	巳己	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
一二	二一	三六	午庚	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
一一	二〇	三五	未辛	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
一〇	一九	三四	申壬	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
九	一八	三三	酉癸	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
八	一七	三二	戌甲	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
七	一六	三一	子乙	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
六	一五	三〇	丑丙	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
五	一四	二九	寅丁	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
四	一三	二八	卯戊	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
三	一二	二七	辰己	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
二	一一	二六	巳庚	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。
一	一〇	二五	午辛	秦、魏、再、封、テ、伐、テ、魏、河、東、 秦ニ、入、 秦、白、起、魏、ヲ、伐、テ、六、十、一、 城、ヲ、取、ル。

Table of Japanese chronology (right page) with columns for year, month, day, and event. Includes entries like 三二〇 丙午, 三一九 丙午, 三一九 未丁, etc., detailing historical events such as the death of Emperor Yuanji and the ascension of Emperor Chuang.

Table of Japanese chronology (left page) with columns for year, month, day, and event. Includes entries like 四六六 甲子, 四六五 甲子, 四六四 甲子, etc., detailing historical events such as the death of Emperor Chuang and the ascension of Emperor Jianwu.

Table with 18 columns (numbered 131-143) and multiple rows of historical events and dates. It includes entries for Emperor Yuan (元元), Emperor Hui (元惠), and Emperor Wen (元文), detailing military campaigns and political events.

Table with 18 columns (numbered 104-117) and multiple rows of historical events and dates. It continues the chronicle of Emperor Yuan and Emperor Hui, mentioning events like the 'Eighth Year of Yuan' (元八年) and the 'Ninth Year of Hui' (元九年).

史記年表終

漢文大系 第六卷 史記列傳上目次

- 卷六十一 伯夷列傳第一
- 卷六十二 管晏列傳第二
管仲 晏嬰
- 卷六十三 老莊申韓列傳第三
老子 莊子 申不害 韓非
- 卷六十四 司馬穰苴列傳第四
- 卷六十五 孫子吳起列傳第五
- 卷六十六 伍子胥列傳第六
- 卷六十七 仲尼弟子列傳第七

卷六十八 商君列傳第八

卷六十九 蘇秦列傳第九

蘇秦 蘇代以下附 蘇厲

卷七十 張儀列傳第十

張儀 陳軫 公孫衍

卷七十一 樗里甘茂列傳第十一

樗里子 甘茂 甘羅

卷七十二 穰侯列傳第十二

卷七十三 白起王翦列傳第十三

卷七十四 孟子荀卿列傳第十四

孟子 騶衍附 淳于髡 慎到 騶奭 荀卿

卷七十五 孟嘗君列傳第十五

馮驩附

卷七十六 平原君虞卿列傳第十六

卷七十七 信陵君列傳第十七

卷七十八 春申君列傳第十八

卷七十九 范雎蔡澤列傳第十九

卷八十 樂毅列傳第二十

卷八十一 廉頗藺相如列傳第二十一

廉頗 藺相如 趙奢 趙括附 李牧

卷八十二 田單列傳第二十二

王蠋附

卷八十三 魯仲連鄒陽列傳第二十三

卷八十四 屈原賈誼列傳第二十四

卷八十五 呂不韋列傳第二十五

卷八十六 刺客列傳第二十六

曹沫 專諸 豫讓 聶政 荊軻

卷八十七 李斯列傳第二十七

卷八十八 蒙恬列傳第二十八

蒙毅附

卷八十九 張耳陳餘列傳第二十九

張敖附

卷九十 魏豹彭越列傳第三十

卷九十一 黥布列傳第三十一

卷九十二 淮陰侯列傳第三十二

卷九十三 韓王信盧綰列傳第三十三

韓王信 盧綰 陳豨

卷九十四 田儼列傳第三十四

田榮以下附 田橫

卷九十五 樊鄴滕灌列傳第三十五

樊噲 酈商 夏侯嬰 灌嬰

卷九十六 張丞相列傳第三十六

張蒼 周昌 周苛 趙堯 任敖 申屠嘉
韋賢以下附 魏相 邴吉 黃霸 韋玄成

匡衡

史記列傳上目次終

史記評林卷之六十一

吳興凌稚隆輯校
溫陵李光縉增補

伯夷列傳第一

索隱曰列傳者謂敘列人臣事跡今可傳於後世故曰列傳。

正義曰其人行跡可序列故云列傳。

蓋本老子與伯夷同傳第一莊子與韓非同傳第三。

已有成說今則不可依循宜令老子尹喜莊周同為傳其韓非可居商君傳末。

正義本老子莊子伯夷居列傳之首正義云老子莊子開元二十三年奉敕升為列傳首處夷齊上然漢武帝之時佛教未興道教已設道則禁惡咸致正理制禦邪人未有佛敎可道故列老莊於申韓之上今既佛道齊妙與法乖流理居列傳之首也。

楊慎曰案唐崇老敎謬取老子居列傳首而與伯夷合為一卷甚為無謂夫奔義激世莫先伯夷而老莊法意流為申韓太史公敘述自有深意豈宜妄為軒輊今以伯夷傳居首為一卷次以管晏為一卷次以老莊申韓為一卷以復太史公之舊云。又曰宋人謂太史公作伯夷傳滿腹是怨今試觀之始言天道報應差爽以世俗共

老子莊子開元二十三年奉敎云云老子ハ李氏、而シテ唐モ亦李氏ナルヲ以テ、唐高宗自ヲ以テ老子ノ後ナリト爲シ、其敎對元紀、卷州ニ如キ、老子ヲ記リ、尊ア太上玄元皇帝ト爲ス、而シテ玄宗亦道敎ヲ崇ブ、故ニ開元二十三年ニ事リ、敎シテ史記列傳ノ順序ヲ改メ、

老子傳子升シテ列傳ハ首ニ臨カシム。正義ハ唐貞觀中ノ著シテ、開元二十四年ニ成リ、故ニ其次ニ依リシナリ。太史公別傳序云云、史記百三十卷太史公目序ノ文ナリ。

夫學者載籍博傳、考訂於六藝、六經、以テ、此六藝ハ六經ノ以テ、孔子ニ見テト雖モ、六經ニ載セズ。孔子又稱スルナシ、是ヲ以テ、載テ疑テ傳ヘザルナリ。又曰、六經孔子ノ道ハ、ザル所ハ、從テ傳テ考フルナシト。

見聞者歎之也。中言各從所好、決擇死生、輕重以君子之正論折之也。一篇之中、錯綜宕蕩、極文之變、而不詭于聖人、可謂良史矣。宋人不達文體、慕以不得遷之意、而輕爲立論。本朝又有補訂伯夷傳者、異哉。柯維騏曰、案太史公列傳序云、末世爭利、惟彼奔義、讓國餓死、天下稱之作伯夷列傳第一。晏子儉矣、夷吾則奢、齊桓以伯景公以治、管晏列傳第二。季耳無爲、自化、清淨自正、韓非揣摩、情循勢理、作老子韓非列傳第三。然則太史公作傳、原首伯夷、其莊周中不害、特附載於老子韓非中耳。唐開元、救界老子申子、爲列傳首、乃列老莊於伯夷之前、而申韓別爲一傳、今世所傳正義本是也。司馬貞又以韓非與商君並列、益紊亂矣。今所論次、悉依太史公之舊云。

夫學者載籍極博、猶考信於六藝、詩書雖缺、然虞夏之文可知。索隱曰、孔子系家稱古詩三千餘篇、孔子刪三百五篇爲詩、今匹五篇、又書緯稱孔子求得黃帝玄孫帝魁之書、迄秦穆公、凡三千三百三十篇、乃刪以一百篇爲尚書、十八篇爲中候、今百篇之內、見匹四十二篇、是詩書又有缺也。尙書有堯典、舜典、大禹謨、備言虞夏禪讓之事、故云虞堯將遜位、讓於虞舜。舜禹之間、岳牧咸薦、乃試之於位。典職數十年。正義曰、舜禹皆典職事。二十餘年、然後踐帝位。功用既興、然後授政、示天下重器。索隱曰、言天下者是王者之重器、故莊子云、天下之大器是也。則大器亦謂之重器。王者大統、傳天下若斯之難也。即堯舜之難、以明天下非由之安。

而說者曰、堯讓天下於許由。正義曰、皇甫謐高士傳云、許由字武仲、堯聞致天

隱、堯又召爲九州長、由不欲聞之、洗耳於澗水濱、時有巢父牽犢欲飲之、見由洗耳、問其故、對曰、堯欲召我爲九州長、惡聞其聲、是故洗耳。巢父曰、子若處高岸深谷、人道不通、誰能見子、子故浮游、欲聞其名譽、吾犢口牽犢上流飲之、許由不受、恥之、逃隱。及夏之時、有卞隨務光者、此何以稱焉。索隱曰、說者謂卞隨卞隨記也、然堯讓於許由、及夏時有卞隨務光等、放湯讓之天下、

並不受而逃、事具莊周讓王篇。○正義曰、經史唯稱伯夷叔齊不及。太史公別起許由卞隨務光者不少、概見何以哉、故言何以稱焉、爲不稱說之也。太史公曰、余登箕山、索隱曰、蓋楊惲東方朔見其文稱余、而加大史公曰也。其上蓋有許由冢云。孔子序列古之

仁聖賢人、如吳太伯伯夷之倫、詳矣。余以所聞、由光義至高。曰、辭太史公聞莊周說許由務光等也。莊子堯讓天下於許由、由遂逃箕山、洗耳於澗水、下隨自於澗水、務光負石自沈於澗水、是義至高。其文辭不少、概見何哉。索隱曰、案概是梗概、謂略也。蓋以由光義至高、而詩書之文辭遂不少、梗概、孔見何哉。載具何以如此哉、是太史公疑於說者之言、或非實也。○正義曰、概古代反。孔子曰、伯夷叔齊不念舊惡、怨是用希。求仁得仁、又何怨乎。余悲

太史公曰、余嘗游梁山、注梁曰、云云、六經、以テ、孔子ニ見テト雖モ、六經ニ載セズ。孔子又稱スルナシ、是ヲ以テ、載テ疑テ傳ヘザルナリ。又曰、六經孔子ノ道ハ、ザル所ハ、從テ傳テ考フルナシト。

孔子曰伯夷齊不食
周粟見於論語公
孫長篇見之三人三怨
也其詩云我安適歸矣于嗟徂兮命之衰矣是怨詞也故云可異焉
孤竹君之二子也 三月丙寅日所封相傳至夷齊之父名初字子朝伯夷名元字公
信叔齊名敦字公達解者云夷齊謚也伯仲又其長少之字地理志云孤竹城在遼西今支縣
應邵云蓋伯夷之國君姓墨胎氏○正義曰本前注丙寅作殷湯正月三日丙寅括地志云孤
竹古城在盧龍縣南十二
里殷時諸侯孤竹國也 父欲立叔齊及父卒叔齊讓伯夷伯夷曰父
命也遂逃去叔齊亦不肯立而逃之國人立其中子於是伯夷
叔齊聞西伯昌善養老蓋往歸焉 索隱曰劉氏云蓋者疑辭蓋謂其年老歸就西伯也 及至西伯
卒武王載木主號爲文王東伐紂伯夷叔齊叩馬而諫曰父死
不葬爰及于戈可謂孝乎以臣弑君可謂仁乎左右欲兵之太
公曰此義人也扶而去之武王已平殷亂天下宗周而伯夷叔

伯夷之意 諸軼詩可異焉 索隱曰謂悲其兄弟相讓又義不食周粟而餓死 諸音
三百篇故云逸詩也可異焉者按論語云求仁得仁又何怨乎今
其詩云我安適歸矣于嗟徂兮命之衰矣是怨詞也故云可異焉 其傳曰伯夷叔齊
孤竹君之二子也 三月丙寅日所封相傳至夷齊之父名初字子朝伯夷名元字公
信叔齊名敦字公達解者云夷齊謚也伯仲又其長少之字地理志云孤竹城在遼西今支縣
應邵云蓋伯夷之國君姓墨胎氏○正義曰本前注丙寅作殷湯正月三日丙寅括地志云孤
竹古城在盧龍縣南十二
里殷時諸侯孤竹國也 父欲立叔齊及父卒叔齊讓伯夷伯夷曰父
命也遂逃去叔齊亦不肯立而逃之國人立其中子於是伯夷
叔齊聞西伯昌善養老蓋往歸焉 索隱曰劉氏云蓋者疑辭蓋謂其年老歸就西伯也 及至西伯
卒武王載木主號爲文王東伐紂伯夷叔齊叩馬而諫曰父死
不葬爰及于戈可謂孝乎以臣弑君可謂仁乎左右欲兵之太
公曰此義人也扶而去之武王已平殷亂天下宗周而伯夷叔

不食周粟云云ハ、通監
精說曰、夷齊周粟ヲ
食ハザルハ、特二程周
二仕ハズ、餓死ヲ受ケザル
ヲ謂フ、彼死シテ、亦
貧賤ニシテ以テ死スル
ヲ云フ耳ト。

其時曰云云、夷齊ハ武
王ヲ以テ暴虐ト爲ス、
故ニ徐臣ヲ以テ暴君ノ
紂ト知ラズ、古ノ伏羲
神農燧炎夏等ノ放縱
亂亂ノ道、今ハ怨怒該
殺シ、此皆臣ノ命ヲ奪
スルニ違フ、我ハ安クニ
適スル所ヲ知ラズ、死
スルハ外ニ違フナシ、
嗚呼徂兮、運命ノ衰
フル哉ト百ヲナリ。

或曰、天道無親、常與善
人、天道ハ定マラズ、親
ム事ハ無クシテモ、常

齊恥之義不食周粟隱於首陽山 馬融曰首陽山在河東蒲坂華山之北河
齊餓於首陽山在臨西首又戴延之西征記云洛陽東北首陽山有夷齊祠今在偃師縣西北
又孟子云夷齊避紂居北海之濱首陽山說文云首陽山在遼西史傳及諸書夷齊餓於首陽
凡五所各有案據先後不詳莊子云伯夷叔齊西至岐陽見周武王伐殷曰吾聞古之士遭治
世不避其任遇亂世不爲苟存今天下聞周德衰其並乎周以塗吾身也不若避之以潔吾行
二子北至于首陽之山遂飢餓而死又下詩登彼西山采薇而食之 索隱曰薇蕨也爾
是今清源縣首陽山在岐陽西北明即夷齊餓死處也 采薇而食之 雅云厥黈也○正
義曰陸機毛詩草木疏云薇山菜也莖葉皆似小 及餓且死作歌其辭曰登彼
西山兮采其薇矣 索隱曰西山 即首陽山 以暴易暴兮不知其非矣 索隱曰以武
殷紂之暴主而 神農虞夏忽焉沒兮我安適歸矣 索隱曰饑饉虞夏救沒禪
不自知其非矣 讓之道超忽久矣終沒矣
今逢此君臣爭 于嗟徂兮命之衰矣 索隱曰于嗟嗟嘆之辭也徂者往也死也言
察故我安適歸 己今日餓死亦是運命之衰薄不遇大道之
時至憂 遂餓死於首陽山由此觀之怨耶非耶 索隱曰太史公言己觀此
而餓死 其云非 或曰天道無親常與善人若伯夷叔齊可謂善人者非耶
是怨耶 詩之情以是有怨耶又疑

登以其實若彼北極若此... 伯夷列傳第一

伯夷叔齊雖賢以下... 伯夷列傳第一

有忠臣是舉代混濁則士之清潔者乃彰見... 豈以其重

若彼其輕若此哉... 操行不軌當厚累代是其重若彼公正憤憤而遇禍災是其輕若

此也○正義曰重謂盜跖... 索隱曰自此已下雖論伯夷

日索隱曰賈誼也作鷗鳥賦云... 貪夫狗財正義曰狗財迅反狗求

者死權索隱曰言食權勢以誇夸... 衆庶馮生索隱曰馮者恃也音凭言衆庶之情蓋

也冒即貪之義○正義曰太史公引賈子譬作史... 同明相照索隱曰以下

正義曰天欲雨而柱雲從龍風從虎... 聖人作

而萬物覩馬融曰作起也○索隱曰又引此句者謂聖人起而居位則萬物之情皆得覩

德萬物有長育之情故相感應也... 伯夷叔齊雖賢得夫子而名益

彰正義曰伯夷叔齊雖有賢行得夫子稱揚而名益彰... 顏淵雖篤學附驥尾而

行益顯索隱曰若蠅附驥尾而致千... 巖穴之士趨舍有時若此類名堙

滅而不稱悲夫正義曰趨音趣舍音捨趨向也捨廢也言隱處之士... 閭巷之人

欲砥行立名者正義曰砥音旨砥行修德在鄉閭者若不託... 非附青雲之士

惡能施于後世哉... 索隱述贊曰天道平分與善徒云賢而餓死盜且聚羣吉凶倚伏報施糾紛子罕言命得自

前聞嗟彼素士不附青雲... 史記評林卷六十一

リテ影顯シ、或ハ附ク
所ナクシテ派滅ス、ソ
ノ當時ニ窮シテ、又後
世ニ稱セラルル無キ
者、尤モ悲ムニ足ルナ
キヲナリト。
昔蓋之士ハ、明徳備
前漢書云、周、太、二、四、
ナリ、附書袋ハ、則伯
夷、伯、是ナリ、後世任
路ニ登ルヲ謂テ、皆世
方苞曰、本紀世家列傳
ノ後、皆論アリ、惟伯
夷、太、五、ハ、啓ト論トテ
合セテ一ト爲ス、故ニ
接論ナシト。

蘇子由古史曰。武王以大義伐商而伯夷叔齊亦以義非之。二者不得兩立而孔子與之何哉。夫文武之王非其求而得之也。天下從之雖欲免而不得。紂之存亡不復爲損益矣。文王之置之。知天命之不可先也。武王伐之。知天命不可後也。然湯以克夏爲愆而孔子謂武未盡善。則伯夷之義豈可廢哉。宋昭公以無道弑。春秋雖書曰。宋人弑其君杵臼。然晉荀林父。衛孔達。陳公孫寧。鄭石楚。伐宋以不討賊稱人。晉靈公爲之會諸侯于扈。以不討賊不殺明君臣之義。不以無道廢也。

黃震曰。太史公疑許由非夫子所稱不述。而首述伯夷。且悲其餓死爲舉。顏子盜廩。反覆嗟歎。卒歸之各從其志。幸伯夷得夫子而名益彰。其旨遠其文逸。意在言外。詠味無窮。然豈知其心之無怨耶。又曰。太史公載伯夷采薇之歌。爲之反覆嗟傷。遺音餘韻。把捉莫盡。君子謂此。太史公託以自傷。其情到而詞切。然非伯夷怨是用希之心也。故後世高其文而非其旨。
王直曰。史記後孟子而作。成書備而記事富。有以補前聞之缺遺。如子貢夷齊何人之問。孔子求仁得仁之對。倘不得史記以知二子嘗有遜國俱逃之事。則夫子不爲衛君之微意。子貢雖知之。後世學者何從而知之也。此史遷多見先秦古書所以爲有功于世也。又曰。國謀立君而已。逃去則必于山谷無人不可物色之所。然後能絕國人之思。首陽固其所也。然亦不久居于此。隨月移時。國人立君既定。則可以出矣。惟其遜國俱逃。事太卓絕。故後世稱之。指其所棲止之地曰。此仁人之迹也。夫是以首陽之傳久而不泯。何必曰死于此山而後見稱耶。又曰。武王方爲天下去賊虐。諫臣毒痛四海之封。而行師無紀。左右乃欲害敢諫之士。戮天下之父。死生之命。在左右與。太公耳。武王若罔聞之。萬一扶去之手。緩不及用。則是彼殺比干。此殺夷齊。其何以有辭于紂也。

孫謙曰。學者載籍極博。猶考信于六藝。言衆言淆。亂惟折衷于聖人也。詩書雖缺。然虞夏之文可知。堯舜禹之相授。傳天下若斯之難。而說者乃有許由務光等事。此何以稱焉。疑之也。余登箕山。乃有許由塚。則信然矣。孔子序列古之仁聖賢人。如太伯伯夷。詳矣。由光義至高。而文辭不少。概見此太史公所爲深惜之也。蓋其馳騁上下。數千載。欲求一節義最高者。嚴立于其首。有讓國之高節。如由光而不見述于聖人。是以無傳。此伯夷傳之所以作也。孔子言伯夷叔齊。怨是用希。求仁得仁。又何怨。余悲其意。醉賦詩可異焉。觀采薇之詩。則疑于怨矣。彼其事。述其歌。申之曰。怨耶非耶。其末褻引經傳之文。而卒歸之伯夷叔齊。雖賢。得夫子而名益彰。顏淵雖篤學。附驥尾而行。益顯。則巷之人。欲徂行立名。非附青雲之士。惡能施于後世。又所以深悲由光之無傳。而喜伯夷之遇夫子也。要其歸。則不出最初兩語。載籍極博。考信六藝而已。孰謂子長愛奇哉。

史記評林卷之六十一終

史記評林卷之六十二

管晏列傳第二

管仲夷吾者。潁上人也。案隱曰潁水名地理志云潁水出陽城漢有潁陽臨潁二縣今有潁上縣○正義曰韋昭云夷吾姬姓之穆管嚴仲之子敬少時常與鮑叔牙游。鮑叔知其賢。管仲貧困。常欺鮑叔。曰呂氏春秋管仲與鮑叔同賈南陽及分財利而管仲管欺鮑叔多自取鮑叔知其有母不以爲貧鮑叔終善遇之不以爲言已而鮑叔事齊。公子小白。管仲事公子糾。及小白立爲桓公。公子糾死。管仲囚焉。鮑叔遂進管仲。正義曰齊世家云鮑叔曰君將治齊則高僕與叔牙足矣且欲蒞王非管夷吾不可夷吾之居國國重不可失也桓公從之韋昭云鮑叔齊大夫姬姓之後鮑敬叔之子叔牙也管仲既用。任政於齊。正義曰管子云相齊以九惠之教一曰老二曰慈。三曰孤。四曰疾。五曰獨。六曰病。七曰通。八曰賑。九曰絕也。齊桓公以霸。九合諸侯。一匡天下。管仲

管仲夷吾者潁上人也云云楊慎曰此傳凡三段下爲之管仲出處之敘而管仲之取也皆以之結其君之我之功也遂之也次二鮑叔知管仲能知人也以之結其相也又次其相之我之知與之爲取之貨也才以之之結其謀才以之所以之結及小白立爲云云詳力二齊世家二見之

管仲曰吾始困時云云
史籍三傳雖云仲之功
於管仲之賢也本傳
於管仲之賢也本傳
於管仲之賢也本傳
於管仲之賢也本傳
於管仲之賢也本傳
於管仲之賢也本傳
於管仲之賢也本傳
於管仲之賢也本傳
於管仲之賢也本傳
於管仲之賢也本傳

子孫世世有封邑者
十餘世也明王
此子孫世也明王
此子孫世也明王
此子孫世也明王
此子孫世也明王
此子孫世也明王
此子孫世也明王
此子孫世也明王
此子孫世也明王
此子孫世也明王

故其得曰云云其稱
也所之也即管子
也所之也即管子
也所之也即管子
也所之也即管子
也所之也即管子
也所之也即管子
也所之也即管子
也所之也即管子
也所之也即管子
也所之也即管子

管仲之賢也本傳
管仲之賢也本傳
管仲之賢也本傳
管仲之賢也本傳
管仲之賢也本傳
管仲之賢也本傳
管仲之賢也本傳
管仲之賢也本傳
管仲之賢也本傳
管仲之賢也本傳

之謀也管仲曰吾始困時嘗與鮑叔賈分財利正義曰賈音古多自與
鮑叔不以我為貪知我貧也吾嘗為鮑叔謀事而更窮困鮑叔
不以我為愚知時有利不利也吾嘗三仕三見逐於君鮑叔不
以我為不肖知我不遭時也吾嘗三戰三走鮑叔不以我為怯
知我有老母也公子糾敗召忽死之吾幽囚受辱鮑叔不以我
為無恥知我不羞小節而恥功名不顯于天下也生我者父母
知我者鮑子也中節入此一段管語鮑叔既進管仲以身下之子孫世祿於齊有封
邑者十餘世索隱曰世本云莊仲山產敬仲夷吾夷吾產武子鳴鳴產桓子啓方啓方
產成子孺孺產壯子盧盧產驪子其夷其夷產襄子武武產景子耐步耐
步產微常為名大夫天下不多管仲之賢而多鮑叔能知人也管仲
既任政相齊正義曰國語云齊桓公使鮑叔為相辭曰臣之不若夷吾者五寬惠柔民
不若也治國家不失其柄不若也忠惠可結於百姓不若也制禮義可法

於四方不若也執轡鼓立於軍門使百姓加勇焉不若也以區區之齊在海濱正義曰齊國東濱海也通貨積財富
國疆兵與俗同好惡故其稱曰索隱曰是夷吾者書所稱管子者其書有此言今舉其大略也倉廩實而
知禮節衣食足而知榮辱上服度則六親固正義曰上之服御物有制度則六親堅固也六親謂
外祖父母一父母二姊妹三妻兄弟之子四從母四維不張國乃滅亡管子曰四維一日禮維一日義維一日廉維一日恥
易作行也俗之所欲因而予之俗之所否因而去之其為政也善
因禍而為福轉敗而為功賢輕重索隱曰輕重謂錢也管子有輕重篇慎權衡謂恥辱也權衡謂得失也有恥辱甚貴索隱曰謂怒薄舟臨南襲蔡管仲因
而伐楚責包茅不入貢於周室桓公實北征山戎而管仲因而
令燕修召公之政於柯之會正義曰今齊州東河也桓公欲背曹沫之約索隱曰沫

スナリ、大史公實下
因而字ヲ下シ、而
具サニ見タルノ勅
日、其事入ノ共ニ
所ナリ、故ニ其權略
著ハトス、論語八
三歸反玷、玷ハ土
以テ之ヲ爲ル、後
ト會シ、故ニ其權
レハ反玷トナリ、
之ヲ反玷トナリ、

晏平仲嬰者云云ハ、方
苞曰、晏子ノ弟亦人
共ニ見ル所ナリ、故ニ
本傳復列セズ、管仲
ト同ジ、而其人ト爲
ト總論スルハ、即其名
ヲ缺クニ顯ハス、故ニ
スレニ於テ之ヲ見
法ノ體化ナリ、晏子
ノ亦亦齊世家ニ詳カ
君語及之即危言語不及

之即危行ノ危ハ論語
問答包成曰厲ナリト
明徐字意曰、危言危行
ハ、蓋其期ニ立ツ後
此ノ如キナリ、
正義非ナリ、
越石父齊云云ハ、方苞
曰、管仲既ニ於テ鮑叔
能ヲ賞メテ知ルニ於テ
晏子傳ニ於テ其能避石
父及ビ御者ヲ知ルニ於
テ、三歸反玷正ニ食不
重肉、晏不衣帛ト反對
ス、此ニ顯テ文ノ義法
微トシテ具ハラザル無
キヲ知ルベシ、
解左陸績之、陸ハ、車
ノ副馬ナリ、左ノ副馬
ノ解キ之ヲ以テ石父ノ
罪ヲ贖ナリ、速カニ
贖ヲ救ナリ、攝衣冠
ヲ入レテ、成儀ヲ
ツクロナサリ、

音妹、左傳作曹劉。○管仲因、而信之。正義曰以劫許之歸魯侵地。諸侯由是歸齊。故曰：正義曰沫莫葛反。管仲因、而信之。正義曰以劫許之歸魯侵地。諸侯由是歸齊。故曰：知與之爲取政之寶也。以上第三段 索隱曰老子云將欲取之必固與之是知此爲政之所資也。管仲富擬於公室。有三歸反玷。正義曰三歸三姓女也。婦人謂嫁曰歸。齊人不以爲侈。管仲卒。正義曰括地志云管仲冢在青州臨淄縣南二十一里牛山之阿。說苑云齊桓公使管仲治國管仲對曰賤不能臨貴桓公以爲上卿而國不治曰何故管仲對曰貧不能使富桓公賜之齊市亂而國不治桓公曰何故對曰疏不能制桓公立以爲仲父齊國大安而遂霸天下孔子曰管仲之賢而不得此三權者亦不能使其君南面而稱伯。齊國遵其政常彊於諸侯。後百餘年而有晏子焉。

晏平仲嬰者、萊之夷維人也。劉向別錄曰萊者今東萊地也。○索隱曰名嬰平城三百里有夷安即晏平仲之邑漢爲夷安縣屬高密國應劭云故萊夷維邑。事齊靈公莊公景公。靈公名環莊公名光景公名。以節儉力行、重於齊。既相、齊食不重肉、妾不衣帛、其在朝、君語及之、即危言。正義曰謂己謙讓非云功能。語不及之、即危行。正義曰行下孟反謂君不知己增修業行

畏賢及也。國有道、即順命、無道、即衡命。正義曰衡秤也謂國無道則制秤量之可行即行。以此三世顯名於諸侯。越石父賢、在縲紲中。正義曰縲音力追反縲黑索也縲紲也。晏子春秋云晏子之晉至中牟觀弊冠反裘負芻息於途側晏子問曰何者對曰我石父也苟免讎凍爲入臣僕晏子解左縲之載與俱歸按此文小異也。晏子出、遭之塗、解左

縲、贖之、載歸、弗謝、入閨、久之、越石父請絕、晏子懼然。正義曰懼休轉反。注皇覽云晏子冢在臨淄城南當水南桓公塚西北括地志云齊桓公墓在青州臨淄縣東南二十三里鼎足山又云齊晏嬰塚在齊子城北門外晏子云吾生近市死豈易吾志乃葬故宅後人名曰清節里按恐皇攝衣冠謝曰嬰雖不仁、免子於厄、何子求絕之速、寬與乃管仲塚也。攝衣冠、謝曰、嬰雖不仁、免子於厄、何子求絕之速也。石父曰、不然、吾聞君子誦於不知己、而信於知己者。索隱曰信禮皆然申於知己謂以彼知我而我志獲申。方吾在縲紲中、彼不知我也。夫子既以感寤而贖我、是知己。知己、而無禮、固不如在縲紲之中。晏子於是延入爲上客。晏子爲齊相、出、其御之妻從門間而闚其夫、其夫爲相

御擁大蓋策駟馬。情狀妙甚意氣揚揚甚自得也。既而歸其妻請去。夫問其故。妻曰。晏子長不滿六尺。身相齊國。名顯諸侯。今者妾觀其出。志念深矣。常有以自下者。今子長八尺。乃為人僕御。然子之意。自以為足。妾是以求去也。其後夫自抑損。晏子怪而問之。御以實對。晏子薦以為大夫。

太史公曰。吾讀管氏牧民。山高乘馬。輕重九府。

劉向別錄曰。九府書。民間無有。山高一名。

形勢。○索隱曰。管仲著書篇名。九府蓋錢之府藏。其書論鑄錢之輕重。故云輕重九府。餘如別錄之說。○正義曰。七略云。管子十八篇在法家。及晏子春秋。索隱曰。嬰所著書名。晏子春秋。今其書有七十篇。故下云。其書世多有也。○正義曰。七略云。晏子春秋七篇在儒家。詳哉其言之也。既見其

著書。欲觀其行事。故次其傳。至其書。世多有之。是以不論論其

軼事。正義曰。軼音逸。管仲世所謂賢臣。然孔子小之。豈以為周道衰微。

至其書世多有之。是以不論論其軼事。六。方。復。曰。管晏。其書。及他。之。軼。事。二。見。ハ。ル。者。經。ス。ル。ニ。勝。フ。ヘ。カ。ラ。

六。故。二。獨。リ。其。軼。事。ヲ。論。ス。ル。ト。ハ。軼。ハ。逸。ト。通。ス。股。漏。セ。シ。本。迹。ナリ。孔子。小。之。論。語。ハ。附。載。ニ。子。曰。管。仲。之。器。小。故。ト。アリ。

桓公既賢而不勉之。至王乃稱霸哉。

正義曰。言管仲世所謂賢臣。孔子所。以小之者。蓋以為周道衰。桓公賢主。

管仲何不勸勉輔弼。至於帝王。乃自稱霸王哉。

語曰。將順其美。匡救其惡。故。上下能相親也。

管仲何不見之傳中不勸勉輔弼。至於帝王。乃自稱霸王哉。

管仲不見之傳中何不勸勉輔弼。至於帝王。乃自稱霸王哉。

管仲不見之傳中何不勸勉輔弼。至於帝王。乃自稱霸王哉。

管仲不見之傳中何不勸勉輔弼。至於帝王。乃自稱霸王哉。

管仲不見之傳中何不勸勉輔弼。至於帝王。乃自稱霸王哉。

管仲不見之傳中何不勸勉輔弼。至於帝王。乃自稱霸王哉。

管仲不見之傳中何不勸勉輔弼。至於帝王。乃自稱霸王哉。

終ノ如ニ感又、後陸君
子ノ句、自隱無名子將
隱矣、相隱又、老子ノ
子一段ニ至テハ、則其
苗裔ニ據テ以テ其ル
所ヲ究ル耳ト。
周守藏室之史也注、索
隱張神傳、一本曰若
摩二作ル、錢大昕曰若
摩下、索隱曰、史ト云
ヒ、未嘗テ老子ニ及
ズ、恐必摩二作ルト尤
モ誤ト。
蓬累而行ハ、明余有丁
曰蓬累ハ、蓬即積累
ス、云フ、今ソテ
若テ然ト、蓬ハ、
若テ、若ト同シ、竹
皮ナリ。

聃耳漫也故名耳字聃。今作字伯陽非正也。然老子號伯陽父此傳不稱。○正義曰。聃耳漫無輪也。神仙傳云。外字曰聃按字號也。疑老子耳漫無輪故世號曰聃。周守藏室之史也。索隱曰。按藏室史乃周藏書室之史也。又張湯傳老子為孔子適周。將問禮於老子。索隱曰。大戴。老子曰。子所言者。其人與骨皆已朽矣。獨其言在耳。且君子得其時則駕。不得其時則蓬累而行。索隱曰。刻氏云。蓬累猶扶持也。累音六水反。說者云。頭戴物。兩手扶之而行。謂之蓬累也。蓬蓋也。累隨也。以言若得明君。則駕車服冕。不遭時則自覆蓋相攜隨而去也。○正義曰。蓬沙破上轉蓬也。累轉行貌也。言君子得明主。則駕車而事。不遭時。則若蓬轉流移而行。可止則止也。蓬其狀若蓬蒿細葉。莖生於沙漠中。風吹則根斷。隨風轉移也。蓬蒿江東呼為斜蒿云。吾聞之。良賈深藏若虛。君子盛德容貌若愚。索隱曰。良賈謂善貨賈之人。賈音云。若虛。而君子之人。身有盛德。其容貌謙退。有若愚魯之人然。裕康高士傳亦載此語。文則小異。云。良賈深藏外形若虛。君子盛德容貌若不足也。去子之驕氣。與多欲。慤色與淫志。正義曰。慤。慤之容也。與淫。欲之志。皆無益於子之身。吾所以告子。若是而已。孔子去。謂弟子曰。鳥吾知其能飛。魚吾

道者可以言曰云云、
ハ、類ナリ、類ハ、約結ナ
リ、唐ハ、夫ニ、結ナリ、
鳥ヲ取ルルヲ、鳥魚
ハ、約約ニテ取ルル
ス、カ、龍ニ、五ノ、抽提
ス、カ、ザル、即、抽提
ス、カ、老子ヲ、即、能
其見ル所ノ、選ルル、以テ
物ノ、外ニ、選ルル、以テ
ナリト。

莫知其所終ハ、方苞曰、
老子モト周後フルヲ、以
テ、身ノ、選ルル、去リ、
其終ル所ヲ知ルルヲ、
而テ世人遊ニ以テ、神仙
者流ト爲ス、ナリト、注
畢具書實ハ、錢大昕曰、
且、神遊ヲ、ハ、即、神遊
ナリト、索隱注云、
百餘ハ、胡麻ナリ、能年
十、遊ルル者ナリ。

知其能游獸吾知其能走走者可以為罔游者可以為綸飛者
可以為矰至於龍吾不能知其乘風雲而上天吾今日見老子
其猶龍邪老子修道德其學以自隱無名為務居周久之見周
之衰迺遂去至關。正義曰。抱朴子云。老子西游。遇關令尹喜於散關。為喜著道德經
南五十二里函谷關。在陝州桃林縣西南十二里。關令尹喜曰。子將隱矣。彊為我著書。索隱曰。李
錦云。尹喜要老子。留作此篇。而灌浩以尹喜又
為散關令是也。○正義曰。彊。其兩反。為于偽反。於是老子迺著書上下篇。言道
德之意。五千餘言而去。莫知其所終。列仙傳曰。關令尹喜者。周大夫也。善
知老子西游。喜先見其氣。知真人當過。候物色而迹之。果得老子。老子亦知其奇。為著書與老
子俱之。流沙之西。服其勝實。莫知其所終。亦著書九篇。名關令子。○索隱曰。列仙傳是劉向所
記物色而迹。謂觀其氣物有異色。而尋迹之。又案列異傳。老子
西游。關令尹喜。見有紫氣浮關。而老子果乘青牛而過也。或曰。老萊子亦楚人
也。正義曰。太史公疑老子。或是老萊子。故書之列仙傳云。老萊子。楚人。當時世亂。逃世耕於
蒙山之陽。堯腹為黿。遂當為室。杖木為牀。著艾為席。蘗艾為食。巖山播種。五穀。楚王至門

亢桑子之屬、其徒所
曰、亢桑即庚桑、其
亢音剛、庚ト聲相近

然其屬、皆謂解、方復
曰、屬、連屬、リ、書
ハ文字ナリ、莊子、文
己ノ意ヲ以テ二字ヲ連
合シ、而シテ他書ニ見
ザル者多シ、所謂華
ク音チ屬スルナリ、應
ハ屬ナリ、辭ト事トナ
シテ相附麗セシムルナ
リ。
然當世、皆不能自解免
也、當時ノ宿儒碩學
ト雖モ、自ラ辯解シテ
免ル、能ハルナリ、
洗滌ハ水ノ深廣ナル程
ナリ、是以上上ハ其
學ヲ致シ、下ハ其事ヲ
致ス。
子獨不見郊祭之犧牛乎
云云、然然ハ天地ヲ祭

ルナリ、犧ハけいに儀
ナリ、郊祭ニ用フルに儀
牛ハ之ヲ數ニ用フル儀
シテ、衣スルニ文飾ニ
ル衣ヲ以テス、其トハ
祭事、如クナレド、
太廟ニ入テ祭則ニ道フ
時ハ、祭ノ際、下ニ立
生テ全クセント欲スル
モ得ザルナリ、人ノ仕
官スルモ、是ノ如キニ唯
ヘシナリ。

申子之學本黃老而主
刑名、刑名、治王也
盛曰、刑ハ刑罰、刑ニ
通カス、刑名猶名實ト
言フ如シ、故ニ其體云
申子學黃老之名實ト

胠音祛、亦有音去、胠音去、劫反。○正義曰。胠音丘、魚反、胠音苦、頰反。胠、開也。胠、箱類也。此
莊子三篇名、皆經毀自古、聖君賢臣孔子之徒、營求名譽、咸以喪身、非抱素任真之道也。
詆訛、孔子之徒。索隱曰。詆音邸、訛音營。以明老子之術、畏累虛、亢桑

子之屬、皆空語、無事實。索隱曰。按莊子。畏累虛、篇名也。卽老弟弟子畏累、鄒氏畏

東萊也。亢音庚、亢桑子。王劭本作庚桑、司馬彪云。庚桑楚人姓名。○正義曰。莊子云。庚桑楚者

老子弟子。北居畏累之山。成瑨云。山在魯。亦云在深州。此篇寄庚桑楚以明至人之德。衛生之

經若稿木無情、死灰無心、禍福不至、惡有入災、言莊子雜篇庚桑楚已下、皆空設言語、無有實事也。然善屬書、離辭。正義曰。屬音燭、離

也。指事類情、用剝削儒墨。正義曰。剝、正、反、剝猶攻擊也。雖當世宿學、不能自解

免也。其言洗滌、自恣、以適己。索隱曰。洗滌音汪洋、二字又音晃、故自王

公大人不能器之。楚威王聞莊周賢。正義曰。威王當周顯王三十年。使使厚幣、迎

之、許以爲相。莊周笑、謂楚使者曰。千金重利、卿相尊位也。子獨

不見郊祭之犧牛乎。養食之數歲、衣以文繡、以入太廟、當是之

時、雖欲爲孤豚、豈可得乎。索隱曰。孤、小也。特也。願爲小豚、不可得也。○正義曰。子

亟去、亟猶急也。無汚我。烏故反。我寧游戲、汚瀆之中、自快。索隱曰。汚瀆音

烏讀、瀆汚。無爲有國者所羈、終身不仕、以快吾志焉。正義曰。莊子云。莊

之小渠也。楚王使大夫往曰。願以境內累莊子、持竿不顧曰。吾聞楚有神龜、死三千歲矣、巾箠藏之廟堂

之上、此龜寧死爲胠骨而貴乎。寧生曳尾塗中乎。大夫曰。寧生曳尾塗中。莊子曰。往矣。吾將曳

尾於塗中、與此傳不同也。申不害者、京人也。索隱曰。申子名不害。案別錄云。京、今河南京縣也。正義

之賤臣、學術以干韓昭侯。索隱曰。術、卽刑名法術。昭侯用爲相、內修政教、外

應諸侯。十五年終、申子之身、國治、兵彊、無侵韓者。索隱曰。王劭按紀

寇屢交、異乎此言。申子之學、本於黃老、而主刑名著書、二篇號曰申子。劉向

曰。今民間所有上下二篇、中書六篇、皆合二篇、已備。過太史公所記也。正義曰。阮孝緒七略云

申子三卷也。

又非吾師之難、蓋非、
又非吾師之難、蓋非、
又非吾師之難、蓋非、
又非吾師之難、蓋非、

詞理能盡說已之情。凡說之難。在知所說之心。可以吾說當之。索隱曰：此雖是難。尚非極難。凡說之難。在知所說之心。可以吾說當之。劉氏云：關說之難。正在於此也。按說之心者。謂入君之心也。言以入臣。疎末射。尊重之意。實賤隔絕。旨趣難知。自非高識。莫近。幾會。故曰說之難也。乃須審明人主之意。必以說合其情。故云吾說當之也。○正義曰：前者三說。並未為難。凡說之難者。正在於此。言深辨。知前人意。可以吾說當之。關與前人心會說。則行。乃是難矣。所說出於為名高者也。而說之以厚利。則見下節。而遇卑賤。必棄遠矣。索隱曰：謂所本出欲立高名者也。說臣乃陳厚利。是其見下節也。既不會高情。故遇卑賤。必棄遠矣。劉氏云：稽古。義黃。祖述。堯舜。是為名高也。所說出於厚利者也。而說之以名高。則見無心。而遠事情。必不收矣。索隱曰：亦謂所說利。而說臣乃陳名高之節。則是說者無心。遠於我之事情。必不收用也。故劉氏云：若秦孝公志於強國。而商鞅說以帝王。故怒而不用也。所說實為厚利。而顯為名高者也。索隱曰：韓子實字作陰。顯者。陽也。謂其君實為厚利。而詐作欲為名高之節也。○正義曰：前人必欲厚利。詐慕名高。則陽收其說實。疎遠。而說之以名高。則陽收其身。而實疏之。若說之以厚利。則陰用其言。而顯棄其身。索隱曰：謂若下文云：鄭武公陰欲伐胡。而關其思極險深。計雖知說當終遭顯棄也。○正義曰：前人好利厚。詐慕名

未必其身危之也云云
未必其身危之也云云
未必其身危之也云云

高說之以厚利。則陰用說者之言。此之不可不知也。夫事以密成。語以泄。而顯不收其身。說士不可不察。敗。未必其身泄之也。而語及其所匿之事。正義曰：事多相類。語言或說其相類之事。前人覺悟便成。身危也。如是者身危。貴人有過端。而說者明言善議。以推其惡者。周澤未溼也。而語極知。正義曰：美善之議。以推人主之惡。則身危。周澤未溼也。而語極知。濕窮滯也。人臣事君。未滿周至之恩澤。而說事。說行而有功。則德亡。說不行而有敗。則見疑。如是者身危。夫貴人得計。而欲自以為功。說者與知焉。則身危。索隱曰：謂人臣事上。其道未合。至周之恩。未沾溼於下。而輒吐誠極知其道。說有功則其德亦亡。亡。無也。韓子作則見忘。然見忘勝於德亡也。又若說不行而有敗。則見疑。如是者身危。此惡意未深。輒評時政。不為所信。更致嫌疑。若下文所云：鄉父人以牆。有盜。卻為見疑。即其類也。○正義曰：說事不行。或行有敗。壞則必致。夫貴人得計。而欲自以為功。說者與知焉。則身危。若此者身危也。

與知焉。則身危。索隱曰：謂人主明有所出事。乃自以為功。而說者與知。則以為功。功說者知前發其蹤跡。身必危亡。彼顯有所出事。適自以為也。故說者與知焉。則身危。索隱曰：謂人主明有所出事。乃自以為功。而說者與知。則以為功。故身危。○正義曰：人主明有所出事。乃以有所營為說者。預知其計。而

アリ、遊談スル所アリ、
テ、託スルニ他故ヲ以
テ、而テ説者深ク其
事ヲ知ルナリ。

故曰與之論大人則以為
閒已注乃為刺譏則與
非子虛解之ヲ引キ、
下之字アリ。

論其所愛則以為借資、
方苞曰、資ヲ愛スル所
ニ借ルト為スナリ。

汎濫博文則多而久之
ハ、發推歷曰、其多ヲ
取ワテ其久ニ推ムナリ
ト、欲非子米爾博辯用
以爲多而文之作用ル
健大府曰、天官書ニ、
凌雜米鹽、正義云、米
鹽和雜也ト、韓非子語
注云、博ク細雜ノ物ヲ
合セテ、取ニ之ニ交ル
ト謂フ、爾廣折曰、案
ニ、交久二字皆誤、

大忠無所拂辭併無所
擊排ハ、方苞曰、大忠
擊背、皆説フ所ノ人ヲ
信フ其忠
節ト爲セバ、則之ニ應
ズル等ノ如ク、而テ辭

說者身 疆之以其所必不爲。索隱曰劉氏云若項羽本紀必欲衣錦東歸而說者
亡危。反人主必不欲有爲。止之以其所不能已者身危。索隱曰劉氏云若漢景帝
而說者疆令爲之。欲止之竟不從其言後遂下獄也。○正義 故曰與之論大人則以為閒已。正
曰。人主已營爲而說者疆止之者身危。與之論細人則以為鬻權。索隱曰韓子粥權
爲竊己之事情乃爲刺譏也。○正義 論其所愛則以為借資。正義
曰。閉音紀寬反。說彼大人之短以爲竊己之事情乃爲刺譏也。○正義 論其所愛則以為借資。正義
曰。閉音紀寬反。說彼大人之短以爲竊己之事情乃爲刺譏也。○正義 論其所愛則以為借資。正義

其辭則不知而屈之。索隱曰謂人主意在文華而說者但徑捷省略其辭。汎濫
博文則多而久之。索隱曰謂人主志在簡要而說者務於浮辭汎濫博涉文華則
句也。言浮説廣陳必多詞。君上嫌其多迂誕文而無當。○正義曰汎濫博涉文華則
理時乃永久人主疲倦。順事陳意則曰怯懦而不盡。正義曰儒音乃亂反
意則或怯懦而慮事廣肆則曰草野而倨侮。正義曰草野猶鄙陋也廣陳言
不盡事情也。詞多有鄙陋乃成倨侮慢。

此說之難不可不知也。凡說之務在知飾所說之所敬而滅其
所醜。索隱曰所說謂所說之主也飾其所敬者說士當知人主之所敬而時以文
飾之滅其所醜謂人主有所避諱而醜之遊說者當滅其事端而不言也。彼自
知其計則無以其失窮之。正義曰前人自知其失誤說士
無以失誤窮極之方爲訕上也。自勇其斷則
無以其敵怒之。索隱曰謂人主自勇其斷說士無以己意而攻閉之是以卑下之談
爲是說者以乙破之乙之自多其力則無以其難概之。索隱曰概猶格也劉
趙白起苦說其難遂己之心拒格君上。規異事與同計譽異人與同行者則
以飾之無傷也。正義曰劉伯莊云貴人與甲同計與
乙同行者說士陳言無傷甲乙也。有與同失者則明飾
其無失也。索隱曰案上文言人主規事與人與甲同計同行今說者之詞不得傷於同計
○正義曰人主與甲同失說者文飾甲之無失。大忠無所拂辭。索隱曰拂音佛大忠志在匡君於善君初不
於君悟言無所擊排。索隱曰謂大忠說諫之詞本欲歸於安人與
迺後申其辯也。化亦無別有所擊射排按韓子作擊靡。

此說之難不可不知也。凡說之務在知飾所說之所敬而滅其
所醜。索隱曰所說謂所說之主也飾其所敬者說士當知人主之所敬而時以文
飾之滅其所醜謂人主有所避諱而醜之遊說者當滅其事端而不言也。彼自
知其計則無以其失窮之。正義曰前人自知其失誤說士
無以失誤窮極之方爲訕上也。自勇其斷則
無以其敵怒之。索隱曰謂人主自勇其斷說士無以己意而攻閉之是以卑下之談
爲是說者以乙破之乙之自多其力則無以其難概之。索隱曰概猶格也劉
趙白起苦說其難遂己之心拒格君上。規異事與同計譽異人與同行者則
以飾之無傷也。正義曰劉伯莊云貴人與甲同計與
乙同行者說士陳言無傷甲乙也。有與同失者則明飾
其無失也。索隱曰案上文言人主規事與人與甲同計同行今說者之詞不得傷於同計
○正義曰人主與甲同失說者文飾甲之無失。大忠無所拂辭。索隱曰拂音佛大忠志在匡君於善君初不
於君悟言無所擊排。索隱曰謂大忠說諫之詞本欲歸於安人與
迺後申其辯也。化亦無別有所擊射排按韓子作擊靡。

抄所ナク、彼自ラ獨
伍リト言ヘバ、則其
理隨テ或ムルナキ也ト。

直指是非以飾其身ハ、
方布日、飾當ニ飾ニ作
ルベシ、直ニ是非ヲ指
シテ、以テ其君身ヲ匡
飾スルヲ謂フト、飾ハ
正ナリ。

如此其汗也ノ下、韓非
子ニ、今ハ以香膏ニ爲奉
飾ニ而可以信用而取
信ニ、今ハ句アリ、又取テ
取ニ作ル、則解シ得ン。

世文結曰、仕ハ士ト通
ズト、則士ノ取ヅル
果大亡其財ハ、韓非子
萬注云、此夕發至ル、
故ニ大ニ亡ト。

胡兄弟之國也、陸大所
曰、鄭、魏、魏、胡ハ諸
姓ニト、胡、魏、魏、
而兄弟ト云フ者、兄
弟ノ異姓ヲ兼テ之ヲ言
フ、胡起言子問爲正
云、胡、要ノ父正ニ於
テ、之ヲ謂テ兄弟ト爲
スナ得ト。

彌子矯駕君車、矯ハ詐
ナリ、託ナリ、詐リテ
事ニ託シテ、君ノ車ニ
乘リシナリ。

知焉。此所以親近不疑。正義曰拂悟當爲佛忤古字假借耳佛遠也忤逆也言大
忠之事擬安民興化事在匡弼君初亦不擊忤乃後周澤
所以親近而不見疑是知盡之難也。此句屬下文
徐廣曰知一作得難一作辭○索隱
曰謂人臣盡知事上之道難也韓子

得曠日彌久而周澤既
明計利害以致其功直指是非以飾其身以此相持此說之成
也。正義曰夫知盡之難則君臣道合故得曠日彌久而周澤既溥深計而君不疑與君交爭
而不罪而得明計國之利害以致其功直指是非任爵祿於身以此君臣相執持此說之
成。伊尹爲庖。正義曰殷本紀云乃爲有莘氏媵臣百里奚爲虜。正義曰晉世家
云製滅虞公及

皆所由于其上也。故此二子者皆聖人也猶不能無
役身而涉世如此其汗也。正義曰汗音烏則非能仕之所設也。索隱
曰韓

亦云暮而果大亡其財其家甚知其子而疑鄰人之父。正義曰其
子鄰父說
皆當矣而切見疑。昔者鄭武公欲伐胡正義曰世本云胡歸姓也括地
志云胡城在豫州鄆城縣界迺以

其子妻之因問羣臣曰吾欲用兵誰可伐者關其思曰胡可伐
迺戮關其思曰胡兄弟之國也子言伐之何也胡君聞之以鄭
爲親己而不備鄭人襲胡取之此二說者其知皆當矣。正義
曰當

當浪然而甚者爲戮薄者見疑非知之難也處知則難矣昔者彌
子瑕見愛於衛君衛國之法竊駕君車者罪至刑既而彌子之
母病人聞往夜告之彌子矯駕君車而出君聞之而賢之曰孝
哉爲母之故而犯刑罪與君游果園彌子食桃而甘不盡而奉
君君曰愛我哉忘其口而念我及彌子色衰而愛弛得罪於君

子作能士之所恥也。宋有富人天雨牆壞其子曰不築且有盜其鄰人之父

可擾狎而騎也、擾ハ馴
ナリ、馴ナリ、左傳昭
二十九年ニ、董交實
好、乃擾、番風注ニ
禮ノ欲スル所ニ則テ、
之ヲ齊美ストアリ。

君曰。是嘗矯駕吾車。又嘗食我一本作桃。故彌子之行。未變於
初也。前見賢而後獲罪者。愛憎之至變也。故有愛於主。則知當
而加親。見憎於主。則罪當。而加疏。故諫說之士。不可不察。愛憎
之主。而後說之矣。夫龍之爲蟲也。正義曰龍蟲類也。故言龍之爲蟲。可擾狎而騎也。
然其喉下有逆鱗。徑尺。人有嬰之。則必殺人。人主亦有逆鱗。說
之者。能無嬰人主之逆鱗。則幾矣。案隱曰幾。庶也。謂庶幾於善諫說。○正
義曰說者能不犯人主逆鱗。則庶幾矣。
人或傳其書。至秦。秦王見孤憤五蠹之書。曰。嗟乎。寡人得見此
人。與之游。死不恨矣。李斯曰。此韓非之所著書也。秦因急攻韓。
韓王始不用非。及急。迺遣非使秦。秦王悅之。未信用。李斯姚賈
害之。毀之。曰。韓非韓之諸公子也。今王欲并諸侯。非終爲韓。不

不如以過法誅之。過ハ
即意ナリ。

虛無因應ハ、陛下ノ何
雄駭ノ論ニ見エ。故者
實辭稱微妙難識ハ、
方苞曰。說シテ微妙ニシテ
識シテ難シト爲スナリ。
莊子散道推論ハ、方苞曰。散
道推論ナリ。老子論スル所ノ
道徳ノ意ハ、推シテハ、行ハ
布クナリ。

爲秦。此人之情也。今王不用。久而歸之。此自遺患也。不如以
過法誅之。秦王以爲然。下吏治非。李斯使人遺非藥。使自殺。韓
非欲自陳。不得見。秦王後悔之。使人赦之。非已死矣。戰國策曰秦
王封姚賈千戶。以爲上卿。韓非短之曰。賈梁益。門子。蓋於梁。臣於趙。而逐取。世盛門子。梁大盜。趙逐臣。與同社稷之計。非所以勵羣臣也。王召賈問之。賈答云云。迺誅韓非也。申子韓
子。皆著書。傳於後世。學者多有。余獨悲韓子爲說難。而不能自
脫耳。

太史公曰。老子所貴道。虛無因應。變化於無爲。故著書辭稱微
妙難識。莊子散道德。放論要亦歸之自然。申子卑卑。自勉勵
之意也。施
之於名實。韓子引繩墨。切事情。明是非。其極慘。礲少恩。礲。胡革反。
用法慘急。而鞠礲。皆原於道德之意。而老子深遠矣。

稱權少異。雖入刻十
皆原於道德之遠而老子
深遠矣。錢大昕曰。申
韓ノ學。皆曰老子ニ
本アリト謂フ。而實
ハ老子ノ言ナラフ。太
史公自序ニ。其父ノ
言ニ。道徳。名法ト
各一家ト爲ス。而此
其ナルヲ言フナリ。説
者。其同ニ似テ之ヲ糅
合ス。其非當ニ老子ト傳
同クスベカクザルヲ誤
ル。蓋未ダ史公ノ微旨
ヲ論ラズ。

索隱述贊曰。伯陽立教。清淨無爲。道尊東魯。迹竄西垂。莊蒙栩栩。申害卑卑。刑名有術。說難
極。知悲彼周防。終亡李斯。
蘇子古史曰。孔子以仁義教人。而以禮樂治天下。仁義禮樂之變無窮。而其稱曰。吾道一以
貫之。苟無以貫之。則因變而行義。必有支離而不合者矣。易曰。形而上者謂之道。形而下者
謂之器。語曰。君子上達。小人下達。而孔子自謂下學。而上達者。灑掃應對詩書禮樂。皆所從
學也。而君子由是以達其道。小人由是以得其器。達其道。故萬變而致一。得其器。故有守而
不蕩。此孔子之所以兩得之也。蓋孔子之爲人也。周故示人以器。而晦其道。使達者有見而
未達者不眩也。老子之自爲也。深故示人以道。而略其器。使達者易入。而不恤其未達也。要
道。愈遠。而立於世之表。指天下之所不見。以示人。而不愛其不悟。曰。要將有悟者。其說又老
氏之眇也。老子八十一章。予嘗爲之解。其說如此。○子問之。吾兄子瞻曰。太史公言莊子作
漁父。盜賊。胼胝。以詆訾孔子之徒。以明老子之術。此知莊子之憂者。予以爲莊子蓋助孔子作
者。要不可以爲法耳。楚公子微服出亡。而門者難之。其僕操篋而罵曰。隸也不力。門者出之。
事固有倒行而逆施者。以僕爲不愛公子。則不可以爲事。公子之法。亦不可。故莊子之言。皆
文予而實不予。陽擠而陰助之。其正言也。蓋無幾。至於其身。皆以爲一家。而孔子不
與。其尊之也。至矣。○商鞅以法治秦。而申不害以術治韓。蓋令著於官府。刑罰必於民心。實
存乎慎法。罰加乎奸。令所謂法也。因任而授官。循名而責實。操生殺之柄。課羣臣之能。所謂
術也。法者。臣之所師。而術者。君之所執也。及韓非之學。並取申商而兼用法之所止。雖有盡
智不用也。術之所操。雖有父子不信也。使人君據法術之自然。而無所復爲。此申韓所謂老

子之道。而實非也。

黃震曰。按老子與韓非同傳。論者非之。然余觀太史公之旨。豈苟然哉。予老子曰。無
爲自化。于莊子曰。其要本歸于老子之言。于申不害曰。本于黃老。而主刑名。于韓非曰。
喜刑名法術之學。而其歸本于黃老。夫無爲自化。去刑名。固霄壤也。然聖人所以納天
下于善者。政教也。世非太古矣。無爲安得自化。政教不施。則其弊不得不出于刑名。此
太史公自源徂流。詳著之爲後世戒也。
柯維騏曰。虛無體也。因應用也。因應者。因而應之也。司馬談論道家。以虛無爲本。以因
循爲用。又云。虛者。道之常也。因者。君之綱也。卽史所論老子之說也。張文譜謂史遷將
老子與申韓同傳。非是。強安排其源如此也。真德秀謂老子將欲翁之。必固張之。將欲
奪之。必固與之。此陰謀之言也。陰謀之術。則申商韓非之所本也。
又曰。按太史公自序云。作老子韓非列傳。其莊子申子特附載之耳。凡世家列傳。附載
者極多。如陳世家附王陵。如楚元王世家附趙王。如張儀傳附陳軫。犀首。如樞里甘
茂傳附甘羅。如孟子荀卿傳附淳于髡。慎到。騶奭。如廉頗藺相如傳附趙奢。李牧。如韓
王信。盧縮傳附陳豨。如樊鄴傳附滕公灌嬰。如傅靳傳附周縱。如張丞相傳附周昌。任
敖。申屠嘉。如鄒生。陸賈傳附朱建。如萬石張敖傳附衛籍。直不疑。周文。如平津傳附主
父偃。如魏其武安傳附灌夫。如曹劌。豫讓傳附專諸。荊軻。其論贊或專或兼。無定體也。
凌約言曰。太史公作史。以老子與韓非同傳。世或疑之。今觀韓非書中。解老。喻老。二卷。
皆所以明老子也。故太史公贊中。有皆原于道德之意。老子深遠之句。則知韓非皆出
于老子。

史記評林卷之六十三終

EO

史記評林卷之六十四

四一

司馬穰苴列傳第四

司馬穰苴者。田完之苗裔也。

索隱曰穰苴田氏之族爲大司馬故曰司馬穰苴也。正義曰穰音若羊反苴音子徐反曰穰

苴爲司馬齊景公時。晉伐阿甄。而燕侵河上。

索隱曰阿甄皆齊邑。晉太康地。記曰阿卽東阿也。地理志云甄

城縣屬濟河。正義曰河上黃河南岸地。卽滄德二州北界。齊師敗績。景公患之。晏嬰乃薦田穰苴曰。

穰苴雖田氏庶孽。然其人文能附衆。武能威敵。願君試之。景公

召穰苴。與語兵事。大說之。以爲將軍。

索隱曰謂命之爲將。以將軍也。將音

十萬之師。無將軍則亂六國時有此言。將兵。扞燕晉之師。穰苴曰。臣素卑賤。君擢之。閭

伍之中。加之大夫之上。士卒未附。百姓不信。人微權輕。願得君

穰苴雖田氏庶孽。亦庶子也。子

入行軍勒兵、行入逐ナ
リ、勒ハ馬ノくつワナ
リ、馬ヲ制御スル所以
ノ者、故ニ倍リテ兵ヲ
整フルヲ謂フ。

之寵臣國之所尊以監軍。乃可於是景公許之。使莊賈往。穰苴
既辭。與莊賈約曰。且日中會於軍門。索隱曰。按且日。謂明日。日中時期會於軍門。穰苴先
馳至軍。立表下漏待賈。索隱曰。立表謂立木爲表。以視日。景下漏謂下滴漏以知刻數也。賈素驕貴。以爲
將已之軍。而已爲監。不甚急。正義曰。已音紀。監甲暫反。親戚左右送之。留飲日
中。而賈不至。穰苴則仆表決漏。索隱曰。仆音赴。仆者臥其表也。決漏謂決去壺中漏水。以賈失期過日中故也。入
行軍勒兵。申明約束。約束既定。夕時莊賈乃至。穰苴曰。何後期
爲。賈謝曰。不佞大夫親戚送之。故留。穰苴曰。將受命之日。則忘
其家。臨軍約束。則忘其親。援枹鼓之急。則忘其身。索隱曰。援音袁。枹音浮。○正義曰。援謂鼓槌也。今敵國深侵。邦內騷動。士卒暴露於境。君寢不安。席
食不甘。百姓之命。皆懸於君。何謂相送乎。召軍正。問曰。軍法

以狗三軍、狗ハ狗ト同
シ、トナト訓ス、誠
令シテ衆ヲ驅ムルヲ謂
フ。

乃斬其僕車之左駟馬之
左驂。或云。既ニ其僕
ヲ斬リ、又取駟ト駟馬
トヲ斬ルナリ、注釋
ハ狗ノ誤ナリ。

期而後至者。云何。對曰。當斬莊賈。使人馳報景公。請救。既往
未及。反於是遂斬莊賈。以狗三軍。三軍之士皆振慄。久之。景公
遣使者持節赦賈。馳入軍中。穰苴曰。將在軍。君令有所不受。魏武
帝曰。苟便於
事。不拘君命。
問軍正曰。軍中不馳。今使者馳。云何。正曰。當斬使者
大懼。穰苴曰。君之使不可殺之。乃斬其僕車之左駟馬之左驂。
以狗三軍。索隱曰。謂斬其使者僕車之左駟。又斬馬之左驂。以御者在左故也。遣使
者還報。然後行。士卒次舍。井竈飲食。問疾醫藥。身自拊循之。悉
取將軍之資糧。享士卒。身與士卒平分糧食。最比其羸弱者。正義
曰。比作界。必耳反。三日而後勒兵。病者皆求行。爭奮出爲之赴戰。晉師聞
之。爲罷去。燕師聞之。度水而解。正義曰。度黃河水。北去而解。於是追擊之。遂取

至齊會孫和因自立為齊
威王八代開國也
威王九代因齊十代田敬仲
世家三 太公孫和立為
齊侯十九年田和立為
子桓公十五年和卒
子威王十四年立為
齊威王十四年威王
此二威王侯立為
爾云ハザル開國
ルニ似たり。

太史公曰云云ハ、明道
極日、闕廓深遠ハ、兵

法ノ排讓ヲ以テ言フ、
亦ハ三代ノ兵也、雖
亦未ダ其國廓深遠ノ極
ヲ究クシ能ハズ、則司
馬兵法ノ闕廓深遠ノ文
也、亦其實ニ過ケルナ
リ、夫レ三代且餘リ、
況ナシ穰苴區タル小國
ノ爲ニ師ヲ行ル、何
ニテ乎、及テ二取
ヲテ、英ヲテ、少
實ニ過ケルナリ、則其

所亡封內故境。而引兵歸。未至國釋兵旅解約束誓盟而後入
邑。景公與諸大夫郊迎勞師成禮。然後反歸寢。既見穰苴尊爲
大司馬。田氏日以益尊於齊。已而大夫鮑氏高國之屬害之。譖
於景公。景公退穰苴。苴發疾而死。田乞田豹之徒。由此怨高國
等。索隱曰。田乞。田僖子。
豹亦僖子之族也。 其後及田常殺簡公。盡滅高子國子之族。至
常曾孫和。因自立爲齊威王。 索隱曰。此文誤也。當云田和自立。至其孫因。號爲
也。 用兵行威。大放穰苴之法。 齊威王。故世家云。田和自立號太公。其孫號威王。
正義曰。放。 而諸侯朝齊。齊威王使大
夫追論古者司馬兵法。而附穰苴於其中。因號曰司馬穰苴兵
法。

太史公曰。余讀司馬兵法。闕廓深遠。雖三代征伐。未能竟其義。

如其文也。亦少斐矣。 索隱曰。謂司馬法說行兵排讓有代之法。 若夫穰苴
區區爲小國行師。何暇及司馬兵法之揖讓乎。世既多司馬兵
法。以故不論著穰苴之列傳焉。

索隱述贊曰。燕侵河上。齊師敗績。嬰薦穰苴。武能成敵。斬賈以徇。三軍驚惕。我卒既彊。彼寇
退。璧法行。司馬實顯宗威。
蘇子古史曰。太史公爲司馬穰苴傳。言齊景公拔以爲將。遂以成功。歸爲大司馬。大夫高國
害之。譖而殺之。其言甚美。世皆信之。子以春秋左氏考之。未有燕晉伐齊者也。而戰國策稱
司馬穰苴執政者也。潛王殺之。故大臣不附。意者穰苴潛王之臣。嘗爲潛王御。燕晉而戰國
雜說。妄爲景公時耶。

史記評林卷之六十四終

史記評林卷之六十五

孫子吳起列傳第五

孫子武者齊人也。

正義曰魏武帝云孫子者齊人事於吳王闔閭爲吳將作兵法十三篇

以兵法見於吳王

闔廬闔廬曰子之十三篇。

正義曰七錄云孫子兵法三卷案十三篇爲上卷又有中下二卷

吾盡觀之矣。

可以小試勒兵乎。對曰可。闔廬曰可。試以婦人乎。曰可。於是許之。出宮中美女得百八十人。孫子分爲二隊。以王之寵姬二人

各爲隊長。

案隱曰隊徒對反長竹兩反

皆令持戟。令之曰。汝知而心與左右手

背乎。婦人曰知之。孫子曰前則視心。左視左手。右視右手。後即視背。婦人曰諾。約束既布。乃設鈇鉞。即三令五申之。於是鼓之。

汝知而心與左右手背乎ノ心ノ胸ナリ。

孫子曰前則視心云云。前左右後ハ、視令シテ。通退セシムルノ辭ナリ。前ト云ハ、則心ヲ視。前ト云ハ、則左

手ヲ腕ニトシテ、約束
既布ノ約束ハ、即此四
言ナリ。
即三合五申之。反覆
丁寧ニ致ス。左ノ放シ
放之右放之左、放シ
テ左右シ、其左右手ヲ
視シムルナリ。

寡人不顧下觀、蓋吳
王其愛姬ヲ殺スナクハ
憐ム

右婦人大笑。孫子曰：約束不明，申令不熟，將之罪也。復三令五
申而鼓之左，婦人復大笑。孫子曰：約束不明，申令不熟，將之罪
也。既已明而不加法者，吏士之罪也。乃欲斬左右隊長。吳王從
臺上觀，見且斬愛姬，大駭，趣使使下令曰：索隱曰：趣音促。念也。使音色吏反。寡人
已知將軍能用兵矣。寡人非此二姬，食不甘味，願勿斬也。孫子
曰：臣既已受命為將，將在軍，君命有所不受。遂斬隊長二人，以
徇。用其次為隊長。於是鼓之，婦人左右前後跪起，皆中規矩繩
墨，無敢出聲。於是孫子使使報王曰：兵既整齊，王可試下觀之。
唯王所欲用之，雖赴水火，猶可也。吳王曰：將軍罷休就舍，寡人
不願下觀。孫子曰：王徒好其言，不能用其實。於是闔廬知孫子

ナリ。
於是闔廬知孫子能用兵
ハ、闔廬國ヲ以テ、將
タル者、雖卒ナリテ、卒
可カラザルヲ知ルナ
リ。
西破彊楚人部云ハ、
吳世家ニ詳ナリ。
孫臏ハ、古昔刑別ヲ廢
トシテ、孫臏本名辟、
別セラルシヲ以テ、故
ニ呼ブ。臏ト爲ス。

忌數與齊諸公子馳逐重
射、明董曰：邪射
ハ、重ヲ以テ相射ルヲ
謂フ、即下ノ千金是ナ
リト。重入、隨物ナリ、
又案ズルニ、重射ハ、
連射ト云フ如キ歟。

能用兵。卒以為將，西破彊楚，入郢。北威齊晉，顯名諸侯。孫子與
有力焉。孫武既死。越絕書曰：吳縣巫門外大家孫武冢也。去縣十里。○索隱曰：越絕書子貢所著，恐非也。其書多記吳越亡後土地或後人所錄。○正義曰：七錄云：越絕十後百餘歲，有孫臏，臏生阿鄆之間。臏亦孫武之
後世子孫也。孫臏嘗與龐涓俱學兵法。索隱曰：臏頻忍反。龐皮江反。涓古立反。龐涓既
事魏，得為惠王將軍，而自以為能不及孫臏，乃陰使召孫臏。臏
至，龐涓恐其賢於己疾之，則以法刑斷其兩足，而黥之，欲隱勿
見。齊使者如梁，正義曰：今汴州。孫臏以刑徒，陰見說齊使，齊使以為奇，
竊載與之。齊將田忌善而客待之。忌數與齊諸公子馳逐重
射，孫子見其馬足不甚相遠，馬有上中下輩，於是孫子謂田忌
曰：君第重射。索隱曰：第且也。重射好射也。臣能令君勝。田忌信然之，與王及諸

及臨質、索隱曰賈猶對也將欲對射
孫子、實謂期非也
孫子、實謂期非也
孫子、實謂期非也
孫子、實謂期非也
孫子、實謂期非也
孫子、實謂期非也
孫子、實謂期非也
孫子、實謂期非也
孫子、實謂期非也
孫子、實謂期非也

夫解難亂紛糾者不控
捲、控捲、行捲、捲、即
解、解、解、解、解、解
解、解、解、解、解、解
解、解、解、解、解、解
解、解、解、解、解、解
解、解、解、解、解、解
解、解、解、解、解、解
解、解、解、解、解、解
解、解、解、解、解、解

此二句當二引
孫子之引
孫子之引
孫子之引
孫子之引
孫子之引
孫子之引
孫子之引
孫子之引
孫子之引

五十里而趣利者軍半至
五十里而趣利者軍半至
五十里而趣利者軍半至
五十里而趣利者軍半至
五十里而趣利者軍半至
五十里而趣利者軍半至
五十里而趣利者軍半至
五十里而趣利者軍半至
五十里而趣利者軍半至
五十里而趣利者軍半至

公子逐射千金。正義曰射音石隨及臨質。索隱曰賈猶對也將欲對射孫子

曰。今以君之下駟與彼上駟取君上駟與彼中駟取君中駟與

彼下駟既馳三輩畢而田忌一不勝而再勝卒得王千金於是

忌進孫子於威王威王問兵法遂以爲師其後魏伐趙趙急請

救於齊齊威王欲將孫臏臏辭謝曰刑餘之人不可於是乃以

田忌爲將而孫子爲師居輜車中坐爲計謀田忌欲引兵之趙

孫子曰夫解雜亂紛糾者不控捲。索隱曰謂事之雜亂紛糾也解雜亂紛糾

舉也劉氏云控。索隱曰音搏救謂救圍者當善搗解之無以手助

總捲縮非也。救闕者不搏捲。索隱曰音搏救謂救圍者當善搗解之無以手助

批亢擣虛。索隱曰批音白結反亢音苦浪反按批者相排批也音白滅反言敵人相亢

之欲令擊梁之虛也此當形格勢禁則自爲解耳。索隱曰謂若批其相亢擊擣

是舊語故孫子以言之也。形格勢禁則自爲解耳。索隱曰謂若批其相亢擊擣

止則彼自爲解兵也。今梁趙相攻輕兵銳卒必竭於外老弱罷於內君不若

引兵疾走大梁據其街路衝其方虛彼必釋趙而自救是我一

舉解趙之圍而收弊於魏也。索隱曰謂齊今引兵據大梁之衝是衝其方虛

忌從之魏果去邯鄲與齊戰於桂陵大破梁軍後十五年。索隱

劭按紀年梁惠王十七年齊田忌敗梁桂陵至二十七年十二月齊田盼敗梁馬陵計相去無十三歲也。魏與趙攻韓韓告急於齊

齊使田忌將而往直走大梁魏將龐涓聞之去韓而歸齊軍既

已過而西矣孫子謂田忌曰彼三晉之兵素悍勇而輕齊齊號

爲性善戰者因其勢而利導之兵法百里而趣利者蹶上將。魏

帝曰蹶猶挫也。○索隱曰蹶音巨月反。劉氏云蹶猶蹶。

五十里而趣利者軍半至。使齊軍入魏地爲

十萬竈。明日爲五萬竈。又明日爲三萬竈。龐涓行三日大喜曰

所がまじなり、日ニ之
士卒ノ遊亡ス如ク思
ハシメシナリ。

我固知齊軍怯入吾地三日士卒亡者過半矣乃棄其步軍與
其輕銳倍日并行逐之孫子度其行暮當至馬陵馬陵道狹而
旁多阻隘可伏兵乃斫大樹白而書之曰龐涓死于此樹之下
於是令齊軍能射者萬弩夾道而伏期日暮見火舉而俱發龐
涓果夜至斫木下見白書乃鑽火燭之讀其書未畢齊軍萬弩
俱發魏軍大亂相失龐涓自知智窮兵敗乃自剄曰遂成豎子
之名子諱龐齊因乘勝盡破其軍虜魏太子申以歸孫臏以此
名顯天下世傳其兵法

吳起者衛人也好用兵嘗學於曾子事魯君齊人攻魯魯欲將
吳起吳起取齊女爲妻而魯疑之吳起於是欲就名遂殺其妻

魯人或惡吳起之惡ハ、
爲各反ニシケ、アシク
トフナリ。

遂平曾子云云ハ、皆川
淇園曰、曾子是時置武
城ニ居ル、事孟子ニ見
ル、武城ハ魯地ト雖モ、
然モ魯ノ國都ニ非ズ、
起乃之魯ハ、魯ノ國都
ニ之キナリト。
魯兵法以事爲計ハ、董
仲舒曰、魯人之ク惡スル
者、必之ヲ恐ルベシ
アリ、用テベカラス。

以明不與齊也魯卒以爲將將而攻齊大破之魯人或惡吳起
曰起之爲人猜忍人也其少時家累千金游仕不遂遂破其家
鄉黨笑之吳起殺其謗己者三十餘人而東出衛郭門與其母
訣齧臂而盟曰起不爲卿相不復入衛遂事曾子居頃之其母
死起終不歸曾子薄之而與起絕起乃之魯學兵法以事魯君
魯君疑之起殺妻以求將夫魯小國而有戰勝之名則諸侯圖
魯矣且魯衛兄弟之國也而君用起則是棄衛魯君疑之謝吳
起吳起於是聞魏文侯賢欲事之文侯問李克曰吳起何如人
哉李克曰起貪而好色索隱曰王劭云此李克言吳起貪下文云魏文侯知起廉
惡能得士心又公叔之僕稱起爲人節廉豈前貪而後廉
何言之相反也今李克言起貪者起本家累千金破產求仕非實貪也蓋言貪者是貪榮名耳
故母死不赴殺妻將魯是也或者起未委質於魏猶有貪迹及其見用則盡廉能亦何異乎陳

魏襄王六年、漢高
宗法志二載三日之禮
狂二按良ナリト見ユ。

以吳起善用兵廉平盡能
得士心、著份曰李克
好、而此其廉平
好、而此其廉平
其性不立ニシテ、
而功行立ニト欲スル
ニ因リ、故ニ自ラ矯勉
スル耶ト。

平之爲人也。然用兵。司馬穰苴不能過也。於是魏文侯以爲將。擊秦。拔五城。起之爲將。與士卒最下者同衣食。臥不設席。行不騎乘。親裹贏糧。與士卒分勞苦。卒有病疽者。起爲吮之。索隱曰。吮音弋。糝反。又才糝反。卒母聞而哭之。人曰。子卒也。而將軍自吮其疽。何哭爲。母曰。非然也。往年吳公吮其父。其父戰不旋踵。遂死於敵。吳公今又吮其子。妾不知其死所矣。是以哭之。文侯以吳起善用兵。廉平盡能。得士心。乃以爲西河守。以拒秦韓。魏文侯既卒。起事其子武侯。武侯浮西河而下。中流顧而謂吳起曰。美哉乎山河之固。此魏國之寶也。起對曰。在德不在險。昔三苗氏左洞庭。右彭蠡。德義不修。禹滅之。夏桀之居左河濟。右泰華。伊闕在其南。羊腸在其北。

環曰。今河南城爲直之。皇甫謐曰。蓋關有羊腸阪在太原晉陽西北九十里。索隱曰。劉氏按。紂都朝歌。今孟山在其西。今言左則東邊別有孟門也。右太行。常山在其北。太行經其南。修政不德。武王殺之。由此觀之。在德不在險。若君不修德。舟中之人盡爲敵國也。揚子法言曰。美哉言乎。使起之用兵。每若斯。則太公何以加。詩。武侯曰。善。卽封吳起爲西河守。甚有聲名。魏置相。相田文。索隱曰。呂氏春秋作商文。吳起不悅。謂田文曰。請與子論功。可乎。田文曰。可。起曰。將三軍。使士卒樂死。敵國不敢謀。子孰與起。文曰。不如子。起曰。治百官。親萬民。實府庫。子孰與起。文曰。不如子。起曰。守西河。而秦兵不敢東鄉。韓趙賓從。子孰與起。文曰。不如子。起曰。此三者皆出吾下。而位加吾上。何也。文曰。主少國疑。大臣未附。百姓不信。方是之時。屬之於子。

試延以公主之延、延
君因召吳起而與師云
云、田叔起、共三已
公家三歸、田叔起
賤スル、其セシムル
ナリ。

乎。屬之於我乎。起默然良久。曰。屬之子矣。文曰。此乃吾所以居
子之上也。吳起乃自知弗如。田文曰。田文既死。公叔爲相。索隱曰韓之公族。
尙。魏公主而害吳起。公叔之僕曰。起易去也。公叔曰。奈何。其僕
曰。吳起爲人。節廉而自喜名也。君因先與武侯言。曰。夫吳起賢
人也。而侯之國小。又與彊秦壤界。臣竊恐起之無畱心也。武侯
卽曰。奈何。君因謂武侯曰。試延以公主起。有畱心。則必受之。無
畱心。則必辭矣。以此卜之。君因召吳起而與歸。卽令公主怒。而
輕君。吳起見公主之賤君也。漢書注此則必辭。於是吳起見公主之賤。魏
相果辭。魏武侯疑之。而弗信也。吳起懼得罪。遂去。卽之楚。
楚悼王素聞起賢。至則相楚。明法。審令。捐不急之官。廢公族疏

破曉說之。不從橫者。從
戰。卽游取ナリ。從
ハ縦ニシテ。たてナリ。
通鑑胡三注。二南北ナ
連テト。爲。西向シ
テ。以。泰。横。ハ。山東ナ
テ。西向シ。泰。二事ヘシ
ムル。越。百越。ハ。一。種
南。平。越。百越。ハ。一。種
二。種。ザル。ナリ。猶。百
蠻。ト。曰。フ。如。シ。

遠者。以撫養戰鬪之士。要在彊兵。破馳說之言。從橫者。於是南
平百越。北并陳蔡。卻三晉。西伐秦。諸侯患楚之彊。故楚之貴戚
盡欲害吳起。及悼王死。宗室大臣作亂。而攻吳起。吳起走之。王
尸而伏之。擊起之徒。因射刺吳起。并中悼王。索隱曰。楚系家悼王名疑。悼王既
葬。太子立。索隱曰。肅王。王。威也。乃使令尹盡誅射吳起。而并中王尸者。坐射
起。而夷宗。死者七十餘家。

太史公曰。云。方苞曰。
孫武吳起。ナ。論スル。其
サ。二。節。アリ。關。陳。楚。ナ
破。リ。節。ニ。入。リ。北。齊。營
ナ。威。ス。武。興。リ。テ。力。ア
リ。楚。悼。王。百。越。テ。平
シ。北。齊。楚。ナ。併。セ。三。晉
ヲ。御。シ。西。秦。ヲ。伐。テ。平
シ。テ。起。テ。相。ト。ス。卽。チ
武。下。起。テ。戰。功。必。シ
ト。言。ハ。ス。故。二。虛。語。ナ
ク。テ。總。括。シ。而。テ。收。メ

太史公曰。世俗所稱師旅。皆道孫子十三篇。吳起兵法世多有
故弗論。論其行事所施設者。語曰。能行之者未必能言。能言之
者未必能行。孫子籌策。龐涓明矣。然不能蚤救患於被刑。吳起
說武侯以形勢不如德。然行之於楚。以刻暴少恩。亡其軀。悲夫。

索隱述贊曰孫子兵法。一十三篇。美人既斬。良將得焉。則孫臏。腳籌策。龐涓。吳起。和魏。西河。稱賢。慘徵。事楚。死後。置襮。

此所。按別事ナリ。孫臏。在。此。田忌ノ容。兵。子。主。者。皆。田忌也。故。三。辭。二。其。兵。謀。者。ス。此。虛。實。ノ。法。ナリ。武。ト。起。ト。書。ハ。世。多。ク。有。リ。論。ニ。於。テ。之。見。ハ。ジ。臏。ノ。書。ハ。則。チ。傳。フ。ル。ナシ。故。二。傳。ニ。於。テ。世。傳。其。兵。法。ト。曰。フ。ト。

史記評林卷之六十五終

史記評林卷之六十六

伍子胥列傳第六

伍子胥者楚人也。名員。員。字。世。嘉。員父曰伍奢。員兄曰伍尚。其先曰伍舉。

以直諫事楚莊王。索隱曰。舉直諫。見左氏楚世家。有顯。故其後世有名於楚。楚平

王有太子名曰建。使伍奢為太傅。費無忌為少傅。索隱曰。左氏。作費無極。無

忌不忠。索隱。於太子建。平王使無忌為太子取婦於秦。秦女好。無忌

馳歸報平王曰。秦女絕美。王可自取。而更為太子取婦。平王遂

自取秦女。而絕愛幸之。生子軫。更為太子取婦。無忌既以秦女

自媚於平王。因去太子而事平王。無忌。無忌心中事。恐一旦平王卒。而太子立。殺

費無忌為少傅。索隱曰。左氏作費無極。錢大昕曰。忌極聲相近。

無忌又日夜言太子頗於
王云云、且欲入昏亂矣
二五ノマ、無忌後
ノ辭ナリ。

且爲楚憂云云、憂ハ楚
患ナリ、患ハ國難ナリ。

己乃因讒太子建、建母蔡女也。無寵於平王。平王稍益疏建。使
建守城父。圖案地理志潁川有城父縣。○索隱曰城父本陳邑楚伐陳而有之。備邊兵。頃之無忌又日夜言
太子短於王。曰：「太子以秦女之故，不能無怨望。願王少自備也。」
自太子居城父，將兵外交諸侯。且欲入爲亂矣。平王乃召其太
傅伍奢，考問之。伍奢知無忌讒太子於平王，因曰：「王獨奈何以
讒賊小臣疏骨肉之親乎？無忌曰：『王今不制，其事成矣。』王且見
禽，於是平王怒，囚伍奢，而使城父司馬奮揚往殺太子。索隱曰：奮揚城父司馬之姓名也。行未至，奮揚使人先告太子。太子急去，不然將誅太子。
建亡奔宋，無忌言於平王曰：「伍奢有二子，皆賢，不誅且爲楚憂，
可以其父質而召之，不然且爲楚患。」王使使謂伍奢曰：「能致汝

聞無忌言ハ、方宜曰、
論ハ存ナリ、秦欲奪ニ
余不忍其禍トナリ。

二子則生，不能則死。伍奢曰：「尚爲人仁，呼必來。」員爲人剛戾，忍
不聽。使人召二子，曰：「來，吾生汝，父不來，今殺奢也。」伍尚欲往，員
曰：「楚之召我兄弟，非欲以生我父也，恐有脫者，後生患，故以父
爲質。詐召二子，二子到，則父子俱死。何益父之死？往而令讎不
得報耳。不如奔他國，借力以雪父之恥，俱滅無爲也。」伍尚曰：「我
知往終不能全父命，然恨父召我以求生而不往，後不能雪恥，
終爲天下笑耳。謂員可去矣，汝能報殺父之讎，我將歸死。」尚既
就執，使者捕伍胥，伍胥貫弓執矢嚮使者。員烏遠反。○索隱曰：劉氏貫音彎。又音古患反。謂滿張弓。
使者不敢進。伍胥遂入，聞太子建之在宋，往從之。奢聞子胥之

曰楚國君臣且苦兵矣。
志レザル。楚ノ軍ヲ
忘レザル。故ニ一陽申殺スル
所。夫楚ハ父ノ仇ヲ復
スルナリ。伯嚭。楚モ
亦申ノ仇ヲ復スルナ
リ。申包胥ハ君ノ仇ヲ
復スルナリ。越王ハ己
ノ仇ヲ復スルナリ。白
公ハ父ノ仇ヲ復スルナ
リ。此豈事ノ微ナリト
ス。

既至宋。宋有華氏之亂。案隱曰春秋昭二十年宋華亥向寧華定與君爭而出奔是也乃與太子建俱奔於鄭。鄭人甚善之。太子建又適晉。頃公曰：「太子既善鄭，鄭信太子，太子能為我內應，而我攻其外，滅鄭必矣。」滅鄭而封太子。太子乃還鄭。事未會，會自私欲殺其從者，從者知其謀，乃告之於鄭。鄭定公與子產誅殺太子建，建有子名勝。伍胥懼，乃與勝俱奔吳。到昭關。案隱曰其關在西江乃吳楚之境昭關欲執之。伍胥遂與勝獨身步走，幾不得脫。追者在後，至江。江上有一漁父乘船，知伍胥之急，乃渡伍胥。伍胥既渡，解其劍，曰：「此劍直百金，以與父。」父曰：「楚國之法，得伍胥者，賜粟五萬石，爵執珪，豈徒百金劍邪？」不受。伍胥

止中道乞食。方意曰、
戰國策ニ、伍子胥棄劍
シテ而テ昭關ヲ出テ、
衣行キ、坐伏シ、粟ヲ乞
フニ至ル、以テ其口ヲ糊ス
ルナント。

乃適專諸於公子光。專
諸ノ事ハ、刺殺傳ニ詳
カナリ。
退而與太子建之勝云
云、殺難隱曰、勝ト曰

未至吳而疾，止中道乞食。張勃曰子胥乞食處在丹陽溧陽縣○案隱曰張勃晉人吳鴻臚儼之子作吳錄故裴氏注引之溧音栗至於吳，吳王僚方用事。公子光為將，伍胥乃因公子光以求見吳王。久之，楚平王以其邊邑鍾離與吳邊邑卑梁氏俱蠶，兩女子爭，桑相攻，乃大怒，至於兩國舉兵相伐。吳使公子光伐楚，拔其鍾離居巢而歸。案隱曰二邑楚縣也鍾離在六安古鍾離子之國世本謂之終黎贏姓之國居巢亦國也築奔南吳其國蓋遠尚書序巢伯來朝蓋因居之於淮南楚地伍子胥說吳王僚曰：「楚可破也，願復遣公子光。」公子光謂吳王曰：「彼伍胥父兄為戮於楚，而勸王伐楚者，欲以自報其讎耳。伐楚未可破也。伍胥知公子光有內志，欲殺王而自立，未可說以外事。」乃進專諸於公子光。案隱曰左傳謂專設諸退而與太子建之子勝耕於野。五年而楚平王卒。初，平王所奪太子建秦

ハズシヤ太子郢之子勝
ト曰ヒ、蔡女ト曰ズシ
テ、所奪太子蔡女ト曰
フ、此書法ナリ、其詳
ヲ取ルヘズ。

楚陳其大臣郢宛伯州黎
ハ、余有丁曰、左傳ヲ
案ズルニ、郢宛楚ノ令
尹ト爲ス、杜注伯氏ト
曰フ、或ハ見ルアリ、徐
廣州黎ノ子ト曰フハ、
必誤ナリト。

故吳反二將軍ハ、即二
公子ナリ。

必先得唐蔡ハ、唐蔡二
國ヲ得テ、吳國ト爲ス
ナリ。

王走郢公弟懷曰ハ、
方苞曰、即ハ小國也、
楚滅シテ之ヲ邑トシ、
楚成公封之、楚ノ邑
長皆謂シテ公ト稱ス。

女生子軫及平王卒。軫竟立爲後。是爲昭王。吳王僚因楚喪。使
二公子將兵往襲楚。楚發兵絕吳兵之後。不得歸。吳國內空。而
公子光乃令專諸襲刺吳王僚。而自立。是爲吳王闔廬。闔廬既
立。得志。乃召伍員以爲行人。而與謀國事。楚誅其大臣郢宛。伯
州黎。伯州黎之孫伯嚭。奔吳。徐廣曰。伯州黎者。晉伯宗之子也。伯川黎之
子曰郢宛。郢宛之子曰伯嚭。宛亦姓伯。又別
氏。郢楚世家云。殺郢宛。宛之宗姓伯氏。子曰吳亦以嚭爲大夫。前王僚所遣
二公子將兵伐楚者。道絕不得歸。索隱曰。公子燭
庸及蓋餘也。後聞闔廬弑。王
僚自立。遂以其兵降楚。楚封之於舒。闔廬立三年。乃興師與伍
胥伯嚭伐楚。拔舒。遂禽故吳反二將軍。因欲至郢。將軍孫武曰。
民勞未可。且待之。乃歸。四年。吳伐楚。取六與潛。韞案。六古國。阜陶之
後。所封潛縣有天柱

山五年。伐越。敗之。六年。楚昭王使公子囊瓦。韞案。左傳。楚公子貞。字子
囊。其孫名瓦。字子常。此言
囊瓦。誤也。將兵伐吳。吳使伍員迎擊。大破楚軍於豫章。韞案。豫章
在江南。○
索隱曰。案杜預云。昔豫章在
江北。蓋後徙之於江南也。
取楚之居巢。九年。吳王闔廬謂子胥孫武
曰。始子言郢未可入。今果何如。二子對曰。楚將囊瓦貪。而唐蔡
皆怨之。王必欲大伐之。必先得唐蔡。乃可闔廬聽之。悉興師與
唐蔡伐楚。與楚夾漢水。而陳。吳王之弟夫概將兵請從。索隱曰。概
音古賚反。王不聽。遂以其屬五千人擊楚。將子常。韞案。子常。
公孫瓦。子常敗走奔鄭。
於是吳乘勝而前五戰。遂至郢。郢。楚都。○索隱曰。郢
音以正反。又以井反。己卯。楚昭王出
奔。庚辰。吳王入郢。昭王出亡。入雲夢。盜擊王。王走。鄭。音云。國名。○
索隱曰。走音
奏。走。向也。耶。
古之耶國。 鄭公弟懷曰。平王殺我父。我殺其子。不亦可乎。鄭公

謂隨人曰、北宋舊刻
本三謂字ナシ、即周之
子孫云云、隨人ノ辭
ナリ。
王子蘇厲王已自爲王以
當之、蘇昭王ヲ匿シ
テ、自ヲ代リテ王ト稱
シ、殺サレントスルナ
リ。

子之報讎其以甚乎ノ以
ハ、曰ト通ズ、已甚ハ
甚ナリ。

此豈其無天道之極乎、
極ハ六極ノ極ナリ、特
ニ天罰アラントスルヲ
言フ、六極ハ窮極ノ惡
事ナリ、豈洪範ニ成ス
ニ六極ナ用フトアリ。

恐其弟殺王。與王奔隨。正義曰。今有楚昭王故城昭
王奔隨之處。宮之北城即是。吳兵圍隨。謂隨人
曰。周之子孫在漢川者。楚盡滅之。隨人欲殺王。王子綦匿王。已
自爲王。以當之。隨人卜。與王於吳。不吉。乃謝吳。不與王。始伍員
與申包胥爲交。員之亡也。謂包胥曰。我必覆楚。包胥曰。我必存
之。及吳兵入郢。伍子胥求昭王。既不得。乃掘楚平王墓。出其尸。
鞭之三百。然後已。申包胥亡於山中。使人謂子胥曰。子之報讎。
其以甚乎。吾聞之。人衆者勝。天。天定。亦能破人。一本作勝人。正義曰。申包胥言。聞人
衆者雖一時凶暴。勝天
及天降其凶。亦
破於疆暴之人。今子故平王之臣。親北面而事之。今至於僂死人。此
豈其無天道之極乎。伍子胥曰。爲我謝申包胥曰。吾日暮塗遠。
吾故倒行而逆施之。說山。心
遂本心。今幸而報。豈論道理乎。譬如人行前途。尙遠。而日勞

已。秦故其在顛倒疾行。逆
理。施事。何得責吾順理乎。
於是申包胥走。秦告急。求救於秦。秦不許。包
胥立於秦廷。晝夜哭。七日七夜。不絕其聲。秦哀公憐之。曰。楚雖
無道。有臣若是。可無存乎。乃遣車五百乘。救楚。擊吳。六月。敗吳
兵於稷。剛案。稷。丘地名。在郊外。
○索隱曰。三傳作稷。丘。會吳王久留。楚求昭王。而闔廬弟夫
概乃亡歸。自立爲王。闔廬聞之。乃釋楚。而歸。擊其弟夫概。夫概
敗走。遂奔楚。楚昭王見吳有內亂。乃復入郢。封夫概於堂谿。徐
廣
曰。在慎縣。剛案。地理志。汝南有吳房縣。應劭曰。夫概奔楚。封於堂谿。本房子國。以
封吳。故曰吳房。然則不得在慎縣也。○正義曰。案今豫州吳縣。在州西北九十里。
爲堂谿
氏。楚復與吳戰。敗吳。吳王乃歸。後二歲。闔廬使太子夫差將兵
伐楚。取番。音普。裴反。又音婆。
索隱曰。蓋鄱陽也。楚懼。吳復大來。乃去郢。徙於都。音若
○索
隱曰。當是時。吳以伍子胥孫武之謀。西破彊楚。北威齊晉。南服
今關。

其後四年孔子相魯、
方在曰、相與吳越更、
齊魯、魯、吳、越、
二、三、魯、孔子、
而、終、ハ、ザル、情、ム、ナ

越人其後四年孔子相魯後五年伐越越王句踐迎擊敗吳於

姑蘇傷闔廬指正義曰姑蘇當作樹李方文誤也左傳云軍卻闔廬病創將

死創音楚謂太子夫差曰爾忘句踐殺爾父乎夫差對曰不敢忘

是夕闔廬死夫差既立爲王以伯嚭爲太宰習戰射二年後伐

越敗越於夫湫音椒○索隱曰又如字○正義曰太湖中椒山也解在吳世家越王句踐乃以餘兵五

千人棲於會稽之上正義曰上地名在越州會稽縣東南十二里使大夫種厚幣遺吳索隱曰

大夫姓種名非也案今吳南有文種墟則種姓文爲大夫劉氏云

官也○正義曰高誘云大夫種姓文氏字子禽楚之郢人太宰嚭以請和求委國

爲臣妾吳王將許之伍子胥諫曰越王爲人能辛苦今王不滅

後必悔之吳王不聽用太宰嚭計與越平其後五年而吳王聞

齊景公死而大臣爭寵新君弱乃興師北伐齊伍子胥諫曰句

踐食不重味弔死問疾且欲有所用之也此人不死必爲吳患

今吳之有越猶人之有腹心疾也而王不先越而乃務齊不亦

謬乎吳王不聽伐齊大敗齊師於艾陵正義曰括地志云艾山在兗州博城縣南百六十里本齊博邑

遂滅鄒魯之君以歸正義曰鄒君居楚州鄒縣魯曲阜縣益疏子胥之謀其後四年吳

王將北伐齊越王句踐用子貢之謀乃率其衆以助吳而重寶

以獻遺太宰嚭太宰嚭既數受越賂其愛信越殊甚日夜爲言

於吳王吳王信用嚭之計伍子胥諫曰夫越腹心之病今信其

浮辭詐僞而貪齊破齊譬猶石田無所用之且盤庚之誥曰有

顛越不恭劓殄滅之俾無遺育無使易種于茲邑此商之所以

興願王釋齊而先越若不然後將悔之無及而吳王不聽使子

遂滅鄒魯之君以歸ハ、
正義曰、魯當二處ニ
作ルベシ、昔ノ此ナリ、
左傳ニ、鄒子又無道ナ
リ、吳子布卒子餘ヲシ
テ之ヲ討シメ、諸
侯遂ニ因テ、鄒即鄒
拔也、四ノ、當ニ其君ヲ廢ニ
スト云フ、ン、轉寫或
ハ誤ル、

且盤庚之誥曰云ハ、
齊盤庚也、辭ナリ、
顛越不恭ハ、上命ヲ恭
マザル者ヲバ、我小
人則加フルニ劓刑ヲ以
テシ、大ニ則之ヲ殄滅
シ、遺育スル有ルナク、
其遺種ヲ此新邑ニシム
テ、齊人ヲ殺易セシム

ル無ヤント言ハ、子胥
ノ意ハ、越ヲ指シテ言
フナリ。
使子胥於齊ハ、大志斷
計ヲ以テ謀臣ヲ外ニ出
シ、之ヲ破選シテ、而
テ陰ニ罪ヲ以テ之ヲ誅
セント欲スルナリ。子
胥其子ヲ齊ノ鮑氏ニ屬
スルハ、誠ニ次計ト爲
ス。

胥於齊。子胥臨行謂其子曰。吾數諫王。王不用。吾今見吳之凶矣。汝與吳俱亡。無益也。乃屬其子於齊鮑牧。而還報吳。吳太宰嚭既與子胥有隙。因諛曰。子胥爲人剛暴。少恩猜賊。其怨望恐爲深禍也。前日王欲伐齊。子胥以爲不可。王卒伐之。而有大功。子胥恥其計謀不用。乃反怨望。而今王又復伐齊。子胥專復彊諫。沮毀用事。索隱曰。復音皮通。反。沮音自。呂反。徒幸吳之敗。以自勝其計謀耳。今王自行。悉國中武力以伐齊。而子胥諫不用。因輟謝。佯病不行。王不可不備。此起禍不難。且嚭使人微伺之。其使於齊也。乃屬其子於齊之鮑氏。夫爲人臣。內不得意外倚。諸侯自以爲先王之謀臣。今不見用。常鞅鞅怨望。願王早圖之。吳王曰。微子之言。吾

七〇

賜伍子胥同鑄之劍。伍子胥劍名也。

縣吳東門之上云云。越人吳之東。在少故云云。

亦疑之。乃使使賜伍子胥屬鏤之劍。曰。子以此死。錢音錄。子以此死。伍子胥反。此與吳與吳相和同。子以死。伍子胥仰天歎曰。嗟乎。讒臣嚭爲亂矣。王乃反誅我。我令若父霸。自若未立時。諸公子爭立。我以死爭之於先王。幾不得立。正義曰。若音祈。若既得立。欲分吳國予我。我顧不敢望也。然今若聽諛臣言。以殺長者。乃告其舍人曰。必樹吾墓。上以梓。令可以爲器。正義曰。器謂棺也。吳必亡也。左傳云。樹吾墓。而抉吾眼。索隱曰。抉音烏。穴反。抉亦決也。縣吳東門之上。正義曰。東門。今名壽門。鮑音普。始反。鮑音覆。浮反。越軍開示浦子胥濤。濤。離城。開此門。有鮑鮪。鮪入。故以名門。顧野王云。鮪魚一名江豚。欲風則涌也。以觀越寇之入。滅吳也。乃自剄死。吳王聞之。大怒。乃取子胥尸。盛以鴟夷革。應劭曰。取馬革爲鴟夷。鴟夷。楛形。○正義曰。盛音成。楛古曷反。浮之江中。徐廣曰。魯哀公十一年。○正義曰。案年表云。吳王夫差十一年也。吳人憐之。爲立祠於江上。正義曰。吳地記曰。越軍於蘇州東南三十里三河口。又向下三里。臨江北岸。立壇。殺白馬祭子胥。杯助酒。盡後。因立廟於

七一

吳王既誅伍子胥云云
ハ、漢推諱曰、此下、
井テ吳王伯嚭ノ折ニ中
シテ而テ區アル所以テ
殺シ、以テ子胥ノ結案
ト爲ス。

伍子胥初所與俱云云
ハ、漢推諱曰、此下井テ
太子建ノ子勝ノ遺事ヲ
敘シテ、前案ヲ了ス。

此江上今其側有浦名土壇浦至晉會稽太守糜豹移廟吳郭東門內道南今廟在

因命曰胥山服晏曰胥山在太湖邊去江不遠百里故云江上

正義曰吳地記云胥山太湖邊晉湖東岸山西臨晉湖山有古葬晉三王廟案其廟不干子胥事太史誤矣張注又非

吳王既誅伍子胥遂伐齊齊鮑氏殺其君悼公而立陽生吳王欲討其賊不勝而去

其後二年吳王召魯衛之君會之橐臯索隱曰音拓臯杜預云地名在淮南遂道縣東南○正義曰橐臯故縣在廬州巢縣西北五十六里

其明年因北大會諸侯於黃池正義曰在汴州封丘縣南七里以令周

室越王句踐襲殺吳太子索隱曰左傳太子名友破吳兵吳王聞之乃歸使

使厚幣與越平後九年越王句踐遂滅吳殺王夫差而誅太宰

嚭以不忠於其君而外受重賂與己比周也正義曰紀吳二音伍子胥初

所俱亡故楚太子建之子勝者在於吳吳王夫差之時楚惠王

欲召勝歸楚葉公諫曰正義曰上式沙反杜預云子高沈諸梁勝好勇而陰求死士殆

有私乎惠王不聽遂召勝使居楚之邊邑鄢徐廣曰潁川鄢陵是○正義曰鄢音假括地志云故鄢城在豫州鄢城縣南五里與襄信白亭相近號爲白公徐廣曰汝南襄信縣有白亭○正義曰括地志云州扶溝縣北四十五里北又有白亭也

白公歸楚三年而吳誅子胥白公勝既歸楚怨

鄭之殺其父乃陰養死士求報鄭歸楚五年請伐鄭楚令尹子

西許之兵未發而晉伐鄭鄭請救於楚楚使子西往救與盟而

還白公勝怒曰非鄭之仇乃子西也勝自礪劍人問曰索隱曰左傳作子期

之子平見之曰何以爲勝曰欲以殺子西子西聞之笑曰勝如卵耳

何能爲也其後四歲白公勝與石乞襲殺楚令尹子西司馬子

綦於朝索隱曰左傳作子期也石乞曰不殺王不可乃劫之王如高府索隱曰杜預云

楚之石乞從者屈固徐廣曰一作惠王從者屈固楚世家亦云王從者○索隱曰蓋此本爲得而左傳云石乞尹門圍公陽穴宮負王以如昭夫人

乃劫之王如高府ハ、史記札記引ク所ノ王氏雜志云、當ニ之字アルベカラズト、即チ石乞王ノ劫カシ、高府ニ如キ、屈固王ヲ預ヒテ走リシナリ。

子不報則爲無親，是讎楚者。在中包胥不當言，而子胥宜自盡者也。申包胥未嘗以不報止胥，是申包胥亦知胥之當讎楚也。孰謂鞭尸之過矣哉。

何孟春曰：子胥掘平王墓鞭其尸，父讎報矣。故楚太子建、子胥父子皆事之，固嘗以爲君矣。鄭殺其君，而子胥不一問彼豈其勢之不可耶？則伐楚之師，威靈乎遐邇。子胥誠當此時，反旆而西，鼓其伐楚之師，而爲問鄭之舉，則我於君父之讎，可脫腕而兩報之矣。而何子胥其不此計也？張良之從沛公，蓋欲爲韓報讎也。子嬰誅而成王立，則復辭漢而歸韓，萬世之下，稱其有不忘故主之義。而功名次之。子胥能是，則可以塞宰嚭之口，卻屬鏃之劍於夫差之世矣。豈但申包胥之無辭，而秦哀王之不加兵哉？子胥既死，建之子勝欲伐鄭，而不克，殺令尹子西而遠大亂，卒之自刎山林，葉骸無掩，痛哉。

史記評林卷之六十六終

史記評林卷之六十七

仲尼弟子列傳第七

仲尼弟子列傳ハ、其記載スル所、事本論語ニ出ヅ、故ニ今其解釋ニ省略ス。

由也嗑注、正義曰、嗑音時ハ、當ニ索隱ノ次ニ在ルベシ、而テ後ノ正義ニ字ヲ屬リ、音岸ノ上ニ嗑字ヲ加フヘシ。

孔子曰：受業身通者七十有七人。索隱曰：孔子家語亦有七十七人。唯文翁孔廟圖作七十二人。皆異

能之士也。德行：顏淵、閔子騫、冉伯牛、仲弓。政事：冉有、季路。言語：宰我、子貢。索隱曰：論語一曰德行，二曰言語，三曰政事，四曰文學。今此文政事在言語上，是其記有異也。文學：子游、子夏、師

也。辟。馬融曰：子張才過人，失在邪辟。文過。○正義音癖。參也魯。孔安國曰：魯鈍也。曾子性遲鈍。柴也愚。何晏曰：愚，愚直之愚。由

也嗑。鄭玄曰：子路之行，失於嗑。○正義曰：嗑音時。○索隱曰：論語先言柴，次參。次師，次由。今此傳序之亦與論語不同，不得輒言其誤也。○正義音岸。回也

屢空。賜不受命，而貨殖焉。億則屢中。何晏曰：言回庶幾於聖道，雖空虛殖，億度是非，蓋美回所以勵賜也。一曰：屢猶每也，空猶虛中也。以聖人之善道教數子之庶幾，猶不至於知道者，各內有此害也。其於庶幾每能虛中者，唯回懷道深遠，不虛心不能知道子

殖。億度是非，蓋美回所以勵賜也。一曰：屢猶每也，空猶虛中也。以聖人之善道教數子之庶幾，猶不至於知道者，各內有此害也。其於庶幾每能虛中者，唯回懷道深遠，不虛心不能知道子

不並世注蓋雖唯與銅鞮介山二人之行也。○索隱曰大戴禮曰孔子云國家有道其言而能樂蓋老

賢無數子之病然亦不知道者雖不窮理而幸中雖非天命而偶富亦所以不虛心也

孔子之所嚴事於周則老子於

衛蘧伯玉

直人汲汲於仁以善自終蓋蘧伯玉之行

於齊晏平仲於楚老萊

子於鄭子產

君擇臣而使之臣擇君而事之有道順命無道衡命蓋晏平仲之行也○索隱曰大戴禮云頌忠而行信終日言不在尤之內國無道處廢不啻貧

而能樂蓋老萊子之行也

於魯孟公綽數稱臧文仲柳下惠

孝恭慈仁允德圖義約貨去怨蓋柳下惠之行

鞮伯華介山子然孔子皆後之不並世

大戴禮曰孔子云國家有道其言足以興國家無道其默足以容蓋

銅鞮伯華之行也觀於四方不忘其親苟思其親不盡其樂蓋介山子然之行也說苑曰孔子

歎曰銅鞮伯華無死天下有定矣晉太康地記云銅鞮晉大夫羊舌赤之邑世號赤曰銅鞮伯華○索隱曰自臧文仲已下孔子皆後之不並世其所嚴事自老子及公綽已上皆孔子同時

人也案戴德撰禮記曰大戴禮合八十五篇其四十七篇亡見今存者有三十八篇今裴氏所

引在衛將軍篤孔子稱所矣對晉平公之辭唯舉銅鞮介山二人之行也家語又云不克不忌不念愆怨蓋伯夷叔齊之行思天而敬人服義而行信蓋趙文子之行事君不愛其死謀身不道其友蓋隨武子之行○地理志銅鞮縣名屬上黨○正義曰韞丁奚反案銅鞮潞州縣也

顏回者魯人也字子淵少孔子三十歲

正義曰少成妙反

顏淵問仁孔子

曰克己復禮天下歸仁焉

馬融曰克己約身也孔安國曰復反也身能反禮則為仁矣

孔子曰賢哉

回也

衛瓘曰非大賢樂道不能若此故以稱之○索隱曰衛瓘字伯玉晉太保亦注論語故裴引之

一簞食一瓢飲

孔安國曰顏回樂道雖窮

回也

如也

陋巷人不堪其憂回不改其樂

孔安國曰顏回樂道雖窮

回也如

愚

孔安國曰於孔子之言默而識之如愚也

退而省其私亦足以發回也不愚

孔安國曰察其退還與二三子

說釋道義發明

言默而識之如愚也

唯我與爾有是夫

孔安國曰言可大體知其不愚

用之則行捨之則藏

唯我與爾有是夫

同年二十九髮盡白蚤死

索隱曰家語亦云年二十九而髮白三十二而死王肅云此久遠之書年數錯誤未可詳也核其年則顏

回死時孔子年六十一然則伯魚年五十先孔子卒卒時孔子且七十也今此為顏回先伯魚

死而論語曰顏回死顏路請子之車子曰埋也死有棺而無柩或為設事之辭案言回死在伯

魚之前故知以

孔子哭之慟曰自吾有回門人益親

王肅曰顏回為孔子疏附之友能使門人益親

魯哀公問弟子孰為好學孔子對曰有顏回者好學不遷

論語為設詞

魯哀公問弟子孰為好學孔子對曰有顏回者好學不遷

索隱曰引之於以... 引之於以... 引之於以... 引之於以... 引之於以...

怒不貳過。不幸短命死矣。今也則亡。何晏曰：凡人任情喜怒，違理，顏回任道，怒不過分，遷者移也，怒當其理，不移易也。不貳過者，有不善未嘗復行。

閔損字子騫。鄭立曰：孔子弟子目錄云：魯人。少孔子十五歲。孔子曰：孝哉閔子騫。

人不聞於其父母昆弟之言。陳羣曰：言子騫上事父母，下順兄弟。動靜盡善，故人不得有非聞之言。不仕大

夫。不食汙君之祿。索隱曰：論語：季氏使閔子騫為其宰。子騫曰：善為我辭焉，是不仕大夫。不食汙君之祿也。如有復我者，

孔安國曰：復我者，重來召我。必在汶上矣。孔安國曰：去之汶水上，欲北如齊。

冉耕字伯牛。鄭立曰：魯人。孔子以為有德行。伯牛有惡疾。孔子往問

之。自牖執其手。包氏曰：牛有惡疾，不欲見人。孔子從牖執其手。曰：命也夫。斯人也而有斯疾。

命也夫。包氏曰：再言之者，痛惜之甚也。

冉雍字仲弓。鄭立曰：魯人。○索隱曰：家語云：伯牛之宗族，少孔子二十九歲。仲弓問政。孔子曰：出門如

見大賓，使民如承大祭。孔安國曰：在邦無怨，在家無怨。包子曰：在邦為諸侯，在家為卿大夫。孔子以仲弓為有德行。曰：雍也可使南面。包氏曰：可使南面者，言任諸侯之治。仲

弓，父賤人。孔子曰：犁牛之子，騂且角，雖欲勿用，山川其舍諸。何晏曰：黎雜文，騂赤色也。角者，角周正中，犧牲雖欲以其所生黎而不用，山川寧肯舍之乎。言父雖不善，不害於子之美。

冉求字子有。鄭立曰：魯人。少孔子二十九歲。為季氏宰。季康子問，孔

子曰：冉求仁乎。曰：千室之邑，百乘之家。孔安國曰：千室，卿大夫之邑。卿大夫稱家，諸侯千乘。大夫故曰百乘。復問：子路

求也可使治其賦。仁則吾不知也。孔安國曰：賦，兵賦也。仁道至大，不可全名也。復問：子路

仁乎。孔子對曰：如求。求問曰：聞斯行諸。包氏曰：賑窮救乏之事也。子曰：行之。

子路問：聞斯行諸。子曰：有父兄在，如之何其聞斯行之。孔安國曰：當白父兄不可。

子華怪之。敢問。問同而答異。孔子曰：求也退，故進之。由也

自專。

復問子路仁乎，孔子對曰：如求。ハ、札記云：此文備ハ、ウズ、且下子路問ニ見ニ群ト為ス、疑フ此衍ナリ。

問同而答異ハ、札記云：史隱見ル所ノ來本引キ、此五字ナシ。

兼人故退之。鄉立曰言冉有性謙退子路務在勝尙人各因其人之失而正之。

仲由字子路卞人也。徐廣曰子路卞之野人○索隱曰家語一字季路亦云是卞人也。少孔子九歲。子

路性鄙好勇力志伉直冠雄雞佩玃豚。冠以雄雞佩以玃豚二物皆男子路好勇故冠帶之。陵暴

孔子孔子設禮稍誘子路子路後儒服委質。索隱曰服虔注左氏云古者始事必先書其名

於策委死之質於君然後為臣示必死節於其君也。因門人請為弟子子路問政孔子曰先之勞

之。孔安國曰先導之以德使民信之然後勞之易曰悅以使民民忘其勞。請益曰無倦。孔安國曰子路嫌其少故請益曰無倦者行此上事無倦則可

子路問君子尚勇乎孔子曰義之為上君子好勇而無義則亂

李元曰既稱君子不職為亂階也若君親失道國家昏亂其於赴患致命而不知正順

義者則亦陷乎為亂而受不義之責也○索隱曰充字弘度晉中書侍郎亦作論語解

人好勇而無義則盜子路有聞未之能行唯恐有聞。孔安國曰前所聞未及行故恐後有聞孔子曰片言可以折獄者其由也與。孔安國曰片猶偏也聽

不得並行。孔安國曰片猶偏也聽

偏信一言折獄者唯子路可也。由也好勇過我無所取材。樂肇曰適用曰材好勇過我川故云無所取○索隱曰璧字永初晉尚書

郎作論語義也。若由也不得其死然。孔安國曰不得以壽終也。衣敝緼袍與衣狐貉者立

而不恥者。孔安國曰緼棄著也。其由也歟。由也升堂矣未入於室也。馬融曰升

入於室耳。季康子問仲由仁乎孔子曰千乘之國可使治其賦不知

其仁。子路喜從游遇長沮桀溺荷篠丈人子路為季氏宰季孫

問曰子路可謂大臣與孔子曰可謂具臣矣。孔安國曰言備臣數而已。子路為

蒲大夫。索隱曰蒲衛邑。子路為之宰。辭孔子孔子曰蒲多壯士又難治。然吾語

汝恭以敬可以執勇。言恭謹謙敬勇猛不能害故曰執也。寬以正可以比衆。音與言寬大清正衆必歸近之

恭正以靜可以報上。初衛靈公有寵姬曰南子靈公太子黃贖

得過南子懼誅出奔及靈公卒而夫人欲立公子郢郢不肯曰

靈公太子黃贖，黃入諶，大衛曰，衛世家，則二，作，嚴，正，字，剛，倍，字，實，通用字。

子路爲衛大夫孔悝之邑宰、禮記云、政者石曰、索隱本、爲衛大夫四字、本云、爲悝、直見、所、史文、孔悝之邑宰、五字、ナキナリ。

亡人太子之子輒在。於是衛立輒爲君。是爲出公。出公立十二年。其父黃瓚居外。不得入。子路爲衛大夫孔悝之邑宰。黃瓚乃與孔悝作亂。索隱曰左傳蒯聵入孔悝家悝母伯姬劫悝於入孔悝家。遂與其徒襲攻出公。出公奔魯。而黃瓚入。立是爲莊公。方孔悝作亂。子路在外。聞之而馳往。遇子羔出衛城門。謂子路曰。出公去矣。而門已閉。子可還矣。毋空受其禍。子路曰。食其食者。不避其難。子羔卒去。有使者入城。城門開。子路隨而入。造黃瓚。黃瓚與孔悝登臺。子路曰。君焉。用孔悝。請得而殺之。黃瓚弗聽。於是子路欲燔臺。黃瓚懼。乃下石乞壺。擊攻子路。擊斷子路之纓。子路曰。君子死而冠不免。遂結纓而死。孔子聞衛亂。曰。

八五

是時子貢爲魯使於齊、禮記云、此上下文、二於、當、涉、大、索、隱本此九字、子貢傳、好禮樂與時、禮、皆、條、後、三、出、ス、疑、フ、節、闕、ナ、フ、。

嗟乎。由死矣。已而果死。故孔子曰。自吾得由。惡言不聞於耳。王肅曰子路爲孔子侍衛故侮慢之人不敢有惡言是以惡言不聞於孔子耳。是時子貢爲魯使於齊。索隱曰左傳子貢爲魯使齊在哀十五年蓋此文錯誤也聊亦記之。

宰予。字子我。鄭玄曰魯人。利口辯辭。既受業。問三年之喪。不已乎。

君子三年不爲禮。禮必壞。三年不爲樂。樂必崩。舊穀既沒。新穀既升。鑽燧改火。期可已矣。馬融曰周書月令有更火之文春取榆柳之火夏取棗杏之火季夏取桑柘之火秋取柞楸之火冬取槐

檀之火一年之中鑽火各異木故曰改火。子曰。於汝安乎。曰。安。汝安則爲之。君子居喪。食

旨不甘。聞樂不樂。故弗爲也。孔安國曰旨美也實其無仁於親故言汝安則爲之。宰我出。子曰。

予之不仁也。子生三年。然後免於父母之懷。馬融曰生未三歲爲父母所懷抱也。夫三年之喪。天下之通義也。孔安國曰自天子達於庶人。宰予晝寢。子曰。朽木不可

非ルナリ、而本末未嘗計
 多ク觀覽ス、ベシ、王安
 石曰、子史敬スル所ノ
 子貢ノ事ヲ讀ム、乃儀
 泰餘代ト以テ異ルナキ
 ナリ、子貢ノ行、盡ク
 義ニ當ル能ハス、則テ
 ナリ、然レ孔子ノ賢弟子
 至ルベカラズ、則チ此
 孔子之使ヲトビテ
 ナリ、子貢等ヲ好ムト雖
 モ、何レ此ニ至ラズヤ、
 太史公所謂其成ナリト
 ル者ナリ、孔子止之子張
 子石、行、出行、互文
 其地以滙ヘ、札記云
 越、越、吳、越、越、越、
 其地以滙ヘ、札記云
 者、之ニ從ヘバ、下ノ
 地、以滙ヘ、亦池
 ニ作ルベシ。

絶書其滙
 字作淺。其君愚而不仁。大臣僞而無用。其士民又惡。甲兵之事。此不可與戰。君不如伐吳。夫吳城高以厚。地廣以深。甲堅以新。士選以飽。重器精兵。盡在其中。又使明大夫守之。此易伐也。田常忿然作色曰。子之所難。人之所易。子之所易。人之所難。而以教常。何也。子貢曰。臣聞之。憂在內者攻彊。憂在外者攻弱。今君憂在內。吾聞君三封而三不成者。大臣有不聽者也。今君破魯以廣齊。戰勝以驕主。破國以尊臣。王肅曰。鮑晏等帥師。若破國則臣尊矣。而君之功不與焉。則交日疎於主。是君上驕主心。下恣羣臣。求以成大事。難矣。夫上驕則恣。臣驕則爭。是君上與主有卻。下與大臣交爭也。如此則君之立於齊危矣。故曰。不如伐吳。伐吳不勝。民人外死。

王者不絕世ハ、王タル
 者ハ人ノ世ヲ斷絶セザ
 ルナリ、下文ノ存続ナ
 言フ。

大臣內空。是君上無彊臣之敵。下無民人之過。孤主制齊者。唯君也。田常曰。善。雖然。吾兵業已加魯矣。去而之吳。大臣疑我。奈何。子貢曰。君按兵無伐。臣請往使吳王。令之救魯。而伐齊。君因以兵迎之。田常許之。使子貢南見吳王。說曰。臣聞之。王者不絕世。霸者無彊敵。千鈞之重。加銖兩而移。今以萬乘之齊。而私千乘之魯。與吳爭彊。竊爲王危之。且夫救魯。顯名也。伐齊。大利也。以撫泗上諸侯。誅暴齊。以服彊晉。利莫大焉。名存亡魯。實困彊齊。智者不疑也。吳王曰。善。雖然。吾嘗與越戰。棲之會稽。越王苦身養士。有報我心。子待我伐越。而聽子。子貢曰。越之勁。不過魯。吳之彊。不過齊。王置齊而伐越。則齊已平魯矣。且王方以存亡。

繼絕為名。夫伐小越而畏彊齊，非勇也。夫勇者不避難，仁者不窮約，智者不失時。王者不絕世，以立其義。今存越，示諸侯以仁，救魯伐齊，威加晉國，諸侯必相率而朝。吳霸業成矣。且王必惡越。索隱曰：惡猶畏也。臣請東見越王，令出兵以從。此實空越名，從諸侯以伐也。吳王大說，乃使子貢之越。越王除道郊迎，身御至舍而問曰：此蠻夷之國，大夫何以儼然辱而臨之？子貢曰：今者吾說吳王以救魯伐齊，其志欲之而畏越，曰待我伐越，乃可。如此破越必矣。且夫無報人之志，而令人疑之，拙也。有報人之意，使人知之，殆也。事未發而先聞，危也。三者舉事之大患。句踐頓首再拜曰：孤嘗不料力，乃與吳戰，困於會稽，痛入於骨髓，日夜焦唇乾

佐之以謀其志，故六
 陰避之如ク、むか、ト
 即ス、若シ王蕭注ニ從
 ハ、ハ、故ニ作ル、ハ、

舌，徒欲與吳王接踵而死。孤之願也。遂問子貢曰：吳王為人猛暴，羣臣不堪，國家敝於數戰，士卒弗忍，百姓怨上，大臣內變。子胥以諫死。索隱曰：王劭按家語越絕書，並無此五字，是時子胥未死。太宰嚭用事，順君之過，以安其私，是殘國之治也。今王誠發士卒，佐之以微。音結，堯反。其志，王肅曰：激射其志。重寶以說其心，卑辭以尊其禮。其伐齊，必也。彼戰不勝，王之福矣。戰勝，必以兵臨晉。臣請北見晉君，令共攻之。弱吳必矣。其銳兵盡於齊，重甲困於晉，而王制其敝。此滅吳必矣。越王大說，許諾。送子貢金百鎰，劍一，良矛二。子貢不受，遂行。報吳王曰：臣敬以大王之言告越王。越王大恐，曰：孤不幸，失先人內不自量，抵罪於吳，軍敗身辱，棲于會稽，國為虛荏。虛音墟，莽音莫，明反。○索賴，隱曰：有本作練，恐誤也。

快風盧之矛ハ、快札
屈也、云何誰庶
本、快ニ誤ル、漫推
本、快ニ誤ル、漫推
シテ、而實誤、按ズル
ニ、屈ノ聲、快ニ近クシテ
誤入、索隱曰、劉氏チ引
テ云、一本此字無シト、
是ナリ。

吳王乃遂發九郡兵ハ、
方苞曰、春秋ノ時、郡
ハ縣ニ小ナリ、定二
年ノ傳ニ、上大夫ハ縣
ヲ受ケ下大夫ハ郡ヲ受

ヲト、定ナリ、此發九郡
兵ト曰フハ、則秦漢以
後ノ人ノ誤ケル所ノ辭
ナル明ナリ。

故子貢一出、則越二
至ル、札記云、下五國
各有疆、索隱ニ據レ
バ、疆ヲ蓋本六十六字
ナシ、後人即索隱ニ依
テ寫入シ、特ニ三字チ
刪ルノミ。

大王之賜。使得奉俎豆。而修祭祀。死不敢忘。何謀之敢慮。後五
日。越使大夫種頓首言於吳王曰。東海役臣孤句踐。使者臣種
敢修下吏。問於左右。今竊聞大王將興大義。誅彊救弱。困暴齊
而撫周室。請悉起境內士卒三千人。孤請自被堅執銳。以先受
矢石。因越賤臣種奉先人藏器甲二十領。缺屈盧之矛。索隱曰。缺
也。劉氏云。一本無步光之劍。以賀軍吏。吳王大說。以告子貢曰。越王
欲身從寡人伐齊。可乎。子貢曰。不可。夫空人之國。悉人之衆。又
從其君。不義。君受其幣。許其師。而辭其君。吳王許諾。乃謝越王。
於是吳王乃遂發九郡兵。伐齊。子貢因去之。晉謂晉君曰。臣聞
之。慮不先定。不可以應卒。索隱曰。卒。謂急卒也。言計慮不
先定。不可以應卒。有非常之事。兵不先辨。不

可以勝敵。今夫齊與吳將戰。彼戰而不勝。越亂之必矣。與齊戰
而勝。必以其兵臨晉。晉君大恐。曰。爲之奈何。子貢曰。修兵休卒。
以待之。晉君許諾。子貢去而之魯。吳王果與齊人戰於艾陵。索
隱曰。左傳在
哀十一年。大破齊師。獲七將軍之兵。而不歸。果以兵臨晉。與晉人
相遇。黃池之上。索隱曰。左傳黃池之會。在哀
十三年。越入吳。吳與越平也。吳晉爭彊。晉人擊之。大敗
吳師。越王聞之。涉江襲吳。去城七里。而軍。吳王聞之。去晉而歸。
與越戰於五湖。三戰不勝。城門不守。越遂圍王宮。殺夫差。而戮
其相。索隱曰。左傳越滅吳。在哀二十二年。則事並顯
隔數年。蓋此文欲終說其事。故其辭相連也。破吳。三年東向而霸。故
子貢一出。存魯。亂齊。破吳。彊晉。而霸越。子貢一使。使勢相破。十
年之中。五國各有變。索隱曰。按左傳。謂魯齊晉吳越也。故云
子貢一出。存魯亂齊。破吳彊晉。而霸越。子貢好廢舉。

與時轉貨。廢舉謂貯也。與時謂逐時也。夫物賤則買而貯。值貴即逐時轉易。貨賤取資利也。○索隱曰。家語貨作化。王肅云。廢舉謂買賤賣貴也。轉化謂隨時轉貨以殖其資也。劉氏云。廢謂物賤而賣之。舉謂物賤而買之。轉貨謂轉貨收賤也。喜揚入之美。不能匿人之過。常相魯衛家累千金。卒終于齊。

言偃。吳人。索隱曰。家語云。魯人。按偃仕魯。爲武城宰。耳。今吳郡有言偃家。蓋吳郡人爲是也。字子游。少孔子四十五

歲。子游既已受業。爲武城宰。正義曰。括地志云。在蒼州即南城也。與地志云。南武城縣魯武邑城。子游爲宰者。也在泰山郡。

孔子過聞絃歌之聲。孔子莞爾而笑曰。何晏曰。莞。爾小笑貌。割雞焉用牛刀。

孔安國曰。言治小何須用大道。子游曰。昔者偃聞諸夫子曰。君子學道則愛人。小人

學道則易使。孔安國曰。道謂禮樂也。樂以和人人和則易使。孔子曰。二三子。從行者。偃之言

是也。前言戲之耳。治小而用大道。孔子以爲子游習於文學。

卜商。字子夏。家語云。衛人。鄭玄曰。溫國卜商。○索隱曰。溫國今河內溫縣。元屬衛故。少孔子四十四歲。子夏

問。巧笑倩兮。美目盼兮。素以爲絢兮。何謂也。馬融曰。倩。笑貌。盼。動目貌。絢。文貌。此上二句在衛風碩人之二章。其下一句逸詩。子曰。繪事後素。鄭玄曰。繪。畫文也。凡畫繪先布衆色。然後以素分布其間。以成其文。喻美女雖有倩盼美質。亦須禮以成也。曰禮後乎。孔安國曰。孔子言繪事後素。子夏聞而解知以素喻禮。故曰禮後乎。孔子曰。商始可與言詩。已矣。包氏曰。能發明我意。可與共言詩矣。子貢問。師與商孰賢。子曰。師也過。商也不及。孔安國曰。言俱不得中。然則師愈與。曰。過猶不及。子謂子夏曰。汝爲君子儒。無

爲小人儒。何晏曰。君子爲儒將以明道。小人爲儒則於其名。孔子既沒。子夏居西河教授。索隱曰。在河東郡之西界。蓋近龍門。劉氏云。今同州河。西縣有子夏石室學堂在也。○正義曰。西河郡。今汾州也。爾雅云。兩河。謂曰冀州。禮記云。自東河至於西河。河東故號龍門。河爲西河。漢因爲西河郡。汾州也。子夏所教處。括地志云。竭泉山一名隱泉山。在汾州。城縣北。注水經云。其山岸壁立。崖尖有一石室。去地五十丈。頂上平地十許頃。隨國集記云。此爲子夏石室。退老西河居此。有卜商神祠。今見在。爲魏文侯師。索隱曰。子夏文學著於四科。序詩傳易。又孔子以春秋厲疎也。○正義曰。文侯都安邑。孔子卒後。子夏教於西河之上。文侯師事之。香問國政焉。其子死。哭之失明。

子夏。西河教授。注正義。竭泉山一名隱泉山。在汾州。城縣北。注水經云。其山岸壁立。崖尖有一石室。去地五十丈。頂上平地十許頃。隨國集記云。此爲子夏石室。退老西河居此。有卜商神祠。今見在。

爲武城宰。正義曰。正。確即南城。○錢大昕曰。綴漢書郡國志。城。下。武城亦之。南。城。下。謂。武。城。武。邑。城。○顏。師。曰。武。城。武。邑。二。作。ル。ベシ。○

在陳蔡間因ノ困ハ、札
記因ニ作ル、云北宋凌
本因ニ誤スト、因ニ作
レバ句ト爲スベシ。

顓孫師。陳人。索隱曰：鄭玄目錄陽城人。陽城縣名亦屬陳郡也。字子張。少孔子四十八歲。子張問于祿。鄭玄曰：干，求也。祿，位也。孔子曰：多聞闕疑，慎言其餘，則寡尤。包氏曰：尤，過也。疑，則闕之其餘不疑猶慎言之則少過。多見闕殆，慎行其餘，則寡悔。包氏曰：殆，危也。所見危者闕而不行，則少悔。言寡尤，行寡悔，祿在其中矣。鄭玄曰：言行如此雖不得祿得祿之道。他日從在陳蔡間，因問行。孔子曰：言忠信，行篤敬，雖蠻貊之國行也。言不忠信，行不篤敬，雖州里行乎哉？鄭玄曰：二千五百家爲州，五家爲鄉。五鄉爲里，行乎哉，言不可行。立則見其參於前也，在輿則見其倚於衡，夫然後行。包氏曰：衡，軛也。言思念忠信，立則常見，參然在前，在輿則若倚軛。子張書諸紳。孔安國曰：紳，大帶也。子張問：士何如斯可謂之達矣？孔子曰：何哉？爾所謂達者，子張對曰：在國必聞，在家必聞。鄭玄曰：言士之所往皆能有名譽。孔子曰：是聞也，非達也。夫達者，質直而好義，察言而觀色，慮以下人。

馬融曰：常有謙退之志，察言語觀顏色，知其所欲，其念慮常欲以下人。在國及家必達。馬融曰：謙，尊而光，卑而不可踰。夫聞也者，色取仁而行違，居之不疑。馬融曰：此言佞人也。佞人假仁者之色，行之則違，安居其僞而不自疑。在國及家必聞。馬融曰：佞人黨多。

曾參，南武城人。索隱曰：武城屬魯，當時魯更有北武城，故言南也。○正義曰：括地志云：南武城在兗州子游爲宰者地理志云：定襄有武城，清河有武城，故此云南。字子輿，少孔子四十六歲。孔子以爲能通孝道。正義曰：韓會子曰：吾嘗仕爲吏，祿不過鍾釜，尚猶欣欣而喜者，非以爲多也。樂道養親也。親沒之後，吾嘗南游於越，得符官堂高九仞，椽題三尺，顯殺百乘，然猶北向而泣者，非爲賤也。悲不見吾親也。授之業，作孝經，死於魯。

澹臺滅明。包氏曰：澹臺，姓。滅明，名。○正義曰：括地志云：延津在滑州露昌縣東北里，注水經云：黃河水至此爲之延津。晉澹臺子羽，齋千金之壁，渡河，陽侯波起，兩蛟夾舟，子羽曰：吾可以義求，不可以威劫，操劍斬蛟，蛟死，乃投壁於河。三投而輒躍出，乃毀壁而去，亦無怪意，卽此津也。武城人。正義曰：括地志云：亦在兗州。字子羽，少孔子三十九歲。狀貌甚惡，欲事孔子，孔子以爲材薄。

澹臺滅明注正義昌縣東北里ノ北ハ、札記云、官本七ニ作ル、他本北ニ誤ス。

遺事道注正義顯殺ハ、札記云、韓會外傳ニ、顯ヲ釋ニ作リ。

既已受業退而修行。行不由徑。非公事不見卿大夫。包氏曰言其公且友。南游至江。索隱曰今吳國東南有滄臺湖。即其遺迹所在也。從弟子三百人。設取予去就。名施乎

諸侯。孔子聞之曰。吾以言取人。失之宰子。以貌取人。失之子羽。

索隱曰家語子羽有君子之容。而行不勝其貌。宰子有文雅之辭。而智不充其辯。孔子曰。以容取人。則失之子羽。以辭取人。則失之宰子。今云滅明狀貌甚惡。則以子羽形陋也。正與家語相反。○正義曰。按濟子羽墓在兗州鄒城縣。

必不齊。字子賤。孔安國曰魯人。○正義曰顏氏家訓云。兗州永昌郡城舊單父地也。東門有子賤碑。漢世所立。乃云濟南伏生。即子賤之後。是知虛之與

伏古來通字。誤為宓。較可知矣。虛字從戶。音呼。宓從宀。音綿。下俱為必。未世傳寫誤也。少孔子四十九歲。索隱曰家語少孔子三十三歲。此云四十九。蓋後人附益。依注。索隱亦少孔子四十九歲。此云三十三。不同。作三十五。各本內。九。三。十。五。二。易。九。三。家語。二。改。其。注。易。兩。反。家。語。合。之。計。フ。ザ。ル。ナ。リ。○

孔子謂子賤君子哉。魯無君子斯焉取斯。包氏曰如魯無君子。子賤安得此行而學。

子賤為單父宰。正義曰宋州縣也。說苑云宓子賤理單父。彈琴身不下堂。單父理。馬期以星出以星入。而單父亦理。巫馬期問其故。宓子賤曰我之謂

任人子之謂任力。任力者勞。任人者逸。反命於孔子曰。此國有賢不齊者五人。索隱曰家語云不齊所父

事者三人。所兄事者五人。所友者十一人。與此不同。教不齊所以治者。孔子曰。惜哉。不齊所治者小。所治者大。則幾矣。

原憲字子思。鄉玄曰魯人。○索隱曰家語云宋人所記不同。少孔子三十六歲。子思問恥。孔子曰。國有道

穀。孔安國曰穀祿也。國無道穀恥也。孔安國曰君無道而在其朝。食其祿是恥辱也。子思曰。克伐

怨欲不行焉。可以為仁乎。馬融曰克好勝人也。伐自伐其功。怨忌也。欲貪欲也。孔子曰。可以為難

矣。仁則吾弗知也。包氏曰四者行之難。未足以為仁。孔子卒。原憲亡在草澤中。索隱曰

隱居子貢相衛。而結駟連騎。排藜藿。入窮閭。過謝原憲。憲攝敝

衣冠。見子貢。子貢恥之曰。夫子豈病乎。原憲曰。吾聞之。無財者

謂之貧。學道而不能行者謂之病。若憲貧也。非病也。子貢慙。不

憚而去。終身恥其言之過也。

排藜藿ハ、札記云、雜志云、藜藿ニ藜ト爲スベシ、爾雅、藜藿注藜ノ字ニ似タリト、蓋ノ若キ豆葉ト爲ス、其類ニ非ベテ、字形相近クシテ誤レ、○

公治長。齊人。字子長。索隱曰家語云魯人。孔子曰長可妻也。雖在累絀之中。孔安國曰累黑索也。繩繫也。所以拘罪人。非其罪也。以其子妻之。張華曰公治長墓在城陽姑幕城東南五里所墓極高。

南宮括。字子容。孔安國曰魯人。○索隱曰家語作南宮縚按其人是孟僖子之子仲孫閱也蓋居南宮因姓焉。問孔子曰羿

善射。羿盪舟。孔安國曰羿有窮之君。篡夏后相位。其臣寒浞殺之。因其室而生。羿多力能陸地行舟。為夏后少康所殺。○正義曰羿音詣盪太浪反。俱

不得其死。然禹稷躬稼而有天下。孔子弗答。馬融曰禹盡力於溝洫稷播百穀故曰躬稼也禹及其身稷及後世皆王括意欲以禹稷比孔子。孔子謙故不答也。容出。孔子曰君子哉若人。上德哉若人。孔安國曰賤不義而貴德故曰君子。國有道不廢。孔安國曰不廢言見用。國無道免於刑戮。三復白珪

之玷。孔安國曰薛云白珪之玷尚可磨也斯言之玷不可為也。南宮讀詩至此三反覆之。是其心慎言也。以其兄之子妻之。

公哲哀。字季次。孔子家語云齊人。○索隱曰家語作公哲克。孔子曰天下無行多為家臣

仕於都。唯季次未嘗仕。索隱曰家語云未嘗屈節為人臣故子特賞歎之亦見游俠傳。

曾蒧。音音。孔安國曰。蒧字哲。曾參父。侍孔子。孔子曰言爾志。蒧曰春服既成冠

者五六人。童子六七人。浴乎沂。風乎舞雩。詠而歸。徐廣曰一作饋頤。案包氏曰暮春者孔子喟爾歎曰

吾與蒧也。周氏曰善蒧之獨知時也。

顏無繇。音遙。○正義曰繇音由。字路。路者顏回父。索隱曰家語顏山字路同之父也。孔子始教於闕里而受學焉。少孔子六歲故此傳云父子異時事孔子。父子嘗各異時事。孔子顏回死。顏路貧。請孔子

車以葬。孔安國曰賈以作禱。孔子曰材不材。亦各言其子也。鯉也死。有棺而

無槨。吾不徒行以爲之槨。以吾從大夫之後。不可以徒行。孔安國曰鯉孔子子伯魚孔子時為大夫言從大夫之後不可徒行謙辭也。

商瞿。正義曰具俱反。魯人。字子木。少孔子二十九歲。孔子傳易於瞿。瞿

行或ハ、禮記云、說文玉篇、成韻、地二韻字ナシ、賦ノ、賦ナリ、秦際、音其秦反、其說ナリ、說ハ後秦晉二凡云。

字路者顏回父、禮記云、秦際本、路者顏三字ナリ。

野賢子弘、禮記云、弘
當二玄ト爲スベシ、玄
即弘字、名ハ賢、故ニ
子玄ト字ス、禮記云、
作ル者ハ、同音假借ナ
リ。

傳、楚人馯徐廣曰音寒、臂子弘正義曰音汗顏師古云馯姓也漢書及荀卿子皆云字子弓此作弘蓋誤也應劭云子弓子夏門人弘

傳、江東人矯音橋、子庸疵音自移反○正義曰漢書作橋疵云將人顏師古云橋疵字子庸疵傳、燕人周子家

豎正義曰豎音時與反周豎字子家漢書作周醜也豎傳、淳于人光子乘羽正義曰光乘字羽括地志云淳于國在密州安丘縣

周武王封淳于國東三十里古之州國羽傳、齊人田子莊何正義曰儒林傳云田何字子莊何傳、東武人徐廣

瑛邪曰屬王子中同正義曰括地志云東武縣今密州諸城縣是也漢書作王同字子仲同傳、菑川人楊何正義曰漢書云

字叔元按商州至楊何凡八代何元朔中以治易爲漢中大夫

高柴字子羔鄭玄曰衛人○正義曰家語云齊人少孔子三十歲子羔長不盈五尺受

業孔子以爲愚子路使子羔爲費郈宰正義曰括地志云郈州宿縣二十三里郈亭

孔子曰賊夫人之子包氏曰子羔學未熟習而使爲政所以爲賊害子路曰有民人焉有社

稷焉何必讀書然後爲學孔安國曰言治民事神於是而習亦學也孔子曰是故惡夫佞

者孔安國曰疾其以口給應遂已非而不知窮也

漆彫開字子開鄭玄曰魯人也○正義曰家語云蔡人字子若少孔子十一歲習尙書不樂仕孔子使開仕對曰

吾斯之未能信孔安國曰仕進之道未能信者未能究習孔子說鄭玄曰善其志道深

公伯僚字子周馬融曰魯人○正義曰家語有中絲子周古史考云疑公伯僚是譏觀之人孔子不責而云命非弟子之流也周觀子

路於季孫子服景伯以告孔子曰夫子固有惑志僚也孔安國曰季孫信證

道之將行命也道之將廢命也公伯僚其如命何季孫信證

司馬耕字子牛孔安國曰宋人牛多言而躁問仁於孔子孔子曰仁者

其言也訥孔安國曰訥難也曰其言也訥斯可謂之仁乎子曰爲之難言

之得無訥乎孔安國曰行仁難言仁亦不得不難也問君子子曰君子不憂不懼孔安國曰牛兄

桓魋將爲亂。牛自宋來學。曰。不憂不懼。斯可謂之君子乎。子曰。內省。不

疚。夫何憂何懼。包氏曰。疚。病。自省。無罪惡。無可憂懼。

樊須。字子遲。鄭玄曰。齊人。○正義曰。家語云。魯人。○正義曰。家語云。魯人。○正義曰。家語云。魯人。少孔子三十六歲。樊遲請學稼。孔子

曰。吾不如老農。請學圃。曰。吾不如老圃。馬融曰。樹五穀曰圃。樊遲出。

孔子曰。小人哉。樊須也。上好禮。則民莫敢不敬。上好義。則民莫

敢不服。上好信。則民莫敢不用情。孔安國曰。情實也。言。民化上各以實應。夫如是。則四

方之民。襁負其子而至矣。焉用稼。包氏曰。禮義與信足以成德。何用稼。稼以教民。乎負子之器曰襁。樊遲

問仁。子曰。愛人。問智。曰。知人。

有若。鄭玄曰。魯人。○正義曰。家語云。魯人。字子有。少孔子三十三歲。不同。少孔子十三歲。有若曰。禮之用和

爲貴。先王之道斯爲美。小大由之。有所不行。知和而和。不以禮

有若少孔子十三歲、禮
起四十三歲三作、云
各本四字、作、依、今北
宋本、毛本、二依、案際
注引、四十二、作、依、
宋本、依、力、知、如、字、

節之。亦不可行也。馬融曰。人知禮貴和。而每事從和。不以禮爲節。亦不可以行。信近於義。言可復也。

何晏曰。復。猶覆也。義不必信。信非義也。以其言可覆。故曰近義。何晏曰。恭不合禮。非禮也。以其能遠恥辱。故曰近禮。因

不失其親。亦可宗也。孔安國曰。因。親也。言所親不失其親。亦可宗敬。孔子既沒。弟子思慕。有

若狀似孔子。弟子相與共立。爲師。師之如夫子時也。他日弟子

進。問曰。昔夫子當行。使弟子持雨具。已而果雨。弟子問曰。夫子

何以知之。夫子曰。詩不云乎。月離于畢。俾滂沱矣。毛傳曰。畢。濁也。月離。陰星則雨。

昨暮月不宿畢乎。他日月宿畢。竟不雨。商瞿年長無子。其母爲

取室。正義曰。家語云。瞿年三十八無子。母欲更娶。室孔子曰。瞿年過四十。當有五丈夫子。果然。中備云。魯人商瞿使向齊國。瞿年四十。今後使行。遠路。畏慮。恐絕無子。夫子正

月與瞿母筮。告曰。後有五丈夫子。子貢曰。何以知子。曰。卦遇大畜。良之二。世。九二。甲寅木爲世。六五。丙子水爲應。世生外象。生象來交。生互內象。艮丙子應有五子。二子短命。顏回云。何以知之。丙象是木。一艮變爲二。醜三陽交。互於。是五子一子短命。何以知短命。他以故也。

孔子使之齊。瞿母請之。孔子曰。

其母爲取室、韓大所
曰此法、法、
今世、以之、
三云、礼、
案云、人、
錢大昕、以、
推、行、
推、行、
未、必、
必、必、

無憂。瞿年四十後當有五丈夫子。五男也。已而果然。敢問：夫子何以知此？有若默然，無以應。弟子起曰：有子避之。此非子之座也。公西赤字子華。鄭玄曰：魯人。少孔子四十二歲。子華使於齊，冉有爲其母請粟。孔子曰：與之釜。馬融曰：六斗四升曰釜。請益，曰：與之庾。包氏曰：十六斗曰庾。冉子與之粟五秉。馬融曰：十六斛曰秉。五秉合爲八十斛。孔子曰：赤之適齊也，乘肥馬衣輕裘，吾聞君子周急不繼富。鄭玄曰：非冉有與之太多。巫馬施字子旗。鄭玄曰：魯人。正義曰：音其。少孔子二十歲。陳司敗問孔子曰：魯昭公知禮乎？孔子曰：知禮。退而揖巫馬旗曰：吾聞君子不黨，君子亦黨乎？魯君娶吳女爲夫人，命之爲孟西伯。孟子姓姬，諱稱同姓，故謂之孟子。魯君而知禮，孰不知禮？孔安國曰：相助，非曰黨。

及卷四見子書傳其四
十有二人云云ハ、礼記
云、卷四本、傳末ニ於
テ曰上四十二人無年及
不見傳者、十四字ナ
出シ、注云云ナカス、

禮同姓不婚而君娶之。當稱吳姬。諱曰孟子。施以告孔子。孔子曰：丘也幸，苟有過，人必知之，臣不可言君親之惡，爲諱者禮也。孔安國曰：以司敗之言告也。諱，國惡也。聖人之道弘，故受以爲過也。梁鱣一作鯉字叔魚，少孔子二十九歲。孔子家語曰：齊人。顏幸字子柳，少孔子四十六歲。鄭玄曰：魯人。冉孺字子魯。一作曾。少孔子五十歲。家語曰：魯人。曹卹字子循，少孔子五十歲。伯虔字子析，少孔子五十歲。正義曰：家語云：子哲。公孫龍字子石，少孔子五十三歲。鄭玄曰：楚人。○正義曰：家語云：衛人。孟子曰：趙人。莊子云：堅白之談也。自子石已右三十五人，顯有年名及受業，聞見於書傳。其四十有二人無年及不見書傳者，紀于左。索隱曰：家語此例唯有三十七人。其公良孺、秦商、顏亥、叔仲會四人家語有事迹。

此女交與開見于
魯下、亦當三十五人
上三十五人
其下四
十二人末、則當二案
後人移シテ一處ニ
非七、頭ヲ提シテ前ニ
在リ、趾ヲ微テ履ニ適
シ、其字ヲ附城シ、史
文ノ眞ヲ失フ。

記闕然自公伯遼秦冉鄒單三人家語不載而別有琴牢陳亢縣寬當此三人之數皆互有也
如文翁圖所記又有林放蘧伯玉申枨申堂俱是後人以所見增益今殆不可考

冉季字子產 鄭玄曰魯人。○正義曰。家語云冉季字子產。

公祖句茲字子之 正義曰。正義曰。句音鉤。

秦祖字子南 鄭玄曰。秦人。

漆雕哆 音赤 鄭玄曰。者反。字子斂。魯人。

顏高字子驕 正義曰。孔子在衛南子招夫。子爲次乘過市。顏高爲御。

漆雕徒父。

壤駟赤字子徒 鄭玄曰。秦人。

商澤 家語曰。字子季。

石作蜀字子明。

任不齊字選 鄭玄曰。楚人。

公良孺字子正 鄭玄曰。陳人。質而有勇。○正義曰。孔子周游常以家車五乘從孔子。孔子世家亦云語在三十五人中。今在三十二人數恐太史公誤也。

后處字子里 鄭玄曰。齊人。

秦冉字開 正義曰。家語云無此人。王肅家語此等惟三十七人。其公良孺秦商顏亥仲叔會四人家語有事迹而史記闕。公伯寮秦冉鄒單家語不載而別有琴牢

陳亢縣寬三人。

公夏首字乘 鄭玄曰。魯人。

奚容蒧字子皙 正義曰。衛人。

公堅定字子中 鄭玄曰。魯人。或曰晉人。

顏祖字襄 正義曰。魯人。

鄒單字子家 徐廣曰。一云鄒單鉅鹿。善字子家。有鄒縣太原有鄒縣。

公良孺注正義今在三十二人數ノ三ハ、四ノ誤ナリ。

奚容蒧、孔曰蒧ア蒧ニ作リ、云蒧文部、字有段玉裁注云、弟字蒧ノ有ナリ、論語會名、蒧、段云魯字ト、案ズルニ蒧ヲ二作ル者ハ、蒧音蒧、レシナ、即本史ノ文ナリ、點ト、蒧ト、蒧ト、段就是、蒧ト、蒧ト、蒧ト、作

三寫シテ取テ成スト。

秦簡字子丕ハ、李光緒曰、子丕當ニ丕茲ニ作ルベシ、左傳、必置安生、秦不茲、事仲尼、即此人ナリ。

仲尼弟子列傳第七

三四

句井疆。

鄭玄曰、衛人。○正義曰、句作句。

罕父黑。字子索。

家語曰、罕父黑字索。

秦商。字子丕。

鄭玄曰、楚人。○正義曰、家語云、魯人。字丕茲。

申黨。字周。

正義曰、魯人。

顏之僕。字叔。

鄭玄曰、魯人。

榮旂。字子祺。

鄭玄曰、魯人。○正義曰、縣音玄。

左人郢。字行。

鄭玄曰、魯人。

燕伋。字思。

鄭玄曰、魯人。

鄭國。字子徒。

正義曰、家語云、薛邦字徒。史記作國者、避高祖諱、薛字與鄭字誤耳。

秦非。字子之。

鄭玄曰、魯人。

施之常。字子恒。

鄭玄曰、魯人。

顏噲。字子聲。

鄭玄曰、魯人。

步叔乘。字子車。

鄭玄曰、齊人。

原亢籍。

家語曰、名亢、字籍。○正義曰、亢作冗、仁勇反。

樂欬。字子聲。

正義曰、魯人。

廉絜。字庸。

鄭玄曰、衛人。

叔仲會。字子期。

鄭玄曰、晉人。○索隱曰、家語魯人。少孔子五十四歲。與孔族牟相比。二孺子俱執筆、送侍於夫子。孟武伯見而訪之。

顏何。字冉。

鄭玄曰、魯人。○索隱曰、家語字稱。

狄黑。字哲。

索隱曰、家語載本各異。

邽異字子斂。鄭玄曰魯人。○索隱曰家語作選字子斂文翁圖作國。

孔忠。家語曰忠字子。漢孔子兄之子。

公西輿如字子上。索隱曰家語載亦同此。

公西蔵字子上。鄭玄曰魯人。○索隱曰家語作子尙也。

太史公曰學者多稱七十子之徒譽者或過其實毀者或損其

真鈞之未覩厥容貌則論言弟子籍出孔氏古文近是余以弟

子名姓文字悉取論語弟子問并次爲篇疑者闕焉。

索隱述贊曰敎與闕里道在陬鄉異能就列秀士昇堂依仁遊藝合志同方將師宮尹俎豆琳瑯惜哉不編空臣素王。

蘇子古史曰孔子之道如天然在人賢者識其大者不賢者識其小者顏子識其大者也故仰之而知其有高者存焉贊之而知其有墜者存焉故曰語之而不惰者其回也歟此孔子所以獨稱其好學也人誠有見于此譬如爲山雖覆一簣未有能止之者也苟誠無見矣雖既九仞不復能進也此顏子與衆弟子之辨。○古之君子其躬無所不敬其於人也平易近

弟子籍出孔氏古文ハ、王鳴鑿曰、仲尼弟子列傳疑綱注ハ、鄭玄注引ク、冉季字子産鄭玄曰、魯人、季孫字子用鄭玄曰、魯人、類ノ如キ、鄭玄注ハ、非ハ、鄭玄史記ハ、法七ハ、家語ハ、王勣定、鄭亦見ク、竟ハ、此鄭何書ノ注ナラシク知ク、太史公曰、弟子籍ハ、孔氏古文トシテ、則ハ、亦是孔安國得所、魯共王瑞宅中ヨリ取出ス者ナリ、蓋原成書ノ注ス、限中野漢書ノ注

也、而後民安之、太公之所謂以治齊、則居敬而行簡者也、伯禽之所以治魯、則居敬而行敏者也、雖周公亦憂魯之不競、則仲弓之言周孔所許也、○太史公言、幸我爲臨菑大夫、與田恆作亂、夷其族、孔子恥之、余以爲幸、我之賢列於四科、其師友淵源所從來、蓋矣、雖爲不善、不至於從、叛逆弑君、父也、幸我不幸、平居有逆、發短喪之過、儒者因途信之、蓋田恆之亂、本與闕止爭政、闕止亦子我也、田恆既殺闕止、而幸我蒙其惡名、豈不哀哉、且使幸我、信與田恆之亂、恆既殺闕止、弑簡公、尚誰族、幸我者、事蓋必不然矣、○太史公稱子貢一出、存魯亂齊、破吳、強晉、伯越、子觀、春秋左氏傳、齊之伐魯、本於悼公之怒季姬、而非陳恆、吳之伐齊、齊本怒悼公之反覆、而非子貢、與齊之戰、陳乞猶在、而恆未任事、凡太史公所記、皆非也、蓋戰國說客、設爲子貢之辭、自託於孔氏、而太史公信之耳、○冉有季路皆以政事稱、孔門、冉有才有餘、而志不足、其於季氏、委曲從之、不能有所立也、至於季路、志厲而識闕、事衝出公、雖父子爭國、而不知其危也、方其攻莊公於臺上、使幸而莊公舍孔、則季路與恆皆出、猶可言也、莊公方質孔、以取衛、其不釋、理明矣、孔恆不出、遂攻而勝之、則爲臣弑君、季路雖生、將安所容身乎、嗚呼、學於孔子、其慮者、曾不若召捷、悲夫、○善乎子夏之教人也、始於洒掃應對進退、而不急於道、使其來者、自盡於學、日引月長、而道自至、譬如農夫之植草木、旣爲之區、澆種、而不急於道、使其自然、至小大甘苦、莫不咸得其性、而農夫無所用巧也、異哉、今世之教者、聞道不明、而急於夸世、非性命道德、不出於口、雖禮樂刑政、有所不言矣、而況於洒掃應對進退也哉、教者、未必知、而學未必信、務爲大言、以相欺天下之僞、自是起、此子夏所謂誣也、○道有不可以名言者、古之聖人、命之曰一、寄之曰中、舜之禪禹、曰人心惟危、道心惟微、惟精惟一、允執厥中、聖人之欲以道相照者、至於一與中盡矣、昔者孔子與諸弟子言、無所不至、然而未嘗及此也、雖與子貢言之、而孔子之言之也、雖而子貢之受之也、未信、至於會子、則

民而後民安之、太公之所謂以治齊、則居敬而行簡者也、伯禽之所以治魯、則居敬而行敏者也、雖周公亦憂魯之不競、則仲弓之言周孔所許也、○太史公言、幸我爲臨菑大夫、與田恆作亂、夷其族、孔子恥之、余以爲幸、我之賢列於四科、其師友淵源所從來、蓋矣、雖爲不善、不至於從、叛逆弑君、父也、幸我不幸、平居有逆、發短喪之過、儒者因途信之、蓋田恆之亂、本與闕止爭政、闕止亦子我也、田恆既殺闕止、而幸我蒙其惡名、豈不哀哉、且使幸我、信與田恆之亂、恆既殺闕止、弑簡公、尚誰族、幸我者、事蓋必不然矣、○太史公稱子貢一出、存魯亂齊、破吳、強晉、伯越、子觀、春秋左氏傳、齊之伐魯、本於悼公之怒季姬、而非陳恆、吳之伐齊、齊本怒悼公之反覆、而非子貢、與齊之戰、陳乞猶在、而恆未任事、凡太史公所記、皆非也、蓋戰國說客、設爲子貢之辭、自託於孔氏、而太史公信之耳、○冉有季路皆以政事稱、孔門、冉有才有餘、而志不足、其於季氏、委曲從之、不能有所立也、至於季路、志厲而識闕、事衝出公、雖父子爭國、而不知其危也、方其攻莊公於臺上、使幸而莊公舍孔、則季路與恆皆出、猶可言也、莊公方質孔、以取衛、其不釋、理明矣、孔恆不出、遂攻而勝之、則爲臣弑君、季路雖生、將安所容身乎、嗚呼、學於孔子、其慮者、曾不若召捷、悲夫、○善乎子夏之教人也、始於洒掃應對進退、而不急於道、使其來者、自盡於學、日引月長、而道自至、譬如農夫之植草木、旣爲之區、澆種、而不急於道、使其自然、至小大甘苦、莫不咸得其性、而農夫無所用巧也、異哉、今世之教者、聞道不明、而急於夸世、非性命道德、不出於口、雖禮樂刑政、有所不言矣、而況於洒掃應對進退也哉、教者、未必知、而學未必信、務爲大言、以相欺天下之僞、自是起、此子夏所謂誣也、○道有不可以名言者、古之聖人、命之曰一、寄之曰中、舜之禪禹、曰人心惟危、道心惟微、惟精惟一、允執厥中、聖人之欲以道相照者、至於一與中盡矣、昔者孔子與諸弟子言、無所不至、然而未嘗及此也、雖與子貢言之、而孔子之言之也、雖而子貢之受之也、未信、至於會子、則

孔子之告之也不疑而曾子之受之也不惑與子貢異矣及孔子既沒曾子傳之子思子思因其說而廣之曰喜怒哀樂之未發謂之中發而皆中節謂之和子思之說既出而天下始知一與中之在是矣然子思以授孟子孟子又推之以爲性善之論性善之論出而一與中始枝矣嗚呼孔子所以不告諸弟子者蓋爲是歟○四子之言皆其志也夫子之哂由也以其不讓而其與點也以其自知之明歟如曾皙之狂其必有不可施於世者矣苟不自知而強從事焉禍必隨之其欲從弟子風乎舞雩樂以忘老則其處已審矣不然孔子豈以不仕爲貴者哉○樊遲之學爲農圃蓋將與民並耕而食歟此孟子所謂許行之學也孟子曰有大人之事有小人之事堯以不得舜爲己憂舜以不得禹皋陶爲己憂以百畝之不易爲己憂者農夫也此孔子謂樊遲小人也○太史公稱孔子既沒弟子以有若貌觀孔子師之如孔子時及問而不能答乃斥去之夫以有若之賢而其無恥至此極歟且月宿子舉而兩不應商瞿四十而生五子此卜祝之事而鄙儒所以謂孔子聖人者戰國雜說類此多矣○孔子弟子高第七十七人余以太史公書及孔子家語考之皆同秦冉顏何不載於家語而宰陳亢不錄於史記二書既不可偏廢而琴張陳亢又見於論語并錄之凡七十九人云

范仲淹曰孔子門人七十子之徒天下皆知其賢焉或爲邑宰或不願仕蓋顯于諸侯者寡矣然則七十子之徒與孔子語而未嘗怨何哉君子之道克乎己加乎人窮與達一也彼戰國豪士不由孔子之門者則有脫賤貧逐高貴弗辱弗厭滅身覆宗而不悔何哉

史記評林卷之六十七終

史記評林卷之六十八

商君列傳第八

商君者。正義曰秦封於商故號商君。衛之諸庶孽公子也。名鞅。姓公孫氏。其祖

庶孽公子、札記云、公字後人、加、所、玉、公、王、是、公、即、單、下、爲、スナ、

本姬姓也。鞅、少好刑名之學、事魏相公叔座、名也。座、香在戈反、爲中

會。座病。魏惠王親往問病。索隱曰、即魏侯之子、名、曰公叔病。有如不可

諱。將奈社稷。何。公叔曰。座之中庶子。索隱曰、戰國策、公孫鞅。年雖少

有奇才。願王舉國而聽之。王嘿然。王且去。座屏人言曰。王即不

聽用鞅。必殺之。無令出境。王許諾而去。公叔座召鞅。謝曰。今者

問病注索隱即魏侯之子、入、魏、下、爲、スナ、

不用公叔座言

否說公以帝道。吾說公以王道。董谷曰衛鞅既クニ帝王ノ道ヲ以テスルニ非ズ、蓋先ヅ迂濶久遠ノ事ヲ以テシ

素王ノ心ヲシテ朕ハシメ、以テ益其伯ヲ用フノ志ヲ朕クシ、伯ノ放ノ速ヲナルヲ見スノミ。鞅見孝公益愈ハ、時小雅、憂心愴愴、靡盬。曰、憂懼ハ益、甚シキニ至リ、此益愈モ望以帝王ノ道比三代ノ比ハ、下比德於殷周ノ比ト同シ、正變ノ說解シ難シ。

鞅欲變法ハ、札云、鞅字行ナリ、非孝公執ニ從ヒテ變セシムト欲シ、天下ニ疑フヲ恐ル、故ニ鞅城ヲ無功ノ謀アリ、商子更法篇

王問可。以為相者。我言若。王色不許。我方先君後臣。因謂王。即弗用鞅。當殺之。王許我。汝可疾去矣。且見禽。鞅曰。彼王不能用君之言。任臣。又安能用君之言。殺臣乎。卒不去。惠王既去。而謂左右曰。公叔病甚。悲乎。欲令寡人以國聽公孫鞅也。豈不悖哉。索隱曰。疾重而悖亂也。○正義曰。悖音背。公叔既死。公孫鞅聞。秦孝公下令國中。求賢者。將修繆公之業。東復侵地。迺遂西入秦。因孝公寵臣景監以求見孝公。索隱曰。景姓。楚之族也。監音甲。去聲。平聲。並通。孝公既見衛鞅。語事良久。孝公時時睡。弗聽。罷而孝公怒。景監曰。子之客。妄人耳。安足用邪。景監以讓衛鞅。衛鞅曰。吾說公以帝道。其志不開悟矣。後五日復求見鞅。鞅復見孝公。益愈然而未中旨。罷而孝公復讓景監。景監

亦讓鞅。鞅曰。吾說公以王道而未入也。請復見鞅。鞅復見孝公。孝公善之而未用也。罷而去。孝公謂景監曰。汝客善。可與語矣。鞅曰。吾說公以霸道。其意欲用之矣。誠復見我。我知之矣。衛鞅復見孝公。公與語。不自知。却之前於席也。語數日不厭。景監曰。子何以中吾君。吾君之驩甚也。鞅曰。吾說君以帝王之道比三代。正義曰。此必兼反說者。以五帝三王之事。比至孝公。以三代帝王之道。方與孝公曰。太久遠。吾不能。而君曰。久遠。吾不能待。且賢君者。各及其身。顯名天下。安能邑邑待數十年。以成帝王乎。故吾以彊國之術說君。索隱曰。音稅。君大說之耳。索隱曰。音悅。然亦難以比德於殷周矣。孝公既用衛鞅。鞅欲變法。恐天下議已。衛鞅曰。疑行無名。疑事無功。且夫有高人^{句聲}之行者。固見非於世。索隱曰。商君書。非作

二、季公曰、今吾欲
變法云云ト、是其臣ナ
リ、折衷善惡同シ、
必以救民ノ故ハ、モ
ト、言ニ作リ、國ヲ
爲シ、遂ニ救ニ轉セシ
ナリ。

愚者制法ハ、愚者ハ法
ニ制セラルルナリ。

負有獨知之慮者必見救於民。索隱曰商君書作必見於
於人也。○正義放五到反。愚者聞於成
事知者見於未萌。民不可與慮始。而可與樂成。論至德者不和
於俗。成大功者不謀於衆。是以聖人苟可以疆國。不法其故。索
隱曰言教弊爲政之術所爲苟可以
疆國則不必要須法於故事也。苟可以利民。不循其禮。孝公曰善。甘龍
曰。言教弊爲政之術所爲苟可以
疆國則不必要須法於故事也。氏出春秋時甘昭公子帶之後。不然。聖人不易民而教。知者不變
法而治。因民而教。不勞而成。功緣法而治者。吏習而民安之。衛
鞅曰。龍之所言。世俗之言也。常人安於故俗。學者溺於所聞。以
此兩者。居官守法。可也。非所與論於法之外也。三代不同禮。而
王。五伯不同法。而霸。智者作法。愚者制焉。賢者更禮。不肖者拘
焉。索隱曰言賢智之人作法更禮而愚不肖者
不明變通而輒拘制不使之行斯亦信然矣。杜摯曰。利不百。不變法。功不

季定變法之令云云ハ、
方苞曰、管子齊俗ハ、
蕭何律ニ定、皆略シ
テ具セズ。而商君
ノ法ヲ記スルル。王造
ノ由テ減増スル所ナキ
スナリ。
相收司連坐ハ、方苞曰、
相收スル者ハ、彼此相
攝管ス。猶周官司相
攝民ヲ收歟。ルノ收ノ
如シ。相司スル者ハ、
相管察シテ以テ姦ヲ告
ルナリ。將西伯ノ隨
更傳、姦臣賊子、隨
云收ハ捕司ハ察ナリ。
各以率受上爵、率ハ差
等ナリ。

十不易器。法古無過。循禮無邪。衛鞅曰。治世不一道。便國不法
古。故湯武不循古而王。索隱曰商君
書作修古。夏殷不易禮而亡。索隱曰指殷
紂夏桀也。反
古者不可非。而循禮者不足多。孝公曰善。以衛鞅爲左庶長。卒
定變法之令。令民爲什伍。索隱曰劉氏云五家爲保十家相連
也。○正義曰或爲十保。或爲伍保。而相收司
連坐。索隱曰收司謂相刺發也。一家有罪而九家連坐
發若不刺舉則十家連坐恐變令不行故設重禁。不告姦者。腰斬。告姦者
與斬敵首同賞。索隱曰謂告姦一人則得爵
一級故云與斬敵首同賞也。匿姦者。與降敵同罰。索隱
曰律
降敵者。誅其身沒其家。今
匿姦者。言當與之同罰也。正義曰民有
二男不別爲
活者一人。有軍功者。各以率。音
律。受上爵。爲私鬪者。各以輕重。被刑。
出兩課。
大小僇力。本業耕織。致粟帛多者。復其身。事末利及怠而貧者。
舉以爲收孥。索隱曰末利謂工商也。蓋農桑爲本故上云本業耕織也。怠者懈也。周禮
謂之疲民以言解怠不事事之人而貧者即糾舉而收孥其妻子沒爲官

奴婢蓋其法特又重。宗室非有軍功論不得為屬籍。索隱曰：謂宗室若無軍功，則不得入屬籍，謂除於古制也。孳音奴。其籍則雖無功不及爵秩也。明尊卑爵秩等級，各以差次。名田宅，臣妾衣服，以家次。索隱曰：謂各隨其家爵秩之班次，亦不使僭修飾等。有功者顯榮，無功者雖富無所芬華。令既具，未布，恐民之不信，已乃立三丈之木於國都市南門，募民有能徙置北門者，予十金。民惟之，莫敢徙。復曰：能徙者，予五十金。有一人徙之，輒予五十金，以明不欺。卒下令，行於民。秦民之國都，言初令之不便者，以千數。索隱曰：謂新變之法，令為初令。於是太子犯法，衛鞅曰：法之不行，自上犯之。將法太子。太子君嗣也，不可施刑。刑其傅公子虔，黥其師公孫賈。明日，秦人皆趨令。索隱曰：趨音向也。七論反趨者附也。行之十年，秦民大說，道不拾遺，山無盜賊，家給人足，民勇

言初令之不便者，初字，蓋下初音，合不便者，二因字，於ルナリ。索隱ノ說、恐クハ案誤ナリ。

作爲屬籍，ハ、札記云、疑フ爲字一本、案二作ル、按者、列法、後人誤テ并ス。集小都縣邑案爲縣ハ、札記曰、都字好ナリ、案本村曰、諸小都案ナ、并セ、集大縣ト爲ス、六國表曰、初字小邑ナ、案三十一縣ト爲ス、皆都字ナシ。封國注謂縣屬ハ、縣ハ、道ナリ、札記云、縣音、縣、正文及七注上ノ、縣字皆誤ル、古ハ、縣或ハ、縣ニ作ル、政、省、及、縣、縣、二作ル、也、故、及、ニ、屬スルヲ、知ス。

於公戰，怯於私鬪，鄉邑大治。秦民初言令不便者，有來言令便者，衛鞅曰：此皆亂化之民也，盡遷之於邊城。其後民莫敢議令，於是，以鞅爲大良造。索隱曰：即太上造也。秦之第十六爵名也。今云良造者，或後變其名耳。將兵圍魏安邑，降之。居三年，作爲築冀闕宮庭於咸陽。索隱曰：冀闕即魏闕也。冀記也。記列赦令當於此門闕。秦自雍徙都之，而令民父子兄弟同室，內息者爲禁，而集小都鄉邑，聚爲縣，置令丞。凡三十一縣，爲田開阡陌，封疆。正義曰：南北曰阡，東西曰陌。按謂縣也。疆音疆，封聚土也。而賦稅平。平斗桶。鄭玄曰：音勇，今之斛也。○權衡丈尺，疆界也。謂界上封記也。索隱曰：音統，量器名也。行之四年，公子虔復犯約，劓之。居五年，秦人富彊，天子致胙。正義曰：音左。於孝公諸侯畢賀，其明年齊敗魏兵於馬陵，虜其太子申，殺將軍龐涓。其明年，衛鞅說孝公曰：秦之與魏，譬若人之有腹

心疾。非魏并秦。秦即并魏。何者。魏居嶺阨之西。都安邑。案隱曰。蓋山嶺險阨之地。即今蒲州之中條。安邑之東。已東連汾晉之嶺。隱是也。阨阻也。與秦界河。而獨擅山東之利。利則西侵。秦病。則東收地。今以君之賢聖。國賴以盛。而魏往年大破於齊。諸侯畔之。可因此時伐魏。魏不支。秦必東徙。東徙。秦據河山之固。東鄉以制諸侯。此帝王之業也。孝公以為然。使衛鞅將而伐魏。魏使公子卬將而擊之。軍既相距。衛鞅還。魏將公子卬書曰。吾始與公子驩。今俱為兩國將。不忍相攻。可與公子面相見盟。樂飲而罷兵。以安秦魏。魏公子卬以為然。會盟已飲。而衛鞅伏甲士而襲虜魏公子卬。因攻其軍。盡破之。以歸秦。魏惠王兵數破於齊。秦國內空。日以削。恐乃使使割河西之地。獻於秦。以和。

魏於商君注近此三邑。據隱曰。三邑恐クハ二邑ノ誤ナリト。二邑ハ於上商トナリ。

非其位而居之曰貪位。非其川漢而曰。此貪位。即下文貪商於富ノ貪。ナリ。恐貪位貪名也。ハ漢而曰。恐クハ商君ノ化スル所爲。

而魏遂去。安邑徙都大梁。

案隱曰。紀年云。梁惠王二十九年。秦衛鞅伐梁。西鄙則徙大梁。在惠王之二十九年也。○正義曰。徙蒲州。

安邑徙沐州浚儀也。

梁惠王曰。寡人恨不用公叔座之言也。衛鞅既破魏還。

底節即不用鞅殺之。

秦封之於商十五邑。號為商君。

徐廣曰。弘農商縣也。○案隱曰。於商二縣名。在弘農。紀年云。秦封商鞅在惠王三十年。與

此文亦同。○正義曰。於商在鄆州內鄉縣東七里。古於邑也。商洛縣在商州東八十九里。本商邑。周之商國。按十五邑近此三邑。

商君相秦十年。案隱曰。戰國策云。孝公行商君法十八年而死。與此文不同者。按此直云相秦十年耳。而戰國策乃云行商君法十八年。蓋連其未作相之年說也。

怨望者。趙良見商君。商君曰。鞅之得見也。從孟蘭臯。

案隱曰。孟蘭臯。臯人姓名也。

言鞅前因蘭臯得與趙良相見也。

今鞅請得交。可乎。趙良曰。僕弗敢願也。孔丘有言。

曰。推賢而戴者進。聚不肖而王者退。僕不肖。故不敢受命。僕聞之。曰。非其位而居之。曰貪位。非其名而有之。曰貪名。僕聽君之義。則恐僕貪位貪名也。故不敢聞命。商君曰。子不說吾治。秦與

己レ亦位名ノ人ト
爲ナリナリ。
反聽之謂聽内視之謂明
ハ、明聽曰、反聽内
視ハ、己レニ反リ、視
者ヌメ即ナリ。

索隱曰。說音。趙良曰。反聽之謂聰。内視之謂明。自勝之謂彊。索隱曰。謂守謙。
悅與音于。敬入自伏非。是爲自勝。若是者乃爲彊。若爭名得勝。此非彊之道。
虞舜有言。曰。自卑也尚矣。君不若道虞舜之道。無爲問。僕矣。商君曰。始秦戎翟之教。父子無別。同室而居。今我更制其教。而爲其男女之別。大築翼闕。營如魯衛矣。子觀我治秦也。孰與五殺大夫賢。趙良曰。千羊之皮。不如一狐之掖。千人之諾諾。不如一士之諤諤。武王諤諤以昌。殷紂墨墨以亡。正義曰。以殷紂比商君。君若不非武王乎。則僕請終日正言。而無誅可乎。
商君曰。語有之矣。貌言華也。至言實也。苦言藥也。甘言疾也。夫子果肯終日正言。鞅之藥也。鞅將事子。子又何辭焉。趙良曰。夫五殺大夫。荆之鄙人也。正義曰。百里奚。南陽宛人。屬楚。故云荆。聞秦繆公之賢。而願望

一殺荆之禍注此云
荆未詳。ハ、杜注云。攻吳
云。宋。荆。禍。而
殺之。殺。ナリ。

見行。而無資。自粥於秦。客被褐食牛。期年繆公知之。舉之牛口之下。而加之百姓之上。秦國莫敢望焉。相秦六七年。而東伐鄭。三置晉國之君。索隱曰。謂立晉惠公。懷公文公。一救荆國之禍。索隱曰。十二諸侯年表。穆公二十八年。會晉伐楚。朝周。此云救荆。發教封內。而巴人致貢。施德諸侯。而八戎來服。由余聞之。未詳。款關請見。韋昭曰。款叩也。五殺大夫之相秦也。勞不坐乘。暑不張蓋。行於國中。不從車乘。不操干戈。功名藏於府庫。德行施於後世。五殺大夫死。秦國男女流涕。正義曰。音體。童子不歌謠。春者不相杵。鄭玄曰。相。謂送杵聲也。音聲自勸也。此五殺大夫之德也。今君之見秦王也。因嬖人景監以爲主。非所以爲名也。相秦不以百姓爲事。而大築冀闕。非所以爲功也。刑黥太子之師傅。殘傷民以峻刑。是積怨畜禍也。教

教之化民也深於命云云
ハ、方苞曰、此泛ク教
化ノ理ヲ論ズ、命ハ二
ニ出テ、而教ハ身ニ
型ス、故ニ民ヲ化スル
ニ深クシテ、而民ノ型
ハ深クシテ、而民ノ型
左、而外易ハ、昔川淇
曰先王ノ左ト爲ス所ノ
者ヲ以テ之建テ、先
王ノ外ト爲ス所ノ者ヲ
以テ之建テ、而先王
ノ教ヲ履スルヲ言フ。

持矛而誦商者ハ、圖
毛亦戰ノ名ナリ、注蘇
ハ小テナリ。

之化民也深於命。索隱曰劉氏云教謂商鞅之令也命謂秦君之命也言人畏服甚於秦君民之效上也捷於令。索隱曰上謂商鞅之處分今謂秦君之教令今君又左建外易非所以爲教也。索隱曰左建立威權也外易謂君又南面而稱寡人日繩秦之賢公子詩曰相鼠有體人而無禮人而無禮何不過死以詩觀之非所以爲壽也公子虔杜門不出已八年矣君又殺祝權而黥公孫賈詩曰得人者興失人者崩此數事者非所以得人也君之出也後車十數從車載甲多力而駢脅者爲驂乘持矛而操闌所及戰者徐廣曰一作聚屈處之勁矛干將之雄戟○索隱曰闌亦作鋸同所及反都誕音吐闌反秦音遼屈音九勿反按屈盧干將並古良匠造矛戟者名○正義曰願野王云誕也方言云矛吳揚江淮南楚五湖之間謂之誕其柄謂之鎡釋名云戟格也旁有格旁車而趨此一物不具君固不出書曰恃德者昌恃力者亡。索隱曰此是周書之言孔子所制之除君之危若朝露尚將欲延年

客人不知其是商君ハ、客人ハ客舍ノ人ナリ。

益壽乎則何不歸十五都。索隱曰衛鞅所封商於二縣以爲國其中凡有十三邑故云灌園於鄙勸秦王顯巖穴之士養老存孤敬父兄序有功尊有德可以少安君尚將貪商於之富寵秦國之教畜百姓之怨秦王一旦捐賓客而不立朝秦國之所以收君者豈其微哉。索隱曰謂鞅於秦無仁恩故秦國之所以將收錄缺者其效甚明故云豈其微哉亡可翹足而待商君弗從後五月而秦孝公卒太子立公子虔之徒告商君欲反發吏捕商君商君亡至闕下欲舍客舍客人不知其是商君也曰商君之法舍人無驗者坐之商君喟然歎曰嗟乎爲法之敝一至此哉去之魏魏人怨其欺公子卬而破魏師弗受商君欲之他國魏人曰商君秦之賊秦彊而賊入魏弗歸不可遂內秦商君既復入

秦走商邑秦走向也與其徒屬發邑兵北出擊鄭徐廣曰京兆鄭縣也

兆有鄭縣秦本紀云初縣社鄭秦發兵攻商君殺之於鄭黽池徐廣曰黽或按其地是鄭桓公友之所封

秦惠王車裂商君以徇曰莫如商鞅反者遂滅商君之家晉亡忍反○正義曰黽池去鄭三百里蓋秦兵至鄭破商邑兵而商君東走至黽乃擒殺之

太史公曰商君其天資刻薄人也索隱曰謂天資其人爲刻薄之行刻謂用刑深刻薄謂棄仁義不相誠也跡

其欲于孝公以帝王術挾持浮說非其質矣索隱曰說音如字浮說即虛說也謂鞅得用刑政深

刻又欺魏將是其天資自有狙詐則初爲且所因由嬖臣及得用刑公子虔

欺魏將印不師趙良之言亦足發明商君之少恩矣余嘗讀商

君開塞耕戰書與其人行事相類索隱曰按商君書開謂刑嚴峻則政化明

恩又爲田開阡陌及言斬卒受惡名於秦有以也夫新序論曰秦孝公保鞅西

余嘗讀商君開塞耕戰書
ハ、明無法曰、開塞乃
其書第七篇、開道乃
ル久矣、今之開道乃
ト欲ス、必刑九シテ
而賞一、刑特ニ過マ
而賞一、刑特ニ過マ
則大邪生ズ、賞奸
各アルニ歸セ、則邪

必失ハズ云云、然ノ術
他ヤシ、特ニ許サテ
ムノミ、又云、商君サテ
シテスルヲ得ルヲク、處
ナシテ、刑スルヲ得ルナ
カラス、則、刑スルナ
ケレバ、則、刑スルナ
メ、商鞅スルナケレバ、
則多端典ニ染マヌ云
云、然、大邪生ズ、賞奸
各アルニ歸セ、則邪
ノ、自、其、罪、ヲ、知、ラ、ザ
ル、ノ、ミ、

說苑法法於道者云
云ハ、序論ノ、秦法於
道者被刑ノ、解ナリ。

河西北收上郡國富兵彊長雄諸侯周室歸籍四方來賀爲戰國霸君秦遂以驅六世而并諸侯亦皆商君之謀也夫商君極身無二慮盡公不顧私使民內急耕織之業以富國外重戰伐之賞以勸戒士法令必行內不私與寵外不偏疏遠是以令行而禁止法出而姦息故雖書云無偏無黨詩云周道如砥其直如矢司馬法之勸戒士周后稷之勸農粟無以易此所以并諸侯也故孫卿曰四世有勝非幸也數也然無信諸侯畏而不親夫霸君若齊桓晉文者桓不倍柯之盟文不負原之期而諸侯畏其彊而親信之存亡繼絕四方歸之此管仲舅犯之謀也今商君倍公子卬之舊恩棄交魏之明信詐取三軍之衆故諸侯畏其彊而不親信也藉使孝公遇齊桓晉文得諸侯之統將合諸侯之君驅天下之兵以伐秦秦則亡矣天下無桓文之君故秦得以兼諸侯衛鞅始自以爲知霸王之德原其事不論也昔周召施善政及其死也後世思之蔽帶甘棠之詩是也管舍於樹下後世思其德不忍伐其樹況害其身乎管仲魯伯氏邑三百戶無怨言今衛鞅內刻刀鋸之刑外深鉄之誅步過六尺者有罰棄灰於道者被刑一日臨涓而論囚七百餘人涓水盡亦號哭之聲動於天地畜怨積讎比於丘山所逃莫之隱所歸莫之容身死車裂滅族無姓其去霸王之佐亦遠矣然惠王殺之亦非也可輔而用也使衛鞅施寬平之法加之以恩申之以信庶幾霸者之佐哉○索隱曰新序是劉歆所撰其中論商君故斐氏引之藉音昨字合作昨誤爲藉耳按本紀周歸文武昨於孝公者是也說苑云秦法棄灰於道者刑是其事也

索隱述贊曰衛鞅入秦景盛是因王道不用霸術見親政必改革禮豈因循既欺魏將亦怨秦人如何作法逆旅不實
蘇子古史曰解牛之技取於屠狗禦人之盜取於穿窬衛鞅有帝王之術而肯以強國之事說孝公平蓋鞅之志本於強國而已恐孝公之不能用是以極言其上以要之耳鞅欺公子

即以取魏河西利之所在無所復顧。軼而知帝王之術其肯爲此哉。古之制刑輕重必與事
應。殺人者死。傷人及盜抵罪。故人雖死而無憾。今軼使不告姦者腰斬。告姦者與斬敵首同。
賞陞姦者與降敵同罰。民有二男不分異者倍賦。事未利及意而貧者舉爲收孥刑之輕重。
豈復與事應哉。其後始皇之世有子而嫁者有刑。夫爲寄殺者殺之無罪。妻爲逃嫁者子不
得母。法皆與情不應。至於偶語詩書者棄市。以古非今者族。其端皆自軼發之。

史記評林卷之六十八終

史記評林卷之六十九

蘇秦列傳第九

蘇秦者東周雒陽人也。

索隱曰蘇秦字季子蓋蘇忿生之後已姓也。雖周云秦兄弟五人秦最少。兄代。代弟厲。及辟雋。並爲游說之士。此下

云秦弟代。代弟厲未詳。○正義曰戰國策云蘇秦。雒陽軻里之人也。藝文志云蘇子三十一篇在縱橫流。敬王以子朝之亂。從王城東遷。雒陽故城乃號東周。以王城爲西周。東事師於齊。而習之於鬼谷先生。徐廣曰。穎川陽城有鬼谷。蓋是其所居。因爲號

隱曰。鬼谷地名也。扶風池陽。穎川陽城。並有鬼谷墟。蓋是其所居。因爲號。居因爲號。又樂壹注。鬼谷子書云。蘇秦欲神祕其道。故假名鬼谷。出游數歲。大困而歸。

索隱曰。戰國策此語在說秦王之後。兄弟嫂妹妻妾竊皆笑之。曰。周人之俗。治產業。

力工商。逐什二以爲務。今子釋本而事口舌。困不亦宜乎。蘇秦聞之而慙。自傷。乃閉室不出。出其書徧觀之。日夫

索隱曰。徧觀。謂盡觀覽其書。

其何陽人也。雖八格
卜同。注。雒陽軻里之
人也。札記。乘軒里人
也。二作。乘。字。說。之。
里下之字。衍入。考證
這策。二據。改。

川其書徧觀之。六。札記
云。索隱本。風首受書

下三於... 其下得周... 五字... 以爲... 符云... 本館... 期年... 謀國... 出... 以說... 當世... 之君矣。

秦四塞之國... 注... 同... 日... 云... 東... 西... 下... 四... 從... 二... 字... 脫... 。

士業已屈首受書。索隱曰謂士之立操業者素也。本也。而不能以取尊榮。雖

多亦奚以爲。於是得周書陰符。伏而讀之。期年以出揣摩。戰國策曰

乃發書陳箴數十得。太公陰符之謀。伏而誦之。飭練以爲揣摩。讀書欲睡。引錐自刺其股。血流

至踵。曰安有說入主。不能出其金玉錦繡。取卿相之尊者乎。期年揣摩成。鬼谷子有揣摩篇也。

索隱曰戰國策云得。太公陰符之謀。則陰符是太公兵法。揣摩音初。委反。摩音姥。何反。鄒誕本

作揣摩。讀亦爲摩。王勣云。揣摩摩意是鬼谷之二章名。非爲三篇也。高誘曰。揣定也。摩合也。

定諺侯使。使歸其術以成六國之從也。江遂曰。揣人主之情。摩而近之。其意當矣。曰此可以說當世之君矣。求說周顯

王。顯王左右。素習知蘇秦皆少之。索隱曰謂王之左右。素習知秦浮說多不中當世。而以爲秦智識淺故少之。劉氏

云少謂輕之。弗信。乃西至秦。秦孝公卒。說惠王曰。秦四塞之國。正義曰。東函谷。滎津。龍門。合河等關。南山及武關。峽關。西有大隴山及隴。被山帶渭。東有關河。山關大震。烏關等關。北有黃河南塞。是四塞之國。被山帶渭。被山帶渭。東有關河。正義曰。又爲界。地里江謂江。渭州關山之西南。流入蜀。東至荆陽。入海也。河謂黃河。從同州小積石山。東北流至勝州。即南流至華州。又東北流經魏洽等州。入海。各是萬里已下。

西有漢中。南有巴蜀。北有代馬。索隱曰謂代郡。馬邑也。地理志云。代郡又有馬城縣。一云代馬。謂代郡兼有胡馬之利也。

此天府也。索隱曰周禮春官有天府。鄭玄曰。以秦士民之衆。兵法之教。可

以吞天下。稱帝而治。秦王曰。毛羽未成。不可以高蜚。文理未明。

不可以并兼。方誅商鞅。疾辯士。非用乃東之趙。趙肅侯令其弟

成爲相。號奉陽君。奉陽君非說之。去游燕歲餘。而後得見說燕

文侯曰。燕文侯史失名。燕東有朝鮮遼東。索隱曰朝鮮音潮。仙二水名。北有林胡樓

煩。索隱曰地理志云樓煩屬雁門郡。西有雲中九原。索隱曰地理志云雲中九原

曰五原郡。正義曰二胡國名。朔風已北。二郡名。秦曰九原。漢武帝改

在林榆縣。東北四十里。九原郡在林榆縣西界。南有噎沱易水。周禮曰。正北曰井

曰噎沱。出幽州。城曰噎沱。水名。并州之川也。晉呼池。地理志云。幽州城。縣名。屬代郡。噎沱河

自縣東。至參谷。又東至文安。入海也。正義曰噎沱出代州。繁時縣東南。流經五臺山。北。東南

流過幽州。歸義縣。東與噎沱河合也。地方二千餘里。帶甲數十萬。車六百乘。騎六千匹。粟支數年。南有碣石鴈門之饒。索隱曰戰國策

說燕文侯曰云云。揚憤曰。首曰天府者也。二至。燕地。廣兵衆。富饒。ナルナル。語言。ルナリ。大。次。燕。兵。被。ウザル。趙。其。南。道。ヲ。以。テ。ナリ。秦。ハ。趙。ヲ。論。テ。燕。テ。攻。ム。能。ハ。ズ。而。趙。ハ。則。之。ヲ。攻。ム。趙。以。テ。之。ヲ。蔽。フ。ナ。ケ。ル。バ。燕。ハ。秦。兵。ヲ。ナ。ケ。ル。ヲ。懼。フ。ナリ。西。有。雲。中。九。原。注。林。榆。ハ。札。曰。林。榆。林。二。作。リ。三。各。本。倒。ス。下。同。シ。九。原。郡。下。城。字。ナ。ク。ス。

碣石山在常山九門縣地理志云大碣石山在右北平灤城縣西南是也。○正義曰：碣門山在代燕西門。作而足於棗栗矣。此所謂天府者也。夫安樂無事不見覆軍殺將。無過燕者。大王知其所以然乎。夫燕之所以不犯寇被甲兵者。以趙之爲蔽其南也。秦趙五戰。秦再勝而趙三勝。秦趙相斃。而王以全燕制其後。此燕之所以不犯寇也。且夫秦之攻燕也。踰雲中九原。過代上谷。彌地數千里。雖得燕城。秦計固不能守也。秦之不能害燕亦明矣。今趙之攻燕也。發號出令。不至十日。而數十萬之軍軍於東垣矣。索隱曰：地理志高帝改曰真定。○正義曰：趙之東邑在恆州真定縣南八里故常山城是也。渡。噉沱。涉易水。不至四五日而距國都矣。故曰秦之攻燕也。戰於千里之外。趙之攻燕也。戰於百里之內。夫不憂百里之患。而

西迫強趙注其燕趙、
札記其深趙二作、
云考地理志二城、
二作、
前近齊注齊也、齊地
二作、

因說趙使侯曰云云ハ、
楊慎曰、昔曰臣故敢
進其忠慮ニ至、前ニ
來陽君之ウ悦、サ、
國ニ當ル、孤權ヲ持カ
レズ、而將侯亦之ヲ恐
ムノ意アリ、故之ヲ
捕リテ、而此言ヲ爲シ、
以テ微ニ之ヲ激スルナ
リ、
君而不任事、札記前君
不任事ニ作ル、云考趙
趙策ニ據テ改ム。

重千里之外。計無過於此者。是故願大王與趙從親。天下爲一。則燕國必無患矣。文侯曰。子言則可。然吾國小。西迫彊趙。正義曰：正義曰：齊、齊趙彊國也。子必欲合從以安燕。寡人請以國從。於是資蘇秦車馬金帛。以至趙而奉陽君已死。即因說趙肅侯曰。索隱曰：世本云肅侯名。言。天下卿相人臣及布衣之士。皆高賢君之行義。皆願奉教陳忠於前之日久矣。正義曰：奉符用。雖然奉陽君妬君而不任事。是以賓客游士莫敢自盡於前者。今奉陽君捐館舍。君乃今復與士民相親也。臣故敢進其愚慮。竊爲君計者。莫若安民無事。且無庸有事於民也。安民之本在於擇交。擇交而得則民安。擇交而不得則民終身不安。請

當者出辭斷絕人之交也
路者辭也出言如響
凡人之交不難斷也必否
言者出言以察主之說
カザルカト是ナリ
謂則白黑所以異陰陽而
二、蓋黑字行ナリ、謂
ナリ、陰陽之異ニスル所以
ナリ、白スルニミテ言フ
事止ニ爾端アルヲ言フ
ノ蓋字ヲ指スト索隱
引誠能聽臣、據實曰、何
是ヨリ所臣之所以爲君
類也ニ至ル、先有利ヲ
言ヒ、以テ之ヲ誘ヒ、
交得ルノ利ヲ言フ所以
ナリ。

言外患。齊秦爲兩敵。而民不得安。倚秦攻齊。而民不得安。倚齊
攻秦。而民不得安。故夫謀人之主。伐人之國。常苦出辭。斷絕人
之交也。願君慎勿出於口。請別白黑。所以異陰陽而已矣。索隱曰戰
國策云。請屏左右白言。所以異陰陽。其說異此。然則別白黑者。蘇
秦言已。今論趙國之利。必使分明。有如白黑。分別陰陽。殊異也。
君誠能聽臣。燕必
致。旆裘狗馬之地。齊必致。魚鹽之海。楚必致。橘柚之園。韓魏中
山。皆可使致。湯沐之奉。而貴戚父兄。皆可以受。封侯。夫割地。包
利。五伯之所以覆軍禽將。而求也。封侯。貴戚。湯武之所以放弑
而爭也。今君高拱。而兩有之。此臣之所以爲君願也。今大王與
秦。則秦必弱。韓魏與齊。則齊必弱。楚魏正義曰楚東淮泗之上與齊接壤。魏弱則割
河外。韓弱則效。宜陽。宜陽效則上郡絕。正義曰宜陽卽韓城也在洛州西韓大郡也。上郡在同州西北言韓

與齊則齊必弱楚魏、
托龍云、正義曰此
釋カズ、下文亦止秦弱
ト云フ、疑フ此魏、
上弱韓、涉テ而行
スルナリ。

據衛取淇卷、札記據
取卷二作ル、云氣據本
此四字ヲ出ス、各本取
淇卷二作ル、雜志云、
取卷二作ル、加テ、史
記卷二作ル、據取淇
作ル、正義曰衛淇衛
淇卷二作ル、則淇字ナ
明ナリ、
據衛取淇、正義曰淇州
山縣ノ旁ハ、官本常
當今之時ハ、據實曰是
道ノ地大ニ兵衆ヲ、國
富ニ強ニナリ、
淇州、此蓋無テ、後補
同ジ。

弱與秦宜陽城。河外割。則道不通。正義曰河外同華等地也言魏弱與秦河外地則
則上郡路絕矣。河外割。則道不通。道路不通上郡矣華山記云此山分秦晉之境晉
之西鄙。則曰陰晉。秦之東邑。則曰寧秦。楚弱。則無援。此三策者。不可不孰計也。夫秦下
軹道。正義曰軹音止故亭在雍州。則南陽危。正義曰南陽懷州河南也七國時屬韓
南陽危矣。言秦兵下軹道從東渭橋歷北道過蒲。劫韓包周。正義曰周都洛陽秦若劫取韓南陽是
津攻韓。即包襲周都也。趙邯鄲。故須危起兵自守。則趙氏自操兵。
索隱曰戰國據衛取淇卷。丘權反○索隱曰地理志云卷縣屬河南戰國策云據衛
西北七里。言秦守衛。取淇無卷字。○正義曰衛地濮陽也。卷城在鄭州武原縣
得卷。則齊必來朝秦。則齊必入朝秦。秦欲已得乎山東。則必舉兵。而
嚮趙矣。秦甲渡河。踰漳。據番吾。徐廣曰常山有蒲吾縣○索隱曰徐氏所引據
盤疑古。番吾公邑也。括地志云。蒲吾故城在鎮州旁山縣東二十里。漳水在潞州。
言秦兵渡河。歷南陽。入羊腸。經澤潞。渡漳水。守蒲吾城。則與趙戰於都城下矣。則兵必
戰於邯鄲之下矣。此臣之所爲君患也。當今之時。山東之建國。
莫彊於趙。趙地方二千餘里。帶甲數十萬。車千乘。騎萬匹。粟支

匡明主絕疑へ、揚彼
曰、是ヨリ則勤王之策
或矣ニ至ル、合從ノ意
ヲ行フ。

趙涉河博關へ、札紀河
博關國ニ作ル、云北宋
本領字アリ。

計之也。臣聞明主絕疑去讒屏流言之迹塞朋黨之門故尊主
 廣地彊兵之計臣得陳忠於前矣故竊爲大王計莫如一韓魏
 齊楚燕趙以從親以畔秦令天下之將相會於洹水之上。徐廣曰洹
 水出汲郡
 通質列白馬而盟。索隱曰質如字又音躡以言通其交質之情也要約曰秦攻楚齊
 魏各出銳師以佐之韓絕其糧道。索隱曰謂擁兵於曉關之外又守宜陽也趙涉河漳。索隱曰謂
 趙亦涉河漳而西欲
 與韓相援以阻秦軍。燕守常山之北秦攻韓魏。正義曰謂道蒲津之東攻之則楚絕
 其後。索隱曰謂出兵武關以絕秦兵之後齊出銳師而佐之趙涉河漳燕守雲中秦攻
 齊則楚絕其後韓守城皐。正義曰在洛州汜水縣魏塞其道。索隱曰其道卽河內之遺戰國策其作午
 趙涉河博關。徐廣曰齊威王六年晉伐齊到博陵東郡有博平縣燕出銳師以佐之秦攻燕則趙
 守常山楚軍武關齊涉勃海。正義曰齊從淄州渡河至瀋州韓魏皆出銳師以佐

六國從親以資秦、實ハ
殺ニ通ズ、排斥ナリ。

乃欲結連橫云云ハ、張
儀之計ナリ。

之。秦攻趙則韓軍宜陽楚軍武關魏軍河外。索隱曰河外謂陝及曲沃等處也○正義曰謂同華
 州齊涉清河。正義曰齊從貝州過河而西燕出銳師以佐之諸侯有不如約者
 以五國之兵共伐之六國從親以資秦。索隱曰謂六國之軍共爲合從相親獨以秦爲實而共伐之
 則秦甲必不敢出於函谷以害山東矣。如此則霸王之業成矣
 趙王曰寡人年少立國日淺未嘗得聞社稷之長計也今上客
 有意存天下安諸侯寡人敬以國從。一本乃下有封蘇秦爲武安君句乃飾車百乘黃金千鎰白
 璧百雙錦繡千純。純匹端名周禮曰純帛不過五兩○索隱曰按一鎰一金也鄭玄云一鎰又禮鄉射云某質於云一鎰二十四分之一其說各異純音淳高誘注戰國策音屯屯
 東也又禮鄉射云某質於
 某若干純純數也音旋
 以約諸侯是時周天子致文武之胙於秦惠
 王。惠王使犀首攻魏禽將龍賈取魏之雕陰。索隱曰魏地也劉氏云在龍門河之西北按地理志
 云雕陰縣屬上郡○正義曰
 在邠州洛交縣北三十四里
 且欲東兵蘇秦恐秦兵之至趙也乃激怒

張儀入之于秦。於是說韓宣惠王曰。索隱曰。世本韓宣王。昭侯之子也。韓北有鞏洛。成臯之固。索隱曰。邑本屬東周後為。韓邑地理志。二縣並屬河南。西有宜陽商阪之塞。徐廣曰。商一作。常。○索隱曰。劉氏云。商阪之塞。蓋在商洛之閒。適秦楚之險塞也。○正義曰。宜陽在洛州。福昌縣東十四里。商阪即商山也。在商洛縣南一里。亦曰楚山。武關在焉。宛於袁反。沛于鬼反。○索隱曰。地理志云。宛。穰。二縣名。並屬南陽。沛水名。出南方。○正義曰。在新鄭東南流入潁。南有陘山。徐廣曰。召陵有陘山。○正義曰。在新鄭西南三十里。地方九百餘里。帶甲數十萬。天下之彊弓勁弩。皆從韓出。繇子。許慎云。南方繇子蠻夷。柘弩皆善材。○索隱曰。少府時力距來者。韓有繇子弩。又有少府所造二種之弩。按時力者。謂作之得時力倍於常。故名時力也。距來者。謂弩執勁利。足以距來敵也。○索隱曰。韓又有少府所造時力距來二種之弩。其名曰。皆射六百步之外。韓卒超足而射。百發不暇止。索隱曰。超足。謂超足。齊足也。夫欲放弩。皆坐舉足踏弩。兩手引機。機然始發之。遠者括蔽洞胷。近者鏑。鏑。心。韓卒之劍戟。皆出於冥山。徐廣曰。莊子云。南行至鄧。北面而不見冥山。顧案司馬彪曰。冥山在朔州北。○索隱

少府時力距來者。札記。時力。距來。荀子。廣雅。並二。鍾泰二作。文選。閔房。屬。子。巨。委。注。史。ナ。引。テ。巨。委。二。作。ル。董。汾。曰。本。注。甚。謬。ル。董。隱。是。ナリ。

遠者括蔽洞胷。近者鏑。鏑。心。韓卒之劍戟。皆出於冥山。徐廣曰。莊子云。南行至鄧。北面而不見冥山。顧案司馬彪曰。冥山在朔州北。○索隱

張儀入之于秦。於是說韓宣惠王曰。索隱曰。世本韓宣王。昭侯之子也。韓北有鞏洛。成臯之固。索隱曰。邑本屬東周後為。韓邑地理志。二縣並屬河南。西有宜陽商阪之塞。徐廣曰。商一作。常。○索隱曰。劉氏云。商阪之塞。蓋在商洛之閒。適秦楚之險塞也。○正義曰。宜陽在洛州。福昌縣東十四里。商阪即商山也。在商洛縣南一里。亦曰楚山。武關在焉。宛於袁反。沛于鬼反。○索隱曰。地理志云。宛。穰。二縣名。並屬南陽。沛水名。出南方。○正義曰。在新鄭東南流入潁。南有陘山。徐廣曰。召陵有陘山。○正義曰。在新鄭西南三十里。地方九百餘里。帶甲數十萬。天下之彊弓勁弩。皆從韓出。繇子。許慎云。南方繇子蠻夷。柘弩皆善材。○索隱曰。少府時力距來者。韓有繇子弩。又有少府所造二種之弩。按時力者。謂作之得時力倍於常。故名時力也。距來者。謂弩執勁利。足以距來敵也。○索隱曰。韓又有少府所造時力距來二種之弩。其名曰。皆射六百步之外。韓卒超足而射。百發不暇止。索隱曰。超足。謂超足。齊足也。夫欲放弩。皆坐舉足踏弩。兩手引機。機然始發之。遠者括蔽洞胷。近者鏑。鏑。心。韓卒之劍戟。皆出於冥山。徐廣曰。莊子云。南行至鄧。北面而不見冥山。顧案司馬彪曰。冥山在朔州北。○索隱

者。乃。至。其。前。其。志。五。所。二。中。ル。故。二。共。積。直。ニ。其。心。ナ。余。テ。而。入。ル。ナリ。心。ニ。屬。ナリ。ト。括。ハ。余。ト。通。ス。矢。密。ナリ。余。ハ。オ。ホ。フ。ナリ。○。冥。山。索。隱。云。云。ハ。澠。離。曰。此。皆。實。ノ。名。ナ

夫以韓之勁。與大王之賢。乃西面事秦。交臂而服。羞社稷而為

曰。郭象云。冥山。在乎。棠谿。徐廣曰。汝南吳房有棠谿亭。○正義曰。故城在豫太極。李軌云。在韓國。州偃城縣西八十里。鹽鐵論云。有棠谿之劍是。墨陽。淮南墨陽之。合。音附。徐廣曰。一作伯。○索隱曰。戰。鄧師。宛。馮。徐廣曰。棠陽有馮池。○索莫邪也。國策作合伯春秋後語作合机。鄧師。宛。馮。隱曰。鄧國有工鑄劍因名。鄧師。宛人於馮池。龍淵。太阿。吳越春秋曰。楚王召風胡子而告之曰。寡人聞吳有干將。鑄劍故號宛馮。越有歐冶。寡人欲因子。請此二人作劍。可乎。風胡子曰。可。乃往見二人作劍。一曰龍淵。二曰太阿。○索隱曰。按晉太康地理記曰。汝南西平有龍泉水。可以淬刀劍。特堅利。故有龍泉水之劍。楚之寶劍也。以特堅利。故有堅白之論云。黃所以為堅也。白所以為利也。齊辯之曰。白所以為不堅。黃所以為不利也。故天下之寶劍。韓為衆。一曰棠谿。二曰墨陽。三曰合伯。四曰鄧師。五曰宛馮。六曰龍泉。七曰太阿。八曰莫邪。九曰干將也。然干將。莫邪。匠名也。其劍皆出西平縣今。皆陸斷牛馬水。截鵠鴈。當敵則斬。堅甲。有鐵官。余別領戶。是古鑄劍之地。鐵幕。徐廣曰。陽城出鐵。○索隱曰。戰國策云。當敵則斬。堅甲。盾。鞞。鐵幕。革抉。徐廣曰。郡。隱云。幕。一作盾。劉氏云。謂以鐵為背。歷之衣。言其劍皆能斬之。○索隱曰。謂以革。為射決。決。射。也。嗽。音伐。○索隱曰。嗽。與。敵。同。謂。楯。也。丙。音。如。字。謂。繫。楯。之。無。不。畢。具。以。韓。卒。之。勇。被。堅。甲。蹠。勁。弩。帶。利。劍。一。人。當。百。不。足。言。也。夫。以。韓。之。勁。與。大。王。之。賢。乃。西。面。事。秦。交。臂。而。服。羞。社。稷。而。為。

且大王之地有盡云云、
 揚雄曰、六國惟韓、秦
 力ニ道近ス、之ヲ説ク
 韓、秦ニ爲シ難シ、但反覆
 言フ、其要地ヲ削キ秦
 ニ事ヘ、地惡クアル
 ニ事ヘ、曰ムナク、戰
 ハズシテ而已ニ削テ
 ナリ之ヲ激シ、牛後
 王ノ劍ヲ按ジテ起シ、所
 以ナリ云云ハ、何孟春
 曰ク、牛後ニ作リ、後チ
 從ニ作ル、是ニ非ズ、
 當日ト後ト韻叶フ、古
 語ヲ此ノ如シ。

天下笑無大於此者矣。是故願大王孰計之。大王事秦，秦必求
 宜陽成臯。今茲效之，明年又復求割地。索隱曰：鄭玄注禮云：效猶呈見也。與則無地
 以給之，不與則弄前功而受後禍。且大王之地有盡，而秦之求
 無已，以有盡之地而逆無已之求，此所謂市怨結禍者也不戰
 而地已削矣。臣聞鄙諺曰：寧爲雞口，無爲牛後。此合從之本也。索隱曰：戰國策云：寧爲雞口，不爲牛後。
 爲注云：雞中主也，從謂牛子也，言寧爲雞中之主，不爲牛子
 之從後也。○正義曰：雞口雖小，猶進食，牛後雖大，乃出糞也。今西面交臂而臣事
 秦，何異於牛後乎？夫以大王之賢，挾彊韓之兵，而有牛後之名，
 臣竊爲大王羞之。於是韓王勃然作色，攘臂瞋目，按劍仰天，太
 息曰：索隱曰：太息，耐久苦氣而大呼也。寡人雖不肖，必不能事秦。今主君詔以趙王
 之教，敬奉社稷，以從。索隱曰：主君，指蘇秦也。禮卿大夫稱主君。嘉蘇子合從諸侯，而美之，故稱曰主君。又說魏襄王

又說魏襄王云云ハ、楊
 慎曰、其大概齊王ニ取
 ノ同ト同ジ、其要亦秦
 ニ事ヘ地ヲ割テ以テ實
 ナクダスニ在リ。

田舎廬廡之數ハ、余有
 丁曰、壯ハ即壯者ノ數
 ナリ、弱ハ即弱者ノ數
 人屠ノ獨チ甘ナリ、
 戰國策之數ニ字ナリ、
 無故ノ下牛馬之地四字
 ナクダス、數實ノ數
 ハ音民、孟子趙註ニ
 音細ナリ。
 卒有秦患不顧其禍ハ、
 浸復曰、戰國策秦患
 ナ固患ニ作リ、願ナ被

曰。索隱曰：世本
 惠王子名嗣。大王之地，南有鴻溝。徐廣曰：在滎陽。陳、汝南、許、鄆。徐廣曰：在潁川。
 曰音假。又於建反，戰國策作鄆。地理志云：潁川有許鄆二縣，又有鄆陽。
 縣鄆鄆不同，必有一誤。鄆音焉。○正義曰：陳、汝南、今汝州、豫州縣也。
 新鄆、新鄆。地理志云：潁川有昆陽、舞陽縣。汝南有新鄆縣。南陽有新鄆縣。○索隱曰：地
 徒封殷後宋公於此，更名宋新鄆。屬南陽，戰國策直云。
 新鄆，無新鄆二字。○正義曰：召陵在豫州舞陽，在許州。
 徐廣曰：在宛旬。○正義曰：無胥。索隱曰：按
 在宛旬，按宛旬，曹州縣也。西有長城之界，北有河外。正義曰：謂河南
 地。卷衍酸棗。徐廣曰：滎陽卷縣有長城，經陽武到密衍，地名。○索隱曰：徐廣云：滎陽卷
 州衍。徐
 云地名。地方千里，地名雖小，然而田舍廬廡之數，曾無所芻牧。人
 民之衆，車馬之多，日夜行不絕，輪軸殷殷。正義曰：輪，陸若有三軍
 之衆，臣竊量大王之國不下楚，然衡人枕王交，彊虎狼之秦，以
 侵天下。正義曰：衡，音卒有秦患，不顧其禍，夫挾彊秦之勢，

二作少、鮑彪云、國、
衡、不、被、患、ハ、
二、上文、同、義、ナリ、
果、其、下、同、義、ナリ、

越、五、路、戰、敵、卒、ハ、李
光、謂、曰、戰、敵、卒、三、字、相
聯、アル、或、ハ、戰、敵、サ、以
テ、戰、敵、ス、ル、ハ、非、ナリ、
余、次、於、干、遂、注、正、義、萬
安、山、前、從、云、云、札、記、萬
安、山、西、南、一、里、二、作、ル、
云、各、山、下、前、從、二、字、
衍、シ、一、里、二、字、サ、也、
吳、山、二、作、ル、カ、説、
申、君、傳、正、義、二、據、テ、改

以內劫其主罪無過此者魏天下之疆國也王天下之賢王也

今乃有意西面而事秦稱東藩築帝宮索隱曰謂為秦築宮備其巡狩而舍之故謂之帝宮受冠

帶祠春秋索隱曰謂冠帶制度皆受秦之法春秋貢奉以助秦祭祀臣竊為大王恥之臣聞越王句

踐戰敵卒三千人禽夫差於干遂索隱曰干遂地名不知所在然干是水旁之高地故有干于河干是也又左思吳都賦云長干延風是干為江旁之地遂者道也於江干有途道固為名也○正義曰在蘇州吳縣西北四十餘里萬安山前從西南山太湖夫差敗於姑蘇禽於干遂相去四十餘里武

王卒三千人革車三百乘制紂於牧野正義曰今衛州城是也周武王伐紂於牧野築之豈其

士卒衆哉誠能奮其威也今竊聞大王之卒武士二十萬漢書刑法

志曰魏氏武卒衣三屬之甲操十二石之弩負矢五十置戈其上冠以帶劍履三日之糧日中而趨百里中試則復其戶利其田宅○索隱曰衣音意屬音屬三屬謂甲衣也履膊一也甲袋重所以得中試復音福中試之人國家當優復賜之上田宅故云利其田宅也

蒼頭二十萬索隱曰謂以青巾裹頭以異於衆奮擊二十萬索隱曰謂音斯荷脚子魏有蒼頭二十萬是也斬徒十萬索隱曰謂斬秦之卒斬

義曰斷音斯謂炊烹供養雜役車六百乘騎五千匹此其過越王句踐武

王遠矣今乃聽於羣臣之說而欲臣事秦夫事秦必割地以效

實索隱曰謂割地獻秦以效己之誠實故兵未用而國已虧矣凡羣臣之言事秦者皆

姦人非忠臣也夫為人臣割其主之地以求外交偷取一時之

功而不顧其後破公家而成私門外挾彊秦之勢以內劫其主

以求割地願大王孰察之周書曰縣縣不絕蔓蔓奈何毫釐不

伐將用斧柯前慮不定後有大患將奈之何大王誠能聽臣六

國從親專心并力壹意則必無彊秦之患故敝邑趙王使臣效

愚計索隱曰此效猶呈見也奉明約在大王之詔詔之魏王曰寡人不肖未

嘗得聞明教今主君以趙王之詔詔之敬以國從因東說齊宣

周書曰云云、ハ、後、禮、除
曰、周、書、曰、人、其、口、ナ
絨、シ、テ、而、其、口、ナ
日、絲、絲、不、絶、或、成、綿、也、
奈、木、不、札、或、成、斧、柯、ト
アリ、蔓、蔓、ノ、謂、此、二、本
ノ、ク、

在大王之詔詔之、ハ、魏
國、策、上、曰、趙、王、シ、テ、
シ、下、文、以、趙、王、之、詔、詔、
ニ、涉、リ、之、可、能、シ、ナ
リ、
魏、王、曰、寡、人、ハ、楊

慎曰、此曰志高氣揚
至五、齊宣王ノ臨テ
言フ。

五家ノ兵ハ、王建曰、
五家ノ兵ハ、皆テ制
ナリ、高誘注明テ狀ク、
通如鋒矢注正、確有、
札記齊軍ニ作ル。

且夫韓魏之云云ハ、楊
慎曰、此曰輕爲之臣
也、至五、二國秦患ニ
近ク、而秦ニ事フルニ
輕ンズルヲ言フ。

今秦之攻齊云云ハ、楊
慎曰、此不能齊齊
亦明矣、至五、秦ノ齊
ヲ攻スル能ハサルヲ言
フ、
四晉之道注正、確陽故
入、札記陽晉故城ニ作
ル。

王曰、索隱曰、世本名辟
疆、威王之子也。齊南有泰山、東有琅邪、西有清河、正義曰、北有
即貝州。

勃海、此所謂四塞之國也。齊地方二千餘里、帶甲數十萬、粟如

丘山、三軍之良、五家之兵。索隱曰、高誘注戰國
策云、五家即五國。進如鋒矢。索隱曰、戰國
策作疾如錐

矢、高誘曰、錐、小矢、險徑疾也。呂氏春秋曰、所貴錐矢者、爲其應聲而

至。○正義曰、齊君之進若鋒芒之刀、良弓之矢、用之存進而無退。

戰如雷霆、解如風雨、卽有軍役、未嘗倍泰山、絕清河、涉勃海也。正義曰、言臨淄自足
也、絕涉皆度也、渤海

涖州也、齊有軍役、不用度河取二部、臨菑之中七萬戶、臣竊度之、不下戶三男子、三七

二十一萬、不待發於遠縣、而臨菑之卒固已二十一萬矣。臨菑

甚富而實、其民無不吹竽、鼓瑟、彈琴、擊筑。正義曰、筑、似琴而大。
頭圓五弦、擊之不鼓。鬪雞

走狗、六博、蹋鞠者。劉向別錄曰、蹴鞠者、傳言黃帝所作、或曰起戰國之時、蹋鞠兵勢
也、所以練武士、知有材也、皆因遊戲而講練之、蹋徒獵反、鞠求六

反。○索隱曰、王逸注楚詞云、博者、也。行六棋、故云六博。別錄云、蹴鞠者、蹴亦蹋也、促六反、崔豹云、起黃帝時、習兵之勢也。臨菑之塗、車轂擊、人

肩摩、連衽成帷、舉袂成幕、揮汗成雨、家殷人足、志高氣揚、夫以

大王之賢、與齊之疆、天下莫能當、今乃西面而事秦、臣竊爲大

王羞之。且夫韓魏之所以重畏秦者、爲與秦接境壤界也。兵出

而相當、不出十日、而戰勝存亡之機決矣。韓魏戰而勝秦、則兵

半折、四境不守、戰而不勝、則國已危亡、隨其後、是故韓魏之所

以重與秦戰、而輕爲之臣也。今秦之攻齊、則不然、倍韓魏之地、

過衛、陽晉之道。徐廣曰、魏哀王十六年、秦拔魏蒲坂、陽晉封陵。○索隱曰、陽晉、魏邑
也、劉氏云、陽晉地名、蓋適齊之道、在衛國之西南也。○正義曰、言秦

伐齊、背韓、魏地、而與齊戰、徐說陽晉非也。乃是晉陽耳、衛地曹濮等

州也。杜預云、曹、魏下邑也。陽晉、故在曹州、乘氏、縣西北三十七里。

徑、平亢父之險。○正義曰、亢父、故縣在兗州、任成縣南五十一里。車不得方軌。正義曰、言不
得兩車並行。騎不得

比行、百人守險、千人不敢過也。秦雖欲深入、則狼顧。正義曰、狼性
怯、走常還顧。

恐韓魏之議其後也。是故恫疑虛喝。喝呼葛反。〇索隱曰：恫音通。恫恐懼之心也。喝本亦作獨，並呼合反。高誘曰：虛獨，喘息懼貌也。劉氏云：秦自疑懼，不敢進兵，虛作恐獨之詞，以脅韓魏也。驕矜而不敢進。正義曰：言秦雖至允父猶恐懼，不敢進兵。則秦之不能害齊亦明矣。夫不深料秦之無奈齊，而欲西面而事之，是羣臣之計過也。今無臣事秦之名，而有彊國之實。臣是故願大王少留意計之。齊王曰：寡人不敏，僻遠守海，窮道東境之國也，未嘗得聞餘教。今足下以趙王詔，詔之，敬以國從。乃西南說楚威王曰：索隱曰：威王名商，宣王之子。楚天下之彊國也。王天下之賢王也。西有黔中巫郡。正義曰：今朗州。楚黔中郡，其故城在辰州西二十里。皆盤瓠後也。巫郡，夔州巫山縣是。〇徐廣曰：巫郡者，南郡之西界。東有夏州海陽。徐廣曰：楚考烈王元年，秦取夏州。顧案左傳：楚莊王伐陳，鄭西界。取一人焉，以歸，謂之夏州。而注者不說夏州所在。車胤撰桓溫集云：夏口城上數里有洲，名夏州。東有夏州，謂此也。〇索隱曰：裴駰據左氏及車胤說夏州，其文甚明，而劉伯莊以為夏州侯之本國，亦未之為得。地理志云：海陽，地闕劉氏云楚之東

北有涇塞注，正義即順故城，下四字，字誤。

朝於章臺之下，章臺，秦都二在。

大王不從，下觀字，脫。不當。楚軍二依字，下觀字。此下。大王誠能聽臣言，實外。大王誠能聽臣言，實外。大王誠能聽臣言，實外。大王誠能聽臣言，實外。

境也。〇正義曰：大江中州也。夏水口，在荊州江陵縣東南二十五里。南有洞庭蒼梧。索隱曰：今青草湖是也。在岳州界。蒼梧地名。地理志有蒼梧郡。〇正義曰：蒼梧山。北有涇塞郇陽。徐廣曰：春秋云：遂伐楚次于涇。楚威王十一年，魏敗楚涇之塞也。〇索隱曰：涇山在楚北境。郇音荀。郇陽地，當在汝南潁川之界。檢地理志及太康地記：北境並無郇邑。郇邑在河東晉地。計郇陽當是新陽聲相近字。變耳。汝南有新陽縣，應劭云：在新水之陽。猶幽邑，變為杻邑。固陰變為閭陰。爾亦當然也。徐氏云：郇陽當是順陽。地方蓋疎。〇正義曰：涇山在鄭州新鄭縣西南三十里。即順故城。在鄭州穰縣西四十里。地方五千餘里，帶甲百萬，車千乘，騎萬匹，粟支十年。此霸王之資也。夫以楚之彊，與王之賢，天下莫能當也。今乃欲西面事秦，則諸侯莫不西面而朝於章臺之下矣。秦之所害，莫如楚。楚彊則秦弱，秦彊則楚弱。其勢不兩立。故為大王計，莫如從親，以孤秦，大

王不從，秦必起兩軍。一軍出武關，一軍下黔中，則鄢郢動矣。徐廣曰：今南郡宜城。〇正義曰：鄢，鄢故城。在襄州率道縣南九里。安郢城在荊州江陵縣東北六里。秦兵出武關，則臨鄢矣。兵下黔中，則臨郢矣。臣聞治之，其未

魯其後受之。札記其
ナ面ニ作ル。

夫秦虎狼之國也。指讀
日。此ヨリ以下。街从
レバ。則秦帝ヲウノ意
ヲ存フ。

亂也。爲之其未有也。患至其後憂之。則無及已。故願大王蚤孰
計之。大王誠能聽臣。臣請令山東之國奉四時之獻。以承大王
之明詔。委社稷。奉宗廟。練士厲兵。在大王之所用之。大王誠能
用臣之愚計。則韓魏齊燕趙衛之妙音美人。必充後宮。燕代蒙
駝良馬。必實外廄。故從合則楚王衡成。則秦帝二帝皆從也今釋霸王之業。
而有事人之名。臣竊爲大王不取也。夫秦虎狼之國也。有吞天
下之心。秦天下之仇讎也。衡人皆欲割諸侯之地以事秦。此所
謂養仇而奉讎者也。夫爲人臣。割其主之地。以外交彊虎狼之
秦。以侵天下。卒有秦患。不顧其禍。夫外挾彊秦之威。以內劫其
主。以求割地。大逆不忠。無過此者。故從親則諸侯割地。以事楚。

無所終薄ハ。薄ハ桑ナ
リ。至ナリ。

歸於王者。歸ハ礼也。三
索隱本疑ニ作ル。

衡合。則楚割地以事秦。此兩策者。相去遠矣。二者大王何居焉。
故敝邑趙王使臣效愚計。奉明約。在大王詔之。楚王曰。寡人之
國。西與秦接境。秦有舉巴蜀并漢中之心。秦虎狼之國。不可親
也。而韓魏迫於秦患。不可與深謀。與深謀。恐反人。以入於秦。故
謀未發。而國已危矣。寡人自料。以楚當秦。不見勝也。內與羣臣
謀。不足恃也。寡人臥不安席。食不甘味。心搖搖然。如縣旌。而無
所終薄。白洛反。今主君欲一天下。收諸侯。存危國。寡人謹奉社稷。
以從。於是六國從合。而并力焉。蘇秦爲從約長。并相六國。北報
趙王。乃行過雒陽。車騎輜重。諸侯各發使送之。甚衆。擬於王者。
索隱曰。疑。反。禮。曰。實至近郊。君
作擬讀。周顯王聞之。恐懼。除道。使人郊勞。儀禮曰。實至近郊。君
使卿朝服用束帛勞。蘇秦

以面掩地ハ、札記云、四字疑フ後人添置ニ依テ補入。
注並音蒲介、札記云、小疑フモト僕ニ作ル、乃俗寫ナリ、原本トニ作ルハ、又介ノ烟文字ナリ。

貸百錢、札記疑人百錢ニ作ル、云北宋本人字アリ、各本脫ス。

之昆弟妻媧側目不敢仰視俯伏侍取食蘇秦笑謂其媧曰何前倨而後恭也媧委蛇蒲服以面掩地而謝曰索隱曰委蛇謂面掩地而進若蛇行也蒲服即匍匐見季子位高金多也蘇秦喟然歎曰此一人之身富貴則親戚畏懼之貧賤則輕易之況衆人乎且使我有雒陽負郭田二頃索隱曰負背也枕也近城之地沃潤流澤最爲膏腴故云吾豈能佩六國相印乎於是散千金以賜宗族朋友初蘇秦之燕貸百錢爲資及得富貴以百金償之徧報諸所嘗見德者其從者有一人獨未得報乃前自言蘇秦曰我非忘子子之與我至燕再三欲去我易水之上方是時我困故望子深是以後子子今亦得矣蘇秦既約六國從親歸趙趙肅侯封爲武安君

一五

秦兵不敢函谷關十五年ハ、後大所曰、此者此語ヲ以テ從人添置ノ闕ト爲ス、然ルニ張儀楚王ニ説キ云、秦兵敢テ函谷關ヲ出テザル十五年ト、則當時果シテ其事アリ、蘇秦從約ノ成ル、趙肅侯十八年ニ在リ、又千歲ハ、則趙武靈王ノ九年ナリ、是歲張儀始テ連衡ヲ以テ魏ニ説ク、此十五年ノ中、秦能兵ヲ出シ魏ヲ攻メ、關ニ及ビ韓ヲ擊ズ、他國ニ及ブ間力五口秦ヲ擊シテ即勝ガザルニ説ク、而後張儀説ナリ、則合從功ナシト爲サズ、張秦趙ヲ去リ而從約皆解クト謂フ、亦未ダ盡ク然ラズ。

食烏喙注正義、札記秦軍ニ作ル、云廣雅二依テ改ム、淮南主術關ニ蘇秦ニ作ル。

乃投從約書於秦索隱曰投當作設今本竝作投言說者謂宣布其從約六國之事以告於秦若作投甚爲易解秦兵不敢函谷關十五年其後秦使犀首欺齊魏與共伐趙欲敗從約齊魏伐趙趙王讓蘇秦蘇秦恐請使燕必報齊徐廣曰自初說燕至此而從約皆解秦惠王以其女爲燕太子婦是歲文侯卒太子立是爲燕易王易王初立齊宣王因燕喪伐燕取十城易王謂蘇秦曰往日先生至燕而先王資先生見趙遂約六國從今齊先伐趙次至燕以先生之故爲天下笑先生能爲燕得侵地乎蘇秦大慙曰請爲王取之蘇秦見齊王再拜俯而慶仰而弔索隱曰劉氏云當時慶弔應有其詞但史家不錄耳齊王曰是何慶弔相隨之速也蘇秦曰臣聞飢人所以飢而不食烏喙者本草經曰烏頭一名烏喙○索隱曰音卓又許穉反今之毒藥烏頭是○正義曰廣雅云蘇與毒附

愈充腹ハ、札記云、燕
愈充腹ニ作ル、師法
出師ハ、愈充腹ナリ、
淮南王傳、亦愈充腹、
漢書愈ニ作ル、穀子難
一ニ、愈取多歟、淮南
人加ハ愈ニ愈ニ作ル、
愈ト愈ト通ズ。

亦仇讎而得石交ハ、石
交ハ、堅交ナリ。

子也。一歲爲鳥喙。三歲爲附。子四歲爲鳥頭。五歲爲天雄。爲其愈充腹而與餓死同患也。索隱曰：劉氏以謂飢人食鳥頭則愈益充腹少時毒發而斃亦與飢死同患也。斃音幣。今燕雖弱小。卽秦王之少壻也。大王利其十城而長與彊秦爲仇。今使弱燕爲鴈行而彊秦敵其後。以招天下之精兵。是食鳥喙之類也。齊王愀然變色曰。索隱曰：愀又七。小反。然則奈何。蘇秦曰。臣聞古之善制事者。轉禍爲福。因敗爲功。大王誠能聽臣計。卽歸燕之十城。燕無故而得十城。必喜。秦王知以己之故而歸燕之十城。亦必喜。此所謂弄仇讎而得石交者也。夫燕秦俱事齊。則大王號令天下莫敢不聽。是王以虛辭附秦。以十城取天下。此霸王之業也。王曰善。於是乃歸燕之十城。人有毀蘇秦者曰。左右賣國。反覆之臣也。將作亂。蘇秦恐

或得十城。札記云、攻
字疑フ衍ナリ。

得罪歸。而燕王不復官也。蘇秦見燕王曰。臣東周之鄙人也。無有分寸之功。而王親拜之於廟。而禮之於廷。今臣爲王卻齊之兵。而攻得十城。宜以益親。今來而王不官臣者。人必有以不信傷臣於王者。臣之不信。王之福也。臣聞忠信者所以自爲也。進取者所以爲人也。且臣之說齊王。曾非欺之也。臣弄老母於東周。固去自爲而行。進取也。今有孝如曾參。廉如伯夷。信如尾生。得此三人者。以事大王。何若。王曰足矣。蘇秦曰。孝如曾參。義不離其親。一宿於外。王又安能使之步行千里。而事弱燕之危王哉。廉如伯夷。義不爲孤竹君之嗣。不肯爲武王臣。不受封侯。而餓死首陽山下。有廉如此。王又安能使之步行千里而行進取。

抱柱而死ハ、札記云、
文選賦中陸王ニ上リ、引
書法、抱柱而入事也、引
テ抱柱而死ニ作ル、
燕頃王子蘇氏無同シ。

於齊哉。信如尾生。與女子期於梁下。女子不來。水至不去。抱柱而
死。有信如此。王又安能使之步行千里。卻齊之彊兵哉。臣所
謂以忠信而得罪於上者也。燕王曰。若不忠信耳。豈有以忠信
而得罪者乎。蘇秦曰。不然。臣聞。客有遠爲吏。而其妻私於人者。
其夫將來。其私者憂之。妻曰。勿憂。吾已作藥酒待之矣。居三日。
其夫果至。妻使妾舉藥酒進之。妾欲言酒之有藥。則恐其逐。主
母也。欲勿言乎。則恐其殺主父也。於是乎詳僵而弄酒。案隱曰。詳
音羊。詳詐也。僵仆也。主父大怒。笞之五十。故妾一僵而覆酒。上存主父。下存主
母。然而不免於笞。惡在乎忠信之無罪也。夫臣之過。不幸而類
是乎。燕王曰。先生復就故官。益厚遇之。易王母文侯夫人也。與

一五九

不死保而走ハ、方苞曰、
蘇ハ分ナリ、抱ナリ、
蘇秦將ニ死セトシ、
ホケニ結エズ、而則者走
リ去ルナリ。

蘇秦私通。燕王知之而事之加厚。蘇秦恐誅。乃說燕王曰。臣居
燕。不能使燕重而在齊。則燕必重。燕王曰。唯先生之所爲。於是
蘇秦詳爲得罪於燕。而亡走齊。齊宣王以爲客卿。徐廣曰。燕易
王之十年時。齊
宣王卒。潛王卽位。說潛王厚葬。以明孝。高宮室。大苑囿。以明得
意。欲破敝齊。而爲燕。燕易王卒。徐廣曰。易王
十二年卒。燕噲立爲王。其後齊
大夫多與蘇秦爭寵者。而使人刺蘇秦。不死。殊而走。風俗通義稱
漢令蠻夷戎
狄有罪。常殊者死也。與誅同指。而此云不死。殊而走者。蘇秦時雖不卽死。然是死創。故云殊。
乃謂齊王曰。臣卽死。車裂臣以徇於市。曰。蘇秦爲燕作亂於齊。
如此。則臣之賊必得矣。於是如其言。而殺蘇秦者果自出。齊王
因而誅之。燕聞之。曰。甚矣齊之爲蘇生報仇也。徐廣曰。生
一作先。蘇秦既

王曰夫齊者國寡人之強
云云ハ、韓大所曰、燕
王、時、齊、燕、未
代此政、必昭王、時
在、故、齊、王、
南、宋、集、ク、ル、ノ、語、
、清、王、即、位、三、十、八、年、

死。其事大泄。齊後聞之。乃恨怒。燕甚恐。蘇秦之弟曰代。代弟蘇厲。見兄遂亦皆學。及蘇秦死。代乃求見燕王。欲襲故事。曰。臣東周之鄙人也。竊聞大王義甚高。鄙人不敏。釋鉏耨而干大王。至於邯鄲。所見者絀於所聞。於東周。臣竊負其志。及至燕廷。觀王之羣臣下吏。王天下之明王也。燕王曰。子所謂明王者何如也。對曰。臣聞明王務聞其過。不欲聞其善。臣請謁王之過。夫齊趙者。燕之仇讎也。楚魏者。燕之援國也。今王奉仇讎以伐援國。非所以利燕也。王自慮之。此則計過無以聞者。非忠臣也。王曰。夫齊者。固寡人之讎。所欲伐也。直患國敝力不足也。子能以燕伐齊。則寡人舉國委子。對曰。凡天下戰國七。燕處弱焉。獨戰則

而宋ヲ滅ス、其年之已
ニ長ズ、故ニ長主ノ稱
アリ、若シ此段同谷
昭王、若シ復舊通之
下ニ移セバ、則詞倫次
アリ。

覆三軍得二將ハ、方苞
曰、燕ノ三軍ヲ覆スル
ナリ、燕ノ三軍ヲ覆スル
五千乘之大宋注正職齊
宋在前三十餘年ハ、札
記云、齊下城ノ滅字ナ
ズ。

長城國防注正義齊州
札記齊州ニ作ル、云フ
官本濟、各本齊ニ誤ス
下齊西正義同シ、竹書
紀年本年年字アリ、梁
惠ノ下王字アリ。

不能有所附。則無不重。南附楚。楚重。西附秦。秦重。中附韓魏。韓重。且苟所附之國重。此必使王重矣。正義曰。言附諸國諸國重。燕而燕尊重。今夫齊長主而自用也。索隱曰。謂齊王年長也。或作齊強故言長主。南攻楚。五年。齊聚竭。西困秦。三年。士卒罷敝。北與燕人戰。覆三軍。得二將。徐廣曰。齊覆三軍。而燕失二將。是燕之失也。然。而以其餘兵。南面舉五千乘之大宋。正義曰。齊表云。年滅宋。乃當赧王二十九年。此說乃燕暗之時。而包十二諸侯。此其君欲得其當周慎王之時。齊宋在前三十餘年。恐文誤矣。齊湣王三十八年。民力竭。惡足取乎。且臣聞之。數戰則民勞。久師則兵敝矣。燕王曰。吾聞齊有清濟濁河。正義曰。濟深二水。上承黃河。並淄沔之北。流入海。黃河又一源。從洛魏二州界北。流入海。亦齊西北界。可以爲固。長城鉅防。徐廣曰。齊北盧縣有防門。又有長城。東至海。正義曰。長城西頭。在齊州平陰縣界。竹書紀年。梁惠二十年。齊閔王築防以爲長城。泰山記云。泰山西有長城。緣河經。足。以爲塞。誠有之乎。對曰。天時不與。雖

濟西不師ハ、後種臣曰
濟西ノ師ヲ起サザルヲ
謂フ。

龍子弟、札記云、蘇
本從子作ル、各本龍
ニ作ルハ、後人策ニ依
テ改ムルナリ。

蘇厲因蘇質子云云ハ、
凌種曰、前蘇代ヲ言
ヒ、此蘇厲ヲ言フ、蓋
代其地ヲ設シ、而厲ト
同ク在クナリ。

有清濟濁河惡足以為固。民力罷敝。雖有長城鉅防。惡足以為塞。且異日濟西不師。正義曰。齊州已西也。所以備趙也。河北不師。正義曰。謂治博等州在源河之北。所以備燕也。今濟西河北盡已役矣。封內敝矣。夫驕君必

好利。而亡國之臣必貪於財。王誠能無羞寵子母弟以為質。正義曰。晉寶珠玉帛以事左右。彼將有德燕而輕亡宋。則齊可亡已。

致。寶珠玉帛以事左右。彼將有德燕而輕亡宋。則齊可亡已。

燕王曰。吾終以子受命於天矣。燕乃使一子質於齊。而蘇厲因

燕質子而求見齊王。齊王怨蘇秦。欲囚蘇厲。燕質子為謝已遂

委質為齊臣。正義曰。質直粟反。燕相子之與蘇代婚。而欲得燕權。乃使蘇

代侍質子於齊。齊使代報燕。燕王噲問曰。齊王其霸乎。曰。不能

曰。何也。曰。不信其臣。於是燕王專任子之。已而讓位。燕大亂。齊

伐。燕殺王噲子之。徐廣曰。是周赧王之元年時也。燕立昭王。而蘇代秦厲遂不敢

入。燕皆終歸齊。齊善待之。蘇代過魏。魏為燕執代。齊使人謂魏

王曰。齊請以宋地封涇陽君。正義曰。涇陽君秦王弟名悝也。涇陽雍州縣也。蘇子告秦共伐宋以封涇陽君。然齊假設此質以救蘇。

秦必不受。秦非不利有齊而得宋地也。正義曰。齊言秦相親共伐宋。秦得宋地。又得齊事秦。然秦不信齊及蘇代。恐為不成也。

不信齊王與蘇子也。今齊魏不和。如此其甚。則齊

不欺秦。秦信齊。齊秦合。涇陽君有宋地。非魏之利也。故王不如

東蘇子。秦必疑齊。而不信蘇子矣。齊秦不合。天下無變。伐齊之

形成矣。於是出蘇代代之。宋善待之。齊伐宋。宋急。蘇代乃遷

燕昭王書曰。正義曰。此書為宋說燕令莫助齊梁。夫列在萬乘而寄質於齊。正義曰。燕前有

名卑而權輕。奉萬乘助齊伐宋。民勞而實費。夫破宋。殘楚。淮北

齊伐宋宋急ハ、余有丁
曰、傳中サ按ズルニ前
ニ、宋急ト言フ者、何
此ニ宋急ト言フ者、何
此段急ナリ、前段必誤

肥大正義曰。更以淮北之地加於齊都。是
大益一齊也。而齊總并之。是益一齊。
大敗也。然且王行之者。將以取信於齊也。齊加不信於王而忌
燕。愈甚。是王之計過矣。夫以宋加之。淮北疆萬乘之國也。而齊
并之。是益一齊也。北東方七百里。
侯莫不
來服。
加之以魯衛。疆萬乘之國也。而齊并之。是益二齊也。夫一
齊之疆。燕猶狼顧而不能支。今以三齊臨燕。其禍必大矣。雖然。
智者舉事。因禍為福。轉敗為功。齊紫敗素也。

肥大正義曰。更以淮北之地加於齊都。是大益一齊也。而齊總并之。是益一齊。
大敗也。然且王行之者。將以取信於齊也。齊加不信於王而忌
燕。愈甚。是王之計過矣。夫以宋加之。淮北疆萬乘之國也。而齊
并之。是益一齊也。北東方七百里。
侯莫不
來服。
加之以魯衛。疆萬乘之國也。而齊并之。是益二齊也。夫一
齊之疆。燕猶狼顧而不能支。今以三齊臨燕。其禍必大矣。雖然。
智者舉事。因禍為福。轉敗為功。齊紫敗素也。

俗尚之。取惡素帛染為紫。其價十倍。貴於錦。喻齊雖有大名。而國中以困蹙也。韓子云。齊桓公
好服紫。一國盡服紫。當時五素不得一紫。公患之。管仲曰。君欲止之。何不試勿衣也。公謂左右
曰。惡紫莫公語三日。而賈十倍。索隱曰。謂紫色價貴於帛十倍。而本是敗
境內莫有衣紫者。素以喻齊雖有大名。而其國中困蹙也。越王句
踐棲於會稽。復殘。疆吳而霸天下。此皆因禍為福。轉敗為功者

也。今王若欲因禍為福。轉敗為功。則莫若挑霸齊而尊之。
曰挑
也。今王若欲因禍為福。轉敗為功。則莫若挑霸齊而尊之。
曰挑
也。今王若欲因禍為福。轉敗為功。則莫若挑霸齊而尊之。
曰挑

齊紫敗素也。而賈十倍。
索隱曰。齊紫。敗素也。而賈十倍。
此正二敗。轉功。為
素。意。齊。國。紫。
日。敗。紫。八。川。上。則
毛。齊。紫。二。染。ム。レ。ト。則
亦。チ。奪。ク。敗。チ。轉。功
ト。爲。ス。正。二。此。類。ス
ル。ナリ。

及者挑霸齊而尊之。
力。意。曰。挑。霸。下。則。戰。ナ
リ。與。起。シ。テ。而。之。チ。則
弊。ス。ル。ナリ。

也。今王若欲因禍為福。轉敗為功。則莫若挑霸齊而尊之。
曰挑
也。今王若欲因禍為福。轉敗為功。則莫若挑霸齊而尊之。
曰挑
也。今王若欲因禍為福。轉敗為功。則莫若挑霸齊而尊之。
曰挑

長。賓之。
索隱曰。長如字。賓音接。○正義曰。大
好上計策。破秦。次計長。擯并關西。
秦挾賓以待破秦。王必患之。

秦五世伐諸侯。今為齊下。秦王之志苟得窮齊。不憚以國為功。
然則王何不使辯士以此言說秦王曰。燕趙破宋。肥齊。尊之。為
之下者。燕趙非利之也。燕趙不利。而勢為之者。以不信秦王也。
然則王何不使可信者接收燕趙。令涇陽君。高陵君。
徐廣曰。馮翊
高陵縣。○索
隱曰。二人秦王母弟也。高
陵君名顯。涇陽君名悝。
先於燕趙。秦有變。因為質。則燕趙信秦。秦

為西帝。燕為北帝。趙為中帝。立三帝。以令於天下。韓魏不聽。則
秦伐之。齊不聽。則燕趙伐之。天下孰敢不聽。天下服聽。因驅韓

魏以伐齊曰必反宋地歸楚淮北反宋地歸楚淮北燕趙之所利也。竝立三帝燕趙之所願也。夫實得所利尊得所願燕趙弄齊如脫躡矣。今不收燕趙齊霸必成諸侯贊齊而王不從是國伐也。諸侯贊齊而王從之是名卑也。今收燕趙國安而名尊不收燕趙國危而名卑。夫去尊安而取危卑智者不為也。秦王聞若說必若刺心然則王何不使辯士以此苦言說秦秦必取齊必伐矣。夫取秦厚交也。伐齊正利也。尊厚交務正利聖王之事也。燕昭王善其書曰先人嘗有德蘇氏子之之亂而蘇氏去燕燕欲報仇於齊非蘇氏莫可乃召蘇代復善待之與謀伐齊竟破齊。滑王出走久之秦召燕王燕王欲往蘇代約燕王曰楚得

一六六

一六七

積而國亡

自此至末文甚明快。徐廣曰巴郡有枳縣。燕昭王三十三年秦拔楚郢。○正義曰枳支是反今涪州城在秦枳縣在江南西陵在黃州。齊得宋而國

亡。正義曰年表云齊滑王三十八年滅宋。四十年五國共擊滑王。王走莒。齊楚不得以有枳宋而事秦者何

也則有功者秦之深讎也。秦取天下非行義也。暴也。秦之行暴

正告天下。索隱曰正告謂顯然而告天下。告楚曰蜀地之甲乘船浮於汶。汶即江所

出之乘夏水而下江。索隱曰夏音暇謂夏涼之水盛漲時也。五日而至郢漢中之甲乘船

出於巴。索隱曰巴水名與漢水相近。○正義曰巴嶺山在梁州南一百九十里。周地志云南渡老子水登巴嶺山南同記大江之南是古巴國。因以名山。乘夏

水而下漢四日而至五渚。戰國策曰秦與荆人戰大破荆襲郢取洞庭五渚然則五渚在洞庭。○索隱曰五渚五處洲也。劉氏以為

五渚宛鄆之閒臨漢水不得在洞庭。寡人積甲宛東下隨。索隱曰宛縣之東而下隨邑。智者

不及謀勇士不及怒寡人如射隼矣。索隱曰易曰射隼于高墉之上獲之無不利。秦王言我今伐楚必當捷獲

也。○正義曰。王乃欲待天下之攻函谷不亦遠乎。楚王為是故十

出於巴注正義大江、
札記云、紀守從二誤ナ
ルヘシ。

其不盡蘇ハ、蓋俗曰盡
蘇ハ、故民ヲ徵シ、蘇役
シ以備ヲ爲スナリ、
國發動スルノ急ナリ。

我下軹道南陽ハ、錢大
原曰道ハ地名ニ非ズ、
晉軹ニ下アル後、道
ヲ南陽ニ取ルナリ、
ミ、徐廣軹道ノ軹道ヲ
以テ之ニ當ツ、因下說
ル曰、周厲王時、
ト爲ス、亦非ナリ、
封冀ハ、陸渚曰、封ハ
當ニ函谷ヲ封スルノ封
ノ如クナルベシ、注非
ナリ。

宿胥之口注正稱淇水
水經淇水注二侯云
水經曰、淇水出
北齊曰、淇水出
本齊二國云。

爲木人以寫寡人、札記
云、寫ハ乃寫字ノ誤
爲古ノ象字、燕雀集ニ
作也。

七年事。秦正告韓曰：「我起乎少曲。」索隱曰：地名近宜陽也。○正義曰：一
日而斷大行。正發曰：太行山。羊腸在懷州河陽縣西北解在范倅傳。
也。我起乎宜陽而觸平陽。正義曰：宜陽平
陽皆韓大都也。
隔河。二日而莫不盡絲。索隱曰：音搖搖動也。我離兩周而觸鄭。正義曰：離歷也。歷
州韓國。五日而國舉。索隱曰：離如字。謂屯兵以離二周也。韓氏以爲然。故
都拔矣。乃觸擊於鄭。故五日國舉。猶拔也。韓氏以爲然。故

事。秦正告魏曰：「我舉安邑。塞女戟。韓氏太原卷。」正義曰：卷軹免反。
爲太行卷。我下軹道南陽封冀。徐廣曰：新陵有軹道亭。河東皮氏有冀亭也。○索
猶斷絕。隱曰：女戟地名在太行山之西。劉氏卷音軹免反。
又音丘。權反。按舉安邑。塞女戟。及下韓氏。韓國宜陽也。太原縣名。魏地不至太原。亦無別名。太
衍字。原當爲京。京及卷皆屬秦陽。是魏之境。魏是河內。軹縣言道者。亦衍字。徐廣引軹陵有軹
道亭。非魏之境。蓋誤。南陽。卽河內也。封封陵也。冀。冀
邑也。皆在魏境。故徐廣引河東皮氏有冀亭是也。包兩周。徐廣曰：張儀云。下河東取成
擊。乘夏水浮輕舟。彊弩在前。鏃戈在後。徐廣曰：鏃由冉反。○正義曰：
劉伯莊云：音四廉反。利也。決

榮口。魏無大梁。索隱曰：榮澤之口。與今汴河口通。其決白馬之口。魏無外
水深可以灌大梁。故云無大梁也。

黃濟陽。索隱曰：白馬河津在東郡。決其流以灌外黃濟陽也。○正義曰：故黃城決宿
胥之口。徐廣曰：紀年云：魏救山塞集胥口。○正義曰：淇水出衛州淇縣界之淇水。東至黎

曰：紀年作胥蓋亦津。魏無虛頓丘。徐廣曰：秦始皇五年取魏酸棗。燕虛長平。○索隱曰：
名今其地不知所在。魏無虛頓丘。虛頓丘地名與酸棗相近。○正義曰：虛前般城。今相
州所理是頓丘。故城在魏州頓丘縣東陸攻則擊河內。水攻則滅大梁。魏氏
北二十里。括地志云：二國地時屬魏。

以爲然。故事。秦欲攻安邑。恐齊救之。則以宋委於齊。曰：宋王
無道。爲木人以寫寡人。射其面。寡人地絕。兵遠。不能攻也。王苟
能破宋。有之。寡人如自得之。已得安邑。塞女戟。因以破宋。爲齊
罪。索隱曰：秦令齊滅宋。仍秦欲攻韓。恐天下救之。則以齊委於天下。
以破宋爲齊之罪名。

曰：齊王四與寡人約。四欺寡人。必率天下以攻寡人。者三。有齊
無秦。有秦無齊。必伐之。必亡之。已得宜陽少曲。致蘭石。因以破

或楚ハ正義是ナリ。

襄陽注正義古ハ、
札記古則ニ作ル、云フ
官本鄭、各本百二誤ル。

趙得勝於魏ハ、札記趙
ヲ曰ニ作ル、云フ考
策ニ據テ改ム、楚秦說
同ジ。
兵傷於譙石、札記云、
北宋本譙字難ニ作ル、
索隱本適上取字アリ。

則却魏不爲割ハ、札記
云、不止當ニ魏字ヲ重
ク、ハ、策有リ。

合言如循環云ハ、李
光裕曰、如魏環ハ其窮
アルナク、如刺蝟ハ、
馬キニ喰フルナリ、環
ノ義ノ名。

西河之外上雒之地三川
晉國之禍三晉之半ハ、
方苞曰、西河ニ雒三川、
皆秦ノ并ス所ノ三晉ノ
地ナリ、晉國ノ秦禍ヲ
被ル、雒ニド三晉ノ半
ヲ失亡スルナリ。
燕趙之秦者ハ、方苞曰、
之秦ハ、使ナ秦ニ事ス
ル者ヲ謂フ。

齊爲天下罪。秦欲攻魏重楚。索隱曰：重猶附也。魯也。○正義曰：畏楚救魏。則以南陽委於

楚。曰。正義曰：南陽、鄧州地。本韓地也。韓先寡人固與韓且絕矣。殘均陵塞

鄢郢。徐廣曰：鄢、江夏鄢縣。均一作均。鄢音官。○索隱曰：均陵在南陽。今之均州。鄢縣名在

申州有平清關。蓋苟利於楚。寡人如自有之。魏弄與國而合於秦。因

以塞鄢郢爲楚罪。兵困於林中。徐廣曰：河南重燕趙以膠東。委於

燕。以濟西委於趙。趙得講於魏。至公子延。因犀首屬行而攻趙。

索隱曰：講和也。解也。秦與魏和也。至當爲質。謂以公子延爲質也。犀首者公孫衍也。本魏將。因之以屬軍。行香胡郎反。謂連兵相續也。兵傷於譙石。遇

敗於陽馬。索隱曰：譙石、陽馬並而重魏則以葉蔡委於魏。已得講於

趙。則刳魏不爲割。困則使太后弟穰侯爲和。嬴則兼欺舅與母。

索隱曰：屬猶勝也。勇種適燕者曰以膠東。索隱曰：適音宅。適趙者曰以濟

適者黃也。下同。

西。適魏者曰以葉蔡適楚。者曰以塞鄢郢。適齊者曰以宋。此必

令言如循環。用兵如刺蜚。母不能制舅。舅不能約龍賈之戰。魏襄

年。秦敗我岸門之戰。韓宣惠王十九年。秦大破我岸門。封陵之戰。魏哀王十六年。秦敗我封陵。高商之戰。

龍賈軍。趙莊之戰。趙肅侯二十二年。趙莊與秦之所殺三晉之民數百萬。

不見。今其生者皆死。秦之孤也。西河之外。上雒之地。三川。晉國之禍。

三晉之半。秦禍如此其大也。索隱曰：以言西河之外。上雒之地。及三川。晉國皆

如此其而燕趙之秦者。皆以爭事秦說其主。索隱曰：燕趙之人往此臣

之所大患也。燕昭王不行。蘇代復重於燕。燕使約諸侯。從親如

蘇秦時。或從或不。而天下由此宗蘇氏之從約。代厲皆以壽死。

名顯諸侯。

太史公曰蘇秦兄弟三人皆游說諸侯以顯名。索隱曰離允南以為蘇秦兄弟五人更有蘇薛蘇雋與略亦同其說蓋按蘇氏譜云然也其術長於權變而蘇秦被反閒以死天下共笑之諱學其術然世言蘇秦多異異時事有類之者皆附之蘇秦夫蘇秦起閭閻連六國從親此其智有過人者吾故列其行事次其時序毋令獨蒙惡聲焉。

索隱述贊曰季子周人師事鬼谷揣摩既就陰符伏讀合從離衡佩印者六天王除道家入扶服賢哉代厲繼榮黨族
蘇子古史曰秦強而諸侯弱游說之士為橫者易為功而為從者難為力然而從成則諸侯利而秦病橫成則秦帝而諸侯虜要之二者皆出於權譎而從為愈歟蘇秦本說秦為橫不合而激於燕趙甘心於所難為之期年而歃血於涇水之上可不謂能乎然口血未乾犀首一出而齊趙背盟從約皆破蓋諸侯異心譬如連雞不能俱棲勢固然矣而太史公以為約審入秦秦人為之閉函谷者十五年此說客之浮語而太史公信之過矣

史記評林卷之六十九終

史記評林卷之七十

張儀列傳第十

張儀者魏人也。呂氏春秋曰儀魏氏餘子○索隱曰晉有大夫張老又河東有西張城張氏為魏人必也而呂覽以為魏氏餘子則蓋魏之支庶也又書

略說以除子謂之季子也○正義曰傳云晉有公族除子公行杜預云皆官卿之嫡以為公族大夫除子嫡子之母弟也公行庶子掌公戎行也藝文志云張子十篇在縱橫流始嘗與蘇秦俱事鬼谷先生學術蘇秦自以不及張儀張儀已學而游說諸侯。索隱曰說音稅嘗從楚相飲已而楚相亡璧門下意張儀

曰儀貧無行必此盜相君之璧共執張儀掠笞數百不服醉音釋○索隱曰古釋字其妻曰噫索隱曰音儀鄰玄子毋讀書游說安得此辱乎張儀謂其妻曰視吾舌尚在不在其妻笑曰舌在也儀曰足矣蘇

然恐秦之攻諸侯也約後
負六、方苞曰約敗於
ノ後、已レ勝於、我ナ
負フテ恐ルナリ。

因而數讓之、數讓共
ニ實ナリ、非ナリ。索
隱數音朔、非ナリ。讓
ア之ヲ數フニ王命ヲ
以テス之數、如シテ是
蘇秦傳ニ、所謂張儀ヲ
激怒シ之ヲ秦ニ入ル
者ナリ。

秦已說趙王而得相約從親。索隱曰從音足容反。然恐秦之攻諸侯，敗約後負，念莫可用於秦者，乃使人微感張儀。曰：子始與蘇秦善，今秦已當路，子何不往游？以求通子之願。張儀於是之趙，上謁求見蘇秦。蘇秦乃誡門下人不為通，又使不得去者數日，已而見之。坐之堂下，賜僕妾之食，因而數讓之。曰：索隱曰按謂數設詞而讓之讓亦責也數音朔。子之材能，乃自令困辱至此。吾寧不能言而富貴子，子不足收也。謝去之。張儀之來也，自以為故人求益，反見辱，怒。念諸侯莫可事，獨秦能苦趙，乃遂入秦。蘇秦已而告其舍人曰：張儀天下賢士，吾殆弗如也。今吾幸先用，而能用秦柄者，獨張儀可耳。然貧無因以進，吾恐其樂小利而不遂，故召辱之，以激其意。子為

我陰奉之，乃言趙王發金幣車馬，使人微隨張儀，與同宿舍，稍近就之，奉以車馬金錢，所欲用為取給，而弗告。張儀遂得見秦惠王，惠王以為客卿，與謀伐諸侯。蘇秦之舍人乃辭去。張儀曰：賴子得顯，方且報德，何故去也？舍人曰：臣非知君知君，乃蘇君憂秦伐趙，敗從約，以為非君莫能得秦柄，故感怒君，使臣陰奉給君資，盡蘇君之計謀。今君已用請歸報，張儀曰：嗟乎！此吾在術中而不悟，吾不及蘇君明矣。吾又新用，安能謀趙乎？為吾謝蘇君，蘇君之時儀何敢言，且蘇君在，儀寧渠能乎？渠音詎。○索隱曰：古氣反。張儀既相秦，為文檄告楚相曰：徐廣曰檄一作咫尺之檄。○字少假借耳。王劭按春秋後語云：文二尺檄許慎。始吾從若飲，我不盜而璧，若答我，若善云。檄二尺書也。下文而亦訓汝。

為文檄注徐廣咫尺、
札紀北宋本毛本從
尺一三作也。

直蜀引攻擊注王委王
取前蒙之杜忠云王
上節劉字直蜀直
漢巴蜀二郡。札記取直
蜀巴蜀二郡。云考
證華陽志二據考
石鏡縣。札記石鏡
二作。云考證唐志
二據考。

斜谷之法正義洛州維
民縣。札記唐氏縣二據
考證唐志二據
考。

楚南鄭注正義今。札
記今作。云官本二
依。

楚南鄭之地。或曰
依。

守汝國我顧且盜而城直蜀相攻擊。徐廣曰。謹問曰。益州天直讀爲巴黎之巴音與巴相近以爲今之巴郡。

索隱曰。直音巴。謂巴蜀之夷自相攻擊也。今作直者。按巴直草名。今論巴遂誤作直也。或巴人巴郡本因巴直得名。所以其字遂以直爲巴也。註引天直。卽巴直也。謹問蜀人也。知天直之音讀爲巴黎之巴。按巴黎卽緄木茸所以爲葦籬也。今江南亦謂葦籬曰巴籬。○正義曰。華陽國志云。昔蜀王封其弟子漢中號曰直侯。因命其邑曰直。直侯與巴王爲好。巴與蜀爲讎。故蜀王怒。伐直。直奔巴。求救於秦。秦遣張儀從石牛道伐蜀。王自直。直侯與巴王爲好。巴與蜀爲讎。故蜀所害。秦遂滅蜀。因滅巴蜀二郡。括地志云。直侯都直。今利州益昌縣五十里。直侯故城是蜀侯都。益州巴子城。在合州石鏡縣南五里。故墊江縣也。巴子都江州在都之北。又峽州界也。各來告急於秦。秦惠王欲發兵。

以伐蜀。以爲道險狹難至。而韓又來侵秦。秦惠王欲先伐韓。後

伐蜀。恐不利。欲先伐蜀。恐韓襲秦之敝。猶豫未能決。司馬錯與

張儀爭論於惠王之前。索隱曰。錯音七各反。又音七故反。司馬錯欲伐蜀。張儀曰。不

如伐韓。王曰。請聞其說。儀曰。親魏善楚。下兵三川。塞斜谷之口。

徐廣曰。一作尋成。舉郿縣有尋口。○索隱曰。尋斜聲相近。故其名惑也。戰國策作轅轅氏之口。亦其地相近也。斜谷地名。○正義曰。括地志云。溫泉水卽尋源出洛州鞏縣西南四十里。注

水經云。郿城水出北山。郿溪又有故郿城在鞏縣西南五十八里。按洛州維氏縣東南四十里。與郿溪相近之地。當屯留之道。正義曰。屯留。潯州縣也。道卽太行羊腸。

魏絕南陽。正義曰。南陽。懷州也。是當屯留之道。今魏絕斷壞羊腸。韓上黨之路也。楚臨南鄭。正義曰。是秦

郿口。斷南陽之兵也。秦攻新城宜陽。索隱曰。新城當在河南伊闕之左右。○正義曰。洛州福昌縣也。以臨二

周之郊。誅周王之罪。侵楚魏之地。周自知不能救。九鼎寶器必

出。據九鼎。案圖籍。挾天子。以令於天下。天下莫敢不聽。此王業

也。今夫蜀。西僻之國。而戎翟之倫也。敝兵勞衆。不足以成名。得

其地。不足以爲利。臣聞爭名者於朝。爭利者於市。今三川周室

天下之朝市也。而王不爭焉。顧爭於戎翟。去王業遠矣。索隱曰。王音于。放反。

司馬錯曰。不然。臣聞之。欲富國者。務廣其地。欲彊兵者。務富其

民。欲王者。務博其德。三資者備。而王隨之矣。今王地小。民貧。故

民欲王者。務博其德。三資者備。而王隨之矣。今王地小。民貧。故

繕兵不傷衆、繕、左傳甲兵ヲ繕ヘシノ轉ト同ジ、治ナリ、法非ナリ、
利盡西海、注說明カナラズ、蓋也、方五百里、旁ノ平地也、數千里アリ、楚頃襄王時、莊蹻ヲ遣テ之ヲ定ム。

臣謂論其故、札記論ヲ讀ニ作リ、索隱論者亦謂者ニ作、云、宋本謂各本論ニ作ル、雜志云、宋後新序並ニ謂ニ作ル、
齊韓之與國也、田汝成曰、齊、楚、魏之與國也、
也、ト云、ソ、

卒長兵伐蜀、錢大昕曰、宋本紀及年表ナレバ、
乃惠王後九年ノ事ナリ、此惠王十年以前ニ後、即誤テ以テ前九年ノ事ト爲スナリ。

公子華、札記云、六國表案ニ作ル。

臣願先從事於易。夫蜀西僻之國也。而戎翟之長也。有桀紂之亂。以秦攻之。譬如使豺狼逐羣羊。得其地。足以廣國。取其財。足以富民。索隱曰。戰國策取作得。繕兵不傷衆。而彼已服焉。正義曰。繕音膳。同。膳具食也。拔一國而天下不以為暴。利盡西海。而天下不以為貪。索隱曰。西海謂蜀川也。海者珍藏所聚生。猶謂秦中為陸海然也。其實西亦有海。所以云海西。○正義曰。海之言晦也。西夷晦昧。無知。故言海也。言利盡西方羌戎。是我一舉而名實附也。索隱曰。名謂博其德也。實謂得土地財寶也。而又有禁暴止亂之名。今攻韓劫天子。惡名也。而未必利也。又有不義之名。而攻天下所不欲危矣。臣請論其故。索隱曰。論者告也。陳也。故謂陳不宜伐之端由也。周天下之宗室也。齊韓之與國也。周自知失九鼎。韓自知亡三川。正義曰。韓自知亡二周。故與周并力合謀也。將二國并力合謀。以因乎齊趙。而求解乎楚魏。以鼎與楚。以地與魏。王弗能止。

也。此臣之所謂危也。不如伐蜀。完惠王曰。善。寡人請聽子。卒起兵伐蜀。十月取之。索隱曰。六國年表在惠王二十二年十月也。遂定蜀。正義曰。表云。秦惠王後九年十月擊滅之。貶蜀王。更號為侯。而使陳莊相蜀。蜀既屬秦。秦以益彊。富厚輕諸侯。秦惠王十年。使公子華。徐廣曰。一作華。與張儀圍蒲陽。索隱曰。魏之邑名。○縣蒲邑。故城是也。降之儀。因言秦復與魏。而使公子繇質於魏。儀因說魏王曰。秦王之遇魏甚厚。魏不可以無禮。魏因入上郡少梁。謝秦惠王。惠王乃以張儀為相。更名少梁曰夏陽。徐廣曰。夏陽在梁山龍門。○索隱曰。夏音下。山名亦曰大夏。禹所都。○正義曰。少梁城同州韓城縣南二十三里。夏陽城在縣南二十里。梁山在縣東南十九里。龍門山在縣北五十里。王為王。正義曰。表云。惠王之十三年。周顯王之四十四年也。居一歲。為秦將。取陝。築上郡塞。其後二年。使與齊楚之相會。留桑東。還而免相。相魏以為秦。欲令魏

敗魏於觀津、札記云、
津當河作ルベシ。
五、魏復說魏王曰云云
戰地也。至、地狹、
兵寡、其、其、其、其、
至、而、一、國、二、與、
二、至、而、一、國、二、與、
カ、ラ、ザ、ル、由、テ、明、ス、
故、其、下、遂、二、從、ノ、成、
ノ、辭、ト、相、反、ス。

先事秦。而諸侯效之。魏王不肯聽。儀秦王怒。伐取魏之曲沃平周。復陰厚張儀。益甚。張儀慙。無以歸報。留魏四歲。而魏襄王卒。哀王立。張儀復說哀王。哀王不聽。於是張儀陰令秦伐魏。魏與秦戰。敗。明年齊又來。敗魏於觀津。觀音秦復欲攻魏。先敗韓。申差軍斬首八萬。諸侯震恐。而張儀復說魏王曰。魏地方不至千里。卒不過三十萬。地四平。諸侯四通。輻湊。無名山大川之限。從鄭至梁。二百餘里。車馳人走。不待力而至。梁南與楚境。西與韓境。北與趙境。東與齊境。卒戍四方。守亭鄣者不下十萬。梁之地勢固。戰場也。說梁形其真梁南與楚而不與齊。則齊攻其東。東與齊而不與趙。則趙攻其北。不合於韓。則韓攻其西。不親於楚。則楚攻其南。

據卷衍酸棗、札記云、
國東衍下、燕字アリ、
正義有リ、故ニ燕滑
州於縣ト云フ、假寫
之ヲカフ。

此所謂四分五裂之道也。且夫諸侯之為從者。將以安社稷尊主彊兵顯名也。今從者一天下。約為昆弟。刑白馬。以盟洹水之上。洹音以相堅也。而親昆弟。同父母。尙有爭錢財。而欲恃詐。僞反覆。蘇秦之餘謀。其不可成。亦明矣。大王不事秦。秦下兵攻河外。○索隱曰。河之西。即曲沃。平周之邑。○正義曰。河外。即卷衍酸棗。據卷衍酸棗。卷丘。播反。衍以善反。○索隱曰。卷州。燕滑州。昨城縣。酸棗。屬滑州。皆黃河南地。劫衛取陽晉。正義曰。故城在曹州乘氏縣西北三十七里。則趙不南。趙不南。而梁不北。梁不北。則從道絕。從道絕。則大王之國欲母危。不可得也。秦折韓而攻梁。索隱曰。戰國策折作挾也。韓怯於秦。秦韓為一。梁之匹可立。而須也。此臣之所為大王患也。為大王計。莫如事秦。事秦則楚韓必不敢動。無楚韓之患。則大王高枕而臥。正義曰。枕針。鳩反。國必

無憂矣。且夫秦之所欲弱者莫如楚，而能弱楚者莫如梁。楚雖有富大之名，而實空虛。其卒雖多，然而輕走。易北不能堅戰，悉梁之兵南面而伐楚，勝之必矣。割楚而益梁，虧楚而適秦，嫁禍安國，此善事也。大王不聽臣，秦下甲士而東伐，雖欲事秦，不可得矣。且夫從人多，奮辭而少，可信說。一諸侯而成封侯，是故天下之游談士莫不日夜搯腕，瞋目切齒，以言從之便，以說人主。人主賢其辯，而牽其說，豈得無眩哉？臣聞之，積羽沈舟，羣輕折軸，衆口鑠金，積毀銷骨，故願大王審定計議。且賜骸骨，辟魏哀王於是，乃倍從約，而因儀請成於秦。張儀歸，復相秦。三歲而魏復背秦，爲從。秦攻魏，取曲沃。明年魏復事秦，秦欲伐齊，齊楚從。

從曰縱金ハ、皆川淇國
曰金ハ堅固ノ質也
テ以テ次ノ厚キニ比
ス。

親於是。張儀往相楚，楚懷王聞張儀來，虛上舍而自館之，曰：此僻陋之國，子何以教之？儀說楚王曰：大王誠能聽臣，閉關絕約於齊，臣請獻商於之地六百里。索隱曰：劉氏云：商，今之商州有古商城，其西二百餘里有古於城。使秦女得爲大王箕箒之妾，秦楚娶婦嫁女，長爲兄弟之國。此北弱齊而西益秦也。計無便此者。楚王大說而許之。羣臣皆賀，陳軫獨弔之。楚王怒曰：寡人不興師發兵，得六百里地，羣臣皆賀，子獨弔，何也？陳軫對曰：不然。以臣觀之，商於之地不可得，而齊秦合。齊秦合則患必至矣。楚王曰：有說乎？陳軫對曰：夫秦之所以重楚者，以其有齊也。今閉關絕約於齊，則楚孤。秦奚貪夫孤國，而與之商於之地六百里？張儀至秦，必負王。是北絕齊，交西生患。

詳宋紀中ノ把アリ

乃使勇士至宋借宋之符云云ハ、杜記云、借宋之符ノ句、當ニ誤アルベシ、楚世家、乃勇士宋遺シテ、北齊王ヲ辱カシム、齊王大ニ怒リ、楚ノ符ヲ折テ、而秦ニ合入ニ作ル、即是使ア所ノ勇士往、宋名ハ遺シト、通鑑釋事注云、關ヲ閉テ、約ヲ通フ、信使通セズ、故ニ宋ノ符ヲ借テ以テ

於秦也。而兩國之兵必俱至。善爲王計者。不若陰合而陽絕。於齊使人隨張儀。苟與吾地。絕齊未晚也。不與吾地。陰合謀計也。楚王曰。願陳子閉口。毋復言。以待寡人得地。乃以相印授張儀。厚賂之。於是遂閉關絕約於齊。使一將軍隨張儀。張儀至秦。詳失綏墮車。不朝三月。正義曰。詳音羊。楚王聞之。曰。儀以寡人絕齊。未甚耶。乃使勇士至宋。借宋之符。北罵齊王。齊王大怒。折節而下。秦秦齊之交。合張儀乃朝。謂楚使者曰。臣有奉邑六里。願以獻大王。左右楚使者曰。臣受令於王。以商於之地六百里。不聞六里。還報楚王。楚王大怒。發兵而攻秦。陳軫曰。軫可發口言乎。攻之不如割地。反以賂秦。與之并兵而攻齊。是我出地於秦。取償於

一八四

一八五

齊也。王國尚可存。楚王不聽。卒發兵。而使將軍屈匄擊秦。秦齊共攻楚。斬首八萬。殺屈匄。遂取丹陽。徐廣曰。漢中之地。正義曰。今梁在枝江。州也在漢水。

楚又復益發兵而襲秦。至藍田大戰。楚大敗。於是楚割兩城以與秦平。秦要楚。欲得黔中地。正義曰。要音腰也。欲以武關外易之。正義曰。卽商於之地。楚王曰。不願易地。願得張儀而獻黔中地。秦王欲遣之。口

弗忍言。張儀乃請行。惠王曰。彼楚王怒子之負。以商於之地。是且甘心於子。張儀曰。秦彊楚弱。臣善靳尚。尚得事楚。夫人鄭袖

袖所言皆從。且臣奉王之節。使楚。楚何敢加誅。假令誅臣。而爲秦得黔中之地。臣之上願。遂使楚。楚懷王至則囚張儀。將殺之。

靳尚謂鄭袖曰。子亦知子之賤於王乎。鄭袖曰。何也。靳尚曰。秦

秦王欲殺張儀而不欲出之。或曰。國廢今楚拘之。秦王欲出之。作也。

此、楚レバ、則索隱ノ
説從フベキニ以テリ、
然ルニ二書文勢自ツ異
ナリ、彼ヲ證テ此ヲ證
スルヲ得ズ、正義ノ説
是ト爲ス。

開蘇秦云云ハ、余有
丁曰、秦死シテ而後儀
其取ノ行フヲ得、所前
蘇君在ル、儀謀ヲ能
ヘンナル者ナリ。

楚無出甲ハ、札記云、
楚志云、楚讓テ唯ト爲

ス、唯甲ヲ出ス無シ、
甲ヲ出セバ、則常山ヲ
席卷シ、而天下ノ膏腴
折クヲ得フ、故楚ハ、固
楚也ニシテ、北取スル、固
席卷クヲ易クシテ、遠
クテ無キ如キナリ。

王甚愛張儀而不欲出之。○索隱曰、不字當作必。時張儀爲楚所囚故必欲出之也。正義曰、秦王不欲出張儀使楚若欲自行、今秦欲以
上庸地及今將以上庸之地六縣賂楚。正義曰、今房州也。以美人聘楚。以宮
中善歌謳者爲媵。楚王重地尊秦。秦女必貴而夫人斥矣。不若
爲言而出之。於是鄭袖日夜言懷王曰。人臣各爲其主用。今地
未入秦。秦使張儀來至重王。王未有禮而殺張儀。秦必大怒。攻
楚。妾請子母俱遷。江南毋爲秦所魚肉也。懷王後悔。赦張儀。厚
禮之。如故。張儀既出。未去。聞蘇秦死。○索隱曰、此時當秦惠王之後元十四年。乃說楚王
曰。秦地半天下。兵敵四國。被險帶河。四塞以爲固。虎賁之士百
餘萬。車千乘。騎萬匹。積粟如丘山。法令既明。士卒安難樂死。主
明以嚴。將智以武。雖無出甲。席卷常山之險。必折天下之脊。○索隱

曰常山於天下在北。有若人之背脊也。○天下有後服者先亡。且夫爲從者。
正義曰、古之帝王多都河北河東故也。天下有後服者先亡。且夫爲從者。
無以異於驅羣羊而攻猛虎。虎之與羊不格明矣。今王不與猛
虎而與羣羊。臣竊以爲大王之計過也。凡天下疆國非秦而楚。
非楚而秦。兩國交爭。其勢不兩立。大王不與秦。秦下甲據宜陽。
韓之上地不通。下河東。取成臯。韓必入臣。梁則從。風而動。秦攻
楚之西。韓梁攻其北。社稷安得毋危。且夫從者聚羣弱而攻至
疆。不料敵而輕戰。國貧而數舉兵。危亡之術也。臣聞之。兵不如
者。勿與挑戰。正義曰、挑田鳥反。粟不如者。勿與持久。夫從人飾辯虛辭。高
主之節。言其利。不言其害。卒有秦禍。正義曰、卒忽勿反。無及爲已。是故願
大王之執計之。秦西有巴蜀。大船積粟。起於汶山。正義曰、汶山浮江。

拒于關、札紀拒于函二
 作、注魚復者并水
 關二作、云水縣字
 考、脫、水、并、打、舟、
 考、即、通、關、實、注、二、並、
 考、即、從、境、以、東、ハ、札、紀、
 從、從、從、從、以、東、二、作、
 此、誤、ル、

大待弱國之救、札紀
 云、待當二待ト爲ス、
 シ、上文ニ涉リテ誤ル、
 從、從、正二待ト作ル、

以下至楚三千餘里。舫船載卒。索隱曰：舫音方。謂並兩船也。一舫載五十人。與
 三月之食。下水而浮。一日行三百餘里。里數雖多。然而不費。牛
 馬之力。不至十日而拒扞關。徐廣曰：巴郡魚復有并水。扞關。索隱曰：扞關在楚之西界。復音伏。地理志：巴郡有魚復縣。○正義曰：在夔州。扞關驚。則從境以東盡城守矣。黔中巫郡。非王之有。秦
 舉甲出武關。南面而伐。則北地絕。正義曰：楚之領南也。北投斷絕。秦兵之攻楚也。危
 難在三月之內。而楚待諸侯之救。在半歲之外。此其勢不相及
 也。夫待弱國之救。忘疆秦之禍。此臣所以爲大王患也。大王嘗
 與吳人戰。五戰而三勝。陣卒盡矣。偏守新城。存民苦矣。索隱曰：偏音匹。連反。
 此之新城。當在吳楚之間也。○
 正義曰：新攻得之城。未詳所在。臣聞功大者易危。而民敵者怨上。夫守
 易危之功。而逆疆秦之心。臣竊爲大王危之。且夫秦之所以不

兩虎相搏。注或音殺、ハ、
 札紀云、搏モト據ニ作
 ル、依ニ徐音殺、後人
 據ニ改メ、或字ヲ加フ、
 誤ルヲ甚シ。

出兵函谷十五年。以攻齊趙者。陰謀有合。徐廣曰：本謀一作吞。天下之心。楚
 嘗與秦構難。戰於漢中。索隱曰：其地在秦之山南。楚之西北。漢水南之地。名曰漢中也。楚人不勝。列侯
 執珪死者七十餘人。遂亾。漢中。楚王大怒。興兵襲秦。戰於藍田。
 此所謂兩虎相搏者也。徐廣曰：搏或音戰。夫秦楚相敵。而韓魏以全制其
 後。計無危於此者矣。願大王孰計之。秦下甲攻衛陽晉。必大關
 天下之匈。徐廣曰：關一作開。○索隱曰：以常山爲天下脊。則此衛及陽晉。當天下匈蓋其地是秦晉齊楚之交道也。以言秦兵據陽晉。是大關天下匈。則他國不得以動也。大王悉起兵以攻宋。不至數月。而宋可舉。舉宋而東。指則
 泗上十二諸侯。盡王之有也。索隱曰：邊近泗水之側。當戰國之時。有十二諸侯。宋都魯莒之比也。凡天下而
 以信約從親。相堅者。蘇秦封武安君。相燕。卽陰與燕王謀。伐破
 齊。而分其地。乃詳有罪。出走入齊。齊王因受而相之。居二年而

覺齊王大怒。車裂蘇秦於市。夫以一詐偽之蘇秦。而欲經營天下。混一諸侯。索隱曰。混本一作棍。同胡本反。其不可成。亦明矣。今秦與楚接境壤界。固形親之國也。大王誠能聽臣。臣請使秦太子入質於楚。楚太子入質於秦。請以秦女爲大王箕箒之妾。效萬室之都。以爲湯沐之邑。長爲昆弟之國。終身無相攻伐。臣以爲計無便於此者。於是楚王已得張儀。而重出黔中地與秦。欲許之。屈原曰。前大王見欺於張儀。張儀至。臣以爲大王烹之。今縱弗忍殺之。又聽其邪說。不可。懷王曰。許儀而得黔中。美利也。後而倍之。不可。故卒許張儀。與秦親。張儀去。楚因遂之。韓說韓王曰。韓地險惡。山居。五穀所生。非菽而麥。民之食。大抵飯菽藿羹。一歲不收。民

一九〇

一九一

當二教讀ニ作ルベシ、
尊臣豆讀ニ作ル、春秋
後歸、亦教讀ニ作ル。

徒跣科頭ハ或曰、徒
跣、踏下文ノ科頭ノ如
義科頭ト爲ス。
賈誼戰ニ成日、宋
臣誼曰、跣ト云ハ、劉
賈誼戰ニ死ス、則此下
文ハ賈誼ニ連テ讀ム、爲
秦民之良戎兵之衆、
札記云、上下皆爲チ音
フ、此句雖出シ、且上
文ハ已ニ之ヲ讀フ、疑フ
所ナラン。

不饜糟糠。地不過九百里。無二歲之食料。大王之卒。悉之。不過三十萬。而厮徒負養在其中矣。索隱曰。厮徒。謂裸役之賤者。負養。謂負擔以給養公家。亦賤人也。除守衛亭郭塞。見卒不過二十萬而已矣。秦帶甲百餘萬。車千乘。騎萬匹。虎賁之士。徒跣科頭。馴案。徒跣。音徒。跳躍也。又云。偏舉一足曰跣。科頭。謂不著兜鍪入敵。○索隱曰。跣。又音勦。戰國策作虎擊之士。馴案。言執戟奮怒而入陣也。○索隱曰。兩手捧頤而直入敵。言其勇也。又有執戟者奮怒而趨入陣也。貫頤奮戟者。至不可勝計。馴案。言執戟奮怒而入陣也。○索隱曰。兩手捧頤而直入敵。言其勇也。又有執戟者奮怒而趨入陣也。秦馬之良。戎兵之衆。探前跌後。蹄閒三尋。索隱曰。謂馬前足探向前。後足扶地。言馬之走勢疾也。七尺曰尋。言馬走之疾。前後蹄閒一擲而過三尋也。騰者不可勝數。山東之士。被甲蒙胄。以會戰。秦人捐甲徒裼。以趨敵。索隱曰。徒跣也。裼。袒也。謂袒而見肉也。左挈人頭。右挾生虜。夫秦卒與山東之卒。猶孟賁之與怯夫。以重力相壓。猶烏獲之與嬰兒。夫戰孟賁烏獲之士。以攻不服之弱國。無異垂

夫羣臣請侯、札記云、
羣臣字當二諸侯、下二
アルベシ。

千鈞之重於鳥卵之上。必無幸矣。夫羣臣諸侯。不料地之寡。而聽從人之甘言好辭。比周以相飾也。皆奮曰。聽吾計。可以彊霸天下。夫不顧社稷之長利。而聽須臾之說。誑誤人主。無過此者。大王不事秦。秦下甲據宜陽。斷韓之上地。東取成臯。滎陽。則鴻臺之宮。桑林之苑。徐廣曰。桑一作栗。○索隱曰。此皆韓之宮苑。亦見戰國策。非王之有也。夫塞成臯。絕上地。則王之國分矣。先事秦則安。不事秦則危。夫造禍而求其福報。計淺而怨深。逆秦而順楚。雖欲毋凶。不可得也。故為大王計。莫如為秦。為于偽反。秦之所欲。莫如弱楚。而能弱楚者。莫如韓。非以韓能彊於楚也。其地勢然也。今王西面而事秦。以攻楚。秦王必喜。夫攻楚以利其地。轉禍而說秦。計無便於此者。韓王聽儀

計。張儀歸報。秦惠王封儀五邑。號曰武信君。使張儀東說齊。潛王曰。天下彊國。無過齊者。大臣父兄。殷衆富樂。然而為大王計者。皆為一時之說。不顧百世之利。從人說。大王者。必曰。齊西有彊趙。南有韓。與梁。齊負海之國也。地廣民衆。兵彊士勇。雖有百秦。將無柰齊。何。大王賢其說。而不計其實。夫從人朋黨。比周。莫不以從為可。臣聞之。齊與魯三戰。而魯三勝。國以危亡。隨其後。雖有戰勝之名。而有亡國之實。是何也。齊大而魯小也。今秦之與齊也。猶齊之與魯也。秦趙戰於河漳之上。再戰而趙再勝。秦戰於番吾之下。再戰又勝。秦。索隱曰。番音盤。又音婆。趙之邑也。四戰之後。趙之亡卒數十萬。邯鄲僅存。雖有戰勝之名。而國已破矣。是何也。秦彊而趙

弱。今秦楚嫁女娶婦，為昆弟之國。韓獻宜陽，梁效河外。索隱曰：河外，若曲沃、平周等也。○趙入朝，澠池、滏綿、割河閒，以事秦。索隱曰：河漳之閒，邑，割正義曰：謂同華州地也。○善反。

大王不事秦，秦驅韓梁攻齊之南地，悉趙兵，渡清河，指博關。正義曰：博關在博州，趙兵從貝州度黃河，指博關則深河南臨當即墨危矣。臨菑即墨非王之有也。國一日見攻，雖欲事秦，不可得也。是故願大王執計之也。齊王曰：齊僻陋，隱居東海之上，未嘗聞社稷之長利也。乃許張儀，張儀去，西說趙王曰：敝邑秦王使使臣效愚計於大王，大王收率天下以賓秦，秦兵不敢出函谷關十五年。大王之威行於山東，敝邑恐懼，僻伏繕甲厲兵，飾車騎，習馳射，力田積粟，守四封之內，愁居僻處，不敢動搖，唯大王有意督過之也。索隱曰：督者，正其事而責之。督過是深責其過也。

今以

大王之力，舉巴蜀，并漢中，包兩周，遷九鼎，守白馬之津，秦雖僻遠，然而心忿，含怒之日久矣。今秦有敝甲凋兵，軍於澠池，願渡河，踰漳，據番吾，會邯鄲之下，願以甲子合戰。以正殷紂之事，敬使使臣先聞。左右，凡大王之所信為從者，恃蘇秦、蘇秦熒惑諸侯，以是為非，以非為是，欲反齊國，而自令車裂於市。夫天下之不可一，亦明矣。今楚與秦為昆弟之國，而韓梁稱為東藩之臣，齊獻魚鹽之地，此斷趙之右臂也。夫斷右臂而與人鬪，失其黨，而孤居，求欲毋危，豈可得乎？今秦發三將軍，其一軍塞午道，索隱曰：此午道當在趙之東齊之西也。午道地名也。鄭玄云：一縱一橫為午，謂交道也。告齊使與師，渡清河，軍於邯鄲之東，一軍軍成臯，驅韓梁軍於河外。正義曰：河外，謂鄭滑州北臨河。一軍軍於澠池。

一九五

一九五

大王之力，舉巴蜀，并漢中，包兩周，遷九鼎，守白馬之津，秦雖僻遠，然而心忿，含怒之日久矣。今秦有敝甲凋兵，軍於澠池，願渡河，踰漳，據番吾，會邯鄲之下，願以甲子合戰。以正殷紂之事，敬使使臣先聞。左右，凡大王之所信為從者，恃蘇秦、蘇秦熒惑諸侯，以是為非，以非為是，欲反齊國，而自令車裂於市。夫天下之不可一，亦明矣。今楚與秦為昆弟之國，而韓梁稱為東藩之臣，齊獻魚鹽之地，此斷趙之右臂也。夫斷右臂而與人鬪，失其黨，而孤居，求欲毋危，豈可得乎？今秦發三將軍，其一軍塞午道，索隱曰：此午道當在趙之東齊之西也。午道地名也。鄭玄云：一縱一橫為午，謂交道也。告齊使與師，渡清河，軍於邯鄲之東，一軍軍成臯，驅韓梁軍於河外。正義曰：河外，謂鄭滑州北臨河。一軍軍於澠池。

趙服必四分其地ハ、札
記云、服四ニ破ト爲ス
ハシ、趙策破趙ニ作ル。

奉祀之日ハ、札記云、
北宋本、毛本、奉祭記
ニ作ル。

作爲金斗、斗ハ鏡子ノ
長柄ノ如キ者、銅製ノ
類ヲ以テ之ヲ造ル。

約四國爲一。以攻趙。趙服必四分其地。是故不敢。匿意。隱情。先
以聞於左右。臣竊爲大王計。莫如與秦王遇於澗池。面相見。而
口相結。請案兵。無攻。願大王之定計。趙王曰。先王之時。奉陽君
專權。擅勢。蔽欺先王。獨擅綰事。寡人居屬。師傅不與國謀。計先
王弄羣臣。寡人年幼。奉祀之日新。心固竊疑焉。以爲一從。不事
秦。非國之長利也。乃且願變心。易慮。割地謝前。過以事秦。方將
約車趨行。適聞使者之明詔。趙王許張儀。張儀乃去。北之燕。說
燕昭王曰。大王之所親。莫如趙。昔趙襄子嘗以其姊爲代王妻。
欲并代。約與代王遇於句注之塞。正義曰。句注山在代州也。上音勾。乃令工人作爲
金斗。長其尾。索隱曰。斗音主。凡方者爲斗。若安長柄則名爲科音主。尾即斗之柄。其形若刀者是也。令可以擊人。與代

趙王之謀。札記俱反
二作ハ、各本俱
狼二讀入、今改ハ狼
狼ハ說文ニ讀從セザル
ナリ。

王飲陰。告廚人曰。卽酒酣樂進熱啜。索隱曰。音昌。悅反。謂熱而啜之。是藥也。下云。廚人進斟。斟謂羹汁。故名。汁曰斟。左氏傳。公羊傳。云。羊羹不斟。是也。反斗以擊之。正義曰。反卽倒斗柄擊也。於是酒酣樂進熱啜。廚人進斟。因反斗以擊代王。殺之。王腦塗地。其姊聞之。因摩笄以自刺。故至今有摩笄之山。圖案。笄。婦人之首飾。如今象牙簪。○正義曰。笄。今猶也。摩笄山在蔚州飛狐縣。代王之亡。天下莫不聞。夫趙王之狼戾無親。大王之所明見。且以趙王爲可親乎。趙興兵攻燕。再圍燕都。而劫大王。大王割十城以謝。今趙王已入朝。澗池效河間。以事秦。今大王不事秦。秦下甲雲中。九原。驅趙而攻燕。則易水長城。正義曰。並在易州界。非大王之有也。且今時趙之於秦。猶郡縣也。不敢妄舉師以攻伐。今王事秦。秦王必喜。趙不敢妄動。是西有彊秦之援。而南無齊趙之患。是故願大王

孰計之。燕王曰：寡人蠻夷僻處，雖大男子，裁在音如嬰兒，言不足以采正計。今上客幸教之，請西面而事秦。獻恆山之尾五城。隱曰：尾猶末也，謂獻恆山之東五城以與秦。燕王聽儀，儀歸報，未至咸陽，而秦惠王卒。武王立，武王自為太子時，不說張儀，及即位，羣臣多讒張儀，曰：無信左右，賣國以取容，秦必復用之。恐為天下笑，諸侯聞張儀有卻武王，皆畔衡，復合從。秦武王元年，羣臣日夜惡張儀，未已，而齊讓又至，張儀懼誅，乃因謂秦武王曰：儀有愚計，願效之。王曰：奈何？對曰：為秦社稷計者，東方有大變，然後王可以多割得地也。今聞齊王甚憎儀，儀之所在，必興師伐之，故儀願乞其不肖之身，之梁，齊必興師而伐梁，梁齊之兵連於城下，而不能相去。王

一九八

一九九

入禮之策，禮記云，禮字衍，繁繁內之，梁二作，內即入，舍人通事之注，梁隱，本作至，誤，禮記云，嘗古通，禮二作。

以其閒伐韓，入三川，出兵函谷，而毋伐，以臨周，祭器必出。索隱曰：凡王者大祭祀必陳設文物軒車彝器等，因謂此為祭器也。挾天子案圖籍，此王業也。秦王以為然，乃具革車三十乘，入儀之梁，齊果興師伐之。梁哀王恐，張儀曰：王勿患也，請令罷齊兵，乃使其舍人馮喜之楚。索隱曰：此與戰國策同，舊本作馮誤也。借使之齊，謂齊王曰：王甚憎張儀，雖然亦厚矣。王之託儀於秦也。齊王曰：寡人憎儀，儀之所在，必興師伐之，何以託儀？對曰：是乃王之託儀也。夫儀之出也，固與秦王約，曰：為王計者，東方有大變，然後王可以多割得地。今齊王甚憎儀，儀之所在，必興師伐之，故儀願乞其不肖之身，之梁，齊必興師伐之，齊梁之兵連於城下，而不能相去。王以其閒伐韓，入三川，出兵函谷，而無伐，以

臨周祭器必出挾天子案圖籍此王業也秦王以為然故具革車三十乘而入之梁也今儀入梁王果伐之是王內罷國而外伐與國索隱曰謂齊之伐梁也梁之與齊先相許與約從為鄰故云與國也廣鄰敵以內自臨而信儀於秦王也此臣之所謂託儀也齊王曰善乃使解兵張儀相魏一歲卒於魏也索隱曰年表云張儀以安王十年卒紀年云梁哀王九年五月卒

陳軫者游說之士與張儀俱事秦惠王皆貴重爭寵張儀惡陳軫於秦王曰軫重幣輕使秦楚之間將為國交也今楚不加善於秦而善軫者軫自為厚而為王薄也且軫欲去秦而之楚王胡不聽乎王謂陳軫曰吾聞子欲去秦之楚有之乎軫曰然王曰儀之言果信矣軫曰非獨儀知之也行道之士盡知之矣昔

陳軫者游說之士云云入梁相國曰趙國也車三十乘而入之梁游說之士曰王廣鄰廣鄰李牧謂解兵句下向此又一例ナリ

今軫不忠其君ハ、礼記云、今、班フ、今、年、ノ、誠ナラン。

子胥忠於其君而天下爭以為臣曾參孝於其親而天下願以為子故賣僕妾不出閭巷而售者良僕妾也出婦嫁於鄉曲者良婦也今軫不忠其君楚亦何以軫為忠乎忠且見弄軫不之楚何歸乎王以其言為然遂善待之居秦期年秦惠王終相張儀而陳軫奔楚楚未之重也而使陳軫使於秦過梁欲見犀首犀首謝弗見軫曰吾為事來公不見軫軫將行不得待索隱曰軫語犀首言我故來欲有教汝之事何不相見異日犀首見之陳軫曰公何好飲也犀首曰無事也曰吾請令公鑿事可乎索隱曰鑿一醜反鑿者也謂欲令其多事曰柰何曰田需約諸侯從親索隱曰需時為魏相楚王疑之未信也公謂於王曰臣與燕趙之王有故數使人來曰無事何不相見願謁行於王王雖許公公

怒而不聽其事ハ、皆川
洪曰其事ハ田需從
報ノ事ヲ聞フナリ。

中斷、札記云、北宋本
下ニ之ヲ二字アリ。

請毋多車。以車三十乘可陳之於庭。明言之。燕趙燕趙客聞之。馳車告其王。使人迎犀首。楚王聞之。大怒。曰。田需與寡人約。而犀首之燕趙。是欺我也。怒而不聽其事。齊聞犀首之北。使人以事委焉。犀首遂行。三國相事。皆斷於犀首。軫遂至秦。韓魏相攻。其年不解。秦惠王欲救之。問於左右。左右或曰。救之便。或曰。勿救。便。惠王未能爲之決。陳軫適至。秦惠王曰。子去。寡人之楚。亦思寡人。不。陳軫對曰。王聞夫越人莊烏乎。王曰。不聞。曰。越人莊烏仕楚。執珪有頃。而病。楚王曰。烏故。越之鄙細人也。今仕楚。執珪。貴富矣。亦思越不。中謝。索隱曰。謂侍御之官也。對曰。凡人之思故。在其病也。彼思越。則越聲不思越。則楚聲使人往聽之。猶尚越聲也。今

願子爲子主計之便ハ、
董汾曰、宜シク餘字ヲ
句トスベシ、其主ノ爲
ニ之ヲ計ルノ儀、即我
ガ爲ニ之ヲ計ルヲ言
フ、據言シテ其言ハ先
ニシテ陳軫ニ及ブナリ、
餘故ニ曰、臣ガ主ヲ
異ナルナシト。

臣雖弄逐之。楚豈能無秦聲哉。惠王曰。善。今韓魏相攻。其年不解。或謂寡人救之便。或曰。勿救。便。索隱曰。此張儀等計策。寡人不能決。願子爲子主計之。索隱曰。子指陳軫也。子主謂楚王也。餘爲寡人計之。陳軫對曰。亦嘗有以夫。卞莊子刺虎。聞於王者乎。索隱曰。戰國策作館莊子館謂逆旅舍其人字莊子。或作卞莊子。莊子欲刺虎。館豎子止之。曰。兩虎方且食牛。食甘必爭。爭則必鬪。鬪則大者傷。小者死。從傷而刺之。一舉必有雙虎之名。卞莊子以爲然。立須之。有頃。兩虎果鬪。大者傷。小者死。莊子從傷者而刺之。一舉果有雙虎之功。今韓魏相攻。其年不解。是必大國傷。小國亡。從傷而伐之。一舉必有兩實。此猶莊子刺虎之類也。臣主與王何異也。索隱曰。臣主謂軫之主楚王也。王秦惠王以言我主與王俱宜待韓魏之斃而擊之。亦無以異也。惠王曰。善。卒弗救。大

國果傷小國亡秦興兵而伐大討之此陳軫之計也。

犀首者魏之陰晉人也。司馬彪曰犀首魏官名若今虎牙將軍名衍姓公孫氏與張儀

不善張儀爲秦之魏魏王相張儀犀首弗利故令人謂韓公叔

曰張儀已合秦魏矣其言曰。正義曰此張儀合秦魏之辭也魏攻南陽秦攻三川

魏王所以賢張子者欲得韓地也且韓之南陽已舉矣子何不

少委焉以爲衍功則秦魏之交可錯矣。索隱曰錯音措錯停止也然則魏必圖

秦而弄儀收韓而相衍公叔以爲便因委之犀首以爲功果相

魏張儀去。徐廣曰復相秦義渠君朝於魏犀首聞張儀復相秦害之犀

首乃謂義渠君曰道遠不得復過。索隱曰音之言義渠道遠自今已後不得復更過相見也請謁事

情。索隱曰謂欲以秦之緩急告語之也曰中國無事。索隱曰謂山東諸侯齊魏之六國○正義曰中國謂關外六國無事不共攻秦秦得

燒撥焚杆。徐廣曰一孤切○索隱曰撥音都活反謂焚燒而撥也焚杆音煩君之

國有事。索隱曰謂山東諸國共伐秦也秦將輕使重幣事君之國。索隱曰謂秦求親義渠君也○正義曰有事謂

六國攻秦秦若被攻伐則必輕使重幣事義渠其後五國伐秦。索隱曰按表秦惠王之國欲令相助犀首此言令義渠君勿援秦也後元七年楚魏齊韓

趙五國共攻秦會陳軫謂秦王曰義渠君者蠻夷之賢君也不如

賂之以撫其志秦王曰善乃以文繡千純。索隱曰凡絲綿布帛等一段爲一純音屯婦女

百人遺義渠君義渠君致羣臣而謀曰此公孫衍所謂邪。索隱曰謂

上文犀首云君之國有事秦將輕使重幣事君之國故云公孫衍之所謂因趙兵襲秦以傷張儀也

乃起兵襲秦大敗秦人李伯之下。索隱曰謂義渠破秦軍於李伯之下張儀已卒之後犀首入相秦嘗

佩五國之相印爲約長。索隱曰犀首後相五國或從或橫常爲約長

太史公曰三晉多權變之士夫言從衡彊秦者大抵皆三晉之

君之謂也王維指曰
燒撥杆二連ナル、當
ニ成下句ニ屬スベカ
ヲ。

大敗秦人李伯之下、札
記云申說、遊本、人ナ
入ニ作ル、索隱ト合ス。

人也。夫張儀之行事，甚於蘇秦。然世惡蘇秦者，以其先死，而儀振暴其短，以扶其說。索隱曰：暴音步卜反。振，謂振揚而暴露其短。扶，謂說彼之非，成我之是。扶，會己之說辭也。成其衡道。

索隱曰：張儀說六國使連衡而事秦，故云成其衡道。然山東地形從長，蘇秦相六國，令從親而賓秦也。關西地形衡長，張儀相六國，令破其從而連秦之衡。故蘇秦合從，張儀為連衡也。

要之此兩人，真傾危之士哉。

索隱述贊曰：儀未遭時，頻被因辱，反相秦惠，先韓後蜀，連衡齊魏，傾危証惑，陳軫挾權，犀首騁欲，如何三晉，繼有斯德。

蘇子古史曰：戰國之為縱橫者，皆傾危反覆之士也。然而污賤無恥，莫如張儀，而其成功莫如儀之多。儀之不信於楚也，辭而之晉，謂懷王曰：王無求於晉國乎？王曰：黃金珠璣犀象，楚產也。吾何求於晉儀曰：王獨不好色耳。周鄭之女，粉白墨黑，立於衢闕，不知而見者，以為神也。王獨不好色耳。王說資之珠玉而遺之。南后鄭袖聞而憂之，奉之以千金。儀將行，謂王曰：天下關閉不通，未知見日也。願王觴臣中飲。儀請王召所便習，王召鄭袖，袖見之，跪請罪曰：儀行天下，未嘗見人如此其美也。而儀言得美人是欺王也。王與后大喜，而儀言得行。儀之所以求用者，其術至此，所以言必信而功多也，可不悲乎。

黃震曰：蘇秦之說六國為六國也，張儀之說六國為秦也。欺詐諸侯，如侮嬰兒，雖為之拚鬥，而儀又秦之罪人矣。然儀之入秦，蘇秦實使之。雖欲止秦兵於一時，而卒以伐從約於異日。智者不為也。夫儀秦友也，儀始謁蘇秦，以故入求益也。秦不以情告儀，使其

謀六國以緩秦兵，而直以權詭激之入秦，自貽後患，何耶？將儀之多詐，不可告以情，抑秦自以不及儀與之共謀六國，慮禮已耶？夫縱橫之士，固不可以常情察之也。董份曰：觀太史公贊語中，頗亦有與蘇而抑儀者。蓋蘇起閭閻，匹夫當秦方盛時，遂能聯六國之心，并用其師，以過方彊之敵。此其勢甚有難者。今觀其說詞，亦有踴躍天下，驅役列國，控禦強秦之氣，可謂奇絕矣。方天下畏秦從勢，且解儀倚秦之力，乘將解之勢，比于蘇固獨易者，而其辭亦不如蘇之精嚴微覺力緩。茅坤曰：蘇秦張儀二傳，并戰國縱橫游說之詞，適以傾亂人國本，不足觀覽，特其詞言利處，則諱其害，言得處，則蔽其失，亦自有聲，鄙人處要之，同自陰符中出。凌約言曰：蘇秦欲六國合從，以按秦，則言其彊；張儀欲六國為橫，以事秦，則言其弱。然而六國之王，皆縱敬聽從，舉國而付之。未嘗有一語相折難者，何哉？彼皆憚于秦之勢，惟求為苟安計，故不暇自計其強弱，而或從或橫，一惟二子之是倚耳。不然六王非盡至愚者，其於土地之廣狹，人民之多寡，兵革財賦之所出，豈無一非然于衷，而何待于疎遠游客為吾借箸而籌哉。

史記評林卷之七十終

二〇九

史記評林卷之七十一

楞里子甘茂列傳第十一

楞里子者名疾秦惠王之弟也。

索隱曰楞木名也音據高誘曰其里有楞樹故曰楞里然疾居渭南陰鄉之楞里故號曰

楞里子又紀年則謂之楞里疾

與惠王異母母韓女也楞里子滑稽多智。索隱曰滑稽音骨稽音雞都誕解

滑稽多智、指慣曰、滑稽、轉注ノ器ナリ、滑稽ノ類ノ如シ、以テ人ノ言ヲ比給ニシテ、應對窮マザルニ比スルナリト、滑稽ハヒヤラヒナリ。

云滑稽也稽同也謂辯捷之人言非若是言是非謂能亂同異也一云滑稽酒器可轉注吐酒不已以言俳優之人出口成章詞不窮竭如滑稽之吐酒不已也○正義曰滑稽爲酒水流出自出稽計也言其智計宣吐如泉流出無帶故揚雄酒賦云鸕夷滑稽腹大如壺是也顏師古云滑稽轉利之稱也滑稽也稽礙也其變無留也一說稽考也言其滑稽不可考較秦

人號曰智囊秦惠王八年爵楞里子右更索隱曰右更秦第十四爵名使將而伐

曲沃。正義曰故城在陝州盡出其人。索隱曰年表云十一年拔魏曲沃歸其人秦本縣西南三十二里也

紀惠文王後元八年五國共圍秦使庶長疾與戰修魚斬首八萬十一年楞里疾攻魏焦降之則焦與曲沃同在十一年拔明矣而傳云八年拔之不同王劭按本紀年表及此傳三處記秦伐國並不同又與紀年不合今殆不可參考也

110

秦惠王二十五年ハ、魏大所曰、年茂秦ハ、二、惠王後十二年ニ在、此二十九年ト云フ者、前十二年ヲ并之ヲ數フ。
助魏攻楚ハ、錢小所曰、魏ハ、即秦本紀ノ庶長草ナリ。

智伯之伐仇猶注正義亦云、札記亦云、各本京ニ誤ス。

遺ノ遺事ハ、札記云、國策例非子、據ルニ、此文遺ノ下脫文アリ。

取其城地入秦。秦惠王二十五年使樛里子爲將伐趙。虜趙將軍莊豹拔藺。正義曰、藺縣在石州。明年助魏章攻楚。敗楚將屈丐取漢中地。秦封樛里子號爲嚴君。索隱曰、按嚴君是爵邑之號當是封之嚴道也。秦惠王卒太子武王

立。逐張儀魏章而以樛里子甘茂爲左右丞相。秦使甘茂攻韓。拔宜陽使樛里子以車百乘入周。周以卒迎之。意甚敬。楚王怒讓周以其重。秦客游騰爲周說楚王曰。索隱曰、游姓騰名也。智伯之伐仇猶

許慎曰仇猶夷狄之國。○索隱曰、高誘注戰國策以仇猶爲去由韓子作仇由地理志臨淮有仇猶縣也。○正義曰、括地志云并州孟縣外城俗名原仇山亦名仇猶夷狄之國也。韓子云智伯欲伐猶國道險難不通乃鑄大鐘遺之載以廣車仇猶大悅除塗內之赤草曼支諫曰不可此小所以事大而今大以遺小卒必隨不可不聽。遂內之曼支因斷殺而馳至十九日而仇猶亡。還之廣車。戰國策曰智伯欲伐仇猶遺之大鐘載以廣車。周禮曰廣車之卒鄭玄曰橫陳之車。因隨之以兵仇猶遂

亡。何則無備故也。齊桓公伐蔡號曰誅楚其實襲蔡。今秦虎狼

之國使樛里子以車百乘入周。周以仇猶蔡觀焉。故使長戟居前。彊弩在後。名曰衛疾。正義曰、防衛樛里子。而實囚之。且夫周豈能無憂其社稷哉。恐一旦亡國以憂大王。楚王乃悅。秦武王卒昭王立。樛里子又益尊重。昭王元年樛里子將伐蒲。索隱曰、紀年云樛里疾困蒲不克而秦惠王薨事與此合。○正義曰、蒲故城在滑州匡城縣北十五里。卽子路作宰地。蒲守恐請胡衍。索隱曰、胡衍一人姓名也。胡衍爲蒲謂樛里子曰。公之攻蒲爲秦乎爲魏乎。爲魏則善矣。爲秦則不爲賴矣。賴利也。夫衛之所以爲衛者以蒲也。正義曰、蒲是衛國之鄣衛也。今伐蒲入於魏。衛必折而從之。索隱曰、戰國策云今蒲入於秦衛必折而入於魏。與此文相反也。魏亡西河之外。正義曰、謂同華等州。而無以取者兵弱也。今并衛於魏。魏必彊。魏彊之日西河之外必危矣。且秦王將觀公之事。害秦而利魏。王必罪公。樛里子曰。奈

名曰衛疾二句ハ、漢雅隱曰、此二句說曰誅楚二句ト自ワ相對應ス。

何胡衍曰公釋蒲勿攻臣試爲公入言之以德衛君樗里子曰善胡衍入蒲謂其守曰樗里子知蒲之病矣其言曰必拔蒲衍能令釋蒲勿攻蒲守恐因再拜曰願以請因效金三百斤曰秦兵苟退請必言子於衛君使子爲南面故胡衍受金於蒲以自賢於衛於是遂解蒲而去還擊皮氏正義曰故城在絳州龍門縣西百四十步魏邑皮氏未降又去昭王七年樗里子卒葬于渭南章臺之東索隱曰按黃圖在漢長安故城西也曰後百歲是當有天子之宮夾我墓樗里子疾室在於昭王廟西渭南陰鄉樗里故俗謂之樗里子至漢興長樂宮在其東未央宮在其西正義曰漢長樂宮在長安縣西北十五里未央在縣西北十四里皆在長安故城中也武庫正直其墓索隱曰直猶當也秦人諺曰力則任鄙智則樗里

容車通三川、戰國策容字ヲシ、以放胡也、李光裕曰、特三之取、ト欲、ス、而正言、故二、寬、曰、竊、小親ナ、顧王勿伐、田汝成曰、眞ニ伐ツキニ非ズ、王ト盟ヲ定メト欲ス、トナリ、上黨南陽積之久矣、戰國策注三、二縣皆賦、障之トアリ、上黨南陽

甘茂者下蔡人也索隱曰括地志云下蔡縣屬汝南也○正義曰今潁州縣卽州萊園事下蔡史舉先生索隱曰戰國策及韓子皆云史舉上蔡監門者學百家之說因張儀樗里子而求見秦惠王王見而說之使將而佐魏章略定漢中地惠王卒武王立張儀魏章去東之魏蜀侯輝相壯反索隱曰輝音暉又音胡昆反秦之公子封蜀也華陽國志作暉壯音側狀反姓陳也秦使甘茂定蜀還而以甘茂爲左丞相以樗里子爲右丞相秦武王三年謂甘茂曰寡人欲容車通三川以窺周室而寡人死不朽矣甘茂曰請之魏約以伐韓而令向壽輔行正義曰餉受二音人姓名甘茂至謂向壽曰子歸言之於王曰魏聽臣矣然願王勿伐事成盡以爲子功向壽歸以告王王迎甘茂於息壤索隱曰山海經啓筮云鼓羈帝之息壤以堙洪水或是此也○正義曰秦邑也甘茂至王問其故對曰宜陽大縣也上黨南陽積之久

二國一、其財賦才宜
一國二階、之ヲ積ム久
昔曾參之處費云云、
授約首曰、此下二段ト
作シテ看ル、先ヅ曾參
ノ事ヲ引キ、今臣ノ其
數句ヲ以テ之ヲ結ビ、
既ニシテ張儀樂羊ノ事
ヲ引キ、今臣積旅ノ臣
數句ヲ以テ之ヲ結ブ。

矣。索隱曰。上黨南陽並積貯日久。○正義曰。韓之北三郡積貯在河南宜陽縣之日久矣。名曰縣。其實郡也。今王倍數險行千里攻之難。正義曰。謂函谷及三關五谷。○索隱曰。數音率庚反。昔曾參之處費。音魯人有與曾參同姓名者。殺人。人告其母。曰。曾參殺人。其母織自若也。頃之一人又告之。曰。曾參殺人。其母尚織自若也。頃又一人告之。曰。曾參殺人。其母投杼下機踰牆而走。夫以曾參之賢。與其母信之也。三人疑之。其母懼焉。今臣之賢。不若曾參。王之信臣。又不如曾參之母信曾參也。疑臣者。非特三人。臣恐大王之投杼也。始張儀西并巴蜀之地。北開西河之外。南取上庸。天下不以多張子。而以賢先王。魏文侯令樂羊將而攻中山。三年而拔之。樂羊返而論功。文侯示之謗書一篋。樂羊再拜稽首曰。此非

是王欺魏王而臣受公仲修之怨也。始秦王魏約シテ共ニ韓ノ宜陽ヲ伐テ、又樗里子等ノ言ヲ聽テ之ヲ罷ムレバ、是魏王ヲ欺クナリ、公仲修ハ韓ノ大夫ナリ、甘茂宜陽ヲ攻ムルヲ以テ、其怨ヲ受ケルナリ。

臣之功也。主君之力也。今臣羈旅之臣也。樗里子公孫奭二人者。索隱曰。戰國策作公孫衍。○正義曰。音釋。挾韓而議之。王必聽之。是王欺魏王而臣受公仲修徐廣曰。一作馮。之怨也。王曰。寡人不聽也。請與子盟。卒使丞相甘茂將兵伐宜陽。五月而不拔。樗里子公孫奭果爭之。武王召甘茂。欲罷兵。甘茂曰。息壤在彼。正義曰。甘茂歸至息壤與秦王盟。恐後樗里子公孫奭伐韓。今二子果爭之。武王召茂欲罷兵。故甘茂云。息壤在彼也。王曰。有之。因大悉起兵。使甘茂擊之。斬首六萬。遂拔宜陽。韓襄王使公仲修入謝。與秦平。武王竟至周。而卒於周。其弟立爲昭王。索隱曰。趙系家。昭王名稷。系本云名側。王母宣太后。楚女也。楚懷王怨前秦敗楚於丹陽。而韓不救。乃以兵圍韓。雍氏。索隱曰。秦惠王二十六年。楚圍雍氏。至昭王七年。又圍雍氏。韓求救於秦。是再圍也。劉氏云。此是前圍雍氏。當報王之七年。戰國策及紀年。與此並不同。○正義曰。故城在洛州洛陽縣東北二十里。韓使公仲修告

公叔且以國南合於楚
札記云、公叔二字、疑
フ行ナリ。

秦使向壽平宜陽云云、
漫推勝曰、此段、向壽
得用子公仲、蓋代韓人、
事、齊引、甘茂、秦、
去、齊、奔、故、見
ハス。

急於秦。秦昭王新立。太后楚人。不肯救。公仲因甘茂。茂為韓言。於秦。昭王曰。公仲方有得秦救。故敢扞楚也。今雍氏圍。秦師不下。殺公仲且仰首。而不朝。公叔且以國南合於楚。楚韓為一。魏氏不敢不聽。然則伐秦之形成矣。不識坐而待伐。孰與伐人之利。秦王曰善。乃下師於殺以救韓。楚兵去。秦使向壽平宜陽。而使樗里子甘茂伐魏皮氏。向壽者宣太后外族也。而與昭王少相長。故任用。向壽如楚。徐廣曰、如一作和楚聞秦之賢向壽。而厚事向壽。向壽為秦守宜陽。將以伐韓。韓公仲使蘇代謂向壽曰。禽困覆車。韓禽獸得困急。猶能抵觸傾覆人車。公破韓辱公仲。公仲收國復事秦。自以為必可以封。正義曰、公仲自以為必可得秦封今公與楚解口地。索隱曰、解口秦地名、近韓、今將與楚也。○正義曰、上紀買反、公、向壽也、解

因於秦、四、說文二
遊、推、日、秦
カラ私徒、韓、オ、第
二、因、ハ、正、二、前、ノ、意
田、ハ、車、ハ、覆、ヘ、ス、ノ、意
ナリ。

口猶開口得言。向壽於秦。封小令尹以杜陽。索隱曰、封楚令尹以杜陽、杜陽秦地、今以封楚令尹、是秦楚相合也。秦楚合。復攻韓。韓必亡。韓亡。公仲且躬率其私徒以闕於秦。闕鳥私反○正義曰、公仲恐韓亡。欲將私徒往宜陽闕向壽也。願公孰慮之也。向壽曰。吾合秦楚。非以當韓也。子為壽調之。公仲曰。正義曰。子蘇代也。向壽恐令蘇代調報公仲云。秦韓交可合。秦韓之交可合也。蘇代對曰。願有調於公。正義曰、公向壽也。言向壽亦黨於楚。與公孫夷甘茂黨韓魏同也。人曰。賢其所以費者。賢王之愛習公也。不如公孫夷。其智能公也。不如甘茂。今二人者。皆不得親於秦事。而公獨與王主斷於國者。何彼有以失之也。索隱曰、彼言公孫夷及甘茂也。有以失之。謂不見委任。情有失。○正義曰。言秦王雖愛習公孫夷甘茂。秦事不親委者。為黨韓魏也。今國事獨與向壽主斷者。不知壽黨於楚。公孫夷黨於韓。而甘茂黨於魏。故王不信也。今秦楚爭疆。而公黨於楚。是與公孫夷甘茂同道也。公何以異之。

人皆言楚之善變也云云
ハ、方苞曰、亡音無ナ
ハ、向蘇楚ニ黨ス、故ニ
人楚善ク變ス、ト言ヒ、
而テ善必以變スルナ
レト爲ス、是自リ楚變
ノ實ヲ預フナリ。

此韓之寄地也ハ、後漢
陰曰、潁川モト韓ノ
地ニシテ楚之寄地、
故ニ寄地ト云フ。

正義曰蘇氏云向壽與公孫夷甘茂皆人皆言楚之善變也而公必亡之是有然言無異也又一云改異黨楚之意自爲責也。正義曰楚善變改不可信若變改向壽必亡敗是自爲責。公不如與王謀其變也善韓以備楚。正義曰令秦親韓而備楚。如此則無患矣韓氏必先以國從公孫夷而後委國於甘茂韓公之讎也。正義曰韓氏必先委二人故韓爲向壽之讎。今公言善韓以備楚是外舉不辟讎也向壽曰然吾甚欲韓合對曰甘茂許公仲以武遂。徐廣曰秦昭王元年予韓武遂。反宜陽之民。正義曰武遂宜陽本韓邑也秦伐取今公徒收之甚難。正義曰蘇代言甘茂許公仲以武遂又歸宜陽之民今向壽徒擬收之甚難事也。向壽曰然則奈何武遂終不可得也對曰公奚不以秦爲韓求潁川於楚。正義曰許州也楚侵韓潁川蘇代令向壽以秦威重爲韓就楚求索潁川是親向壽此韓之寄地也公求而得之是令行於楚而以其地德韓也公求而不得是韓楚之怨不解而交走

收楚韓以安之ハ、後漢
陰曰、潁川ヲ韓ニ寄
ス、則楚韓ノ故ニ安ト
曰フ。

秦也。解音己買反。○索隱曰韓楚怨不解二國交走向秦也。秦楚爭疆而公徐過楚以收韓此利於秦。徐廣曰過一作適。○正義曰若二國皆事秦。向壽曰奈何對曰此善事也。甘茂欲以魏取齊公孫夷欲以韓取齊今公取宜陽以爲功收楚韓以安之而誅齊魏之罪。正義曰言公孫夷甘茂皆欲以秦挾韓魏而責齊魏之罪是公孫夷甘茂不得同合韓魏於秦以伐齊也。是以公孫夷甘茂無事也甘茂竟言秦昭王以武遂復歸之韓。正義曰年表云秦昭王元年予韓武遂也。向壽公孫夷爭之不能得。向壽公孫夷由此怨讒甘茂茂懼輟伐魏蒲阪亡去。徐廣曰昭王元年擊魏皮氏未拔去。標里子與魏講罷兵。索隱曰鄭氏云講讀曰媾媾猶和。甘茂之亡秦奔齊逢蘇代代爲齊使於秦甘茂曰臣得罪於秦懼而遯逃無所容跡臣聞貧人女與富人女會績貧人女曰我無以買燭而子之燭光

幸有餘。子可分我餘光。無損子明。而得一斯便焉。今臣困而君方使秦。而當路矣。茂之妻子在焉。願君以餘光振之。蘇代許諾。遂致使於秦。已因說秦王曰。甘茂非常士也。其居於秦。累世重矣。自殺塞及至鬼谷。徐廣曰。在陽城。正義曰。三穀在洛州永寧縣西北。其地形險易。皆明知之。彼以齊約韓魏。反以圖秦。非秦之利也。秦王曰。然則奈何。蘇代曰。王不若重其贄。厚其祿。以迎之。使彼來。則置之鬼谷。正義曰。劉伯莊云。此鬼谷關內。雲陽非陽城者也。按陽城谷時屬韓秦。不得言置之。終身勿出。秦王曰。善。即賜之上卿。以相印。迎之於齊。甘茂不往。蘇代謂齊湣王曰。夫甘茂賢人也。今秦賜之上卿。以相印。迎之。甘茂德王之賜。好為王臣。故辭而不往。今王何以禮之。齊王曰。善。即位之上卿而處之。索隱曰。處猶置也。秦因復甘

區之鬼谷注正義陽城
谷。札記云。官本谷上
鬼字。各本脫入。
深根曰。蘇代。茂ノ
必齊。二留ルヲ知ル。故
ニ此ヲ百アリ。茂ノ
爲ニ遊說スルニ非ザル
ナリ。

以出於秦へ、唐川淇園
曰。申。從。賈。ル。ナリ。

荀悅不廉へ、戰國策不
廉。奇原。作ル。

茂之家。以市於齊。正義曰。復音福。齊使甘茂於楚。懷王新與秦合婚而驩。徐廣曰。昭王二年時迎婦於楚。而秦聞甘茂在楚。使人謂楚王曰。願送甘茂於秦。楚王問於范蠡曰。徐廣曰。蠡一作蠡。索隱曰。休緣反。又音休。蠡反戰國策一作錄字。正義曰。許緣反。寡人欲置相於秦。孰可對曰。臣不足。以識之。楚王曰。寡人欲相甘茂。可乎。對曰。不可。夫史舉下蔡之監門也。大不為事。君小不為家室。以苟賤不廉。聞於世。甘茂事之順焉。故惠王之明。武王之察。張儀之辯。而甘茂事之。取十官。而無罪。茂誠賢者也。然不可相於秦。夫秦之有賢相。非楚國之利也。且王前嘗用召滑於越。徐廣曰。滑一作滑。內句章味之難。索隱曰。召滑內心猶詐。外則滑。伴章恩義。而卒包藏禍心。構難於楚。戰國策云。內句章味之難。越國亂。故楚南塞厲門。徐廣曰。一作瀨。胡。正義曰。劉伯莊云。厲門度嶺南之要路。而郡江東。正義曰。吳

越之城皆為楚之都邑。計王之功所以能如此者，越國亂而楚治也。今王知用諸越而忘用諸秦，臣以王為鉅過矣。然則王若欲置相於秦，則莫若向壽者可。夫向壽之於秦王親也，少與之同衣，長與之同車，以聽事。王必相向壽於秦，則楚國之利也。於是使使請秦相向壽於秦，秦卒相向壽。而甘茂竟不得復入秦，卒於魏。甘茂有孫曰甘羅，甘羅者甘茂孫也。茂既死，後甘羅年十二，事秦相文信侯呂不韋。索隱曰：戰國策甘羅事呂不韋為庶子。秦始皇帝使剛成君蔡澤於燕三年，而燕王喜使太子丹入質於秦。秦使張唐往相燕，欲與燕共伐趙，以廣河間之地。張唐謂文信侯曰：臣嘗為秦昭王伐趙，趙怨臣，得唐者與百里之地。今之燕必經趙，臣不可以行。文

夫項彙、札肥索隱本
二依、大項彙一作、
注亦奪其道德、故云大
項彙一作、

信侯不快，未有以彊也。甘羅曰：君侯何不快之甚也？文信侯曰：吾令剛成君蔡澤事燕三年，燕太子丹已入質矣。吾自請張卿相燕而不肯行。索隱曰：即張唐也。卿字也。甘羅曰：臣請行之。文信侯叱曰：去！我身自請之而不肯，女焉能行之？正義曰：女音汝。馮乙速反。甘羅曰：夫項彙生七歲為孔子師。索隱曰：彙音託尊。其道德故云項彙。今臣生十二歲於茲矣，君其試臣，何遽叱乎？於是甘羅見張卿曰：卿之功孰與武安君？卿曰：武安君南挫彊楚，北威燕趙，戰勝攻取，破城墮邑，不知其數。臣之功不如也。甘羅曰：應侯之用於秦也，孰與文信侯專？索隱曰：應侯范雎也。張卿曰：應侯不如。文信侯專。甘羅曰：卿明知其不如，文信侯專與，日知之。甘羅曰：應侯欲攻趙，武安君難之，去咸陽七里而立死於杜

郵。今文信侯自請卿相，燕而不肯行。臣不知卿所死處矣。張唐曰：請因孺子行，令裝治行。行有日。甘羅謂文信侯曰：借臣車五乘，請為張唐先報趙。文信侯乃入言之於始皇曰：昔甘茂之孫甘羅年少耳，然名家之子孫，諸侯皆聞之。今者張唐欲稱疾不肯行，甘羅說而行之。今願先報趙，請許遣之。始皇召見，使甘羅於趙。趙襄王郊迎甘羅，甘羅說趙王曰：王聞燕太子丹入質秦，欺。曰：聞之。曰：聞張唐相燕，欺。曰：聞之。燕太子丹入秦者，燕不欺秦也。張唐相燕者，秦不欺燕也。燕秦不相欺者，伐趙危矣。燕秦不相欺，無異故欲攻趙，而廣河間王不如齋臣五城以廣河間。索隱曰：齋音側矣反。一音齊。並謂割五城與臣也。請歸燕太子與疆，趙攻弱燕，趙王立自割五

二三五

城以廣河間，秦歸燕太子，趙攻燕得上谷三十城。索隱曰：戰國策云，得上三十六縣。○正義曰：上谷今嶺州，也在幽州西北。一城與秦也。甘羅還報，秦乃封甘羅為上卿，復以始甘茂田宅賜之。

太史公曰：樗里子以骨肉重，固其理。而秦人稱其智，故頗采焉。甘茂起，下蔡閭閻，顯名諸侯，重疆齊楚。徐廣曰：恐或疑此當云見重疆齊。說脫一字。○正義曰：甘茂為疆齊楚所重。甘羅年少，然出一奇計，聲稱後世，雖非篤行之君子，然亦戰國之策士也。方秦之疆時，天下尤趨謀詐哉。

索隱述贊曰：嚴君名疾，厥號智囊，既親且重，稱兵外擁。甘茂並相，初佐魏章，始推向壽，乃攻宜陽，甘羅妙歲卒起張唐。
蘇子古史曰：蘇秦為諸侯弱秦，而張儀為秦弱諸侯，其說猶可言也。如樗里疾，公孫與黨於韓，甘茂黨於魏，向壽黨於楚，皆借秦之疆以搖動諸侯，而成其私民生其間，其受害可勝言乎。今世雖無戰國相傾之勢，然士居其間，其以喜怒成敗天下事者多矣。人主誠得其情，其罪可勝誅乎。

太史公曰云云，治直曰，三人皆晉，以稱之，重之，一八則骨，以之，則下，則年十二，秦，國二方，而天下，允許，以二趨，才見，之，之。

史記評林卷之七十一終

史記評林卷之七十二

穰侯列傳第十二

穰侯魏冉者。秦昭王母宣太后弟也。

索隱曰。宣太后之異父長弟也。姓魏。名冉。封之穰。地理志穰縣在南陽宣

太后者。惠王之妃。姓。其先楚人。姓。平氏。曰。平八子也。

其先楚人。姓平氏。

正義曰。平。亡爾反。

秦武王卒。無子。立其

弟為昭王。昭王母。故號為平八子。及昭王即位。平八子號為宣

太后。宣太后非武王母。武王母號曰惠文后。先武王死。

索隱曰。秦本紀云。昭

王二年。庶長壯與大臣公子為逆。皆誅。及惠文后皆不得良死。又按紀年云。秦內亂。殺其太后及公子雍。公子壯是也。

宣太后二弟。其異父

長弟曰穰侯。姓魏氏。名冉。同父弟曰平戎。為華陽君。

索隱曰。華陽。韓地。後屬秦。

平戎後。又號新城君。○正義曰。彪云。華陽。亭名。在洛州密縣。又故華城。在鄭州管城縣南三十里。即此城。

而昭王同母弟曰高陵君。

為華陽注。穰。彪云。ハ。札記。司馬彪。二作リ。云。官本。同。馬。一。字。アリ。他本。版。ス。ト。牙。地。曰。華。陽。道。三。人。ナ。ズ。敏。ス。ル。者。為。宋。范。誰。說。ア。昭。王。ナ。ク。悟。

索隱曰：涇陽君，名惲。而魏冉最賢，自惠王武王時任職用事。武

王卒，諸弟爭立，唯魏冉力為能立。昭王、昭王即位，以冉為將軍。

衛咸陽，誅季君之亂。徐廣曰：年表曰：季君為亂，誅本紀曰：庶長壯與大臣公子謀反伏誅。○索隱曰：按季君即公子壯，僭立而號曰季君。穰侯

力能立昭王，為將軍，衛咸陽，誅季君及惠文后，故本紀言伏誅。又云：及惠文后皆不得良死，蓋謂惠文后時黨公子壯，欲立之，及壯誅而太后憂死，故云不得良死，亦史諱之也。又逐武王后

出之魏，亦事勢然也。而逐武王后，出之魏，昭王諸兄弟不善者皆滅之，威振

秦國。昭王少，宣太后自治，任魏冉為政。昭王七年，穰里子死，而

使涇陽君質於齊，趙人樓緩來相，秦趙不利，乃使仇液之秦。索隱曰：戰國策作仇郝，蓋是一人而記別也。○正義曰：音亦，姓名。請以魏冉為秦相，仇液將行，其客宋公謂

液曰：秦不聽公，樓緩必怨公，公不若謂樓緩曰：請為

公母急秦，秦王見趙請相魏冉，之不急且不聽公，公言而事不

成，以德樓子事成，魏冉故德公矣。於是仇液從之，而秦果免樓

緩而魏冉相秦，欲誅呂禮，禮出奔齊。昭王十四年，魏冉舉白起

使代向壽將而攻韓魏，敗之伊闕，斬首二十四萬。虜魏將公孫

喜，明年又取楚之宛葉，魏冉謝病，免相，以客卿壽燭為相，其明

年燭免，復相冉，乃封魏冉於穰，復益封陶。徐廣曰：一作陰。○索隱曰：陶字本易，惡也。王劭按：定陶見有魏冉家，作陰，誤也。號曰穰侯，穰侯封四歲，為秦將，攻魏，魏獻河

東方四百里，拔魏之河內，取城大小六十餘。昭王十九年，秦稱

西帝，齊稱東帝，月餘，呂禮來而齊秦各復歸帝，為王，魏冉復相

秦，六歲而免。免二歲復相秦，四歲而使白起拔楚之郢，秦置南

郡，乃封白起為武安君。白起者穰侯之所任舉也，相善，於是穰

魏冉故德公矣，故原冉為白來冉，冉自之德トス

呂禮來，秦本紀呂禮來，自節又二作也。

白起者穰侯之所任舉也，故穰侯曰：前戰，魏冉白起，穰侯，穰侯。

チ攻メ、楚ノ宛葉ヲ取
ルト言ヒ、此又再白起
ナシテ、楚ノ郢都ヲ拔カ
シムト言ヒ、而之ヲ結
テ白起ハ復侯ノ在梁ス
ル所ナリト曰フ、地テ
白起ノ功、皆穰侯ニ本
ゾクカ見ルノミ。

臣以爲衛趙可法ノ勞
注此臣衛大臣所稱ハ、
國ル臣ハ、魏ノ長史
自ヲ稱スルナリ。

此臣之所聞於魏也、
董份曰、臣聞必見
欺ニ至ル、皆須買魏ノ
長史ノ言ヲ此臣ノ聞
之ヲ結テ此臣ノ聞
ニ聞ク所ノ言ヒ、其魏
ト言フ所ノ言ヒ、同
明カ、宋陰大ニ謂テ
願君王之以是處事也、
王字衍ナリ、杜預云、
ハ復侯ヲ指ス、下文復
君ト稱ス、王子ノ衍
置ス。

七仞之城注謂雅曰、
札記云、引ク所ノ文、
小爾雅ニ見ユ。

侯之富。富於王室。昭王三十二年。穰侯爲相國。將兵攻魏。走芒
卯。上莫叩反。入北宅。徐廣曰。魏惠王五年。與韓會宅陽。宅陽。一
下陌他反。名北宅。括地志云。宅陽。故城在鄭州蔡陽縣西南十七里。遂
圍大梁。梁大夫須賈說穰侯曰。臣聞魏之長吏謂魏王曰。昔梁
惠王伐趙。戰勝三梁。徐廣曰。田完世家云。魏伐趙。趙不利。
戰於南梁。○索隱曰。三梁。卽南梁也。拔邯鄲。趙氏不
割。而邯鄲復歸。齊人攻衛。拔故國。殺子良。索隱曰。衛之故國。蓋楚丘也。
下文故地亦同。謂楚丘也。戰
國策。衛字皆作燕子。衛人不割。而故地復反。衛趙之所以國全。兵勁。
而地不并於諸侯者。以其能忍難。而重出地也。宋中山數伐。割
地。而國隨以亡。臣以爲衛趙可法。而宋中山可爲戒也。秦貪戾
之國也。而毋親蠶食魏氏。又盡晉國。索隱曰。河西河東河內。並是魏地。卽
故晉國。今言秦蠶食魏地。盡晉國之
地。戰勝暴子。徐廣曰。韓
將暴高。割八縣地未畢。入兵復出矣。夫秦何厭之

有哉。今又走芒卯。入北宅。此非敢攻梁也。且劫王以求多割地。
王必勿聽也。今王背楚趙而講秦。索隱曰。講和也。楚趙怒而去王。與王
爭事。秦秦必受之。秦挾楚趙之兵。以復攻梁。則國求無亡。不可
得也。願王之必無講也。王若欲講。少割而有質。不然。必見欺。索
隱曰。謂與秦欲講。少割地而求
秦質子。恐不然。必被秦欺也。此臣之所聞於魏也。索隱曰。須賈說穰侯言魏謂人
卽聞魏見
欺於秦也。願君王之以是處事也。周書曰。惟命不予常。此言幸之
不可數也。夫戰勝暴子。割八縣。此非兵力之精也。又非計之工
也。天幸爲多矣。今又走芒卯。入北宅。以攻大梁。是以天幸自爲
常也。智者不然。臣聞魏氏悉其百縣勝甲以上。戍大梁。臣以爲
不下三十萬。以三十萬之衆守梁。七仞之城。爾雅曰。四尺謂之
仞。倍仞謂之尋。臣以

陶邑必亡、正義ノ説
從之ハ、

爲湯武復生。不易攻也。夫輕背楚趙之兵。陵七仞之城。戰三十萬之衆。而志必舉之。臣以爲自天地始分。以至于今。未嘗有者也。攻而不拔。秦兵必罷。陶邑必亡。索隱曰。陶一作魏。言秦前攻得魏之城邑。秦罷則亡而還於魏也。○正義曰。定陶近大梁。種侯攻梁兵。疲定陶必爲魏代。則前功必弄矣。今魏氏方疑。可以少割收也。索隱引魏人之說。不許王講。於秦是言。魏氏方疑。可以少割地而收魏也。願君速楚趙之兵。未至於梁。亟以少割收。魏方疑。而得以少割爲利。必欲之。則君得所欲矣。楚趙怒於魏之先已也。必爭事秦。從以此散。索隱曰。楚趙怒魏之與秦講。皆爭事秦。是東方從國於是解散也。○正義曰。從足。而君後擇焉。且君之得地。豈必以兵哉。割晉國。秦兵不攻。而魏必效。絳安邑。又爲陶開兩道。索隱曰。種侯封陶。魏效絳與安邑。是得河東地。言從秦。逾陶開河東西河東之兩道。○正義曰。種侯封定陶。故宋及單父。是陶之南道也。魏之安邑及絳。是陶北道。幾盡故宋。索隱曰。上音所。此時宋已滅。是秦將盡得宋地也。衛必效。

乃種侯圖ハ、後種侯曰、
須臾利害ヲ翻折スル
處也。秦ニ相如シ
種侯ハ種侯ノ爲ト
雖也。實ハ種侯ノ爲ト
謀ナリ。故ヲ以テ種
ニ梁ノ國ヲ開ム。

臣竊必之云云ハ、札記
云。索隱ノ解ノ如キ
此四字當ニ下ニ連テ文
ヲ爲スベシ。正義之ヲ
中斷ス。是ニ非ズ。

單父。秦兵可全。而君制之。何索而不得。何爲而不成。願君熟慮之。而無行危。索隱曰。言莫行。關梁之危事。穰侯曰。善。乃罷梁圍。正義曰。表云。魏安釐王二年。秦軍大梁。城韓來救。與秦溫。以和也。明年。魏背秦。與齊從親。秦使穰侯伐魏。斬首四萬。走魏將暴鳶。得魏三縣。穰侯益封。明年。穰侯與白起客卿胡陽復攻趙韓魏。破芒卯於華陽下。斬首十萬。取魏之卷。丘權反。蔡陽。長社。趙氏觀津。且與趙觀津。益趙以兵伐齊。索隱曰。既得觀津。仍令趙伐齊。襄齊而秦又以兵益助趙也。齊襄王懼。使蘇代爲齊陰遺穰侯書曰。臣聞往來者言曰。秦將益趙甲四萬。以伐齊。臣竊必之。弊邑之王曰。索隱曰。告齊王言。秦必定不益兵。以助趙。○正義曰。臣蘇代也。必知秦與趙甲四萬。以伐齊。王謂齊王也。秦王明而熟於計。穰侯智而習於事。必不益趙甲四萬。以伐齊。是何也。夫三晉之相與也。秦之深讎也。百相背也。

百相欺也。不爲不信。不爲無行。今破齊。以肥趙。趙秦之深讎。不利於秦。此一也。秦之謀者。必曰。破齊弊晉楚。正義曰。今晉楚伐齊。而晉楚之國亦弊敗。而後制晉楚之勝。夫齊罷國也。以天下攻齊。如以千鈞之弩。決潰癰也。必死。安能弊晉楚。此二也。秦少出兵。則晉楚不信也。多出兵。則晉楚爲制於秦。齊恐不走。秦必走晉楚。此三也。秦割齊以啖晉楚。晉楚案之。以兵。秦反受敵。此四也。是晉楚以秦謀。齊以齊謀。秦也。何晉楚之智。而秦齊之愚。此五也。故得安邑。以善事之。亦必無患矣。秦有安邑。韓氏必無上黨矣。取天下之腸胃。與出兵。而懼其不反也。孰利。臣故曰。秦王明而熟於計。穰侯智而習於事。必不益趙甲四萬。以伐齊矣。於是穰侯不行。引兵而歸。

1101

以廣其陶邑。澠雅注曰。前二陶二益封スト云。此後其陶邑ヲ廣ウセント云フ。范雎聞ニ樂ジテ聽スベキヲ見ルナリ。故ニ太史公特ニ於是ノ字ヲ下グシ。又以此時好說數字ヲ下グス。

秦王悟ハ、札紀秦昭王ニ作。云フ昭字昭本賦ス。

收陶爲郡ハ、札紀云、郡當ニ縣ニ作ルルニシテ、郡

昭王三十六年。相國穰侯言。客卿竈欲伐齊。取剛壽。徐廣曰。濟北有剛縣。○正義曰。剛城在兗州鄆丘縣界。壽張。鄆州縣也。以廣其陶邑。於是魏人范雎自謂張祿先生。譏穰侯之伐齊。乃越三晉。以攻齊也。以此時。奸說秦昭王。昭王於是用范雎。范雎言。宣太后專制。穰侯擅權於諸侯。涇陽君。高陵君之屬。太侈富於王室。於是秦王悟。乃免相國。令涇陽之屬皆出關。就封邑。穰侯出關。輜車千乘有餘。穰侯卒於陶。而因葬焉。秦復收陶爲郡。

太史公曰。穰侯。昭王親舅也。而秦所以東益地。弱諸侯。嘗稱帝於天下。天下皆西鄉稽首者。穰侯之功也。及其貴極富溢。一夫開說身折。勢奪。而以憂死。況於羈旅之臣乎。

索隱述贊曰。穰侯智識。應變無方。內倚太后。外輔昭王。四登相位。再列封疆。擁齊擄楚。破魏圍梁。一夫開說。憂憤而亡。
蘇子古史曰。秦誅商君。逐穰侯。君臣皆失之矣。彼二子者。知得而不知喪。雖智能伯秦。而不能免其身。蓋無足言者。而惠王以怨誅。至誣以醉逆。昭王以偏遷。再至出。老母逐弱弟。而不顧甚矣。其少恩也。彼公子虔。方欲報怨。固不暇為國慮矣。而范雎將毀人以自成。而至於是。可畏也哉。

史記評林卷之七十二終

史記評林卷之七十三

白起王翦列傳第十三

白起者。郿人也。

正義曰。郿音眉。岐州縣。

善用兵。事秦昭王。昭王十三年。而白

起為左庶長。將而擊韓之新城。

索隱曰。在河南也。正義曰。今洛州伊闕。

是歲。穰侯相秦。

舉任鄙。以為漢中守。其明年。白起為左更。攻韓魏於伊闕。

正義曰。今

洛州南十九里伊闕山號曰龍門是。

斬首二十四萬。又虜其將公孫喜。拔五城。起遷為

國尉。正義曰。言太尉。涉河。取韓安邑。以東到乾河。

徐廣曰。音干。颯案。郭璞曰。今河東聞喜縣。東北有乾河口。因名。

乾河里。但有故滯處。無復水也。○索隱曰。魏以安邑

明年。白起為大良造。攻魏。

入秦。然安邑以東至乾河。皆韓故地。故云取韓安邑。

拔之。取城小大六十一。明年。起與客卿錯攻垣城。拔之。

徐廣曰。河東垣縣。

後七年白起攻楚云云、
韓大新曰、年表ヲ按ズ
ルニ、昭王二十八年ニ
在リ、其趙ノ光復城ヲ
拔ク、即前一年ニ在リ、
此後七年ト云フ、表ト
見ナリ。
魏齊韓正義今陝州、
魏齊韓正義今陝州、
考證唐志ニ據テ改ス。

後五年白起攻趙拔光復城。索隱曰地理志不載光復城蓋屬趙國○正義曰光復故城在澤州高平縣西二十五里也。後七年白起攻楚拔鄢鄧五城。徐廣曰昭王二十八年○其明年攻楚拔鄢燒夷陵。正義曰夷陵今汝州下縣。遂東至竟陵。正義曰故城在鄧州長壽縣南五百五十里今復州亦是其地也。楚王亡去鄢東走徙陳秦以鄢為南郡白起遷為武安君武安君因取楚定巫黔中郡昭王三十四年白起攻魏拔華陽走芒卯而虜三晉將斬首十三萬與趙將賈偃戰沈其卒二萬人於河中昭王四十四年白起攻韓陘城。正義曰陘城故城在曲沃縣西北二十里在絳州東北三十五里也。拔五城斬首五萬四十四年白起攻南陽太行道絕之。徐廣曰此南陽河內修武是也○正義曰案南陽屬韓秦攻之則韓太行羊腸道絕矣。四十五年伐韓之野王。索隱曰地理志野王縣屬河內○野王在太行東南孟康曰古邢國也。野王降秦上黨道絕其守馮亭與民謀曰鄭道已絕。徐廣曰河南新鄭韓之國都是也○索隱

三三六

趙孝成王與平陽君平原君注索隱曰平陽君平原君人韓大新曰平陽君平原君趙豹ナリ趙世家ニ見。

魏齊韓正義今陝州、
魏齊韓正義今陝州、
考證唐志ニ據テ改ス。

趙軍長平注正義西北、
北札三十二作北、
三考證唐志ニ據テ改ス。

曰鄭國即韓之都在河南秦伐野王是上黨歸韓之道絕也。韓必不可得為民秦兵日進韓不能應。不如此上黨歸趙趙若受我秦怒必攻趙趙被兵必親韓韓趙為一則可以當秦因使人報趙趙孝成王與平陽君平原君計之。索隱曰平陽君未詳何人。平陽君曰不如勿受受之禍大於所得平原君曰無故得一郡受之便趙受之因封馮亭為華陽君。正義曰常山一名華陽解在趙世家。十六年秦攻韓緱氏蘭。徐廣曰屬潁川○索隱曰今其地關西河別有蘭縣也○正義曰按檢諸地記潁川無蘭括地志云洛州嵩縣本夏之輪國也在緱氏東南六十里地理志云輪氏屬潁川郡按既攻緱氏蘭二邑合相近恐輪蘭聲相似字隨音而轉作蘭。拔之四十七年秦使左庶長王齕攻韓。乾音取上黨上黨民走趙趙軍長平。徐廣曰在汝地理志汝氏今在上黨郡也○正義曰按據上黨民。索隱曰謂屯兵長平故城在澤州高平縣西北一里也。四月齕因攻趙趙使廉頗將趙軍士卒犯秦斥兵。索隱曰謂犯秦之斥候兵也。秦斥兵斬

趙裨將茄索隱曰音加裨將名六月陷趙軍取二鄣四尉索隱曰障堡城尉官也○正義曰括地志云趙鄣故

城一名都尉城今名趙東城在澤州高平縣西二十五里又有故潞城此二城即二鄣也

七月趙軍築壘壁而守之秦又攻其壘取二尉敗其陣徐廣曰奪西壘壁正義曰趙西壘在澤州高平縣北六里是也即廉頗堅壁以待秦王

數以為讓而秦相應侯又使人行千金於趙為反閒曰正義曰謂趙王紀克反

秦之所惡獨畏馬服子趙括將耳廉頗易與且降矣趙王既怒

廉頗軍多失亡軍數敗又反堅壁不敢戰而又聞秦反閒之言

因使趙括代廉頗將以擊秦秦聞馬服子將乃陰使武安君白

起為上將軍而王齕為尉裨將令軍中有敢泄武安君將者斬

趙括至則出兵擊秦軍秦軍詳敗而走正義曰張二奇兵以劫之

詳音羊

軍多失亡軍數敗ハ、札記云下軍字疑上二初テ衍ス。

趙軍逐勝追造秦壁正義曰秦壁一名秦壘今古名秦長壘壁堅拒不得入而秦奇兵

二萬五千人絕趙軍後又一軍五千騎絕趙壁間趙軍分而為

二糧道絕而秦出輕兵擊之趙戰不利因築壁堅守正義曰趙壁今名趙東壘

亦名趙東長壘在澤州高平縣北五里即趙括築壁自敗處

以待救至秦王聞趙食道絕王自之河內正義曰時已屬秦故發其兵賜民爵各一級發年十五以上悉詣長平索隱曰時已屬秦故發其兵

遮絕趙救及糧食至九月趙卒不得食四十六日皆內陰相

殺食來攻秦壘欲出為四隊四五復之不能出其將軍趙括出

銳卒自搏戰秦軍射殺趙括括軍敗卒四十萬人降武安君武

安君計曰前秦已拔上黨上黨民不樂為秦而歸趙趙卒反覆

非盡殺之恐為亂乃挾詐而盡坑殺之遺其小者二百四十人

盡坑殺之ノ坑、札記既二作ル云フ官本既各

本坑二作ル、下並二阮
二作、
遺其小者、札記云、
毛本遺二作ル。

武安君爲三公云云、
徐中行曰、魏代應侯是
忌刻人ナルヲ知ス、
故二先ヅ武安ノ致ト云
ヒ、以テ其忌心ヲ動カ
シ、然後民衆ト爲ル
ナシ、然レ後民衆ト爲ル
ヲ樂ムズト云ヒテ其
阻心ヲ動カス、勢破竹
ノ如ク、邯鄲ノ圍ニ安
南定鄲軍中注夷道、
札記道二作ル云、
各本魏州二作ル云、
各本魏州二作ル云、
各本魏州二作ル云、
各本魏州二作ル云、
各本魏州二作ル云、
各本魏州二作ル云、
各本魏州二作ル云、
各本魏州二作ル云、

邯鄲丘ハ、札記云、邯
丘ノ地、韓ノ地ニ
非ズ、丘字衍ナリ、邯
即邈ノ借字ナリ。
邯鄲城、按今在鄆州原武
縣西北七里也、此本
脫ス。

歸趙前後斬首虜四十五萬人趙人大震四十八年十月秦復
定上黨郡秦隱曰秦前攻趙已破上黨今
煙兵復定其郡其餘城猶屬趙秦分軍爲二王齧攻皮牢拔

之正義曰故城在絳
州龍門縣西一里司馬梗定太原正義曰太原趙
地秦定取也韓趙恐使蘇代厚幣

說秦相應侯曰武安君擒馬服子乎曰然又曰卽圍邯鄲乎曰

然趙亡則秦王王矣武安君爲三公武安君所爲秦戰勝攻取

者七十餘城南定鄲郢漢中正義曰鄲在襄州夷道縣南九里郢在
荊州江陵縣東六里漢中今襄州之地北擒

趙括之軍雖周邵呂望之功不益於此矣今趙亡秦王則武

安君必爲三公君能爲之下乎雖無欲爲之下固不得已矣秦

嘗攻韓圍邢丘徐廣曰平阜有邢丘○正義曰邢丘今懷
州武陵縣東南二十里平阜縣城是也困上黨上黨之民

皆反爲趙天下不樂爲秦民之日久矣今亡趙北地入燕東地

入齊南地入韓魏則君之所得民亡幾何人徐廣曰亡
音無也故不如因

而割之正義曰因白起之
攻割取韓趙之地無以爲武安君功也於是應侯言於秦王

曰秦兵勞請許韓趙之割地以和且休士卒王聽之割韓垣雍

趙六城以和正月皆罷兵武安君聞之由是與應侯有隙其九

月秦復發兵使五大夫王陵攻趙邯鄲是時武安君病不任行

正義曰入
針反墟也四十九年正月陵攻邯鄲少利秦益發兵佐陵兵亡

五校武安君病愈秦王欲使武安君代陵將武安君言曰邯鄲

實未易攻也且諸侯救日至彼諸侯怨秦之日久矣今秦雖破

長平軍而秦卒死者過半國內空遠絕河山而爭人國都趙應

其內諸侯攻其外破秦兵必矣不可秦王自命不行乃使應侯

漢之陰密注正義古陰密
國。札記云。國字疑
衍。

武安君引劍將自剄云云
。漢雜傳曰。尤史公

請之。武安君終辭不肯行。遂稱病。秦王使王齕代陵將。八九月
圍邯鄲。不能拔。楚使春申君及魏公子將兵數十萬攻秦軍。秦
軍多失亡。武安君言曰。秦不聽臣計。今如何矣。秦王聞之。怒。彊
起武安君。正義曰。疆武安君遂稱病篤。應侯請之不起。於是免武
安君為士伍。遷之陰密。徐廣曰。屬安定。○正義曰。故城在涇州武安君病
未能行。居三月。諸侯攻秦軍。急。秦軍數卻。使者日至。秦王乃使
人遣白起。不得留咸陽中。武安君既行。出咸陽西門十至。至杜
郵。索隱曰。按故咸陽城在渭北杜郵。今在咸陽城中。○正義曰。說文云。郵。境秦昭王與
應侯羣臣議曰。白起之遷。其意尚怏怏不服。有餘言。秦王乃使
使者賜之劍。自裁。武安君引劍將自剄曰。我何罪于天。而至此。

二四五

武安ノ自剄ヲ述ベ、以
テ武安ノ剛柔ヲ給フ、
禮俗傳末ノ語意ト同
シ。
皆發詔焉注張儀傳、
札記云。毛本但二作ル、
二推ノ無勢ナリト、或
ハ儀ヲ學ニ作マ。

但憂平原之補租。租ハ
札記云。毛本但二作ル、
補租字ノ但ヲ借用ス、
用スル如シ。

哉。良久曰。我固當死。長平之戰。趙卒降者數十萬人。我許而盡
阬之。是足以死。遂自殺。武安君之死也。以秦昭王五十年十一
月死。而非其罪。秦人憐之。鄉邑皆祭祀焉。何妥曰。白起之降趙卒。詐而
乎。後亦難以重得志矣。向使衆人皆豫知降之必死。則張虛掩。猶可畏也。況於四十萬被堅執
銳。戰天下。見降秦之將頭顱似山。歸秦之衆骸積成丘。則後日之戰。死當死耳。何衆肯服。何城
肯下。乎。是為難能哉。四十萬之命。而適足以疆天下之戰。欲以要一朝之功。而乃更堅諸侯之
守。故兵進而自伐其勢。軍勝而還喪其計。何者。設使趙衆復合。馬服更生。則後日之戰。必非前
日之對也。況今皆使天下為後日乎。其所以終不敢復加兵於邯鄲者。非但憂平原之補租。患
諸侯之求至也。徒諱之。而不言耳。若不悟而不諱。則非所以遠智也。可謂善戰而拙勝。長平之
事。秦民之十五以上者。皆荷戟而向趙矣。秦王又親自賜民爵於河內。夫以秦之疆而十五以
上死傷過半者。此為破趙之功。小傷秦之敗大。又何稱奇哉。若後之役。戍不豫其論者。則秦衆
多矣。降者可致也。必不可致者。本自當戰。殺不當受降。詐也。戰殺雖難。降殺雖易。然降殺之為
害。禍大於劇戰也。○索隱曰。播音拳。祖音濁。莫反。字亦作統。球音救。

王翦者。頻陽東鄉人也。索隱曰。地理志。頻陽縣屬左馮翊。應劭曰。在頻水少而
好兵。事秦始皇。始皇十一年。翦將攻趙闕與。正義曰。破之。拔九城。

十八年，翦將攻趙，歲餘。遂拔趙，趙王降，盡定趙地，為郡。明年，燕使荊軻為賊於秦，秦王使王翦攻燕，燕王喜走遼東。翦遂定燕，而還。正義曰：秦使荊子王賁擊燕也。○索隱曰：賁音奔。荊兵敗，還擊魏，魏王降，遂定魏地。秦始皇始皇既滅三晉，走燕王，而數破荊師。秦將李信者年少，壯勇，嘗以兵數千，逐燕太子丹，至於衍水中。卒破得丹，始皇以為賢勇，於是始皇問李信，吾欲攻取荊，於將軍度用幾何人而足。李信曰：「不過用二十萬人。」始皇問王翦，王翦曰：「非六十萬人不可。」始皇曰：「王將軍老矣，何怯也？」李將軍果勢壯勇。徐廣曰：勞一作新。其言是也。遂使李信及蒙恬將二十萬南伐荊，王翦言不用，因謝病歸老於穎陽。李信攻平與，音余。○正義曰：在預東北五十四里。蒙恬

李將軍果勢壯勇，集解
 勞一作新，札記云：御
 勞二百七十四，引李果
 勞二作，義長，新，
 斷，同，斤，二，从，
 爾。

二四六

二四七

會城父法，正義是太子建
 居之，札記是，使，
 本是，云，官，本，使，各
 本是，二，說，

攻寢，徐廣曰：今固始寢丘。○索隱曰：固始縣屬淮陽，寢丘地名也。大破荊軍，信又攻鄢郢，破之，於是引兵而西，與蒙恬會城父。索隱曰：在汝南，即應鄉。○正義曰：言引兵而會城父，則是汝州郟城縣東父城者也。括地志云：汝州郟城縣東四十里有父城，故城即服虔云：城父，楚北境者也。又許州葉縣東北四十五里，亦有父城，故城即杜預云：襄城，城父縣者也。此二城，城父之名耳。服虔，城父是誤也。左傳及注水經云：楚大城城父，是太子建居之。十三州志云：太子建所居城父，謂今亳州城父是也。此三家之說是城父之名。地理志云：潁川父城縣，沛郡城父縣，據縣屬郡，其各自分，古先儒多惑，故使其名錯亂。荊人因隨之，三日三夜不頓舍。大破李信軍，入兩壁，殺七都尉，秦軍走。始皇聞之，大怒，自馳如頻陽，見謝王翦曰：「寡人以不用將軍計，李信果辱秦軍。今聞荊兵日進而西，將軍雖病，獨忍弄寡人乎？」王翦謝曰：「老臣罷病悖亂，正義曰：罷音疲，悖音背。唯大王更擇賢將。」始皇謝曰：「已矣。」將軍勿復言。王翦曰：「大王必不得已，用臣。」非六十萬人不可。始皇曰：「為聽將軍計耳。」於是王翦將兵六十萬人

王圖行請美田宅園池云云ハ、後約言曰、此圖相國多ク田宅ヲ買ヒ以テ自汗ガスト同惠ヲ給皇ノ諸將惟王圖其於ク善クスルヲ得ル者此ヲ以テナリ。

秦王坦而不信人ノ但ハハ札坦也作リ、後解各本但ニ誤ス、又作坦祖ハ屬ナリ、又注但一作爲ス。

始皇自送，至灑上。王翦行，請美田宅園池，甚衆。始皇曰：將軍行矣，何憂貧乎？王翦曰：爲大王將，有功終不得封侯，故及大王之嚮臣，臣亦及時以請園池爲子孫業耳。始皇大笑。王翦既至，關使使還，請善田者五輩。徐廣曰：善一作蓄。○索隱曰：謂使者五度請也。或曰：將軍之乞貸亦已甚矣。王翦曰：不然，夫秦王坦而不信人。徐廣曰：坦一作爲。今空秦國甲士而專委於我。徐廣曰：專亦作擲，又作朝。我不多請田宅爲子孫業，以自堅，顧令秦王坐而疑我邪？王翦果代李信擊荊，荊聞王翦益軍而來，乃悉國中兵以拒秦。王翦至，堅壁而守之，不肯戰。荊兵數出挑戰，終不出。王翦日休士，洗沐而善飲食，撫循之親，與士卒同食，久之。王翦使人問軍中戲乎？對曰：方投石超距。徐廣曰：超一作拔。○案漢書云：廿延壽投石拔距，絕

二四九

於等倫，張晏曰：范蠡兵法飛石重十二斤，爲機發行三百步，延壽有力能以手投之，拔距超距也。○索隱曰：超距猶跳躍也。

於是王翦曰：士卒可用矣。荊數挑戰，而秦不出，乃引而東。翦因舉兵追之，令壯士擊大破荊軍，至蕘南。正義曰：蕘州縣也。殺其將軍項燕，荊兵遂敗走。秦因乘勝略定荊地城邑，歲餘虜荊王負芻，竟平荊地爲郡縣。因南征百越之君，而王翦子王賁與李信破定燕齊地。秦始皇二十六年，盡并天下。王氏蒙氏功爲多，名施於後世。秦二世之時，王翦及其子賁皆已死。而又滅蒙氏，陳勝之反秦，秦使王翦之孫王離擊趙，圍趙王及張耳鉅鹿城。正義曰：今邢州平鄉縣城，本秦鉅鹿郡城也。或曰：王離，秦之名將也。今將彊秦之兵，攻新造之趙，舉之必矣。客曰：不然，夫爲將三世者必敗，必敗者何也？以其所殺伐多矣。其後受其不祥。

今王離已三世將矣。居無何，項羽救趙，擊秦軍。果虜王離，王離軍遂降諸侯。

太史公曰：鄙語云：尺有所短，寸有所長。白起料敵合變，出奇無窮，聲震天下。然不能救患於應侯。王翦為秦將，夷六國，當是時，翦為宿將，始皇帝始之，然不能輔秦，建德固其根本，偷合取容，以至切身。徐廣曰：物音沒。及孫王離為項羽所虜，不亦宜乎？彼各有所短也。

案陸述贊曰：白起王翦俱善用兵，遞為秦將，拔齊破荆，趙任馬服，長平遂坑楚，陷李信，霸上卒行，實離繼出，三代無名。

蘇子古史曰：予讀太史公白起傳，秦之再攻邯鄲也，起與范雎有怨，稱病不行，以亡其軀，慨然歎曰：起以武夫無所屈信，而困於游談之士，使起勉強一行，兵未必敗，而免於死矣。及戰，戰國策觀起自陳成敗之蹟，乃知邯鄲法不可再攻，而起非特以怨不行，蓋為之流涕也。趙充國征西羌，守便宜不肯奉詔出兵，辛武賢雖兵出有功，充國竟為漢宣明其非是，武賢怨之至骨，雖不能害充國，而卒陷其子，叩嗚呼！循道而不同自古而難之歟！○王翦與始皇議滅楚，非六十萬不行，予始疑其過，及觀田單與趙奢論兵，乃知老將之言不妄也。趙以齊田

二五〇

二五

單為相，單語趙奢曰：吾非不說將軍之兵法，所不服者將軍之用衆也。帝王之兵不過三萬，而天下服矣。今將軍必負十萬二十萬而後用之，使民不得耕，作糧食輓負不可給也。奢曰：君非徒不達兵，又不明時勢矣。夫吳干之劍，肉試則斷牛馬，金試則截盤匱，薄之柱上而擊之，則絕為三質之石，上而擊之則碎為百。今以三萬之衆，而應強國之兵，是薄柱擊石之類也。且夫劍之為用，無脊之厚，則鋒不入，無脾之薄，則刃不斲。無鈞，無錐，須之便，摸其刃而刺，則未入而手斷。今君無十萬二十萬之衆，以為鈞，無錐，須之便，焉能以三萬行于天下乎？古者四海萬國，城大不過三百丈，人雖多無過三千家，則以三萬拒之足矣。今取古萬國分為戰國七，兵能具數十萬，食能支數歲，千丈之城，萬家之邑，相望也，君奈何以三萬衆攻之？田單喟然歎息曰：單未至也，由此觀之，攻千里之國，毀百年之業，不乘大隙，非大衆不可。彼決機兩陳之閒，為一日成敗之計，乃可以少擊衆耳。

史記評林卷之七十三終

史記評林卷之七十四

孟子荀卿列傳第十四

索隱曰按序傳孟嘗君第十四而此傳爲第十五蓋後人差降之矣
真德秀曰孟荀傳旁及諸子而兼乎議論傳之變體也
楊慎曰孟子傳與伯夷傳善法略相似先敘孟子而以騶衍形之則孔孟之不合於
時者其道從可知矣又舉孔孟伯夷豈有意阿世苟合者則騶子之見尊禮于諸侯
者其道又從可知矣其曰騶子倘有牛鼎之意乎語不露而意倍永最文字之妙者
此法惟韓子得之

太史公曰余讀孟子書至梁惠王問何以利吾國未嘗不廢書而歎也曰嗟乎利誠亂之始也夫子罕言利者常防其原也故曰放於利而行多怨自天子至於庶人好利之弊何以異哉

孟軻騶人也索隱曰軻音苦何反又苦賀反鄒魯地名又云邾邾人徙鄒故也○正義曰軻字子輿爲齊卿鄒兗州縣受業于思之

注索隱曰按序傳云云
札記云今ノ序傳今
本ノ次序ト同シ漢書
則爲逸傳亦同シ

梁惠王不果所言、札記云、廣雅二果、八倍ナリ。

退而與萬章之徒注索隱云云、錢大昕曰、公明高ハ孟氏ノ弟子也、非ズ、廣雅二果、八倍ナリ、門人ト爲ス、其誤亦此ニ類ス。

門人。索隱曰、王劭以人爲衍字、則以軻親受業孔伋之門也、今言門人者、乃受業於子思之弟子也。道既通、游事齊宣王。宣王不能用。適梁。梁惠王不果所言。則見以爲迂遠而闕於事情。當是之時、秦用商君、富國彊兵、楚魏用吳起、戰勝弱敵。齊威王宣王用孫子、田忌之徒。而諸侯東面朝齊。天下方務於合從連衡、以攻伐爲賢。而孟軻乃述唐虞三代之德。是以所如者不合。退而與萬章之徒。索隱曰、孟子有萬章、公明高等。蓋並軻之門人也。萬、姓章名。序詩書、述仲尼之意。作孟子七篇。其後有騶子之屬。齊有三騶子。其前騶忌、以鼓琴干威王。因及國政。封爲成侯。而受相印。先孟子。其次騶衍。後孟子。騶衍親有國者。益淫侈。不能尙德。若大雅整之於身。施及黎庶矣。乃深觀陰陽消息。而作怪迂之變。終始大聖之篇。十餘萬

必先驗小物云云、板曰、此下三役、當必先驗小物、
必先驗小物、
至、至小、
大、推、先、
以上、
至、
遠、
中國、
先、
方、
至、
述、
及、
亦、

言其語闕大不經。必先驗小物。推而大之。至於無垠。先序今。以上至黃帝。學者所共術。大竝世盛衰。竝音蒲浪反。○索隱曰、言其大體隨代盛衰觀時而說事。因載其禱祥度制。推而遠之。至天地未生。窈冥不可考。而原也。先列中國名山大川通谷禽獸水土所殖。物類所珍。因而推之。及海外人之所不能覩。稱引天地剖判以來五德轉移。治各有宜。而符應若茲。以爲儒者所謂中國者。於天下乃八十一分居。其一分耳。索隱曰、桓寬王充竝以衍之所言迂怪虛妄。爰惑六國之君。因納其異說。所謂匹夫而焚惑諸侯者也。中國名曰赤縣神州。赤縣神州內自有九州。禹之序九州是也。不得爲州數。中國外如赤縣神州者九。乃所謂九州也。於是有所裨海環之。索隱曰、裨音脾。裨海小海也。九州之外更有大瀛海。故知此裨是小海也。且將有裨將亦是小海也。人民禽獸莫能相通者。如一區中者。

始也。蓋平ハ、方苞曰、始ハ汎濫ニシテ、端蓋ナキノ阿カスナリ、以テ人徳ヲ動かサシテ、以テミ、錢大所曰、朱墨ノ説非アリ、上下ノ文義ヲ詳カニスルニ、行ノ要スルニ仁義節ニ歸スルノミト謂フニ似タリ、荀卿相如何云、相如虛ニシテ、多シト雖モ、然ニ其要隨之ヲ節儉ニ引クト、詔意正ニ相類ス。

懼然顯化ハ錢大所曰、懼ハ即懼字ト、顯然ハ側行無席、札記、亦拂ナリ、二作ル、蓋モ亦拂ナリ。

授與仲尼菜色禮祭云云ハ、董份曰、此節、禮記セケルルヲ故シ、其禮能ク列國諸侯ノ動かカシ孔孟ノ困厄、向シカラザルヲ言フ、然レニ孔

之、此ハ爲ザルナリ、故ニ又伯夷、梁、惠ノ故ニ引キ、孔孟困厄ト雖モ、而モ世ニ阿リ、荀卿レテ、以テ禮ヲ取ルルヲ言フ、以テ見ルハス、其論甚正シ。

持方柄欲内圓塞ハ、柄ハ方柄、塞ニスル物ナリ、蓋ハ六ノ、四角ノ木、柄孔以テ、圓ヲ入レントセバ、圓塞シテ入ラザルヲ謂フ、牛車下、札記、牛車ニ作ル。

魯亦有牛鼎之憲乎ハ、魯惟魯曰、牛鼎ノ説、伊尹求メズ、即上支伊尹五鼎百里奚伊尹ノ説、若シシテ、飯ノ、蓋、若ク此、牛車、牛車鼎ノ類ト爲ス、之ヲ蓋ナリ、案、禮非ナリ、自如禮行云云、札記云、自如禮行云云ニ作ル、後人如字、淳于堯、禮人ノ、二、移ス、文義ヲ成サス。

乃爲一州。如此者九。乃有大瀛海環其外。天地之際焉。其術皆此類也。然要其歸。必止乎仁義節儉君臣上下六親之施。始也濫耳。索隱曰。濫即濫觴。是江原之初。始此文意以濫爲初也。謂行之術言君臣上下六親之際。行事之所施所治。皆可以爲後代之宗本。故云濫耳。王公大人初見其術。懼然顧化。索隱曰。懼音動。謂行之術皆動人心。見者莫不懼然駐想。又內心雷願而已化之欲。從其術也。化者是異常聞而異也。其後不能行之。是以騶子重於齊。適梁。惠王郊迎。執賓主之禮。適趙。平原君側行。徹席。索隱曰。按字林云。徹音疋。結反。韋昭音敷。茂反。張揖三蒼訓詁云。徹。拂也。謂側行而衣徹席爲敬。不取正坐當賓主之禮也。如燕。昭王擁彗先驅。索隱曰。彗帚也。謂爲之掃地。以衣袂擁帚爲敬。不而卻行。恐塵埃之及長者。所以爲敬也。請列弟子之座。而受業。築碣石宮。正義曰。碣石宮在幽州。碣縣西三十里。寒臺之東。身親往師之作主運。索隱曰。劉向別錄云。荀子書有主運篇。其游諸侯。見尊禮。如此豈與仲尼菜色陳蔡。孟軻困於齊。梁同乎哉。索隱曰。仲尼孟子法先王之道。行仁義之化。且菜色困窮。而卻行執詭。梁感諸侯。其見禮重。如此可爲。

長太息哉。故武王以仁義伐紂。而王。伯夷餓不食。周粟。衛靈公問陳。而孔子不答。梁惠王謀欲攻趙。孟軻稱太王去邠。索隱曰。孟子大王去邠是軻對滕文公語。今云梁惠王謀攻趙與孟子不同。此豈有意阿世俗苟合而已哉。持方柄欲內圓鑿。其能入乎。索隱曰。方柄是筓也。圓鑿其孔也。謂工人斲木以方筓而內之。圓孔不可入也。故楚詞云。以方柄而納圓鑿者。吾知其鉅。鉅而不入也。謂戰國時仲尼孟軻以仁義于世。猶方柄圓鑿然也。或曰。伊尹負鼎而勉湯。以王。百里奚飢牛車下。而繆公用。霸作先合。然後引之大道。騶衍其言雖不軌。儻亦有牛鼎之意乎。索隱曰。呂氏春秋云。滷牛之鼎。不可以烹雞。是其有牛鼎也。言行之術。近大儻者大用之。是有牛鼎之意。而繆周亦云。觀太史公此論。是愛奇之甚矣。自騶衍與齊之稷下先生。如淳于髡。慎到。環淵。接子。田駢。淳于髡。田駢。皆齊人。名。爽之徒。索隱曰。按稷齊之城門也。或云稷山名。謂齊之學士集於稷門之下也。環淵接子。時處士。接子二篇。田子二十五篇。齊人游稷下。各著書。言治亂之事。以干世號。天口。接田二人道家。騶爽十二篇。陰陽家。

主豈可勝道哉。

皆嬰不及也、札記管嬰
二作少、云禮本嬰二嬰

莞曰固也云云ハ、王蓋
日、淳于莞、梁王ノ志
ヲ知ル、是左右ニ探取
シテ之ヲ知ル、故ニ特
ニ以テ王ヲ動かシ、其
説ヲ信セシムト欲スル
也。

淳于髡齊人也。博聞彊記。學無所主。其諫說慕晏嬰之爲人也。然而承意觀色爲務。客有見髡於梁。惠王屏左右。獨坐而再見之。終無言也。惠王怪之。以讓客。曰：子之稱淳于先生。管嬰不及。及見寡人。寡人未有得也。豈寡人不足爲言邪。何故哉。客以謂髡。髡曰：固也。吾前見王。王志在驅逐。後復見王。王志在晉聲。吾是以默然。客具以報王。王大駭曰：嗟乎。淳于先生誠聖人也。前淳于先生之來。人有獻善馬者。寡人未及視。會先生至。後先生之來。人有獻謳者。未及試。亦會先生來。寡人雖屏人。然私心在彼。有之。案隱曰。謂私心實在彼馬與謳也。有之。謂我實有此二事也。後淳于髡見。壹語連三日三

夜無倦。惠王欲以卿相位待之。髡因謝去。於是送以安車駑駘。束帛加璧黃金百鎰。終身不仕。

慎到趙人。田駢接子齊人。環淵楚人。皆學黃老道德之術。因發明序其指意。故慎到著十二論。徐廣曰。今慎子刻向所定有四十一篇。環淵著上下篇。

而田駢接子皆有所論焉。

騶奭者齊諸騶子。亦頗采騶衍之術以紀文。於是齊王嘉之。自如淳于髡以下。皆命曰列大夫。爲開第康莊之衢。爾雅曰。四達謂之衢。五達謂之康。六

達謂之莊。高門大屋尊寵之。覽天下諸侯賓客。言齊能致天下賢士也。

荀卿趙人。索隱曰。名況。卿者。時人相尊而號爲卿也。仕齊爲祭酒。仕楚爲蘭陵令。後亦謂之孫卿子者。避漢宣帝之諱也。年五十始來。

矢穀過注法蓋過則器
器名。札記則過器器名
二作。云各本過錯。下
則上二在。今乙正。六
按スルニ。說文。齊。香
ナ盛ル器。禮。過。若
シ。廣。過。作。過。若
ハ乃復倍字。

齊尚脩列大夫之飲ハ、
即上文ノ泣子亮ヨリ以
下ノ列大夫ナリ。襄王
ノ時。其缺員アリシ
ハ。尚脩ク之ヲ修メ。而
荀卿ヲ以テ大夫ト爲セ
シナリ。

堅白同異之辯ハ、
白之論云。黃所以爲堅也。白所以爲利也。或辯之曰。白所以爲不堅
白ナリ。白ハ利也。如
キナリ。堅ク執也。其
說ナシトシ。固ク之ヲ
守ルナリ。固ク之ヲ
守ルナリ。固ク之ヲ
守ルナリ。固ク之ヲ

阿之吁子。注索隱音字
ハ、札記云。阿之吁字。
本ト呼ニ作。故索
隱音字。阿古音阿ナリ。
呼即平ノ音字。玉璫ニ
見。

游學於齊。馳衍之術迂大而閎辯。爽也文具難施。淳于髡久與
處。時有得善言。故齊人頌曰。談天衍。雕龍奭。炙穀過髡。徐廣曰。炙穀一作龍。
劉向別錄曰。騶衍之所言。五德終始。天地廣大。番言天事。故曰談天。騶奭修衍之文飾。若雕
鏤龍文。故曰雕龍。別錄曰。過字作輟。輟者。車之盛器也。炙之雖盡。猶有餘流者。言淳于髡智
不盡如炙輟也。左思齊都賦注曰。言其多智難盡。如脂膏過之有潤澤也。○索隱曰。劉氏云。穀
衍字也。今按文稱炙穀過。則是器名。音如字。謂盛脂之器名。過與鍋字相近。蓋即脂器也。穀
即車穀。過爲潤穀之。
物。則穀非衍字明矣。田駢之屬皆已死。齊襄王時。索隱曰。襄王名法章。沿王子。莒人所立者。而

荀卿最爲老師。齊尚脩列大夫之缺。而荀卿三爲祭酒焉。索隱曰。禮

食必祭先。飲酒亦然。必以席中之尊者一人當祭耳。後因以爲官名。故吳王濞爲劉氏祭酒是
也。而卿三爲祭酒者。謂荀卿出入前後三度。處列大夫康莊之位。而者爲其所尊。故云三爲祭
酒。齊人或讒荀卿。荀卿乃適楚。而春申君以爲蘭陵令。正義曰。蘭陵縣屬東

海郡。今沂州承
縣有蘭陵山。春申君死。而荀卿廢。因家蘭陵。李斯嘗爲弟子。已而
相秦。荀卿嫉濁世之政。亡國亂君相屬。不遂大道。而營於巫祝。

1110

信。祿祥鄙儒。小拘如莊周等。又猾稽亂俗。於是推儒墨道德之
行事興壞。序列著數萬言。而卒。因葬蘭陵。而趙亦有公孫龍爲
堅白同異之辯。晉太康地記云。汝南西平縣有龍淵水。可用淬刃劍。特堅利。故有堅
黃所以爲不利。○索隱曰。龍即仲尼弟子也。此云趙人。弟子傳作衛人。鄭玄云。楚人各不能知
其真。又下文云。並孔子同時。或云在其後。所以知非別人也。○正義曰。藝文志。公孫龍子十四
篇。顏師古云。卽爲堅白之辯。按平原君傳。騶衍同時。徐廣曰。按應劭氏姓注。
括地志云。西平縣。豫州西北百四十里有龍淵水也。劇子之言。直云。劇子也。○索隱曰。
莠番之人。姓劇氏。而稱子也。前史不記其名。故趙有劇孟及劇辛也。魏有李悝。盡地力之教。正義曰。藝文志。李悝
富國。楚有尸子。長盧。劉向別錄曰。楚有尸子。疑謂其在蜀。今案尸子書。晉人也。名侯
也。商君被刑。使恐并誅。乃亡逃入蜀。自爲造此二十篇書。凡六萬餘言。卒。阿之吁子焉。
因非蜀。○索隱曰。尸子名侯。音絞。長盧未詳。○正義曰。長盧九篇楚人。
徐廣曰。阿者今之東阿。○索隱曰。吁音芋。別錄作芋子。今呼亦如字。○正義曰。按東齊州也。藝
文志云。吁子十八篇。名嬰。齊人。七十子之後。顏師古云。音頭。按是齊人。阿又屬齊。恐顏公誤也。
自如。孟子至于吁子。世多有其書。故不論其傳。云蓋墨翟。宋之

爲節用生於節用見下、札記公輸般墨子解、得、公輸般九、說、攻、城、之、機、墨、子、九、節、之、二、十、八、字、下、則、下、文、索、隱、墨、子、解、帶、說、始、明、瞭、ナリ。

大夫善守禦爲節用

墨子曰公輸般爲雲梯之械成將以攻宋墨子聞之至于郢知所以距子矣吾不言墨子亦曰吾知子之所以距我者吾不言楚王問其故墨子曰公輸般之意不過欲殺臣殺臣宋莫能守可攻也然臣之弟子禽滑釐等三百人已持臣守圍之器在宋城上而待楚寇矣雖殺臣不能絕也楚王曰善哉吾請無攻宋城矣○索隱曰公輸般爲雲梯之械者按梯構木瞰高也雲者言其昇高入雲故曰雲梯械者器也謂攻城之樓櫓也與器械同墨子解帶爲城者謂墨子所術解身上革帶以爲城也以牒爲械者牒小木札也械者樓櫓等公輸般之攻城盡者劉氏云械謂飛梯擡車飛石車弩之具也謂音屈謂般技已盡墨守有餘滑釐者墨子弟或曰竝孔子時或曰在其後

索隱曰按別錄云墨子書有文子文子子夏之弟子問於

墨子如此則墨子者在七十子之後也

索隱述贊曰六國之末戰勝相雄軻游齊魏其說不通退而著述稱善道窮爾陵事楚陽衍談空康莊雖列莫見收功

蘇子古史曰孟子生戰國知仁義可以化服強暴游說諸侯諄諄之言冀或信而諸侯習其鄙詐莫以爲然孟子之言非苟爲大也不深原其意詳其實未有不以爲迂者不嗜殺人者能一之由孟子以來漢高帝光武唐太宗藝祖皇帝四君孟子之言豈偶然哉性有習習有美惡譬之火能熱能焚孟子謂之善火能熱者荀卿謂惡火能焚者荀之失遠矣

黃震曰太史公之傳孟子首學不言利之對歎息以先之然後爲之傳而傳自受業子思之外復無他語惟詳述一時富國強兵之流與騶衍迂怪不可究詰以取重當世之說形孟子之守道不變與仲尼榮色陳蔡者同科奇哉遷之文章哉遷之識哉孟傳中

韓於老莊之後者所以讓老莊而傳淳子死諸子於孟荀之閒者所以長孟荀也荀卿年五十始自趙學于齊三爲齊祭酒後爲楚蘭陵令春申君死而卿廢卒死於蘭陵非焉嫉世之濁而鄙儒小拘如莊周等又猾稽亂俗於是著書數萬言此亦能守道不變者故太史公進之與孟子等

凌約言曰太史公略敘孟子遊說不遇退而著書即開說當時餘子之紛紛然後結以荀卿之尊孔子明王道及其名傳獨以孟荀而餘子不與焉其布置之高旨意之深文詞之潔卓乎不可尙矣

柯維騏曰荀卿著書既嘗孟子子思又以堯舜爲僞人性爲惡此其學術弗醇不得與孟子並也太史公序傳雖舉並論然其傳中所敘推尊孟子與孔子同而斷其異於談說之阿世取榮者至彼荀卿乃以繼於談說之士之後且抑之曰齊襄王時荀卿最爲老師則孟荀優劣較然矣唐韓愈氏作進學解並稱二儒優入聖域非定論也

蘇子古史不嗜殺人一句ハ、或曰、宜ク四君ノ下ニ移スベシ。

史記評林卷之七十四終

史記評林卷之七十五

孟嘗君列傳第十五

孟嘗君名文。姓田氏。文之父曰靖郭君田嬰。田嬰者齊威王少子。而齊宣王庶弟也。

索隱曰：戰國策及諸書並無此言。蓋諸田之別子也。故戰國策每稱嬰子盼子。高誘注云：田盼田嬰也。王劭又按戰國策云：齊貌辯謂宣王曰：王方為太子時，辯謂靖郭君不若廢太子更立郊師。靖郭君不忍，宣王太息曰：寡人少，殊不知以此言之，嬰非宣王弟明也。田嬰自威王

時任職用事，與成侯鄒忌及田忌將而救韓，伐魏。成侯與田忌

爭寵，成侯賣田忌，田忌懼，襲齊之邊邑，不勝，亡走會。威王卒，宣

王立，知成侯賣田忌，乃復召田忌，以為將。宣王二年，田忌與孫

臧田嬰俱伐魏，敗之馬陵。虜魏太子申，而殺魏將龐涓。

索隱曰：紀年當梁惠

成侯與田忌爭寵云云，
說者注曰：此嬰下忌下
同，夕將タルニ其ア、故
ニ并テ忌ノ事ヲ取テ、

田嬰將龐涓注案歷三十
一年、札記三十六年三

作ル、云フ魏世家及ヒ
索隱引ク所ノ紀年ニ據
テ改ム。
東阿南注正義齊州、札
記濟州ニ作ル、云フ考
訂唐志ニ據テ改ム。

王二十八年。至三十一年。改爲後元也。宣王七年。田嬰使於韓魏。韓魏服於齊。嬰與韓

昭侯魏惠王會齊。宣王東阿南。正義曰。東阿。齊州縣也。盟而去。索隱曰。紀年當惠王

阿又云。十三年會齊威王于甄。與此明年齊宣王與梁惠王會甄文同。但齊之威宣二王文外互不同也。明年復與梁惠王會甄。

是歲梁惠王卒。宣王九年。田嬰相齊。齊宣王與魏襄王會徐州而相王也。正義曰。紀年云。梁惠王三十

敗齊師於徐州。而使人逐田嬰。田嬰使張丑說楚威王。威王乃

止。田嬰相齊十一年。宣王卒。湣王卽位。卽位三年而封田嬰於

薛。索隱曰。紀年以爲梁惠王後元十三年四月齊威王封田嬰于薛。十月齊城薛。十四年薛

子嬰來朝。十五年齊威王薨。嬰初封彭城。皆與此文異。○正義曰。薛故城在今徐州滕縣

南四十里也。初田嬰有子四十餘人。其賤妾有子名文。文以五月五日

生。嬰告其母曰。勿舉也。其母竊舉生之。索隱曰。上舉謂初誕而舉之下

勿舉也其母竊舉生之
ハ。按釋曰。二舉字

異義ナシ、沿シテ之ヲ
乳ナルルガ長養スト解
キ字必之ヲ長養スト解
セズ。下句及長字ト相
照ハル。生ハ之ヲ殺サ
ザルヲ謂フナリ。

誰能至者ハ、其戸ト齊
シキニ語ラザルナリ。

士不得短褐、索隱短亦
音豎。札記云。此ニ據レ

及長其母因兄弟而見其子文於田嬰。田嬰怒其母曰。吾令若
去此子而敢生之。何也。文頓首因曰。君所以不舉五月子者何
故。嬰曰。五月子者長與戶齊。將不利其父母。索隱曰。風俗通云。俗說五
也。文曰。人生受命於天乎。將受命於戶邪。嬰默然。文曰。必受命
於天。君何憂焉。必受命於戶。則高其戶耳。誰能至者。嬰曰。子休
矣。久之。文承間問其父嬰曰。子之子爲何。曰。爲孫。孫之孫爲何。
曰。爲玄孫。玄孫之孫爲何。曰。不能知也。伏後說所不知
索隱曰。爾雅云。玄孫之子爲來。來
之子爲雲。又有耳孫亦孫之子爲昆。昆孫之子爲仍。仍孫
是玄孫之子不同也。文曰。君用事相齊。至今三王矣。齊不加廣。而君
私家富累萬金。門下不見一賢者。文聞將門必有將。相門必有
相。今君後宮蹈綺縠。而士不得短褐。索隱曰。短亦音豎。豎褐謂褐衣
而豎裁之以其省而便事也。僕妾

ハ、禮ノ禮トト祖ニ作
祖ハ、故ニ香堂ナリト
祖ハ、故ニ香堂ナリト、楊ハ、
布ナリト。
道有不知何人ハ、黃谷
曰、前ニ玄孫ノ孫何ト
爲メ、中間ヲ知ル能
カシト也ト曰フニ、因
テ、故ニ此知ル能ハザル
子孫ニ遺ルカ、百フ
ニ、索隱曰。

合衆厚遇之ハ、索隱ノ
語從フヤシ。
無實陸一與文帝ハ、禮
曰云、御覽四百七十五、
引テ、文ヲ之ニ作ル、
志云、當ニ之ニ作ル、
シ、文帝立ノ下、實孟
嘗君ト稱シ、文ト稱セ
ズ、之字食客ヲ指シテ
言フ。

木偶人異木偶人云云、
注、索隱木偶ハ孟嘗君ニ
比スルノミ、木偶ナリ
テ、溼陽君ニ比スルハ、
未ダ必然ナズ。

餘梁肉。而士不厭糟糠。今君又尚厚積餘藏。欲以遺所不知何人。索隱曰。遺音唯季反。猶言不知欲遺與何人也。而忘公家之事。日損文竊怪之。於是嬰乃禮文使主家待賓客。賓客日進。名聲聞於諸侯。諸侯皆使人請薛公田嬰。以文爲太子。嬰許之。嬰卒。諡爲靖郭君。皇覽曰。靖郭君家在南。○索隱曰。諡爲靖郭君者。謂死後別號之曰靖郭耳。則靖郭或封邑號。故漢齊王舅父駟鈞封靖郭侯是也。陳音。鄒亦音。陳者城隅也。而文果代立於薛。是爲孟嘗君。孟嘗君在薛。招致諸侯賓客。及亡人有罪者。皆歸孟嘗君。孟嘗君舍業厚遇之。索隱曰。舍業者。捨弃其家產業。而厚事賓客也。劉氏云。舍音赦。謂爲之築舍立居業也。以故傾天下之士。食客數千人。無貴賤一與文等。孟嘗君待客坐語。而屏風後常有侍史。主記君所與客語。問親戚居處。客去。孟嘗君已使使存問。獻遺其親戚。孟嘗君曾待客夜食。有一人

一五六

蔽火光。客怒以飯不等。輟食辭去。孟嘗君起自持其飯比之。客慙自到。士以此多歸孟嘗君。孟嘗君客無所擇。皆善遇之。人人各自以爲孟嘗君親已。秦昭王聞其賢。乃先使涇陽君爲質於齊。以求見孟嘗君。孟嘗君將入秦。賓客莫欲其行。諫不聽。蘇代謂曰。今日代從外來。見木偶人與木偶人相與語。索隱曰。木偶遇。謂於人也。蘇代以木偶比。溼陽君。木偶比孟嘗君。木偶人曰。天雨。子將敗矣。木偶人曰。我生於土。敗則歸土。今天雨流子而行。未知所止息也。今秦虎狼之國也。而君欲往。如有不得還。君得無爲木偶人所笑乎。孟嘗君乃止。齊湣王二十五年。復卒。使孟嘗君入秦。昭王卽以孟嘗君爲秦相。人或說秦昭王曰。孟嘗君賢。而又齊族也。今相秦。必先齊。而

更對傳變名姓ハ、昔川
狀圖曰、封傳ハ、蓋關
二五ノ閉之ヲ封フ
關二五ノ閉之ヲ封フ
ナリ。

後秦秦其危矣於是秦昭王乃止囚孟嘗君謀欲殺之孟嘗君使人抵昭王幸姬求解索隱曰抵晉丁禮反按抵謂觸冒而求之也幸姬曰妾願得君狐白裘章昭曰以狐之白毛爲裘謂集狐腋之毛言美而難得者此時孟嘗君有一狐白裘直千金天下無雙入秦獻之昭王更無他裘孟嘗君患之徧問客莫能對最下坐有能爲狗盜者曰臣能得狐白裘乃夜爲狗以入秦宮藏中正義曰藏取所獻狐白裘至以獻秦王幸姬爲言昭王昭王釋孟嘗君孟嘗君得出即馳去更封傳變名姓以出關索隱曰更改也改前封傳而易姓名不言是孟嘗君封傳今之驛券也夜半至函谷關正義曰關在陝州桃林縣西南十三里秦昭王後悔出孟嘗君求之已去即使人馳傳逐之孟嘗君至關關法雞鳴而出客孟嘗君恐追至客之居下坐者有能爲雞鳴而雞盡

齊滑王不自得ハ、蓋份
曰、已レ之ヲ道リ、蓋份
ニ下ニ安ンセザルヲ故
ニ自ヲ安ンセザルヲ百
ヲノミ、注釋ル。

鳴遂發傳出出如食頃秦追果至關已後孟嘗君出乃還始孟嘗君列此二人於賓客賓客盡羞之及孟嘗君有秦難卒此二人拔之自是之後客皆服孟嘗君過趙趙平原君客之趙人聞孟嘗君賢出觀之皆笑曰始以薛公爲魁然也今視之乃眇小丈夫耳孟嘗君聞之怒客與俱者下斫擊殺數百人遂滅一縣以去齊滑王不自得以其遣孟嘗君索隱曰得一作德是滑王遣孟嘗君自言已無德故也孟嘗君至則以爲齊相任政孟嘗君怨秦將以齊爲韓魏攻楚因與韓魏攻秦徐廣曰牟表云韓魏齊共擊秦軍於函谷而借兵食於西周蘇代爲西周謂曰索隱曰戰國策作韓君以齊爲韓魏攻楚九年取宛葉以北以彊韓魏正義曰宛在鄧州葉在許州二縣今復攻秦以益之韓魏南無楚憂西

楚王割東國以與齊、注齊、當二楚二作也、

韓魏與秦、札記云、韓魏二字誤、策二韓入秦二作也、是ナリ。

無秦患則齊危矣。韓魏必輕齊，畏秦。臣爲君危之。君不如令弊邑西國深合於秦。而君無攻。又無借兵食。君臨函谷而無攻。令弊邑以君之情，謂秦昭王曰：薛公必不破秦，以彊韓魏。其攻秦也，欲王之令楚王割東國以與齊。正義曰：東國齊徐夷。而秦出楚懷王以爲和。君令弊邑以此惠秦。秦得無破而以東國自免也。秦必欲之。楚王得出。必德齊。齊得東國益彊，而薛世世無患矣。秦不大弱而處三晉之西，三晉必重齊。薛公曰：善。因令韓魏賀秦，使三國無攻而不借兵食於西周矣。是時楚懷王入秦，秦留之。故欲必出之。秦不果出，楚懷王孟嘗君相齊。其舍人魏子爲孟嘗君收邑入。索隱曰：舍人官徵記姓而略其名。故云魏子收謂收其國之租稅。三反而不致一入。孟嘗君問之，對曰：有

乃奔魏子所與齊者聞之、札記云、御覽四百三十六引之、乃奔魏前有齊家於孟嘗之賢不問之二作也、蓋是則不才、然ルニ之字當重ス、此本疑魏以身爲盟、皆川漢曰、盟疑不明、誤也。

且反齊王之信、皆川漢曰、反ハ初ニ復ス

賢者竊假與之，以故不致入。孟嘗君怒而退魏子，居數年。人或毀孟嘗君於齊，潛王曰：孟嘗君將爲亂。及田甲劫潛王，潛王意疑孟嘗君。孟嘗君乃奔。索隱曰：潛王三十年。田甲劫王薛文走。魏子所與粟賢者聞之，乃上書言。孟嘗君不作亂，請以身爲盟。遂自到宮門以明。孟嘗君、潛王乃驚而蹤跡驗問。孟嘗君果無反謀，乃復召孟嘗君。孟嘗君因謝病歸老於薛。潛王許之。其後秦亡，將呂禮相齊。欲困蘇代，代乃謂孟嘗君曰：周最於齊至厚也。正義曰：周最，周之公子。而齊王逐之而聽親弗。親弗，人姓名。○索隱曰：職國策作祝弗，蓋祝爲得之。相呂禮者欲取秦也。齊秦合則親弗與呂禮重矣。有用齊，秦必輕君。君不如急北兵趨趙，以和秦。魏收周最以厚行，且反齊王之信。索隱曰：周最本厚於齊，今欲逐之而相秦之亡，將蘇代謂孟嘗令齊收最。

以自厚其行。又且得反齊。又禁天下之變。索隱曰變謂齊秦合則親弗呂禮用則秦齊輕孟嘗也。齊無秦王之有信。以不逐周最也。則天下集。齊親弗必走。則齊王孰與為其國也。於是孟嘗君從其計。而呂禮嫉害於孟嘗君。孟嘗君懼。乃遺秦相穰侯魏冉書曰。吾聞秦欲以呂禮收齊。齊天下之疆國也。子必輕矣。齊秦相取。以臨三晉。呂禮必并相矣。是子通齊以重呂禮也。若齊免於天下之兵。其讎子必深矣。子不如勸秦王伐齊。齊破。吾請以所得封子。齊破。秦畏晉之彊。秦必重子。以取晉。晉國弊於齊。而畏秦。晉必重子。以取秦。是子破齊以為功。挾晉以為重。是子破齊定封。秦晉交重子。若齊不破。呂禮復用。子必大窮。於是穰侯言於秦昭王伐齊。而呂禮亡。後齊湣王滅。宋益驕。欲去孟嘗君。孟

二七五

中立為說侯ハ、札記中立於諸侯ニ作ル、云フ圖割於、各本為ニ誤ル。

初馮驩云云ハ、方苞曰馮驩ノ事國策ニ見ス、而ヲ謂ハ則異ナリ、蓋秦漢ノ間、戰國縱橫ヲ論スル者、一家ニ非ハ、史公録スル所ノ、今傳ノ國策ト異ナルヲ、
 孟嘗君十日ハ、札記云、
 傳舍三百四十六、別ハ、
 傳舍之傳舍五日作ヲ、
 疑フ今本脫誤ヲ。

嘗君恐。乃如魏。魏昭王以為相。西合於秦趙。與燕共伐破齊。齊湣王亡。在莒。遂死焉。齊襄王立。而孟嘗君中立。為諸侯無所屬。齊襄王新立。畏孟嘗君。與連和。復親薛公。文卒。諡為孟嘗君。皇覽曰孟嘗君冢在魯國薛城中向門東。向門出北邊門也。詩云居常與許。鄭玄曰常或作嘗。在薛之南。孟嘗邑子薛城。○索隱曰孟嘗襲父封薛。而號曰孟嘗君。此云諡。非也。孟字嘗。邑名嘗。邑在薛之旁。○正義曰括地志云孟嘗君墓在徐州滕縣五十二里。卒在齊襄王之時也。諸子爭立。而齊魏共滅薛。孟嘗絕嗣。無後也。孟嘗君好客。驩音歡。復作。驩音許。哀反。躡。屬。而見之。索隱曰驩音躡。字亦作驩。又作僑。孟嘗君曰。先生遠辱。何以教文也。馮驩曰。聞君好士。以貧身歸於君。孟嘗君置傳舍十日。索隱曰傳音逐。緣反。按傳舍幸舍及代舍。並當上中下三等之客所舍之。孟嘗君問。傳舍長曰。客何所為。答曰。馮先生甚貧。猶有一劍耳。又蒯緤。蒯音苦。怪反。茅之類。可為繩。言其劍把無物可裝。以小繩纏之也。緤音侯。亦作侯。謂把劍之處。○索隱曰蒯草名。音蒯。賸之蒯。緤謂把劍之物。言其劍無

曰ハ、各本歌ニ作
ル。歸來乎ノ乎、御覽
引テ乎ニ作ル。下同シ。

歲餘不入ハ、皆川渠園
日、歲因ニシテ其租ヲ
入レザルナリ。

長者無他技能ハ、長者
カレドモ、他ノ技能ヲ
キナリ。

由是時於薛ハ、札云云
游主本、出テ食ニ作ル。

爲民之無者、以爲本業
也。札云云、者字疑フ
所ナラフ、下爲無以奉
各也ト云フ、兩無字相
對スルヲ以テ、本業ト
爲ス、則氏ノ以テ本業ト
爲ス、則氏ノ以テ、讀
ムハ、

物可裝。但以副繩。彈其劍而謂曰。長鈇歸來乎。食無魚。孟嘗君遷之。幸舍。食有魚矣。五日。又問傳舍。長答曰。客復彈劍而歌曰。長鈇歸來乎。出無輿。孟嘗君遷之。代舍。出入乘輿車矣。五日。孟嘗君復問傳舍。長舍長答曰。先生又嘗彈劍而歌曰。長鈇歸來乎。無以爲家。孟嘗君不悅。居葦年。馮驩無所言。孟嘗君時相齊。封萬戶於薛。其食客三千人。邑入不足。以奉客。正義曰。奉符用反。使人出錢於薛。歲餘不入。貸錢者多。不能與其息。索隱曰。與猶還也。息猶利也。客奉將不給。孟嘗君憂之。問左右何人可使收債於薛者。傳舍長曰。代舍客馮公。形容狀貌甚辯。長者無他技能。伎亦作技。宜可令收債。孟嘗君乃進馮驩。而請之曰。賓客不知文不肖。幸臨文者三千餘人。邑入

不足。以奉賓客。故出息錢於薛。薛歲不入。民頗不與其息。今客食恐不給。願先生責之。馮驩曰。諾。辭行至薛。召取孟嘗君錢者。皆會。得息錢十萬。乃多釀酒。買肥牛。召諸取錢者。能與息者皆來。不能與息者亦來。皆持取錢之券書合之。齊爲會日。殺牛置酒。酒酣。乃持券如前合之。能與息者與爲期。貧不能與息者。取其券而燒之。曰。孟嘗君所以貸錢者。爲民之無者。以爲本業也。所以求息者。爲無以奉客也。今富給者以要期。貧窮者燔券書以捐之。諸君彊飲食。有君如此。豈可負哉。坐者皆起。再拜。孟嘗君聞馮驩燒券書。怒而使使召馮驩。馮至。孟嘗君曰。文食客三千人。故貸錢於薛。文奉邑少。索隱曰。言文之奉邑少。故令出息於薛也。而民尚多。不以時與

其息客食恐不足故請先生收責之聞先生得錢即以多具牛酒而燒券書何馮驩曰然不多具牛酒即不能畢會無以知其有餘不足有餘者為要期不足者雖守而責之十年息愈多急即以逃亡自捐之若急終無以償上則為君好利不愛士民下則有離上抵負之名非所以厲士民彰君聲也焚無用虛債之券捐不可得之虛計令薛民親君而彰君之善聲也君有何疑焉孟嘗君乃拊手而謝之齊王惑於秦楚之毀以為孟嘗君名高其主而擅齊國之權遂廢孟嘗君諸客見孟嘗君廢皆去馮驩曰借臣車一乘可以入秦者必令君重於國而奉邑益廣可乎孟嘗君乃約車幣而遣之馮驩乃西說秦王曰天下之游士

孟嘗君乃拊手而謝之
馮驩曰戰國策云
西秦薛之傲券於齊
相免之國二薛就
民老扶幼於里
以迎之太史公載
之始末於公載
之

憑軾結鞞、賦、取、前
二在ル、模、木、ナリ、初、
牛ノ脚ニ當ル事ナリ、
勢不兩立、雄雌者、云、
札紀云、雄雌顯字明、
引ク曰、爲雄二字下、
屬シ、雄字、衍スト。

憑軾結鞞。西入秦者無不欲彊秦而弱齊。憑軾結鞞。東入齊者無不欲彊齊而弱秦。此雄雌之國也。勢不兩立。爲雄雌者得天下矣。秦王踞而問之曰。何以使秦無爲雌而可。馮驩曰。王亦知齊之廢孟嘗君乎。秦王曰。聞之。馮驩曰。使齊重於天下者。孟嘗君也。今齊王以毀廢之。其心怨。必背齊。背齊入秦。則齊國之情。人事之誠。盡委之秦。齊地可得也。豈直爲雄也。君急使使載幣。陰迎孟嘗君。不可失時也。如有齊覺悟。復用孟嘗君。則雌雄之所在。未可知也。秦王大喜。乃遣車十乘。黃金百鎰。以迎孟嘗君。馮驩辭以先行。至齊。說齊王曰。天下之游士。憑軾結鞞。東入齊者。無不欲彊齊而弱秦者。憑軾結鞞。西入秦者。無不欲彊秦而

弱齊者。夫秦齊雄雌之國。秦彊則齊弱矣。此勢不兩雄。今臣竊聞秦遣使車十乘載黃金百鎰以迎孟嘗君。孟嘗君不西則已。西入相秦。則天下歸之。秦爲雄而齊爲雌。雌則臨淄卽墨危矣。王何不先秦使之未到。復孟嘗君而益與之邑以謝之。孟嘗君必喜而受之。秦雖彊國豈可以請人相而迎之哉。折秦之謀而絕其霸彊之略。齊王曰善。乃使人至境候秦使。秦使車適入齊境。使還馳告之。王召孟嘗君而復其相位。而與其故邑之地。又益以千戶。秦之使者聞孟嘗君復相齊。還車而去矣。自齊王毀廢孟嘗君。諸客皆去。復召而復之。馮驩迎之。未到。孟嘗君太息歎曰。文常好客。遇客無所敢失。食客三千有餘人。先生所知也。

乃使人至境候秦使ハ、
董份曰、王未ダ馮驩ヲ
召テ信セズ、其找ヲ驗
セント欲スルナリ。

君獨不見夫朝趨市者乎、
乎、杜絕趨市者、
注、秦隱曰趨市者、
ソテ、各本趨市者、
志云、當趨市朝者、
ルベシ、下文通市朝者、
正此文、承ク、索隱
本曰二趨入ト。

孟嘗君再拜曰敬從命矣、
ハ、敬之敬曰、傳末復

客見文一日廢皆背文而去。莫顧文者。今賴先生得復其位。客亦有何面目復見文乎。如復見文者必唾其面而大辱之。馮驩結轡下拜。孟嘗君下車接之曰。先生爲客謝乎。馮驩曰。非爲客謝也。爲君之言失。夫物有必至。事有固然。君知之乎。孟嘗君曰。愚不知所謂也。曰。生者必有死。物之必至也。富貴多士。貧賤寡友。事之固然也。君獨不見夫朝趨市者乎。索隱曰趨音葵。趨向也。又音趨。明日側肩爭門而入。日暮之後。過市朝者掉臂而不顧。索隱曰過光臥反。朝音潮。言市之行。列有物利入。平明側肩爭門而入。至日暮所期忘其中忘者無也。其中市朝之言。日暮物盡。故掉臂不顧也。今君失位。賓客皆去。不足以怨士。而徒絕賓客之路。願君遇客如故。孟嘗君再拜曰。敬從命矣。聞先

此一四字申之、孟嘗君
嘗一過スル故ノ如キヲ
見ル亦一例ナリ。

生之言敢不奉教焉。

太史公曰吾嘗過薛其俗閭里率多暴桀子弟與鄒魯殊問其故曰孟嘗君招致天下任俠姦人入薛中蓋六萬餘家矣世之傳孟嘗君好客自喜名不虛矣。

索隱述贊曰靖郭之子威王之孫既遷其國實高其門好客喜士見重平原雞鳴狗盜魏子馮媛如何承睫薛縣徒存。

蘇子古史曰戰國以詐力相侵伐二百餘年兵出未嘗有名秦昭王欺楚懷王而囚之要以割地諸侯孰視無敢以一言問秦者惟田文免相子秦幾不得脫歸而怨之乃借楚為名與韓魏伐秦兵至函谷秦人震恐割地以予韓魏僅乃得免自山東雖秦未有若此壯者也夫兵直為壯曲為老有名之兵誰能禦之使田文能奮其威則是役也齊可以伯惜其聽蘇代之計隨函谷而無攻以求楚東國而出師之名索然以譏東國既不可得而懷王卒死于秦由此觀之秦惟不遇桓文是以橫行而莫之制耳世豈有以大義而屈子不義者哉。

陳仁子曰客之稱四海一君之世無是也故在春秋時百里奚虞人也而客於秦苗賁皇楚人也而客於晉欒盈之去晉而客也為晉之憂子胥之去楚而客也為楚之患大抵皆客也淫淫至戰國談天雕龍蜂起泉湧猶空言爾儀秦以從橫為劍佩其禍生民何限哉而四公子之徒直以取數之多爭為雄長要其所得不過雞鳴狗盜之輩爾夫

二八二

何益乎大故乎誠使當時之客如孟氏焉在梁曰仁義在齊又曰仁義執善之正論以治天下則四公子之禮遇不為虛設其亦庶乎有補也而奈之何其不然也是以史遷於田文也斷之曰自喜夫固斥其為一己之私好非天下之公好焉耳然則客之為禍他日浸浸不已非田文之徒實漲其波而誰哉至若秦王之興以囊括四海包舉宇內之志非戰國爭立比也而猶曰逐客不知是客也將何歸乎是必如晉之范粲寢所乘車足不履地乃可良用一慨。

楊維禎曰秦聞田文賢而請于齊收天下之豪傑以屠之爾文信甘心以往獨不聞楚懷王之執乎位文以相其能容于國舅魏將軍乎文客以千計公孫弘稱可以致主伯王者五人未聞五人者為文計何也吾是以知文之客皆雞狗耳或曰文養雞狗終賴雞狗以脫死雞狗何負于文哉吁苟客有一人異于雞狗者則文何翅於脫死三國伐秦兵隨函谷師出有名秦人為之震恐割地求解是舉也楚因可出齊國可伯又信蘇代以罷兵客無一人異于雞犬者信矣。

史記評林卷之七十五終

史記評林卷之七十六

平原君虞卿列傳第十六

平原君趙勝者趙之諸公子也。

正義曰勝式證反徐廣曰魏公子傳曰趙惠文王弟

賢喜賓客賓客蓋至者數千人平原君相趙惠文王及孝成王

三去相三復位封於東武城

徐廣曰屬清河○正義曰今貝州武城縣也

平原君家樓臨民

家民家有甃者榮散行汲

散亦作𦉳○索隱曰上甃音𦉳散音先寒反亦作𦉳音同○正義曰甃汲也

平原君美

人居樓上臨見大笑之明日甃者至平原君門請曰臣聞君之

喜士士不遠千里而至者以君能貴士而賤妾也臣不幸有罷

瘥之病

徐廣曰瘥音隆瘥病也○索隱曰罷音皮瘥音呂宮反罷瘥背疾言腰曲而背瘥高也

而君之後宮臨而笑臣

榮散行汲榮散ハ亦甃
圓作𦉳汲行ノ觀ナ
リ○汲ハ足同類スルナ

初瘥之病札記罷瘥ニ
作ハ云フ毛本索以本

ト同ジ、各本廢ニ作ル。

便文能取勝則齊矣云云ハ、漢文ハ文辭言語ヲ取レバ則勝シ、若勝ツ能ハザレバ、勇力ヲ以テ

テ強シテ、從テ定メント言フ、此文武備具スル者ト勝ニスル所以ナリ。
前白贊於平原君ハ、贊ハ進ナリ、前漢書東方朔傳、朔自贊曰云云、類師古注ニ贊ハ進ナリ。

乃穎脫而出、穎ハ維摩ナリ、脫ハ進ナリ、穎脫ノ術、漢中ノ穎脱シテ、全ク出ヅル如シ、特ニ其末僅ニ見ルノミニ非ルヲ言フ。
相與目笑之而未發也、目笑ハ目笑、目之ヲ輕スルノ意、目ニ寛スルナリ、未發ハ、札記未廢ニ作ル、云フ

臣願得笑臣者頭。平原君笑。應曰。諾。蹇者去。平原君笑曰。觀此豎子。乃欲以一笑之故。殺吾美人。不亦甚乎。終不殺。居歲餘。賓客門下舍人稍稍引去者過半。平原君怪之。曰。勝所以待諸君者。未嘗敢失禮。而去者何多也。門下一人前對曰。以君之不殺笑蹇者。以君爲愛色而賤士。士即去耳。於是平原君乃斬笑蹇者。美人頭。自造門進。蹇者因謝焉。其後門下乃復稍稍來。是時齊有孟嘗。魏有信陵。楚有春申。故爭相傾以待士。徐廣曰。登一作得。秦之圍邯鄲。正義曰。趙惠文王九年。秦昭王十五年。趙使平原君求救。合從於楚。約與食客門下有勇力文武備具者二十人偕。平原君曰。使文能取勝。則善矣。文不能取勝。則敵血於華屋之下。必得定從。而還。士不外

索。取於食客門下足矣。得十九人。餘無可取者。無以滿二十人。門下有毛遂者。前自贊於平原君曰。遂聞君將合從於楚。約與食客門下二十人偕。不外索。今少一人。願君即以遂備員而行矣。平原君曰。先生處勝之門下。幾年於此矣。毛遂曰。三年於此矣。平原君曰。夫賢士之處世也。譬若錐之處囊中。其末立見。今先生處勝之門下。三年於此矣。左右未有所稱誦。勝未有所聞。是先生無所有也。先生不能。先生畱。毛遂曰。臣乃今日請處囊中耳。使遂蚤得處囊中。乃穎脫而出。索隱曰。鄭玄云。穎。環也。脫音吐活反。非特其末見而已。平原君竟與毛遂偕。十九人相與目笑之而未發也。索隱曰。發一作廢。鄭玄云。皆目視而輕笑之。未能即廢弃之也。毛遂比至楚。與十九人論議。十九人皆服。平

素隱本說。各本發二作
此。雜心云。未だ口。發
七。ザル。ヲ。謂。フ。ナリ。廢
ア。即。發。ノ。信。字。ナリ。

原君與楚合從。言其利害。日出而言之。日中不決。十九人謂毛遂曰。先生上。毛遂按劍。歷階而上。謂平原君曰。從之利害。兩言而決耳。今日出而言從。日中不決。何也。楚王謂平原君曰。客何為者也。平原君曰。是勝之舍人也。楚王叱曰。胡不下。吾乃與而君言。汝何為者也。毛遂按劍而前曰。王之所以叱遂者。以楚國之衆也。今十步之內。王不得恃楚國之衆也。王之命懸於遂手。吾君在前。叱者何也。且遂聞湯以七十里之地。王天下。文王以百里之壤。而臣諸侯。豈其士卒衆多哉。誠能據其勢。而奮其威。今楚地方五千里。持戟百萬。此霸王之資也。以楚之彊。天下弗能當。白起小豎子耳。率數萬之衆。與師以與楚戰。一戰而舉鄢

二八八

二八九

郢。再戰而燒夷陵。三戰而辱王之先人。此百世之怨。而趙之所羞。而王弗知惡焉。正義曰。惡。鳥故反。合從者為楚。非為趙也。吾君在前。叱者何也。楚王曰。唯唯。誠若先生之言。謹奉社稷。而以從。毛遂曰。從定乎。楚王曰。定矣。毛遂謂楚王之左右曰。取雞狗馬之血來。索隱曰。盟之所用。牲貴賤不同。天子用牛及馬。諸侯以犬及豕。大夫已下用雞。今此總言盟之用血。故云取雞狗馬之血來耳。音捺。若周禮。則用珠盤也。而跪進之。楚王曰。王當歃血而定從。次者吾君。次者遂。遂定從於殿上。毛遂左手持盤血。而右手招十九人曰。公相與歃此血於堂下。索隱曰。歌。音所甲反。公等錄錄。音祿。○索隱曰。音六。王劭云。錄。借字耳。又說文云。錄。錄隨從之貌也。所謂因人成事者也。平原君已定從而歸。歸至於趙。曰。勝不敢復相士。勝相士多者千人。寡者百數。自目為不失天下之士。今乃於毛先

公等錄錄。素隱曰。錄文
云。錄。錄隨從之貌也。
錄。大新曰。說文。錄。錄
二作。一。一。國從。ナリ。
故。二。王。劭。錄。ナリ。以。字。借。字
ト。爲。ス。札。記。云。廣。韻
ト。爲。引。ナリ。錄。二。作。〇。

九鼎大呂注崇隆天子
天下ノ天子

李向注正義太史公諱改
ハ、司馬遷ノ交名諱ナ
リ、故ニ遷之ヲ諱ア同
ト改ム。

生而失之也。毛先生一至楚而使趙重於九鼎大呂。索隱曰九鼎大呂國之寶

毛遂至楚使趙重於九鼎大呂謂爲天子所重也。正義曰大呂周廟大鐘。毛先生以三寸之舌彊於百萬之師。

勝不敢復相士遂以爲上客平原君既返趙楚使春申君將兵

赴救趙魏信陵君亦矯奪晉鄙軍往救趙皆未至秦急圍邯鄲

邯鄲急且降平原君甚患之邯鄲傳舍吏子李同正義曰名諱太史公諱改也。

平原君曰君不憂趙亡邪平原君曰趙亡則勝爲虜何爲不憂

乎李同曰邯鄲之民炊骨易子而食可謂急矣而君之後宮以

百數婢妾被綺縠餘粱肉而民褐衣不完糟糠不厭民困兵盡

或剡木爲矛矢而君器物鍾磬自若使秦破趙君安得有此使

二九〇

二九一

功而作家之所有盡散以饗士士方其危苦之時易德耳。正義曰

危苦之時易有恩德。於是平原君從之得敢死之士三千人李同遂與三千

人赴秦軍秦軍爲之卻三十里亦會楚魏救至秦兵遂罷邯鄲

復存李同戰死封其父爲李侯。徐廣曰河內城早有李城。正義曰懷州溫縣本李城也李同父所封隋煬帝從故溫城移縣

於此。虞卿欲以信陵君之存邯鄲爲平原君請封公孫龍聞之夜

駕見平原君曰龍聞虞卿欲以信陵君之存邯鄲爲君請封有

之乎平原君曰然龍曰此甚不可且王舉君而相趙者非以君

之智能爲趙國無有也割東武城而封君者非以君爲有功也

而以國人無勳乃以君爲親戚故也君受相印不辭無能割地

不言無功者亦自以爲親戚故也今信陵君存邯鄲而請封是

而以國人無勳ハ礼記
云此句誤アフ、疑
フ以字衍上句也字當
ニ此下ニ在ル、シ、
是親戚受城而國人計功
也ハ親戚ヲ以テハ故

二、功ナクシテ城ヲ
其功ノ有無ヲ計較シ
事成就右券以賣ハ、券
ナクハ左券ヲ券アリ
史ノ法令ナクシテニ與
ハ、法令ナクシテノ定
其相約ノ券ニシテ、
其相約ノ券ニシテ、
平原君厚待孫龍云云
ハ、方曰、平原君厚
フルニ著實進ノ士ヲ
以テス、因テ虞卿者皆
ト相映テ。

親戚受城。而國人計功也。徐廣曰一本是親戚受城而以國許人。此甚不可。且虞卿操

其兩權事。成操右券以責。索隱曰言虞卿論平原君取封事成則操其右券以責其報德也。事不成。以虛

名德。君君必勿聽也。平原君遂不聽虞卿。平原君以趙孝成王

十五年卒。索隱曰六國年表及世家並云十四年卒。與此不同。子孫代後竟與趙俱亡。平原君厚

待公孫龍。公孫龍善爲堅白之辯。及鄒衍過趙。索隱曰言至道乃過音戈。

絀公孫龍。劉向別錄曰齊使鄒衍過趙平原君見公孫龍及其徒蒧母子之屬論白馬非馬之辯以問鄒子鄒子曰不可彼天下之辯有五勝三至而辭正爲下辯者別殊類使不相害序異端使不相亂抒意通指明其所謂使人與知焉不務相迷也故勝者不失其所守不勝者得其所求若是故辯可爲也及至煩文以相假飾辭以相悖巧辯以相移引入聲使不得及其意如此害大道夫繳紛爭言而競後息不能無害君子坐皆稱善○索隱曰抒音豎抒者舒也繳音糾謂繳繞紛亂爭言而競後息不能無害也。

虞卿者游說之士也。躡蹻擔箠。徐廣曰躡草履也。箠長柄箠音登箠有柄者謂之箠○索隱曰躡音脚。說趙

孝成王。一見賜黃金百鎰。白璧一雙。再見爲趙上卿。故號爲虞

卿。譙周曰食邑於虞○索隱曰趙之虞在河東太陽縣今之虞卿縣是也。秦趙戰於長平。趙不勝。亡一都尉。

趙王召樓昌與虞卿曰。軍戰不勝。尉復死。徐廣曰復一作係。寡人使東甲

而趨之。何如。樓昌曰。無益也。不如發重使爲媾。古后反求和曰媾○索隱曰按媾亦講講

亦和也。虞卿曰。昌言媾者以爲不媾。軍必破也。而制媾者在秦。且

王之論秦也。欲破趙之軍乎。不邪。王曰。秦不遺餘力矣。必且欲

破趙軍。虞卿曰。王聽臣發使。出重寶以附楚魏。楚魏欲得王之

重寶。必內吾使。趙使入楚魏。秦必疑天下之合從。且必恐如此。

則媾乃可爲也。趙王不聽。與平陽君爲媾。發鄭朱入秦。秦內之。

趙王召虞卿曰。寡人使平陽君爲媾於秦。秦已內鄭朱矣。卿以爲奚如。虞卿對曰。王不得媾。軍必破矣。天下賀戰勝者皆在秦。

矣。鄭朱貴人也。入秦。秦王與應侯必顯重。以示天下。楚魏以趙為媾。必不救王。秦知天下不救王。則媾不可得成也。應侯果顯鄭朱。以示天下。賀戰勝者。終不肯媾。長平大敗。遂圍邯鄲。為天下笑。秦既解邯鄲圍。而趙王入朝。使趙郝約事於秦。郝音釋。徐廣曰。一作救。割六縣。而媾。虞卿謂趙王曰。秦之攻王也。倦而歸乎。王以其力尚能進。愛王而弗攻乎。王曰。秦之攻我也。不遺餘力矣。必以倦而歸也。虞卿曰。秦以其力攻其所不能取。倦而歸。王又以其力之所不能取。以送之。是助秦自攻也。來年秦復攻王。王無救矣。王以虞卿之言。告趙郝。趙郝曰。虞卿誠能盡秦力之所至乎。誠知秦力之所不能進。此彈丸之地。弗予。令秦來年復攻王。王得

二九四

解負親之攻。ハ、礼記云。胎胎圖策ヲ注シ、云フ。禮記テ秦ニ親ト而之ニ負ク、故ニ秦來リ攻ムト、意自明ナリ、索隱ト、因テ強ク之ヲ説ク為スナリ。

無割其內。而媾乎。王曰。請聽子割矣。子能必使來年秦之不復攻我乎。趙郝對曰。此非臣之所敢任也。他日三晉之交。於秦相善也。今秦善韓魏。而攻王。王之所以事秦。必不如韓魏也。今臣為足下解負親之攻。索隱曰。為足下解其負擔。而親自攻之也。開關通幣。齊交韓魏。至來年。而王獨取攻於秦。此王之所以事秦。必在韓魏之後也。此非臣之所敢任也。王以告虞卿。虞卿對曰。郝言不媾。來年秦復攻王。王得無割其內。而媾乎。今媾。郝又以不能必。秦之不復攻也。今雖割六城。何益。來年復攻。又割其力之所不能取。而媾。此自盡之術也。不如無媾。秦雖善攻。不能取六縣。趙雖不能守。終不失六城。秦倦而歸。兵必罷。我目六城。收天下。以攻罷秦。是我

二九五

以爲韓魏不救趙也而王
之軍必孤有以乎札記
云云大字衍ナリ札記
策及新序策蓋並ニ
無シ

子秦地何如毋子孰吉
札記云、何字衍ナリ、
如ハ與ナリ、新序ニ子
秦地與無子孰吉ニ作
ル、此何字衍フ後人趙
策ニ依テ増ス、後レ孰

失之於天下而取償於秦也。吾國尙利孰與坐而割地自弱以
彊秦哉。今郝曰秦善韓魏而攻趙者必以爲韓魏不救趙也。而
王之軍必孤。本有作文有以王之事秦不如韓魏也是使王歲以六城事
秦也。卽坐而城盡來年秦復求割地。王將與之乎。弗與是棄前
功而挑秦禍也。與之則無地而給之。語曰彊者善攻弱者不能
守。今坐而聽秦。秦兵不弊而多得地。是彊秦而弱趙也。以益彊
之秦而割愈弱之趙。其計故不止矣。且王之地有盡而秦之求
無已。以有盡之地而給無已之求。其勢必無趙矣。趙王計未定。
樓緩從。秦來。趙王與樓緩計之曰。予秦地何如毋子孰吉。緩辭
讓曰。此非臣之所能知也。王曰。雖然試言公之私。索隱曰按私。樓

緩對曰。王亦聞夫公甫文伯母乎。正義曰季康子從祖母文伯名啟康子從父昆弟。公甫文伯

仕於魯。病死。女子爲自殺於房中者二人。其母聞之弗哭也。其

相室曰。正義曰謂傅姆之類也。焉有子死而弗哭者乎。其母曰。孔子賢人也。遂

於魯。而是人不隨也。今死而婦人爲之自殺者二人。若是者必

其於長者薄。而於婦人厚也。故從母言之。是爲賢母。從妻言之。

是必不免爲妬妻。故其言一也。言者異則人心變矣。今臣新從

秦來。而言勿子。則非計也。言子之恐。王以臣爲爲秦也。故不敢

對使臣得爲大王計。不如子之。王曰。諾。虞卿聞之。入見王曰。此

飾說也。王眷勿子。徐廣曰。眷音慎。樓緩聞之。往見王。王又以虞卿之言

告樓緩。樓緩對曰。不然。虞卿得其一。不得其二。夫秦趙構難。而

因秦之強惡，札記云：
振7 振字一，強，旁注
二作，誤字并。

危說樓子，札記云：
危讀以，危，古
或危以，危，古
天文志則危，天官
書危二作，淮南說林
篇尺寸雖齊，必有危，
文字危二作。

天下皆說何也。曰：吾且因彊而乘弱矣。今趙兵困於秦，天下之
賀戰勝者，則必盡在於秦矣。故不如亟割地為和，以疑天下，而
慰秦之心。不然，天下將因秦之彊怒，乘趙之弊，瓜分之。趙且亡。
何秦之圖乎？故曰：虞卿得其一，不得其二。願王以此決之。勿復
計也。虞卿聞之，往見王曰：危哉樓子之所以為秦者，是愈疑天
下，而何慰秦之心哉！獨不言其示天下弱乎？且臣言勿予者，非
固勿予而已也。秦索六城於王，而王以六城賂齊。齊秦之深讎
也，得王之六城并力，西擊秦，齊之聽王，不待辭之畢也。則是王
失之於齊，而取償於秦也。而齊趙之深讎，可以報矣。而示天下
有能為也。王以此發聲，兵未窺於境，臣見秦之重賂至趙，而反

二九六

二九九

媾於王也。從秦為媾，韓魏聞之，必盡重王。重王必出重寶，以先
於王。則是王一舉而結三國之親，而與秦易道也。正義曰：前取秦攻今
得賂是易道也。易音
亦。趙王曰：善。則使虞卿東見齊王，與之謀。秦虞卿未返，秦使者
已在趙矣。樓緩聞之，亡去。趙於是封虞卿以一城，居頃之。而魏
請為從。趙孝成王召虞卿謀。過平原君。索隱曰：
過音戈。平原君曰：願卿
之論從也。虞卿入見王。王曰：魏請為從。對曰：魏過。光臥
反。王曰：寡
人固未之許。對曰：王過。王曰：魏請從。卿曰：魏過。寡人未之許。又
曰：寡人過。然則從終不可乎？對曰：臣聞小國之與大國從事也，
有利則大國受其福，有敗則小國受其禍。今魏目小國，請其禍，
而王以大國辭其福。臣故曰：王過。魏亦過。竊目為從便。王曰：善。

梁魏四行卒去趙兩於
與魏大所曰王
四十一、莊襄王
趙之齊、四十二年、所
趙之齊、四十二年、所
五年秦趙、長平之戰
而周赧王、五十七年
及、趙國傳、攻、
計、甘、甘、甘、
三古史、魏、
趙、趙、
所、
合、
年、
攻、
必、
必、
必、

乃合魏爲從。虞卿既以魏齊之故，不重萬戶侯卿相之印，與魏齊閒行。卒去趙，困於梁。魏齊已死，不得意，乃著書。索隱曰：魏齊魏相之急，乃抵虞卿，卿奔相印，乃與齊閒行。亡歸梁，以託信陵君。信陵君疑未決，齊自殺，故虞卿失相，乃窮愁而著書也。上探春秋，下觀近世，曰節義稱號，揣摩政謀。凡八篇，以刺譏國家得失，世傳之，曰虞氏春秋。正義曰：藝文志云十五篇。

太史公曰：平原君翩翩濁世之佳公子也。然未親大體，鄙語曰：利令智昏。平原君貪馮亭邪說，使趙陷長平，兵四十餘萬衆，邯鄲幾亡。離周曰：長平之陷，乃趙王信間。易將之咎，何怨平原受馮亭哉。虞卿料事，揣情爲趙畫策，何其工也。及不忍魏齊卒困於大梁，庸夫且知其不可，況賢人乎。然虞卿非窮愁，亦不能著書，以自見於後世云。

1100

101

索隱述贊曰：翩翩公子，天下奇器，笑姬從，戮義士，增氣兵，解李同盟，定毛遂，虞卿踴躍受賞，料事乃困魏齊，著書見意。

蘇子古史曰：趙勝傾身下士，以竊一時之聲可耳。至于爲國計慮，勝不知也。趙欲距燕，有廉頗趙奢不能，用而割地與齊，以借田單，知單之賢而不知其不爲趙用也。及韓馮亭以上黨嫁禍于趙，趙約知其不可而勝貪取之，長平之禍成于勝一言。此皆貴公子不知務之禍也。乃欲使之相危，國拒疆秦難矣哉。然游說之士皆歷諸侯，以左右網其利，獨虞卿始終事趙，專持從說，其言前後可考，無反覆之病。觀其赴魏齊之急，捐相印，棄萬戶侯而不顧，此固義俠之士非說客也哉。然太史公肥虞卿與趙謀事，皆秦破長平後，而卿爲魏齊棄相印而走梁，則前此矣。意者魏齊死，卿自梁還復相趙，而太史公失不言之耳。

黃震曰：按去說而遠色，固尊賢之道也。平原君以貧客稍引去，乃斬笑覺者，美人頭雖白入情所難，亦已甚矣。邯鄲之急，得毛遂以合楚之從，得李同募死士以須楚魏之救。邯鄲之獲，全固平原君力也。然向使不受上黨之嫁禍，則趙必無長平之敗，亦必無邯鄲之圍。平原之功，于是不足贖誤國之罪矣。太史公謂使趙陷長平，兵四十餘萬，邯鄲幾亡，非歎而譏周乃稱長平之陷，易將之咎，何怨平原，原何惑哉。

史記評林卷之七十六終

三〇二

史記評林卷之七十七

三〇三

信陵君列傳第十七

信陵君列傳ハ、凡記魏公子列傳ニ作ル、云フ宋本中統海毛各本並ニ索隱本ト合ス、合刻本信陵君列傳ニ作ル、疑フ正統ニ本マク。

魏公子無忌者。魏昭王少子。而魏安釐王異母弟也。昭王薨。安釐王卽位。封公子爲信陵君。索隱曰。地理志云。無信陵。或曰。是鄉邑名。是時范雎亡。魏相秦。以怨魏。齊故秦兵圍大梁。破魏華陽。下軍。走芒卯。魏王及公子患之。公子爲人。仁而下士。士無賢不肖。皆謙而禮交之。不敢以其富貴驕士。士以此方數千里。爭往歸之。致食客三千人。當是時。諸侯以公子賢。多客。不敢加兵謀魏。十餘年。公子與魏王博。而北境傳舉烽。言趙寇至。且入界。

文穎曰。作高木檣。檣上作桔槔。桔槔頭兜零。以薪置其中。謂之烽。當低之。

且人等注結繩紀年ハ、後漢書武帝紀注、廣

上客。侯生謂公子曰。臣所過屠者朱亥。此子賢者。世莫能知。故隱屠間耳。公子往數請之。伏後朱亥不為無所用。魏安釐王二十年。秦昭王已破趙長平軍。又進兵圍邯鄲。公子姊為趙惠文王弟平原君夫人。數遺魏王及公子書。請救於魏。魏王使將軍晉鄙。索隱曰。魏將姓名。將十萬眾救趙。秦王使使者告魏王曰。吾攻趙旦暮且下。而諸侯敢救者。已拔趙。必移兵先擊之。魏王恐使人止晉鄙。平見奔出也。留軍壁鄴。名為救趙。實持兩端。以觀望平原君使者冠蓋相屬於魏。讓魏公子曰。勝所以自附為婚姻者。以公子之高義。為能急人之困。今邯鄲且暮降秦。而魏救不至。安在公子能急人之困也。且公子縱輕勝。棄之降秦。獨不憐公子姊。邪。公子

三〇七

患之數請。魏王及賓客辯士說王萬端。魏王畏秦。終不聽公子。公子自度終不能得之於王。計不獨生。而令趙亡。乃請賓客約車騎百餘乘。欲以客往赴秦軍。與趙俱死。行過夷門。見侯生。具告所以欲死秦軍狀。辭決而行。侯生曰。公子勉之矣。老臣不能從。公子行數里。心不快。曰。吾所以待侯生者備矣。天下莫不聞。今吾且死。而侯生曾無一言半辭送我。我豈有所失哉。復引車還問侯生。侯生笑曰。臣固知公子之還也。曰。公子喜士。名聞天下。今有難。無他端而欲赴秦軍。譬若以肉投餒虎。何功之有哉。尚安事客。然公子遇臣厚。公子往而臣不送。以是知公子恨之復返也。公子再拜。因問侯生。侯生乃屏人閒語曰。索隱曰。閒音開。閒靜語也。羸聞晉

三〇七

日公子喜士ノ曰ハ、侯生稱シテ更メテ言フナリ。
無他端ハ、初三名曰、他ノ奇策以テ強ク殺スルナキナリ。

乃屏人閒語ハ、札記云、閒ハ、閒語ノ閒ニ讀ム、

如姬資之三年ハ、方苞曰、貨財ヲ以テ人ニ資シ、其父ノ仇ヲ求ムルナリ。

得虎符ハ、胡三省曰、虎ハ威猛ノ象ナリ、故ニ以テ兵符ト爲ス、漢ニ銅虎符アリト、符ハ二分シ、一ハ王ノ所ニ在リ、一ハ將ノ所ニアリ、之ヲ合セテ以テ信ト爲スナリ。此五霸之伐也、伐ハ功ナリ、通鑑功ニ作ル。

鄙之兵符常在王臥内。而如姬最幸。出入王臥内。力能竊之。竊聞如姬父爲人所殺。如姬資之三年。索隱曰。舊解資之三年。謂服齊喪也。今按資者。蓄也。謂欲爲父復讐之資。資於心已。自王以下。欲求報其父仇。莫能得。如姬爲公子泣。公子使客斬其仇頭。敬進如姬。如姬之欲爲公子死。無所辭。顧未有路耳。公子誠一開口請如姬。如姬必許諾。則得虎符。奪晉鄙軍。北救趙。而西卻秦。此五霸之伐也。公子從其計。請如姬。如姬果盜晉鄙兵符。與公子。公子行。侯生曰。將在外。主令有所不受。以便國家。公子卽合符。而晉鄙不授公子兵。而復請之。事必危矣。臣客屠者朱亥。可與俱。此人力士。晉鄙聽大善。不聽。可使擊之。於是公子泣。侯生曰。公子畏死耶。何泣也。公子曰。晉鄙嘽嘽宿

三〇九

嘽嘽宿將、資谷曰、嘽嘽ハ即其勇ノ嘽嘽トナリ、其勇氣ヲ狀ス。五井井曰、嘽嘽ハ、即其勇ヲ所ノ嘽嘽トナリ、老テ而テ壯トシ、字異ニシテ音同ナリ。此說從アベキニ公子親存之、存ハ存問スルナリ。

將。嘽音鳥。反。嘽音莊。白反。○索隱曰。嘽嘽謂多詞句也。○正義曰。聲類云。嘽大笑。嘽大呼。往恐不聽。必當殺之。是日泣耳。豈畏死哉。於是公子請朱亥。朱亥笑曰。臣乃市井鼓刀屠者。而公子親數存之。所以不報謝者。以爲小禮無所用。今公子有急。此乃臣效命之秋也。遂與公子俱。公子過謝侯生。侯生曰。臣宜從。老不能請。數公子行日。以至晉鄙軍之日。北鄉自到。以送公子。公子遂行。至鄴。矯魏王令。代晉鄙。晉鄙合符。疑之。舉手視公子。曰。今吾擁十萬之衆。屯於境上。國之重任。今單車來代之。何如哉。欲無聽。朱亥袖四十斤鐵椎。椎殺晉鄙。公子遂將晉鄙軍。勒兵。下令軍中曰。父子俱在軍中。父歸。兄弟俱在軍中。兄歸。獨子無兄弟。歸。養。得選兵八萬人。進兵擊秦軍。秦軍解去。遂救

臣願矢注索隱胡壽ハ、
如憲ノ誤ナリ、邦則夜
奈久比ナリ。

邯鄲存趙。趙王及平原君自迎公子於界。平原君負糶矢。呂忱曰：糶，盛弩矢也。索隱曰：糶音蘭，謂以盛矢也。今之胡籛而短也。呂姓悅，名作字林者。公子先引。趙王再拜曰：自古賢人未有及公子者也。當此之時，平原君不敢自比於人。公子與侯生決至軍。侯生果北鄉自剄。魏王怒公子之盜其兵符，矯殺晉鄙。公子亦自知也。已卻秦存趙，使將將其軍歸魏，而公子獨與客置酒。趙孝成王德公子之矯奪晉鄙兵而存趙，乃與平原君計。目五城封公子。公子聞之，意驕矜而有自功之色。此客國策作矜也。客有說公子曰：物有不可忘，或有不可不忘。夫人有德於公子，公子不可忘也。公子有德於人，願公子忘之也。且矯魏王令，奪晉鄙兵以救趙，於趙則有功矣。於魏則未為忠臣也。公子乃自驕而功之。

三十一

自言舉過ハ前二省日、
舉字ヲ知字、秦知昂、
舉字ノ爲字ニ近キヲ以
テ、改テ附ト爲ス。

爲公子湯沐邑ハ、胡三
省日、凡湯沐ノ邑ト言
フハ、其賦稅ヲ以テ湯
沐ノ具ニ供スルヲ謂フ
ナリ。

竊爲公子不取也。於是公子立自責，似若無所容者。趙王埽除自迎，執主人之禮，引公子就西階。公子側行辭讓，從東階上。曰：主人就東階，客就西階。客若降等，則就主人之階。自言舉過，以負於魏。索隱曰：負音佩。無功於趙。趙王侍酒至暮，口不忍獻五城，以公子退讓也。公子竟置趙。趙王以鄙爲公子湯沐邑。索隱曰：鄙音霍。趙邑名，屬常山。魏亦復以信陵奉公子。公子置趙公子間，趙有處士毛公藏於博徒，薛公藏於賣漿家。徐廣曰：漿或作醪。索隱曰：徐按別錄云也。公子欲見兩人，兩人自匿不肯見。公子聞所在，乃閒步往。從此兩人游甚歡。平原君聞之，謂其夫人曰：始吾聞夫人弟公子天下無雙，今吾聞之，乃妄。從博徒賣漿者游，公子妄人耳。夫人以告公子。公子乃謝夫人去，曰：始吾聞平原君賢，故

以解平原君、稱ハ、假
ノ意、人ノ意ニカナフ
ナリ。人ノ意ニカナフ
ヲ謂フナリ。禮記ニ
禮ニ容衆キナ以テ
爲スノミト謂フ、
非ナリ。

毛公薛公兩人注案隱云
三ハ、宜ク移シテ上段
ニ在ルベシ。

負魏王而救趙以稱平原君。平原君之游徒豪舉耳。索隱曰謂豪
者舉之舉亦

也。不求士也。無忌自在大梁時常聞此兩人賢至趙恐不得

見以無忌從之游尚恐其不我欲也。今平原君乃以爲羞其不

足從游乃裝爲去。夫人具以語平原君平原君乃免冠謝固

公子平原君門下聞之半去平原君歸公子天下士復往歸公

子公子傾平原君客公子留趙十年不歸秦聞公子在趙日夜

出兵東伐魏魏王患之使使往請公子公子恐其怒之乃誠門

下有敢爲魏王使通者死賓客皆背魏之趙莫敢勸公子歸毛

公薛公兩人。索隱曰史
失其名往見公子曰公子所以重於趙名聞諸

侯者徒以有魏也。今秦攻魏魏急而公子不恤使秦破大梁而

夷先生之宗廟公子當何面目立天下乎。語未及卒公子立變
色告車趣駕歸救魏魏王見公子相與泣而以上將軍印授公
子公子遂將魏安釐王三十年公子使使遍告諸侯諸侯聞公
子將各遣將兵救魏公子率五國之兵破秦軍於河外走蒙
驁遂乘勝逐秦軍至函谷關抑秦兵。索隱曰抑音憶
與不敵加兵相應
謂以兵蹙之秦兵不敢出當
是時公子威振天下諸侯之客進兵法公子皆名之故世俗稱
魏公子兵法。劉歆七略有魏公子兵法二十一篇圖七卷○索
隱曰公子所得進兵法而必稱其名以言其恕也秦王患之乃行
金萬斤於魏求晉鄙客令毀公子於魏王曰公子亡在外十年
矣今爲魏將諸侯將皆屬諸侯徒聞魏公子不聞魏王公子亦
欲因此時定南面而王諸侯畏公子之威方欲共立之秦數使

公子皆名之ハ蓋分曰
本兵者ヲ道メ、而ヲ魏
公子ニ名ク、故ニ世
魏公子兵法ト稱ス、索
隱注本文ト正ニ相反
ス。

欲因此時定南面而王諸侯畏公子之威方欲共立之秦數使

而魏王居大梁ハ、唐
順之曰、魏ノ亡クテ以テ
信陵君ニ歸ク、信陵ノ
國ノ存亡ニ係ルヲ見
ル。

太史公曰云々ハ、方苞
曰、毛遂ヲ定ム、國
策ニ見ト雖モ、而
毛辭ハ近シ、信陵君
傳ハ、則全於太史公ノ
意趣也、豈大梁ニ遊ヒ

反間僞賀。公子得立爲魏王。未也。魏王日聞其毀。不能不信。後
果使人代公子將。公子自知。再以毀廢。乃謝病不朝。與賓客爲
長夜飲。飲醇酒。多近婦女。日夜爲樂飲者四歲。竟病酒而卒。其
歲魏安釐王亦薨。秦聞公子死。使蒙驁攻魏。拔二十城。初置東
郡。其後秦稍蠶食魏。十八歲而虜魏王。屠大梁。索隱曰魏
王名假高祖始
徵少時。數聞公子賢。及卽天子位。每過大梁。常祠公子。高祖十
二年。從擊黥布。還爲公子置守冢五家。世世歲以四時奉祠公
子。

太史公曰。吾過大梁之墟。求問其所謂夷門。夷門者。城之東門
也。天下諸公子亦有喜士者矣。然信陵君之接巖穴隱者。不恥

也。下交有以也。名冠諸侯。不虛耳。高祖每過之。而令民奉祠不絕

諸故老ノ傳アル所ナリ
タ、而字自ラ敘次ナ爲
ス。有以也ハ、札記云、疑
フ也字ナリ、有以ニ未
字ナリ、當ニ未字
屬不絶、下ニ在ルベ

索隱述贊曰。信陵下士鄰國相傾以公子故。不敢加兵。頗知朱亥。盡禮侯嬴。遂卻晉鄙。終辭

趙城。毛薛見重。萬古希聲。蘇子古史曰。魏公子始用侯嬴之計。盜兵符殺晉鄙。而奪其軍。擊秦以全趙。成桓文之功矣。
然兄弟自是相失。十年不敢還。魏幾無以安其身。殆哉。其後秦兵攻魏。無忌無還魏之心。毛
薛甚之。翻然而歸。合諸侯。破秦軍。使宗廟復安。兄弟如故。然後得明自立於世。蓋無忌之
名發於侯生。而全於毛薛。侯生之奇。毛薛之正。廢一不可而正之所全者多矣。

劉敞曰。孟嘗平原信陵皆稱賢君。善養士。士至三千人。然孟嘗以譏廢。唯馮生從車一
乘入秦。使孟嘗復重於齊。平原與楚約。從非毛遂。幾不定。信陵最賢矣。待侯嬴乃能成
功。士亦安在多哉。然不多養士。亦失此三人。此三人者。非特百十之雄也。乃在三千之
一也。以彼之折節慕學。貧賤無所遺。平生得其用者。三千之一耳。而況乎不善養士。士
無所歸者乎。其不困辱幸矣。何功名之望哉。

黃震曰。按無忌用侯生。朱亥之力。竊符矯命。以赴平原之急。其後在趙。用毛公。薛公之
諫。趙魏歸魏。以御疆秦之圍。此四人者。皆隱於屠沽博徒。無忌獨能察而用之。五國賓
從。威振天下。雖非正道。而能爲國家之重。過平原孟嘗遠矣。然毛公薛公之正論。又非
侯生朱亥之詐力比也。安釐王受秦反間。廢無忌。不終十八歲而魏亡。悲夫。

王世貞曰。邯鄲之圍。秦悉關中河內之卒。誠趙人四十五萬。而歷其城。城且旦暮下矣。

公子雖竊符以有魏師。而其人皆噤暗。懼將之所教。而憚齊不振之餘也。又縱其父兄獨子以歸者。二萬人。外若削弱其形。而內實有以一八萬人之心。而振其氣。偏師直入於虎狼之窟。而逐之以存趙。此其乘堅而為環。轉弱而為勁者。何如也。秦乘公子出。而日夜伐魏。其志已無魏矣。魏且暮亦惟有下耳。三十年公子以一使致五國之師。而其人又皆憚齊不振之餘也。國五其將。將五其師。此非可以頃刻聯合也。公子率而大破秦軍於河外。走蒙驁。乘勝逐之。至函谷關。而不敢出。此其聯散以為擊。轉弱而為勁者。又何如也。恐以為善為兵者。固無如公子者也。

史記評林卷之七十七終

史記評林卷之七十八

春申君列傳第十八

春申君者。楚人也。名歇。姓黃氏。游學博聞。事楚頃襄王。索隱曰。名橫。考烈王

父。頃襄王以歇為辯。使於秦。秦昭王使白起攻韓魏。敗之於華

陽。禽魏將芒卯。韓魏服而事秦。秦昭王方令白起與韓魏共伐

楚。未行。而楚使黃歇適至。於秦。聞秦之計。當是之時。秦已前使

白起攻楚。取巫黔中之郡。拔鄢郢。東至竟陵。正義曰。竟陵。屬江夏郡也。楚頃襄

王東徙。治於陳縣。正義曰。今陳州也。黃歇見楚懷王之為秦所誘。而入朝

遂見欺。畱死於秦。頃襄王其子也。秦輕之。恐壹舉兵而滅楚。歇

冬夏是也。正義曰。至陽。當二
胡三召引。二陰。多
至陽之極。而陰生焉。作
致。五則危。八。初三五日。
致。亦極。其五至
極。亦極。果。其五
高。五。八。即必危。
泰。剛。地。天下。四。北。
二。垂。有。三。日。
通。聖。先。王。三。作。也。
文。王。莊。王。之。身。余。有
丁。曰。國。策。文。王。武。王。之
身。二。作。是。也。此
莊。王。曰。曰。朕。不。知。此
從。親。之。要。注。索。隱。胡。三
省。通。鑑。注。引。東。下
二。合。字。也。
使。盛。橋。守。事。於。韓。八。飽
起。曰。橋。人。乘。之。不。可
守。入。邢。禮。記。云。國。策
桃。人。二。作。入。字。誤。也。

乃上書說秦昭王曰。天下莫彊於秦楚。今聞大王欲伐楚。此猶
兩虎相與鬪。兩虎相與鬪。而驚犬受其弊。索隱曰。謂兩虎鬪乃受弊。於驚犬。劉氏云。受猶承也。不
如善楚。臣請言其說。臣聞物至則反。冬夏是也。正義曰。至極也。極則反也。冬至陰之極。夏至陽之極。致至則危。徐廣曰。至。或作安。累棊是也。今大國之地。徧天下有其二
垂。正義曰。言極東西。此從生民已來。萬乘之地未嘗有也。先帝文王莊王
之身。三世不忘。接地於齊。以絕從親之要。索隱曰。香腰以言山。東從韓魏是其腰。今王
使盛橋守事於韓。索隱曰。秦使盛橋守事於韓。亦如楚。使召滑相趙然也。或內行章義之難。盛橋以其地入秦。
是王不用甲。不信威。索隱曰。信音申。而得百里之地。王可謂能矣。王又
舉甲而攻魏。杜大梁之門。舉河內。拔燕酸棗虛。徐廣曰。秦始皇五年。取酸棗。燕虛。蘇代曰。決宿晉之口。桃。入。邢。魏之兵雲翔而不
魏無虛頓丘。桃。入。邢。徐廣曰。燕縣有桃城。平阜有邢丘。○正義曰。邢丘在懷州武德縣東南二十里。

黃濟陽嬰城。正義曰。黃濟陽。城在衛之長垣。蒲鄉也。行在河南與卷近。首蓋牛首垣。即長垣。非河東之垣也。垣音圓。丘。則黃及濟陽等自嬰城而守也。地理志。平丘縣屬陳。陳仁闕。黃濟陽嬰城。日蘇代云。淡白馬之口。魏無黃濟陽。○正義曰。故黃城在曹州考城縣東。濟陽故城在曹州冤句縣西南。嬰城未詳。而魏氏服。王又割濮磨之北。徐廣曰。濮水北於鉅野入濟。○索隱曰。地名。近濮。注。齊秦之要。絕楚趙之脊。正義曰。劉伯莊云。言秦得魏地。楚趙之絕從。天下五合六聚。而不敢救王之威。亦單矣。徐廣曰。單亦作殫。○索隱曰。按單音丹。單盡也。言王之威盡行也。王若能持功守威。絀攻取之心。而肥仁義之地。使無後患。三王不足。四五伯不足。六也。王若負人徒之衆。仗兵革之彊。乘毀魏之威。而欲以力臣天下之主。臣恐其有後患也。詩曰。靡不有初。鮮克有終。易曰。狐涉水濡其尾。正義曰。言狐惜其尾。每涉水。水舉尾不令濕。比至極困。則濡之。譬不可力臣之。此

黃濟陽嬰城。正義曰。黃濟陽。城在衛之長垣。蒲鄉也。行在河南與卷近。首蓋牛首垣。即長垣。非河東之垣也。垣音圓。丘。則黃及濟陽等自嬰城而守也。地理志。平丘縣屬陳。陳仁闕。黃濟陽嬰城。日蘇代云。淡白馬之口。魏無黃濟陽。○正義曰。故黃城在曹州考城縣東。濟陽故城在曹州冤句縣西南。嬰城未詳。而魏氏服。王又割濮磨之北。徐廣曰。濮水北於鉅野入濟。○索隱曰。地名。近濮。注。齊秦之要。絕楚趙之脊。正義曰。劉伯莊云。言秦得魏地。楚趙之絕從。天下五合六聚。而不敢救王之威。亦單矣。徐廣曰。單亦作殫。○索隱曰。按單音丹。單盡也。言王之威盡行也。王若能持功守威。絀攻取之心。而肥仁義之地。使無後患。三王不足。四五伯不足。六也。王若負人徒之衆。仗兵革之彊。乘毀魏之威。而欲以力臣天下之主。臣恐其有後患也。詩曰。靡不有初。鮮克有終。易曰。狐涉水濡其尾。正義曰。言狐惜其尾。每涉水。水舉尾不令濕。比至極困。則濡之。譬不可力臣之。此

敢。據王之功亦多矣。王休甲息衆。二年而後復之。又并蒲衍首
垣。徐廣曰。蘇秦云。北有河外。卷衍長垣。縣有蒲鄉。○索隱曰。此蒲在衛之長垣。蒲鄉也。行在河南與卷近。首蓋牛首垣。即長垣。非河東之垣也。垣音圓。以臨仁平
丘。徐廣曰。鄭陳。○索隱曰。仁及平丘。二縣名。謂以兵臨此二縣。則黃及濟陽等自嬰城而守也。地理志。平丘縣屬陳。陳仁闕。黃濟陽嬰城。日蘇代云。淡白馬之口。魏無黃濟陽。○正義曰。故黃城在曹州考城縣東。濟陽故城在曹州冤句縣西南。嬰城未詳。而魏氏服。王又割濮磨之
北。徐廣曰。濮水北於鉅野入濟。○索隱曰。地名。近濮。注。齊秦之要。絕楚趙之脊。正義曰。劉伯莊云。言秦得魏地。楚趙之絕從。天下五合六聚。而不敢救王之威。亦單矣。徐廣曰。單亦作殫。○索隱曰。按單音丹。單盡也。言王之威盡行也。王若能持功守威。絀攻取之心。而肥仁義之地。使無後患。三
王不足。四五伯不足。六也。王若負人徒之衆。仗兵革之彊。乘毀
魏之威。而欲以力臣天下之主。臣恐其有後患也。詩曰。靡不有
初。鮮克有終。易曰。狐涉水濡其尾。正義曰。言狐惜其尾。每涉水。水舉尾不令濕。比至極困。則濡之。譬不可力臣之。此

按次之禍注正義同
ハ、札記河過ニ作ル、云
フ官本河過、水經注ト
合ス、各本同過ニ歸ス。

言始之易終之難也。何以知其然也。昔智氏見伐趙之利而不
知榆次之禍。索隱曰。智伯敗於榆次也。地理志云。屬太原。有梗陽鄉是也。○
齊之便而不知干隧之敗。正義曰。榆次并州縣也。注水經云。榆次縣南同過水。側有整臺。吳見伐
夫差自到處。在蘇州西北四十里。此二國者。非無大功也。沒利於前而易患於後也。
索隱曰。謂智伯及吳王沒伐趙及伐齊之利於前而自易其患於後。後即榆次干隧之難也。吳之信越也。從而伐齊。索隱曰。從
劉氏云。從。既勝齊人於艾陵。正義曰。艾山在兗州博縣南六十里也。還為越王禽。三渚之浦。
戰國策曰。三江之浦。○正義曰。吳俗傳云。越軍得子胥夢從東入伐吳。越王即從三
江北岸立壇。殺白馬祭子胥。杯動酒盡。乃開渠。由三浦入。破吳王於姑蘇。敗干隧也。智氏
之信韓魏也。從而伐趙。攻晉陽域。正義曰。勝有日矣。韓魏叛之。
殺智伯瑤於鑿臺之下。徐廣曰。鑿臺在榆次。今王妬楚之不毀也。而忘毀楚
之彊。韓魏也。臣為王慮而不取也。詩曰。大武遠宅而不涉。正義曰。言

詩曰大武遠宅而不涉
ハ、鮑彪曰。逸詩ナリ。

武ハ見跡、宅ハ發居ノ
如シ、地ノ遠ニ居ル者
ハ、大足アリト雖モ、
之ニ涉ラザルヲ言フナ
リ。

卓辭餘思ハ、札記云、
除疑ハ徐ハ誤ナリ、既
文ニ徐ハ誤ナリ、策
ニ虛ニ作ル。

大軍不遠。從此觀之。楚國援也。鄰國敵也。詩云。趙趙兔遇犬
跋涉攻伐。韓嬰章句曰。趙趙往來貌。獲得也。言趙趙之兔免。謂狡兔往來。逃匿其跡。有時遇
獲之。犬得之。毛傳曰。兔免狡兔也。鄭玄曰。遇犬犬之剛者。謂田犬。○索隱曰。趙天厭反。兔
音。他人有心。余忖度之。今王中道而信韓魏之善王也。此正吳
之信越也。臣聞之。敵不可假。時不可失。臣恐韓魏卑辭除患。而
實欲欺大國也。索隱曰。大國謂秦也。何則。王無重世之德。於韓魏而有累世
之怨焉。索隱曰。重世猶再世也。夫韓魏父子兄弟接踵而死於秦者。將十世
矣。本國殘。社稷壞。宗廟毀。刳腹絕腸。折頸摺頤。徐廣曰。一作頤。○索
隱曰。摺音拉。頤音夷。首身分離。暴骸骨於草澤。頭顱僵仆。相望於境。父子老弱。係腰
束手。為羣虜者。相及於路。鬼神孤傷。無所血食。人民不聊生。族
類離散。流亡為僕妾者。盈滿海內矣。故韓魏之不亡。秦社稷之

今王資之、ハ、助、三、石、曰、
資、ス、也、兵、ヲ、以、テ、ス、ル、
ヲ、助、フ、

隨水右壤注、索隱、胡三
省引、之、西、ノ、上、水、字、
ハ、リ、三、省、引、フ、右、壤、
ハ、楚、其、楚、都、ノ、右、ニ、
ア、リ、

泗上必舉注、正義、魯、
胡三省曰、時、楚、魯、
國、ヲ、齊、公、シ、泗、上、ノ、地、
ヲ、有、ス、

憂也。今王資之。與攻楚。不亦過乎。且王攻楚。將惡出兵。正義曰。惡音烏。
王將借路於仇讎之韓魏乎。兵出之日。而王憂其不返也。是王
以兵資於仇讎之韓魏也。王若不借路於仇讎之韓魏。必攻隨
水右壤。隨水右壤。此皆廣川大水。山林谿谷。不食之地也。索隱曰。楚
都隨。隨水之右壤。蓋在隨之西。今鄧州之西。其地多山林者是。
王雖有之。不為得地。是王有毀楚之名。而無得地之實也。且王攻楚之日。四國必悉起兵。以應王。秦楚
之兵構而不離。魏氏將出。而攻留。方與。錚。湖陵。碭。蕭。相。故宋必
盡。正義曰。徐州。西。宋州。東。兖州。南。並。故。宋。地。齊人南面攻楚。泗上必舉。正義曰。此時。泗。酒。屬。齊。也。此皆平
原。四達膏腴之地。而使獨攻。索隱曰。若。秦。楚。構。兵。不。休。則。魏。盡。故。宋。齊。取。泗。上。是。使。齊。魏。獨。攻。伐。而。得。其。利。者。也。王破
楚。以肥韓魏於中國。而勁齊。韓魏之疆。足以校於秦。索隱曰。校。音。索。謂。是。以。與。

秦為敵也。一云。校者。報也。言力能報秦。齊南以泗水為境。東負海。北倚河。而無後患。天

下之國。莫彊於齊。魏齊魏得地。葆利。而詳事下吏。一年之後。為

帝未能。其於禁王之為。帝有餘矣。索隱曰。言。齊。一。年。之。後。未。即。能。為。帝。而。能。禁。秦。為。帝。有。餘。力。矣。然。禁。字。作。楚。者。誤。也。

夫以王壤土之博。人徒之衆。兵革之彊。壹舉事。而樹怨於楚。遲

令韓魏歸。帝重於齊。是王失計也。徐廣曰。遲。一作。還。○索隱曰。遲。音。值。值。猶。乃。也。今。音。力。呈。反。韓。魏。重。齊。令。歸。帝。號。此。秦。之。計。失。也。

臣為王慮。莫若善楚。秦楚合而為一。以臨韓。韓必斂手。王

施以東山之險。帶以曲河之利。韓必為關內之侯。若是。而王以

十萬戍。鄭。梁。氏。寒。心。許。鄆。陵。嬰。城。而。上。蔡。召。陵。不。往。來。也。如此

而魏亦關內侯矣。王壹善楚。而關內兩萬乘之主。注地於齊。索隱曰。注。謂。以。泗。水。注。地。於。齊。也。

齊右壤可拱手而取也。正義曰。右。壤。謂。泗。州。之。南。北。也。王之地。一經兩海。索隱曰。秦。謂。是。以。與。

注地於齊、ハ、方、意、曰、
秦、魏、魏、少、得、ソ、水、ノ、流、注、
地、齊、ニ、接、ス、水、ノ、流、注、
シ、泗、水、ハ、昔、若、ナ、リ、
可、拱、手、而、取、也、正、義、泗、
州、ハ、右、壤、泗、州、ニ、作、ル、

云フ考證唐志據テ改
一經南海ハ初三百日、
東西ヲ經トテ、南海
ハ東海西海ナリ、西海
ハ東海ニ至リ、西海
地ニ二秦ノ有ル所ト
爲ルヲ謂フ、注正曰
廣云云、札記云、正文
廣字ナシ、疑フ是集解
ナリ、或ハ廣上文ヲ
リ合テ缺カク。

曰、西海至東海、皆是秦地。○正
義曰、廣言、橫度中國東西也。
要約、天下是燕趙無、齊楚
齊楚無、燕趙也。然後危動
燕趙、直搖齊楚、此四國者
不待痛而服矣。昭王曰、善
於是、乃止白起、而謝韓魏
發使、賂楚、約爲與國。黃歇
受約、歸楚。楚使歇與太子
完入質於秦。秦留之數年。
楚頃襄王病、太子不得歸、而
楚太子與秦相應、侯善。於是
黃歇乃說、應侯曰、相國誠
善楚太子乎。應侯曰、然。歇曰、
今楚王恐不起疾、秦不如歸其
太子。太子得立、其事秦必重、
而德相國無窮。是親與國而
得儲萬乘也。若不歸、則咸陽
一布衣耳。楚更立太子、必不
事秦。夫失與國而絕萬乘之和、
非計也。願相國孰慮之。應侯
以聞秦王。秦王曰、令楚太子
之傅先往、問楚王之疾、返而
後圖之。黃歇爲楚太子計、曰、
秦之留太子也、欲以求利也。今
太子力未能有以利秦也。歇憂之
甚、而陽文君子二人在中。王若
卒、大命太子不在。陽文君子必
立爲後。太子不得奉宗廟矣。不
如亡秦、與使者俱出。臣請止以
死當之。楚太子因變衣服、爲
楚使者御、以出關。而黃歇守舍、
常爲謝病。度太子已遠、秦不能
追。歇乃自言於秦王。昭王曰、
楚太子已歸、出遠矣。歇當死、
願賜死。昭王大怒、欲聽其自殺
也。應侯曰、歇爲人臣、出身以
徇其主、太子立、必用歇。故不
如無罪而歸之。以親楚。秦因遣
黃歇。歇至楚。三月、楚頃襄王卒。
徐廣曰、三十六年。太子完立、
是爲考烈王。考烈王元年、以黃
歇爲相、封爲春申君。有地、又
非趙境、竝蓋號諡、而孟嘗是諡。

封爲春申君注正義曰然
四君封邑云云ハ、札記
云、然上當ニ衍文アル
ハ、今缺ク。

子計曰、秦之留太子也、欲以求利也。今太子力未能有以利秦也。歇憂之甚、而陽文君子二人在中。王若卒、大命太子不在。陽文君子必立爲後。太子不得奉宗廟矣。不如亡秦、與使者俱出。臣請止以死當之。楚太子因變衣服、爲楚使者御、以出關。而黃歇守舍、常爲謝病。度太子已遠、秦不能追。歇乃自言於秦王。昭王曰、楚太子已歸、出遠矣。歇當死、願賜死。昭王大怒、欲聽其自殺也。應侯曰、歇爲人臣、出身以徇其主。太子立、必用歇。故不如無罪而歸之。以親楚。秦因遣黃歇。歇至楚。三月、楚頃襄王卒。徐廣曰、三十六年。太子完立、是爲考烈王。考烈王元年、以黃歇爲相、封爲春申君。有地、又非趙境、竝蓋號諡、而孟嘗是諡。賜淮北地十二縣。後十五歲、黃歇言。

城敗楚注正義國云云、札記云、考證云、句說アリ、當ニ國所都ニ作ルヤシ。

爲楚相四年ハ、凌推臣曰、卽前ノ十五歲内ノ事ナリ。

刀劍室以珠玉飾之ハ、札記云、御覽四百五、引史記云、卷ニ作ル七、百九十七、又八百七、

之楚王曰。淮北地邊齊。其事急。請以爲郡。便因并獻。淮北十二縣。請封於江東。考烈王許之。春申君因城故吳墟。正義曰。墟音虛。今蘇州也。闕關於城內小城西北。別築城居之。今圯毀也。又大內北遺四從五橫。至今猶存。又攻破楚門爲昌門。以自爲都邑。春申君既相。楚是時齊有孟嘗君。趙有平原君。魏有信陵君。方爭下士。招致賓客。以相傾奪。輔國持權。春申君爲楚相四年。秦破趙之長平軍四十餘萬。五年。圍邯鄲。邯鄲告急於楚。楚使春申君將兵往救之。秦兵亦去。春申君歸。春申君相楚八年。爲楚北伐滅魯。索隱曰。年表云。八年取魯。封魯君於萬十四年滅也。以荀卿爲蘭陵令。當是時。楚復彊。趙平原君使人於春申君。春申君舍之於上舍。趙使欲夸楚。爲瑋瑋簪。刀劍室。以珠玉飾之。請命春申君客。春申君客三千餘人。其上客皆躡珠

三三六

三三六

引テ其卷ニ有リ、疑フ今本悉字ヲ脱スルカ。

履。以見趙使。趙使大慙。春申君相十四年。秦莊襄王立。以呂不韋爲相。封爲文信侯。取東周。春申君相二十二年。諸侯患秦攻

伐無已時。乃相與合從。西伐秦。徐廣曰。始皇六年。而楚王爲從長。春申君

用事。至函谷關。秦出兵。攻諸侯兵。皆敗走。楚考烈王以咎春申君。春申君以此益疎客。有觀津人朱英。正義曰。觀音館。今魏州觀城縣也。謂春申君

曰。人皆以楚爲彊。而君用之弱。其於英不然。先君時善秦。二十年而不攻楚。何也。秦踰黽隘之塞而攻楚。正義曰。黽隘之塞。在中州。黽音旨也。不便。假

道於兩周。背韓魏而攻楚。不可。今則不然。魏且暮亡。不能愛許。鄢陵。其許魏割。以與秦。秦兵去陳百六十里。徐廣曰。在許東南。臣之所觀

者。見秦楚之日鬪也。楚於是去陳。徙壽春。而秦徙衛野王。作置

東郡。正義曰：濮州，兼河北，置東郡。濮州，本衛都，而徙野王也。春申君由此就封於吳，行相事。楚考

烈王無子，春申君患之，求婦人宜子者，進之甚衆。卒無子，趙人

李園持其女弟，欲進之。楚王聞其不宜子，恐久毋寵，李園求事

春申君，爲舍人，已而謁歸，故失期。還謁春申君，問之狀，對曰：齊

王使使求臣之女弟，與其使者飲，故失期。春申君曰：媾入乎？對

曰：未也。春申君曰：可得見乎？曰：可。於是李園乃進其女弟，即幸

於春申君。知其有身，李園乃與其女弟謀，園女弟承間以說春

申君曰：楚王之貴幸君，雖兄弟不如也。今君相楚二十餘年，而

王無子，即百歲後，將更立兄弟，則楚更立君，後亦各貴其故所

親，君又安得長有寵乎？非徒然也。君費用事久，多失禮於王，兄

媾入乎？媾，二同，媾，問也。媾，曰。

弟兄弟誠立，禍且及身。何以保相印江東之封乎？今妾自知有身矣，而人莫知，妾幸君未久，誠以君之重而進妾於楚王，王必幸妾，妾賴天有子男，則是君之子爲王也。楚國盡可得，孰與身臨不測之罪乎？春申君大然之，乃出李園女弟，謹舍而言之。楚王楚王召入幸之，遂生子男，立爲太子，以李園女弟爲王后。楚王貴李園，園用事。李園既入其女弟，立爲王后，子爲太子，恐春申君語泄，而益驕，陰養死士，欲殺春申君，以滅口。而國人頗有知之者，春申君相二十五年，楚考烈王病，朱英謂春申君曰：世有母望之福。正義曰：母望謂不望而忽至也。又有母望之禍。索隱曰：周易有無妄卦，其義殊也。今君處母望之世。正義曰：謂喜生，死無常。事母望之主。正義曰：謂怒不節也。安可以無母望之人

三三九

三三九

母望之人，正義謂喜生，忽爲之，杜預云：公疑之。

弟兄弟誠立，禍且及身。何以保相印江東之封乎？今妾自知有身矣，而人莫知，妾幸君未久，誠以君之重而進妾於楚王，王必幸妾，妾賴天有子男，則是君之子爲王也。楚國盡可得，孰與身臨不測之罪乎？春申君大然之，乃出李園女弟，謹舍而言之。楚王楚王召入幸之，遂生子男，立爲太子，以李園女弟爲王后。楚王貴李園，園用事。李園既入其女弟，立爲王后，子爲太子，恐春申君語泄，而益驕，陰養死士，欲殺春申君，以滅口。而國人頗有知之者，春申君相二十五年，楚考烈王病，朱英謂春申君曰：世有母望之福。正義曰：母望謂不望而忽至也。又有母望之禍。索隱曰：周易有無妄卦，其義殊也。今君處母望之世。正義曰：謂喜生，死無常。事母望之主。正義曰：謂怒不節也。安可以無母望之人

恐字ノ誤、皆川淇園曰、
毋望ハ不意ヲ謂フナ
リ。

李園不治國而君之仇
也、札肥云、索隱本不
治國而ノ四字ナシ、疑
フ後人楚策ニ依テ増
ス。

乎。正義曰。謂吉凶忽爲。春申君曰。何謂母望之福。曰。君相楚二十餘年矣。雖名相國。實楚王也。今楚王病。且暮且卒。而君相少主。因而代立。當國。如伊尹周公。王長而反政。不即遂南面稱孤。而有楚國。此所謂母望之福也。春申君曰。何謂母望之禍。曰。李園不治國。而君之仇也。索隱曰。言國是春申之仇。職國策作君之舅。謂爲王舅。與此異。不爲兵。而養死士之日久矣。

楚王卒。李園必先入。據權。而殺君。以滅口。此所謂母望之禍也。春申君曰。何謂母望之人。對曰。君置臣郎中。楚王卒。李園必先入。臣爲君殺。李園。此所謂母望之人也。春申君曰。足下置之。李園。弱人也。僕又善之。且又何至此。朱英知言不用。恐禍及身。乃亡去。後十七日。楚考烈王卒。李園果先入。伏死士於棘門之內。

CHIN

三三三

正義曰。謂州城門。春申君入棘門。園死士俠刺春申君。斬其頭。投之棘門外。正義曰。楚考烈王二十五年。秦始皇九年。於是遂使吏盡滅春申君之家。而李園女弟

初幸春申君。有身而入之王。所生子者。遂立是爲楚幽王。索隱曰。按楚悍有母弟。猶有庶兄負芻及昌平君。是楚君完非無子。而上文云考烈王無子。誤也。是歲也。秦始皇帝立九年矣。嫪

毒亦爲亂於秦。覺夷其三族。而呂不韋廢。太史公曰。吾適楚。觀春申君故城宮室。盛矣哉。初春申君之說

秦昭王。及出身。遣太子歸。何其智之明也。後制於李園。旄矣。徐廣曰。旄音毛。語曰。常斷不斷。反受其亂。春申君失朱英之謂邪。

索隱述贊曰。黃歇辨智。權略秦楚。太子獲歸。身作宰相。珠炫趙客。邑開吳土。烈王寡胤。李園獻女。無妄成災。朱英徒語。

蘇子古史曰。黃歇相楚。王患無子。而以己子盜其後。雖使聽朱英殺李園。終擅楚國。亦將不免大咎。何以言之。秦楚立國。僅千歲矣。無功于民。而獲罪于天。天以不韋欺陰亂其嗣。而

是歲也。秦始皇立九年矣。
也。札肥曰。晉世家也。
終。是歲。齊威王元年也。
也。書。是。謂。齊威王。也。
呂不韋。與。黃歇。也。
也。一。時。事。也。相。同。也。
見。之。之。之。之。之。之。之。
也。文。之。之。之。之。之。之。
在。之。之。之。之。之。之。

與之俱驚。豈區區朱英所能為哉。不然以黃歇之智而朱英之言獨無概于中乎。
 楊維禎曰。志天下之奇貨者必中天下之奇禍。傳曰。聖人甚禍無故之利。即吾所謂奇禍也。楚之春申君。秦之文信侯是也。春申君傳姬姬于考烈王而生悍。文信侯傳姬姬于莊襄王而生政。文信卒殺于政。春申免于悍而殺于園。此豈非天下之奇禍足為小人奇貪之戒哉。或曰。悍非歇之姬也。園妹欺歇而歇又以其欺者欺考烈耳。
 余有丁曰。春申之死。智以利昏也。使當園妹進說之時。峻斥之。則無此禍矣。既惑于邪謀。而包藏禍心。移人家國。則亂賊而已。以亂召亂。理固宜然。故歇之旋不在于失朱英而在于惑園妹也。

史記評林卷之七十八終

史記評林卷之七十九

范雎蔡澤列傳第十九

范雎者。魏人也。字叔游。說諸侯。欲事魏王。家貧。無以自資。乃先

事魏中大夫須賈。索隱曰。漢書百官表。中大夫。秦官。此魏有中大夫。蓋古官也。姓須。名賈。蓋密須氏之後。須賈為魏昭

王使於齊。索隱曰。世本。昭王名遼。襄王之子。范雎從留數月。未得報。齊襄王聞雎辯

口。索隱曰。襄王名法章。乃使人賜雎金十斤。及牛酒。雎辭謝。不敢受。須賈知

之大怒。以為雎持魏國陰事告齊。故得此饋。令雎受其牛酒。還

其金。既歸。心怒。雎以告魏相。魏相。魏之諸公子。曰魏齊。魏齊大

怒。使舍人笞擊雎。折脅。摺齒。索隱曰。摺音力。答反。謂打折其脅而又折其齒也。雎佯死。即卷以

范雎蔡澤列傳、魏大所
 曰、索本紀六國表二人
 ノ名ヲ見サズ、唯音難。

即雎語曰ハ、札記云、
 即魏府使部、才人部、
 引、語有口ニ作ル。

更名姓曰張祿ハ、後睢
曰、蓋後ノ蔡澤ヲ
誤録ト曰フ、而字號知
下仍范睢ト曰フ者ハ、
太史公ノ筆ナリ。

簀索隱曰、簀謂菜蔬之薄也、用之以裹其屍也。置廁中。賓客飲者醉更溺睢索隱曰、更音漢、溺即音所匿反。○正故。僇辱以懲後令無妄言者。睢從簀中謂守者曰。公能出我。我必厚謝公。守者乃請出。弄簀中死人。魏齊醉曰。可矣。范睢得出。後魏齊悔。復召求之。魏人鄭安平聞之。乃遂操范睢亡。伏匿。更名姓曰張祿。當此時。秦昭王使謁者王稽於魏。鄭安平詐爲卒。侍王稽。正義曰、卒。祖忽反。王稽問魏有賢人可與西游者乎。鄭安平曰。臣里中有張祿先生。欲見君。言天下事。其人有仇不敢晝見。王稽曰。夜與俱來。鄭安平夜與張祿見王稽。語未究。王稽知范睢賢。謂曰。先生待我於三亭之南。索隱曰、三亭亭名在魏境之邊道亭也。今無其處。一云魏之郊境總有三亭皆祖餞之處。如今與期三亭之南蓋送餞已畢。無人之處所也。○正義曰。括地志云三亭園在汴州尉氏縣西南三十七里。按三亭園在山部中名也。蓋園字誤爲南。

入秦至湖關、札記云、
各本湖下關字ナド、
索隱不無シ、頭意、地
關アルヲ言ハズ、水經
河水注、亦復侯ニ湖
縣ニ遇フ、文選
解嘲注、史、引、
ニ范睢ヲ載テ入リ、
ニ至ム、關字ナシ。

謁者得無與侯客子俱
來乎、謁者ハ、王稽官
謁者ナルヲ以テ之ヲ稱
セシナリ。

俗於吳郡注正義九層臺
ハ、札記云、官本臺上

與私約而去。王稽辭魏去。過載范睢入秦。至湖關。索隱曰、地理志京兆有湖縣本名胡。望見車騎從西來。范睢曰。彼來者爲誰。王武帝更名湖即今湖城也。○稽曰。今號州湖城縣也。望見車騎從西來。范睢曰。彼來者爲誰。王稽曰。秦相穰侯東行縣邑。范睢曰。吾聞穰侯專秦權。惡內諸侯客。索隱曰、內音納亦如字內猶入也。此恐辱我。我寧且匿車中。有頃穰侯果至。勞王稽。因立車而語。曰。關東有何變。曰。無有。又謂王稽曰。謁君得無與諸侯客子俱來乎。無益徒亂入國耳。王稽曰。不敢即別去。范睢曰。吾聞穰侯智士也。其見事遲。鄉者疑車中有人。忘索之。索隱曰、索、搜也。於是范睢下車走曰。此必悔之行。十餘里。果使騎還索車中。無客。乃已。王稽遂與范睢入咸陽。已報使。因言曰。魏有張祿先生。天下辯士也。曰。秦王之國危於累卵。正義曰、說苑云、晉靈公造九層臺。費用千金。謂左右

之字アリ、苟息云云、今說苑此節ナ、節聚二十四、又七十四、御覽七百五十八、引ア、故二孫息二作ル、此殆不殆也、類聚二十四、引ア、臣謂是不危也、三作、臣謂將與、類聚卷引下二兵字アリ、

當稱帝ノ電、札記云、

代齊稱帝、札記云、臣謂將與、類聚卷引下二兵字アリ、

曰敢有諫者斬、苟息聞之、上書求見、靈公怒、持矢見之、曰臣不敢諫也、臣能累十二博、塞加九雞子其上、公曰子爲寡人作之、苟息正顏色、定志意、以棊子置下、加九雞子其上、左右懼、信息、靈公氣息不續、公曰危哉、危哉、苟息曰此殆不危也、復有危於此者、公曰願見之、苟息曰九層之臺、三年不成、男不耕、女不織、國用空虛、鄰國謀將與社稷亡滅、君欲何望、靈公曰寡人之過也、乃至於此、

得臣則安、然不可以書傳也、臣故載來、秦王弗信、使舍食草具、索隱曰謂亦舍之而食以下客之具、然草具謂饘食草菜之饌具也待命歲餘、當是時、昭王已立三十六年、南拔楚之鄢郢、楚懷王幽死於秦、秦東破齊、滑王常稱帝、後去之、數困三晉、厭天下辯士、無所信、穰侯華陽君、徐廣曰華一作葉、○索隱曰穰侯謂冉宣太后之異父弟、穰縣在南陽、華陽君羊戎宣太后之同父弟、亦號爲新城君是也昭王母宣太后之弟也、而涇陽君、高陵君、皆昭王同母弟也、穰侯相、三人者更將有封邑、以太后故、私家富重於王室、及穰侯爲秦將、且欲越韓魏而伐齊、網壽欲以廣其陶封、范雎乃上書曰、臣聞明主立政、

有功者不得_レ不_レ賞、有能者不得_レ不_レ官、勞大者其祿厚、功多者其爵尊、能治衆者其官大、故無能者不敢當職焉、有能者亦不得_レ蔽隱、使以_レ臣之言爲可、願行而益利其道、以_レ臣之言爲不可、久畱_レ臣、無爲也、語曰庸主賞所愛而罰所惡、明主則不然、賞必加於有功、而刑必斷於有罪、今臣之質不足、以當樞質、索隱曰樞音陟、林反、樞者蓋樞也、質、劉刃也、謂腰斬者爲樞質也而要不足、以待斧鉞、豈敢以疑事嘗試於王哉、雖以_レ臣爲賤人、而輕辱、獨不重任、臣者之無、反復於王邪、且臣聞、周有_レ砥礪、宋有_レ結綠、梁有_レ縣黎、薛綜曰縣黎、一曰美玉楚有_レ和朴、正義曰縣音玄、劉伯莊云珍玉朴也此四寶者、土之所生、良工之所失也、而爲天下名器、然則聖王之所弄者、獨不足、以厚國家乎、臣聞善厚家者、取之

獨不信任者云云ハ、臣文信王ル者ハ、王ハ、頭之ヲ取メザルカ、言ク、蓋王種ヲ指ス、周有砥礪ハ、札記云、說文謂即砥字ナシ、秦策ニ作ル。

曰戰國策 立功。有功者不得_レ不_レ賞、有能者不得_レ不_レ官、勞大者其祿厚、功多者其爵尊、能治衆者其官大、故無能者不敢當職焉、有能者亦不得_レ蔽隱、使以_レ臣之言爲可、願行而益利其道、以_レ臣之言爲不可、久畱_レ臣、無爲也、語曰庸主賞所愛而罰所惡、明主則不然、賞必加於有功、而刑必斷於有罪、今臣之質不足、以當樞質、索隱曰樞音陟、林反、樞者蓋樞也、質、劉刃也、謂腰斬者爲樞質也而要不足、以待斧鉞、豈敢以疑事嘗試於王哉、雖以_レ臣爲賤人、而輕辱、獨不重任、臣者之無、反復於王邪、且臣聞、周有_レ砥礪、宋有_レ結綠、梁有_レ縣黎、薛綜曰縣黎、一曰美玉楚有_レ和朴、正義曰縣音玄、劉伯莊云珍玉朴也此四寶者、土之所生、良工之所失也、而爲天下名器、然則聖王之所弄者、獨不足、以厚國家乎、臣聞善厚家者、取之

爲其刺殺也、重份曰、
刺殺、蓋已、殺後、每
指之、而、明、其、カ
フズ、故、二、之、及

不概於王心邪、概、
概、作、
亡其臣者、
手、余、
謂、
ス、是、
亡、
其、
難、
永、
王、
三、
川、

莫不洒然云々、
丁曰、洒然、
ニ非、
ア、

說シテ、
接、
即、
ト、
ナ、

於國善厚國者取之於諸侯天下有明主則諸侯不得擅厚者
何也爲其割榮也索隱曰劉榮即上之遺厚謂擅權也良醫知病人之死生而聖主明
於成敗之事利則行之害則舍之疑則少嘗之雖舜禹復生弗
能改已語之至者臣不敢載之於書其淺者又不足聽也意者
臣愚而不概於王心邪徐廣曰一作既音同○索隱曰戰國策概作關謂關涉於王心也徐註音同非也亡其言臣
者賤而不可用乎索隱曰亡猶輕蔑也自非然者臣願得少賜游觀之間望
見顏色一語無效請伏斧質於是秦昭王大說乃謝王稽使以
傳車召范雎徐廣曰一云使持車○索隱曰徐按戰國策文也於是范雎乃得見於離宮正義曰長
安故城本秦離宮在雍長安北十三里也詳爲不知永巷而入其中正義曰永巷宮中獄也王來而宦者
怒逐之曰王至范雎繆爲曰秦安得王秦獨有太后穰侯耳欲

以感怒昭王昭王至聞其與宦者爭言遂延迎謝曰寡人宜以
身受命久矣會義渠之事急寡人且暮自請太后今義渠之事
已寡人乃得受命竊閔然不敏索隱曰鄙誕生本作魯然音昏又一作閔音敏閔猶昏暗也敬執賓主
之禮范雎辭讓是日觀范雎之見者羣臣莫不洒然變色易容
者徐廣曰洒先典反○索隱曰鄭玄云洒然敬肅之貌秦王屏左右宮中虛無人秦王跽而請曰
索隱曰聽其紀反聽者長跪兩膝被地先生何以幸教寡人范雎曰唯唯有閒秦王復
跽而請曰先生何以幸教寡人范雎曰唯唯若三者三秦王跽
曰先生卒不幸教寡人邪范雎曰非敢然也臣聞昔者呂尚之
遇文王也身爲漁父而釣於渭濱耳若是者交疎也已說而立
爲太師載與俱歸者其言深也故文王遂收功於呂尚而卒王

天下鄉使文王疎呂尚而不與深言。是周無天子之德，而文武無與成其王業也。今臣鬻旅之臣也，交疎於王，而所願陳者皆匡君之事。時伏太后疑侯處人骨肉之間，願效愚忠，而未知王之心也。此所以王三問而不敢對者也。臣非有畏，而不敢言也。臣知今日言之於前，而明日伏誅於後，然臣不敢避也。大王信行臣之言，死不足以為臣患，亡不足以為臣憂。漆身為厲，索隱曰：厲，音類癩病也。言漆塗身生瘡如癩病也。被髮為狂，不足以為臣恥。且以五帝之聖焉而死，三王之仁焉而死，五伯之賢焉而死，烏獲任鄙之力焉而死，成荊徐廣曰：一作羌。孟賁許慎曰：成荊古勇士孟賁，王慶忌吳越春秋曰：吳王僚子慶忌。夏育之勇焉而死，韋案漢書音義曰：或云夏育衛人力舉千鈞。死者人之所必不免也。處必然之勢，可以少有補於秦，此臣之所大願也。臣又何患哉！伍子胥囊載而出，昭關夜行，晝伏，至於陵水，無以餬其口。索隱曰：劉氏云：陵水即梁水也。陵栗聲相近，故惑也。膝行蒲伏，稽首肉袒，鼓腹吹篥，徐廣曰：一作籥。乞食於吳市，卒興吳國，闔閭為伯。使臣得盡謀如伍子胥，加之以幽囚，終身不復見，是臣之說行也。臣又何憂？箕子接輿，漆身為厲，被髮為狂，無益於主。假使臣得同行於箕子，可以有補所賢之主，是臣之大榮也。臣有何恥？臣之所恐者，獨恐臣死之後，天下見臣之盡忠而身死，因以是杜口裹足，莫肯鄉秦耳。足下上畏太后之嚴，下惑於姦臣之態，索隱曰：態，謂姦臣諂詐之志。居深宮之中，不離阿保之手，終身迷惑，無與昭姦，正義曰：昭明也。無與明其姦惡。大者宗廟滅覆，小者身以孤危。此臣之所恐耳。若夫窮辱之事，死亡之患，臣不

有即所賢之主，杜記云：杜下於字，各本脫。於字，各本脫。

下惑於姦臣，杜記云：索隱本於字。

天以寡人懸生ハ、通
絶通ニ作ル也。胡三省曰、
懸ハ之ヲ懸置ル也。謂
フナリ。漢陰曰、久
シク公ヲ開ス勿レ、即
シテナリ。ハ、札記云、蓋
奈何而言ハ、札記云、蓋
劉毛而ナクハ、二作ル、
管際テ又ト爲ス。

甘泉谷口注正陽得仙寒
仙寒者ハ、札記得仙寒
門寒門者ニ作リ、云フ
各木門ヲ仙ニ誤リ、下
山ノ下門字ト説ス、九變
上言本皆誤ヲズ。

至令閉關十五年云云、札記
雖ハ施ニ作、云フ、索
隱ハ施ニ作、後人改ム
本施ニ作、後人改ム
ル所ト、按施ハ延ナリ。

至令閉關十五年云云、
魏大所曰、范雎策ニ説
ク明王廿六年ニ在リ、
是時秦白起ヲ用ヒ、趙
魏及ビ楚ヲ破ル者、秦ナ
リ、而テ韓侯方ニ兵ヲ
出シテ、網壽ヲ攻ム、安
ンシテ閉關十五年ノト
アランヤ。

辟地千里注正義尺亦
反、札記云、尺疑フ當
ニ匹、作ルヘシ、蓋俗
正ニ作リ、形近ランテ
誤ス。

敢畏也。臣死而秦治。是臣死賢於生。秦王跽曰：先生是何言也。夫秦國僻遠，寡人愚不肖，先生乃幸辱至於此。是天以寡人愆先生。徐廣曰：亂先生也。音潤。○索隱曰：二字竝音胡困反，恩猶汨亂之意。而存先王之宗廟也。寡人得受命於先生，是天所以幸先王而不弃其孤也。先生奈何而言若是。事無小大，上及太后，下至大臣，願先生悉以教寡人，無疑寡人也。范雎拜。秦王亦拜。范雎曰：大王之國四塞以爲固，北有甘泉谷口。正義曰：括地志云：甘泉山一名鼓原，俗名磨石嶺，在雍州雲陽縣西北九十里。關中記云：甘泉宮在甘泉山上年代永久無復甘泉之名，失其實也。宮北有連山，土人爲磨石嶺。郊祀志云：公孫卿言黃帝得仙，寒仙寒者，谷口也。按九變山中西謂之谷口，即古寒門也。在雍州醜泉縣東北四十里。南帶涇渭，右隴蜀，左關阪，奮擊百萬，戰車千乘，利則出攻，不利則入守。此王者之地也。民怯於私鬪而勇於公戰。此王者之民也。王并此二者而有

之。夫以秦卒之勇，車騎之衆，以治諸侯，譬若馳韓盧而搏蹇兔也。索隱曰：戰國策云：韓盧者，天下之壯犬也。是韓盧爲犬，謂施韓盧而搏蹇兔也。喻秦強言取諸侯之易也。霸王之業可致也。而羣臣莫當其位。至今閉關十五年，不敢窺兵於山東者，是穰侯爲秦謀不忠，而大王之計有所失也。秦王跽曰：寡人願聞失計。然左右多竊聽者，范雎恐未敢言內，先言外事以觀秦王之俯仰。因進曰：夫穰侯越韓魏而攻齊，網壽非計也。少出師則不足以傷齊，多出師則害於秦。臣意王之計欲少出師而悉韓魏之兵也，則不義矣。今見與國之不親也，越人之國而攻，可乎。其於計疎矣。且昔齊湣王南攻楚，破軍殺將，再辟地千里。正義曰：辟尺亦反。而齊尺寸之地無得焉者，豈不欲得地哉。形勢不能有也。諸侯見齊

今夫韓魏中國之處云云
ハ、字坤曰、始ニシテ
韓魏ニ親ム者、陽ニシテ
三子ヘ、以テ楚趙聯
屬スルノ地ヲ爲シ、因
テ以テ齊ヲ招クナリ、
楚趙齊既ニ日ニ内附ス
レバ、則チ韓魏ニ入リ
レバ、彼三國亦我ニ親
ズル也、此亦從テ破ル
ノ術ナリ、未ダ幾クナ
ラズ、而テ魏ヲ拔キ、
韓ヲ收ム、齊木ク奪テ

借張兵齊發韓、札結齊
上而字アリ、云フ范雎
毛本而字アリ、范雎本
ト合ス。

之罷弊。君臣之不和也。興兵而伐齊。大破之。士辱兵頓。皆咎其
王曰。誰爲此計者乎。王曰。文子爲之。案隱曰。謂田文孟嘗君也。猶戰國
策謂田盼田嬰爲盼子嬰子也。大
臣作亂。文子出走。一本作奔。故齊所以大破者。以其伐楚而肥韓魏也。此
所謂借賊兵。齎盜糧者也。案隱曰。借音子夜反。一作籍亦音
同。齊音側。矣反。言爲盜齎糧也。王不如遠交
而近攻。得寸則王之寸也。得尺亦王之尺也。今釋此而遠攻。不
亦繆乎。且昔者中山之國。地方五百里。趙獨吞之。功成名立。而
利附焉。天下莫之能害也。今夫韓魏。中國之處。而天下之樞也。
王其欲霸。必親中國。以爲天下樞。以威楚趙。楚彊則附趙。趙彊
則附楚。楚趙皆附。齊必懼矣。齊懼必卑。辭重幣以事秦。齊附。而
韓魏因可虜也。昭王曰。吾欲親魏久矣。而魏多變之國也。寡人

之二親ムニ及バザレナ
リ。

木之有蠹也。柱石柱也。
札記云。石柱ヲ當ニ蠹
ニ作ルベシ。上如字ニ
涉テテ誤。

國斷而爲三。注正義宜陽
令。札記令字ナシ。云

不能親請。問親魏。奈何。對曰。王卑詞。重幣。以事之。不可。則割地
而賂之。不可。因舉兵而伐之。王曰。寡人敬聞命矣。乃拜范雎爲
客卿。謀兵事。卒聽范雎謀。使五大夫綰伐魏。拔懷。徐廣曰。昭王
三十九年。後
二歲。拔邢丘。客卿范雎復說昭王曰。秦韓之地形。相錯如繡。秦
之有韓也。譬如木之有蠹也。正義曰。音
妬石柱也。人之有心腹之病也。天下
無變則已。天下有變。其爲秦患者。孰大於韓乎。王不如收韓。昭
王曰。吾固欲收韓。韓不聽。爲之奈何。對曰。韓安得無聽乎。王下
兵而攻滎陽。則鞏成臯之道不通。正義曰。言宜陽陝也。
之師不得下相救。北斷太行之
道。則上黨之師不下。正義曰。言澤路之師。
不得下太行相救。王一興兵而攻滎陽。則其
國斷而爲三。正義曰。新鄭已南一。
宜陽令二。澤路三。夫韓見必亡。安得不聽乎。若韓聽

下令字ナ行ス、考證附ル。
齊之有田文、札記云、張載注魏張氏、引田單二作ル。

利權於陶國弊御於諸侯、札記云、策ノ總注ニ據レ、則陶字起句也、吳氏別篇ニ據、云フ利處於國、陶之弊

而霸事因可慮矣。王曰善。且欲發使於韓。范雎曰。益親復說用數年矣。因請閒說曰。正義曰。明音閑。臣居山東時聞齊之有田文不聞其有王也。聞秦之有太后穰侯華陽高陵涇陽不聞其有王也。夫擅國之謂王。能利害之謂王。制殺生之威之謂王。今太后擅行不顧。穰侯出使不報。華陽涇陽等擊斷無諱。諱畏也。高陵進退不請。四貴備而國不危者未之有也。爲此四貴者下。乃所謂無王也。然則權安得不傾。令安得從。王出乎。臣聞善治國者。乃內固其威。而外重其權。穰侯使者操王之重。決制於諸侯。剖符於天下。政適伐國。徐廣曰。政適音征敵。莫敢不聽。戰勝攻取。則利歸於陶國。弊御於諸侯。索隱曰。弊者斷也。御者制也。言穰侯執權以制御主斷於諸侯也。戰敗則結怨於百姓。而禍歸於

高陵入太后之家ト、疑フ此欲取アリ。
韓曰木實繁者云云ハ、穰田惟高曰、詩恐ラクハ藤ノ節ナリ、披ハ折ナリ。

見王獨立於朝、札記云、竊見ナリ是ニ作ル。

社稷。詩曰。木實繁者披其枝。正義曰。披音片。披反。披其枝者傷其心。大其都者危其國。尊其臣者卑其主。崔杼淖齒管齊。索隱曰。淖姓也。魯尼教反。漢有淖姬是也。高誘曰。管典也。言二人典齊權而行弒逆也。射王股擢王筋。索隱曰。言射王股誤也。按崔杼射○正義曰。淖齒楚人。齊湣王臣。莊公之股。淖齒縮湣王之筋是說二君。縣之於廟梁。宿昔而死。李兌管趙。囚主父於沙丘。正義曰。沙丘鄉縣東北三十里。臺在邢州平佐之卒無秦王。此亦淖齒李兌之類也。且夫三代所以亡國者。君專授政。縱酒馳騁。弋獵不聽政事。其所授者。妬賢嫉能。御下蔽上。以成其私。不爲主計。而主不覺悟。故失其國。今自有秩以上。至諸大吏。下及王左右。無非相國之人者。見王獨立於朝。臣竊爲王恐。萬世之後有秦國者。非王子孫也。昭王聞之大懼。曰

善於是廢太后逐穰侯高陵華陽涇陽君於關外秦王乃拜范雎爲相收穰侯之印使歸陶因使縣官給車牛以徙千乘有餘到關關閱其寶器寶器珍怪多於王室秦封范雎以應號爲應侯索隱曰劉氏云河東臨晉有應亭則秦地有應也又案本紀以應爲太后養地解者公云當是時秦昭王四十一年也范雎既相秦秦號曰張祿而魏不知以爲范雎已死久矣魏聞秦且東伐韓魏魏使須賈於秦范雎聞之爲微行敝衣間步之邸正義曰劉云諸國客館見須賈須賈見之而驚曰范叔固無恙乎范雎曰然須賈笑曰范叔有說於秦耶曰不也唯前日得過於魏相故亡逃至此安敢說乎須賈曰今叔何事范雎曰臣爲人庸貨須賈意哀之謂與坐飲食曰范叔一寒

唯唯亦得賜。札記云唯唯之難上爲ス。

如此哉乃取其一綈袍以賜之索隱曰綈厚絰也音暗蓋今之繩也○正義曰今之纈袍須賈因問曰秦相張君公知之乎吾聞幸於王天下之事皆決於相君今吾事之去留在張君孺子豈有客習於相君者哉索隱曰劉氏云孺子蓋謂唯爲小子范雎曰主人翁習知之唯唯亦得謁唯請爲君見於張君須賈曰吾馬病車軸折非大車駟馬吾不出范雎曰願爲君借大車駟馬於主人翁范雎歸取大車駟馬爲須賈御之入秦相府府中望見有識者皆避匿須賈怪之至相舍門謂須賈曰待我我爲君先入通於相君須賈待門下持車良久問門下曰范叔不出何也門下曰無范叔須賈曰鄉者與我載而入者門下曰乃吾相張君也須賈大驚自知見賣乃肉袒膝行因門下人謝罪於

擢賈之髮以續賈之罪尚
未足方也曰北齊擢致
相近之髮以續之
或曰髮者擢之而之
之髮也向以之其罪
之髮也此比之足
之髮也

是范雎盛帷帳侍者甚衆見之須賈頓首言死罪曰賈不意君能自致於青雲之上賈不敢復讀天下之書不敢復與天下之事賈有湯鑊之罪請自屏於胡貉之地唯君死生之范雎曰汝罪有幾曰擢賈之髮以續賈之罪續言並用尚未足范雎曰汝罪有三耳昔者楚昭王時而申包胥爲楚卻吳軍楚王封之以荆五千戶包胥辭不受爲丘墓之寄於荆也今雎之先人丘墓亦在魏公前以雎爲有外心於齊而惡雎於魏齊公之罪一也當魏齊辱我於廁中公不止罪二也更醉而溺我公其何忍乎罪三矣然公之所以得無死者以綈袍戀戀有故人之意故釋公乃謝罷入言之昭王罷歸須賈須賈辭於范雎范雎大供具盡請諸侯

范雎豆其前則三也曰
范雎寸斬以馬二
二種之豆以馬二
豆
又范雎豆兩物也

使與坐堂上食飲甚設而坐須賈於堂下置莖豆其前俱復令兩黥徒夾而馬食之數曰爲我告魏王急持魏齊頭來不然者我且屠大梁須賈歸以告魏齊魏齊恐亡走趙伏後案匿平原君所范雎既相王稽謂范雎曰事有不可知者三有不可奈何者亦三宮車一日晏駕應劭曰天子當晏起早作如方崩須故稱晏駕車昭曰凡初崩爲晏駕者臣子之心猶謂宮車當親而晚出是事之不可知者一也君卒然捐館舍是事之不可知者二也使臣卒然填溝壑是事之不可知者三也宮車一日晏駕君雖恨於臣無可奈何君卒然捐館舍君雖恨於臣亦無可奈何使臣卒然填溝壑君雖恨於臣亦無可奈何范雎不擇乃入言於王曰非王稽之忠莫能內臣於函谷關非大王之賢聖莫能貴臣今臣官至

不上計注凡郡長治民
札罷郡家治民二作ル
云フ宋本毛本ト、據漢
百官志ト合ス、各本奉
ナ長ニ誤ス。

睡毗之怨必報ハ、方苞
曰、目ヲ怒ラシ相視ル
ノ怨モ亦報ズルナリ。

高平注正義秦時、札記
春秋時ニ作ル、云フ各
本秦ニ誤ル考證改ム。

於相爵在列侯。王稽之官尚止於謁者。非其內臣之意也。昭王
召王稽拜爲河東守。三歲不上計。略伏按案 司馬彪曰凡郡長治民進賢勸功決訟

之絕秋冬遺無害吏。案訊問諸囚。時伏按案 檢姦常以春行所至縣勸民農桑振救

是散家財物。盡以報所嘗困辱者。一飯之德必償。睡毗之怨必

報。索隱曰睡音崖賣反毗音士賈 范雎相秦二年秦昭王之四十二年

東伐韓少曲。徐廣曰蘇代曰起少曲一日而斷太 高平拔之。正義曰括地志云

在平原君所欲爲。范雎必報其仇。乃詳爲好書遺平原君曰。寡

人聞君之高義。願與君爲布衣之友。君幸過寡人。寡人願與君

爲十日之飲。平原君畏秦。且以爲然。而入秦。見昭王。昭王與平

平原君曰貴而爲友者
札記友ヲ交ニ作ル云
フ索隱本交。各本友ニ
作ル。雜志云。謀事交
字。或ハ友ニ作ル。又
下勝之友ニ因テ誤ル。
昭王乃遣趙王書曰王之
弟在秦。錢大昕曰。是
歲昭王四十二年。即趙
孝成王ノ元年ナリ。平
原君ハ惠文王ノ弟ト爲
ス。孝成ニ於テ叔父ト
爲ス。惠文已ニ殺ス。
當ニ更ニ弟ト稱ス。カ
ラス。

原君飲數日。昭王謂平原君曰。昔周文王得呂尚。以爲太公。齊
桓公得管夷吾。以爲仲父。今范君亦寡人之叔父也。范君之仇
在君之家。願使人歸取其頭來。不然。吾不出君於關。平原君曰。
賢而爲友者。爲賤也。富而爲交者。爲貧也。索隱曰上爲如字下爲音于
僞反以言富貴而結交情深

者。爲有貧賤之
時不可忘之也。夫魏齊者。勝之友也。在固不出也。今又不在于臣。所昭

王乃遣趙王書曰。王之弟在秦。范君之仇。魏齊在平原君之家。

王使人疾持其頭來。不然。吾舉兵而伐趙。又不出王之弟於關。

趙孝成王乃發卒圍平原君家。急魏齊夜亡。出見趙相虞卿。虞

卿度趙王終不可說。乃解其相印與魏齊亡。間行。念諸侯莫可

以急抵者。乃復走大梁。欲因信陵君以走楚。信陵君聞之。畏秦。

人固未易知，知人亦未易也。上句，他人二屬也。人，上句者，人二屬也。人，下句者，非人。人，下句者，非人。亦未易知也。

猶豫未肯見曰虞卿何如人也時侯嬴在旁曰人固未易知知人亦未易也夫虞卿躡屣擔簦一見趙王賜白璧一雙黃金百鎰再見拜爲上卿三見卒受相印封萬戶侯當此之時天下爭知之夫魏齊窮困過虞卿虞卿不敢重爵祿之尊解相印捐萬戶侯而閒行急士之窮而歸公子公子曰何如人人固不易知知人亦未易也信陵君大慙駕如野迎之魏齊聞信陵君之初難見之怒而自到趙王聞之卒取其頭予秦秦昭王乃出平原君歸趙昭王四十三年秦攻韓汾陘拔之索隱曰陘音邢陘蓋在韓之西界與汾相近也○正義曰按陘庭故城在絳州曲沃縣西北二十里汾水之陽因城河上廣武索隱曰劉氏云此河上蓋近河後五年昭王用應侯謀縱反間賣趙趙以其故令馬服子代廉頗將索隱曰

馬服子注案曰馬服子趙括之號也虞喜志林云馬服子之弟也號曰馬服者言能服馬也鄒氏順音正波反

曰馬服子趙括之號也虞喜志林云馬服子之弟也號曰馬服者言能服馬也鄒氏順音正波反而與武安君白起有隙言而殺之徐廣曰在五十一年○索隱曰一本作國任鄭安平使將擊趙鄭安平爲趙所困急以兵二萬人降趙應侯席蓐請罪秦之法任人而所任不善者各以其罪罪之於是應侯罪當收三族秦昭王恐傷應侯之意乃下令國中敢言鄭安平事者以其罪罪之而加賜相國應侯食物日益厚以順適其意後二歲王稽爲河東守與諸侯通坐法誅徐廣曰五十二年而應侯日益以不懌昭王臨朝歎息應侯進曰臣聞主憂臣辱主辱臣死今大王中朝而憂臣敢請其罪昭王曰吾聞楚之鐵劔利而倡優拙正義曰論士能善卒不戰夫鐵劔利則士勇倡優拙則思慮遠夫以遠思慮

而御勇士。吾恐楚之圖秦也。夫物不素具。不可以應卒。今武安君既死。而鄭安平等畔。內無良將。而外多敵國。吾是以憂。欲以激勵應侯。索隱曰。激音擊。應侯懼。不知所出。蔡澤聞之。往入秦也。

蔡澤者燕人也。游學于諸侯。小大甚衆。正義曰。不待禮曰干。不遇而從。唐舉

相。荀卿曰。梁有唐舉。○索隱曰。荀卿書作唐莧。曰吾聞先生相。李兌曰。百日之內。持國秉政。

有之乎。索隱曰。按左傳云。國子實執齊乘服虔曰。乘榘柄也。曰有之。曰若臣者何如。唐舉執視而

笑。曰。先生曷鼻巨肩。徐廣曰。曷一作偻。偻一作仰。巨一作渠。○索隱曰。曷鼻謂鼻如鷓鴣也。巨肩。肩巨於項也。蓋項低而肩豎也。曷其例反。

醜顏蹙鼻膝。蹙。學。兩膝曲也。徐廣曰。一作率。○索隱曰。上醜音徒。同反。醜顏謂顏貌。蹙。同若。蹙。恬然也。爾音鳥。曷反。蹙。謂鼻蹙。膝。謂膝又學曲也。

吾聞聖人不相。殆先生乎。蔡澤知唐舉戲之。乃曰。富賢吾所自有。吾所不知者壽也。願聞之。唐舉曰。先生之壽。從今以往者四

從唐舉相ノ相、人相ヲ觀ルナリ。札記云。持國秉政ハ、札記持國秉ニ作ル。云々。索隱本此三字ヲ出ス。各本下ニ政字アリ。雜志云。後人ノ妄増ナリ。御苑人等引テ政字ナシ。

醜顏注索隱曰。上蹙ハ、札記云。上字。尙ナシ。ソレハ、按ニ蹙ハ、小ハ赤黃色ナリ。注醜顏ハ、猶醜也。如シ。駐大ノ意ナリ。

持梁刺齒肥ハ、梁ハ當ニ梁ニ作ルベシ。注同ジ。刺齒ハ、札記云。二字。切音三百八十三。又七百二十九。引テ並ニ梁ニ作ル。

秦王必困君。札記云。秦王ニ字疑フ所ナラン。

子常宣言。札記云。御覽四百六十三。元龜八

十三歲。蔡澤笑謝而去。謂其御者曰。吾持梁刺齒肥。持梁。作飯也。刺齒。二字當作齧。又作齧也。○索隱曰。持梁。謂作梁米飯。而持其器以食也。刺齒。肥當爲齧。肥謂食肥肉也。躍馬疾驅。懷黃金之印。結紫綬。

於要。揖讓。人主之前。食肉富貴。四十三年。足矣。去之。趙見逐。入

韓魏。遇奪。釜鬲。於塗。爾雅曰。欸。足者謂之高。郭璞曰。鼎曲。○索隱曰。釜。音父。鬲。音歷。欸者。空也。言其足中空也。而郭氏云。鼎曲。則以欸訓曲。故云。略接上。

聞應侯任鄭安平王稽。皆負重罪。於秦。應侯內慙。蔡澤乃

西入秦。將見昭王。使人宣言以感怒應侯。曰。燕客蔡澤。天下雄

俊。弘辯智士也。彼一見秦王。秦王必困君。而奪君之位。應侯聞

曰。五帝三代之事。百家之說。吾既知之。衆口之辯。吾皆摧之。是

惡能困我。而奪我位乎。使人召蔡澤。蔡澤入。則揖應侯。應侯固

不快。及見之。又倨。應侯因讓之。曰。子常宣言。欲代我相。秦寧有

不快。及見之。又倨。應侯因讓之。曰。子常宣言。欲代我相。秦寧有

百九十六、引、世、二、書、
作、今、本、當、二、作、也、誤、
蔡澤曰、呼、孔安國曰、
夫四時之序、成功者去、
胡三省曰、春、入、生、之、
夏、入、長、之、秋、入、收、之、
冬、入、閉、藏、之、各、其、
功、也、成、之、而、不、相、代、
スルヲ謂フ、札記、三、御、
覽、引、テ、下、二、未、成、者、來、
ノ四字アリ、

澤流千里世稱之而無
絕札記、案、澤流千
世稱之而無絕、作、
是ナリ、

之乎。對曰。然。應侯曰。請聞其說。蔡澤曰。君何見之晚也。夫四
時之序。成功者去。夫人生百體堅彊。手足便利。耳目聰明。而心
聖智。豈非士之願與。應侯曰。然。蔡澤曰。質仁秉義。行道施德。得
志於天下。天下懷樂敬愛。而尊慕之。皆願以爲君王。豈不辯智
之期與。應侯曰。然。蔡澤復曰。富賢顯榮。成理萬物。使各得其所。
性命壽長。終其天年。而不夭傷。天下繼其統守。其業傳之無窮。
名實純粹。澤流千里。徐廣曰。一本無此字。世世稱之。而無絕。與天地終始。豈
道德之符。而聖人所謂吉祥善事者與。應侯曰。然。蔡澤曰。若夫
秦之商君。楚之吳起。越之大夫種。其卒然亦可願與。應侯知蔡
澤之欲困己。以說。式細復謬曰。何爲不可。夫公孫鞅之事。孝公

也。極身無貳慮。盡公而不顧私。設刀鋸以禁奸邪。信賞罰以致
治。披腹心。示情素。蒙怨咎。欺舊友。奪魏公子印。安秦社稷。利百
姓。卒爲秦禽將。破敵。攘地千里。吳起之事。悼王也。使私不得害
公。諶不得蔽忠。言不取苟合。行不取苟容。不爲危易行。行義不
辟難。徐廣曰。一云。不困毀譽。然爲霸主。強國。不辭禍凶。大夫種之事。越王也。
主雖困辱。悉忠而不解。主雖絕亡。盡能而弗離。成功而弗矜。賢
富而不驕怠。若此三子者。固義之至也。忠之節也。是故君子以
義死。難視死如歸。生而辱不如死。而榮。士固有殺身以成名。唯
義之所在。雖死無所恨。何爲不可哉。蔡澤曰。主聖臣賢。天下之
盛福也。君明臣直。國之福也。父慈子孝。夫信妻貞。家之福也。故

以其君父為僇辱注索隱云云。說雅曰。僇辱ノ解。本文ト同ウカフ。ズト。然レ僇亦辱ナリ。其君父ヲ以テ僇辱ノ人ト爲スナリ。

周公輔成王也。豈不亦聖乎。札記帶上忠字アリ。

比于忠而不能存股。子胥智而不能完吳。申生孝而晉國亂。是皆有忠臣孝子。而國家滅亂者。何也。無明君賢父以聽之。故天下以其君父為僇辱。而憐其臣子。索隱曰。言以比于子胥申生。皆至忠孝而見誅放。故今天下言為其君父之所憐而憐其臣子也。今商君吳起大夫種之為。人臣是也。其君非也。故世稱三子致功。而不見德。豈慕不遇世死乎。夫待死而後可以立忠成名。是微子不足仁。孔子不足聖。管仲不足大也。夫人之立功。豈不期於成全邪。身與名俱全者。上也。名可法而身死者。其次也。名在僇辱而身全者。下也。於是應侯稱善。蔡澤少得聞。因曰。夫商君吳起大夫種。其為人臣。盡忠致功。則可願矣。閔天事文王。周公輔成王也。豈不亦聖乎。以君臣論之。商君吳起大夫種。其

云。王柯按本字字アリ。説ス。

可願。孰與閔天周公哉。應侯曰。商君吳起大夫種弗若也。蔡澤曰。然則君之主。慈仁任忠。醇厚舊故。其賢智與有道之士為膠漆。義不倍功臣。孰與秦孝公。楚悼王。越王乎。應侯曰。未知何如也。蔡澤曰。今主親忠臣。不過秦孝公。楚悼王。越王。君之設智能。為主安危。修政治。亂疆兵。批患折難。索隱曰。批音白結反。又音墨難反。批忠謂擊而卻之折音之列反。地殖穀富國。足家彊。主尊社稷。顯宗廟。天下莫敢欺犯其主。主之威蓋震海內。功彰萬里之外。聲名光輝。傳於千世。君孰與商君吳起大夫種。應侯曰。不若。蔡澤曰。今主之親忠臣。不忘舊故。不若孝公。悼王。句踐。而君之功績。愛信親幸。又不若商君吳起大夫種。然而君之祿位賢盛。私家之富過於三子。而身不退者。

恐患之甚於三子竊為君危之語曰日中則移月滿則虧物盛則衰天地之常數也進退盈縮與時變化聖人之常道也故國有道則仕國無道則隱聖人曰飛龍在天利見大人不義而富且賢於我如浮雲今君之怨已讎而德已報意欲至矣而無變計竊為君不取也且夫翠鶴犀象其處勢非不遠死也而所以死者惑於餌也蘇秦智伯之智非不足以辟辱遠死也而所以死者惑於貪利不止也是以聖人制禮節欲取於民有度使之以時用之有止故志不溢行不驕常與道俱而不失故天下承而不絕昔者齊桓公九合諸侯一匡天下至於葵丘之會有驕矜之志畔者九國吳王夫差兵無敵於天下勇彊以輕諸侯陵

三六三

齊晉故遂以殺身亡國夏育太史噉叱呼駭三軍徐廣曰呼一作噉者夏育實育也噉音倅

然而身死於庸夫索隱曰高誘云夏育為田搏所殺然太史噉未知誰之所殺恐非齊襄王時太史也

此皆乘至盛而不返道理不居卑退處儉約之患也夫商君為

秦孝公明法令禁姦本尊爵必賞有罪必罰平權衡正度量調

輕重決裂阡陌以靜生民之業而一其俗勸民耕農利土一室

無二事力田稽積習戰陳之事是以兵動而地廣兵休而國富

故秦無敵於天下立威諸侯成秦國之業功已成矣而遂以車

裂楚地方數千里持戟百萬白起率數萬之師以與楚戰一戰

舉鄢郢以燒夷陵再戰南并蜀漢又越韓魏而攻彊趙北坑馬

服誅屠四十餘萬之衆盡之於長平之下流血成川沸聲若雷

遂入圍邯鄲。使秦有帝業。楚趙天下之疆國。而秦之仇敵也。自是之後。楚趙皆懾伏。不敢攻秦者。白起之勢也。身所服者。七十餘城。功已成矣。而遂賜劔。死於杜郵。吳起爲楚。悍王立法。卑滅大臣之威重。罷無能。廢無用。損不急之官。塞私門之請。一楚國之俗。禁游客之民。精耕戰之士。南收楊越。北并陳蔡。破橫散從。使馳說之士。無所開其口。禁朋黨。以勵百姓。定楚國之政。兵震天下。威服諸侯。功已成矣。而卒枝解。大夫種爲越王深謀遠計。免會稽之危。以亡爲存。因辱爲榮。墾草入邑。索隱曰。劉氏云。入猶充也。謂招誘離散。充滿城邑也。辟地殖穀。率四方之士。專上下之力。輔句踐之賢。報夫差之讎。卒擒勁吳。令越成霸。功已彰而信矣。句踐終負而殺之。此四子

三六四

三六五

或欲大投或欲分功ハ、
戰國策注云、大投ハ全
勝ヲ謂フナリ、分功ハ
勝者ノ獲ル所ヲ分ツナ
リ。

者功成。不去。禍至於此。此所謂信而不能訓。往而不能返者也。
索隱曰。信音申。訓音
屈。謂志已展而不退。范蠡知之。超然辟世。長爲陶朱公。君獨不觀夫
博者乎。或欲大投。或欲分功。班固奕指曰。博。縣於投。不必在行。謂投投還也。○
索隱曰。言夫博奕。或欲大投。其致以致勝。或觀其勢
弱則大投。地分而分功。以遺救事。具小
爾雅。方言云。所以投博。謂之稱。稱。局也。此皆君之所明知也。今君相秦。計不
下。席謀不出。廊廟坐制諸侯。利施三川。以實宜陽。正義曰。施猶展也。
言伐得三川之地。
以實宜陽。言展
開三川實宜陽。沃羊腸之險。塞太行之道。又斬范中行之塗。六國不
得合從。棧道千里。通於蜀漢。使天下皆畏秦。秦之欲得矣。君之
功極矣。此亦秦之分功之時也。如是而不退。則商君白公。徐廣曰。
白起。
吳起大夫種是也。吾聞之。鑿於水者。見而之容。鑿於人者。知吉
與凶。書曰。成功之下。不可久處。四子之禍。君何居焉。君何不

此時歸相印。讓賢者而授之。退而巖居川觀。必有伯夷之廉。長爲應侯。世世稱孤。而有許由延陵季子之讓。喬松之壽。孰與以禍終哉。卽君何居焉。忍不能自離。疑不能自決。必有四子之禍矣。易曰。亢龍有悔。此言上而不能下。信而不能誦。往而不能自返者也。願君孰計之。應侯曰。善。吾聞欲而不知止。失其所以欲。有而不知足。失其所以有。先生幸教。唯敬受命。於是乃延入坐。爲上客。後數日入朝。言於秦。昭王曰。客新有從山東來者。曰蔡澤。其人辯士。明於三王之事。五伯之業。世俗之變。足以寄秦國之政。臣之見人甚衆。莫及臣不如也。臣敢以聞。秦昭王召見。與語。大說之。拜爲客卿。應侯因謝病。請歸相印。昭王慨起。應侯應

吾聞欲而不知止云云。
札記云。止是二字。五
二誤。是下欲下韻ナ
止下有韻ナリ。

侯遂稱病篤。范雎免相。昭王新說蔡澤。計畫遂拜爲秦相。東收周室。蔡澤相。秦數月。人或惡之。懼誅。乃謝病。歸相印。號爲綱成君。居秦十餘年。事昭王。孝文王。莊襄王。卒。事始皇帝。爲秦使於燕。三年而燕使太子丹入質於秦。

長袖善舞多錢善賈ハ、
二人奈ノ惡ニ因リ其
功ヲ成スヲ得ニ喻フ
ルナリ。
所謂一切辯士ハ、網
世家也。所謂一切功臣
秦曰一切入質例
同時ノ如キナリ。

太史公曰。韓子稱。長袖善舞。多錢善賈。信哉是言也。范雎蔡澤。世所謂一切辯士。然游說諸侯。至白首無所遇者。非計策之拙。所爲說力少也。及二人羈旅入秦。繼踵取卿相。垂功於天下者。固疆弱之勢異也。然士亦有偶合賢者多。如此二子。不得盡意。豈可勝道哉。然二子不困。屢惡能激乎。
索隱曰。二子。范雎蔡澤也。唯厄於齊。折脊摺齒。澤困於趙。被逐奔高。是也。惡音烏。激音擊。

索隱述贊曰。應侯始困託哉而西說行計立。賞平寵權倚秦市趙卒。報魏齊。綱成辯智。范雎招攜。勢利傾奪。一言成蹊。

蘇子古史曰。范雎相秦。其所以利秦者少。而害秦者多。以魏冉之專。忘其奮勳而逐之可也。並逐宣太后。使昭王以子絕母。不已甚乎。宣太后之於秦。非鄭武姜莊襄后之惡也。鄭武姜莊襄后。猶不可絕。而雎絕之。獨不愧。類考叔茅焦乎。及雎任秦事。殺自起。而用王稽鄭安平。使民怨於內。兵折於外。曾不若魏冉之一二。以予觀之。范雎蔡澤。自爲身謀。取卿相可耳。未見有益於秦也。

楊維禎曰。應侯入秦。退四貴。而攫取其相。如探物篋中。及殿位既盛。則又不以四貴爲戒。必俟夫澤之再三辨說。而後謝病。譬之奕也。觀局則明。當局則憚。應侯之退已合。退子請藥。賜死之時。而律死不退。使非澤乘其日昃之勢。吾固未知其死所。吾尤取澤之善說近道。不必攻雎于王。而攻雎于雎。亦以雎可言威。而澤之言。又足以驚雎者。故雎決于去。而不俟夫逐也。及澤代雎。不數月。卽轆然引去。又不俟逐雎者。送我。優游于秦。以封君。介終若澤者。不謂之哲人乎。

黃震曰。范雎以口舌攘穰侯之位。而蔡澤復以口舌攘之。雎所謂螳螂捕蟬。黃雀在後也。然穰侯以君臣骨肉之親。則雎攘之也難。范雎當君臣疑阻之際。則澤攘之也易。雎遣交近攻之策。真有益於秦。澤特羈旅之餘。竊當貴耳。澤始非雎以離閒昭王母子兄弟而得之。澤勸雎功成身退。其心雖私。而論則正矣。

羅大經曰。范雎蔡澤。皆辯士也。太史公以之述傳。然雎傾危。澤明坦。雎幽險詭秘。危入骨肉。全是小人意態。澤方入關。便宜言代雎。至其所以告雎者。皆消息盈虛之正理。唯

三六九

三六九

必俟澤反覆以禍福曉之。乃肯退。澤爲秦相數月。卽告老。爲客卿。以養進退。澤客過。雖遠甚。雖然。後之君子。固權吝寵。如狡兔之專窟。如猩猩之嗜酒。老死而不知止。受禍而不知覺者。是又在范雎下矣。

董份曰。蔡澤說應侯。而奪之位。其辯雄矣。然以功成當去。志得當止。則亦天下之至理也。故應侯聽之。而澤一因人讒。遂弄相印。與雎亦不旋踵。蓋不徒言而已。以秦之少恩。而二子翩然。皆能免于刑。慶善保終始。詩曰。惟其有之。是以似之。二子之謂矣。余謂戰國之士。有不可及者。蓋如此。而澤尤高。其振世之傑哉。

史記評林卷之七十九終

三七〇

史記評林卷之八十

三七一

樂毅列傳第二十

樂毅者其先魏曰樂羊云云ハ、方苞曰、樂氏實多シ、故ニ其前後世襲ヲ詳ニシ、因テ以テ奪法ト爲ス。

聞燕昭王以子之之亂云云ハ、凌稚隆曰、太史公詳ニ樂毅燕ニ入ル始末ヲ敘ス、蓋蘇他日燕惠王ニ違ル聲ノ源本ト爲ス。

樂毅者其先祖曰樂羊。樂羊爲魏文侯將，伐取中山。正義曰：魏文侯封樂羊以靈壽。徐廣曰：屬常山。○索隱曰：地理志常山有靈壽縣。中山，桓公所都之地。○正義曰：今鎮州靈壽。樂羊死，葬於靈壽。其後子孫因家焉。中山復國，至趙武靈王時，復滅中山。

索隱曰：中山，魏雖滅之，尚不絕祀。故後更復國。至趙武靈王又滅之也。而樂氏後有樂毅。樂毅賢，好兵。趙人舉之，及武靈王有沙丘之亂。徐廣曰：趙有沙丘宮，近鉅鹿。乃去趙，適魏。聞燕昭王

以子之之亂，而齊大敗，燕昭王怨齊，未嘗一日而忘報齊也。燕國小辟遠，力不能制，於是屈身下士，先禮郭隗。正義曰：說苑云：燕昭問於隗曰：寡人

地狹民寡齊人取衛八城匈奴驅馳樓煩之下以孤之不肖得承宗廟恐社稷危存之有道乎
陳曰帝者之臣其名臣其實師王者之臣其名臣其實友衛者之臣其名臣其實實危國之臣
其名臣其實虜今王將自東而目指氣使以求臣則斷殺之才至矣南面聽朝不失揖讓之理
以求臣則人臣之才至矣北面等禮不乘之以勢以求臣則朋友之才至矣西面邊巡以求臣
則師傅之才至矣誠欲與王霸同道陳請 以招賢者樂毅於是為魏昭王使
為天下之士開路於是常置陳為上客

於燕燕王以客禮待之樂毅辭讓遂委質為臣燕昭王以為亞
卿久之當是時齊湣王疆南敗楚相唐昧於重丘索隱曰味音莫焉反地理志重丘縣
名屬平原○正義曰 西摧三晉於觀津索隱曰地理志觀津縣名屬信都漢初屬
在冀州城武縣界清河也○正義曰在冀州武邑縣東南二

十五 遂與三晉擊秦助趙滅中山破宋廣地千餘里與秦昭王
爭重為帝已而復歸之諸侯皆欲背秦而服於齊湣王自矜百
姓弗堪於是燕昭王問伐齊之事樂毅對曰齊霸國之餘業也
地大人衆未易獨攻也王必欲伐之莫如與趙及楚魏於是使

南齊趙得唐昧於重丘注
索隱曰平原禮記云
魯取之平原禮記云
魯取之平原禮記云
魯取之平原禮記云
魯取之平原禮記云
魯取之平原禮記云
魯取之平原禮記云
魯取之平原禮記云
魯取之平原禮記云

樂毅約趙惠文王別使連楚魏令趙觸秦以伐齊之利徐廣曰觸
○索隱曰觸音田進說之意
濫反字與昭同 諸侯害齊湣王之驕暴皆爭合從與燕伐齊樂毅
還報燕昭王悉起兵使樂毅為上將軍趙惠文王以相國印授
樂毅樂毅於是并護趙楚韓魏燕之兵以伐齊索隱曰護謂
總領之也 破之
濟西諸侯兵罷歸而燕軍樂毅獨追至于臨菑齊湣王之敗濟
西亡走保於莒樂毅獨留齊齊皆城守樂毅攻入臨菑盡取
齊寶財物祭器輸之燕燕昭王大說親至濟上勞軍行賞饗士
封樂毅於昌國徐廣曰臨齊○索隱曰地理志縣名屬齊郡○
號為昌國君正義曰故昌城在淄州淄川縣東北四十里也
於是燕昭王收齊鹵獲以歸而使樂毅復以兵平齊城之不下
者樂毅留齊五歲下齊七十餘城皆為郡縣以屬燕唯獨莒

抗曰樂毅、札記昭政案
二作、云、三、索隱本說
字、阿、胡、三、名、曰、利
日、以、之、之、勝、不、利、日、
日、以、之、之、勝、不、利、日、
日、以、之、之、勝、不、利、日、
日、以、之、之、勝、不、利、日、
日、以、之、之、勝、不、利、日、
日、以、之、之、勝、不、利、日、
日、以、之、之、勝、不、利、日、
日、以、之、之、勝、不、利、日、

樂毅約趙惠文王別使連楚魏令趙觸秦以伐齊之利徐廣曰觸
○索隱曰觸音田進說之意
濫反字與昭同 諸侯害齊湣王之驕暴皆爭合從與燕伐齊樂毅
還報燕昭王悉起兵使樂毅為上將軍趙惠文王以相國印授
樂毅樂毅於是并護趙楚韓魏燕之兵以伐齊索隱曰護謂
總領之也 破之
濟西諸侯兵罷歸而燕軍樂毅獨追至于臨菑齊湣王之敗濟
西亡走保於莒樂毅獨留齊齊皆城守樂毅攻入臨菑盡取
齊寶財物祭器輸之燕燕昭王大說親至濟上勞軍行賞饗士
封樂毅於昌國徐廣曰臨齊○索隱曰地理志縣名屬齊郡○
號為昌國君正義曰故昌城在淄州淄川縣東北四十里也
於是燕昭王收齊鹵獲以歸而使樂毅復以兵平齊城之不下
者樂毅留齊五歲下齊七十餘城皆為郡縣以屬燕唯獨莒

樂毅知燕王之不善代之
之ハ胡在曰王代
ヲシム其意重カラス
將ニ之ヲ謀セントスル
ヲ知ルナリ。

即墨未服。正義曰即墨今萊州。會燕昭王死，子立為燕惠王。惠王自為太子時，嘗不快於樂毅。及即位，齊之田單聞之，乃縱反間於燕，曰：齊城不下者，兩城耳。然所以不早拔者，聞樂毅與燕新王有隙，欲連兵，且留齊南面，而王齊。齊之所患，唯恐他將之來。於是燕惠王固已疑樂毅，得齊反間，乃使騎劫代將，而召樂毅。索隱曰騎劫燕將姓名。樂毅知燕惠王之不善代之，畏誅，遂西降趙。趙封樂毅於觀津，號曰望諸君。索隱曰望諸，澤名，在齊。蓋趙有之，故號焉。戰國策望作監也。尊寵樂毅，以警動於燕齊。齊田單後與騎劫戰，果設詐誑燕軍，遂破騎劫於即墨下，而轉戰逐燕，北至河上。正義曰滄德二州之北河。盡復得齊城，而迎襄王於莒，入于臨菑。燕惠王後悔，使騎劫代樂毅，以故破軍，亡將失齊，又怨樂

毅之降趙，恐趙用樂毅而乘燕之弊，以伐燕。燕惠王乃使人讓樂毅，且謝之，曰：先王舉國而委將軍，將軍為燕破齊，報先王之讎，天下莫不震動。寡人豈敢一日而忘將軍之功哉？會先王弄羣臣，寡人新即位，左右誤寡人，寡人之使騎劫代將軍，為將軍久暴露於外，故召將軍，且休計事。將軍過聽，以與寡人有隙，遂捐燕歸趙。將軍自為計，則可矣。而亦何以報先王之所以遇將軍之意乎？樂毅報遺燕惠王書，曰：臣不佞，不能奉承王命，以順左右之心，恐傷先王之明，有書足下之義，故遁逃走趙。今足下使人數之以罪，臣恐侍御者不察先王之所以畜幸臣之理，又不白臣之所以專先王之心，故敢以書對。臣聞賢聖之君，不以

故殺能而授官者云云、李廷機曰、功成之名、才立之、是一篇ノ主意ナリ。

祿私親其功多者賞之其能當者處之故察能而授官者成功之君也論行而結交者立名之士也臣竊觀先王之舉也見有按此所以高世主之心正義曰樂毅見燕昭王有自高尊世上人主之心故假魏節使燕故假節於魏以身得察於燕先王過舉厠之賓客之中立之羣臣之上不謀父兄正義曰杜預云父兄同姓羣以為亞卿臣竊不自知自以為奉令承教可幸無罪故受令而不辭先王命之曰我有積怨深怒於齊不量輕弱而欲以齊為事臣曰夫齊霸國之餘業而最勝之遺事也練於兵甲習於戰攻王若欲伐之必與天下圖之與天下圖之莫若結於趙且又淮北宋地楚魏之所欲也趙若許而約四國攻之齊可大破也先王以為然具符節南使臣於趙顧反命起兵擊齊以天

三七六

三七七

學之濟上注正義、札記、濟上在濟之上二作、此云、實本此、如、各本節、濟水之上在、齊上二作。

故鼎反乎磨室ハ、札記、磨室二作、注同、云、フ、刻、各本、磨、ス、李、亦、磨、磨、周、官、注、亦、磨、磨、字、亦、云、戰、國、策、作、磨、今、磨、室、作、磨、ト。

先王以為懷於志ハ、札記、云、此、懷、磨、二、磨、ト、訓、ス、イ、注、察、磨、非、ナリ。

之道先王之靈河北之地隨先王而舉之濟上正義曰濟水之上在齊上濟上之軍受命擊齊大敗齊人輕卒銳兵長驅至國齊王遁而走莒僅以身免珠玉財寶車甲珍器盡收入於燕齊器設於寧臺索隱曰燕臺也○正義曰括地志云燕元英磨室二宮皆燕宮在幽州薊縣西四里寧臺之下大呂陳於元英索隱曰大呂齊鐘名元英燕宮殿名也故鼎反乎磨室徐曰磨磨也○索隱曰燕鼎前輸於齊今反入於磨室磨室亦宮名戰國策作磨室也○正義曰括地志云磨室燕宮名也高誘云燕喻商齊伐燕殺喻得薊丘之植植於汶篁徐廣曰竹田曰篁謂燕之疆界移於齊鼎今反歸燕故鼎之汶水○索隱曰薊丘燕所都之地言燕之薊丘所植植齊王汶上之竹徐注非也○正義曰幽州薊地西北隅有薊丘又汶水源出薊州博城縣東北原山西南入海自五伯已來功未有及先王者也先王以為懷於志索隱曰懷音苦懷反亦作懷故裂地而封之使得比小國諸侯臣竊不自知自以為奉命承教可幸無罪是以受命不辭臣聞賢聖之君功立而不廢故著於春秋按此所以受封

是以至於入江而不化
方苞曰北本志樂化
方苞曰北本志樂化
二作ル或入字ノ訛ナ
樂毅辱之誦勝陳先王之
名ハ胡三省曰離ハ
單ト同ク敗ハ單ト同
以神爲利ハ余存丁曰
爲神ハ即所謂燕也
二乘タル者樂毅解
未不明ナラズ
不出惡聲注正義、札記

蚤知之士名成而不毀故稱於後世若先王之報怨雪恥夷萬
乘之疆國收八百歲之蓄積及至弄羣臣之日餘教未衰執政
任事之臣修法令慎庶孽施及乎萌隸皆可以教後世臣聞之
善作者不必善成善始者不必善終昔伍子胥說聽於閭閻而
吳王遠迹至郢夫差非是也賜之鴟夷而浮之江吳王不寤先
論之可以立功故沈子胥而不悔子胥不蚤見主之不同量是
以至於入江而不化索隱曰言子胥怨恨故雖投江而神不化猶爲波濤之神也夫免身立功以明
先王之迹臣之上計也離毀辱之誹謗索隱曰誹謗音方味反墮先王之名索隱曰墮音
計規反臣之所大恐也臨不測之罪以幸爲利義之所不敢出也
索隱曰謂既臨不測之罪以幸免爲利今我仍
義先王之思雖身託外國而心亦不敢出也臣聞古之君子交絕不出惡聲

云官本君子上ニ音字
了
君王之而意焉注夏侯
玄ハ三國魏ノ人ナリ

正義曰君子之人交絕
不說己長而說彼短
忠臣去國不潔其名索隱曰言忠臣去國不自潔其
名云已無罪故禮曰大夫去其國不
說人以無罪是也○正義曰言不潔己名
行而各於君若箕子不忍言殷惡是也
臣雖不佞索隱曰不佞猶不才也數奉教於君
子矣外猶云已罪不說王之有非故下云不察疎遠之行斯亦忠臣之節恐侍御
者之親左右之說不察疎遠之行故敢獻書以聞唯君王之留
意焉夏侯玄曰觀樂生遺燕惠王書其始庶乎知機合道以禮始終者與其噲昭王曰伊
尹放太甲而不疑太甲受放而不怨是存大業於至公而以天下爲心者也夫欲極道
德之量務以天下爲心者必致其主於盛隆合其趣於先王苟君臣同符則大業定矣子所時
也樂生之志千載一遇夫千載一遇之世亦將行千載一隆之道豈其局迹當時止於兼并而
已哉夫兼并者非樂生之所屑張燕而廢道又非樂生之所求不屑苟利心無近事不求小成
斯意兼天下者也則舉齊之事所以運其機而動四海也夫討齊以明燕主之義此兵不與於
爲利矣圍城而害不加於百姓此仁心著於遐邇矣舉國不謀其功除暴不以威力此至德全
於天下矣遇全德以率列國則幾於湯武之事矣樂生方恢大綱以縱二城收仁明信以待其
弊將使即墨宮人願仇其上願釋干戈賴我猶親善守之智無所施之然則求仁得仁即墨大
夫之義仕窮則從微子適周之道開彌廣之路以待田單之徒長容善之風以申齊士之志使
夫忠者遂節勇者義著昭之東海屬之華裔我澤如草民應如草道光宇宙賢智託心鄰國傾
慕四海延頸思戴燕主仰望風聲二城必從則王業隆矣雖淹留於兩邑乃致速於天下也不

幸之變世所不圖。敗於垂成。時運固然。若乃逼之以威。劫之以兵。攻取之事。求欲速之功。使燕齊之士。流血於二城之下。受殺傷之殘。以示四海之人。是縱暴易亂。以成其私。鄰國望之。其猶豺虎。既大墮稱兵之義。而興濟溺之仁。且虧齊士之節。靡廉善之風。掩宏通之度。弄王德之隆。雖二城幾於可拔。霸王之事。逝其遠矣。然則燕雖兼齊。其與世主何以殊哉。其與鄰國何以相傾。樂生豈不知拔二城之速哉。顧城拔而業乖也。豈不慮不速之致。變哉。顧業乖與變同。絲是觀之。樂生之不居二城。未可量也。於是燕王復以樂毅子樂閒為昌國君。索隱曰。閒音紀。閒反。而樂毅往來復通燕。燕趙以為客卿。樂毅卒於趙。張華曰。望諸君家。在邯鄲西數里。樂閒居燕三十餘年。燕王喜用其相栗腹之計。索隱曰。栗姓腹。名漢有栗姬。欲攻趙而問昌國君樂閒。樂閒曰。趙四戰之國也。索隱曰。言趙數距四方之敵。故云四戰之國。正義曰。東鄰燕齊。西邊秦樓煩。南界韓魏。北迫匈奴。其民習兵。伐之不可。燕王不聽。遂伐趙。趙使廉頗擊之。大破栗腹之軍於鄆。禽栗腹。樂乘。樂乘者。樂閒之宗也。於是樂閒奔趙。趙遂圍燕。燕重割地以與趙和。趙乃解而去。燕王恨不用樂閒。樂閒既在趙。乃遣

室有器云云、沒推歷
曰室家二事アル、甘ナ
シテ以テ、他人ニ告
グ可カラザルナリ
二子富ニ居ルベ
シ、燕ノ過ヲ明カニ
シ、而テ趙ニ居ルベ
カラザルヲ謂フナリ。

樂閒書曰。紂之時。箕子不用。犯諫不怠。以冀其聽。商容不達。身祇辱焉。以冀其變。及民志不入。獄囚自出。索隱曰。民志不入。謂國亂而人離心向外。故云不入。又獄師不為之守法也。然後二子退隱。故紂負桀暴之累。二子不失忠聖之名。何者。其憂患之盡矣。今寡人雖愚。不若紂之暴也。燕民雖亂。不若殷民之甚也。室有語。不相盡以告鄰里。正義曰。言家室有里。今故以二者寡人不為君取也。正義曰。二者謂燕君未如紂。燕民未如殷。民書相告也。復相告子。反燕以疑君民之惡。是寡人不為君取。樂閒乘怨。燕不聽其計。二人卒留趙。趙封樂乘為武襄君。索隱曰。樂乘樂毅之宗人也。其明年。樂乘廉頗為趙圍燕。燕重禮以和。乃解。後五歲。趙孝成王卒。襄王使樂乘代廉頗。廉頗攻樂乘。樂乘走。廉頗亡。入魏。其後十六年。而秦滅趙。其後二十餘年。高帝過趙。問

樂毅有後世子。對曰。有樂叔。高帝封之。樂鄉。徐廣曰。在北新城。○正義曰。地理志云。信都有樂鄉。

號曰華成君。華成君。樂毅之孫也。而樂氏之族。有樂瑕公。樂

臣公。一作巨公。趙且為秦所滅亡之。齊高密。樂臣公善修黃帝老子

之言。顯聞於齊。稱賢師。

太史公曰。始齊之削通及主父偃。讀樂毅之報燕王書。未嘗不

廢書而泣也。樂臣公學黃帝老子。其本師。號曰河上丈人。不知

其所出。河上丈人教安期生。安期生教毛翁公。毛翁公教樂瑕

公。樂瑕公教樂臣公。索隱曰。本亦作巨公。樂臣公教蓋公。索隱曰。蓋音古岡。反。蓋公。史不記名。蓋公

教於齊。高密膠西為曹相國師。

索隱述贊曰。昌國忠議。人臣所無。連兵五國。濟西為墟。燕王將受。空聞報書。義士慷慨。明君試則。開乘繼將。芳規不渝。

蘇子古史曰。齊沿王無德而有功。諸侯之所共疾。樂毅為燕合諸侯。破齊。設計王。舉全齊之

富而歸之燕。徇齊五年。下七十餘城。唯莒即墨未服。兵久於外。而燕人無怨心。諸侯無異議。

其所以鎮撫內外必有道矣。至與莒即墨相持。田單拒之五年而不決。此非戰之罪。勇智相

敵勢固然耳。夏侯玄不達兵勢。以謂毅不下二城。將以成王者之業。此書生之論。非其實也。

董份曰。樂毅徇齊。其勢亦有不可遂拔者。然燕非有大德殊政。以服齊人之心。不過連

勢借力。乘亂攻昧。欲并兼其國。雖攻拔二邑。而人未忘齊。其亂終作。以秦之疆六國陵

夷。乘其積衰。漸以兵滅。而及其起而亡秦者。猶六國之後也。況當齊之猶盛乎。樂毅之

智必見其有難拔之形。欲困以歲月。然不知自古未有以力經營。可以并國滅姓。善後

而無事者。即其與二城為守。執若勸燕王益施仁義。以服齊心。定國覆君。反城與地。則

恩決于齊人。德著于天下。所謂亂而伐之。威莫大焉。服而舍之。仁莫厚焉。上可以成王

業。而下亦不失為桓文。惜不及此也。
黃震曰。樂毅為燕報齊。誠師出有名矣。而盡取寶物祭器。輸之燕。仁義之師不為也。徇

齊五歲。下七十餘城。而莒即墨猶未下者。齊王保於莒。有困獸覆車之勢。齊方憤發。而

毅之師已老。強弩之末。不能穿魯縞。其勢然也。夏侯玄許以湯武之事。何其甚耶。然毅以

說去適趙。趙父母國也。報燕惠王書。稱忠臣去國。不潔其名。不效戰國。反覆復為趙而

讎燕。去就無嫌。傳之子孫亦然。高帝過趙。復封其孫樂叔者於樂鄉。信義之入于人深

矣。然則樂毅非戰國之士也。

史記評林卷之八十終

史記評林卷之八十一

廉頗藺相如列傳第二十一

廉頗者趙之良將也。趙惠文王十六年，廉頗爲趙將，伐齊，大破之。取晉陽。

爲趙宦者令繆賢舍人。趙惠文王時，得楚和氏璧。秦昭王聞之，使人遺趙王書，願以十五城請易璧。趙王與大將軍廉頗諸大臣謀，欲予秦。秦城恐不可得，徒見欺。欲勿予，即患秦兵之來。計未定，求人可使報秦者，未得。宦者令繆賢曰：臣舍人藺相如可。

趙惠文王十六年三取晉陽，札記陽晉二作也。云云，索隱本陽晉二作也。各本誤倒入，錢大昕曰：六國攻秦，秦之破也，即樂毅齊破之，取也。此作也。世家上晉十六年二作也。此二晉陽二作也。而此此二晉陽二作也。趙宦者令繆賢，梁駱列傳。

城在今曹州乘氏縣西北四十七里也。拜爲上卿，以勇氣聞於諸侯。藺相如者，趙人也。爲後相如作眼目。有本作晉陽非也。晉陽在太原，雖亦趙地，非齊所取也。○正義曰：按晉陽故城，在今曹州乘氏縣西北四十七里也。

同結友、禮記云交、文選張賦注、皆此、部、引、交、作、也。

使王問何以知之對曰臣嘗有罪竊計欲亡走燕臣舍人相如止臣曰君何以知燕王臣語曰臣嘗從大王與燕王會境上燕王私握臣手曰願結友以此知之故欲往相如謂臣曰夫趙彊而燕弱而君幸於趙王故燕王欲結於君今君乃亡趙走燕燕畏趙其勢必不敢留君而東君歸趙矣君不如肉袒伏斧質請罪則幸得脫矣臣從其計大王亦幸赦臣臣竊以為其人勇士有智謀宜可使於是王召見問藺相如曰秦王以十五城請易寡人之璧可予不相如曰秦彊而趙弱不可不許王曰取吾璧不予我城奈何相如曰秦以城求璧而趙不許曲在趙趙予璧而秦不予趙城曲在秦均之二策寧許以負秦曲王曰誰可使

三八七

者相如曰王必無人臣願奉璧往使城入趙而璧留秦城不入臣請完璧歸趙趙王於是遂遣相如奉璧西入秦秦王坐章臺見相如相如奉璧秦王大喜傳以示美人及左右左右皆呼萬歲相如視秦王無意真趙城乃前曰璧有瑕請指示王王授璧相如因持璧卻立倚柱怒髮上衝冠謂秦王曰大王欲得璧使人發書至趙王趙王悉召羣臣議皆曰秦貪負其彊以空言求璧償城恐不可得議不欲予秦璧臣以為布衣之交尚不相欺況大國乎且以一璧之故逆彊秦之驢不可於是趙王乃齋戒五日使臣奉璧拜送書於庭何者嚴大國之威以修敬也今臣至大王見臣列觀禮節甚倨得璧傳之美人以戲弄臣

臣觀大王無意償趙王城邑。故臣復取璧。大王必欲急臣。臣頭今與璧俱碎於柱矣。相如持其璧。睨柱欲以擊柱。秦王恐其破璧。乃辭謝固請。召有司案圖。指從此以往十五都予趙。相如度秦王特以詐伴為予趙城。實不可得。乃謂秦王曰。和氏璧天下所共傳寶也。趙王恐不敢不獻。趙王送璧時。齋戒五日。今大王亦宜齋戒五日。設九賓於廷。韋昭曰。九賓則周禮九儀。○索隱曰。周禮大行人正義曰。劉伯莊云。九賓者。周王備之禮。天子臨軒。九服同會。秦趙何得九賓。但亦陳設車駟文物耳。臣乃敢上璧。秦王度之。終不可彊奪。遂許齋五日。舍相如廣成傳舍。索隱曰。廣成是傳舍之名。傳音張懸反。相如度秦王雖齋。決負約不償城。乃使其從者衣褐懷其璧。從徑道亡。歸璧于趙。秦王齋五日後。乃設九賓禮於廷。引趙使者藺相如。

舍相如廣成傳舍。札記
下ノ金字ナシ、云フ各
本傳下金字ナシ、索
隱ナシ、魏志云、魏
郡廣成之傳蓋設法
引テ亦ナシ。

三八八

三八九

相如至。謂秦王曰。秦自繆公以來二十餘君。未嘗有堅明約束者也。臣誠恐見欺於王而負趙。故令人持璧歸。聞至趙矣。且秦彊而趙弱。大王遣一介之使。至趙。趙立奉璧來。今以秦之彊而先割十五都予趙。趙豈敢留璧而得罪於大王乎。臣知欺大王之罪當誅。臣請就湯鑊。唯大王與羣臣熟計議之。秦王與羣臣相視而嘻。索隱曰。看希嘻。乃驚而怒之辭也。左右或欲引相如去。秦王因曰。今殺相如。終不能得璧也。而絕秦趙之驩。不如因而厚遇之。使歸趙。趙王豈以一璧之故欺秦邪。廷見相如。畢禮而歸之。相如既歸。趙王以為賢大夫。使不辱於諸侯。拜相如為上大夫。秦亦不以城予趙。趙亦終不予秦璧。其後秦伐趙。拔石城。徐廣曰。惠文王十八年。○索隱曰。劉氏云。

蓋謂石邑也。○正義曰。故石城。明年復攻趙。殺二萬人。秦王使使者告趙存相州林慮縣南九十里也。

王欲與王爲好。會於西河外澗池。案隱曰。在西河之南。故云外。案表在趙惠文王二十年。趙王畏

秦。欲毋行。廉頗藺相如計曰。王不行。示趙弱且怯也。趙王遂行。

相如從。廉頗送。至境。與王訣曰。王行。度道里會遇之禮畢。還。不

過三十日。三十日不還。則請立太子爲王。以絕秦望。王許之。遂

與秦王會澗池。徐廣曰。二十年。秦王飲酒酣。曰。寡人竊聞趙王好音。請奏

瑟。趙王鼓瑟。秦御史前書曰。某年月日。秦王與趙王會飲。令趙

王鼓瑟。藺相如前曰。趙王竊聞秦王善爲秦聲。請奉盆瓠秦王

以相娛樂。風俗通義曰。缶者瓦器。所以盛酒漿。秦人鼓之。以節歌也。○索隱曰。瓠音缶。○正義曰。瓠音瓠。秦王怒。不許。於是

相如前進。瓠因跪請秦王。秦王不肯擊瓠。相如曰。五步之內。相

請奉盆瓠秦王。札記奉
ヲ奏ニ作。云フ舊刻
矣。御覽四百三十一。又
七月廿八。元龜八。又
四十八。寶字紀。引ク
並ニ同。各本奉ニ奏
ハ誤ナリ。蓋奉ニ奏
ト曰フ。正ニ相對ス。

文選西征賦注。引ク矣
ニ作。ト按。二國ハ皆
音不。正トト讀ス。
五步之內云。五步ノ
内ハ至近ク言フ。以頭
血灑大王ハ。己レノ血
ヲ王ニ灑クナリ。秦王
ヲ殺サントスルヲ反言
スルナリ。

位在廉頗之右。通鑑
注。毛氏曰。人道ハ右
ヲ向フ。故ニ左右ハ手ノ
右ハ。右ヲ以テ尊ト爲
ス。有攻城野戰之功ハ。
札記云。文選西征賦注。
格。漢書。周勃。謂。勃。密
兵部人。事。部。疾。病。謂。
引ク位ニ大ナリ。治
要通鑑同。

與廉頗爭列。毛氏曰。
列ハ行次ナリ。位序ナ

如請得以頸血灑大王矣。正義曰。左右欲刃相如。相如張目叱之。

左右皆靡。於是秦王不擇爲一擊。瓠相如顧召趙御史書曰。某

年月日。秦王爲趙王擊瓠。秦之羣臣曰。請以趙十五城爲秦王

壽。藺相如亦曰。請以秦之咸陽爲趙王壽。秦王竟酒。終不能加

勝於趙。趙亦盛設兵以待秦。秦不敢動。既罷歸國。以相如功大

拜爲上卿。位在廉頗之右。索隱曰。王劭按。董助答禮曰。職高者名錄在上。於人
爲右。職卑者名錄在下。於人爲左。是以位下遷爲左。

○正義曰。秦漢以前用右爲上。廉頗曰。我爲趙將。有攻城野戰之大功。而藺相如徒

以口舌爲勞。而位居我上。且相如素賤人。吾羞。不忍爲之下。宣

言曰。我見相如。必辱之。相如聞。不肯與會。相如每朝時。常稱病。

不欲與廉頗爭列。已而相如出望見廉頗。相如引車避匿。於是

與廉頗同列ハ、札記云、頗當ニ君ニ爲ルベシ、曹文選庶證古詩注、曹廉頗列傳注、故ニ引テ君ニ作ル、治要同ツ。

肉袒負荆ハ、胡三省曰、荆ニ之ヲ負ヒ、以テ罪ヲ謝スナリ。

刎頸之交ハ、胡三省曰、將死リ從シ、其首ヲ刎斷スト雖モ、願ル所ナキナリ。

舍人相與諫曰臣所以去親戚而事君者徒慕君之高義也。今君與廉頗同列廉君宣惡言而君畏匿之恐懼殊甚且庸人尚羞之況於將相乎臣等不肖請辭去藺相如固止之曰公之視廉將軍孰與秦王曰不若也相如曰夫以秦王之威而相如廷叱之辱其羣臣相如雖驚獨畏廉將軍哉顧吾念之彊秦之所生吾所以爲此者以先國家之急而後私讎也廉頗聞之肉袒負荆索隱曰肉袒者袒衣而露肉也因賓客至藺相如門謝罪曰鄙賤之人不知將軍寬之至此也卒相與驩爲刎頸之交索隱曰崔浩云要齊生死而刎頸是歲廉頗東攻齊破其一軍居二年廉頗復伐齊幾拔之無悔也

徐廣曰幾邑名也案趙世家惠文王二十三年頗將攻魏之幾邑取之而齊世家及年表無伐齊幾拔之事疑幾是邑名而或屬齊或屬魏耳田單在齊不得至於拔也○索隱曰世家與此列傳合而戰國策云秦敗藺與反攻魏幾是幾亦屬魏故妻顯云或屬齊屬魏也○正義曰幾音祈在相潞之間

後三年廉頗攻魏之防陵徐廣曰一作房子○索隱曰案防陵在楚之西屬泅中郡魏有房子蓋陵字誤也○正義曰城在相州安陽縣南二十里因防水爲名安陽拔之後

四年藺相如將而攻齊至平邑而罷正義曰故城在魏州昌樂縣東北三十里其明年趙

奢破秦軍闕與下

趙奢者趙之田部吏也收租稅而平原君家不肯出趙奢以法治之殺平原君用事者九人平原君怒將殺奢奢因說曰君於

趙爲貴公子今縱君家而不奉公則法制則國弱國弱則諸侯加兵諸侯加兵是無趙也君安得有此富乎以君之貴奉公如法則上下平上下平則國彊國彊則趙固而君爲貴戚豈

平原君家不肯出趙奢云入札記趙奢租二作云入札記趙奢租二作云入札記趙奢租二作

將勇者嚴、將帥ナリ、故ニ下文承クルニ合道者將放之、將字ヲ以テスルナリ。

輕於天下邪。平原君以為賢，言之於王。王用之，治國賦，國賦太平。民富而府庫實，秦伐韓，軍於闕與，王召廉頗而問曰：「可救不？」對曰：「道遠險狹，難救。」又召樂乘而問焉，樂乘對如廉頗言。又召問趙奢，奢對曰：「其道遠險狹，譬之猶兩鼠鬪於穴中，將勇者勝。」王乃令趙奢將救之，兵去邯鄲三十里，而令軍中曰：「有以軍事諫者死。」秦軍武安西。徐廣曰：屬魏郡在邯鄲西。秦軍鼓譟，勒兵武安屋瓦盡振，軍中候有一人言，急救武安。趙奢立斬之，堅壁留二十八日不行，復益增壘。秦間來入，趙奢善食而遣之，間以報秦將，大喜曰：「夫去國三十里，正義曰：國謂邯鄲趙都也。而軍不行，乃增壘，闕與非趙地也。趙奢既已遣秦間，乃卷甲而趨之。二日一夜，至令善射者去闕

晉後令邯鄲ハ、錢大昕曰、五字當一旬讀スベシ、邯鄲ハ趙王ノ都スル所、當ニ趙王ノ令ヲ待ツベキナリナリ。許歷復請謀注而不免、日耐ハ前漢高帝紀注、應劭曰、輕其先、至フ又耐ト曰フ、耐ハ相旁ノモナリ。先據北山上者勝、注正義至闕ノ間、疑フ去字ヲ脫ス。

與五十里而軍，軍壘成，秦人聞之，悉甲而至。軍士許歷請以軍事諫，趙奢曰：「內之。」許歷曰：「秦人不意趙師至此，其來氣盛，將軍必厚集其陣以待之，不然必敗。」趙奢曰：「請受令。」許歷曰：「請就鈇質之誅。」趙奢曰：「胥後令。」索隱曰：案胥須古人通用今者胥後令謂胥須者待也。待後令謂許歷之言更不擬誅之故更待後令也。○正義曰：胥須也。軍去城都三十里而不行，未有計過險狹，恐人諫令。急救武安乃出此令。今垂戰須得謀策不用前令故云須後令也。邯鄲許歷復請諫。索隱曰：邯鄲二字當為欲戰謂隨戰之時許歷復諫也。王粲詩云：許歷為完士。一言猶敗。秦是言趙奢用其計遂破秦軍也。江遂曰：漢令稱完而不免，曰耐是完士未免從軍也。曰：「先據北山上者勝。」正義曰：闕與山在洛州武安縣西南五十里，趙奢拒秦軍於闕與，即此山也。案括地志云：拒秦軍在此山，疑其太近洛州。既去邯鄲三十里而軍，又云：趙之二日一夜至闕與五十里而軍壘成。後至者敗。趙據今洛州去潞州三百里，而兩相州恐潞州闕與聚城是所拒據處。後至者敗。趙奢許諾，即發萬人趨之。秦兵後至，爭山不得上。趙奢縱兵擊之，大破秦軍，秦軍解而走。遂解闕與之圍，而歸。趙惠文王賜奢號

有何怨乎、札記云、有誤、方、爲、云、

萬明年秦兵遂圍邯鄲歲餘幾不得脫頗楚魏諸侯來救乃得解邯鄲之圍趙王亦以括母先言竟不誅也自邯鄲圍解五年而燕用栗腹之謀曰趙壯者盡於長平其孤未壯舉兵擊趙趙使廉頗將擊大破燕軍於鄒殺栗腹遂圍燕燕割五城請和乃聽之趙以尉文封廉頗爲信平君

尉官也文名也謂取尉文所食之邑復以封頗而號爲信平君也 爲假相國廉頗之免長平歸也失勢之時故客盡去及復用爲將客又復至廉頗曰客退矣客曰吁君何見之晚也夫天下以市道交君有勢我則從君君無勢則去此固其理也有何怨乎居六年趙使廉頗伐魏之繁陽

徐廣曰屬魏郡○正義曰在相州內黃縣東北也 拔之趙孝成王卒子悼襄王立使樂乘代廉頗廉頗

李牧者趙之北邊良將也云云方也曰李牧功

怒攻樂乘樂乘走廉頗遂奔魏之大梁其明年趙乃以李牧爲將而攻燕拔武遂方城

李牧將也 索隱曰地理志武遂屬河間國方城廣陽也○正義曰武遂易州遂城也方城幽州固安縣南十里

廉頗居梁久之魏不能信用趙以數困於秦兵趙王思復得廉頗廉頗亦思復用於趙趙王使使者視廉頗尚可用否廉頗之仇郭開多與使者金令毀之趙使者既見廉頗廉頗爲之一飯斗米肉十斤被甲上馬以示尚可用趙使還報王曰廉將軍雖老尚善飯然與臣坐頃之三遺矢矣

索隱曰謂數起便也矢一作屎 趙王以爲老遂不召楚聞廉頗在魏陰使人迎之廉頗一爲楚將無功曰我思用趙人廉頗卒死于壽春

正義曰廉頗墓在壽春縣北四里蘭相如墓在邯鄲西南六里

李牧者趙之北邊良將也常居代鴈門備匈奴

正義曰今鴈門縣在代地故云鴈門

趙連二頭ハススシ、此二頭ヲ始テ書ス、相
應同奔リ、特ニ所推收
ナルヲ以テナリ、趙者
孫ヲ破ルヲ書スル後、
即テノ始末ヲ具スル、
後乃爾魏楚ニ居ル者
ヲ謂ニスル者、牧師モ
ラレテ趙派ス、更ニ頭
ノ事ヲ其後ニ綴レバ、
則テ其情情ス、故ニ頭
ノ事既ニ終リテ、而テ
後收ノ始末ヲ著ハスナ
リ。
代郡門注正義、札記故
云ノ下代字アリ、云フ
官本代字アリ、各本脫
ス。
急、收保ハ、胡三省曰、
保、收メ、而テ目ヲ
保テナリ。

邊士引得武備而不用
ハ、胡三省曰、邊士ヲ
引得、胡三省曰、邊士

而テ之ヲ用ヒ、以テ戰
ハザルナリ。
乃且還軍云云ハ、胡三
省曰、車騎皆其精良ナ
ル者ヲ還ス。
以數千人委之、胡三省
曰、委ハ亦ナリ、之ヲ數
ニ委スルナリ。

趙悼襄王元年云云ハ、
方輿曰、趙奔リ、牧將
タル也、事已ニ而見ス、
前後ノ國體ト爲シ、兼
テ前既ニ亡ケテ、牧又
自ヲ安ズル能ハズ、
趙ノ連亡ビテ牧ヲナ
キリ以テ書スナリ。
秦牧殺將屠單於武遂
城ハ、札記秦破殺趙將
屠單於云云、云云、本
段趙二字例ス、云、屠
單於、武遂ハ、武遂ノ趙
也、武遂ハ、武遂ノ交ニ

也。以便宜置吏。市租皆輸入莫府。如淳曰將軍征行無常處所在爲治故言莫府莫大也。○索隱曰如淳解莫爲大非

也。推浩云古者出征爲將帥軍還則罷理無常處爲士卒費日擊數牛饗士習

射騎謹烽火多閒謀。索隱曰上紀寬反下音騰厚遇戰士爲約曰匈奴即入盜

急入收保有敢捕虜者斬匈奴每入烽火謹輒入收保不敢戰

如是數歲亦不亡失然匈奴以李牧爲怯雖趙邊兵亦以爲吾

將怯趙王讓李牧李牧如故趙王怒召之使他人代將歲餘匈

奴每來出戰出戰數不利死亡多邊不得田畜。正義曰復請李許六反

牧杜門不出固稱疾趙王乃復彊起使將兵牧曰王必用臣

臣如前乃敢奉令王許之李牧至如故約匈奴數歲無所得終

以爲怯邊士日得賞賜而不用皆願一戰於是乃具選車得千

三百乘選騎得萬三千匹百金之士五萬人。管子曰能破敵殺者

十萬人。索隱曰殺音古侯反殺謂能射也悉勒習戰大縱畜牧人民滿野匈奴小

入伴北不勝以數千人委之。索隱曰委謂弄之恣其殺略也單于聞之大率衆來

入李牧多爲奇陳張左右翼擊之大破殺匈奴十餘萬騎滅澹

盭。稽都甘反澹路駭反徐廣曰一作破東胡降林胡單于奔走其後十餘

歲匈奴不敢近趙邊城趙悼襄王元年廉頗既亡入魏趙使李

牧攻燕拔武遂方城居二年龐煖破燕軍殺劇辛。索隱曰煖即馮煖也龐音皮江反煖

音泥遠反又音噴劇辛本趙人仕燕者後七年秦破趙殺將扈輒於武遂城。索隱曰扈氏別名漢張耳時別

有扈輒也劉氏云武遂本韓地在斬首十萬趙乃以李牧爲大將軍擊秦

軍於宜安。正義曰在相州藥城縣西南二十里大破秦軍走秦將桓齮。索隱曰桓音曉封李牧

在、秦兵未去其地、
至、秦兵未去其地、
至、秦兵未去其地、

李牧即其何故反、
李牧即其何故反、
李牧即其何故反、

爲武安君。居三年。秦攻番吾。索隱曰：縣名。地理志在常山。音婆。又音盤。李牧擊破秦軍。南距韓魏。趙王遷七年。秦使王翦攻趙。趙使李牧司馬尚禦之。秦多與趙王寵臣郭開與秦密交與金爲反間言。李牧司馬尚欲反。趙王乃使趙蔥及齊將顏聚代李牧。李牧不受命。趙使人微捕得李牧。斬之。廢司馬尚。後三月。王翦因急擊趙。大破殺趙蔥。虜趙王遷及其將顏聚。遂滅趙。

太史公曰：知死必勇。非死者難也。處死者難。方藺相如引璧。睨柱。及叱秦王左右。勢不過誅。然士或怯懦。索隱曰：一作掘。而不敢發。相如一奪其氣。威信敵國。信音申。退而讓頗。名重太山。其處智勇。可謂兼之矣。

索隱述贊曰：清曉涼涼。壯氣熊能。各竭誠義。遜爲雄雌。和璧聘返。池池好通。負刑知懼。屈節推工。安邊定策。頗牧之功。

藺子古史曰：藺相如非戰國之士也。以死行義。不屈於強秦。以禮爲國。不校於廉頗。其處剛柔進退之際。類學道者。使居平世。可以爲大臣矣。非戰國之士也。廉頗李牧皆以將亡之趙抗方與之秦。其爲力艱矣。卒以其用舍。爲趙之存亡。趙能用之。而不能終之。悲夫。

黃震曰：藺相如庭辱強秦之君。而引車避廉頗。廉頗以勇氣聞。諸侯而肉袒謝相如。先公後私。分弄前憾。皆烈丈夫也。勇怯各得其所矣。然先之者相如也。趙奢治賦。不少貸平原君之家。而平原君因薦之王。而用之。君子不多奢之刑法。自近而多。平原君之以公滅私也。括輕易取敗。無足道。括母言父子異心之狀。可謂得觀人之法。李牧養威持重。戰無不勝。與頗齊名。而頗牧皆廢於讒人郭開之口。趙之亡。忽焉。悲夫。又曰：太史公作廉頗藺相如傳。而附之趙奢李牧。趙之興亡著焉。一時烈丈夫英風偉業。令人千載興起。而史筆之妙。開合變化。又足以曲盡形容。奇哉。

王世貞曰：藺相如之完璧。人人皆稱之。余未敢以爲信也。夫秦以十五城之空名。而詐趙而奪其璧。是時言取璧者情也。非欲以窺趙也。趙得其情。則弗予。不得其情。則予。得其情而畏之。則予。不得其情而弗畏之。則弗予。此兩言決耳。秦之何既畏而復挑其怒也。且夫秦欲璧。趙弗予璧。兩無所曲直也。入璧而秦弗與城。曲在秦。秦城出而璧歸。曲在趙。欲使曲在秦。則莫如秦璧。畏秦璧。則莫如弗予。夫秦王既按圖以予城。又說九寶。齎而受璧。其勢不得不予城。璧入而城弗予。相如則前請曰：臣固知大王之弗予城也。夫璧非趙寶也。而十五城秦寶也。今使大王以璧故。而亡其十五城。十五城之子弟。皆厚怨大王。以棄我如草芥也。大王弗予城。而詒趙璧。以一璧故。而失信於天下。臣請辭就

死於國以明大王之失信秦王未必不予璧也今奈何使舍人懷而逃之而歸直於秦是時秦意未欲與趙絕耳令秦王怒而侮相如於市武安君十萬衆壓邯鄲而責璧與信一勝而相如旗再勝而璧終入秦矣吾故曰藺相如之獲全於璧也天也

史記評林卷之八十一終

史記評林卷之八十二

田單列傳第二十二

田單者齊諸田疏屬也。索隱曰：滑王時單爲臨菑市掾不見知。及

燕使樂毅伐破齊齊潛王出奔已而保莒城燕師長驅平齊而

田單走安平。徐廣曰：今之東安平也。在青州臨菑縣東十九里。古紀之鄒邑。齊改爲安平。秦滅齊改爲東安平。縣屬齊郡。以定州有安平故加東字。○索隱曰：地

平屬淄川國。令其宗人盡斷其車軸末而傅鐵籠。伏後案：徐廣曰：傅音附。○索隱曰：斷音都緩。反斷其軸

恐長相接也以鐵裹軸頭堅而易進也。傅者截其軸與轂齊以鐵鑲附已而燕軍攻安平城壞齊人走爭塗以轉折車敗。徐廣曰：轉車軸末也。音衛。

爲燕所虜唯田單宗人以鐵籠故得脫。東保即墨燕既盡降齊城唯獨莒即墨不

單爲臨菑市掾，接入市官屬也。

令其宗人盡斷其車軸末而傅鐵籠。軸與轂齊以鐵鑲附。恐長相接也。以鐵裹軸頭堅而易進也。傅者截其軸與轂齊以鐵鑲附。已而燕軍攻安平城壞齊人走爭塗以轉折車敗。徐廣曰：轉車軸末也。音衛。

ハ古之校ト訓ズ、輒ノ
義ル所ナリ。

乃令城中人食必祭其先
祖於庭云云ハ、食スル
毎ニ、版ヲ過ニ散シ以
テ先祖ヲ祭ルト云フ
註、鳥歸ヲ得テ下リ

金ムナリ、燕人ナシテ
怪マシムル爲ナリ。

每出約束必稱神師ハ、
胡三省曰、田單飛心ノ
未ダ一ナラザルガ恐
ル故ニ神ヲ假リテ以
テ其衆ニ令スルナリ。

其城出戰ハ、杜牧其テ
俱ニ作ルニフ蓋對俱
各本其二版スト、通鑑
乃身換版插ノ插ハ、師
ニ同ジ、ナシナリ。
使老弱女子乘城ハ、梁
ハ老ナリ、城ニ登リテ
守ルナリ。

下。燕軍聞齊王在莒。并兵攻之。淖齒既殺滑王於莒。徐廣曰、多
作淖齒也。因
堅守距燕軍。數年不下。燕引兵東圍卽墨。卽墨大夫出與戰。敗
死。城中相與推田單。曰。安平之戰。田單宗人以鐵籠得全。習兵
立以爲將軍。以卽墨距燕。頃之。燕昭王卒。惠王立。與樂毅有隙。
田單聞之。乃縱反間於燕。宣言曰。齊王已死。城之不拔者二耳。
樂毅畏誅而不敢歸。以伐齊爲名。實欲連兵南面而王。齊齊人
未附。故且緩攻。卽墨以待其事。齊人所懼。唯恐他將之來。卽墨
殘矣。燕王以爲然。使騎劫代樂毅。樂毅因歸。趙燕人士卒忿。而
田單乃令城中人食必祭其先祖於庭。飛鳥悉翔舞。城中下食。
燕人怪之。田單因宣言曰。神來下。教我乃令城中人曰。當有神

人爲我師。有一卒曰。臣可以爲師乎。因反走。田單乃起。引還東
鄉。坐師事之。卒曰。臣欺君。誠無能也。田單曰。子勿言也。因師之。
每出約束。必稱神師。乃宣言曰。吾唯懼燕軍之劍。所得齊卒。置
之前行。正義曰、與我戰。卽墨敗矣。燕人聞之。如其言。城中人見齊
諸降者盡。劍皆怒。堅守。唯恐見得。單又縱反間曰。吾懼燕人掘
吾城外冢墓。僂先人。可爲寒心。燕軍盡掘壘墓。燒死人。卽墨人
從。城上望見。皆涕泣。其欲出戰。怒自十倍。田單知士卒之可用。
乃身操版插。索隱曰、操音七高反。插音初洽反。與士卒分功。妻妾編於行
伍之間。盡散飲食。饗士。令甲卒皆伏。使老弱女子乘城。遣使約
降於燕。燕軍皆呼萬歲。田單又收民金。得千溢。一本作溢。令卽墨富豪遺

齊人逃亡北... 胡三... 齊人逃亡北... 胡三... 齊人逃亡北... 胡三...

燕將曰。即墨卽降。願無虜掠吾族家妻妾。令安堵。燕將大喜。許之。燕軍由此益懈。田單乃收城中得千餘牛。爲絳綰衣。畫以五彩龍文。束兵刃於其角。而灌脂束葦於尾。燒其端。鑿城數十穴。夜縱牛。壯士五千人隨其後。牛尾熱。怒而奔。燕軍夜大驚。牛尾炬火光明炫燿。燕軍視之皆龍文。所觸盡死傷。五千人因銜枚擊之。而城中鼓譟從之。老弱皆擊銅器爲聲。聲動天地。燕軍大駭。敗走。齊人遂夷殺其將騎劫。燕軍擾亂奔走。齊人追亡逐北。所過城邑皆畔。燕而歸。田單兵日益多。乘勝。燕日敗亡。卒至河上。索隱曰。齊之北界近河東蓋齊舊地也。而齊七十餘城皆復爲齊。乃迎襄王於莒。入臨菑而聽政。襄王封田單號曰安平君。索隱曰。單初起安平故以爲號。

韓曰安平君... 禮記云... 韓曰安平君... 禮記云... 韓曰安平君... 禮記云...

太史公曰。兵以正合。以奇勝。魏武帝曰。先出合戰爲正。後出爲奇也。正者當敵。奇兵擊不備。○索隱曰。奇謂權詐也。注引魏武蓋之出奇無窮。謂權變多也。奇正還相生。正義曰。當正兵當陣。張左右翼掩其不備。則奇正合。故敵也。如環之無端。索隱曰。言用兵之術或用奇計使前敵不可測量。如尋環中不知端際也。夫始如處女。適人開戶。徐廣曰。適音敵。○索隱曰。言兵始如處女之輕弱。則敵人輕侮開戶不爲備。○正義曰。敵入謂燕軍也。言燕軍被田單反閉。易將及被卒燒壘。而令齊卒甚怒。後如脫兔。適不及距。魏武帝曰。如女示弱。脫兔往疾也。○索隱曰。克捷之後。卷甲而趨。有如兔是敵人爲單開門戶也。其田單之謂邪。初悼齒之殺滑王也。莒人求滑王子。法章得之。太史嫩之家。正義曰。嫩音皎。爲人灌園。嫩女憐而善遇之。後法章私以情告女。女遂與通。及莒人共立法章爲齊王。以莒距燕。而太史氏女遂爲后。所謂君王后也。燕之初入齊。聞畫邑人王蠋賢。劉熙曰。齊西南近邑。畫音獲。○索隱曰。畫音胡。卦反。蠋音觸。亦音歌。○正義曰。括地志云。戟里城在臨淄西北三十里。春秋時棘邑又云。

澠經其類於樹枝云云、
初三名曰澠、後ナリ、
澠ナリ、頭ハ頂也ナリ、
自齊ハ、自ラ高起シテ
澠ト稱ッ、ナリ、胆ハ頭
ナリ。

澠邑、蠅所居、卽此邑、因澠水爲名也。令軍中曰：環畫邑三十里，無入。以王蠅之故，已而使人謂蠅曰：齊人多，高子之義，吾以子爲將，封子萬家。蠅固謝。燕人曰：子不聽。吾引三軍而屠畫邑。王蠅曰：忠臣不事二君，貞女不更二夫。齊王不聽，吾諫，故退而耕於野。國旣破亡，吾不能存。今又劫之以兵，爲君將，是助桀爲暴也。與其生而無義，固不如烹。遂經其頸於樹枝，自奮絕脰而死。索隱曰：經，猶繫也。何休云：脰，頸。齊語也。音豆。齊亡大

夫聞之，曰：王蠅，布衣也，義不北面於燕，況在位食祿者乎。乃相聚如莒，求諸子，立爲襄王。

了前案
索隱述贊曰：軍法以正，實尙奇兵，斷軸自免，反閉先行，羣鳥惑衆，五牛揚旌，卒破騎劫，皆復齊城，襄王嗣位，乃封安平。

蘇子古史曰：樂毅以全燕之兵，兼強齊之衆，棲田單于卽墨，諸侯之救不至，使天旌燕，昭王不死，樂毅不亡，田單雖得要之歲月，兵殘食盡，齊之亡可立而待也。然單兵不滿萬人，堅守

二城以抗百倍之師，相持五年而無可乘之隙，遷延稽故，以須天命之復，可不謂智過人哉。邵經邦曰：毅之尅破七十餘城，而兩城不能拔，其故何歟？曰：燕齊之禍久矣，其始也罪止一子之耳，固無與于其宗廟社稷也，其終也罪止一涪王耳，亦無與於其宗廟社稷也。使誅一子之求，其所以代子之者，固不爲齊有也。觀一涪王求其所以代涪王者，亦不爲燕有也。奈之何二國之不然也。其伐之也，不以置君爲重，而以全燕爲利，故其報之也，亦不以好還爲念，而以必得爲功。使如孟子之言，則且無樂毅之事，而何莒卽墨之云哉。

史記評林卷之八十二終

史記評林卷之八十三

魯仲連鄒陽列傳第二十三

索隱曰魯連屈原當六國之時賈誼鄒陽在文景之日事迹雖復相類年代甚為乖絕其鄒陽不可上同魯連賈生亦不可下同屈原宜抽魯連同田單為傳其屈原與宋玉等為一傳其鄒陽與枚乘賈生等同傳

魯仲連者齊人也。好奇偉倜儻之畫策。

索隱曰廣雅云倜儻卓異也。○正義曰倜儻反魯連子云齊辯士

田巴服狙丘。穢穰下殿。五帝罪三王。服五伯離堅白。合同異。一日服千人。有徐劫者其弟子曰魯仲連。年十二。號千里駒。往請田巴曰。臣聞堂上不奮。郊草不萎。白刃交前不救。流血急不暇。緩也。今楚軍南陽。趙伐高唐。燕人十萬。聊城不去。國亡在旦夕。先生奈之何。若不能者。先生之言。有似鼻鳴。出城而人惡之。願先生勿復言。田巴曰。隨聞命矣。巴謂徐劫曰。先生乃飛兔也。豈直千里駒也。而不肯仕官任職。好持高節。游於趙。趙孝成王時。而

秦王使白起破趙。長平之軍。前後四十餘萬。秦兵遂東圍邯鄲。

魯仲連鄒陽列傳注索隱云三傳曰魯連同鄒陽或入其體同或入其體同而時以之字間之類不足考其字亦宋隱誤也鄒陽漢書帶ノ時ノ人ナリ

不肯仕官任職ノ言、札記云二作ル、云フ終本中校酒劉游本也、作ル、他本說二官二職、

人不知則為一身、
鮑魚曰、知ザル者、
其未ヲ抱テ死スルヲ以
テ、自ラ業ヲ無シト為
ス、其世ヲ非スルヲ知
ラザルナリ。

通而為政於天下ハ、札
紀云、無紀云高勝注曰
氏春秋知士為曰、通、
蘇莊ノ如キナリ。

容而取死此言非也。○正義曰韓詩外傳云姓鮑名焦周時隱者也飾行非世廉潔而守荷擔
採樵拾橡充食故無子胤不臣天子不友諸侯子貢遇之謂之曰吾聞非其政者不履其地汗
其君者不受其利今子履其地食其利其可乎鮑魚曰吾聞廉士重進而 衆人不知則
輕退賢人易愧而輕死遂抱木立枯焉按魯仲連與趙不去者非為一身 衆人不知則
為一身 居濁世而避之非是自為一身而愛死 彼秦者弄禮義而上首功
之國也 離周曰秦用術鞅計制爵二十等以戰獲首級者計而受爵是以秦人每戰勝老
弱婦人皆死計功賞至萬數天下謂之上首功之國首以惡之也○索隱曰秦法
斬首多為上功謂斬一人首賜 權使其士虜使其民 索隱曰言秦人以權詐使其
爵一級故謂秦為首功之國也 恩以 彼即肆然而為帝過而為政於天下 正義曰至過字為絕句肆然其
恤下 索隱曰言秦得行政教於天下魯 志意也言秦得肆志為帝恐有
蒸醢納筭獨行天子之禮過失也若趙魏帝秦得行政教於天下魯 則連有蹈東海
而死耳吾不忍為之民也所為見將軍者欲以助趙也新垣衍
曰先生助之將奈何魯連曰吾將使梁及燕助之齊楚則固助
之矣新垣衍曰燕則吾請以從矣若乃梁者則吾乃梁人也先

生惡能使梁助之魯連曰梁未睹秦稱帝之害故耳使梁睹秦
稱帝之害則必助趙矣新垣衍曰秦稱帝之害何如魯連曰昔
者齊威王嘗為仁義矣率天下諸侯而朝周周貧且微諸侯莫
朝而齊獨朝之居歲餘周烈王崩 徐廣曰烈王七年崩威王之十年○正義
十年也與 齊後往周怒赴於齊曰 正義曰鄭玄云赴 告也今文赴作計 天崩地坼天子下
席 索隱曰謂烈王太子安王驕 也下席言其寢苦居廬也 東藩之臣因齊後至則斲 公羊傳曰斲三軍者
也 齊威王勃然怒曰叱嗟而母婢也 正義曰厲 卒為天下笑故生
則朝周死則叱之誠不忍其求也彼天子固然其無足怪新垣
衍曰先生獨不見夫僕乎十人而從一人者寧力不勝而智不
若邪畏之也 索隱曰言僕夫十人而從一人者寧是 力不勝亦非智不如正是畏懼其主耳 魯仲連曰嗚呼梁之

周烈王崩注徐廣曰烈王
七年崩威王之十年、札
紀云、無紀云高勝注曰
氏春秋知士為曰、通、
蘇莊ノ如キナリ。

史記評林卷八十三

尤當ニ忍ビザルベシ、
而テ奈尤當ニ之ヲ趨ニ
求ムベカラザルヲ斷フ
ナリ。

九侯鄂侯注正義蓋陽
ハ、札記陽陽ニ作ル、
云フ官本蓋、各本蓋ニ
陽ス。

哀與之車ノ突、札記屬
ニ作ル、云フ奈本蓋則
毛本屬、他本云、作ル、
通屬亦屬ニ作ル。

齊將王將之魯云云ハ、
魏大昕曰、世家ニ據レ
バ、則魯ニ之キ、鄭ニ
之ク、兩事俱ニ固チ夫
ヲノ後ニ在リ。

子安取禮而來君、札記
云、來下待字ヲ脫ス。

比於秦若僕邪於之新垣衍曰然魯仲連曰吾將使秦王烹醢梁王魯仲連曰

矣先生之言也先生又惡能使秦王烹醢梁王魯仲連曰固也

吾將言之昔者九侯鄂侯徐廣曰鄆縣有九侯城九一作鬼鄂一作邪○文王

紂之三公也九侯有子而好獻之於紂紂以為惡醢九侯鄂侯

爭之彊辯之疾故脯鄂侯文王聞之喟然而歎故拘之羑里之

庫百日正義曰相州薄陰縣北九里有羑城欲令之死曷為與人俱稱王卒就脯醢之

地齊湣王將之魯夷維子為執策而從索隱曰維東萊之邑其居夷也號

謂魯人曰子將何以待吾君魯人曰吾將以十太牢待子之君夷維子曰子安取禮而來

吾君彼吾君者天子也天子巡狩諸侯辟舍索隱曰辟舍避正義按禮

納筦籥索隱曰音管藥攝衽枹机一本作枹義曰衽音而甚反視膳於堂下天子已食

乃退而聽朝也魯人沒其籥不果納索隱曰謂閉外門不入齊君○正

不入於魯將之薛正義曰薛侯故城假途於鄒當是時鄒君死湣王

欲入弔夷維子謂鄒之孤曰天子弔主人必將倍殯棺設北面

於南方然後天子南面弔也索隱曰倍音佩謂主人不在殯夷將倍其殯棺立

也鄒之羣臣曰必若此吾將伏劍而死固不敢入於鄒鄒魯

之臣生則不得事養死則不得賻襚正義曰衣服曰襚貨財然且欲

行天子之禮於鄒魯鄒魯之臣不果納索隱曰謂時君弱臣彊故鄒魯君

行賻襚之禮然齊欲行天子禮於鄒魯鄒魯

之臣皆不果納之是猶乘禮而存大體也

今秦萬乘之國也梁亦萬乘之

當ニ起策ニ依テ補フベ
シ。
攝衽枹ハ、札記枹チ
枹ニ作ル、云フ官本蓋
則毛本蓋一本チ引テ枹
ニ作ル、他本蓋ニ枹ニ
陽ス。

王尊ノ世ニ在リ、則ニ
四脚ヲ以テ齊城ヲ降
シ、邊ヲ樓シ、故テ每
ク用ヒズ、以テ身死
シタル者アリ、仲連ノ言
城廢ルルニ至ル史
公ニ載スルニ其實得
ト爲ス、吳師道田單
ニ相ケルノ後、必復齊
ヲ返ラズト謂フ、亦恐
ククハ未ダ然ラズ、五
管ヲ發シ相トシ、而テ
其罪アリ、齊相ト爲ル、此
爲誓約之矢ハ、胡三省
曰、誓ヲ以テ固執シ、
勿シ不怯死而滅名ハ、
札紀注、御ニ作ル、云
フ奉豎本御、故ニ注遊
死ト云フ、各本快ニ誤
齊之南陽注索隱即濟、
札紀御齊ニ作ル、三フ
各本齊ヲ誤ニ誤ス、今

士尊段外之心札紀云、
外言北ニ爲ルハ、
北言背字ナリ、齊
策北ニ作ル。

楚攻齊之南陽。索隱曰即濟之淮北泗上之地也。魏攻平陸。索隱曰平陸邑名在西南界。正義曰兗州縣也。而齊無

南面之心。以爲亡南陽之害小。不如得濟北之利大。索隱曰即聊城之地也。

正義曰言齊無南面攻楚魏之心。以爲南陽平陸之害小。不如聊城之利大。言必攻之也。故定計審處之。今秦人下兵。魏

不敢東面。衝秦之勢成。索隱曰此時秦與齊和。故曰衝秦之勢成也。楚國之形危。齊弄南

陽斷右壤。定濟北。索隱曰謂弄楚所攻之泗上也。又斷紹魏之所攻齊右壤之地。平陸是也。言右壤斷弃而不能救。志在攻聊城而定濟北也。

計猶且爲之也。且夫齊之必決於聊城。公勿再計。今楚魏交退

於齊。而燕救不至。索隱曰交者俱也。前時楚攻南陽魏攻平陸。則燕之絕救。今二國之兵俱退而燕救又不至是勢危也。以全齊之兵

無天下之規。與聊城共據期年之敝。則臣見公之不能得也。且

燕國大亂。君臣失計。上下迷惑。栗腹以十萬之衆。五折於外。指燕也。將之兵。俗

曰此事去。以萬乘之國。被圍於趙。壤削主困。爲天下僂笑。國敝而

禍多。民無所歸心。今公又以敝聊之民。距全齊之兵。是墨翟之

守也。正義曰如墨翟守宋御楚軍。食人炊骨。士無反外之心。是孫臏之兵也。正義曰言

孫臏能撫士卒。能見於天下。雖然爲公計者。不如全車甲以報於燕。

車甲全而歸燕。燕王必喜。身全而歸於國。士民如見父母。交游

攘臂而議於世。功業可明。上輔孤主。以制羣臣。下養百姓。以資

說士。索隱曰言既養百姓又資說士終振強國也。矯國更俗。索隱曰欲令燕將歸燕。矯正國事。改更弊俗也。

功名可立也。亡意亦捐。燕弄世東游於齊乎。索隱曰亡音無。言若必無。還燕意則捐燕而東游於

裂地定封。富比乎陶衛。索隱曰延篤注戰國策云陶陶朱公也。衛衛公子荆非也。王劭云魏冉封陶商君姓衛富比陶衛謂此云爾。

世世稱狐與齊久存。又一計也。此兩計者。顯名厚實也。願公詳

計而審處一焉。且吾聞之。規小節者。不能成榮名。惡小恥者。不

能立大功。昔者管夷吾射桓公中其鈎。篡也。遺公子糾不能死。
 怯也。索隱曰：道弄也。謂弄子糾事小白也。○正義曰：管仲傳子糾而魯殺之不能隨子糾死是怯懦畏死。束縛桎梏辱也。若此三
 行者。世主不臣。而鄉里不通。鄉使管子幽囚而不出。身死而不
 反。於齊則亦名不免。為辱人賤行矣。滅獲且羞與之同名矣。言方
曰：荆淮海岱燕齊之閒屬。奴曰：威馬婢則曰獲也。況世俗乎。故管子不恥身在縲紲之中。而恥
 天下之不治。不恥不死。公子糾而恥威之不信於諸侯。故兼三
 行之過。而為五霸首。正義曰：按齊桓最初得周襄王賜文。武昨彤弓矢大鞶。故為五伯首也。名高天下。而光
 燭鄰國。曹子為魯將。索隱曰：曹味也。三戰三北而亡地五百里。鄉使曹子
 計不反顧。議不還踵。刎頸而死。則亦名不免。為敗軍禽將矣。曹
 子棄三北之恥。而退與魯君計。桓公朝天下。會諸侯。曹子以一

棄忿憤之節。亦忿

吾與富貴而誦於人。則

劍之任。枝桓公之心。於壇坫之上。索隱曰：枝猶擬也。顏色不變。辭氣不悖。
 三戰之所亡。一朝而復之。天下震動。諸侯驚駭。威加吳越。若此
 二士者。非不能成小廉。而行小節也。以為殺身亡軀。絕世滅後。
 功名不立。非智也。故去感忿之怨。立終身之名。棄忿憤之節。正義
曰：忿數粉反。惰於緣反。定累世之功。是以業與三王爭流。而名與天壤相弊。
 也。願公擇一而行之。燕將見魯連書。泣三日。猶預不能自決。欲
 歸燕。已有隙。恐誅。欲降齊。所殺虜於齊甚衆。恐已降。而後見辱。
 喟然歎曰。與人刃我。寧自刃。乃自殺。聊城亂。田單遂屠聊城。歸
 而言魯連欲爵之。魯連逃隱於海上。曰。吾與富貴而誦於人。寧
 貧賤而輕世肆志焉。

鄒陽者齊人也。游於梁。與故吳人莊忌夫子。淮陰枚生之徒交。上書。索隱曰。忌。曾稽人。姓莊氏。字夫子。後避漢明帝諱。改姓曰嚴。枚生。名乘。字叔。其子卓。漢書並有傳。蓋以衛枚氏而得姓也。而介於羊勝公

孫詭之間。索隱曰。言鄒陽上書自達。而游於二人之間。或往彼。或往此。介者。言有隔於其間。故杜預曰。介。猶閒也。勝等嫉鄒陽。惡

之。梁孝王。孝王怒。下之吏。將欲殺之。鄒陽客游。以讒見禽。恐死而負累。正義曰。謂不以罪死為累。乃從獄中上書曰。臣聞忠無不報。信不見疑。

臣常以為然。徒虛語耳。昔者荊軻慕燕丹之義。白虹貫日。太子

畏之。應劭曰。燕太子丹質於秦。始皇遣之無禮。丹亡去。故厚養荊軻。令西刺秦王。精誠感天。白虹為之貫日也。如淳曰。白虹。兵象。日為君。烈士傳曰。荊軻發後。太子自相氣見。

虹貫日不徹。曰。吾事不成矣。後聞軻死。事不立。曰。吾知其然也。○索隱曰。王劭又云。軻將入秦。待其客未發。太子丹疑其畏懼。故曰。畏之。其解不知見虹貫日不徹也。戰國策云。砥政刺韓。保亦曰。白虹貫日。是也。衛先生為秦畫長平之事。太白蝕昂。而昭王疑之。蘇林曰。白起為秦伐趙。破長平軍。欲遂滅趙。道衛先生說昭王。益兵糧。乃為應侯所害。事用不成。其精誠上達於天。故太白為之蝕昂。昂。趙分也。將有兵。故太白食昂。食。干歷之也。如淳曰。太白乃天之將軍。

也。○索隱曰。如淳云。太白主西方。秦在西。敗趙之兆也。又王充云。夫言白虹。夫精變。天

地。而信不喻。兩主豈不哀哉。今臣盡忠竭誠。畢議願。知張晏曰。盡。其計議願。

王知。左右不明。索隱曰。言左右之不明。不欲斥主。卒從吏訊。為世所疑。是使荊軻衛

先生復起。而燕秦不悟也。願大王孰察之。昔卞和獻寶。楚王刖

之。應劭曰。卞和得玉璞。獻之武王。武王示玉人。玉人曰。石也。刖右足。武王復復。獻文王。玉人復曰。石也。刖其左足。至成王時。下和抱璞哭于郊。乃使玉尹攻之。果得寶玉。○索隱曰。楚人卞和得玉璞。事見國語及呂氏春秋。秦世家。楚武王名熊通。文王名實成。王名懷。李斯竭忠。胡亥極刑。是以箕子伴

狂。索隱曰。伴音陽。謂詐為狂。接輿辟世。張晏曰。楚賈人伴狂避世也。○索隱曰。索隱曰。司馬彪曰。箕子名曰齊餘。案高士傳曰。楚人陸通字接輿。是也。恐

遭此患也。願大王孰察。卞和李斯之意。而後楚王胡亥之聽。索隱曰。謂以楚王胡亥之聽為謬。無使臣為箕子。接輿所笑。臣聞比干剖心。

子胥鴟夷。索隱曰。韋昭云。以皮作鴟鳥形。名曰鴟夷。鴟夷。皮楫也。服虔云。用馬革作囊。以裝尸投之於江。臣始不信。乃今知

乃從獄中書云云、
依注曰、書、此篇分
段、十段、今只五
大段、下段、更、二序、
、皆、因、何、人、言、子、似、
、皆、者、荆、軻、口、少、
加、為、焉、至、此、信、不、
、者、王、、信、不、
、者、王、、信、不、

太白蝕昂ハ、札記云、
案隱本蝕字食三作此。

蘇曰有白頭如新云云
無註曰此ヨリ三王易
爲也ニ至ル是第二段
讀ヲ信ゼザル利ナク
クテ今人主敢句ヲ以
テ之ヲ説ムナリ

之願大王孰察少加憐焉諺曰有白頭如新傾蓋如故桓譚新論曰言內有以相知與否不在新故也○索隱曰服虔云人不知知才能交至白頭猶如新也傾蓋如故如吳札鄭僑也家語孔子遇程子於途傾蓋而語又志林云傾蓋者道行相遇駟車對語兩蓋相切小敬之義何則知與不知也故昔樊於期逃秦之燕藉荊軻首故云傾蓋也

以奉丹之事索隱曰藉音子夜反韋昭云謂於期逃秦之燕以頭與軻使持入秦以示信也王奢去齊之魏臨城

自到以卻齊而存魏漢書音義曰王奢齊人也亡至魏其後齊伐魏奢登城謂齊將曰今君之來不過以奢之故也夫義不苟生以爲魏累遂

自到夫王奢樊於期非新於齊秦而故於燕魏也所以去二國

死兩君者行合於志而慕義無窮也是以蘇秦不信於天下而

爲燕尾生索隱曰服虔云蘇秦於秦不出其信於燕則出尾生之信韋昭云尾生守信而死者案言蘇秦於燕獨守信如尾生故云爲燕之尾生也白圭

戰亡六城爲魏取中山張晏曰白圭爲中山將亡六城君欲殺之亡入魏文侯原遇之還拔中山○索隱曰事見職國策及呂氏春秋也

何則誠有以相知也蘇秦相燕燕人惡之於王王按劍而怒食

爲燕尾生者蘇秦於秦札記下案齊二作今改

以駃騠漢書音義曰駃騠駿馬也生七日而超其母故重蘇秦雖有說謊而更勝以珍奇之味○索隱曰字林云馬父驢子北狄之良馬也○正義曰食音寺駃騠音決蹄

北狄良白圭顯於中山中山人惡之魏文侯文侯投之以夜光之

璧何則兩主二臣剖心拆肝相信豈移於浮辭哉故女無美惡

入宮見妬士無賢不肖入朝見嫉昔者司馬喜骸腳於宋卒相

中山晉灼曰司馬喜三相中山蘇林曰六國時人被此承上二人惡二子而音引司馬喜骸脚之重音已可見惡于人也范雎摺脅折齒於魏卒

爲應侯索隱曰應侯傳作折脅摺齒是也說文云拉推也音力答反此二人者皆信必然之畫捐朋黨

之私挾孤獨之位故不能自免於嫉妬之人也是以申徒狄自

沈於河漢書音義曰殷之末世人○索隱曰莊子申徒狄諫而不用負石自投於河韋昭云六國時人漢書云自沈於雍河服虔云雍州之河也又新序作抱石自沈於河

不同徐衍負石入海列士傳曰周不容於世義不苟取比周於朝以

移主上之心故百里奚乞食於路繆公委之以政甯戚飯牛車

也

下而桓公任之以國。應劭曰齊桓公夜出迎客而齊威疾擊其牛角商歌曰南山

夜半長夜曼曼何時旦公召與語說之以爲大夫○索隱曰事見呂氏春秋商歌者謂爲商聲

而歌也或云商旅人歌也二說並通 桓公禪反桓者白淨貌也願野王晉岸禪音善如字辭

協韻失之也 坤蒼云研此二人者豈借宦於朝假譽於左右然後二主

脛也字林音下諫反 此二二人者豈借宦於朝假譽於左右然後二主

用之哉此下即上齊子豈發移於齊制 感於心合於行親於膠漆昆弟不能離豈惑於衆口哉

故偏聽生姦獨任成亂昔者魯聽季孫之說而逐孔子索隱曰論

女樂季桓子受之三 宋信子罕之計而囚墨翟索隱曰左氏司城子罕姓樂名

日不朝孔子行也 宋信子罕之計而囚墨翟喜乃宋之賢臣也漢書作子冉

不知子冉是何人文穎曰子冉子罕也荀卿傳云墨翟孔子時人或云在孔子後又襄二十九

年左傳宋飢子罕請出粟時孔子適入歲則墨翟與子罕不得相葉或以子冉爲是不知何如

也夫以孔墨之辯不能自免於讒說而二國以危何則衆口鑠

金索隱曰國語云衆心成城衆口鑠金買遠云鑠消也衆口所惡雖金亦爲之消亡又風俗

通云或說有美金於此衆人或共誑言其不純金買者欲其必售同取鍛燒以見其真

是爲衆口積毀銷骨也 索隱曰大顏云聽人積久階毀則是以秦用戎人由

余而霸中國齊用越人蒙而疆威宣索隱曰越人蒙未見所出漢書作子

蔽又張晏云子臧或是越人蒙字也 此二國豈拘於俗牽於世繫阿偏之辭哉公聽竝觀垂名當世

索隱曰小顏云公聽言以下收拾而得意 故意合則胡越爲昆弟由余越人蒙是矣不合

則骨肉出逐不收朱象管蔡是矣今人主誠能用齊秦之義後

宋魯之聽則五伯不足稱三王易爲也是以聖王覺寤捐子之

之心徐廣曰燕王讓國 於其大臣子之也而能不說於田常之賢應劭曰田常事齊防公防公說

國家安 封比干之後修孕婦之墓應劭曰紂列姪者觀其胎產也○索隱曰案

全矣 比干之墓又唯云列別孕婦之墓封比干之後後謂子也不見其文尚書作封

比干之墓亦未必修孕婦之墓也 故功業復就於天下何則欲善無厭

也夫晉文公親其讎彊霸諸侯齊桓公用其仇而一匡天下晉

齊管仲也 何則慈仁懇勤誠加於心不可以虛辭借也至夫秦用

宋魯齊蔡楚矣朱象蒙
ノ子冉來ナリ、蒙ハ齊
ノ弟リ、管蔡ハ周ノ
管叔殺ナリ、
是以聖王覺寤云云、
此曰、此ヨリ、是第三段、
ニ至ル、是第三段、
ナ信ナルノ事ヲ舉ゲ、
而、亦今人主教句ヲ以
テ之ヲ望ムナリ。
捐子之之心而能不說於
田常之賢、札能云、漢世
文選能字於字ナシ、
川漢國曰、子之田常、
此ノ信リ、以テ巧便ナリ、
惑ニ易キノ臣ヲ謂フ。
夫晉文公親其讎云云、
類案曰、晉人物類、晉獻
公爲二文公ヲ述テ其
法ヲ解ル、文公位ニ即
クニ及ビ其言ヲ用ヒ、

以呂部ノ羅ヲ免ル、
 中ヲ、而テ用テ相ト爲
 ス、皆川淇而曰、管文齊
 組、當ク仇讎ヲ用フル
 キ、即チ善ク欲シ服クナ
 キ、寧ナリ、又、何則
 一旬、乃其能ク復第一
 區、唯其誠心天下ヲ愛ル
 故、以テ、此ク之ヲ得
 ルヲ釋スルナリ。
 至宋宋用商鞅之法云云
 二、皆川淇曰、秦越
 二、乃又誠心ニ加ヘ
 信、以テ、處辭ニ以テ
 是、以テ、報數云云ハ、皆
 川淇曰、是以以下、皆
 因、要主選ヒ離ク、而
 之、故、二木世出ノ
 士、多ク、遠道ニ甘ンズ
 言フナリ。
 憤可報之、意ハ、皆川淇
 曰、之、ガ、臣、タル、者、
 シテ、感、激、シ、之、ガ、恩、ヲ
 報、ス、ル、ヲ、願、フ、ノ、意、
 シ、ム、カ、ク、謂、フ。
 見情素、師節古曰、
 見、ハ、顯、シ、テ、之、ニ、示、ス、
 ナ、
 無愛於士ハ、師節古曰、

吝惜スル所ナキナリ。
 臣聞明月之珠云云ハ、
 世、也、
 明也、
 今、人、主、ノ、權、信、ス、ル、
 川淇曰、光、容、レ、バ、
 則、枯、株、モ、重、宝、ト、爲、リ、
 玉、モ、怪、ム、所、ヲ、爲、ル、
 王、モ、怪、ム、所、ヲ、爲、ル、
 所、ナ、キ、者、人、主、ヲ、
 ギ、ル、ベ、カ、ル、ナ、リ、
 隋、侯、之、珠、ハ、漢、書、國、
 二、作、ル、
 國、ノ、後、
 見、
 以、
 麗、色、
 包、
 序、
 作、
 國、
 陶、
 者、
 者、

商鞅之法、東弱韓魏、兵彊天下、而卒車裂之、越用大夫種之謀、禽勁吳、霸中國、而卒誅其身、是以孫叔敖三去相而不悔、索隱曰、三去相不悔、知其才之自得也。於陵子仲辭三公、爲人灌園、列士傳曰、楚於陵子三去相不悔、知非己之罪也。仲楚王欲以爲相而不許、爲人灌園、索隱曰、孟子云、陳仲子齊陳氏之族、兄爲齊卿、仲子以爲不義、乃適楚、居于陵、自謂於陵子仲楚王聘以爲相、子仲遂夫妻相與逃、爲人灌園、列士傳、字子終者、是也。今人主誠能去驕傲之心、懷可報之意、披心腹、見情素、墮肝膽、施德厚、終與之窮達、無愛於士、則桀之狗可使吠堯、此承上言士必爲己用、宗已必報主、厚無不使也。而臧之客可使刺由、應劭曰、路之客、爲其人使刺由、由、許由也、路、盜路也。索隱曰、竝見灌園策。況因萬乘之權、假聖王之資乎、然則荊軻之湛七族、要離之燒妻子、應劭曰、荊軻爲燕刺秦始、鼻不成而死、其族坐之、溝沒、吳王闔閭欲殺王子慶忌、要離詐以罪亡、令吳王嬖其妻、子、要離走見慶忌、以劍刺之、張晏曰、七族、上至曾祖、下至曾孫、○索隱曰、湛、音沈、七族、父之姓、一也、姑之子、二也、姊妹之子、三也、女之子、四也、母之姓、五也。豈足道哉、此下言其先許、臣聞明月之珠、此下言其先許、從子六也、及妻父母凡七族也、要離事見呂氏春秋。

夜光之璧、以闇投人於道路、人無不按劍相眄者、何則、無因而至前也、蟠木根柢、輪囷離詭、張晏曰、根柢、下木也、輪囷、離詭、委曲、聚戾也、○索隱曰、孟康云、蟠、結之木也、杳、灼云、聚、柢、木根也。而爲萬乘器者、何則、以左右先爲之容也、索隱曰、左右先加離、刺是爲之容飾也。故無因至前、雖出隋侯之珠、夜光之璧、猶結怨而不見德、故有人先談、則以枯木朽株、樹功而不忘、今夫天下布衣窮居之士、身在貧賤、雖包堯舜之術、索隱曰、言蒙被堯舜之道也。挾伊管之辯、懷龍逢比干之意、欲盡忠當世之君、而素無根柢之容、雖竭精思、欲開忠信、輔人主之治、則人主必有按劍相眄之跡、是使布衣不得爲枯木朽株之資也、此言聖王以規後世、是以聖王制世御俗、獨化於陶鈞之上、漢書音義曰、陶家二名、模、下、員、轉者、爲鈞、以其能制器爲大小比之於天、○索隱曰、張晏云、陶冶、鈞、範也、作器下所轉者、名鈞、章昭曰、陶、燒瓦之窰、鈞、木長七尺有絃、所以調爲器具也、崔浩云、以鈞制器、萬殊、故如造化之運轉、裁

索隱述贊曰魯連達士高才遠致釋難解紛辭祿肆志齊將挫辯燕軍沮氣鄒子遇見既獄吏慷慨獻說時王所器

蘇子古史曰戰國游談之士非從卽衡說行交合而寵祿附之故事不服詭詐爭走于利魯仲連辯過秦儀氣凌冕行而從橫之利不入于口因事放言切中機會排難解紛如決潰堤不終日而成功逃避爵賞脫屣而去戰國以來一人而已

黃震曰魯仲連關新垣衍帝秦之說引鄒魯不肯納齊湣王之事爲證可謂深切著明矣然解鄒鄒之圍者平原君力也非仲連口舌之所能解也射書聊城使其將自殺而城見屠此不過爲田單謀耳縱當時無仲連書聊城無救勢亦必亡亦非甚有功於田單也射書何爲哉使連能說單無屠聊而射書于城約其將善降或說燕無殺其將而使其將歸燕以救聊城之命皆可也連釋此不爲射書何爲哉彼不預吾事而預之是爲出位惟不以符賞自累而輕世肆志焉故得優游天下如飛鳥翔空然直以爲天下士未也○鄒陽自陷繯經諄諄求哀以此得位不甚羞哉

楊維禎曰戰國之士非游說則游俠耳獨魯仲連不涉縱衡之利稱天下士也當是時秦爲七國雄乘戰勝之氣肆虎狼之威韓魏制燕趙齊謀楚燕括并吞之志固不待莊襄之後也向之從親會盟歃血之君今日割地求和明日遣子入質若投肉餒虎馴至裂冠毀冕以臣妾之秦不稱帝於天下一髮之閒耳孰謂布衣之客不在卿相之位無尺寸之兵而欲恃三寸之舌挽天下既去之勢不亦難哉夫以片言之激何有破二國之疑陷海一死奚足活上黨四十萬之命方且圖脫諸侯於酈隨之地亦涼涼矣今也三晉之君一聽其言而作其委靡潰敗之氣大梁之使聞其議而起盜邊畏縮之心使秦不得志於天下者又四十年嗚呼向非連也則山東諸侯馳車馬奉玉帛奔走

關中秦且儼然以衆洛之周自處矣及其拒五城之封乘如敵屣砂千金之壽輕於鴻毛高節雅度照曜千古孟子曰吾善養吾浩然之氣是氣也至大至剛塞乎天地之閒連之不屬於物者以氣勝也謂之天下士夫何愧哉游說也游俠也比諸妾婦者吾不得同日語也太史公俾鄒陽同傳擬人恐非其倫耳

史記評林卷之八十三終

史記評林卷之八十四

屈原賈生列傳第二十四

屈原者。名平。楚之同姓也。

正義曰。屈景昭。皆楚之族。王逸云。楚王始都是生子。瑕受屈為卿。因以為氏。

為楚懷

王左徒。

正義曰。蓋今在左右拾遺之類。

博聞彊志。明於治亂。嫻於辭令。

史記嫻音。嫻又音閑。

與王圖議國事。以出號令。出則接遇賓客。應對諸侯。王甚任之。

上官大夫與之同列。爭寵而心害其能。懷王使屈原造為憲令。

屈平屬草藁未定。

索隱曰。屈音燭。草藁謂創制憲令之本。漢書作草具。崔浩謂發始造端也。

上官大夫見而欲

奪之。

正義曰。王逸云。上官斬尚。

屈平不與。因讒之曰。王使屈平為令。衆莫不知。

每一令出。平伐其功。曰以為非我莫能為也。王怒而疏屈平。屈

為楚懷王左徒。錢大昕曰。黃歇左徒。則左徒亦楚之官。左徒。禮記云。注正義在字。疑即下大字。為衍字。即下。關於辭令。屬。習。

屈平屬草藁。札記。屈平屬草藁。云。屈平或屬草藁。云。屈平或屬草藁。云。屈平或屬草藁。云。

漢書卷之九十四 注同 錢氏
政典 依子改 蔡本
中統 游本 本位 二 丹陽
二 作 楚世家 同 注
注 正義 注 注 注 注
注 正義 注 注 注 注
注 正義 注 注 注 注
注 正義 注 注 注 注

段其將傳味注正義其
反 錢大昕曰 呂氏春
秋 錢大昕曰 漢書古
今 義同 古文 義
通 也

遂取楚之漢中地。徐廣曰楚懷王十六年張儀來相。十七年秦敗屈匄。正義曰梁州。懷王乃悉發國中兵以深入擊秦，戰於藍田。魏聞之，襲楚至鄧。索隱曰鄧在漢水北故鄧侯城也。楚兵懼，自秦歸而齊竟怒，不救楚。楚大困。明年秦割漢中地與楚，以和。楚王曰：「不願得地，願得張儀，而甘心焉。」張儀聞，乃曰：「以一儀而當漢中地，臣請往。」如楚，如楚。又因厚幣用事者，臣靳尚而設詭辯於懷王之寵姬鄭袖。懷王竟聽鄭袖，復釋去張儀。是時屈平既疏，不復在位，使於齊。顧反，諫懷王曰：「何不殺張儀？懷王悔，追張儀不及。」索隱曰張儀傳無此語。其後諸侯共擊楚，大破之，殺其將唐昧。徐廣曰二十八年敗唐昧。時秦昭王與楚婚，欲與懷王會。懷王欲行也。正義曰昧莫葛反。屈平曰：「秦虎狼之國，不可信，不如無行。」索隱曰楚世家昭唯有此言。蓋二人同諫王，故彼此各隨錄之也。

懷王稚子子蘭勸王行，奈何絕秦歡。懷王卒行，入武關，秦伏兵絕其後，因留懷王以求割地。徐廣曰三十一年入秦。懷王怒，不聽，亡走趙。趙不內，復之秦，竟死於秦而歸葬。長子頃襄王立。索隱曰名橫。以其弟子蘭為令尹。楚人既咎子蘭，以勸懷王入秦而不反也。屈平既嫉之，雖放流，睠顧楚國，繫心懷王，不忘欲反，冀幸君之一悟，俗之一改也。其存君興國而欲反覆之一篇之中，三致志焉。然終無可奈何，故不可以反卒。以此見懷王之終不悟也。人君無愚智，賢不肖，索隱曰此已下太史公傷楚懷王之不任賢信讒而不能反國之論也。莫不欲求忠以自為，舉賢以自佐。然亡國破家相隨屬，而聖君治國累世不見者，其所謂忠者不忠，而所謂賢者不賢也。懷王以不知忠臣之分，故內惑於

一 禮之中 三 致 志 焉 云
云 三 廉 服 之 曰 忽 又 轉
字 于 廉 服 上 二 到 一
人 君 無 愚 智 云 云 余 有
丁 曰 事 序 序 未 死 畢
了 曰 中 四 離 離 爾 二 論
斷 以 以 之 伯 夷 傳 卜
或 阿 阿 之 資 障 之 變 體 卜

法制度へ、礼記、中統
遊法ヲ改ニ作ル、按
ニ漢書法字ヲ刪ル。

漢書未述へ、前漢古曰、
遊、暇ナリ、白ウ以テ
當ニ制ガ改ムベカラズ
ト爲ス。

註在行間ヨリ不得長又
文至此十字ナシ、漢書
云、生原爲合ニ入ル
ニ因リ、故ニ以テ合長
キヲ得ズト爲ス、皇注
乃下文ニ抽出スル者、
此ニ行ナルベシ、
其承蓋意、前漢古曰、
遊、暇ナリ、白ウ以テ
當ニ制ガ改ムベカラズ
ト爲ス、
遺世同極兮、前漢古曰、
遊、暇ナリ、白ウ以テ
當ニ制ガ改ムベカラズ
ト爲ス、
方正倒植、後漢新曰、植
ハ根ト同ク、論語ニ植
其狀而雲、漢石經置
之於、札記ニ云、遊注ニ
記ヲ引テ値ニ作ル。

幹棄周鼎兮、實漢書、
札記而字ナシ、云フ各

每詔令議下。諸老先生不能言。賈生盡爲之對。人人各如其意。所欲出。諸生於是乃以爲能不及也。孝文帝說之。超遷一歲中。至太中大夫。賈生以爲漢興至孝文二十餘年。天下和洽。而固當改正朔。易服色。法制度。定官名。興禮樂。乃悉草具其事儀法。色尚黃。數用五。正義曰漢文帝時黃龍見成紀故改爲上也爲官名。悉更秦之法。孝文帝初卽位。謙讓未遑也。諸律令所更定。及列侯悉就國。其說皆自賈生發之。於是天子議以爲賈生任公卿之位。絳灌東陽侯馮敬之屬盡害之。正義曰絳灌周勃灌嬰也東陽侯張相如馮敬時爲御史大夫乃短賈生曰。雒陽之人年少初學。專欲擅權。紛亂諸事。於是天子後亦疏之。不用其議。乃以賈生爲長沙王太傅。索隱曰誼爲傅是吳芮之玄孫差襲長沙王之時也非景帝之子長沙王發也荆州記長沙城西西北隅有

賈誼兩及誼
坐石牀在也。賈生既辭。往行。聞長沙卑溼。自以壽不得長。又以適去。徐廣曰竹革反章昭曰誦誼也意不自得。及渡湘水。爲賦以弔屈原。其辭曰。共承嘉惠兮。張晏曰。侯。罪長沙。側聞屈原兮。自沈汨羅。造託湘流兮。敬弔先生。索隱曰造音七到反遭世罔極兮。乃隕厥身。嗚呼哀哉。逢時不祥。鸞鳳伏竄兮。鸕臯翱翔。索隱曰鸕臄一句。靈下句對賢聖逆曳兮。方正倒植。索隱曰胡廣云逆曳不得順而行世謂伯夷貪兮。謂盜跖廉。索隱曰盜跖盜跖也書作隨夷。濁兮。蹈履塵。一旬皆兼兩。莫邪爲頓兮。冠名環曰許慎曰。莫邪大戟也。○索隱曰。吳越春秋曰。吳王使干將造劍二枚。一曰。鈇。刀爲鈇。徐廣曰。思廉反。闕案漢書音錫也。鈇利也。音。于嗟嚶嚶兮。生之無故。應劭曰。嚶嚶不自得。與伯夷盜跖同幹棄周鼎兮。鑄言其暗惑也。

乙入、離字、都都下去魚
ト知ウザルナリ、今惟
賈生曰長沙王太傅注、
札紀上文乃以賈誼爲長
沙王太傅注、索隱云、移
シ、此際正屬ノ上ニ入
レ、云フ合則本索隱
前文ニ係ク、可馬以
意ニ非ズ、今修正スト。

單闕之歲注、徐廣曰文帝
六年歲在丁卯、韓大所
曰、即書律歷志、按大
ルニ、高帝元年歲在辛
酉、因致ト名、太初元年以
因致ト名、單闕、是ク以
當ニ是文帝七年ナルベ
シ、徐氏古者解辰ノ法
アルヲ知ラズ、故ニ六
年ト云フナリ、按ニ六
年ハ午ナリ、因致ト名
ナリ。

化變而還ハ、札紀變化
ニ作ル、云フ毛本索隱
本及漢書文選ト合ス、
各本倒ス、錢大昕曰、文
選體ハ二作ル、索隱
原本訓、而ク如ト爲シ、
讀ナドト爲スニ从フナ

宅在縣南三十步。湘水記云：誼宅中有一井，誼所穿，極小而深，上斂下大，其狀如壺，傍有一局，脚石狀，容一人坐，形流古制，相承云：誼所坐。

三年有鴉飛入，賈生舍止於坐隅。楚人命鴉曰服。晉灼曰：異物志有山鴉，體有文色，土俗因形名之曰服，不能遠飛行不出。

城。○索隱曰：鄆展云：似鵠而大，荆州記云：巫縣有鳥如雞，鷄其雄爲鴉，楚人謂之服。吳錄云：服，黑色也。鳴自呼其名。賈生既以適居，長沙長

沙卑溼，自以爲壽不得長，傷悼之，乃爲賦以自廣。索隱曰：姚氏云：廣，猶寬也。

其辭曰：單闕之歲兮。徐廣曰：歲在卯曰單闕。文帝六年歲在丁卯。○索隱曰：李巡云：單闕，起也。陽氣推萬物而起，故曰單闕。孫炎本作蟬，焉蟬猶伸也。○

正義闕。四月孟夏，庚子日施兮。服集予舍。徐廣曰：施一作斜。○索隱曰：施音矢移反。猶西斜也。漢書作斜

止于坐隅，貌甚閒暇，異物來集兮。私怪其故，發書占之兮。策言

其度。索隱曰：漢書作識，說文云：識，驗言也。此作策，蓋識策之辭。○正義曰：發策數之書，占其度驗。曰野鳥入處兮。主人將

去，請問于服兮。予去何之。索隱曰：予，於也。漢書作子。吉乎告我凶，言其

蓄。正義曰：淹數之度兮，語予其期。徐廣曰：服乃歎息，擊首奮翼，口

不能言，請對以臆。正義曰：萬物變化兮，固無休息，幹流而遷兮。

或推而還。索隱曰：幹音鳥，活反，幹轉也。形氣轉續兮。化變而嬗。服虔曰：嬗音如蟬，謂變

○索隱曰：章昭云：而如也。如蟬之蛻。化也。蘇林云：嬗音禪，謂其相傳與也。物穆無窮兮。胡可勝言。索隱曰：漢書無窮作

物穆，深微貌，以言其理深微。禍兮福所倚。正義曰：於

不可盡言也。○正義曰：音勿。福兮禍所伏。老子之言

然禍字古作既。案倚者，立也。伏下。憂喜聚門兮。吉凶同域。正義曰：言禍福

身也。以言禍福遞來，猶如伏立也。吳彊大兮。夫差以敗。越棧會稽兮。句踐霸世。斯游遂成兮。卒被

五刑。章昭曰：斯，李斯也。傅說胥靡兮。徐廣曰：厲刑也。○索隱曰：晉灼云：胥，相也。厲隨也。古者

在河東太陽縣。又夏靖書云：綺氏十里河。乃相武丁。夫禍之與福兮。何異糾

纏。應劭曰：福禍相爲表裏。如糾纏繩索，相附會也。瓊曰：糾，絞也。纏，索也。○索隱

纏。○正義曰：福禍相爲表裏。如糾纏繩索，相附會也。瓊曰：糾，絞也。纏，索也。○索隱

纏。○正義曰：福禍相爲表裏。如糾纏繩索，相附會也。瓊曰：糾，絞也。纏，索也。○索隱

纏。○正義曰：福禍相爲表裏。如糾纏繩索，相附會也。瓊曰：糾，絞也。纏，索也。○索隱

纏。○正義曰：福禍相爲表裏。如糾纏繩索，相附會也。瓊曰：糾，絞也。纏，索也。○索隱

札記云、魏文體係三
字皆シ、字皆字雖
ニ於之ヲ求ムル、固
好惡兼注李奇曰所好
所惡兼之萬俊 韓大所
曰、索隱曰、謂ルベ
シ、謂文ニ至、謂ルベ
フ、曰、十萬ヲ對ト曰
直人汝汝注不以心作
死ハ、札記死ヲ道ニ指
テ改ム。

養空而游ハ、札記游
浮ニ作ル、索隱本ト漢
書文選ト合ス、各本浮
ヲ游ニ作ル、韓志云、
細故懸荆兮、錢大昕曰、
荆ハ字ヲ改メズ、當ニ荆
ニ作ルベシ、荆芥非荆
近シ、故ニ漢齊ニ作
荆如ク加ニ作ル、云フ
如ニ改ス、今改ム。

玉季頃時列爲九卿ハ、
漢後漢曰、同馬遷ハ、
漢武末年ニ卒ス、此
列傳者、頃ノ時ニ至リ、
列傳九卿ト爲ルト旨
ヲ、蓋後人ノ増ス所ノ
也。

道息、索隱曰、莊子云、古之真人、不知悅生、不知惡死、不以心損死、不以 釋、知遺形兮。
入助、天呂氏春秋曰、精氣日新、邪氣盡去、反其天年、謂之真人也。 超然自喪。
服虔曰、絕聖棄知、而忘其身也。○索隱曰、遺形者、形固可使如 寥廓忽

荒兮、與道翱翔、乘流則逝兮、得坻則止。
徐廣曰、坻一作坎、劇案張晏曰、坻 水中小州也。○索隱曰、漢書、坻作

坎、周易坎九二有險、言君子見險則止。 縱軀委命兮、不私與己、其生若浮兮、其死若休。

生故自竇兮、養空而游。
漢書音義曰、如舟之空也。○索隱曰、鄧展云、自竇自貴 也、養空而游、言體道之人、但養空性、而心若浮舟也。

德人無累兮、知命不憂。
索隱曰、德人、謂上德之人、心 中無物、累是德道之士也。細故懸荆兮、何足

以疑。
章昭曰、懸音士介反。○索隱曰、前音介、漢書作介、張揖云、懸介、刺也、以言細微 事不足懸介我心、故於此云何足以疑之者也。○正義曰、懸刃過反、前如過反。

歲餘賈生徵、見孝文帝方受釐。
徐廣曰、祭祀福祚也、劇案如淳曰、漢唯祭 天地五時、皇帝不自行祠、還致福釐音儋。

宣室。
蘇林曰、未央前正室。○索隱曰、三輔故事 云、宣室在未央殿北、應劭云、祭餘肉也。

上因感鬼神事、而問鬼神之

本。賈生因具道所以然之狀、至夜半文帝前席、既罷曰、吾久不

見賈生、自以爲過之、今不及也。居頃之、拜賈生爲梁懷王太傅、

索隱曰、梁懷王、名毋、文帝子。 梁懷王、文帝之少子、愛而好書、故令賈生傅之。文

帝復封淮南厲王子四人皆爲列侯、賈生諫以爲患之興、自此

起矣。賈生數上疏、言諸侯或連數郡、非古之制、可稍削之、文帝

不聽。居數年、懷王騎墮馬而死。
徐廣曰、文 帝十一年、無後、賈生自傷、爲傅無

狀、哭泣歲餘亦死。賈生之死、時年三十三矣。及孝文崩、孝武皇

帝立、舉賈生之孫二人、至郡守、而賈嘉最好學、世世其家、與余

通書。至孝昭時、列爲九卿。

太史公曰、余讀離騷、天問、招魂、哀郢、悲其志、適長沙、觀屈原所

此篇意用屈原而語奇峻

自沈淵。索隱曰：荆州記云：長沙羅縣北帶汨水。去縣四十里。是原自沈處。北岸有廟也。未嘗不垂涕，想見其為人。

及見賈生弔之，又怪屈原以彼其材，游諸侯，何國不容，而自令

若是，讀服鳥賦，同死生，輕去就，又爽徐廣曰：一作爽。然自失矣。

索隱述贊曰：屈平行正，以事懷王，瑾瑜比潔，日月爭光，忠而見放，譴者益章，賦騷見志，懷沙自傷，百年之後，空悲弔湘。

蘇子古史曰：漢賈誼為長沙傅，適汨羅為賦，以弔屈原曰：歷九州而相君，何必懷此故都，誼之言或一道也，而非原志，原楚同姓，不忍弃其君而之四方，而誼教之以孔子孟軻歷聘諸侯，以求行道，勢必不從矣。柳下惠為士師，三黜而不去，曰：直道而事人，何往而不三黜。枉道而事人，何必去父母之邦。惜乎屈原廉直而不知道，殉節以死，然後為快，此所以未合于聖人耳。使原如柳下惠用之，則行舍之則藏，終身於楚，優游以卒歲，庶乎其志也哉。

楊維禎曰：原楚之宗臣也，又懷王之所寵任也。王西行以昭虎狼之口，原當以死諫，王不從，以身先之，不則與王俱行，王存而存，王亡而亡，原報主法也。質不委于先王，而受嫌于後主，放于江南，至無所自容，而卒投汨羅以死，嗚呼！移其葬魚腹者，葬虎闕，不為死之得所哉。

何良俊曰：太史公以賈誼與屈原同傳，故但載其弔屈原文與鵬賦二篇而已。然誼所上政事書，先儒稱其通達國體，以為終漢之世，其言皆見施用。其所論貯積與發錢諸事，皆大有關于政理，是固可以不傳。班固取入漢書傳中，最是。或者太史公未及覽齊

漢事，故但取其似屈原者附入耳。

余有丁曰：漢帝非楚王比，漢之用誼，亦不類楚之放平。貴戚之卿見楚將亡，不用己之言，不得已而自沈，誼以新進之士，欲聞大臣而更帝制，則不能自用于帝。太史公同取其文，而同悲其志，故列為同傳焉。

王慎中曰：太史公先敘屈原以譏見諫于懷王，作離騷而發明其所以作之意，復敘其勸懷王殺張儀不從，諫懷王母入秦不從，而又發明其倦倦宗國以及人君知人之難，然後敘其見放作漁父天問與懷沙賦而終之，以自投汨羅，此必有得于屈原行事次第之實，而文亦宛轉有餘味矣。

史記評林卷之八十四終

史記評林卷之八十五

呂不韋列傳第二十五

呂不韋者陽翟大賈人也。

索隱曰翟音狄。俗又音宅。地理志縣名屬潁川。戰國策以不韋為潁陽人。又記其事迹亦多與此傳不同。

班固雖云太史公採戰國策。然為此傳。當別有所聞。見故不全依彼說。或者劉向定戰國策時。以己異聞。改易彼書。遂令不與史記合之也。賈音古。鄭玄注周禮云。行曰商。處曰賈。○正義曰。陽翟今河南府也。往來販賈賣貴。徐廣曰。一本云陽翟大賈也。往來賤買貴賣也。○家累千金。秦昭王四十年。太子死。其四十二年。以其次子安國君為太子。

索隱曰。名柱。後立。是為孝文王也。安國君有子二十餘人。安國君有所甚愛。姬立以為正夫人。號曰華陽夫人。華陽夫人無子。安國君中男名子楚。

索隱曰。即莊襄王也。戰國策曰。本名異人。後從趙還。不韋使以楚服見王。后悅之曰。吾楚人也。而子字之。乃變其名曰子楚。子楚母曰夏姬。

陽翟大賈人也。注正義今河南府也。札記今河南府縣。作凡。云。也字誤。考證改。

往來販賈賣貴。曾川洪曰。販物。後世用此所。事。市中。行賈。義。下。爲。入。而。字。此。販。字。如。買。字。是。價。賤。者。以。字。買。下。爲。入。

自奉而西游秦。求見華陽夫人姊。而皆以其物獻華陽夫人。因言子楚賢智。結諸侯賓客。偏天下。常曰。楚也以夫人為天。日夜泣思太子及夫人。夫人大喜。不韋因使其姊說夫人。索隱曰。戰國策作說秦王。后弟陽泉君也。曰。吾聞之。以色事人者。色衰而愛弛。今夫人事太子。甚愛而無子。不以此時蚤自結於諸子中賢孝者。舉立以為適。而子之。索隱曰。以此為一句。子謂養之為子也。然欲舉立以為適。作上句。而子之。夫在則重尊。作下句。意亦通。夫在則重尊。夫百歲之後。所子者為王。終不失勢。此所謂一言而萬世之利也。不以繁華時樹本。即色衰愛弛後。雖欲開一語。尚可得乎。今子楚賢而自知中男也。次不得為適。其母又不得幸。自附夫人。夫人誠以此時拔以為適。夫人則竟世有寵於秦矣。華陽夫人以為然。承

子楚質於趙者絕賢ハ、董遷ヲ。趙ハ相去ル遠ナリ。

呂不韋意云云ハ、董份曰。念フ、眞ニ念フニ非ズ、不韋身スルアルヲ知リ、而テ伴リ怒リ、以テ念フ、ミ通然不韋伴基ニ作ル。

太子閒。從容言。子楚質於趙者絕賢。索隱曰。閒音閑。從音七恭反。來往者皆稱譽之。乃因涕泣曰。妾幸得充後宮。不幸無子。願得子楚立以為適嗣。以託妾身。安國君許之。乃與夫人刻玉符約以為適嗣。安國君及夫人因厚餽遺子楚。而請呂不韋傅之。子楚以此名譽益盛於諸侯。呂不韋取邯鄲諸姬絕好善舞者與居。索隱曰。言其妾容絕美而又善。知有身。子楚從不韋飲。見而說之。因起為壽。請之。呂不韋怒。念業已破家為子楚。欲以鈞奇。無索隱曰。鈞者。以取魚喻也。奇。即上云此奇貨可居也。乃遂獻其姬。姬自匿有身。至大期時。徐廣曰。期。十二月也。○索隱曰。譙周云。人十月生此。過二月。故云大期。蓋當然也。既云自匿有娠。則生政固當。論常期也。生子政。子楚遂立姬為夫人。秦昭王五十年。使王齕圍邯鄲。急趙欲殺子楚。子楚與呂不韋謀。行金六百斤。予守者吏。得

子楚夫人趙豪家女也。錢大昕曰：蓋不韋之妻助之。漢三節婦ノ家。家トナル。

莊襄王所養母、札配養字ナリ、云フ各本所下。養字アリ、蓋不韋ノ養志云、後人ノ妄加ナリ。

脫亡赴秦軍。遂以得歸。趙欲殺子楚妻子。子楚夫人趙豪家女也。得匿。以故。母子竟得活。秦昭王五十六年。薨。太子安國君立。爲王。華陽夫人爲王后。子楚爲太子。趙亦奉子楚夫人及子政歸秦。秦王立一年。薨。諡爲孝文王。太子子楚代立。是爲莊襄王。莊襄王所養母華陽后。爲華陽太后。索隱曰：劉氏本作所生母生。衍字。今檢諸本。並無生字也。眞母夏姬尊。以爲夏太后。莊襄王元年。以呂不韋爲丞相。封爲文信侯。索隱曰：下文尊爲相國。案百官表云：皆秦官。金印紫綬。掌承天子勅。理萬機。秦有左右高帝置一。後又更名相國。哀帝時更名太司徒。食河南洛陽十萬戶。索隱曰：戰國策云：食鹽田十二縣。而秦本紀：莊襄王元年。初置三川郡。地理志：高祖更名河南。此秦代而曰河南者。史記後作據漢郡而言之耳。莊襄王卽位三年。薨。太子政立爲王。徐廣曰：時年十三。尊呂不韋爲相國。號稱仲父。正義曰：仲中也。次父也。蓋效齊桓公以管仲爲仲父。秦王年少。太后時時竊私通呂不韋。不

齊有孟嘗君注。案孟嘗君卽死已久。據表及傳。札云。單本此十一字ナリ。

韋家僮萬人。當是時。魏有信陵君。正義曰：年表云：秦昭王五十六年。平原君卒。始皇四年。信陵君死。始皇九年。李園殺春申君。孟嘗君當秦昭王二十四年。已後而卒。最早。楚有春申君。趙有平原君。齊有孟嘗君。索隱曰：孟嘗春申死已久。據表及傳。孟嘗春申死稍在前。信陵將五國兵攻秦河外。正當在莊襄王時。不韋已爲相。又春申與不韋並時。各相向十餘年。不得言死之久矣。皆下土。喜賓客。以相傾。呂不韋以秦之疆。羞不如。亦招致士。厚遇之。至食客三千人。是時諸侯多辯士。如荀卿之徒。著書布天下。呂不韋乃使其客人人著所聞。集論以爲八覽。六論。十二紀。二十餘萬言。索隱曰：八覽者。有始孝行。慎大先。識審分。審應離俗。時君也。六論者。開春慎行。貴直不荀。以順土容也。十二紀者。記十二月也。其書有孟春等紀二十餘萬言。三十餘卷也。以爲備天地萬物古今之事。號曰呂氏春秋。布咸陽市門。索隱曰：地懸千金其上。理志：右扶風渭城縣。故咸陽。高帝更名新城。武帝更名渭城。案咸陽。其地在渭水之北。北阪之南。水北曰陽。山南亦曰陽。皆在二者之陽也。延諸侯游士賓客。有能增損一字者。予千金。始皇帝益壯。太后

遷居反、
遷居反、
遷居反、
遷居反、

始七年莊襄王母夏太后云云、方苞曰、夏太后、
夏太后、
夏太后、
夏太后、

體臣二關スルナシ、故
二見所以、又後、
二見所以、又後、
二見所以、又後、

淫不止。呂不韋恐覺禍及己。乃私求大陰人嫪毐。以為舍人。時縱倡樂。使毒以其陰。關桐輪而行。正義曰。以桐木為小車輪。令太后聞之。以昭

太后。太后聞。果欲私得之。呂不韋乃進嫪毐。詐令人以腐罪告之。正義曰。腐。音輔。謂宮刑符靡也。不韋又陰謂太后曰。可事詐腐。則得給事中。太后乃陰厚賜。主腐者吏詐論之。拔其鬚眉。為宦者。遂得侍太后。

太后私與通。絕愛之。有身。太后恐人知之。詐卜當避時。徙宮居雍。正義曰。雍。故城在岐雍縣南七里。有秦都大郊宮。嫪毐常從。賞賜甚厚。事皆決於嫪毐。嫪毐家僮數千人。諸客求宦。為嫪毐舍人千餘人。始皇七年。莊襄王

母夏太后薨。孝文王后曰華陽太后。與孝文王會葬壽陵。正義曰。秦孝文王陵在雍州萬年縣東北二十五里。夏太后子莊襄王葬正陽。索隱曰。正音止。地理志云。京兆霸陵縣。故正陽按在長安東也。

○正義曰。秦莊襄陵在雍州新豐縣西南三十五里。始皇在北。故俗亦謂之見子陵。故夏太后獨別葬杜東。索隱曰。杜原之東也。○正義曰。夏太后陵在萬年縣東南二十五里。曰。東望吾子。西望吾夫。後百年。旁當有萬家邑。索隱曰。宣帝元康元年。起社陵漢舊儀。武昭宣三陵皆三萬戶。計去此一百六十餘年也。始皇九年。有告嫪毐實非宦者。常與太后私亂生子二人。皆匿之。與太后謀曰。王即薨。以子為後。

說苑曰。毒與待中左右貴臣博飲酒醉。爭言而鬪。賊目大叱曰。吾乃皇帝假父也。嫪人子。何敢乃與我亢。所與鬪者。走行白始皇。○索隱曰。劉氏。嫪音其。矩反。今俗本多作屢字。蓋相承錯耳。不近詞義。說苑作。婁子。言輕。於是秦王下吏治。具得情實。事連相國呂諸侍中。以為窮婁家之子也。

不韋九月。夷嫪毐三族。殺太后所生兩子。而遂遷太后於雍。索隱曰。說苑云。遷太后械陽宮。地理志。雍縣有械陽宮。秦昭王所起也。諸嫪毐舍人。皆沒其家。而遷之蜀。索隱曰。雍縣有械陽宮。秦昭王所起也。諸嫪毐舍人。皆沒其家。而遷之蜀。索隱曰。雍縣有械陽宮。秦昭王所起也。

生資物。並沒於官。王欲誅相國。為其奉先王功大。及賓客辯士。為遊說者衆。王不忍致法。秦王十年十月。免相國呂不韋。及齊人茅

說者衆。王不忍致法。秦王十年十月。免相國呂不韋。及齊人茅

說者衆。王不忍致法。秦王十年十月。免相國呂不韋。及齊人茅

焦說秦王。秦王乃迎太后於雍，歸復咸陽。徐廣曰：入南宮。而出文信侯，就國河南。歲餘，諸侯賓客使者相望於道。請文信侯，秦王恐其為變，乃賜文信侯書曰：君何功於秦，秦封君河南，食十萬戶。君何親於秦，號稱仲父。其與家屬徙處蜀。呂不韋自度稍侵，恐誅，乃飲酖而死。徐廣曰：十二年。剛案皇覽曰：不韋家在河南洛陽北邙道西。大家是也。民傳言呂母家不韋妻先葬，故其家名呂母也。秦王所加怒，呂不韋、嫪毐皆已死，乃皆復歸嫪毐舍人遷蜀者。始皇十九年，太后薨，諡為帝太后。索隱曰：王劭云：秦不用諡法，此蓋號耳。其義亦當然也。始皇稱皇帝之後，故其母號為帝太后。豈謂誅列生時之行乎。與莊襄王會葬芷陽。徐廣曰：一作芷陽。

太史公曰：不韋及嫪毐貴封，號文信侯。索隱曰：文信侯不韋封也。嫪毐封長信侯。上文已言不韋封，此贊中言嫪毐得寵，實由不韋耳。合作長信侯。人之告嫪毐，毒聞之，秦王驗左右，未發。上之雍。

郊，毒恐禍起，乃與黨謀，矯太后璽，發卒以反，斲年宮。正義曰：斲年宮在岐州城

西故城內。發吏攻毒，毒敗亡走，追斬之，好時遂滅其宗。索隱曰：地理志：扶風有好時縣。而

呂不韋由此絀矣。孔子之所謂聞者，其呂子乎。論語曰：夫聞也者，色取仁而行違，居之不

疑。在邦必聞，在家必聞。馬融曰：此言佞人也。

索隱述贊曰：不韋釣奇委質于楚，華陽立嗣，邯鄲獻女，及封河南，乃號仲父，徒蜀懲勝，懸金作語，籌策既成，富貴斯取。

蘇子古史曰：戰國惟秦楚燕為故國，取之非逆，而守之則暴矣。若三晉及齊，皆以篡奪得之，所以取守者皆非義也。天方厭喪亂，欲假手於秦，而秦亦淫虐無以受之，於是不韋乘釁納妾於子楚，以亂其後。六國未亡，而嬴氏已先亡矣。及至二世，屠戮諸公子殆盡，而後授首於劉項。老子曰：天網恢恢，恢疎而不失，不觀其微，孰知其故哉。

進為言

之也。曹沫曰。齊疆魯弱。而大國侵魯。亦以甚矣。今魯城壞。卽壓

齊境。索隱曰。齊魯鄰接。今齊數侵魯。魯之城壞。卽壓近齊之境也。君其圖之。桓公乃許。盡歸魯之侵地。

既已言。曹沫投其匕首。下壇。北面就羣臣之位。顏色不變。辭令

如故。桓公怒。欲倍其約。索隱曰。倍音佩。管仲曰。不可。夫貪小利。以自快。棄

信於諸侯。失天下之援。不如與之。於是桓公乃遂割魯侵地。曹

沫三戰所亡地。盡復予魯。其後百六十有七年。而吳有專諸之

事。

專諸者。吳堂邑人也。索隱曰。專字亦作剗。音同。左傳作。縛說諸地理志。臨淮有堂邑縣也。伍子胥之亡楚。而

如吳也。知專諸之能。伍子胥既見吳王僚。說以伐楚之利。吳公

子光曰。彼伍員父兄皆死於楚。而員言伐楚。欲自為報私讎也。

非能為吳。吳王乃止。伍子胥知公子光之欲殺吳王僚。乃曰。彼

光將有內志。未可說以外事。索隱曰。言其將有內難。弑君之志。且對。外事生文。吳世家作知光有他志也。乃進

專諸於公子光。光之父曰吳王諸樊。諸樊弟三人。次曰餘祭。索

曰祭音。側界反。次曰夷昧。索隱曰。昧音亡葛。反。公羊作餘末。次曰季子札。諸樊既死。傳餘祭。

不立太子。以次傳三弟。欲卒致國于季子札。諸樊既死。傳餘祭。

餘祭死。傳夷昧。夷昧死。當傳季子札。季子札不肯立。吳人乃

立夷昧之子僚。為王。公子光曰。使以兄弟次。邪。季子當立。必以

子乎。則光真適嗣。當立。故嘗陰養謀臣。以求立。光既得專諸。善

客待之。九年。而楚平王死。索隱曰。春秋昭二十六年。楚子居卒。是也。吳世家云。十二年。此云九年。並誤據表及左傳。合在僚之十一

年。春。吳王僚欲因楚喪。使其二弟公子蓋餘屬庸將兵圍楚之

也。

未可說以外事ハ、余有
丁曰、外事ハ楚ヲ伐ツ
ヲ謂フ。

潛索隱曰屬音燭二子僚之弟也左傳作掩餘屬庸掩蓋義同屬燭字相亂耳事在魯昭二十七年地理志廬江有潛縣天柱山在南杜預左傳注云潛楚邑在廬江六縣西南○正義曰潛故城在壽州霍山縣東二百步使延陵季子於晉以觀諸侯之變楚發兵絕吳

將蓋餘屬庸路吳兵不得還於是公子光謂專諸曰此時不可失不求何獲且光真王嗣當立季子雖來不吾廢也專諸曰王

僚可殺也母老子弱而兩弟將兵伐楚楚絕其後方今吳外困於楚而內空無骨鯁之臣是無如我何索隱曰左傳直云王可殺也母老僚可殺言其少援助故云無奈我何太史公探其意且據上文因復加以兩弟將兵外困之辭而服虔杜預見左氏下文云我爾身也以其子為卿遂強解是無如我何猶言我無若我謂專諸欲以老弱託先義非允公子光頓首曰光之身子之身也四月丙子

吳系家省稱丙子當有所據不知出何書左傳云伏甲士於窟室杜預謂掘地為室也所以下文云出其伏甲以攻王而具酒請王僚王僚

光伏甲士於窟室中徐廣曰窟一作空○索隱曰僚之十二年夏也吳系家以為十三年非也左氏經傳唯言夏四月公羊穀梁無其文此與

使兵陳自宮至光之家門戶階陞左右皆王僚之親戚也夾立侍皆持長鉞音披○索隱曰兵器也劉逵吳都賦注鉞兩刃小刀酒既酣公子光詳為足疾入窟室中索隱曰詳音陽為如字左傳曰光偽足疾此之詳即偽也或讀為音偽非也豈詳偽重言耶使專諸置匕首魚炙之腹中而進之徐廣曰炙一作炮○正義曰炙者夜反既至王前專諸擘魚因以匕首刺王

僚索隱曰刺音七賜反王僚立死左右亦殺專諸王人擾亂公子光出其伏甲以攻王僚之徒盡滅之遂自立為王是為閻閻閻閻乃封專諸之子以為上卿其後七十餘年而晉有豫讓之事徐廣曰閻閻元年至三晉

豫讓者晉人也索隱曰案此傳所說皆約戰國策文故嘗事范中行氏而無所知名索隱曰按智伯義子荀瑰

中行氏中行文子荀寅也自荀林父將中行後因以官為氏去而事智伯

史記評林 卷八十六

五

也。襄子林父弟荀首之後。范智伯甚尊寵之。及智伯伐趙襄子，趙襄子中行智伯事，已具趙系家。

與韓魏合謀滅智伯。滅智伯之後，而三分其地。趙襄子最怨智伯。索隱曰：謂初以酒灌，後又率韓魏水灌晉陽城，不沒者三板，故怨深也。

漆其頭以為飲器。通鑑注：顏師古曰：匈奴管仲月支王頭以漆，漢使下血，飲以漆，是也。然月支則飲酒，是也。

漆其頭以為飲器。索隱曰：按大宛傳云：匈奴破月支王，以其頭為飲器。裴氏注云：飲器，裊也。香灼曰：飲器，虎子也。皆非。裊，植所以盛酒耳。非用飲者。晉氏以為，襄器者，以韓子呂氏春秋並云：襄子漆智伯頭為溲杯，故也。○正義曰：酒器也。每餐會設之，示恨深也。按諸先儒說恐非。

豫讓遁逃山中，曰：嗟乎！士為知己者死，女為說己者容。今智伯知我，我必為報讎而死，以報智伯，則吾魂魄不愧矣。

乃變名姓為刑人，入宮塗廁中，挾匕首，欲以刺襄子。襄子如廁，心動，執問塗廁之刑人，則豫讓。內持刀兵，曰：欲為智伯報仇，左

右欲誅之。襄子曰：彼義人也，吾謹避之耳。且智伯亡無後，而其

臣欲為報仇，此天下之賢人也。卒釋去之。索隱曰：卒，音足律反。居頃之，豫讓

又漆身為厲。音類○索隱曰：類，惡疥病也。凡漆有毒，近之多患疥腫。若類病然，故豫讓以漆塗身，令其若癩耳。然厲聲相近，古多假厲為類。今之癩字，從病，故楚有類，亦作厲字。

吞炭為啞。索隱曰：啞，音烏雅反。謂瘖病。戰國策云：漆身為厲，滅聲也。戰國策亦作厲。吞炭，以變其音也。去屑以變其容，為乞食人。其妻曰：狀貌不似吾夫，何其音之甚相類也。讓遂吞炭以變其音也。

使形狀不可知，行乞於市。其妻不識也。行見其友，其友識之，曰：汝非豫讓邪？曰：我是也。其友為泣，曰：以子之才，

委質而臣事襄子，襄子必近幸子。近幸子，乃為所欲，顧不易邪？

索隱曰：欲謂因得殺襄子，顧反也。邪，不定之辭，反不易邪，言其易也。何乃殘身苦形，欲以求報襄子，不亦難乎？

豫讓曰：既已委質臣事人，而求殺之，是懷二心，以事其君也。

且吾所為者極難耳。索隱曰：劉氏云：謂今為厲也。然所以為此者，將以愧天下後

世之為人臣懷二心以事其君者也。索隱曰：言等為厲而自刑，不可求事。

襄子而行殺，則恐傷人臣之義，而近

賊非忠也。既去頃之，襄子當出，豫讓伏於所當過之橋下。正義曰：汾橋下

架水，在并州晉

史記評林 卷八十六 七

陽縣東一里。襄子至橋，有生色馬驚。襄子曰：「此必是豫讓也。」使人問之，果豫讓也。於是襄子乃數豫讓曰：「子不嘗事范中行氏乎？智伯盡滅之，而子不為報讎，而反委質臣於智伯，智伯亦已死矣，而子獨何以為之報讎之深也？」豫讓曰：「臣事范中行氏，范中行氏皆衆人遇我，我故衆人報之。至於智伯，前其既死國士遇我，我故國士報之。襄子喟然歎息而泣，曰：「嗟乎！豫子，子之為智伯，名既成矣，而寡人赦子，亦已足矣。子其自為計，寡人不復釋子，使兵圍之。」豫讓曰：「臣聞明主不掩人之美，而忠臣有死名之義。前君已寬赦臣，天下莫不稱君之賢，今日之事，臣固伏誅，然願請君之衣而擊之，焉以致報讎之意，則雖死不恨，非所敢望也。」政布腹心，於是襄子

大義之。乃使使持衣與豫讓，豫讓拔劍三躍而擊之。索隱曰：戰國策云：衣盡出

血，襄子迴車，車輪未周而亡。此不言衣出，血者，太史公恐涉怪妄，故略之耳。曰：吾可以下報智伯矣。遂伏劍自殺。

死之日，趙國志士聞之，皆為涕泣。其後四十餘年，而軹有聶政之事。自三晉滅智伯至殺俠累五十七年。

聶政者，軹深井里人也。特世里伏師所食案。索隱曰：地理志河內有軹縣，深井，軹縣之里。名也。○正義曰：在懷州濟源縣南三十里。殺人避

仇，與母姊如齊，以屠為事。久之，濮陽嚴仲子事韓哀侯。索隱曰：高誘云：嚴遂字仲子。案表：聶政殺俠累在烈侯三年。烈侯生文侯，文侯生哀侯，凡更三代。哀侯六年為韓嚴所殺。今言仲子事哀侯，恐非其實。且太史公開疑傳，疑聞信傳，信事難的，據欲使兩存，故表傳各異。與韓相俠累有郤。索隱曰：俠音古挾反，累音力追反。按戰國策：俠累名傀也。傀也。朝嚴遂拔劍趨之，以嚴仲子恐，誅亡去游，求人可以報俠累者。至齊，嚴遂有郤之由也。

齊人或言聶政勇，敢士也。避仇隱於屠者之間。嚴仲子至門請

與韓相俠累有郤，注案：嚴遂拔劍趨之，以嚴仲子恐，誅亡去游，求人可以報俠累者。至齊，嚴遂有郤之由也。

且酒自暢正獲數也
反札記云數此字
ナシ、註フ、又、乃、原、字
ノ、闕、ナリ、

樽用爲夫人醢之費
札記夫人ヲ大人ニ作
ル、云フ宜本大、各本夫
ニ作ル、
注正義尊大顯爲夫人、
札記尊顯爲大人ニ作
ル、云フ各本尊大人ニ
作ル、與按改、錢大昕
曰、正義本大人ニ作、
注中夫人ノ字、按大人
ノ顯ナリ、下按夫人
召使前、索隱曰、說
ナ引キ、古者尊顯爲
大人、又漢書元、王
傳、古詩夫人故云、王
引キ、之ヲ、顯、則、司

馬自見ル所ノ漢書、今
本ト異ナルナリ、宜元
王傳、札記元下六字、
リ、云フ宜本六字、
各本脫ス、

數、反、然、後、具、酒、自、暢、徐廣曰一作賜○索隱曰按戰國策 嚴政母前酒酣
嚴仲子奉黃金百鎰前爲嚴政母壽嚴政驚怪其厚固謝嚴仲
子嚴仲子固進而嚴政謝曰臣幸有老母家貧客游以爲狗屠
可以且夕得甘毳此丙反○索隱曰鄒氏音騰義相通也 以養親親供養備不敢當仲
子之賜嚴仲子辟人因爲嚴政言曰臣有仇而行游諸侯衆矣
然至齊竊聞足下義甚高故進百金者將用爲夫人醢之費
正義曰糲酒糲米也脫粟也韋昭云古者名男子爲丈夫尊大顯爲夫人漢書宣元王傳
王遇大人益解爲大人乞微去按大人憲王外祖母古詩云三日斷五疋大人故言遲是
以交足下之驪豈敢以有求望耶嚴政曰臣所以降志辱身
曰言其心志與身本應高潔今乃卑下其志屈辱其身論語孔子謂柳下惠降志辱身是也
居市井屠者徒幸以養老母老
母在政身未敢以許人也索隱曰禮記云父母存不許友以死 嚴仲子固讓嚴政竟不

肯受也然嚴仲子卒備賓主之禮而去久之嚴政母死既已葬
除服嚴政曰嗟乎政乃市井之人正義曰古者相聚汲水有物便買因成市故云市井 鼓刀以
屠而嚴仲子乃諸侯之卿相也不遠千里枉車騎而交臣臣之
所以待之至淺鮮矣未有大功可以稱者而嚴仲子奉百金爲
親壽我雖不受然是者徒深知政也夫賢者以感忿睚眦之意
而親信窮僻之人而政獨安得嘿然而已乎且前日要政政徒
以老母老母今以天年終政將爲知己者用乃遂西至濮陽見
嚴仲子曰前日所以不許仲子者徒以親在今不幸而母以天
年終仲子所欲報仇者爲誰請得從事焉嚴仲子具告曰臣之
仇韓相俠累俠累又韓君之季父也宗族盛多居處兵衛甚設

衆終莫能破。札記云、衆終二作ル者一本衆二作リ一本終二作リ、後人誤テ之ヲ合スルノミ、此終終莫能破二作ル、謂其車騎、札記云、衆終莫能破、其二作ル、衆終莫能破云云、札記云、衆終莫能破、其二作ル、衆終莫能破云云、札記云、衆終莫能破、其二作ル、衆終莫能破云云、

因自皮而決眼、胡三省曰、皮而ハ、刀リ以テ面ヲ劓シテ、而テ其皮ヲ決ルナリ、劓音突、劓ナリ。

魯勝縣之、札記云、魯勝縣之ト爲ス、ン、下文主語、其有手、金ト曰フ、初三日、魯勝ケテ、以テ告ル者、ナナルヲ知ル。

臣欲使人刺之。衆終莫能就。今足下幸而不棄。請益其車騎壯士。可爲足下輔翼者。聶政曰。韓之與衛相去中間不甚遠。索隱曰。高誘云。韓都潁川。陽翟。衛都東。郡。濮陽。故曰相去不甚遠也。今殺人之相。相又國君之親。此其勢不可以多人。多人不能無生得失。索隱曰。戰國策云。無生情言。所將人多。或生異情。故語泄。此云生得失。言將人多。往殺俠累。後有被生擒而事泄。生得失。則語泄。語泄是韓舉國而與仲子爲讎。徐廣曰。一作讎。亦俱通也。

○索隱曰。戰國策。周亦同。豈不殆哉。遂謝車騎人徒。聶政乃辭。獨行杖劍。至韓。相俠累方坐府上。持兵戟而衛侍者甚衆。聶政直入上階。刺殺俠累。徐廣曰。韓烈侯三年三月。盜殺韓相俠累。名。魏戰國策曰。有東孟之會。又云。聶政刺韓傀。兼中哀侯。○索隱曰。戰國策云。政直入上階。刺韓傀。而走而抱哀侯。高誘云。東孟地名也。左右大亂。聶政大呼。所擊殺者數十人。因自皮而決眼。索隱曰。皮而。謂以刀刺其面皮。欲令人不識決眼。謂出其眼睛。戰國策作抉眼。此決亦通。音烏穴反。自屠出腸。遂以死。韓

取聶政屍暴於市。正義曰。暴。蒲韻反。購問莫知誰子。於是韓購縣之有能

言殺相俠累者。予千金。久之莫知也。政姊榮聞人有刺殺韓相者。榮一作榮。○索隱曰。榮其姊名也。戰國策無榮字。賊不得國。不知其名。姓暴其尸。而縣之千金。乃於邑曰。索隱曰。劉氏云。煩冤愁苦也。其是吾弟與。嗟乎。嚴仲子知吾弟。立起

如韓之市。而死者果政也。伏尸哭極哀。曰。是軹深井里。所謂聶政者也。市行者諸衆人。皆曰。此人暴虐吾國相。王縣購其名。姓千金。夫人不聞與。何敢來識之也。榮應之曰。聞之。然政所以蒙

汚辱。自棄於市販之間者。爲老母幸無恙。索隱曰。爾雅云。恙。憂也。楚詞云。恙病也。凡人相見及通書。皆云無恙。又易傳云。上古之時。草居露宿。恙。蠶蟲也。恙。食人心。俗。悉思之。故相勞云。無恙。恙。非病也。妾未嫁也。親既以

天年下世。妾已嫁。夫嚴仲子乃察舉吾弟。困汚之中。索隱曰。案察。謂觀察有志。

一年左傳、武靈以攝政之、釋文ニ攝文之誤反ト、是攝下同也。樂賦或曰高漸離注正義曰管子廉反ハ、礼記玉璽之寶或廉反ニ作ル、云フ簡志ハ按ズルニ、小學篇一卷、管下即內史王義撰アリ、此之字、管子所ナリ、案本玉本註ニ之字、之廉反ニ作ルハ、此音ト同、柯本玉少改、正ト爲、正義ナリ入ス、斯ニ照正、於其爲人沈深好書、皆川淇曰、沈深二字、前三段ヲ結フ。

踐與荊軻博爭道。索隱曰魯姓句踐名也與越王同或有意義俗本踐作越非也魯句踐怒而叱之荊軻嘿而逃去。遂不復會。荊軻既至燕愛燕之狗屠及善擊筑者高漸離。索隱曰筑似琴有絃用竹擊之取以爲名漸音如字。○正義曰音子廉反荊軻嗜酒日與狗屠及高漸離飲於燕市酒酣以往高漸離擊筑荊軻和而歌於市中相樂也已而相泣。旁若無人者。荊軻雖游於酒人乎。徐廣曰飲醉之人然其爲人沈深好書其所游諸侯盡與其賢豪長者相結。其之燕燕之處士田光先生亦善待之知其非庸人也。居頃之會燕太子丹質秦亡歸燕。燕太子丹者故嘗質於趙而秦王政生於趙其少時與丹驩及政立爲秦王而丹質於秦秦王之遇燕太子丹不善故丹怨而亡歸歸而求爲報秦王者國小力不能其後秦日出

兵山東以伐齊楚三晉稍蠶食諸侯且至於燕燕君臣皆恐禍之至。太子丹患之問其傅鞠武。索隱曰鞠音趨又如字人姓名也武對曰秦地徧天下威脅韓魏趙氏北有甘泉谷口之固南有涇渭之沃擅巴漢之饒右隴蜀之山左關殺之險民衆而士厲兵革有餘意有所出則長城之南易水以北。正義曰以北謂燕國也未有所定也奈何以見陵之怨欲批其逆鱗哉。批音白結反○索隱曰批謂觸擊之丹曰然則何由對曰請入圖之居有閒秦將樊於期得罪於秦王亡之燕太子受而舍之鞠武諫曰不可夫以秦王之暴而積怒於燕足爲寒心。索隱曰凡人寒懼亦戰今以懼譬寒言可爲心戰又況聞樊將軍之所在乎是謂委肉當餓虎之蹊也禍必不振矣。索隱曰振救也禍大而不可救也雖有管晏不能爲之謀也願太子

恐不能與與、皆川謀。日、須與、皆從容ノ如。

是固丹命卒之時也、胡三名曰命卒、命也。胡以テ來歸ス、當ニ死シテ以テ之ヲ保匿會ハシテ、皆ノ一ハ、皆川謀也。丹命卒ノ一句、ハ、上文是謂委肉ヨリ爲之謀也。至ルニ二十五字ニ谷アルノ旨ナリ。此謂資怒而助禍矣、札記謂上折字アリ、云フ蓋謂所アリ。其爲人智深而勇沈、或曰、荆卿人ト爲リ沈深、曰、勇沈ス、ト是一流ノ人ナリ、宜シク光ノ何ヲ感メテ其身ニ代ル

疾遣樊將軍入匈奴以滅口請西約三晉南連齊楚北購於單于索隱曰戰國策購作講講和也今讀購與爲燕媾同媾合也漢文媾講兩字常雜今言欲北與匈奴連和也陳軫傳亦曰西購於秦也其後迺可圖也太子曰太傅之計曠日彌久心惛然正義曰正義曰惛音昏恐不能須臾且非獨於此也夫樊將軍窮困於天下歸身於丹丹終不以迫於彊秦而棄所哀憐之交置之匈奴是固丹命卒之時也願太傅更慮之鞠武曰夫行危欲求安造禍而求福計淺而怨深連結一人之後交不顧國家之大害此謂資怨而助禍矣夫以鴻毛燎於爐炭之上必無事矣且以鵬鷖之秦行怨暴之怒豈足道哉到此引田光燕有田光先生其爲人智深而勇沈可與謀太子曰願因太傅而得交於田先生可乎鞠武曰敬諾出見田先生道太子願圖

ベキナリ。太子逢迎、札記云、宮刺本逢迎也。

荆卿可使也。注正義武陽、札記云、疑フ即下、秦陽ナリ、志、燕丹、秦陽、國策、燕丹、子、球、武陽、並ニ武陽ニ作ル。

國事於先生也。田光曰敬奉教乃造焉。太子逢迎卻行爲導跪而蔽席。徐廣曰蔽一作撥一作披。索隱曰蔽音疋結反蔽猶拂也田光坐定左右無人太子避席而請曰燕秦不兩立願先生留意也田光曰臣聞騏驥盛壯之時一日而馳千里至其衰老駑馬先之今太子聞光盛壯之時不知臣精已消亡矣雖然光不敢以圖國事到此引荆卿所善荆卿可使也。正義曰燕丹子云田光答曰竊觀太子容無可用者夏扶血勇之人怒而面赤宋意脈勇之人怒而面青武陽骨勇之人怒而面白光所知荆柯神勇之人怒而色不變太子曰願因先生得結交於荆卿可乎田光曰敬諾即起趨出太子送至門戒曰丹所報先生所言者國之大事也願先生勿泄也田光俛而笑曰諾正義曰俛音俯俛行見荆卿曰光與子相善燕國莫不知今太子聞光壯盛之時不知吾形已不逮也幸而教之曰燕秦

不棄其孤也、皆用其國日、孤ハ燕國ノ孤弱ヲ言フナリ。

不兩立。願先生留意也。光竊不自外言。足下於太子也。願足下過太子於宮。荆軻曰：謹奉教。田光曰：吾聞之。長者爲行。不使人疑之。今太子告光曰：所言者國之大事也。願先生勿泄。是太子疑光也。夫爲行而使入疑之。非節俠也。欲自殺以激荆卿。曰：願足下急過太子。言光已死。明不言也。因遂自刎而死。荆軻遂見太子。言田光已死。致光之言。太子再拜而跪。膝行流涕。有頃而後言曰：丹所以誠田先生母言者。欲以成大事之謀也。今田先生以死明不言。豈丹之心哉。荆軻坐定。太子避席頓首曰：田先生不知丹之不肖。使得至前。敢有所道。此天之所以哀燕而不棄其孤也。

索隱曰：案無父稱孤。時燕王尚在。而丹稱孤者。或記者失辭。或諸侯稱子時亦借稱孤也。又劉向云：丹燕王燕之太子。

若曹沫之與齊桓公云云ハ、胡三省曰：蓋丹荆軻ヲ殺スルノ初ニ於テ、兩端ノ策ヲ盡ス。荆軻其初説ヲ守ル、事ヲ成サル所以ナリ、之ヲ要スルニ、範圍ノ七皆曹沫ノ故智ヲ祖トス、固知丹ノ秦王ニ合フノ類ノ若キ是ナリ。

利之心而欲不可足也。非盡天下之地。臣海內之王者。其意不厭。今秦已虜韓王。盡納其地。又舉兵南伐楚。北臨趙。王翦將數十萬之衆。距漳鄴。而李信出太原雲中。趙不能支。秦必入臣。入臣則禍至燕。燕小弱。數困於兵。今計舉國不足以當秦。諸侯服秦。莫敢合從。丹之私計。愚以爲誠得天下之勇士。使於秦。關以重利。秦隱曰：闕視也。秦王貪絕句。其勢必得所願矣。誠得劫秦王。使悉反諸侯侵地。若曹沫之與齊桓公。則大善矣。則不可。因而刺殺之。彼秦大將擅兵於外。而內有亂。則君臣相疑。以其間。諸侯得合從。其破秦必矣。此丹之上願。而不知所委命。唯荆卿留意焉。久之。荆軻曰：此國之大事也。臣駑下。恐不足任。使太子前頓

首固請毋讓。然後許諾。於是尊荊卿為上卿，舍上舍。太子日造門下，供太牢，具異物，閒進車騎美女。恣荊軻所欲，以順適其意。
索隱曰：燕丹子曰：軻與太子遊東宮池，軻拾瓦投龜，太子捧金九進之，又共乘千里馬。軻曰：馬肝美，即殺馬進肝。太子與樊將軍置酒於華陽臺，出美人能鼓琴。軻曰：好手也。斷以玉盤盛之。軻曰：太子遇軻甚厚，是也。
 久之，荊軻未有行意。秦將王翦破趙，虜趙王，盡收其地，進兵北略地，至燕南界。太子丹恐懼，乃請荊軻曰：秦兵旦暮渡易水，則雖欲長侍足下，豈可得哉？荊軻曰：微太子言，臣願謁之。今行而毋信，則秦未可親也。夫樊將軍秦王購之金千斤，邑萬家，誠得樊將軍首與燕督亢之地圖。
徐廣曰：方城縣有督亢亭。圖地。○索隱曰：地理志：廣陽國有薊縣，司馬彪郡國志曰：薊縣方城有督亢亭。徐說是也。○正義曰：督亢坡在幽州范陽縣東南十里。今固安縣南有督亢陌，幽州南界。
 秦獻秦王。秦王必說見臣，臣乃得有以報。太子曰：樊將軍窮困來歸

丹，丹不忍以己之私而傷長者之意，願足下更慮之。荊軻知太子不忍，乃遂私見樊於期，曰：秦之遇將軍，可謂深矣。父母宗族皆為戮沒，今聞購將軍首，金千斤，邑萬家，將奈何？於期仰天太息流涕，曰：於期每念之，常痛於骨髓，顧計不知所出耳。荊軻曰：今有一言可以解燕國之患，報將軍之仇者，何如？於期乃前曰：為之奈何？荊軻曰：願得將軍之首，以獻秦王，秦王必喜而見臣，臣左手把其袖，右手搥其胸。
徐廣曰：搥音張煇切，一作抗。○索隱曰：搥謂以劍刺其背也。抗音苦浪反，言抗拒也。其義非。
 然則將軍之仇報，而燕見陵之愧除矣。將軍豈有意乎？樊於期偏袒搃挽而進，曰：
徐廣曰：挽一作搥。○索隱曰：搥音烏革反，挽音烏亂反。此二字書作搥，掌後曰腕，勇者奮厲必先以左手扼右腕也。
 索隱曰：切齒齒相磨切也。爾雅曰：治骨曰切，腐音輔。腐亦爛也。猶今人事不可忍云腐爛然皆奮怒之意。
 乃今

燕國有勇士秦舞陽年十三云云、按川洪曰、此是舞陽少時ノ事ヲ謂フナリ。

何太子之遣云云ハ、皆川洪曰、遣ハ、之ヲ遣ルカ言フ、今之ヲ遣レバ、乃反ラザルナリト謂フ。

得聞教。遂自剄。太子聞之。馳往。伏屍而哭。極哀。既已不可奈何。乃遂盛樊於期首函封之。於是太子豫求天下之利匕首。得趙人徐夫人匕首。徐廣曰徐一作陳。○索隱曰徐姓。夫人名謂男子也。取之。百金。使工以藥焯之。焯。謂以毒藥染劍。也。以試人。血濡縷。人無不立死者。言以匕首試人。人血出。足以沾濡縷。縷便立死也。乃裝為遺荊卿。燕國有勇士秦舞陽。年十三。殺人。人不敢忤視。索隱曰忤者逆也。音五故反。不敢逆視。言人畏之甚也。乃令秦舞陽為副。荊軻有所待。欲與俱。其人居遠未來。而為治行。頃之未發。太子遲之。疑其改悔。乃復請曰。日已盡矣。荊卿豈有意哉。丹請得先遣秦舞陽。荊軻怒叱。太子曰。何太子之遣。往而不反者。豎子也。指荊卿。且提一匕首。入不測之彊秦。僕所以置者。待吾客與俱。今太子遲之。請辭決矣。遂發。

又前而歌曰、札記歌上爲字アリ、云フ中統蓋劉遊毛本爲字アリ。

設九賓ハ、通鑑注劉原父曰、賓ハ傳遺ノ遺

太子及賓客知其事者。皆白衣冠以送之。至易水之上。既祖。取道。正義曰易水在幽州歸義縣界。高漸離擊筑。荊軻和而歌。爲變徵之聲。正義曰徵知雉反。士皆垂淚涕泣。又前而歌曰。風蕭蕭兮。易水寒。壯士一去兮。不復還。復爲羽聲。愴慨。士皆瞋目。髮盡上指冠。於是荊軻就車而去。終已不顧。遂至秦。持千金之資幣物。厚遺秦王寵臣中庶子蒙嘉。嘉爲先言於秦王曰。燕王誠振怖大王之威。不敢舉兵以逆軍吏。願舉國爲內臣。比諸侯之列。給貢職。如郡縣。而得奉守先王之宗廟。恐懼不敢自陳。謹斬樊於期之頭。及獻燕督亢之地圖。函封。燕王拜送于庭。使使以聞大王。唯大王命之。秦王聞之大喜。乃朝服。設九賓。正義曰劉云設文物大備。即謂九賓。不得以周禮九賓義爲釋。見燕使者。咸陽宮。正

作於管子注正義揚州平
輒縣。札記趙州平輒縣
二作。云。云。各本趙平
二。按。云。二。隋志趙平
平輒。大輒。初。宋子
縣。武德元年。趙平
改。趙州。平輒。

提荆軻也。於是秦王大怒，益發兵詣趙，詔王翦軍以伐燕，十月而拔。薊城。燕王喜太子丹等盡率其精兵，東保於遼東。秦將李信追擊燕王，急代王嘉，乃還。燕王喜書曰：「秦所以尤追燕急者，以太子丹故也。今王誠殺丹，獻之秦王，秦王必解而社稷幸得血食。其後李信追丹，丹匿衍水中。」索隱曰：水名在遼東。燕王乃使使斬太子丹，欲獻之秦。秦復進兵攻之，後五年秦卒滅燕，虜燕王喜，其明年秦并天下，立號為皇帝。於是秦逐太子丹、荆軻之客，皆亡。高漸離變名姓，為人庸保，匿作於宋子。徐廣曰：縣名也。今屬鉅鹿。○索隱曰：鑿布傳云：質庸於齊，為酒家人。漢書作酒家保。案謂庸作於酒家，言可保信。故云庸保。弱冠子曰：伊尹酒保也。徐注云：宋子縣名。屬鉅鹿者，據地理志而知也。○正義曰：宋子故城在趙州平輒縣北三十里。久之，作苦，聞其家堂上客擊筑，傍徨不能去。每出言曰：「彼有善有不

二仍屬宋、今據
家主人召使前擊筑注宋
隱云云。札記云。此秦故
郡。正義引之。所。同。云。云。
云。云。皆可。屬。其。所。
ノ。漢。前。別。二。本。ナリ。

乃歸其目。札記隱。作
ル。云。云。柯。梁。本。應。二。隱
ス。

善從者以告其主。索隱曰：謂主人家之左右也。曰：「彼庸乃知音竊，言是非，家丈人召使前擊筑。」索隱曰：劉氏云：謂主人翁也。又韋昭云：古名男子為丈夫。魯父嫗為丈人。故漢書宣元六王傳所云：丈人謂淮陽憲王外王母，即張博母也。故古詩云：三日斷五疋。丈人故言遲是也。一坐稱善，賜酒，而高漸離念久隱，畏約無窮時。索隱曰：約謂貧賤儉約，既為庸保，當畏人。故謂畏約，所以論語云：不可與久處約也。乃退，出其裝匣中筑，與其善衣，更容貌而前。舉坐客皆驚，下與抗禮，以為上客。使擊筑，而歌。客無不流涕而去者。宋子傳客之。徐廣曰：互以為客。聞於秦，始皇、秦始皇召見，人有識者，乃曰：「高漸離也。」秦皇帝惜其善擊筑，重赦之，乃矐其目。矐音海。各反。○索隱曰：一音角。說者云：以馬屎燻令失明。使擊筑，未嘗不稱善，稍益近之。高漸離乃以鉛置筑中。索隱曰：案劉氏云：以鉛為挺著筑中，令重以擊人。復進得近，舉筑朴秦皇帝，索隱曰：朴音普。卜反。朴擊也。不中，於是遂誅高漸離，終身不復近諸侯之人。魯句

太史公曰云云、方也、此篇、乃太史公自作、
 取之、固足、
 事、
 不、
 秦、
 生、
 二、
 好、
 之、
 日、
 事、

踐已聞。荆軻之刺秦王。私曰。嗟乎。惜哉。其不講於刺劍之術也。

索隱曰。案不講。甚矣吾不知人也。襲者吾叱之。彼乃以我爲非人也。謂不講習之。

太史公曰。世言荆軻其稱太子丹之命。天雨粟。馬生角也。

丹求歸秦王曰。馬頭白。馬生角。乃許耳。丹乃仰天歎。烏頭即白。太過。又言荆軻傷秦馬亦生角。風俗通及論衡皆有此說。仍云。廐門木烏生肉足也。

王皆非也。始公孫季功董生與夏無且游。具知其事。爲余道之。

如是。自曹沫至荆軻五人。此其義或成。或不。成然其立意較然。

索隱曰。不欺其志。名垂後世。豈妄也哉。

索隱述贊曰。曹沫盟柯。返魯侵地。專諸進炙。定吳篡位。彭弟哭市。報主塗頭。刎頭申冤。操袖行刺。暴秦奮魄。儒夫捨氣。

蘇子古史曰。周衰禮義不明。而小人奮身以犯上相夸。以爲賢。孔子疾之。齊豹以衛司寇殺衛侯之兄。鬻祭公孫。嗣以大夫。弑其君申春秋。皆以盜書而不名。所謂求名而不得者也。太史公傳刺客凡五人。皆豹嗣之類耳。而其稱之不容口。失春秋之意矣。獨豫讓爲衛君報趙襄子。有古復讎之義。如荆軻刺秦始皇。雖始皇以強暴失天下心。聞者快之。要以盜賊乘入。

主不意法不可長也。至曹沫之事。予以左氏致之。實非也。莊公之禦齊。沫所以戰。以小惠小信爲不足恃。惟忠爲可一戰。沫蓋知義者也。而肯以其身爲禦齊之用乎。

王安石曰。曹沫將而亡入之城。又劫天下盟主。管仲曰。勿倍以市信。一時可也。子獨怪智伯國士豫讓。蓋願不用此策耶。讓誠國士也。曾不能逆策三晉救智伯之亡。一死區區尙足校哉。其亦不欺其意者也。蔣政信于嚴仲子。荆軻繫于燕太子丹。此兩人者。汗隱困約之時。自貴其身。不妄願知。亦有待焉。彼挾道德以待世者。何如哉。

楊維禎曰。余讀豫讓傳。後尤惜政重不幸知已于嚴仲子也。政以身許仲子。曾何異豫讓爲國士。而委質于智氏之所知乎。二子卒以刺客死。而史氏遂以刺客錄。豈不悲其遇知已如智氏與仲子乎。雖然。政孝義人也。使生子。那魯之邦。加以聖賢之學。肯爲仲子輕役哉。始以母在而休身。母卒而遂輕身。許人以死。烏乎身豈有二哉。自非所知明主。身不得致。而死之所猶不可以不慎。而況死非其所乎。此余感政爲孝義人而重惜其一死之輕于人。不得爲仁人義士守死之善道也。

楊士奇曰。諸侯弃甲兵之讎。爲盟會之禮。乃于登壇之後。奮匕首而劫國君。賊天下之禮者。非沫乎。君臣之義。有死無傾。專諸威公子光之衆。而親刺刃于王僚。賊天下之義者。非諸乎。父母全而生之。子全而歸之。政纔終父母之喪。遂殺身以爲仲子。賊天下之仁者。非政乎。樊將軍以困窮歸燕丹。軻說取其首。以濟入秦之詐。賊天下之仁者。非軻乎。以賊禮賊義。賊仁賊信之人。並列于傳。又從而嗟歎其志。不亦繆哉。豫子之仁者。非霍君殺身而不悔。抗節致志。行出乎烈士。乃引而置諸四子之閒。不亦薰蕕之共器乎。何孟春曰。今之論讓者。曰人惟無所爲而爲者。其善必誠。其忠必盡。而讓非其人也。讓不能知韓魏之必反。無貴於讓。知而不言。非所以望讓言。而智伯弗聽。則智伯之遇讓。

也。不過利祿之優異於范中行氏之所遇耳。讓之爲之報讐之深也。其義誠是其心亦特不忘其利祿之優異。而有激於義耳。讓之言曰。吾所爲將以愧天下後世之爲人臣。懷二心以事其君者。茲豈非爲名譽而爲善之人哉。刺客傳。讓吾無用讓子長之失矣。

史記評林卷之八十六終

史記評林卷之八十七

李斯列傳第二十七

李斯者。楚上蔡人也。

索隱曰。地理志云。汝南有上蔡縣。云古蔡國。周武王弟叔度所封。至十八代平侯徙新蔡。二蔡皆屬汝南。後二代至昭侯。

徙上蔡。屬沛。六國時爲楚地。故曰楚上蔡也。

年少時爲郡小吏。

索隱曰。郡一作鄉。劉氏云。掌鄉內文書。

見吏舍廁中。

鼠食不潔。近人犬。數驚恐之。斯入倉觀倉中。鼠食積粟。居大廡

之下。不見人犬之憂。於是李斯乃歎曰。人之賢不肖。譬如鼠矣。

在所自處耳。乃從荀卿學。帝王之術。學已成。度楚王不足事。而

六國皆弱。無可爲建功者。欲西入秦。辭於荀卿曰。斯聞得時無

怠。今萬乘方爭時。游者主事。索隱曰。言萬乘爭雄之時。游說者可以立功成名。當得與主事務也。劉氏云。游歷諸侯。當覓強主以

爲郡小吏。札記云。郡字。類聚部。引。第。二作。御。第。百。八。十八。引。亦。第。二。作。索。隱。本。同。

此禽處視肉云云ハ、皆川淇曰其人、身卑賤二居ルヲ以テ、而テ心ニ企テ得ント欲スト雖モ、人ノ面視スル所ニ當レバ、則視スル所ニテ行フ者ノ比ノミト謂フナリ、故ニ此說ニ依レバ、肉人面ニ視テ、而テ能彊行スル者ト謂ハレシ。

吾人者去其幾也ハ、札記云、非惡ニ吾ハ須ニ去當ニ失ト爲スベシ。

成大功者在因瑕雲云ハ、皆川淇曰、凡能

フ大功ヲ成ス者ハ、皆彼ノ所ニテ幾ニテ其業就ス、是ヲ以テ卒ニ能ク其功ヲ遂グルヲ得ナリ。

由體上廢除、札記云、雜志云、御覽人事部、引テ體上ニ老廢二字アリ、案ハ、二、秦廢若水、廢云云、則當ニ老廢ノ字アルベシ。

作注流注注義自山邸、口ハ、札記自山西

事之於文、紆繩非也。今秦王欲吞天下稱帝而治。此布衣馳騫之時而游說

者之秋也。正義曰言秋時萬物成熟。今爭強時亦說土成熟時。處卑賤之位而計不爲者。此禽鹿

視肉人面而能彊行者耳。索隱曰禽鹿猶禽獸也言禽獸但知視肉而食之莊子及蘇子曰人而不學譬之視肉而食揚子法言曰

人而不學如禽何言不假游說取榮。子及蘇子曰人而不學譬之視肉而食揚子法言曰貴即如禽獸從有人而而能彊行也。故誦莫大於卑賤。正義曰呼后反恥辱也。而悲莫甚

於窮困久處卑賤之位困苦之地非世而惡利自託於無爲。此非士之情也。正義曰言譏世富貴惡其榮利自託於無爲者非士人之情實力不能致此也。○索隱曰非者譏也所謂處士橫議之時也。故斯

將西說秦王矣。至秦會莊襄王卒李斯乃求爲秦相文信侯呂不韋舍人。不韋賢之任以爲郎。李斯因以得說說秦王曰。胥人

者去其幾也。索隱曰胥人猶胥吏小人也去猶失也幾者動之微以言君子見幾而作不俟終日小人不識動微之會故每失時也劉氏解幾爲彊非也。○正義曰胥相也幾謂密也言關東六國與秦相敵。成大功者在因瑕而遂忍

者君臣機密並有報復可成大功而遂忍之也。

之。索隱曰言因諸侯有瑕則忍心而剪除故我將說秦以并天下也。昔者秦穆公之霸終不東并六國者

何也。諸侯尙衆周德未衰故五伯迭興更尊周室自秦孝公以

來周室卑微諸侯相兼關東爲六國秦之乘勝役諸侯蓋六世

矣。正義曰秦孝公惠王文王武王昭王孝文王莊襄王。今諸侯服秦譬若郡縣夫以秦之疆大王

之賢由竈上騷除。徐廣曰騷音掃。○索隱曰言秦欲并天下若炊婦掃除竈上之不清不足爲難也。足以滅諸侯成

帝業爲天下一統此萬世之一時也。今怠而不急就諸侯復疆

相聚約從雖有黃帝之賢不能并也。秦王乃拜斯爲長史聽其

計陰遣謀士齎持金玉以游說諸侯名士可下以財者厚

遺結之不肯者利劍刺之離其君臣之計。秦王乃使其良將隨

其後。秦王拜斯爲客卿會韓人鄭國來間秦以作注溉渠。

正義曰鄭

郡狐口二作、云、中、云、中、字、西、字、考、證、可、見、其、源、流、志、二、據、考、證、
游、於、秦、耳、八、胡、三、省、日、遊、說、之、以、秦、之、君、臣、之、間、ス、ル、ヲ、謂、フ、

求、不、豹、公、孫、支、札、記、求、
來、二、作、云、王、何、禮、毛、
本、來、各、本、二、作、云、

此、五、者、札、記、此、五、子、者、
二、作、云、王、何、禮、毛、
本、字、字、云、云、

國渠首起雍州雲陽縣西南二十五里自山邱狐口爲渠傍北山東注洛二百餘里以溉田又曰韓苦秦兵而使水工鄧國開秦作注溉渠令費人工不東伐也

秦宗室大臣皆言秦王曰諸侯人來事秦者大抵爲其主游閒於秦耳請一切逐客

李斯議亦在逐中斯乃上書曰臣聞吏議逐客竊以爲過矣昔穆公求士西取由余於戎東得百里奚於宛

以百里奚爲秦穆公夫人媵於秦奚亡走宛楚鄙人執之是也○迎蹇叔於宋

正義曰新序云百里奚楚宛人仕於虞虞亡入秦號五羖大夫也

夫今云於宋未詳所出○正義曰括地志云蹇叔岐州人也時游宋故迎之於宋

豹公孫支於晉索隱曰丕豹自晉奔秦左氏傳有明文公孫支所謂子桑也是秦大夫而云自晉以來亦未見其所出○正義曰括地志云公孫支岐州人游晉

此五者不產於秦而穆公用之并國二十遂霸西戎

風易俗民以殷盛國以富彊百姓樂用諸侯親服獲楚魏之師

舉地千里至今治彊惠王用張儀之計拔三川之地西并巴蜀

索隱曰秦惠王時張儀爲相請伐韓下兵三川以臨二周司馬錯請伐蜀惠王從之果滅蜀儀死後武王欲通車三川令甘茂拔宜陽今宜陽云張儀者以儀爲秦相雖錯滅蜀甘茂通三川者歸功於相又三川是儀先請伐故也

北收上郡南取漢中

包九夷制鄢郢

東據成臯之險

割膏腴之壤遂散六

國之從使之西面事秦功施到今昭王得范雎廢穰侯逐華陽

徐廣曰華

疆公室杜私門蠶食諸侯使秦成帝業

此四君者皆以客之功由此觀之客何負於秦哉向使四君卻

客而不內疏士而不用是使國無富利之實而秦無彊大之名

ナリ、管子無シ。

此所謂遊寇兵、劫三晉曰、藉之悉夜切、假ナリ、倍ナリ。

尊主爲皇帝、札記云、主ハ蓋則王ニ作ル。

子云海不辭水、故能成其大、泰山不辭土石、故能成其高、文子曰、聖人不讓負薪之言、以廣其名也。此下俱歷舉客爲過之類、是以地無四方、民無異國、四時充美、鬼神降福。此五帝三王之所以無敵也。今乃棄黔首以資敵國、索隱曰、資猶給也。卻賓客以業諸侯、使天下之士退而不敵、西向褻足不入、秦此所謂藉寇兵而齎盜糧者也。索隱曰、藉音積、夜反、齎音子奚反、說文云、齎持遺也。齎或爲資、又及前通作資。夫物不產於秦、可寶者多、士不產於秦、而願忠者衆、今逐客以資敵國、損民以益讎、內自虛而外樹怨於諸侯、求國無危、不可得也。秦王乃除逐客之令、復李斯官。新序曰、斯在逐中、道上至驪邑、卒用其計謀、官至廷尉、二十餘年、竟并天下、尊主爲皇帝、諫書達始皇、始皇使人逐得還、以斯爲丞相、夷郡縣、銷其兵刃、示不復用、使秦無尺土之封、不立子弟爲王、功臣爲諸侯者、使後無戰攻之患。始皇二十四

五十一

辨白黑、札記辨、別二作也、云、本則、各本辨二作。

年、置酒咸陽宮、博士僕射周青臣等、頌稱始皇威德、齊人淳于越進諫曰、臣聞之、殷周之王、千餘歲、封子弟功臣、自爲支輔、今陛下有海內、而子弟爲匹夫、卒有田常六卿之患、臣無輔弼、何以相救哉、事不師古、而能長久者、非所聞也、今青臣等、又面諛以重陛下過、非忠臣也。索隱曰、重音逐、用反、重者、再也。始皇下其議、丞相丞相諤其說、絀其辭、乃上書曰、古者天下散亂、莫能相一、是以諸侯並作、語皆道古、以害今、飾虛言、以亂實、人善其所私學、以非上所建立、今陛下并有天下、辨白黑而定一尊、索隱曰、劉氏云、前時國異政、家殊俗、人造私語、莫辨其真、今乃分別、白黑也、秦始皇并六國、定天下、而私學乃相與非法、教教制、聞令下、即各以其私學、議之、入則心非、出則巷議、非主以爲名、異趣以爲高、

率羣下以造謗。如此不禁。則主勢降乎上。黨與成乎下。禁之便。臣請諸有文學詩書百家語者。燬除去之。令到滿三十日。弗去。黔爲城旦。所不去者。醫藥卜筮種樹之書。若有欲學者。以吏爲師。始皇可其議。收去詩書百家之語。以愚百姓。使天下無以古非今。明法度。定律令。皆以始皇起。同文書。正義曰。六國制令不同。今令同之。治離宮別館。周徧天下。明年又巡狩。外攘四夷。斯皆有力焉。斯長男由爲三川守。諸男皆尚秦公主。女悉嫁秦諸公子。三川守李由告歸咸陽。李斯置酒於家。百官長皆前爲壽。門廷車騎以千數。李斯喟然而歎曰。嗟乎。吾聞之。苟卿曰。物禁太盛。夫斯乃上蔡布衣。閭巷之黔首。上不知其驚下。遂擢至此。當今人臣之位。無居

臣上者。可謂富貴極矣。物極則衰。吾未知所稅駕也。索隱曰。稅駕。猶解駕。言休息也。

李斯言已今日富貴已極。然未知向後吉凶止泊在何處也。始皇三十七年十月。行出游會稽。並海上。

北抵琅邪。正義曰。今沂州。丞相斯中車府令趙高兼行符璽令事。皆從。始

皇有二十餘子。長子扶蘇以數直諫上。上使監兵上郡。正義曰。上郡故城在

綏州上縣東南五十里。蒙恬爲將。少子胡亥愛請從。上許之。餘子莫從。辯士隱姓名遺

秦將章邯書曰。李斯爲秦王死。廢十七兄而立今王也。然則二世是秦始皇第十八子。此書在善文中。其年七月。始皇帝至沙丘。

正義曰。沙丘。病甚。令趙高爲書。賜公子扶蘇曰。以兵屬蒙恬。與喪

會咸陽。而葬。書已封。未授。使者始皇崩。書及璽皆在趙高所。獨

子胡亥。丞相李斯。趙高。及幸宦者五六人。知始皇崩。餘羣臣皆

莫知也。李斯以爲上在外崩。無真太子。故祕之。置始皇居。輜轅

徐子真德法在善文中。漢雜記曰。杜預。古人文。章ノ善者ヲ集メ。善文ト曰フ。

道高因覆所請扶蘇遺書
 道云ハ、余有丁曰、道
 高ノ首ヲ斬シ、二紙收
 ス、同惡相濟ス、見ル
 ナリ、方苞曰、趙高亂
 ル、傳二入ル、殺シ入
 ル、方苞曰、趙高亂
 以、亡新之、主スルヲ
 恬ノ傳二入ル、殺シ入
 テ高ヲ治シ、其罪ヲ死
 テ滅心アルヲ以テナ
 。

車中。徐廣曰。一作輶車。百官奏事。上食如故。宦者輒從。輶輶車中可諸奏。文類曰。輶輶車。如今喪輶車也。孟康曰。如衣車有窻。應閉之則濕。開之則涼。故名之輶輶車也。如淳曰。輶輶車。其形廣大。有羽飾也。趙高因詔所賜扶蘇。璽書。而謂公子胡亥曰。上崩。無詔。封王諸子。而獨賜長子書。長子至。即立為皇帝。而子無尺寸之地。為之奈何。胡亥曰。固也。吾聞之。明君知臣。明父知子。父捐命。不封諸子。何可言者。趙高曰。不然。方今天下之權。存亡在子。與高及丞相耳。願子圖之。且夫臣人。與見臣於人。制人。與見制於人。豈可同日道哉。胡亥曰。廢兄而立弟。是不義也。不奉父詔而畏死。是不孝也。能薄而材謫。史記音隱。卒顯反。○索隱曰。劉氏音將。淺反。則諡亦淺義。古人語自有重輕。所以文字有異。彊。因人之功。是不能也。三者逆德。天下不服。身殆傾危。社稷不血食。高曰。臣聞湯武殺其

衛君殺其父云云、錢大
 昕曰、沈氏二衛、石曼
 姑師、衛、衛、衛、衛、
 公羊以子伯、伯、伯、
 孟子書二衛君、子稱、
 子孝公ト稱ス、故二趙
 高此言ト爲ス、然二趙
 別職未ダ嘗テ經二死ニ
 別、觀亦猶ノ疾クベキ
 ナキナリ。
 今大行未發、浸推臣曰、
 先儒陳氏曲禮注、
 天王登假、發喪事二
 大行ト稱スル如シ、其
 往ヲ返ラザルヲ以テ、
 故二大行ト曰フ。

羸糧躍馬、其時二乘
 ゾベキナ形容スルナ
 。

主。天下稱義焉。不為不忠。衛君殺其父。而衛國戴其德。孔子著之。不為不孝。夫大行不小謹。盛德不辭讓。鄉曲各有宜。而百官不同功。故願小而忘大。後必有害。狐疑猶豫。後必有悔。斷而敢行。鬼神避之。後有成功。願子遂之。胡亥喟然歎曰。今大行未發。喪禮未終。豈宜以此事干丞相哉。趙高曰。時乎時乎。閒不及謀。羸糧躍馬。唯恐後時。胡亥既然而高之言。高曰。不與丞相謀。恐事不能成。臣請為子與丞相謀之。高乃謂丞相斯曰。上崩。賜長子書。與喪會成陽。而立為嗣。書未行。今上崩。未有知者也。所賜長子書。及符璽。皆在胡亥所。定太子。在君侯與高之口耳。事將何如。斯曰。安得亡國之言。此非人臣所當議也。高曰。君侯自料能

孰與蒙恬。功高孰與蒙恬。謀遠不失。孰與蒙恬。無怨於天下。孰與蒙恬。長子舊而信之。孰與蒙恬。斯曰。此五者皆不及蒙恬。而君責之何深也。高曰。高固內官之厮役也。幸得以刀筆之文。進入秦宮。管事二十餘年。未嘗見秦。免罷丞相功臣。有封及二世者也。卒皆以誅亡。皇帝二十餘子。皆君之所知。長子剛毅而武勇。信人而奮士。即位必用蒙恬為丞相。君侯終不懷通侯之印。歸於鄉里。明矣。高受詔教習胡亥。使學以法事。數年矣。未嘗見過失。慈仁篤厚。輕財重士。辯於心而詘於口。盡禮敬士。秦之諸子未有及此者。可以為嗣。君計而定之。斯曰。君其反位。斯奉主之詔。聽天之命。何慮之可定也。高曰。安可危也。危可安也。安危

慎選侯之印ハ、胡三子曰、敬侯、深ニ通侯トナリ、禮功曰、通モ亦敬ナリ、通下ハ、功徳正五ニ通ズルヲ言フナリ。

不定。何以貴聖。斯曰。斯上蔡閭巷布衣也。上幸擢為丞相。封為通侯。子孫皆至尊位重祿者。故將以存亡安危屬臣也。豈可負哉。夫忠臣不避死而庶幾。索隱曰。斯言忠臣之節本不避死。言已今日亦庶幾盡忠不避死也。孝子不勤勞而見危。人臣各守其職而已矣。君其勿復言。將令斯得罪。高曰。蓋聞聖人遷徙無常。就變而從。時見末而知本。觀指而覩歸。物固有之。安得常法哉。方今天下之權命懸於胡亥。高能得志焉。且夫從外制中。謂之惑。從下制上。謂之賊。故秋霜降者草花落。水搖動者萬物作。索隱曰。水搖者謂冰泮而搖。動也是春時而萬物皆生也。此必然之效也。君何見之晚。斯曰。吾聞晉易太子。正義曰。謂廢申生立奚齊也。三世不安。齊桓兄弟爭位。正義曰。謂小白與公子糾身死為戮。紂殺親戚。正義曰。謂殺比干囚箕子。不聽諫者國為丘墟。遂

忠臣不避死而庶幾ハ、實分曰、忠臣ハ、他愛ヲナシ、忠死ヲ避クナク、他愛ヲ避クナク、古者幾字、實ト同ク、注釋此義、孝子不勤勞而見危ハ、董仲舒曰、君子ハ、身ヲ重シミ、親ニ事ヘ、危臨ヲ蹈マザルヲ言フ、暗ニ胡亥ヲ指スナリ、就變而從時、札記云、毛本就字脫ニ作ル、志ニ、引テ能變而從之ニ作ル、秋霜降者云々ハ、札記云、此下句ナク、動字ナシ、惟志云、秋字、後人増入所ナリ。

是以爲寒心、札記云、
 雜志云、以李文戰、
 引、引、引、引、引、引、
 於斯乃、乃、乃、乃、
 李斯、斯、斯、斯、
 高、高、高、高、
 實、實、實、實、
 高、高、高、高、
 死、死、死、死、
 其、其、其、其、

危社稷。二者逆天。宗廟不血食。斯其猶人哉。安足爲謀。索隱曰：言我今日猶是人。人道守順。豈能爲逆謀。故曰安足爲謀也。高曰：上下合同。可以長久。中外若一事。無表裏。君聽臣之計。卽長有封侯。世世稱孤。必有喬松之壽。孔墨之智。今釋此而不從。禍及子孫。足以爲寒心。善者因禍爲福。君何處焉。斯乃仰天而歎。垂淚太息曰：嗟乎！獨遭亂世。既以不能死。安託命哉。於是斯乃聽高。高乃報胡亥曰：臣請奉太子之明命。以報丞相。丞相斯敢不奉令。於是乃相與謀。詐爲受始皇詔。丞相立子胡亥爲太子。更爲書賜長子扶蘇曰：朕巡天下。禱祠名山諸神。以延壽命。今扶蘇與將軍蒙恬將師數十萬。以屯邊。十有餘年矣。不能進。而前士卒多耗。無尺寸之功。乃反數上書。直言

卽以屬吏繫於陽周、
 方苞曰、蒙恬ノ死後、
 趙高ノ罪ニ於テ之ヲ出、
 ス、故ニ此ニ於テ其死、
 狀ヲ言ハザルナリ。

誹謗。我所爲。以不得罷歸。爲太子日夜怨望。扶蘇爲人子。不孝。其賜劍。以自裁。將軍恬與扶蘇居外。不匡正。宜知其謀。爲人臣不忠。其賜死。以兵屬裨將王離。封其書。以皇帝璽。遣胡亥客。奉書賜扶蘇於上郡。使者至。發書。扶蘇泣。入內舍。欲自殺。蒙恬止扶蘇曰：陛下居外。未立太子。使臣將三十萬衆守邊。公子爲監。此天下重任也。今一使者來。卽自殺。安知其非詐。請復請。復請而後死。未暮也。使者數趣之。扶蘇爲人仁。謂蒙恬曰：父而賜子死。尙安復請。卽自殺。蒙恬不肯死。使者卽以屬吏繫於陽周。徐廣曰：屬上郡。正義曰：陽周。寧州羅川縣之邑也。使者還。報胡亥。斯大喜。至咸陽。發喪。太子立爲二世皇帝。以趙高爲郎中令。常侍中用事。二世燕居。乃召高

與謀事。謂曰。夫人生居世間也。譬猶騁六驥。過決隙也。吾既已臨天下矣。欲悉耳目之所好。窮心志之所樂。以安宗廟而樂萬姓。長有天下。終吾年壽。其道可乎。高曰。此賢主之所能行也。而昏亂主之所禁也。臣請言之。不敢避斧鉞之誅。願陛下少畱意焉。夫沙丘之謀。諸公子及大臣皆疑焉。而諸公子盡。帝兄大臣又先帝之所置也。今陛下初立。此其屬意怏怏。皆不服。恐為變。且蒙恬已死。蒙毅將兵居外。臣戰戰栗栗。唯恐不終。且陛下安得為此樂乎。二世曰。為之奈何。趙高曰。嚴法而刻刑。令有罪者相坐誅。至收族。滅大臣。而遠骨肉。貧者富之。賤者貴之。盡除去先帝之故臣。更置陛下之所親信者近之。此則陰德歸陛下。害

確死於杜注史記音義
 札此史記音義二作ル、
 云7宋本中統不同ジ、
 游士河波本音隱ヲ誤テ
 音義ニ作ル。

除而姦謀塞。羣臣莫不被潤澤。蒙厚德。陛下則高枕肆志寵樂矣。計莫出於此。二世然高之言。乃更為法律。於是羣臣諸公子有罪。輒下高令。鞠治之。殺大臣蒙毅等。公子十二人。僇死咸陽市。十公主。磔死於杜。史記音義曰。磔音貯。格反。○索隱曰。磔音宅。與磔同。古今字異耳。磔謂裂其支體而殺之。財物入於縣官。相連坐者不可勝數。公子高欲奔。恐收族。乃上書曰。先帝無恙時。臣入則賜食。出則乘輿。御府之衣。臣得賜之。中廢之寶馬。臣得賜之。臣當從死。而不能為。人子不孝。為人臣不忠。不忠者無名。以立於世。臣請從死。願葬鄼山之足。唯上幸哀憐之。書上。胡亥大說。召趙高而示之。曰。此可謂急乎。趙高曰。人臣當憂死而不暇。何變之得。謀胡亥可。其書賜錢十萬。以葬。法令誅罰。

治直馳道、札紀云、直下字、脫ス、治直馳道二作ル。

飯土飯嘜土餅、飯土飯、餅ハ五音ナド。

手足胼胝ハ、皮膚キナ

日益刻深。羣臣人人自危。欲畔者衆。又作阿房之宮。治直馳道。賦斂愈重。戍徭無已。於是楚戍卒陳勝吳廣等乃作亂。起於山東。傑俊相立。自置爲侯王。叛秦兵至鴻門。而卻李斯數欲請閒。諫二世不許。而二世責問李斯曰。吾有私議。而有所聞於韓子也。曰堯之有天下也。堂高三尺。采椽不斲。徐廣曰采一名櫟一作柞。○索隱曰采木名即今之櫟木也。茅茨不翦。雖逆旅之宿。不勤於此矣。冬日鹿裘。夏日葛衣。粢糲之食。索隱曰粢音資糲音郎葛反。藜藿之羹。飯土甌。土釧。徐廣曰甌音。雖監門之養。不殺於此矣。徐廣曰殺音學殺一作殺推也。○索隱曰爾雅云殺蓋也。言監門下人飯猶不盡此若徐氏云一作殺。則字宜作。禹鑿龍門。通大夏。疏九河。曲九防。正義曰謂河之決。渟水致之海。徐廣曰致一作放。而股無胈。胈皮。脛無毛。手足胼胝。面目黎黑。遂以

然則夫所貴於有天下、札紀云、然則二字疑フ、行ナラシム。

肆志欲ハ、札紀肆志、廣欲ニ作ル、マフ、獨字、索本中統帝王毛本並ニ同ク、字類補遺、此文ナリキ、亦屬ニ作ル、方音ニ、脂ハ、益ナリ、後自ヲ過メ、今本則志仲者、疑フ後人則志仲見セザルヲ以テ改メ。

死于外。葬於會稽。臣虜之勞。不烈於此矣。然則夫所貴於有天下者。豈欲苦形勞神。身處逆旅之宿。口食監門之養。手持臣虜之作哉。此不肖人之所勉也。非賢者之所務也。彼賢人之有天下也。專用天下適己而已矣。此所以貴於有天下也。夫所謂賢人者。必能安天下而治萬民。今身且不能利將惡能治天下哉。故吾願肆志廣欲。長享天下而無害爲之奈何。李斯子由爲三川守。羣盜吳廣等西略地。過去弗能禁。章邯以破逐廣等。兵使者覆案三川。相屬譴讓斯。居三公位。如何令盜如此。李斯恐懼。重爵祿。不知所出。乃阿二世意。欲求容。以書對曰。夫賢主者。必且能全道而行督責之術者也。索隱曰督者察也。察其罪責之以刑罰也。督責之。則臣不

敢不竭能以徇其主矣。此臣主之分定。上下之義明。則天下賢不肖莫敢不盡力竭任以徇其君矣。是故主獨制於天下而無所制也。能窮樂之極矣。賢明之主也。可不察焉。故申子曰。有天下而不恣睢。索隱曰。恣音資。二反。睢音呼。季反。恣睢猶放縱也。謂肆情縱恣也。命之曰以天下為桎梏者。正義曰。言有天下不能自縱恣督責乃勞身於天下。若堯禹即以天下為桎梏於身也。無他焉。不能督責而顧以其身勞於天下之民。若堯禹然。故謂之桎梏也。夫不能修申韓之明術。行督責之道。專以天下自適也。而徒務苦形勞神。以身徇百姓。則是黔首之役。非畜天下者也。何足貴哉。夫以人徇己。則己貴而人賤。以己徇人。則己賤而人貴。故徇人者賤。而人所徇者貴。自古及今。未有不然者也。凡古之所為尊賢者。為其貴也。而

所為惡不肖者。為其賤也。而堯禹以身徇天下者也。因隨而尊之。則亦失所為尊賢之心矣。夫可謂大繆矣。謂之為桎梏。亦宜乎。不能督責之過也。故韓子曰。慈母有敗子。而嚴家無格虜者。何也。索隱曰。格。強悍也。虜。奴隸也。言嚴整之家。本無格悍奴隸也。則能罰之加焉必也。故商君之法。刑棄灰於道者。正義曰。棄灰於道者。黠也。韓子云。股之法。棄灰於衢者。刑。子貢以為重問之仲尼曰。灰棄於衢。必燭人。必怒。怒則鬪鬪則三族雖刑之可也。夫棄灰薄罪也。而被刑重罰也。彼唯明主為能深督輕罪。夫罪輕且督深。而況有重罪乎。故民不敢犯也。是故韓子曰。布帛尋常。庸人不釋。索隱曰。尋常。以言其少也。庸人。非釋者。謂庸人見則取之。不釋。以其罪輕也。故下云。罰不必行。則庸人非釋尋常是也。鑿金百鎰。盜跖不搏者。索隱曰。爾雅云。鑿。美也。言百鎰之美金在於地。雖有盜跖之行。亦不取者。為其財多而罪重也。故下云。搏必隨手刑。盜跖不搏也。搏。猶攫也。取也。凡鳥獸攫物。必轉足取。攫。故人取物。亦云搏也。非庸人之心。重尋常之利。深而盜跖之欲

布帛尋常。鑿金百鎰。八尺尋常。日。尋。二倍。スル。ト。日。フ。少。ナ。開。ナリ。ハ。新。金。ナ

孫季不輕犯也注樓季之兄也禮記云旬誤ア
 遊擊其上。禮記云。孫季不輕犯也。注樓季之兄也。禮記云。旬誤ア。今本按俗ニ從フ。禮記云。孫季不輕犯也。注樓季之兄也。禮記云。旬誤ア。今本按俗ニ從フ。禮記云。孫季不輕犯也。注樓季之兄也。禮記云。旬誤ア。今本按俗ニ從フ。

淺也。又不以盜跖之行爲輕。百鎰之重也。搏必隨手。刑則盜跖不搏。百鎰而罰不必行也。則庸人不釋。尋常是故。城高五丈而樓季不輕犯也。許慎曰樓季魏文侯之弟。王孫子曰樓季之兄也。泰山之高百仞而跛犂牧其上。詩云。犂羊墳首。毛傳曰。牝曰犂。夫樓季也而難五丈之限。豈跛犂也而易百仞之高哉。隋漸之勢異也。索隱曰。隋峻也。高也。音七笑。反。音漸。以言峭峻則難登。故樓季難五丈之限。平運則易涉。故跛犂牧於泰山也。明主聖王之所以能久處尊位。長執重勢而獨擅天下之利者。非有異道也。能獨斷而審督責。必深罰。故天下不敢犯也。今不務所以不犯而事慈母之所以敗子也。則亦不察於聖人之論矣。夫不能行聖人之術。則舍爲天下役何事哉。可不哀邪。索隱曰。舍猶廢也。止也。言爲人主不能行聖人督責之術。則已廢止何爲。且夫儉節仁義之人。立於勤身苦心爲天下所役。是何哉。可不哀邪。言其非也。

既ニ聖人ノ術ヲ行ヒ、以テ天下ヲ管スル能ハザレバ、則除去シ、天下ノ役ト爲リ、更ニ何ノ事トスル所アラザヤト言フ、荀子兵強力少ウシテ臣シ、合シ、碎折シ、國ヲキナリ、辭益略同ク、關於朝ハ、礼記關於朝ニ作ル、三ツ察生柯毛本固ク明ニ作ル、持世禮俗、礼記禮ヲ磨ニ作ル、三ツ察生柯毛各本禮ニ作ル、

朝則荒肆之樂輟矣。諫說論理之臣開於側。則流漫之志誦矣。烈士死節之行顯於世。則淫康之虞廢矣。故明主能外此三者而獨操主術。以制聽從之臣。而修其明法。故身尊而勢重也。凡賢主者。必將能拂世摩俗。而廢其所惡。立其所欲。索隱曰。拂音扶。拂世言與世情乖反。摩俗。反。音莫。何反。拂言磨礪於俗使從己也。故生則有尊重之勢。死則有賢明之諡也。是以明君獨斷。故權不在臣也。然後能滅仁義之塗。掩馳說之口。困烈士之行。塞聰揜明。內獨視聽。故外不可傾。以仁義烈士之行。而內不可奪。以諫說忿爭之辯。故能犖然獨行。恣睢之心。而莫之敢逆。若此然後可謂能明申韓之術。而修商君之法。法修術明而天下亂者未之聞也。故曰王道約而易操也。唯明主爲能

行之若此則謂督責之誠則臣無邪臣無邪則天下安天下安則主嚴尊主嚴尊則督責必督責必則所求得所求得則國家富國家富則君樂豐故督責之術設則所欲無不得矣羣臣百姓救過不給何變之敢圖若此則帝道備而可謂能明君臣之術矣雖申韓復生不能加也書奏二世悅於是行督責益嚴稅民深者為明吏二世曰若此則可謂能督責矣刑者相半於道而死人日成積於市殺人衆者為忠臣二世曰若此則可謂能督責矣初趙高為郎中令所殺及報私怨衆多恐大臣入朝奏事毀惡之乃說二世曰天子所以貴者但以聞聲羣臣莫得見其面故號曰朕且陛下富於春秋未必盡通諸事徐廣曰通或宜作照今坐

李斯以爲言ハ、後維庶曰、高二世チン朝廷ニ坐セザラシムルヲ言フナリ。

吾有所言者、札記云治要、吾所欲言者ニ作ル。

朝廷譴舉有不當者則見短於大臣非所以示神明於天下也且陛下深拱禁中與臣及侍中習法者待事事來有以揆之如此徐廣曰揆一作撥也則大臣不敢奏疑事天下稱聖主矣二世用其計乃不坐朝廷見大臣居禁中趙高常侍中用事事皆決於趙高高聞李斯以為言乃見丞相曰關東羣盜多今上急發繇治阿房宮案隱曰房音旁一如字聚狗馬無用之物臣欲諫為位賤此真君侯之事君何不諫李斯曰固也吾欲言之久矣今時上不坐朝廷上居深宮吾有所言者不可傳也欲見無聞趙高謂曰君誠能諫請為君候上聞語君於是趙高待二世方燕樂婦女居前使人告丞相上方閒可奏事丞相至宮門上謁如此者三二世怒曰吾

フト、亦此字等ナリ。

而君疑之何也。且朕少失先人。無所識知。不習治民。而君又老。恐與天下絕矣。朕非屬趙君。當誰任哉。且趙君為人精廉彊力。下知人情。上能適朕。君其勿疑。李斯曰。不然。夫高故賤人也。無識於理。貪欲無厭。求利不止。列勢威勢顯於人主次主。求欲無窮。臣故曰。殆二世已前信趙高。恐李斯殺之。乃私告趙高。高曰。丞相所患者獨高。高已死。丞相即欲為田常所為。於是二世曰。其以李斯屬郎中令。趙高案治李斯。李斯拘執束縛。居囹圄中。仰天而歎曰。嗟乎。悲夫。不道之君。何可為計哉。昔者桀殺關龍逢。紂殺王子比干。吳王夫差殺伍子胥。此三臣者。豈不忠哉。然而不免於死。身死而所忠者非也。今吾智不及三子。而二世之無道過於桀紂。

夫差。吾以忠死。宜矣。且二世之治。豈不亂哉。日者夷其兄弟。而自立也。殺忠臣。而貴賤人。作為阿房之宮。賦斂天下。吾非不諫也。而不吾聽也。凡古聖王。飲食有節。車器有數。宮室有度。出令造事。加費而無益於民利者。禁。故能長久治安。今行逆於昆弟。不顧其咎。侵殺忠臣。不思其殃。大為宮室。厚賦天下。不愛其費。三者已行。天下不聽。今反者已有天下之半矣。而心尚未寤也。而以趙高為佐。吾必見寇至咸陽。麋鹿游於朝也。於是二世乃使高案丞相獄。治罪。責斯與子由謀反狀。皆收捕宗族賓客。趙高治斯。榜掠千餘。不勝痛。自誣服。斯所以不死者。自負其辯有功。實無反心。幸得上書自陳。幸二世之寤。而赦之。李斯乃從獄。

中上書曰。臣爲丞相。治民三十餘年矣。逮秦地之陝隘。先王之時。秦地不過千里。兵數十萬。臣盡薄材。謹奉法令。陰行謀臣。資之金玉。使游說諸侯。陰修甲兵。飾政教。官鬪士。尊功臣。盛其爵祿。故終以脅韓。弱魏。破燕。趙。夷齊。楚。卒兼六國。虜其王。立秦。天子罪一矣。地非不廣。又北逐胡貉。南定百越。以見秦之彊。罪二矣。尊大臣。盛其爵位。以固其親。罪三矣。立社稷。修宗廟。以明主之賢。罪四矣。更剋畫。平斗斛度量。文章布之天下。以樹秦之名。罪五矣。治馳道。興游觀。以見主之得意。罪六矣。緩刑罰。薄賦斂。以遂主得衆之心。萬民戴主。死而不忘。罪七矣。若斯之爲臣者。罪足以死。固久矣。上幸盡其能力。乃得至今。願陛下察之。書

辭服發上ハ、方色曰
斯ノ辭服ス、故ニ高其
罪ヲト相應ズルニ榮ス
ルナリ、漢書ニ榮當
成ル、卓陶之ヲ題クト
楚モ、臣以テ死シテ餘
卒アリト爲ストアリ。

上趙高使吏棄去不奏。曰。囚安得。上書。趙高使其客十餘輩詐爲御史。謁者侍中。更往覆訊。斯更以其實對。輒使人復榜之。後二世使人驗斯。斯以爲如前。終不敢更言。辭服奏當。上一世喜曰。微趙君。幾爲丞相。所賣及二世所使案。三川之守至。則項梁已擊殺之。使者來。會丞相下吏。趙高皆妄爲反辭。二世二年七月。具斯五刑。論腰斬咸陽市。斯出獄。與其中子俱執。顧謂其中子曰。吾欲與若復牽黃犬。俱出上蔡東門。逐狡兔。豈可得乎。遂父子相哭。而夷三族。李斯已死。二世拜趙高爲中丞相。事無大小。輒決於高。高自知權重。乃獻鹿。謂之馬。二世問左右。此乃鹿也。左右皆曰。馬也。二世驚。自以爲惑。乃召太卜。令卦之。太卜

二世上觀ノ觀へ、宮ノ
門闕ヲ！
與死者臨談へ、錢大昕
曰、太史公文ノ名談ヲ

キ、李談進談ノ屬ノ如
キ、皆或ク向上ヲ稱ス、同
此韓談獨リ改メザル何
ソ、滑稽傳談言微中、
司馬相如傳因斯以談、
皆談字ヲ題ケズ、礼記
云、史談ヲ録ス、同ニ作
方也曰不適、世所
如カザルナリ、尙書民
不適有居ト、字義同シ。

日陛下春秋郊祀奉宗廟鬼神齋戒不明故至於此可依盛德而明齋戒於是乃入上林齋戒日游弋獵有行人入上林中二世自射殺之趙高教其女壻咸陽令閭樂劾不知何人賊殺人移上林高乃諫二世曰天子無故賊殺不辜人此上帝之禁也鬼神不享天且降殃當遠避宮以禳之二世乃出居望夷之宮留三日趙高詐詔衛士令士皆素服持兵內鄉入告二世曰山東羣盜兵大至二世上觀而見之恐懼高即因劫令自殺引璽而佩之左右百官莫從上殿殿欲壞者三高自知天弗與羣臣弗許乃召始皇弟授之璽徐廣曰一本曰召始皇弟子嬰授之璽案本紀云子嬰者二世之兄子也○索隱曰劉氏云弟字誤當爲子嬰即位患之乃稱疾不聽事與宦者韓談及其子謀殺

高。高上謁請病。因召入。令韓談刺殺之。夷其三族。子嬰立。三月。沛公兵從武關入。至咸陽。羣臣百官皆畔。不適。徐廣曰。適音敵也。子嬰與妻子自係其頸以組。降軹道旁。正義曰。軹道在萬年縣東北十六里。沛公因以屬吏項王至而斬之。遂以亡天下。
太史公曰。李斯以閭閻歷諸侯。入事秦。因以瑕釁以輔始皇。卒成帝業。斯爲三公。可謂尊用矣。斯知六藝之歸。不務明政。以補主上之缺。持爵祿之重。阿順苟合。嚴威酷刑。聽高邪說。廢適立庶。諸侯已畔。斯乃欲諫爭。不亦末乎。人皆以斯極忠。而被五刑。死察其本。乃與俗議之異。不然。斯之功且與周召列矣。

索隱通贊曰。皇在所居。人固擇地。斯效智力。功立名遂。置酒咸陽。入臣極位。一夫誑惑。變易神器。國喪身誅。本同末異。

蘇子古史曰始皇以詐力兼天下志得意滿諱聞過失李斯燔書詩誦功德以成其氣至其晚節不可告語君老太子在外履危亂之機而莫敢以一言合其父子之親者雖始皇之暴非斯養之不至也及其事二世知趙高之奸復偷合取容使高勢已成天下已亂乃欲力蘇不亦晚乎至於國破家滅非不幸也

楊維禎曰趙高謀矯專所忌者斯一人耳其言曰不謀丞相事不成高請于斯斯既能以亡國之言絕之矣而又以其言虛不得懷通侯之印易其心而許之是殺蘇與恬者斯也誠使斯善度事機相亥以與高其事必敗孰與操其矯書以逆先誅高而與恬立蘇也即高未謀潛以矯謀聞於蘇蘇可不死恬之殺高機上肉爾計不出此他日事皆決于高乃始上書高言罪可嗟何及矣嗚呼秦憑天下而受其愚者李斯也斯憑秦君臣而受其愚者趙高也五刑具三族夷然後父子對哭而思東門狡兔之樂斯真愚人哉

增柯維祺設扶蘇自訟書云秦始皇崩沙丘李斯趙高矯詔立胡亥詐為始皇書責上郡數長子扶蘇及將軍蒙恬罪並賜死扶蘇不敢復請乃為絕命書以獻曰臣聞勇者不避禍仁者不撓節沉國聽于君家聽於親死生惟命誰能逃之臣以不肯干陛下重怒安抗必行之令所必不可得之恩哉屬鑣在前扶蘇豈敢愛其死然事之本末不容不自明也臣少諂易至無妄災邑之辭常疑其事乃今信其真有耳嗟乎嗟乎臣何辜而罹此禍耶夫父子之愛不可解于心者也自非反德悖道之人孰不欲其親全令名而身共享安寧之慶哉是故過而幾諫勞而無怨此聖哲之懿訓生人之通道也臣雖愚聞竊聞斯義久矣夫人非堯舜孰能無過陛下信任之臣如李斯輩皆持祿容身莫敢匡諫臣為長嗣休戚同之關弓射人或談笑而道或涕泣而道何則親疎之情異也

需者焚籍之後繼有抗儒之慘臣惟國家初定遠方黔首未集而諸儒誦法孔子皆繩以罪恐失天下心用是略陳衷悃干冒威嚴不圖拂意見疏監兵上郡自離膝下于今三年瞻戀闕庭儼若咫尺切慮陛下輕萬乘之尊遠九重之宴巡遊天下西祀東封愆恩之臣奉以祈延壽命為詞殊不知川途險巇姦軌伺隙供億日繁民怨胥作臣豈忍默而不言坐令變起蕭牆而荆棘生于朝也臣亦揣往事取憎強聒何補第念先公穆公悔過自誓卒能顯名諸侯延休後嗣臣豈忍絕望于陛下哉嗚呼詎意竟以此獲罪耶詔書云臣與蒙恬將兵屯邊士卒多耗無尺寸之功乃反數上書誹謗以不得能歸為太子日夜怨望嗚呼其亦弗諒之甚矣陛下混一字內甸奴遠道邊境晏然臣等憑藉威靈又何功之可樹若撫綏士卒將軍任耳臣受命監兵何乃吹毛而求疵也且夫懷宴安而厭險阻觀寵幸而嫌疎遠者常人之情也履險阻而不能處疎遠而不忘納君子善者臣子之義也臣輸忠行孝不蒙省察而概以常情律之昔人云欲加之罪何患無詞臣誠有死而已夫復何言嗚呼古今以諫獲罪如此于剖心子胥瀆身猶曰戚屬耳猶曰羈臣耳父兮生我何若是忍也若乃衛宣子伋實由賈倫晉獻于申生寔由嬖寵陛下無二者之溺而甘心焉此臣之所未喻也豈緘默者假誹謗之名以售諛歟陰謀者倡怨望之說以傾奪歟夫投杼之誤曾參不免臣賢不逮若人而說者臣罪陛下惡得而無猜也陛下試思之而詳察之倘有讒人交亂其間幸投之豺虎肆之市朝以雪臣冤更冀收臣骸骨埋之鄗山之足庶幾陛下百歲後魂魄相依生雖棄捐死得密邇無所恨矣神迷氣短不知所云遂自殺胡亥得書喜以示斯高曰夫固已疑之幸矣哉其不復請也

史記評林卷之八十七終

史記評林卷之八十八

蒙恬列傳第二十八

蒙恬者其先齊人也恬大父蒙驁索隱曰驁音遊又鄒氏音五到反自齊事秦昭王

取城卑、札記取卑二作ル、三、本毛不成各本城二作ル。

三川郡二年蒙驁攻趙取三十七城始皇三年蒙驁攻韓取十

三城五年蒙驁攻魏取二十城作置東郡始皇七年蒙驁卒驁

子曰武武子曰恬恬嘗書獄典文學索隱曰謂恬嘗學獄法遂作獄官文學始皇二十

三年蒙武爲秦裨將軍與王翦攻楚大破之殺項燕二十四年

蒙武攻楚虜楚王蒙恬弟毅始皇二十六年蒙恬因家世得爲

收河南注及勝、禮記
及字ナシ云、各本無
下及字ナシ、官本無
用陰制、札記用制
陰來、作ル、云フ、本
中統、劉毛、本向、他
本制、陰、
至遼東注正義、至海之
上札記云、之上二字、聚
フ、衍ナリ。

趙高者、諱、趙、也、云
云、ハ、深、陰、曰、此、突
然、趙、高、家、ナ、起、シ、及、其
郭、アル、一段、ナ、抑、入、ス、
蒙、氏、ノ、禍、實、ニ、此、ニ、本、
ク、ナ、者、ス、所以、ナリ、
生、隱、宮、ハ、政、曰、也、
陰、ナ、キ、ト、謂、テ、張、陰、
配、恐、ク、ハ、非、ナリ、

秦將攻齊大破之拜為內史秦已并天下乃使蒙恬將二十萬

衆北逐戎狄收河南正義曰謂靈及勝等州築長城因地形用險制塞起臨

洮至遼東徐廣曰臨洮屬隴西○正義曰遼東郡在遼水東始皇築長城東至遼水西南至海之上延袤萬餘里於是渡

河據陽山徐廣曰五原西安陽縣北有陰山陰山在河南陽山在河北透蛇而北暴師於外十餘年

居上郡是時蒙恬威振匈奴始皇甚尊寵蒙氏信任賢之而親

近蒙毅位至上卿出則參乘入則御前恬任外事而毅常為內

謀名為忠信故雖諸將相莫敢與之爭焉趙高者諸趙疏遠屬

也趙高昆弟數人皆生隱宮徐廣曰為宦者○索隱曰劉氏云蓋其父犯宮刑妻于沒為奴婢妻後野合所生子皆承趙姓並官

之故云兄弟其母被刑辱世世卑賤秦王聞高彊力通於獄法舉

以為中車府令高即私事公子胡亥喻之決獄高有大罪秦王

令蒙毅法治之毅不敢阿法當高罪死除其宦籍帝以高之敦

於事也徐廣曰敦一作敏赦之復其官爵始皇欲游天下道九原正義曰九原郡今勝

直抵甘泉正義曰宮在雍州乃使蒙恬通道自九原抵甘泉壘山堙

谷千八百里道未就始皇三十七年冬行出游會稽並海上索隱

曰或音白浪反北走琅邪索隱曰走音奏走猶向也鄒氏音趨趨亦向義於字則乖道病使蒙毅還禱山川未

反始皇至沙丘崩祕之羣臣莫知是時丞相李斯少子胡亥中

車府令趙高常從高雅得幸於胡亥欲立之又怨蒙毅法治之

而不為己也因有賊心乃與丞相李斯少子胡亥陰謀立胡亥

為太子太子已立遣使者以罪賜公子扶蘇蒙恬死扶蘇已死

蒙恬疑而復請之使者以蒙恬屬吏更置胡亥以李斯舍人為

胡亥以李斯舍人為蒙恬
使者方苞曰胡亥二
字衍ナリ。

護軍使者還報胡亥已聞扶蘇死即欲釋蒙恬趙高恐蒙氏復貴而用事怨之殺還至趙高因為胡亥忠計欲以滅蒙氏乃言曰臣聞先帝欲舉賢立太子久矣而殺諫曰不可若知賢而愈不立則是不忠而惑主也案隱曰愈一作俞俞即踰也音與謂知太子賢而踰久不立是不忠也以臣愚意不若誅之胡亥聽而繫蒙毅於代正義曰今代州也因麟山川至代而繫之前已囚蒙恬於陽周喪至咸陽已葬太子立為二世皇帝而趙高親近日夜毀惡蒙氏求其罪過舉劾之子嬰進諫曰臣聞故趙王遷殺其良臣李牧而用顏聚燕王喜隱用荊軻之謀而倍秦之約齊王建殺其故世忠臣而用后勝之議此三君者皆各以變古者失其國而殃及其身今蒙氏秦之大臣謀士也而主欲一旦棄去

五四八

之臣竊以為不可臣聞輕慮者不可以治國獨智者不可以存君徐廣曰一無此字誅殺忠臣而立無節行之人是內使羣臣不相信而外使鬪士之意離也臣竊以為不可胡亥不聽而遣御史曲宮乘傳之代案隱曰曲姓宮名令蒙毅曰先主欲立太子而卿難之今丞相以卿為不忠罪及其宗朕不忍乃賜卿死亦甚幸矣卿其圖之毅對曰以臣不能得先主之意則臣少宦順幸沒世可謂知意矣案隱曰蒙毅言已少事始皇順旨蒙恩幸至始皇沒世可謂知上意也以臣不知太子之能則太子獨從周旋天下去諸公子絕遠臣無所疑矣夫先主之舉用太子數年之積也臣乃何言之敢諫何慮之敢謀非敢飾辭以避死也為羞累先主之名願大夫為慮焉使臣得死情實且夫順成全

願大夫為慮、王維和曰、大夫、御史曲宮

指ス、其美ヲ王ニ傳ヘ、之ヲ寬歎スルヲ冀フナ
故立號曰繆、錢大昕曰、此二號レバ、則秦穆公ノ穆當ニ繆アテ如クスベシ、所謂名ト實ト異フヲ繆ト曰フナリ、蒙恬ハ秦人、其言必自ル所アゲン、其言必曰、繆政是ナリ、春秋傳ニ、非禮也勿録トア

者道之所貴也。刑殺者道之所卒也。昔者秦穆公殺三良而死。罪百里奚而非其罪也。故立號曰繆。昭襄王殺武安君白起。楚平王殺伍奢。吳王夫差殺伍子胥。此四君者皆爲大失。而天下非之。以其君爲不明。以是籍於諸侯。索隱曰。言惡聲振籍布於諸國。劉氏云。諸侯皆記其惡於史籍。非也。故曰。用道治者不殺無罪。而罰不加於無辜。唯大夫畱心。使者知。胡亥之意不聽。蒙毅之言遂殺之。二世又遣使者之陽周。令蒙恬曰。君之過多矣。而卿弟毅有大罪。法及內史。恬曰。自吾先人及至子孫。積功信於秦三世矣。今臣將兵三十餘萬。身雖囚繫。其勢足以倍畔。自知必死。而守義者不敢辱先人之教。以不忘先主也。昔周成王初立。補明切。未離襁褓。周公旦負王以朝。卒定天

五五〇

下。及成王有病甚殆。公旦自揃其爪以沈於河。曰。王未有識。是且執事有罪殃。且受其不祥。乃書而藏之。記府可謂信矣。及王能治國。有賊臣言。周公旦欲爲亂久矣。王若不備。必有大事。王乃大怒。周公旦走而奔於楚。成王觀於記府。得周公旦沈書。乃流涕曰。孰謂周公旦欲爲亂乎。殺言之者。而反周公旦。故周書曰。必參而伍之。索隱曰。參謂三卿。伍即五大夫。欲參伍更議。今恬之宗世無二心。而事卒如此。是孽臣逆亂內陵之道也。徐廣曰。亂一作辭。夫成王失而復振。則卒昌。桀殺關龍逢。紂殺王子比干。而不悔。身死則國亡。臣故曰。過可振而諫可覺也。索隱曰。此故曰者。必先志有此言。蒙恬引之以成說也。今不知出何書耳。振者。救也。然語亦倒。以言前人受諫可覺。則其過乃可救也。察於參伍。上聖之法也。凡臣之言。非以求免於咎也。將以諫而

死。顧陛下為萬民思從道也。使者曰：臣受詔行法，於將軍不敢以將軍言聞於上也。蒙恬喟然太息曰：我何罪於天，無過而死乎？良久，徐曰：恬罪固當死矣。起臨洮，屬之遼東，城塹萬餘里，此其中不能無絕地脈哉。此乃恬之罪也。乃吞藥自殺。一作蒙恬自絕脈

太史公曰：吾適北邊，自直道歸，行觀蒙恬所為。秦築長城亭障，遼山堙谷，通直道，固輕百姓力矣。夫秦之初滅諸侯，天下之心未定，瘡傷者未瘳，而恬為名將，不以此時彊諫，振百姓之急，養老存孤，務修衆庶之和，而阿意興功，此其兄弟遇誅，不亦宜乎？何乃罪地脈哉。

索隱述贊曰：蒙氏秦將，丙史忠賢，長城首築，萬里安邊，趙高矯制，扶蘇死焉，絕地何罪，勞人是愆，呼天欲訴，三代良然。

蘇子古史曰：蒙氏為秦吞滅諸侯，其所殘暴多矣。子孫以無罪戮死，此天意也。恬以長城之役，竭民力，斷地脈，自知當死，而毅以忠信事上，自計無罪死而不厭。夫儉合取容，咎亞李斯，此其所以不免者哉。然始皇病于琅邪，使毅還麟山川，至沙丘而崩，使毅尚從，則趙高李斯廢適之謀，殆不能發。嗚呼！天之所廢，人謀固無所復施耶。

史記評林卷之八十八終

史記評林卷之八十九

張耳陳餘列傳第二十九

索隱曰張耳與內勢梓楚漢位埒齊韓俱懷從沛之心咸享晉河之業爵在列侯之上家傳累代之基長沙既曰令終趙王亦謂善始竝可列同世家焉

張耳者大梁人也。索隱曰臣瓚云今陳留大梁城是也。其少時及魏公子毋忌為客

張耳嘗亡命游外黃。索隱曰晉灼曰命者名也謂脫名籍而逃。崔浩曰亡無也。命名也。逃匿則削除名籍故以逃為亡命。地理志外黃屬陳留。去抵父客。如淳曰父時故賓客

○索隱曰如淳曰父客素知張耳乃謂女曰必欲求賢夫從張耳女

聽乃卒為請決嫁之張耳。索隱曰謂女請父客為決絕其夫而嫁之張耳。張耳是時脫身游

女家厚奉給張耳張耳以故致千里客乃宦魏為外黃令名由

及魏公子毋忌為客、
而即古曰、毋忌ハ信陵
君ナリ、其尙母忌ヲ見
ルニ及ビ、之ヲ賓客ト
爲ルナリ。

陳餘亡其夫ハ、方也
曰、其夫ヲ去ルナリ、
告ケズシテ去ル。猶
亡ノ如キナリ。
去抵父客云云ハ、皆川
淇曰、卒爲請決ハ、
女ノ爲ニ決絶テ夫ニ請
フナリ、李光裕曰、去
抵父客ハ、婦人嫁テ去
テ歸ト曰フ、即歸テ
下父客ノ客字疑フ折ナ
リ、卒爲請決ハ、父爲

ニ之ヲ張耳ニ謂フナリト、按ニ李說ニ從ヘバ、去テ父ニ抵テ者ナリ、父素ト張耳ヲ知ル云云ト爲スベシ。

爲里監門以自食ハ、張師古曰、監門ハ卒ノ職者ナリ、二人卑賤ヲ以テ自ラ辱ル。陳餘欲起云云ハ、胡三省曰、辱ヲ受ク能ハズ起テ莫ク抗セント欲スルナリ、張之ハ其足ヲ踏ムナリ。

上謂陳涉ハ、願師古曰、其謂ナリト見ニルナリ、上謂ハ、今ノ通名ノ若シ。

曠目張師ハ、願師古曰、張師ハ勇ノ甚シキナリト云フナリ。

野無交兵無守城ハ、胡三省曰、六國皆異國

此益賢。

陳餘者亦大梁人也。好儒術。數游趙苦陘。張晏曰苦陘漢章帝改曰漢昌。○索隱曰地理志屬中山。

○正義曰音邢。富人公乘氏以其女妻之。亦知陳餘非庸人也。餘年少。父事張耳。兩人相與爲刎頸交。索隱曰崔浩云言要齊生死斷頭無悔。秦之滅大梁也。張耳家外黃。高祖爲布衣時嘗數從張耳游。客數月。秦滅魏。數歲已聞此兩人魏之名士也。購求有得張耳千金。陳餘五百。

金。張耳陳餘乃變名姓俱之陳。爲里監門以自食。張晏曰監門。兩里正衛也。兩人相對。里吏嘗有過笞陳餘。陳餘欲起。張耳蹕之。徐廣曰一作蹕。使受笞。吏去。張耳乃引陳餘之桑下而數之曰。始吾與公言何如。今見小辱而欲死。一吏乎。陳餘然之。秦詔書購求兩人。兩人亦反。

用門者以令里中。索隱曰案門者即餘耳自以也。其名而號令里中誰更別求也。陳涉起。漸至入陳。兵數萬。張耳陳餘上謁陳涉。涉及左右。生平數聞張耳陳餘賢。未嘗見。見即大喜。陳中豪傑父老。乃說陳涉曰。將軍身被堅執銳。率士卒以誅暴秦。復立楚社稷。存亡繼絕。功德宜爲王。且夫監臨天下諸將。不爲王不可。願將軍立爲楚王也。陳涉問此兩人。兩人對曰。夫秦爲無道。破入國家。滅人社稷。絕人後世。罷百姓之力。盡百姓之財。將軍曠目張膽。出萬死不顧一生之計。爲天下除殘也。今始至陳而王之。示天下私。願將軍毋王。急引兵而西。遣人立六國後。自爲樹黨。爲秦益敵也。敵多則力分。與衆則兵彊。如此野無交兵。縣無守城。誅暴秦。據咸陽。以令諸侯。諸侯

用門者以令里中。索隱曰案門者即餘耳自以也。其名而號令里中誰更別求也。陳涉起。漸至入陳。兵數萬。張耳陳餘上謁陳涉。涉及左右。生平數聞張耳陳餘賢。未嘗見。見即大喜。陳中豪傑父老。乃說陳涉曰。將軍身被堅執銳。率士卒以誅暴秦。復立楚社稷。存亡繼絕。功德宜爲王。且夫監臨天下諸將。不爲王不可。願將軍立爲楚王也。陳涉問此兩人。兩人對曰。夫秦爲無道。破入國家。滅人社稷。絕人後世。罷百姓之力。盡百姓之財。將軍曠目張膽。出萬死不顧一生之計。爲天下除殘也。今始至陳而王之。示天下私。願將軍毋王。急引兵而西。遣人立六國後。自爲樹黨。爲秦益敵也。敵多則力分。與衆則兵彊。如此野無交兵。縣無守城。誅暴秦。據咸陽。以令諸侯。諸侯

兵彊。如此野無交兵。縣無守城。誅暴秦。據咸陽。以令諸侯。諸侯

ノ地戰ハズシテ降ルモ
三十餘城然ル後乃
立シテ王ト爲ル武臣乃
立シテ王ト爲ル武臣乃
立シテ王ト爲ル武臣乃
立シテ王ト爲ル武臣乃
立シテ王ト爲ル武臣乃
立シテ王ト爲ル武臣乃
立シテ王ト爲ル武臣乃
立シテ王ト爲ル武臣乃
立シテ王ト爲ル武臣乃

慈父孝子莫敢割刃公之腹中者。徐廣曰傳音載。○李奇曰東方人以物插地皆爲傳。畏秦法耳。今天下大亂秦法不施然則慈父孝子且傳刃公之腹中以成其名。此臣之所以弔公也。今諸侯畔秦矣武信君兵且至而君堅守范陽少年皆爭殺君下武信君君急遣臣見武信君可轉禍爲福在今矣。范陽令乃使蒯通見武信君曰足下必將戰勝然後略地攻得然後下城臣竊以爲過矣。誠聽臣之計可不攻而降城不戰而略地傳檄而千里定可乎。武信君曰何謂也。蒯通曰今范陽令宜整頓其士卒以守戰者也。怯而畏死貪而重富貴故欲先天下降畏君以爲秦所置吏誅殺如前十城也。然今范陽少年亦方殺其令自以城距君君何不齎臣侯印拜范

云介居河北注音約曰云
云介居河北注音約曰云
云介居河北注音約曰云
云介居河北注音約曰云
云介居河北注音約曰云
云介居河北注音約曰云
云介居河北注音約曰云
云介居河北注音約曰云
云介居河北注音約曰云
云介居河北注音約曰云

陽令范陽令則以城下君少年亦不敢殺其令。令范陽令乘朱輪華轂使驅馳燕趙郊燕趙郊見之皆曰此范陽令先下者也。卽喜矣。燕趙城可毋戰而降也。此臣之所謂傳檄而千里定者也。武信君從其計因使蒯通賜范陽令侯印趙地聞之不戰以城下者三十餘城。至邯鄲張耳陳餘聞周章軍入關至戲卻。蘇林曰戲地名卻兵退也。○正義曰戲音義在驪山。又聞諸將爲陳王徇地多以讒毀得罪誅怨陳王不用其策不以爲將而以爲校尉乃說武臣曰陳王起斬至陳而王非必立六國後將軍今以三千人下趙數十城獨介居河北。晉灼曰介音豎瑯曰方言云介特也。不王無以填之。且陳王聽讒還報恐不脫於禍。又不如立其兄弟不卽立趙後將軍毋失時時聞不容息。

曰以言舉事不可失時時機之迅速其間不容一喘息頃也。武臣乃聽之遂立為趙王以陳餘為大將軍張耳為右丞相邵驩為左丞相使人報陳王陳王大怒欲盡族武臣等家而發兵擊趙陳王相國房君諫曰秦未亡而誅武臣等家此又生一秦也不如因而賀之使急引兵西擊秦陳王然之從其計徙繫武臣等家宮中封張耳子敖為成都君陳王使使者賀趙令趣發兵西入關張耳陳餘說武臣曰王王趙非楚意特以計賀王楚已滅秦必加兵於趙願王毋西兵北徇燕代南收河內以自廣趙南據大河北有燕代楚雖勝秦必不敢制趙趙王以為然因不西兵而使韓廣略燕李良略常山張騫略上黨韓廣至燕燕人因立廣為燕王。

徐廣曰九月也

趙王乃與張耳

特以計賀王ハ、願師古曰力弱スル能ハズ且安撫ヲ事トシ、權定ノ計ヲ為スナリ。

趙王問出、張師古曰、問出ハ問原ニ投ジテ後由ヌルナリ。

陳餘北略地燕界趙王問出為燕軍所得燕將囚之欲與分趙地半乃歸王使者往燕輒殺之以求地張耳陳餘患之有廝養卒謝其舍中曰。如淳曰廝養者公羊傳曰廝役屢養韋昭曰折薪為廝炊蒸為養吾為公說燕與趙王載歸舍中皆笑曰使者往十餘輩輒死若何以能得王乃走燕壁燕將見之問燕將曰知臣何欲燕將曰若欲得趙王耳曰君知張耳陳餘何如人也燕將曰賢人也曰知其志何欲曰欲得其王耳趙養卒乃笑曰君未知此兩人所欲也夫武臣張耳陳餘杖馬箠下趙數十城。張晏曰言其不用兵革驅策而已也○索隱曰杖音丈箠音之委反此亦各欲南面而王豈欲為卿相終已邪夫臣與主豈可同日而道哉顧其勢初定未敢參分而王且以少長先立

左提右挈ハ、師師古曰、相扶持スルヲ謂フ。

至后邑、札石邑二作、
ル云フ、漢本后二國。

昭、張安曰、胡三省曰、
曰、存思シテ起テ、從

武臣爲王以持趙心。今趙地已服。此兩人亦欲分趙而王。時未可耳。今君乃囚趙王。此兩人名爲求趙王。實欲燕殺之。此兩人分趙自立。夫以一趙尚易。燕況以兩賢王。左提右挈而責殺王之罪。徐廣曰、平原君傳曰、事成執右券以責也、券契義同耳。滅燕易矣。燕將以爲然。乃歸趙王。養卒爲御而歸。李良已定常山。還報趙王。復使良略太原。至后邑。索隱曰、地理志云、屬常山。秦兵塞井陘。未能前秦。將詐稱二世使人遺李良書不封。張安曰、欲其漏泄君臣相疑。曰良嘗事我。得顯幸。良誠能反趙爲秦。赦良罪。貴良。良得書。疑不信。乃還之邯鄲。益請兵。未至道。逢趙王姊出飲。從百餘騎。李良望見以爲王。伏謁道旁。王姊醉不知其將。使騎謝李良。李良素貴。起慙其從官。從官有一人曰。天下畔秦。

官ヲ願ミテ、燕ノルナ

兩君驪旅而欲附趙。難獨立。立趙後。扶以義。可就功。索隱曰、案綱旅勞弱難以立功也。乃求得趙歇。徐廣曰、正月也。音烏。錯反。立爲趙王。居信都。徐廣曰、後項羽改曰襄國。李良進兵擊陳餘。陳餘敗。李良、李良走歸章邯。章邯引兵至邯鄲。皆徙其民河內。夷其城郭。張耳與趙王歇走入鉅鹿城。王離圍之。陳餘北收常山兵。得數萬人。軍鉅鹿北。章邯軍鉅鹿南。棘原。築甬道屬河。餉王離。王離兵食多。急攻鉅鹿。鉅

築甬道屬河。餉王離。王離兵食多。急攻鉅鹿。鉅

能者先立。且趙王素出將軍下。今女兒乃不爲將軍下車。請追殺之。李良已得秦書。固欲反趙。未決。因此怒。遣人追殺王姊。道中乃遂將其兵襲邯鄲。邯鄲不知。竟殺武臣。邵騷。趙人多爲張耳陳餘耳目者。以故得脫出。收其兵。得數萬人。客有說張耳曰。兩君驪旅而欲附趙。難獨立。立趙後。扶以義。可就功。索隱曰、案綱旅勞弱難以立功也。乃求得趙歇。徐廣曰、正月也。音烏。錯反。立爲趙王。居信都。徐廣曰、後項羽改曰襄國。李良進兵擊陳餘。陳餘敗。李良、李良走歸章邯。章邯引兵至邯鄲。皆徙其民河內。夷其城郭。張耳與趙王歇走入鉅鹿城。王離圍之。陳餘北收常山兵。得數萬人。軍鉅鹿北。章邯軍鉅鹿南。棘原。築甬道屬河。餉王離。王離兵食多。急攻鉅鹿。鉅

抄本中恐此，故二重
抄本中恐此，以二重
抄本中恐此，以二重
抄本中恐此，以二重

且有十一，二相全，一胡
三分日，十分ノ中，一
二分以テ勝二勝ヲ，一
ヲ相保全スルヲ

鹿城中食盡，兵少，張耳數使人召前陳餘。陳餘自度兵少，不敢
秦。不敢前。數月，張耳大怒，怨陳餘，使張懸陳澤往讓陳餘，曰：「正
曰：澤
音釋
始吾與公爲刎頸交，今王與耳且暮且死，而公擁兵數萬，
不肯相救，安在其相爲死？苟必信，胡不赴秦軍俱死？且有十一
二相全。」正義曰：十中
冀一兩勝秦。陳餘曰：「吾度前終不能救，趙徒盡亡軍，且餘
所以不俱死，欲爲趙王張君報秦。今必俱死，如以肉委餓虎，何
益？張懸陳澤曰：「事已急，要以俱死立信。安知後慮？」陳餘曰：「吾死
顧以爲無益，必如公言，乃使五千人令張懸陳澤先嘗秦軍。」索
隱
曰：崔浩云。
皆猶試。
至皆沒。當是時，燕齊楚聞趙急，皆來救。張敖亦北收代
兵，得萬餘人來，皆壁餘旁，未敢擊秦。項羽兵數絕章邯甬道，王

離軍乏食，項羽悉引兵渡河，遂破章邯。徐廣曰：三年
十二月也。章邯引兵解

諸侯軍，乃敢擊圍鉅鹿。秦軍遂虜王離，涉閒自殺，卒存鉅鹿者
楚力也。於是趙王歇、張耳乃得出，鉅鹿謝諸侯。張耳與陳餘相
見，責讓陳餘以不肯救趙。及問張懸陳澤所在，陳餘怒曰：「張懸
陳澤以必死責臣，臣使將五千人先嘗秦軍，皆沒不出，張耳不
信，以爲殺之。數問陳餘，陳餘怒曰：「不意君之望臣深也。」索隱曰：望
怨責也。
豈以臣爲重去將哉？」索隱曰：案重訓難
也，或云重情也。乃脫解印綬，推予張耳。張耳
亦愕不受。陳餘起如廁，客有說張耳曰：「臣聞天與不取，反受其
咎。」索隱曰：此
辭出國語。今陳將軍與君印，君不受，反天不祥，急取之。張耳乃
佩其印，收其麾下，而陳餘還，亦望張耳不讓。

正義曰：言陳餘如廁還
亦怨望張耳不讓其印。

遂趨出。張耳遂收其兵。陳餘獨與麾下所善數百人。之河上澤中漁獵。由此陳餘張耳遂有郤。趙王歇復居信都。張耳從項羽諸侯入關。漢元年二月。項羽立諸侯王。張耳雅游。韋昭曰。雅。素也。○故也。韋昭云。雅。素然。素亦故也。雅游。言慣游從。故多為人所稱譽。人多為之言。項羽亦素數聞張耳賢。乃分趙立張耳為常山王。治信都。信都更名襄國。陳餘客多說項羽曰。陳餘張耳一體有功於趙。項羽以陳餘不從入關。聞其在南皮。索隱曰。地理志。屬渤海。○正義曰。故城在滄州南皮縣北四里也。即以南皮旁三縣以封之。而徙趙王歇王代。徐廣曰。郡代縣。張耳之國。陳餘愈益怒。曰。張耳與餘功等也。今張耳王。餘獨侯。此項羽不平。及齊王田榮畔楚。陳餘乃使夏說說田榮曰。正義曰。上說音悅。下式銳反。項羽為天下宰。不平。盡王諸將善地。

廿公曰注。案。陳餘。從。不。同。下。札。此。劉。歆。七。略。云。字。通。甘。也。志。林。云。甘。公。一。名。德。二。作。甘。三。字。通。二。字。當。甘。德。下。在。在。人。也。

徙故王王惡地。今趙王乃居代。願王假臣兵。請以南皮為扞蔽。田榮欲樹黨於趙以反楚。乃遣兵從陳餘。陳餘因悉三縣兵。襲常山王張耳。張耳敗走。念諸侯無可歸者。曰。漢王與我有舊故。張晏曰。漢王為布衣時。嘗從張耳游。而項羽又彊立我。我欲之楚。張晏曰。羽既彊盛。又為所立。是以狐疑莫知所往也。公曰。文穎曰。善說星者。甘氏也。○索隱曰。天官書云。齊甘公。藝文志云。楚有甘公。齊楚不同。未知孰是。劉歆七略云。公一名德。漢王之入關。五星聚東井。東井者秦分也。先至必霸。楚雖彊。後必屬漢。故耳走。厚遇之。陳餘已敗。張耳皆復收趙地。迎趙王於代。復為趙王。趙王德陳餘。立以為代王。陳餘為趙王弱。國初定。不之國。留傅趙王。而使夏說以相國守代。漢二年。東擊楚。使使告趙。欲與俱。陳

陳餘亦復ハ、札記云、復疑フ後ナリ。

高祖箕倨ハ、札記云、箕倨陳餘本ト合ス、各本箕倨ハ、兩脚ヲ申シ、其形箕ノ如キヲ謂フ。

餘曰漢殺張耳乃從於是漢王求人類張耳者斬之持其頭遺陳餘陳餘乃遣兵助漢漢之敗於彭城西陳餘亦復覺張耳不死即背漢漢三年韓信已定魏地遣張耳與韓信擊破趙井陘徐廣曰三二高祖漢紀年十月斬陳餘泚水上徐廣曰在常山晉週一晉丁禮反○索隱曰蘇林晉祗晉景純注山海經云泚水出常山中丘縣○正義曰在趙州贊皇縣界追殺趙王歇襄國漢立張耳為趙王徐廣曰四年十一月幽漢五年張耳薨諡為景王子敖嗣立為趙王高祖案漢書四年夏長女魯元公主為趙王敖后漢七年高祖從平城過趙趙王朝夕袒韞蔽徐廣曰韞者臂捍也自上食禮甚卑有子婿禮高祖箕倨甚慢易之索隱曰崔浩云屈膝坐其形如箕趙相貫高趙午等年六十餘徐廣曰山叔傳云趙相趙午等數十人皆怒然則或宜應前致千里客言六十餘人故張耳客也生平為氣乃怒曰吾王辱王也孟康曰音如游波之

何乃勞王為ハ、胡三省曰海人集注スルナリ。

合事成、札記云、劉劭、今ナクニ作ル。

源冀州人謂懦弱為辱章昭曰仁謹貌○索隱曰案服虔音鉅開反弱小貌也小顏音仕連反說王曰夫天下豪桀並起能者先立今王事高祖甚恭而高祖無禮請為王殺之張敖蓄其指出血索隱曰案小顏云劉劭指以表至誠為其約誓曰君何言之誤且先人亡國賴高祖得復國德流子孫秋豪皆高祖力也願君無復出口貫高趙午等十餘人皆相謂曰乃吾等非也吾王長者不倍德且吾等義不辱今怨高祖辱我王故欲殺之何乃洿王為乎索隱曰漢書作汗濡汗穢也令事成歸王事敗獨身坐耳漢八年上從東垣還過趙貫高等乃壁人柏人索隱曰謂於柏人縣館舍壁中著人欲為變也○正義曰要之置章昭曰為供置也○索隱曰文穎云置人則壁中以伺高祖也張晏云鑿壁空中令人止中也今按云置廁者置人於複壁中謂之曰廁廁者隱廁之處因以為言也亦音側上過欲宿心動問曰縣名為何曰柏人柏人者迫於人也不宿而

上變ハ、胡三名曰變
ハ非當ナリ、非常ノ事
ナ上告スルヲ謂フ、事
上皆并逮捕ハ、通鑑注
劉貫父曰、通鑑注
存在スレバ、直ニ之ヲ
追取ス、捕ハ、其人亡
ク、故ニ或ハ捕スベキナ
リ、或ハ但捕ト言フ
一曰、異議ナラハ、胡
ハ力ニ加フルナリ、捕
ハ徒ニ之ヲ呼召ス、捕
ハ則東歸ヲ加フト。

使張敖疑天下云云ハ、
張敖ヲ殺シ、天下ヲ取
フシメバ、張敖ノ女ヲ
少トセンヤ、必當殺テ
俱ニキント言フナリ。

立者雖不存然語ハ、
胡三名曰、張ヲ以テ自
ヲ立テ、使尋テ受ケズ、
然語ヲ瓜ツズルナリ。
惟公勞苦ハ、胡三名曰、
相勞ヒ、且其苦シム所
ヲ問フナリ。

去。漢九年貫高、怨家知其謀，乃上變告之。於是上皆并逮捕趙王貫高等十餘人，皆爭自剄。貫高獨怒罵曰：「誰令公爲之？今王實無謀，而并捕王、公等皆死，誰白王不反者？」乃輕車膠致。正義曰：謂其車上著板四周如盤形。與王詣長安，治張敖之罪。上乃詔趙羣臣賓膠密不得開送致京師也。與王詣長安，治張敖之罪。上乃詔趙羣臣賓客有敢從王皆族。貫高與客孟舒等十餘人皆自髡鉗爲王家奴。從來貫高至，對獄曰：「獨吾屬爲之，王實不知。吏治榜笞數十刺剝。」徐廣曰：丁劣反。○索隱曰：案撥亦刺也。漢書作刺。燕張晏云：燕灼也。說文云：燒也。應劭云：以鐵刺之。身無可擊者，終不復言。呂后數言張王以魯元公主故不宜有此。上怒曰：「使張敖據天下，豈少而女乎？不聽。」廷尉以貫高事辭聞。上曰：「壯士，誰知者？」以私問之。瓊曰：以私情相問。中大夫泄公曰：正義曰：泄，姓也。更有泄私。臣之邑子，素知之。此

固趙國立名義，不侵爲。然諾者也。上使泄公持節問之。範與前徐廣曰：「便音鞭，劇案韋昭曰：與如今與牀人與以行。○索隱曰：服虔云：音編，編竹木如今酸可。以蕪除也。何休注：公羊音管，管者竹篋一名編，齊魯已北名爲管，郭僕三蒼注云：復，土器。」仰視曰：「泄公邪？泄公勞苦如生，平驪與語，問張王果有計謀不？」高曰：「人情寧不各愛其父母妻子乎？今吾三族皆以論死，豈以王易吾親哉？願爲王實不反，獨吾等爲之。具道本指所以爲者，王不知，狀於是。」泄公入，具以報。上乃赦趙王。上賢貫高爲人，能立然諾，使泄公具告之。曰：「張王已出，因赦貫高。」貫高喜曰：「吾王審出乎？」泄公曰：「然。」泄公曰：「上多足下，故赦足下。」貫高曰：「所以不死，一身無餘者，白張王不反也。今王已出，吾責已塞，死不恨矣。且人臣有篡殺之名，何面目復事上哉？縱上不殺我，我不愧於

以尙魯元故。札記元下
公主アリ。云フ張隱本
公主二字アリ。漢書同
之。孤師古曰。尙入宿
配ノ如キナリ。易泰卦
九二爻辭曰。得尙于中
行。王弼亦以テ配ト爲
ス。諸公主ヲ尙スト爲
フ者。其義皆然リ。而
テ配者乃云尙公主ハ
尙書何食ト同意。尙
訓シテ主ト爲ス。之ヲ
主掌スルヲ言フ。其
理ヲ失フ。

及封張敖他姬子ハ、札
記及テ乃ニ作ル。云フ
王弼說本及ニ同ス。
薛昌侯侯。札記云。
蔡本中統劉宅本。立
二薛字ナシ。錢寶石云。
傳本後解ニ據レバ、此
句舊字。下句作テ。皆
後人ノ省ス所ナリ。

豈非以利哉。札記豈非
以勢利交成ニ作ル。云
フ索隱本勢交二字アリ
。各本脫ス。注理下
是字アリ。

心乎。乃仰絕肮遂死。韋昭曰肮咽也。○索隱曰蘇林云肮頸大脈。斷也。俗所謂胡脈。晉下郎反。蕭該或音下浪反。當此之時。
名聞天下。張敖已出。以尙魯元故。封爲宣平侯。索隱曰韋昭曰尙奉也。不敢言取。崔浩云。

奉事公主。小顏云尙配也。易得尙于中。行。王弼亦以尙爲配。恐非其義。於是上賢張王諸客。以鉗奴從。張王

入關。無不爲諸侯相郡守者。及孝惠高后文帝孝景時。張王客

子孫皆得爲二千石。張敖高后六年薨。關中記曰張敖家在安陵東。○正義曰魯元公主墓在咸陽縣西北

二十五里。次東有張敖冢。與公主同域。又張耳墓在咸陽縣東三十三里。子偃爲魯元王。以母呂后女故。呂后

封爲魯元王。索隱曰案謂偃以其母號而封也。元王弱。兄弟少。及封張敖他姬子二

人。壽爲樂昌侯。徐廣曰漢紀張酈傳曰張敖之子壽封樂昌侯食細陽之地陽鄉也。侈爲信都侯。高后崩。諸

呂無道。大臣誅之。而廢魯元王。及樂昌侯。信都侯。孝文帝卽位。復封故魯元王偃爲南宮侯。續張氏。張敖謚武侯張偃之孫有罪絕信都侯名侈樂昌侯名壽。

太史公曰張耳陳餘世傳所稱賢者其賓客厮役莫非天下俊

桀所居國無不取卿相者然張耳陳餘始居約時。漢書音義曰在貧賤時也。相

然信以死。豈顧問哉。索隱曰葛洪要用字宛云然猶爾也謂相和同諾者何也謂然諾相信雖死不顧也。及據國爭權。

卒相滅亡。何鄉者相慕用之誠。後相倍之辰也。豈非以利哉。索隱曰有本作私利交。漢書作勢利交。故廉頗傳云天下以市道交。君有勢則從。君無勢則去。此固其理也。名譽雖高。賓客雖盛。所由

殆與太伯延陵季子異矣。

索隱述贊曰張耳陳餘天下豪俊忘年羈旅。刎頸相信。耳聞鉅鹿。餘兵不進。張既望深。乃去印勢利傾奪。隙末成矣。

史記評林卷之八十九終

史記評林卷之九十

魏豹彭越列傳第三十

魏豹者故魏諸公子也。其兄魏咎。故魏時封爲甯陵君。索隱曰。案彭越傳云。

魏豹魏王咎從弟。真魏後也。晉灼云。甯陵。梁國縣也。卽今寧陵是。秦滅魏。遷咎爲家人。陳勝之起王也。正義

曰。王于放反。咎往從之。陳王使魏人周市徇魏地。魏地已下。欲相與立。

周市爲魏王。周市曰。天下昏亂。忠臣乃見。索隱曰。老子曰。國家昏亂。今

天下共畔秦。其義必立魏王。後乃可。齊趙使車各五十乘。立周

市爲魏王。市辭不受。迎魏咎於陳。五反。陳王乃遣立咎爲魏王。

徐廣曰。元年十二月也。章邯已破陳王。乃進兵擊魏王於臨濟。正義曰。故城在淄州高苑縣北二里。

魏豹者故魏諸公子也。彭越曰。故魏。六國時。魏。人。秦書家。人。此。人。作。也。

本漢 魏王乃使周市出請救於齊楚齊楚遣項它田巴將兵隨
 市救魏索隱曰案項它楚將田巴齊將也○正義曰它徒多反章邯遂擊破殺周市等軍圍臨濟
 咎爲其民約降約定咎自燒殺魏豹亡走楚徐廣曰二年六月楚懷王
 子魏豹數千人復徇魏地項羽已破秦降章邯豹下魏二十餘
 城立豹爲魏王豹引精兵從項羽入關漢元年項羽封諸侯欲
 有梁地乃徙魏王豹於河東都平陽正義曰今晉州爲西魏王漢王還
 定三秦渡臨晉正義曰臨晉在同州朝邑縣界魏王豹以國屬焉遂從擊楚於彭
 城漢敗還至滎陽豹請歸視親病至國卽絕河津畔漢漢王聞
 魏豹反方東憂楚未及擊謂酈生日緩頰往說魏豹能下之吾
 以萬戶封若酈生說豹豹謝曰人生一世間如白駒過隙耳索隱

緩頰往說魏豹ハ、漢書高帝紀注、項曰、漢書引クナリ、徐曰、書殺ヲ

五七八

曰莊子云無異騏驎之馳過隙則謂馬也小顏云白駒謂日影也隙壁隙也以言速疾若日影過壁隙也 今漢王慢而侮人罵詈諸侯羣臣如罵奴耳非有上下禮節也吾不忍復見也於是漢王遣韓信擊虜豹於河東徐廣曰二年九月也傳詣滎陽以豹國爲郡高祖本紀曰置三郡河東太原上黨漢王令豹守滎陽楚圍之急周苛遂殺魏豹
 彭越者昌邑人也正義曰漢武更山陽爲昌國有楚丘鄉梁丘故城在曹州城武縣東北三十三里字仲常漁鉅野澤中爲羣盜陳勝項梁之起少年或謂越曰諸豪桀相立畔秦仲可以來亦效之彭越曰兩龍方鬪且待之居歲餘澤間少年相聚百餘人往從彭越曰請仲爲長越謝曰臣不願與諸君小年彊請乃許與期旦日出會後期者斬索隱曰旦日謂明日之朝日出時也旦日出十餘人後後者至日中於是越謝曰臣老諸君彊以爲長今

昌邑注正義爲昌國ハ、漢書高帝紀注、項曰、漢書引クナリ、徐曰、書殺ヲ

漢乃使人召彭越將軍
印、札記云、漢字衍ナ
、按二漢書、漢字ア
、通鑑、田與越將軍
軍印二作ル。

期而多後。不可盡誅。誅最後者一人，令校長斬之，皆笑曰：「何至是。請後不敢。」於是越乃引一人，斬之，設壇祭，乃令徒屬徒屬皆大驚，畏越莫散，仰視乃行，略地收諸侯散卒，得千餘人。沛公之從，碭北擊昌邑。正義曰：碭音唐郎。反。宋州碭山縣。彭越助之，昌邑未下。沛公引兵西，彭越亦將其衆居鉅野中，收魏散卒，項籍入關，王諸侯還歸，彭越衆萬餘人，毋所屬。漢元年秋，齊王田榮畔項王，漢乃使人賜彭越將軍印，使下濟陰，以擊楚。楚命蕭公角將兵擊越。正義曰：蕭令稱公。勝。縣今楚縣角名。越大破楚軍。漢王二年春，與魏王豹及諸侯東擊楚，彭越將其兵三萬餘人歸漢。於外黃，漢王曰：「彭將軍收魏地，得十餘城，欲急立魏後，今西魏王豹亦魏王咎從弟也，真魏後，乃拜彭

便曹咎守碭、札記城
成、各本城二作ル。

固陵注正固陵名、札
記名上增字ア、云フ

越爲魏相國，擅將其兵，略定梁地。索隱曰：損猶專也。漢王之敗彭城，解而西也。彭越皆復亡其所下城，獨將其兵北居河上。正義曰：滑州河上。漢王三年，彭越常往來爲漢游兵，擊楚，絕其後糧於梁地。漢四年冬，項王與漢王相距滎陽，彭越攻下睢陽外黃十七城。正義曰：睢陽外黃在汴州。宋州宋城也。項王聞之，乃使曹咎守城皐。正義曰：河南府汜水是。自東收彭越所下城邑，皆復爲楚。正義曰：爲于僞反。越將其兵北走穀城。正義曰：在齊州東阿縣東三十六里。漢五年秋，項王之南走陽夏。正義曰：夏古雅反。陳州太康縣也。彭越復下昌邑旁，二十餘城，得穀十餘萬斛，以給漢王食。漢王敗，使使召彭越，并力擊楚。越曰：「魏地初定，尙畏楚，未可去。漢王追楚，爲項籍所敗，固陵。」正義曰：固陵名在陳州苑丘縣西北三十二里。乃謂留侯曰：「諸侯兵不從，爲之奈何？」留

各本補字ハ成ス、官本
アリ、注苑正ハ苑正ニ
作ル、云フ官本苑正ニ
作ス。

侯曰。齊王信之立。非君王之意。信亦不自堅。彭越本定梁地。功
多。始君王以魏豹故。拜彭越爲魏相國。今豹死。母後且越亦欲

王。而君王不蚤定。與此兩國約。卽勝楚。睢陽以北至穀城。正義曰。從

宋州已北。至鄆州以西。皆以王彭相國。從陳以東。傅海。傅音附。正義曰。從

曹濮汴滑並與彭越。徐淮北之地。東至海。并淮南淮陰之與齊王信。齊王信家在楚。此其意欲

復得故邑。君王能出捐此地。許二人。二人今可致。卽不能。事未

可知也。於是漢王乃發使。使彭越如留侯策。使者至。彭越乃悉

引兵會垓下。正義曰。在遂破楚。五年。項籍已死。春立彭越爲梁王。

都定陶。正義曰。曹州六年。朝陳。九年。十年。皆來朝。長安。十年秋。陳豨

反。代地。高帝自往擊。至邯鄲。徵兵。梁王稱病。使將將兵詣

五年項籍已死。札記云、
五年ハ行ナリ。上曰ニ
書ス。

邯鄲。高帝怒。使人讓梁王。梁王恐。欲自往謝。其將扈輒曰。王始

不往。見讓。而往。往則爲禽矣。不如遂發兵。反。梁王不聽。稱病。梁

王怒。其太僕欲斬之。太僕亡走漢。告梁王與扈輒謀反。於是上

使使掩梁王。梁王不覺。捕梁王囚之。雒陽有司治。反形已具。張

曰。扈輒越反。不聽。而云反形已具。有司非也。張請論如法。上赦以爲庶人。傳

處蜀青衣。文穎曰。青衣縣名在蜀。環曰。今漢嘉是也。索隱曰。地理志云。西至鄭。鄭廩京兆。正義

曰。華。逢呂后從。長安來。欲之雒陽。道見彭王。彭王爲呂后泣涕。

自言無罪。願處故昌邑。呂后許諾。與俱東。至雒陽。呂后白。上曰。

彭王壯士。今徙之蜀。此自遺患。正義曰。上不如遂誅之。妾謹與俱。

來。於是呂后乃令其舍人告彭越復謀反。廷尉王恬開奏。請族

唯季反。

之上乃可遂夷越宗族國除。

太史公曰魏豹彭越雖故賤然已席卷千里。正義曰言魏地圖千里如席卷舒。南面

稱孤喋血乘勝日有聞矣。徐廣曰一作喋韓傳亦有喋血語也。索隱曰言喋喋猶踐也。故敵踐血而行孝文紀喋血京師是也。

懷畔逆之意及敗不死而虜囚身被刑戮何哉中材已上且羞

其行況王者乎彼無異故智略絕人獨患無身耳得攝尺寸之

柄其雲蒸龍變欲有所會其度以故幽囚而不辭云。

索隱述贊曰魏咎兄弟因時而王豹後屬楚其國遂亡仲起昌邑歸漢外黃往來聲援再續軍糧徵兵不往道蘆何傷。

楊慎曰此贊曲折意甚奇能言豪傑意中事取于衆人所不取亦其素意如此獨患無身耳五字極備雲蒸龍變又怪其度二字不可解意云度其故亮以此也。

史記評林卷之九十終

史記評林卷之九十一

黥布列傳第三十一

黥布者六人也姓英氏。索隱曰地理志云廬江有六縣蘇林曰今爲六安也布本姓英英國名也。咎繇之後布以少時有人相云當刑而王。

故漢雜事云布改姓黥以厭當之也。正義曰故六城在壽州安豐縣西南百三十三里按黥布封淮南王都六卽此城又春秋傳六與參谷繇之後或封於英六蓋英後改爲參也。

秦時爲布衣少年有客相之曰當刑而王及壯坐法黥布欣然

笑曰人相我當刑而王幾是乎。徐廣曰幾一作豈剛謂幾近也。索隱曰臣贊音機楚漢春秋作豈是乎。故徐廣云一作

豈劉氏音祈祈者。語辭也義亦通。人有聞者共俳笑之。索隱曰謂衆共。以俳優戲笑之。布已論輸麗山

山作陵也時會稽郡輸身徒。麗山之徒數十萬人布皆與其徒長豪桀

交通迺率其曹偶亡之江中爲羣盜。索隱曰曹輩也偶。陳勝之起也。類也謂徒之輩類。

共俳笑之、史游念歡
雲云、俳優俳笑、是使
俳一物而二名也、漢
書載笑二作レ、漢
論輸麗山、麗山ハ嶺山
ナリ、顏師古曰、嶺ア
ナリ論決ヲレ、而ア嶺
山ニ論作ス。

獨患無身耳ハ、蓋越等
ノ因歸ニ甘シク死セ
ザル者ハ、獨リ其死シ
テ身亡アルヲ患フル
ノミ、身ニシテ有ラシ
メバ、爲ス所アラハナ
ク、ルナクナリ。

伏後布故與番君聚

布迺見番君與其衆叛秦聚兵數千人番君以其女妻之章邯之滅陳勝破呂臣軍布乃引兵北擊秦左右校破之清波引兵而東聞項梁定江東會稽正義曰時會稽郡所理在吳閩閩城中涉江而西陳嬰以項氏世爲楚將迺以兵屬項梁渡淮南英布蒲將軍亦以兵屬項梁項梁涉淮而西擊景駒秦嘉等布常冠軍項梁至薛正義曰薛州滕縣古城在徐界也聞陳王定死迺立楚懷王項梁號爲武信君英布爲當陽君正義曰南郡當陽縣也項梁敗死定陶懷王徙都彭城諸將英布亦皆保聚彭城當是時秦急圍趙趙數使人請救懷王使宋義爲上將范增爲末將項籍爲次將英布蒲將軍皆爲將軍悉屬宋義北救趙及項籍殺宋義於河上懷王因立籍爲上將軍諸將皆屬

五六七

使布先涉渡河、禮記涉字ナシ、云、在渡上涉字ナシ、宋本割刻ナシ、漢書、按、此ニ、先涉河ニ作ル、此以人旁注ヲ混非ス、類同古曰、涉ハ、舟楫ナシテ渡ルヲ謂フ。

布常爲軍鋒、漢書前錄ニ作ル、禮記云、注漢書前漢、考證云、今漢書錄ニ作ル、皆誤、下、戲ハ、地不、項羽陣スル所ナリ。

項籍項籍使布先涉渡河擊秦布數有利籍迺悉引兵涉河從之遂破秦軍降章邯等楚兵常勝功冠諸侯諸侯兵皆以服屬楚者以布數以少敗衆也項籍之引兵西至新安正義曰新安故城在河南府滎池縣東二十里又使布等夜擊坑章邯秦卒二十餘萬人至關不得入又使布等先從間道破關下軍索隱曰鄒氏云閉音開謂私也今以閉音紀竟反閉道即他道也猶若反閉之義遂得入至咸陽布常爲軍鋒索隱曰案漢書作楚軍前鋒者函鄒項王封諸將立布爲九江王都六漢元年四月諸侯皆罷戲下各就國項氏立懷王爲義帝徙都長沙迺陰令九江王布等行擊之其八月布使將擊義帝追殺之郴縣正義曰郴丑林反今郴州有義帝冢及祠漢二年齊王田榮畔楚項王往擊齊徵兵九江九江王布稱病不往遣將將數千

人行漢之敗楚彭城布又稱病不佐楚項王由此怨布數使使者請讓召布。漢書音義曰謂賈也。布愈恐不敢往項王方北憂齊趙西患漢所與者獨九江王又多布材欲親用之以故未擊漢三年漢王擊楚大戰彭城不利出梁地至虞。正義曰今宋州虞城也。謂左右曰。索隱曰案如彼等者無足與計天下事謁者隨何進曰不審陛下所謂漢王曰孰能為我使淮南令之發兵倍楚留項王於齊數月我之取天下可以百全隨何曰臣請使之迺與二十人俱使淮南至因太宰主之。漢書音義曰淮南太宰作內主也韋昭曰主舍也○索隱曰太宰掌膳食之官。三日不得見隨何因說太宰曰王之不見何必以楚為彊以漢為弱此臣之所以為使使何得見言之而是邪是大王所欲聞也言之而非邪

因太宰主之、細節古曰、太宰ハ具安ノ官、信使國ニ入ル、必人ナシク之ガ主ヨリシム、時ニ布太宰ヲシテ、何ニ主ヲシムルナリ、此臣之所以爲使、此臣之所爲也、此等ニ是臣ト欲スル所ナリ、

淮南王曰ハ即九江王英布也九江淮南ノ地、且布後ニ淮南王ト爲ル、故ニ之ヲ稱ス、迺監改九江王ト作ル、是ニ似タリ、

騷淮南之兵、騷ハ掃ナリ、漢書音義曰、掃ハ悉ク之ヲ掃フ、地ヲ掃ク如キヲ

垂拱而觀其孰勝ハ、拱古曰、手ヲ欲ムルナリ、拱ト曰フ、執ハ握ナリ、垂拱ト云フ、胡三省曰、垂ハ衣ヲ垂ルルナリ、

使何等二十人伏斧質淮南市以明王倍漢而與楚也太宰迺言之王王見之隨何曰漢王使臣敬進書大王御者竊怪大王與楚何親也淮南王曰寡人北鄉而臣事之隨何曰大王與項王俱列爲諸侯北鄉而臣事之必以楚爲彊可以託國也項王伐齊身負板築。李奇曰板牆板也築杵也。以爲士卒先大王宜悉淮南之衆身自將之爲楚軍前鋒今迺發四千人以助楚夫北面而臣事人者固若是乎夫漢王戰於彭城項王未出齊也大王宜騷淮南之兵。騷音掃。渡淮日夜會戰彭城下大王撫萬人之衆無一人渡淮者垂拱而觀其孰勝夫託國於人者固若是乎大王提空名以鄉楚而欲厚自託臣竊爲大王不取也然而大王不背楚者

五六八

深入敵國八九百里ハ、
胡三省曰、楚彭城、
成阜、梁陽、二五、中、
梁ノ地アリテ之ヲ中
ツ、彭越時ニ梁地ニ反
ス、是楚ノ敵國ナリ、
故ニ云フ。

以其背盟約而殺義帝也。然而楚王恃戰勝，自彊，漢王收諸侯，還守成阜、滎陽，下蜀、漢之粟，深溝壁壘，分卒守，徼乘塞。索隱曰：徼，謂邊境也。郵以徼，總邊陲常守之也。楚人還兵，間以梁地，深入敵國八九百里。索隱曰：從齊還，當經梁地八九百里，迺得羽地。欲戰則不得，攻城則力不能，老弱轉糧，千里之外。楚兵至，滎陽成阜，漢堅守而不動，進則不得，攻則不得，解。故曰：楚兵不足恃也。徐廣曰：恃一作罷，言其已困不足復恃也。○索隱曰：案漢書作罷，音皮。使楚勝漢，則諸侯自危懼而相救。夫楚之彊，適足以致天下之兵耳。故楚不如漢，其勢易見也。今大王不與萬全之漢，而自託於危亡之楚，臣竊爲大王惑之。臣非以淮南之兵足以亡楚也。夫大

五九〇

事以機以ハ日ナリ、漢
書札記云、二已ニ作ル、
蓋師古曰、機ハ給ナリ、
楚ニ背クハ亦、已ニ給
成スルヲ言フ。

王發兵而倍楚，項王必留，留數月，漢之取天下可以萬全。臣請與大王提劍而歸漢，漢王必裂地而封大王，又況淮南、淮南必大王有也。故漢王敬使使臣進，愚計願大王之留意也。淮南王曰：請奉命，陰許，許楚與漢，未敢泄也。楚使者在，文穎曰：在其許次，淮南王所。方急責英布發兵，舍傳舍，隨何直入，坐楚使者上坐，曰：九江王已歸漢，楚何以得發兵，布愕然。楚使者起，何因說布曰：事以構，索隱曰：構，成也。可遂殺楚使者，無使歸，而疾走漢，并力。索隱曰：走，音奏，向也。布曰：如使者教，因起兵而擊之耳。於是殺使者，因起兵而攻楚。楚使項聲、龍且攻淮南，項王留而攻下邑。正義曰：宋州碭山縣。數月，龍且擊淮南，破布軍，布欲引兵走漢，恐楚王殺之，故閒行，與何俱歸漢。淮南王至，徐廣曰：三

布甚大怒、札記云、
其大當一其作、
漢書大惡二作、
按ズル、此亦旁注、
誤并ナリ。
洗ハ足ヲ濯フナリ。
軀御ハ、軀師古曰、
軀御ハ、胡三省曰、軀
ハ、今ノ軀敗ノ若キナ
リ、御ハ服御ナリ。

上折隨何之功云云、
浸稱曰、高帝ト聞
リ事バズ、而ルヲ況ヤ
天下巴ニ定ルヲ、何
ナ折ク、誠ニ本心ナリ、
吾方ニ子ノ功ヲ圖ラン
ト曰フ若キ、又帝ノ臣
下ヲ罵歎スル所以ノ

疎義王彭越醢之ハ、
師古曰、反者醢セラル、
皆以テ醢ト爲ス、卽刑
法志ニ云フ所、其骨
肉ヲ道ス、是ナリ、按
二醢首海、肉齊ナリ、
按例旁部聲念ハ、頰部
古曰、收捕セラルヲ反
トント欲スルナリ。

年十 上方踞牀洗召布入見布甚大怒悔來欲自殺出就舍帳
二月 御飲食從官如漢王居布又大喜過望正義曰高祖以布先分爲王恐其
自尊大故陵禮令布折服已而美
其帷帳厚其飲食多其 於是迺使人入九江楚已使項伯收九江兵
從官以悅其心權道也 盡殺布妻子布使者頗得故人幸臣將衆數千人歸漢漢益分
布兵而與俱北收兵至成臯四年七月立布爲淮南王與擊項
籍漢五年布使人入九江得數縣六年布與劉賈入九江誘大
司馬周殷周殷反楚遂舉九江兵與漢擊楚破之垓下項籍死
天下定上置酒上折隨何之功謂何爲腐儒爲天下安用腐儒
索隱曰腐音輔謂之腐儒者 隨何跪曰夫陛下引兵攻彭城楚王未去
言如腐敗之物不任用也 齊也陛下發步卒五萬人騎五千能以取淮南乎上曰不能隨

何曰陛下使何與二十人使淮南至如陛下之意是何之功賢
於步卒五萬人騎五千也然而陛下謂何腐儒爲天下安用腐
儒何也上曰吾方圖子之功迺以隨何爲護軍中尉布遂剖符
爲淮南王都六九江廬江衡山豫章郡皆屬布七年朝陳八年
朝雜陽九年朝長安十一年高后誅淮陰侯布因心恐夏漢誅
梁王彭越醢之盛其醢徧賜諸侯至淮南淮南王方獵見醢因
大恐陰令人部聚兵候伺旁郡警急張晏曰欲
有所會布所幸姬疾請就
醫醫家與中大夫賁赫對門徐廣曰賁音肥○
索隱曰人姓名也姬數如醫家賁赫自
以爲待中迺厚餽遺從姬飲醫家姬侍王從容語次譽赫長者
也王怒曰汝安從知之具說狀王疑其與亂赫恐稱病王愈怒

徵南王王ハ、顔聞古
曰、微駭ハ其共ヲ顯百
セザルナリ。

國當反ハ、札記國ヲ故
ニ作ル、云フ來本本
故、各本國ニ作カ。

言此三人者、札記國字
ナシ、云フ來本本
字ヲ行ス、來本者劉ナ

欲捕赫。赫言變事。乘傳詣長安。布使人追不及。赫至上。變言布謀反有端。可先未發誅也。上讀其書。語蕭相國。相國曰。布不宜有此恐。仇怨妄誣之。請繫赫。使人微驗淮南王。不顯其書曰微駭見赫以罪亡。上變固已疑其言。國陰事。漢使又來。頗有所驗。遂族赫家。發兵反。書聞上。迺赦責赫。以為將軍。上召諸將。問曰。布反。為之奈何。皆曰。發兵擊之。坑豎子耳。何能為乎。汝陰侯滕公召故楚令尹問之。令尹曰。是固當反。滕公曰。上裂地而王之。疏爵而貴之。漢書音義曰疏分也。禹決江疏河是也。○索隱曰。尚書曰。列爵惟五。分土惟三。按裂地是對文。故知疏即分也。南面而立。萬乘之主。其反何也。令尹曰。往年殺彭越。前年殺韓信。張晏曰。往年避也。言此三人者。同功一體之人也。自疑禍及身。故反耳。滕公

東取吳西取楚并齊取魯
云云ハ、初三日曰齊ハ
齊王肥所封ノ地、魯ハ
齊類ニ入ル、魯地ハ時
ニ以テ淮南國ニ益シ、
魏地ハ梁王友ノ所封ナ
リ、下蔡縣ハ沛郡ニ屬
ス、楚ハ魯所封ノ國、
長沙ハ吳所封ノ國、
布ハ六郡ス、淮南國ハ
下蔡ヲ取リ、故劉賈ヲ
取リ、以テ全淮ニ據ル
ナリ、故ニ其體五ナリ也

言之上曰。臣客故楚令尹薛公者。其人有籌策之計。可問。上迺召見。問薛公。薛公對曰。布反不足怪也。使布出於上計。山東非漢之有也。出於中計。勝敗之數。未可知也。出於下計。陛下安枕而臥矣。上曰。何謂上計。令尹對曰。東取吳。西取楚。并齊。取魯。傳檄燕趙。固守其所。山東非漢之有也。何謂中計。東取吳。西取楚。并韓。取魏。據敖倉之粟。索隱曰。案太康地記云。秦建敖倉於成臯。又立庚。故亦云敖庚也。塞成臯之口。勝敗之數。未可知也。何謂下計。東取吳。西取下蔡。歸重於越。身歸長沙。正義曰。古州來國。今源州。陛下安枕而臥。漢無事矣。桓譚新論曰。世有圍非之戲。或言是兵法之類也。及為之上者。遠甚疏張置以會圍。因而成多。得道之勝。中者則務相絕。進要以爭。便求利。故勝負狐疑。須計數而定。下者則守邊隅。趨作。以自生於小地。然亦必不如。薛公之言。上計云。取吳楚并齊魯及燕趙者。此廣道地之謂。中計云。取吳楚并韓魏塞成臯據敖倉。此趨

師シ以テ自ラ厚クシ、
深固耶ルベカラザル、
計ヲ以テ策ス、布長
沙王ニ殺ルヲ策ス、故ニ其身
長沙ニ歸ルヲ策ス、薛
公其腹山ノ徒ニ出テ、
慮遠ニ及ベサルヲ料ル
ナリ。
師重於地ノ重ハ、輔重
ナリ。

爲三軍欲以相救爲奇、
獨斷古曰、一處ニ聚ラ
ズ、兩テ分テ三ト爲シ、
互ニ相救ム、奇兵ニ出
テ、テト欲スルナリ。

漢書音義曰、謂散滅之地。○正義曰、魏武
帝注孫子曰、卒戀土地、道近而易敗散。
今別爲三、彼敗吾一軍、餘皆走、安
能相救、不聽。布果破其一軍、其二軍散走、遂西與上兵遇、斬西
會甄。索隱曰、上古外反、下持瑞反、韋昭云、斬之鄉名、漢書作甄、
應劭音保、非也。○正義曰、斬音機、沛郡斬城也、甄遂瑞反。布兵精甚、上迺壁
庸城。鄧展曰、地名也。望布軍、置陳如項籍軍、上惡之、與布相望、見遂謂
布曰、何苦而反、布曰、欲爲帝耳、上怒罵之、遂大戰、布軍敗走、渡
淮、數止戰、不利、與百餘人走江南、布故與番君婚、以故、長沙哀
王使人給布、僞與亡。徐廣曰、表云、成王臣、吳芮之子也、闕案、晉灼
曰、芮之孫、同或曰、是成王、非哀王也、傳誤也。誘走越、故
信而隨之、番陽。索隱曰、番陽、鄱縣之鄉。番陽人殺布、茲鄉民田舍。正義曰、英布
家在雋州、鄱

述要爭利者也、下計云、取吳下蔡、據長沙、以臨越、
此守邊隅、趨作野者也。○索隱曰、野音鳥、卦反。
出下計。上曰、何謂廢上中計、而出下計、令尹曰、布故麗山之徒
也、自致萬乘之主、此皆爲身、不顧後、爲百姓萬世慮者也、故曰
出下計。上曰、善、封薛公千戶。索隱曰、劉氏云、薛公得
封千戶、蓋關內侯也。迺立皇子長爲
淮南王、上遂發兵、自將、東擊布、布之初反、謂其將曰、上老矣、厭
兵、必不能來、使諸將、諸將獨患淮陰彭越、今皆已死、餘不足畏
也、故遂反、果如薛公籌之、東擊荊、荊王劉賈走死、富陵。正義曰、故
城在楚州
也、故遂反、果如薛公籌之、東擊荊、荊王劉賈走死、富陵。正義曰、故
城在楚州
臨淮有徐縣、僮縣。○正義曰、杜預云、徐在下、鄆僮縣東。
括地志云、大徐城在泗州徐城縣北四十里、古徐國也。
爲三軍、欲以相救、爲奇
或說、楚將曰、布善用兵、民素畏之、且兵法、諸侯戰、其地爲散地、

漢書音義曰、謂散滅之地。○正義曰、魏武
帝注孫子曰、卒戀土地、道近而易敗散。
今別爲三、彼敗吾一軍、餘皆走、安
能相救、不聽。布果破其一軍、其二軍散走、遂西與上兵遇、斬西
會甄。索隱曰、上古外反、下持瑞反、韋昭云、斬之鄉名、漢書作甄、
應劭音保、非也。○正義曰、斬音機、沛郡斬城也、甄遂瑞反。布兵精甚、上迺壁
庸城。鄧展曰、地名也。望布軍、置陳如項籍軍、上惡之、與布相望、見遂謂
布曰、何苦而反、布曰、欲爲帝耳、上怒罵之、遂大戰、布軍敗走、渡
淮、數止戰、不利、與百餘人走江南、布故與番君婚、以故、長沙哀
王使人給布、僞與亡。徐廣曰、表云、成王臣、吳芮之子也、闕案、晉灼
曰、芮之孫、同或曰、是成王、非哀王也、傳誤也。誘走越、故
信而隨之、番陽。索隱曰、番陽、鄱縣之鄉。番陽人殺布、茲鄉民田舍。正義曰、英布
家在雋州、鄱

妒類生也。按陰不得言
妬類是妬也。札記云、
此二條レハ、是若本眼
ヲ妬類ニ作ル者アルナ
リ。

太史公曰。英布者。其先豈春秋所見。楚滅英。六。皐陶之後哉。身
被刑法。何其拔興之暴也。索隱曰。拔音
自易反疾也。項氏之所坑殺人。以千萬
數。而布常爲首虐。功冠諸侯。用此得王。亦不免於身爲世大儻。
禍之興。自愛姬殖。妒媚生患。竟以滅國。媚音冒。媚亦如也。○索隱曰。漢書
外戚傳亦云。成結寵妾。妬媚之誅。
又論衡云。妬夫。媚婦。則媚是妬之別名。今原英布之誅。爲疑。實赫與其姬妃有亂。故至滅國所
以不得言。妬媚是媚也。一云。男妬曰媚。

索隱述贊曰。九江初筮當刑。而王既免徒中。聚盜江上。每雄楚卒。頻破秦將。病爲羽。疑。歸受
漢杖。實赫見毀。卒致無妄。

黃震曰。布起驪山之徒。以兵屬項氏。替爲軍鋒。得國九江。南面稱孤矣。漢使隋何說之
歸漢。遂滅楚。按。下。王淮南。反信。越謀。而布大恐。幸姬啓覺。竟以反誅。惑謂布非反。漢漢
非少恩。勢使然耳。夫布於漢。非蕭曹秦臣服者比也。羣起逐鹿。成者帝。敗者族。方雌雄
未決。不得已。資之以濟吾事。事濟矣。同起事者。猶在。則此心不能一日安。其勢不盡族
之不止也。故夫乘時微危者。未有不滅其身。惟嬰母之賢。爲不可及也。

史記評林卷之九十一終

史記評林卷之九十二

淮陰侯列傳第三十二

淮陰侯韓信者。淮陰人也。正義曰。楚州
淮陰縣也。始爲布衣時。貧。無行。不得

推擇爲吏。李奇曰。無善行
可推舉選擇。又不能治生。商賈。常從人寄食。飲人多

厭之者。常數從其下鄉南昌亭長寄食。張晏曰。下鄉縣屬淮陰也。○索隱
曰。案楚漢春秋。南昌作新昌。亭長

者。主亭
之吏也。數月。亭長妻患之。乃晨炊蓐食。張晏曰。未起
而牀蓐中食。食時。信往。不爲

具食。信亦知其意。怒。竟絕去。信釣於城下。正義曰。淮陰城北臨淮水。
一昔信去下鄉而釣於此。諸

母漂。韋昭曰。以水漂絮
爲漂。故曰漂母。有一母。見信飢餓。飯信。竟漂數十日。信喜。謂漂

母曰。吾必有以重報母。母怒曰。大丈夫不能自食。正義曰。
音寺。吾哀

無行ハ、胡三名曰、善
行ノ推擇スベキ無キナ
リ。
治生商賈ハ、類師古曰、
行賈ヲ商ト曰、坐販
ヲ買ト曰フ。

王孫而進食。蘇林曰。如言公子也。○索隱曰。劉德曰。秦末多失國言王孫公子尊之也。張晏曰。字王孫。非也。豈望報乎。淮陰

屠中少年有侮信者。曰。若雖長大。好帶刀劍。中情怯耳。衆辱之

曰。信能死。刺我不能死。出我袴下。徐廣曰。袴一作跨。跨。股也。音同。又云。漢書文作袴。欲依字讀。何為不通。袴一作跨。同耳。○索隱曰。跨音枯。化反。然尋此

下。即跨下也。何必須要作跨下。於是信執視之。俛出袴下。蒲伏。正義曰。俛音俯。伏房六反。

一市人皆笑信。以為怯。及項梁渡淮。信杖劍從之。居戲下。徐廣曰。戲一作

無所知名。項梁敗。又屬項羽。羽以為郎中。數以策干項羽。

羽不用。漢王之入蜀。信亡楚歸漢。未得知名。為連敖。徐廣曰。典客也。○索隱曰。

李奇云。楚官名。張晏曰。司馬也。坐法當斬。其輩十三人皆已斬。次至信。信乃仰視。適

見滕公。曰。上不欲就天下乎。何為斬壯士。滕公奇其言。壯其貌。

釋而不斬。與語。大說之。言於上。上拜以為治粟都尉。上未之奇。

偽出袴下。俛。俯。同。首。俯。入。信杖劍從之。頗。古曰。直。一。劍。帶。更。餘。賢。ナキ。ナ。百。

遺見滕公。滕公。夏。侯。張。晏。曰。初。高。祖。從。テ。滕。令。ト。爲。故。二。滕。公。ト。號。ス。

諸將行進亡者。漢書行。シ。

也。信數與蕭何語。何奇之。至南鄭。諸將行道亡者數十人。信度

何等已數言上。上不我用。即亡。何聞信亡。不及以聞。自追之。人

有言上。曰。丞相何亡。上大怒。如失左右手。居一二日。何來。謁上。

上且怒且喜。罵何曰。若亡何也。何曰。臣不敢亡也。臣追亡者。上

曰。若所追者誰。何曰。韓信也。上復罵曰。諸將亡者以十數。公無

所追。追信詐也。何曰。諸將易得耳。至如信者。國士無雙。王必欲

長王漢中。無所事信。文穎曰。事猶棄也。張晏曰。無事用信。必欲爭天下。非信無所與計

事者。顧王策安所決耳。王曰。吾亦欲東耳。安能鬱鬱久居此乎。

何曰。王計必欲東。能用信。信即留。不能用。信終亡耳。王曰。吾爲

公以爲將。何曰。雖爲將。信必不留。王曰。以爲大將。何曰。幸甚。於

國士無雙。頗。古曰。國家。亦。士。爲。胡。三省曰。何。言。漢。國。士。信。一。人。ア。リ。他。ハ。與。比。ス。ル。ナ。キ。ナ。

其精兵詣滎陽以距楚信與張耳以兵數萬欲東下井陘擊趙

索隱曰案地理志常山石邑縣井陘山在西又穆趙王成安君陳餘聞漢且襲

天子傳云至于陘山之隘并子三道之隘是也

之也聚兵井陘口正義曰井陘故關在并州石艾縣陘東十八里即井陘口號稱二十萬廣武君李

左車說成安君曰聞漢將韓信涉西河虜魏王禽夏說新喋血

關與索隱曰喋奮音秋非也案陳湯傳喋血萬里之外如淳云殺人血流滂沱也韋昭音徒協反今乃輔以張耳議欲下

趙此乘勝而去國遠關其鋒不可當臣聞千里餽糧士有飢色

樵蘇後爨漢書音義曰樵取薪也蘇取草也師不宿飽今井陘之道車不得方軌騎

不得成列行數百里其勢糧食必在其後願足下假臣奇兵三

萬人從閒路絕其輜重足下深溝高壘堅營勿與戰彼前不得

鬪退不得還吾奇兵絕其後使野無所掠不至十日而兩將之

車不得方軌ハ、胡三省曰方軌ハ、車併行スルヲ謂フ。

倍則戰之、札記云子倍、倍也、水本無倍、上二倍、倍、御、漢書通典並二倍、古曰多十倍、多、以十倍、多、則勝、倍、能千里、札記云、倍、者、廣武君、廣武君策不用、札記云、六字疑、是、後、入、下、知、其、不、用、旁、二、注、入、從、開、道、而、望、趙、軍、ハ、方、也、曰、山、二、倍、草、木、用、目、擊、而、趙、軍、出、入、不、變、シ、ム、ル、ナリ、山、二、倍、故、二、趙、軍、覺、フ、ズ。

頭可致於戲下願君留意臣之計否必爲二子所禽矣成安君
儒者也常稱義兵不用詐謀奇計曰吾聞兵法十則圍之倍則
戰之今韓信兵號數萬其實不過數千能千里而襲我亦已罷
極今如此避而不擊後有大者何以加之則諸侯謂吾怯而輕
來伐我不聽廣武君策廣武君策不用韓信使人間視知其不
用還報則大喜乃敢引兵遂下正義曰引兵入井陘狹道出趙未至井陘口三十里
止舍夜半傳發漢書音義曰傳令軍中使發選輕騎二千人一人持一赤幟從閒道
葦山而望趙軍如淳曰葦音蔽依山自覆蔽○索隱曰案謂令從閒道小路向前望見
作卑山漢書作葦說文陳餘軍營即住仍須隱山自蔽勿令趙軍知也蔽者蓋覆也楚漢春秋
云葦蔽也從艸卑聲誠曰趙見我走必空壁逐我若疾入趙壁拔趙
幟立漢赤幟令其裨將傳殮曰徐廣曰音殮也○索隱曰如淳曰小飯今日

位乃便萬人先行出背水陣ハ、方苞曰、先行出、向ト爲ス、萬人ヲシテ先ツ行キテ井陘口ニ出テ、水ヲ背ニシテ陣ヲシメ、然ル後信並行シテ出ル也。
注一名涿星、札記同星ニ作ル。云フ利浸水涿ニ作ル。

殊死戰、顧即古曰、殊ハ絶ナリ、惡テ必死ニ決スルヲ言フ。

涿水上、札記、後漢涿郡曰涿、通、宋隱徐廣音通、劉氏音讀ト注ス、云フ合割本皆脱ス。

休畢賀、札記云、宋本殊字ナシ。

兵法不曰陷之死地而後生云云、王鳴盛曰、此二句、當ニ武經七書家言ニ在ルベシ、記ナシテ考テ後ツシ、史記自序云、漢興リ、蕭何律令ヲ大シ、陳信軍法ヲ山ア漢書藝文志、兵書ナクテ四種ト爲ス、一、權謀ニ、二、權勢ニ、三、威約ニ、四、權信ニ、五、謀略ニ、六、軍勢ニ、七、奇兵ニ、八、詐術ニ、九、用ヲ翻取シ、定テ三十有五家ヲ著スト、信兵法ヲ引キ、以テ自ラ其用

破趙會食。服虔曰、立駐傳餐食也、如淳曰、言破趙後乃當共飽食也。諸將皆莫信信伴、應曰、諾。謂軍吏曰、趙已先據便地爲壁。且彼未見吾大將旗鼓。未肯擊前行。恐吾至阻險而還。信乃使萬人先行出背水陳。正義曰、綿蔓水一名阜將、一名涿星、自井州流入井陘界。即信背水陣陷之。死地即此水也。趙軍望見而大笑。平旦信建大將之旗鼓。鼓行出井陘口。趙開壁擊之。正義曰、恆州鹿泉縣。即六國時趙壁也。大戰良久。於是信張耳伴奔鼓旗。走水上軍。水上軍開入之。復疾戰。趙果空壁爭漢鼓旗。遂韓信張耳。韓信張耳已入水上軍。軍皆殊死戰。不可敗。信所出奇兵二千騎。共候趙空壁。逐利。則馳入趙壁。皆拔趙旗。立漢赤幟二千。趙軍已不勝。不能得信等。欲還歸壁。壁皆漢赤幟。而大驚。以爲漢皆已得趙王將矣。兵遂亂遁走。趙將雖斬之。不

禁也。於是漢兵夾擊。大破虜趙軍。斬成安君。泚水上禽趙王歇。信乃令軍中毋殺廣武君。有能生得者購千金。於是有縛廣武君而致戲下者。信乃解其縛。東鄉坐。西鄉對。師事之。諸將效首虜。索隱曰、如淳云、效致也、音灼曰。效致也、鄭玄注禮效猶呈見也。休畢賀因問信曰、兵法右倍山陵。前左水澤。今者將軍令臣等反背水陳。曰破趙會食。臣等不服。然竟以勝。此何術也。信曰、此在兵法。顧諸君不察耳。兵法不曰陷之死地而後生。置之亡地而後存。且信非得素拊循士大夫也。此所謂驅市人而戰之。其勢非置之死地。使人人自爲戰。今予之生地。皆走。寧尙可得而用之乎。諸將皆服曰、善。非臣所及也。於是信問廣武君曰、僕欲北攻燕。東伐齊。何若而有功。廣武君

兵ノ勢ヲ遊スルヲ體シ、
上又其ノ三十五家、
家ヲ序次シ、三十五家
ノ爲メ信ノ平日學問
本願安食學ヲ受ルル
限設ビテ久シク、其ハ
萬ノ業ニ連テ戰ヘバ
必勝チ、或レハ必取ル
持テ不日學問ニ本テキ、
非レバ見ル可シ。其
所由、市人而觀之ハ、
其ノ人ヲ以テ、其ノ
入リ、其人ヲ以テ、
テ戰フ、モト習練
スル所、者ニ非ルナリ
ナリ。

農夫衣不綴耕云云、
初二日、檢ヘテ、
此當時ノ人、信ノ感
ヲ長シ、自ノ其生業
ヲ能ハズ、皆耕、
ヲ求テ釋テ、其衣
ヲ給テシ、其食、甘
ニシ、以テ復テ且ク
生シ、復テ久シク
爲テザルナリ。

於何由ハ、劉向曰、
山ノ從テ、當ニ何ノ
計ニ從テ、ベキナリ、
際兵ハ、余有テ、此
上文、曰ニ休兵ノ語
リ、其語生當ニ劉解ニ
依ルベシ、一例スベカ
ラズ。

辭謝曰。臣聞敗軍之將。不可以言勇。亡國之大夫。不可以圖存。今臣敗亡之虜。何足以權大事乎。信曰。僕聞之。百里奚居虞而虞亡。在秦而秦霸。非愚於虞。而智於秦也。用與不用。聽與不聽。也。誠令成安君聽足下計。若信者亦已爲禽矣。以不用足下。故信得待耳。因固問曰。僕委心歸計。願足下勿辭。廣武君曰。臣聞智者千慮。必有一失。愚者千慮。必有一得。故曰。狂夫之言。聖人擇焉。願恐臣計未必足用。願效愚忠。夫成安君有百戰百勝之計。一旦而失之。軍敗鄙下。李奇曰。鄙音。今高邑是。身死。泚上。今將軍涉西河。索隱曰。此之西河當馮翊也。正義曰。即同州龍門河。從夏陽度者。虜魏王。禽夏說。闕與一舉而下。井陘不終朝。破趙二十萬衆。誅成安君。名聞海內。威震天下。農夫

莫不輟耕。釋耒。揄衣。甘食。索隱曰。徐。鄭氏音瑜。夫也。恐泚亡不久。故廢止作業。而事美衣甘食。二曰。偷苟且也。慮不圖久。故也。漢書作靡衣。傾耳以待命者。如淳曰。恐泚。亡不久。故也。若此將軍之所長也。然而衆勞卒罷。其實難用。今將軍欲舉倦弊之兵。頓之燕堅城之下。欲戰恐久。力不能拔。情見勢屈。曠日糧竭。而弱燕不服。齊必距。境以自彊也。燕齊相持。而不下。則劉項之權。未有所分也。若此者。將軍所短也。臣愚竊以爲亦過矣。故善用兵者。不以短擊長。而以長擊短。韓信曰。然則何由。廣武君對曰。方今爲將軍計。莫如案甲休兵。鎮趙。撫其孤。百里之內。牛酒日至。以饗士大夫。釋兵。魏賦曰。春。醴。順。時。劉。達。曰。醴。酒。也。○索隱曰。劉氏依劉達作醴。酒。謂以酒食。養兵士也。案史記古釋字。皆如此。豈亦謂以酒食饗兵士。故字從酉乎。正義曰。北首。燕路。正曰。首音。其簡。順。或長尺也。暴其所長於燕。狩向也。而後遣辯士。奉咫尺之書。正義曰。咫尺。八寸言。其簡。順。或長尺也。暴其所長於燕。

故言者、故、多、言、者、謂、也。

正義曰。燕必不敢不聽從。燕已從。使誼言者東告齊。齊必從。風暴音僕。而服。雖有智者亦不知為齊計矣。如是則天下事皆可圖也。兵固有先聲而後實者。此之謂也。韓信曰善。從其策。發使使燕。燕從。風而靡。乃遣使報漢。因請立張耳為趙王。以鎮撫其國。漢王許之。乃立張耳為趙王。楚數使奇兵渡河擊趙。趙王耳韓信往來救趙。因行定趙城邑。發兵詣漢。楚方急圍漢王於滎陽。漢王南出之宛葉間。正義曰。宛在鄆州。葉在許州。得諒布走入城。臯楚又復急圍之。六月。漢王出城臯。東渡河。獨與滕公俱從。張耳軍修武。至宿傳舍。晨自稱漢使。馳入趙壁。張耳韓信未起。即其臥內。上奪其印符。以麾召諸將。易置之。信耳起。乃知漢王來。大驚。漢王奪兩人

走入城臯、六、札記成卒、二作、三、五、五、本、成、各、本、城、二、作、下、同、。

軍。即令張耳備守趙地。拜韓信為相國。收趙兵未發者。擊齊。文曰。謂趙人未嘗見發者。信引兵東。未渡平原。正義曰。懷州有平原。聞漢王使酈食其已說下齊。韓信欲止。范陽辯士蒯通說信曰。將軍受詔擊齊。而漢獨發。閒使下齊。寧有詔止將軍乎。何以得毋行也。且酈生一士。伏軾。章昭曰。軾。今小車中隆起者。掉三寸之舌。下齊七十餘城。將軍將數萬眾。歲餘。乃下趙五十餘城。為將數歲。反不如一豎儒之功乎。於是信然。之從其計。遂渡河。齊已聽酈生。即置縱酒罷備。漢守禦。信因襲齊。歷下軍。徐廣曰。齊南歷城縣。遂至臨菑。齊王田廣以酈生賣已。乃烹之。而走高密。使使之楚。請救。韓信已定臨菑。遂東追廣。至高密。西楚亦使龍且將號稱二十萬救齊。齊王廣龍且并軍與信戰。未

合人或說龍且曰漢兵遠鬪窮戰其鋒不可當齊楚自居其地戰兵易敗散。正義曰近其室家懷顧望也。不如深壁令齊王使其信臣招所亡

城亡城聞其王在楚來救必反漢。漢兵二千里客居齊城皆反之其勢無所得食可無戰而降也龍且曰吾平生知韓信為人易與耳且夫救齊不戰而降之吾何功今戰而勝之齊之半可得何為止遂戰與信夾濰水陳。徐廣曰出東莞而東北流至北海都昌縣入海○索隱曰濰音維地理志濰水出琅邪其

引軍半渡擊龍且伴不勝還走龍且果喜曰固知信怯也遂追渡水信使人決壅囊水大至龍且軍大半不得渡即急擊殺龍且龍且水東軍散走齊王廣亡去信遂追北至城陽。正義曰城陽雷澤縣是也

徐廣曰出東莞而東北流至北海都昌縣入海○索隱曰濰音維地理志濰水出琅邪其引軍半渡擊龍且伴不勝還走龍且果喜曰固知信怯也遂追渡水信使人決壅囊水大至龍且軍大半不得渡即急擊殺龍且龍且水東軍散走齊王廣亡去信遂追北至城陽。正義曰城陽雷澤縣是也

濰道渡水、札記道下信字アリ、云フ宋本中統濰道本信字アリ、各本脫ス。

雷澤道北有城陽、注正

城陽、是齊ノ地ナリ、濰州ノ城陽ニ非ス。

在濰州東南九十一里。皆虜楚卒漢四年遂皆降平齊使人言漢王曰齊偽

詐多變反覆之國也南邊楚不為假王以鎮之其勢不定願為假王便當是時楚方急圍漢王於滎陽韓信使者至發書。張晏曰發

信使者所發書漢王大怒罵曰吾困於此且暮望若來佐我乃欲自立為王張良陳平躡漢王足因附耳語曰漢方不利寧能禁信之王乎不如因而立善遇之使自為守不然變生漢王亦悟因復罵

曰大丈夫定諸侯即為真王耳何以假為乃遣張良往立信為齊王。徐廣曰四年二月徵其兵擊楚楚已亡龍且項王恐使肝貽人武涉

往說齊王信曰。張華曰武涉墓在肝貽城東十五里天下共苦秦久矣相與戮力擊

秦秦已破計功割地分土而王之以休士卒今漢王復興兵而

東侵入之分奪入之地已破三秦引兵出關收諸侯之兵以東擊楚其意非盡吞天下者不休其不知厭足如是甚也且漢王不可必身居項王掌握中數矣。正義曰數色庾反項王憐而活之然得脫輒倍約復擊項王其不可親信如此今足下雖自以與漢王爲厚交爲之盡力用兵終爲之所禽矣足下所以得須臾至今者以項王尙存也當今二王之事權在足下足下右投則漢王勝左投則項王勝項王今日亡則次取足下足下與項王有故何不反漢與楚連和此項王至計參分天下王之今釋此時而自必於漢以擊楚且爲智者固若此乎韓信謝曰臣事項王官不過郎中位不過執戟。張晏曰郎中宿衛執戟之人也言不聽畫不用故倍楚而歸漢漢王授我

相背之背云云ハ、胡三省曰、微言ヲ以テ倍ヲ加カシ、漢ニ背ケバ、則大ニ貴キヲ言フナリ。
建號呼ハ、顏師古曰、建號ハ自立シ後王ト爲ルナリ。
標至風起ノ標ハ火標ナリ。

上將軍印予我數萬衆解衣衣我推食食我言聽計用故吾得
以至於此夫人深親信我我倍之不祥雖死不易幸爲信謝項
王武涉已去齊人蒯通知天下權在韓信欲爲奇策而感動之
以相人說韓信曰僕嘗受相人之術韓信曰先生相人何如對
曰貴賤在於骨法憂喜在於容色成敗在於決斷以此參之萬
不失一韓信曰善先生相寡人何如對曰願少間信曰左右去
矣通曰相君之面不過封侯又危不安相君之背貴乃不可言
張晏曰背畔則大貴韓信曰何謂也蒯通曰天下初發難也俊雄豪傑建號
壹呼天下之士雲合霧集魚鱗襍選燦至風起當此之時憂在
亡秦而已今楚漢分爭使天下無罪之人肝膽塗地父子暴骸

王奉項嬰頭而竄逃歸於漢王。漢王借兵而東下，殺成安君，泚水之南，頭足異處。卒為天下笑。此二人相與天下至驩也。然而卒相禽者何也？患生於多欲，而人心難測也。今足下欲行忠信以交於漢王，必不能固於二君之相與也。而事多大於張廩陳澤。故臣以為足下必不能固於二君之相與也。而事多大於張廩陳越。霸句踐立功成名而身死亡，野獸已盡而獵狗烹。夫以交友此數句有力言之，則不如張耳之與成安君者也。以忠信言之，則不過大、夫種范蠡之於句踐也。此二人者足以觀矣。願足下深慮之。且臣聞勇略震主者身危，而功蓋天下者不賞。臣請言大王功略足下涉西河，虜魏王，禽夏說，引兵下井陘，誅成安君，徇趙，脅燕，定

東得龍且ハ、札記云、龍且ヲ殺ス、ハ、ト一ヲリ、漢書漢紀四ニ述龍且ニ作ル

中僮石之義注集解一僮與一肘之餘ハ、札記云、手本與字ナシ、肘疑フ當ニ石ニ作ルシ、餘口ヲ嚼ノ誤ナリ、方百法所解僮石之義、僮字今本亦作、誤ト、漢書地理傳ニ出、疑フ僮解尙戲文アラシ

齊南摧楚人之兵二十萬，東殺龍且，西鄉以報。此所謂功無二於天下而略不世出者也。今足下戴震主之威，挾不賞之功，歸楚。楚人不信，歸漢。漢人震恐，足下欲持是安歸乎？夫勢在人臣之位，而有震主之威，名高天下，竊為足下危之。韓信謝曰：先生且休矣，吾將念之。後數日，蒯通復說曰：夫聽者事之候也，計者事之機也，聽過計失，而能久安者鮮矣。聽不失一二者，不可亂以言，計不失本末者，不可紛以辭。夫隨所養之役者，失萬乘之權，守僮石之祿者。晉灼曰：揚雄方言：海岱之閒名摠為僮石。斗石也。蘇林曰：齊人名小摠為僮石。如今受輪魚石摠不過一二石耳。一說一僮與一斛之餘。○索隱曰：僮音都濫反。石斗也。蘇林解為得之始音胎。闕卿相之位，故知者決之斷也，疑者事之害也。審毫釐之小計，遺天下之大數。智誠知之，決弗敢行者，百

故知者決也。孟也。札記云。德志。當二決者知之斷也。作レベシ。

事之禍也。故曰。猛虎之猶豫。不若蜂螫之致螫。正義曰。騏驥之 蹶躅。徐廣曰。蹶一作躅也。不如駑馬之安步。孟賁之狐疑。不如庸夫之必至。

也。雖有舜禹之智。吟而不言。不如瘖聵之指麾也。索隱曰。鄭氏吟音巨蔭反。又音琴。

此言貴能行之。夫功者難成而易敗。時者難得而易失也。時乎

時不再來。願足下詳察之。韓信猶豫不忍倍漢。又自以為功多。

漢終不奪我齊。遂謝蒯通。蒯通說不聽。已伴狂為巫。徐廣曰。一本遂不用蒯通。

蒯通曰。夫迫於細苛者。不可與圖大事。拘於臣虜者。固無君王之意。說不聽。因去伴狂也。○索隱曰。案漢書及戰國策。皆有此文。漢王之困固陵。用

張良計。召齊王信。遂將兵會垓下。項羽已破。高祖襲奪齊王軍。

徐廣曰。以齊為平。原千乘東萊齊郡。漢五年正月。徙齊王信為楚王。都下邳。信至國。召

所從食漂母。賜千金。張華曰。漂母家。在泗口南岸。及下鄉南昌亭長。賜百錢。曰

公。小人也。為德不卒。召辱已之少年。令出胯下者。以為楚中尉。

告。諸將相曰。此壯士也。方辱我時。我寧不能殺之。邪。殺之。無名。

故忍而就於此。項王亡將鍾離昧。家在伊廬。徐廣曰。東海胸縣有伊廬鄉。圖案章昭曰。今中廬縣。

○索隱曰。徐註出司馬彪郡國志。正義曰。括地志云。中廬在義清縣北二十里。本春秋時。素廬戎之國也。秦謂之伊廬。漢為中廬縣。項羽之將鍾離昧。家在章昭及括地志云。皆說之也。素

與信善。項王死。後亡歸信。漢王怨昧。聞其在楚。詔楚捕昧。信初

之國。行縣邑。陳兵出入。漢六年。人有上書告楚王信反。高帝以

陳平計。天子巡狩。會諸侯。南方有雲夢。發使告諸侯。會陳。吾將

游雲夢。實欲襲信。信弗知。高祖且至楚。信欲發兵反。自度無罪。

欲謁上。恐見禽。人或說信曰。斬昧謁上。上必喜。無患。信見昧。計

事。昧曰。漢所以不擊取楚。以昧在公所。若欲捕我。以自媚於漢。

故忍而就於此。顏師古曰。就。成也。今日ノ功ヲ成スナリ。○今日細柳亭家在伊廬徐廣曰云云。○大明日。續漢書郡國志。按之。伊廬二作。注史記亦多。通川云。今江西廬陵縣。土人讀之。虛音ノ如シ。

遂成宴會ハ胡三百日
城ハ加フルニ相成
以テス。賢ハ加フル
ニ微末ヲ以テス。類
類不期從ハス。類
曰朝ハ初見ナリ從
從行ナリ。
居常執戟ハ、類師古曰、
執戟ハ、志ヲサザルナ
リ、餘酒ハ、餘儀用勿
漚將軍要ナリ。

多多而益善耳ハ、梧慎
曰、程子曰、分數明カ
ナルナリ、按ズルニ、
孫子曰、衆ヲ治ムル、
寡ヲ治ムル如シ、分數
是ナリ、注ニ部曲ヲ分

ト爲シ、什伍ヲ數ト爲
スト。程子蓋此ヲ取ル
ナリ。
陳豨拜爲鎮守ハ、
豨大所曰、此時、豨
相國ニ屬ス、豨蓋
相國ヲ以テ、鎮守ヲ
兼スルナリ、漢初、王
國領スル所ノ郡、亦守
ヲ置フ。
淮陰侯曰公所居、札記
公下之字アリ、云フ蓋
刻之字アリ、漢書ト合
ス。

漢十一年ハ、札記十年
ニ作、云々各本十下
一字ヲ削ス、蓋刻ナリ。

吾今日死公亦隨手亡矣。乃罵信曰。公非長者卒自剄。信持其
首謁高祖於陳。上令武士縛信載後車。信曰。果若人言。狡兔死
良狗烹。張晏曰狡猶猾。○索隱曰吳越春秋作高鳥盡良弓藏。敵國破謀
郊免戰國策曰東郭邊海內狡免也。臣亡天下已定。我固當烹。上曰。人告公反。遂械繫信。至雒陽。赦
信罪。以爲淮陰侯。信知漢王畏惡其能。常稱病不朝。從信由此
日怨望。居常執戟。羞與絳灌等列。信常過樊。樊將軍噲。噲跪拜送
迎。言稱臣。曰。大王乃肯臨臣。信出門笑曰。生乃與噲等爲伍。上
常從容與信言。諸將能。各有差。上問曰。如我能將。幾何。信曰。
陛下不過能將十萬。上曰。於君何如。曰。臣多多而益善耳。上笑
曰。多多益善。何爲爲我禽。信曰。陛下不能將兵。而善將將。此乃

信之所以爲陛下禽也。且陛下所謂天授。非人力也。陳豨拜爲
鉅鹿守。徐廣曰。表云爲趙辭於淮陰侯。淮陰侯挈其手。辟左右。與之
相國將兵守代也。步於庭。仰天歎曰。子可與言乎。欲與子有言也。豨曰。唯將軍令
之。淮陰侯曰。公所居。天下精兵處也。而公陛下之信幸臣也。人
言公之畔。陛下必不信。再至。陛下乃疑矣。三至。必怒。而自將。吾
爲公從。中起。天下可圖也。陳豨素知其能也。信之曰。謹奉教。漢
十一年。陳豨果反。上自將。而往。信病不從。陰使人至豨所。曰。第
舉兵。吾從。此助公。信乃謀與家臣夜詐詔。赦諸官徒奴。欲發。以
襲呂后太子。部署已定。待豨報。其舍人得罪於信。索隱曰按晉灼曰
楚漢春秋云。謝公也。姚氏案。功臣表云。慎陽侯樂說。
淮陰舍人告信反者。未知孰是。信囚。欲殺之。舍人弟上變。告信欲反狀。

於呂后。呂后欲召恐其黨不就。乃與蕭相國謀。詐令人從上。所來言。豨已得死。列侯羣臣皆賀。相國給信曰。雖疾。彊入賀。信入。呂后使武士縛信。斬之。長樂鐘室。正義曰。長樂宮懸鐘之室。信方斬之。曰。吾悔不用蒯通之計。乃為兒女子所詐。豈非天哉。遂夷信三族。高祖已從豨軍來。至。見信死。且喜且憐之。問信死亦何言。呂后曰。信言恨不用蒯通計。高祖曰。是齊辯士也。乃詔齊捕蒯通。蒯通至。上曰。若教淮陰侯反乎。對曰。然。臣固教之。豎子不用臣之策。故令自夷於此。如彼豎子用臣之計。陛下安得而夷之乎。上怒曰。烹之。通曰。嗟乎。冤哉。烹也。上曰。若教韓信反。何冤。對曰。秦之網絕而維弛。山東大擾。異姓竝起。英俊烏集。秦失其鹿。天下共逐。

且豈其德之ハ、却三省曰、攻ハ、其通ヲ除クナリ、情ハ、其功大ナルヲ憐メナリ。

銳精持鋒ハ、却三省曰、銳精ハ、精銳ヲ磨クナリ、之ヲ銳スルナリ。上曰置之、置ハ、捨合ノ如シ、又教ナリ。

之。張晏曰。以鹿喻帝位也。於是高材疾足者先得焉。跖之狗吠。堯堯非不仁。狗固吠。非其主當。是時臣唯獨知韓信。非知陛下也。且天下銳精持鋒。欲為陛下所為者甚衆。顧力不能耳。又可盡烹之邪。高帝曰。置之。乃釋通之罪。

太史公曰。吾如淮陰。淮陰人為余言。韓信雖為布衣時。其志與衆異。其母死。貧無以葬。然乃行營高敞地。令其旁可置萬家。余視其冢。冢良然。假令韓信學道。謙讓不伐。己功不矜。其能則庶幾哉。於漢家勳。可以比周召太公之徒。後世血食矣。不務出此。而天下已集。乃謀畔逆。夷滅宗族。不亦宜乎。

索隱述贊曰。君臣一體。自古所難。相國深薦。策拜登壇。沈沙決水。拔轡傳殄。與漢漢重。歸楚楚安。三分不議。僞遊可歎。

史記評林卷之九十二終

黃震曰韓信虜虜破代平趙下燕定南齊摧楚兵二十萬殺龍且而楚隨漢漢并天下皆信力也武涉蒯通說信背漢而信終不忍自以功多漢終不奪我齊也不知功之多者忌之尤今日破楚明日奪齊王信方為漢天下漢之心已未嘗一日不在取信也張良為帝謀臣使其為之盡善計猶庶幾焉而蹠足之謀召信會兵拔下之策皆所以疑帝之甚而置信于死者也失職快謀反見誅雖信之罪而夷三族嗚呼甚矣。

茅坤曰予竄觀古今兵家者流嘗以韓信為最破魏以木罌破趙以立漢亦鹹破齊以瀛沙彼皆從天而下而未嘗與敵人血戰者予故曰古今來太史公文仙也李白詩仙也屈原詞賦仙也劉阮酒仙也而韓信兵仙也然哉。

陳霆曰子房進履于圜邊韓信受辱于跨下後一為帝者師一南面而王蓋惟能下人故能上人也然子房猶號知道楊誠齋詩云少年跨下安無忤老父圜邊愕不平人物若非親蒞菴淮陰何必誠文成信乎先民有言保初節易保晚節難觀之淮陰可見矣程敏政曰呂氏之殺侯千古之所共憤而予以為平實啓之呂氏特成之耳方人之告侯反也高帝自意之不決問于羣臣而欲決其不決者豈帝真不之知哉誠有以惡侯之罪而念侯之功故徘徊猶豫持兩端於心胸當此時也侯之死生繫于入言閉不容髮為平者宜對帝曰侯定列國取項羽握重兵在外者十年顧不反今天下已定裂土而王其志願亦足矣陛下宜使親信之臣視之而得其實則使使持節召侯召之不來然後六師移之未晚也平計不出此乃曰陛下第出偽遊雲夢侯謁而擒之是果何等語哉正孔子之所謂利口孟子之所謂逢君之惡者也嗚呼平一言而使高帝為無恩之主元勳受無罪之誅不義之甚矣。

史記評林卷之九十三

韓王信盧縮列傳第三十三

韓王信者。

徐廣曰一云信都○索隱曰楚漢春秋云韓王信都恐也諸書不言有韓信都案韓王信初為韓司徒後說云申徒因誤以為韓王名耳 故

韓襄王孽孫也。

張晏曰孺子為孽○索隱曰何休注公羊以為孽賤子猶樹之有孽生也漢書朝錯云孽子悼惠王是也 長八尺五

寸及項梁之立楚後懷王也燕齊趙魏皆已前王唯韓無有後

故立韓諸公子橫陽君成為韓王。

正義曰故橫城在宋州宋城縣西南三十里○徐廣曰二年六月也都陽翟

欲以撫定韓故地項梁敗死定陶成犇懷王沛公引兵擊陽城。

正義曰河南縣也

使張良以韓司徒降下韓故地。

徐廣曰他本多作申徒申與可聲相近字由此雜亂耳今有申徒云

是司徒之後言

得信以為韓將將其兵從沛公入武關沛公立為漢

韓王信盧縮列傳 札記
韓信二作ル、云フ各本
韓王字ヲ析ス、宋本
盧縮ナシ、索隱本ト合
ス。
故韓襄王孽孫也ハ、領
師古曰、孽ハ庶ナリ
ノミ、強取非ナリ。

酒飲秦王曰云云ハ、
師古曰、高帝紀、及韓
彭張敖、皆斯說也、
楚王初封、皆稱王、
而韓王信傳、復稱王、
蓋史家誤、
錯カカ、將々二人勳
ムル所、大旨實二同勳
キナリ。

王韓信從入漢中。迺說漢王曰。項王王諸將近地。而王獨遠居

此。此左遷也。士卒皆山東人。跋而望歸。及其鋒東嚮。文類曰。錄魏欲東向。○索

隱曰。跋音企。起踵也。鄭氏云。錄軍中將士氣鋒。章昭曰。其氣鋒銳欲東也。○正義曰。跋音跋。可以爭天下。漢王還定三秦。

迺許信為韓王。先拜信為韓太尉。將兵略韓地。項籍之封諸王。皆就國。韓王成以不從。無功。不遣就國。更以為列侯。徐廣曰。元年十一月誅成。

闕案。漢書曰。封為種侯。○索隱曰。地理志。種縣屬南陽。及聞漢遣韓信略韓地。迺令故項籍游吳

時。吳令鄭昌為韓王。以距漢。正義曰。項籍在吳。時昌為吳縣令。漢二年。韓信略定韓

十餘城。漢王至河南。韓信急擊韓王昌。陽城。昌降。漢王迺立韓

信為韓王。徐廣曰。二年十一月。常將韓兵從。三年。漢王出滎陽。韓王信周苛

等守滎陽。及楚敗滎陽。信降楚。已而得亡。復歸漢。漢復立以為

闕案。漢書曰。封為種侯。○索隱曰。地理志。種縣屬南陽。及聞漢遣韓信略韓地。迺令故項籍游吳時。吳令鄭昌為韓王。以距漢。正義曰。項籍在吳。時昌為吳縣令。漢二年。韓信略定韓十餘城。漢王至河南。韓信急擊韓王昌。陽城。昌降。漢王迺立韓信為韓王。徐廣曰。二年十一月。常將韓兵從。三年。漢王出滎陽。韓王信周苛等守滎陽。及楚敗滎陽。信降楚。已而得亡。復歸漢。漢復立以為

疑信數圍侯。祖師古曰。聞ハ私ナリ。

與其將白土人云云。札記云。恣疑朱子文漢書辨正ナリ。引ナリ。一與字ナ多ク。按。通鑑與字ナシ。

韓王。竟從。擊破項籍。天下定。五年春。遂與剖符為韓王。王潁川。明年春。徐廣曰。即五年之二月。闕案。漢書曰。六年春。上以韓信材武。所王北近鞏洛。南迫

宛葉。東有淮陽。皆天下勁兵處。迺詔徙韓王信王太原。以北備禦。胡都晉陽。信上書曰。國被邊。李奇曰。被音被馬之被。匈奴數入。晉陽去塞

遠。正義曰。朔州。請治馬邑。正義曰。朔州。上許之。信乃徙治馬邑。秋。匈奴冒

頓大圍信。索隱曰。冒音墨。又音莫。報反。信數使使胡求和解。漢發兵救之。疑信

數間使。有二心。使人責讓信。信恐誅。因與匈奴約共攻漢。反以

馬邑降。胡擊太原。七年冬。上自往擊破信軍。銅鞮。正義曰。潞州縣。斬其

將王喜。信亡。走匈奴。與其將白土人曼丘臣王黃等。張晏曰。白土縣名。馬上郡。

立趙苗裔趙利為王。復收信敗散兵。而與信及冒頓謀攻漢。匈

匈

後世破之ハ、札記後字ナシ行ハ、漢書上後高ニ依テ割ル。

居代上谷ハ、札記云、上字行ナリ、漢書居代谷ニ作ル、上谷ノ若キハ、平城ヲ去ル遠シ、上出白登ハ、漢書出字ナシ。

請合疆弩傳兩矢外嚮ハ、顏師古曰、傳讀テ

附ト曰フ、一弩每ニ兩矢ヲ加ヘ、外ニ嚮ヒ、以テ敵ヲ集グナリ。

奴使左右賢王將萬餘騎與王黃等屯廣武以南正義曰廣武故城在代州鴈門縣界

也。至晉陽與漢兵戰漢大破之追至于離石正義曰後復破之匈奴

奴復聚兵樓煩西北正義曰鴈門郡樓煩縣漢令車騎擊破匈奴匈奴常敗

走漢乘勝追北聞冒頓居代上谷正義曰今媯州高皇帝居晉陽使人

視冒頓還報曰可擊上遂至平城正義曰朔州定襄縣是也上出白登服虔曰白登塞名去

平城七里如淳曰平城旁之高也若丘陵也○索隱曰姚氏案北疆記秦乾河北有白登山冒頓圍漢高之所今猶有壘壁

使人厚遺閼氏正義曰於連反又音燕氏音支單于嫡妻號若皇后閼氏乃說冒頓曰今得漢地

猶不能居且兩主不相厄居七日胡騎稍引去時天大霧漢使

人往來胡不覺護軍中尉陳平言上曰胡者全兵漢書音義曰言唯弓矛無雜仗也

請令疆弩傳兩矢外嚮索隱曰傳音附徐行出圍入平城漢救兵亦到

胡騎遂解去漢亦罷兵歸韓信爲匈奴將兵往來擊邊漢十年

信令王黃等說誤陳豨十一年春故韓王信復與胡騎入居參

合蘇林曰代地也○正義曰故城在朔州定襄縣北距漢漢使柴將軍擊之鄧展曰柴奇也○索隱曰應劭曰柴武鄧展云柴奇晉灼云奇武之子應劭說爲得此時奇未爲將

遺信書曰陛下寬仁諸侯雖有畔亡而復歸

輒復故位號不誅也大王所知今王以敗亡走胡非有大罪急

自歸韓王信報曰陛下擢僕起閭巷南面稱孤此僕之幸也榮

陽之事僕不能死囚於項籍此一罪也今及寇攻馬邑僕不能

堅守以城降之此二罪也今反爲寇將兵與將軍爭一旦之命

此三罪也夫種蠡無一罪身死亡文穎曰大夫種范蠡也今僕有三罪於陛

下而欲求活於世此伍子胥所以償於吳也索隱曰蘇林曰償音奮張晏曰償僇仆也○正義曰

別將與劉賈擊臨江王共尉破之。李奇曰。共敖子。七月還從擊燕王臧

荼。臧荼降。高祖已定天下。諸侯非劉氏而王者七人。欲王盧綰。

為羣臣缺望。如淳曰。缺音辭別之缺。望猶怨也。環曰。缺。謂相缺而怨望也。韋昭曰。缺猶冀也。○索隱曰。缺望猶怨望也。又音企。韋昭音冀。及虜

臧荼。迺下詔。諸將相列侯。擇羣臣有功者。以為燕王。羣臣知上

欲王盧綰。皆言曰。太尉長安侯盧綰。常從平定天下。功最多。可

王。燕詔許之。漢五年八月。迺立盧綰為燕王。諸侯王得幸莫如

燕王。漢十一年秋。陳豨反代地。高祖如邯鄲。擊豨兵。燕王縮亦

擊其東北。當是時。陳豨使王黃求救匈奴。燕王縮亦使其臣張

勝於匈奴言豨等軍破張勝至。胡故燕王臧荼子衍。出亡在胡。

見張勝曰。公所以重於燕者。以習胡事也。燕所以久存者。以諸

欲急滅豨等已盡。ハ、礼記等二字ヲ用ス。云フ本本直。ハ、本本ナシ。按二通鑑亦直。

欲令久亡。通兵勿決ハ、初三省曰。之ヲシテ兵ヲ運テ相持シ。勝負久シカレバ決セザラシメント欲スルナリ。

侯數反。兵連不決也。今公為燕。欲急滅豨等。已盡。次亦至。燕公

等亦且為虜矣。公何不令燕且緩陳豨。而與胡和。事寬得長。王

燕。即有漢急。可以安國。張勝以為然。迺私令匈奴助豨等擊燕。

燕王縮疑張勝與胡反。上書請族張勝。勝還具道。所以為者。燕

王寤。迺詐論他人。脫勝家屬。使得為匈奴閒。而陰使范齊之陳

豨。所欲令久亡。晉灼曰。使陳豨久亡。亡。連兵勿決。漢十二年。東擊黥布。豨常

將兵居代。漢使樊噲擊斬豨。其裨將降。言燕王縮使范齊通計

謀於豨所。高祖使使召盧綰。縮稱病。上又使辟陽侯審食其御

史大夫趙堯往迎燕王。因驗問左右。縮愈恐。閉匿。謂其幸臣曰。

非劉氏而王。獨我與長沙耳。往年春。漢族淮陰。夏誅彭越。皆呂

降者子孫勝ハ、札記云、此降者二字、疑ヲ補フナラン。

幸上疾愈、自入謝ハ、顔師古曰、上ハ疾愈ルヲ得テ、自ヲ入テ謝シ、以テ己ノ病ヲ爲スナク爲フナリ。

后計今上病。屬任呂后。呂后婦人。專欲以事誅異姓王者。及大功臣。迺遂稱病不行。其左右皆亡匿。語頗泄。辟陽侯聞之。歸具報上。上益怒。又得匈奴降者。降者言張勝亡在匈奴。爲燕使。於是上曰。盧綰果反矣。使樊噲擊燕。燕王綰悉將其宮人家屬。騎數千。居長城下。候伺。幸上病愈。自入謝。四月。高祖崩。盧綰遂將其衆。亡入匈奴。匈奴以爲東胡。盧王綰爲蠻夷所侵奪。常思復歸。居歲餘。死。胡中高后時。盧綰妻子亡降漢。會高后病。不能見舍燕邸。爲欲置酒。見之高后竟崩。不得見。盧綰妻亦病死。孝景中六年。盧綰孫他之。正義曰。他徒何反。以東胡王降。如淳曰。爲東胡王來降也。漢紀。東胡烏丸也。封爲亞谷侯。徐廣曰。亞一作惡也。正義曰。漢表在河內。

陳豨者宛朐人也。注云。宛。發大所曰。地理志。宛。句中山。故宛。公孫龍ノ地ナリ。故二史。及高祖七年云云。上至平城。還。酒封豨爲列侯。徐廣曰。功臣表曰。陳豨以特將將卒五百人。前元年從起宛。還。酒封豨爲列侯。胸至綰上以游擊將軍別定代已破滅荼封豨爲陽夏侯。以趙相國將。監趙代邊兵。邊兵皆屬焉。豨常告歸。趙相周昌見豨賓客隨之者千餘乘。邯鄲官舍皆滿。豨所以待賓客。如布衣交。皆出客下。正義曰。言屈己禮之。不用富貴自尊大。豨還之代。周昌迺求入見。見上。具言。豨賓客盛甚。擅兵於外。數歲。恐有變。上乃令人覆案。豨客居代者。財物諸不法事。多連引豨。豨恐。陰令客通使王黃曼丘臣所。正義曰。二人韓王信將。及高祖七年七月。太上皇崩。使人召豨。豨稱病甚。九月。遂與王黃等反。自立爲大王。劫略趙代。上聞。乃赦趙代。

及高祖七年。札記云。年七二誤。云。各本十。七二誤。考證改。自立爲大王ハ、札記大。ナ代ニ作ル。云。宋本。

陳豨者宛朐人也。索隱曰。地理志。屬濟陰下。又云。梁人是褚先生之說異也。正義曰。宛。胸。曹州縣也。太史公云。陳豨梁人。按宛。胸。六國時屬梁。不知始所以得從。及高祖七年冬。韓王信反。入匈奴。上至平城。還。酒封豨爲列侯。徐廣曰。功臣表曰。陳豨以特將將卒五百人。前元年從起宛。還。酒封豨爲列侯。胸至綰上以游擊將軍別定代已破滅荼封豨爲陽夏侯。以趙相國將。監趙代邊兵。邊兵皆屬焉。豨常告歸。趙相周昌見豨賓客隨之者千餘乘。邯鄲官舍皆滿。豨所以待賓客。如布衣交。皆出客下。正義曰。言屈己禮之。不用富貴自尊大。豨還之代。周昌迺求入見。見上。具言。豨賓客盛甚。擅兵於外。數歲。恐有變。上乃令人覆案。豨客居代者。財物諸不法事。多連引豨。豨恐。陰令客通使王黃曼丘臣所。正義曰。二人韓王信將。及高祖七年七月。太上皇崩。使人召豨。豨稱病甚。九月。遂與王黃等反。自立爲大王。劫略趙代。上聞。乃赦趙代。

中經劉考本與校金版
同。他本大ニ誤ス。

以羽檄徵天下兵、注飛
羽檄之意也。札、遺書、
中統劉淵游、飛、飛、
非ニ誤ス。中統游水、
羽檄取ニ作、經、皆
謂、飛、也。二作、飛、
檄之、也。二作、飛、
以、也。二作、飛、
不、也。二作、飛、

吏人爲豨所誑，誤劫略者，皆赦之。上自往，至邯鄲，喜曰：豨不南據漳水北守邯鄲，知其無能爲也。趙相奏斬常山守尉，曰：常山二十五城豨反亡其二十城，上問曰：守尉反乎？對曰：不反。上曰：是力不足也。赦之，復以爲常山守尉。上問周昌曰：趙亦有壯士，可令將者乎？對曰：有四人。四人謁，上慢罵曰：豎子能爲將乎？四人慙伏。上封之各千戶，以爲將。左右諫曰：從入蜀漢伐楚，功未徧行，今此何功而封？上曰：非若所知。陳豨反，邯鄲以北皆豨有，吾以羽檄徵天下兵。魏武帝奏事曰：今邊有小警，輒露檄插羽，飛羽檄之意也。案推此言，則以鳥羽插檄，書謂之羽檄，取其急速若飛鳥也。未有至者，今唯獨邯鄲中兵耳。吾胡愛四千戶封四人，以慰趙子弟？皆曰：善。於是上曰：陳豨將誰？曰：王黃曼丘臣，皆故賈人。上

字アリ、漢世漢紀ト合
擊斬陳豨將侯敞王黃ノ
王黃ニ字行ナリ、又侯敞
生得ト云、又侯敞
才按ズルニ、大將王黃
ナリ、則擊斬
ナリト爲ス。
破、將張春于聊城ハ、
是、也。二作、飛、
二所、秦子異人、
、處于、

郡中郡注正義于、
官本平、余本于、
二、

曰：吾知之矣。迺各以千金購黃臣等。十一年冬，漢兵擊斬陳豨將侯敞、王黃於曲逆下。正義曰：定州北平縣東南十五里，蒲陰故城是也。破豨將張春于聊城。正義曰：博州縣。斬首萬餘。太尉勃入定太原代地。十二月，上自擊東垣，東垣不下。卒罵上，東垣降。卒罵者，斬之，不罵者，黥之。更命東垣爲眞定。王黃曼丘臣，其麾下受購賞之，皆生得，以故。陳豨軍遂敗。上還，至洛陽，上曰：代居常山北，趙迺從山南有之，遠迺立子恆爲代王。徐廣曰：十一年正月。都中都。正義曰：中都故城在汾州，于遙縣西南十二里。代鴈門皆屬代。高祖十二年冬，樊噲軍卒追斬豨於靈丘。正義曰：蔚州是。太史公曰：韓信盧綰，非素積德累善之世，微一時權變，以詐力成功，遭漢初定，故得列地南面，稱孤。內見疑，疆大，外倚蠻貊，以

濟北數城引兵降項羽。項羽立田安為濟北王，治博陽。田榮以負項梁不肯出兵助楚趙攻秦，故不得王趙將陳餘亦失職，不得王。二人俱怨項王。項王既歸，諸侯各就國。田榮使人將兵助陳餘，令反趙地而榮亦發兵以距擊田都。田都亡走楚。田榮留齊王市，無令之膠東。市之左右曰：項王彊暴而王當之，膠東不就國必危。市懼，迺亡就國。田榮怒，追擊殺齊王市於即墨。還攻殺濟北王安。於是田榮迺自立為齊王，盡并三齊之地。索隱曰：田市，王膠東。

田都王齊，田安王濟北。項王聞之大怒，迺北伐齊。齊王田榮兵敗走平原。徐廣曰：平原，德州也。平原人殺榮，項王遂燒夷齊城郭，所過者盡屠之。齊人相聚畔之，榮弟橫收齊散兵，得數萬人，反擊項

相續是博陽，禮記云：考證云：漢書博陽作博，此則字衍，蓋山博縣，田儂之。

羽於城陽。徐廣曰：假走楚楚殺之。正義曰：城陽，濮州雷澤是。而漢王率諸侯敗楚，入彭城。項羽聞之，迺釋齊而歸，擊漢於彭城，因連與漢戰，相距榮陽。以故田橫復得收齊城邑。徐廣曰：十一月。立田榮子廣為齊王，而橫相之。專國政，無巨細皆斷於相。橫定齊三年，漢王使酈生往說下齊王廣及其相國橫，橫以為然，解其歷下軍。漢將韓信引兵且東擊齊。齊初使華無傷田解軍於歷下，以距漢。漢使至，迺罷守戰備，縱酒且遣使與漢平。漢將韓信已平趙燕，用蒯通計度平原，襲破齊，歷下軍因入臨淄。齊王廣相橫怒，以酈生賣已而烹酈生。齊王廣東走高密。徐廣曰：高密一作假。相橫走博陽，守相田光走城陽，將軍田既軍於膠東。楚使龍且救齊，齊王與合軍。高密漢將韓信與曹

破殺龍且徐廣曰四月虜齊王廣漢將灌嬰追得齊守相田光至博陽而橫聞齊王死自立為齊王還擊嬰嬰敗橫之軍於贏下

參破殺龍且徐廣曰四月虜齊王廣漢將灌嬰追得齊守相田光至博陽而橫聞齊王死自立為齊王還擊嬰嬰敗橫之軍於贏下

晉灼曰泰山贏縣也○正義曰故田橫亡走梁歸彭越彭越是時居梁地

中立且為漢且為楚韓信已殺龍且因令曹參進兵破殺田既於膠東使灌嬰破殺齊將田吸於千乘正義曰千乘故城在淄州高苑縣北二十五里韓信遂

平齊乞自立為齊假王徐廣曰二月也漢因而立之後歲餘漢滅項籍漢

王立為皇帝以彭越為梁王田橫懼誅而與其徒屬五百餘人

入海居島中韋昭曰海中山曰島○正義曰按海州東海縣有島山去岸八十里高帝聞之以為田橫兄弟

本定齊齊人賢者多附焉今在海中不收後恐為亂迺使使赦

田橫罪而召之田橫因謝曰臣烹陛下之使鄒生今聞其弟鄒

入海居島中ハ、津板通
三、東萊郡即縣縣二田
二、膠州東海縣ノ
島山ト自別ナリ、
二、錢大昕辨正ニ見ユ。

致族英ハ、顏師古曰其
族ヲ平除スルヲ言フ、
大者王小者逋侯耳ハ、
顏師古曰、大者ハ横ノ
分ヲ謂フ、小者其徒屬
ナリ、按、如說是ニ
三、屬シ、大ナレバ則王
ト爲シ、小ナレバ則侯
ト爲シ、言フナリ、
王者自ヲ稱シテ孤ト曰
フ、蓋譯ノ爲ナリ。

商為漢將而賢臣恐懼不敢奉詔請為庶人守海島中使還報高皇帝迺詔衛尉鄒商曰齊王田橫即至人馬從者敢動搖者致族夷迺復使使持節具告以詔商狀曰田橫來大者王小者迺侯耳不來且舉兵加誅焉田橫迺與其客二人乘傳詣雒陽如淳曰四馬未至二十里至戶鄉廢置應劭曰戶鄉在偃師環下足為乘傳曰廢置置馬以傳驛也橫謝使者曰人臣見天子當洗沐止畱謂其客曰橫始與漢王俱南面稱孤今漢王為天子而橫迺為亡虜而北面事之其恥固已甚矣且吾烹人之兄與其弟併肩而事其主縱彼畏天子之詔不敢動我我獨不媿於心乎且陛下所以欲見我者不過欲一見吾面貌耳今陛下在洛陽今斬吾頭馳三十里聞形容尙未能敗

猶可觀也。遂自剄。令客奉其頭。正義曰。奉音捧。從使者馳奏之高帝。高帝曰。嗟乎。有以也夫。起。自布衣。兄弟三人更王。豈不賢乎哉。為之

流涕。而拜其二客。為都尉。發卒二千人。以王者禮葬田橫。正義曰。齊

田橫墓。在偃師西十五里。崔豹古今註云。雍露蒿里。送哀歌也。出田橫門人。橫自殺。門人傷之。而作悲歌。言人命如蓬上露。易晷滅。至李延年。乃分為二曲。雍露送王公貴人。蒿里送士大夫。庶人使挽柩者歌之。俗呼為挽歌。既葬。二客穿其冢旁。孔皆自剄。下從之。高帝聞之。

迺大驚。以田橫之客皆賢。吾聞其餘尚五百人在海中。使使召之。至。則聞田橫死。亦皆自殺。於是迺知田橫兄弟能得士也。

太史公曰。甚矣蒯通之謀。亂齊。驕淮陰。其卒亡此兩人。韓信。蒯

通者。善為長短說。索隱曰。言欲令此事長。則長說之。短則短說之。故戰國策亦名曰短長書是也。論戰國之權變。為

八十一首。漢書曰。號為雋永。永一作求。通善齊人安期生。安期生嘗干

索隱曰。書名也。雋音松穿反。

無不善畫者。楚能圖。ハ、
札記不無善畫。作ル、
三フ。索隱曰。各本
皆誤。ハ、地。曰。五百人
皆善畫。ニシテ、吾輩
ハ、國。ハ、以。其。國。ヲ
存スル。ハ、何。ヤ。ト
フ。國。ハ、以。其。國。ヲ
存スル。ハ、何。ヤ。ト
無不善畫者。ハ、何。ヤ。ト
ノ。所。謂。五百人。ヲ。以。テ、
劍。此。ニ。説。ル。能。ハ、ズ、
是。ナリ。

項羽。項羽不能用其策。已而項羽欲封此兩人。兩人終不肯受。亡去。田橫之高節。賓客慕義。而從橫死。豈非至賢。余因而列焉。無不善畫者。莫能圖何哉。

索隱曰。言天下非無善畫之人。而不知圖畫田橫及其黨。慕義死節之事。何故哉。蓋人不知畫此也。
索隱述贊曰。秦項之際。天下交兵。六國樹黨。自置豪英。田儼殞寇。立市相榮。楚封王假。齊破。鄒生兄弟。更王。海島傳聲。

攻鄴事見正德
下、札記鄴字、
云、官本鄴字、

清河之城明矣。今案續漢書鄴國志在濟陰宛胸也。○正義曰：擊破王武程處軍，案其時項羽未渡河北冀州信都縣東北五十里煮棗非矣。

於外黃攻鄒魯瑕丘薛。正義曰：兗州縣在州東南六十二里魯兗州曲阜縣瑕丘。兗州縣薛在徐州滕縣界。項羽敗漢

王於彭城。盡復取魯梁地。噲還至滎陽益食平陰二千戶。正義曰：平陰故城在濟陽東北五里。

以將軍守廣武。一歲項羽引而東。從高祖擊項籍。下

陽夏。正義曰：夏音假。陳州大康縣。虜楚周將軍卒四千人。圍項籍於陳。正義曰：大破

之屠胡陵。正義曰：在兗州南。項籍既死。漢王為帝。以噲堅守。戰有功。益食

八百戶。從高帝攻反燕王臧荼。虜荼。定燕地。楚王韓信反。噲從

至。陳取信定楚。正義曰：徐州。更賜爵列侯。與諸侯剖符。世世勿絕。食舞

陽號為舞陽侯。除前所食。以將軍從高祖攻反韓王信於代。自

霍人以往。正義曰：先累反。又蘇果反。又山竽反。杜預云：霍人晉邑也。霍人當作霍。地理志云：後人縣屬太原郡。括地志云：後人故城在代州繁峙縣界也。至雲

中。正義曰：雲中郡縣皆朔州善陽縣。北三百八十里定襄故城是也。與絳侯等共定之。益食千五百戶。因

擊陳豨與曼丘臣軍戰。襄國。徐廣曰：曼一作寧字。正義曰：襄國邢州城。破柏人。正義曰：先登

降定清河常山。凡二十七縣。殘東垣。張晏曰：殘有所毀也。瓌曰：殘謂多所殺傷也。孟子曰：善義謂之殘。遷

為左丞相。破得綦母卬尹潘軍於無終廣昌。正義曰：在蔚州飛狐縣北七里。破豨別

將胡人王黃軍於代南。因擊韓信軍於參合。正義曰：在朔州定襄縣界。軍所將

卒斬韓信。破豨胡騎橫谷。正義曰：谷音欲蓋在代。斬將軍趙既。虜代丞相馮

梁守孫奮。大將王黃將軍太卜太僕解福等十人。正義曰：解福人姓名。與諸

將共定代鄉邑七十三。其後燕王盧縮反。噲以相國擊盧縮。破

其丞相抵薊南。索隱曰：抵音丁禮反。抵訓至。一云抵者丞相之名。定燕地。凡縣十八。鄉邑五十

一。益食邑千三百戶。定食舞陽五千四百戶。從斬首百七十六

將軍太卜太僕、札記、
太卜、疑、即下文太
僕、疑、即下文太
明、疑、即下文太
亦、疑、即下文太

級虜二百八十八人。別破軍七。下城五。定郡六。縣五十二。得丞相一人。將軍十二人。二千石已下至三百石十一人。噲以呂后女弟呂須為婦。生子伉。故其比諸將最親。先黥布反時。高祖嘗病甚。惡見人。臥禁中。詔戶者無得入。羣臣羣臣絳灌等莫敢入。十餘日。噲乃排闥直入。正義曰。隨宮中小門。大臣隨之。上獨枕一宦者臥。噲等見上流涕曰。始陛下與臣等起豐沛。定天下。何其壯也。今天下已定。又何憊也。且陛下病甚。大臣震恐。不見臣等計事。願獨與一宦者絕乎。且陛下獨不見趙高之事乎。高帝笑而起。其後盧縮反。高帝使噲以相國擊燕。是時高帝病甚。人有惡噲黨於呂氏。即上一日宮車晏駕。則噲欲以兵盡誅滅戚氏趙王如意。

之屬。高帝聞之大怒。乃使陳平載絳侯代將。而即軍中斬噲。陳平畏呂后。執噲詣長安。至則高祖已崩。呂后釋噲。使復爵邑。孝惠六年。樊噲卒。諡為武侯。子伉代侯。而伉母呂須亦為臨光侯。高后時。用事專權。大臣盡畏之。伉代侯九歲。高后崩。大臣誅諸呂。呂須媵屬。索隱曰。媵音奔。因誅伉。舞陽侯中絕數月。孝文帝既立。乃復封噲。他庶子市人為舞陽侯。復故爵邑。市人立二十九歲卒。諡為荒侯。子他廣代侯。六歲。侯家舍人得罪。他廣怨之。乃上書曰。荒侯市人病不能為人。正義曰。言不能行人道。令其夫人與其弟亂而生他廣。他廣實非荒侯子。不當代後。詔下吏。孝景中六年。他廣奪侯為庶人。國除。索隱曰。案漢書平帝元始二年。封噲玄孫之子章為舞陽侯。邑千戶。

曲周侯鄴商者。正義曰：故城在洛州。曲周西南十五里。高陽人。索隱曰：鄴音歷。高陽聚名。屬陳留。

陳勝起時，商聚少年，東西略人，得數千。沛公略地，至陳留六月

餘。徐廣曰：月表曰。二世元年九月沛公起兵。二世三年二月襲陳留，用鄴食其策，起兵至此。十九月矣。食其傳曰：既說高帝，已乃言其弟商使從沛公也。○索隱曰：事與鄴生傳及年表小不同。蓋史官異意也。○正義曰：徐注非也。言商先東西略得數千，此下凡用十一以字。

人及沛公略地，至陳留，商起兵，乃六月餘得四千人，以將軍從高祖也。商以將卒四千人，屬沛公於岐。

索隱曰：此地名關，蓋在河南陳留之界。○正義曰：高紀云：鄴食其說。鄴生傳云：沛公引兵隨之，乃下陳留，為廣陽君。言其弟鄴商使將數千人從沛公。西南略地。此傳云：屬沛公於岐，從攻長社。案紀傳此說較當，與陳留高陽相近也。從攻長

社，先登，賜爵，封信成君。從沛公攻緱氏，絕河津，破秦軍，洛陽東。

從攻下宛，穰，定十七縣，別將攻旬關。綱案：漢書音義曰：漢中句陽縣音詢。○索隱曰：案在漢中句陽縣，旬水上。

之。定漢中，項羽滅秦，立沛公為漢王，漢王賜商爵信成君，以將

軍為隴西都尉，別將定北地上郡。正義曰：北地，寧州上郡。鄜州。破雍將軍烏氏。

案：綱

漢王賜爵信成君，札
經錢石云：魏出
烏氏，札記形氏二作，
云：案隴本城，各本烏
二闕入。

音支。○索隱曰：烏音於然。反氏音支。縣名，屬安定。漢書云：破章邯別將也。○正義曰：縣在經州安定縣東四十里。周類軍，枸邑。案：隴曰：枸邑在

右扶風。蘇駟軍於泥陽。徐廣曰：駟一作駟。○索隱曰：北地縣名。駟者龍馬也。○正義

曰：故城在寧州羅川縣北三十一里。泥谷水，源出羅川縣東。北泥陽源側有泉於泥中潛流，二十餘步而流。入泥谷，又有泥陽澗，在縣東北四十里。賜食邑武成六千戶。正義曰：縣在華

里。以隴西都尉從擊項籍軍。五月，出鉅野，與鍾離昧戰，疾鬪，受

梁相國印，益食邑四千戶。以梁相國將從擊項羽，二歲。三月，攻

胡陵，項羽既已死，漢王為帝，其秋，燕王臧荼反，商以將軍從擊

荼，戰龍脫。徐廣曰：在燕趙之界。駢案：漢書音義曰：地名。○索隱曰：其地，關。先登陷陣，破荼軍，易下。正義曰：易

卻敵，遷為右丞相，賜爵列侯，與諸侯剖符，世世勿絕。食邑，涿五

千戶。正義曰：涿，幽州涿州。號曰涿侯。以右丞相別定上谷。正義曰：上谷，涿州。因攻代，受趙相

國印，以右丞相趙相國，別與絳侯等定代，鴈門，得代丞相程縱。

商以將軍從擊秦龍脫
注索隱曰：其地，關。錢大
昕曰：趙世家成王十
九年，龍脫，皆門，龍脫，
以テ燕二與，龍脫，ハ
即龍充ナリ，脫亦充音
アリ。

守相郭同將軍已下至六百石十九人還以將軍爲太上皇衛一歲七月以右丞相擊陳豨殘東垣又以右丞相從高帝擊黥布攻其前拒徐廣曰一作和黈謂拒方陳拒音矩○索隱曰拒音巨鄒氏引左傳有左拒右拒徐云一作和利軍門也漢書作前垣不願以爲攻其壁壘之垣也李奇以爲前鋒堅後微功陷兩陳得以破布軍更食曲周五千一百戶除前所食後微功凡別破軍三降定郡六縣七十三得丞相守相大將各一人小將二人二千石以下至六百石十九人商事孝惠高后時商病不治文穎曰不能治官事其子寄字況索隱曰鄒寄字也鄒氏本作兄亦音況與呂祿善及高后崩大臣欲誅諸呂呂祿爲將軍軍於北軍太尉勃不得入北軍於是乃使人劫鄒商令其子況詳見呂后紀給呂祿索隱曰給欺也詐也音待呂祿信之故與出游而太尉勃乃得入據北軍遂誅諸呂是歲商卒諡爲

六十四

天下稱鄒況賣交也鄒實曰國之亂トナス、則朋友ヲ輕ト爲ス、是故ニ寄、韓彭ヲ給カザレバ、即北軍入ルベカラザルナリ、鄒在ノ節、當ニ交ヲ賣ルヲ以テ盛ト爲スベシ、賣テ取リ取ル、猶將ニ之ヲ取ヘントス、況一ノ舉以テ漢ノ社稷ヲ定ムルヲ

爲太常準法國除、札記云、志疑云、七字後入ノ字増リナ。

景侯子寄代侯天下稱鄒況賣交也班固曰夫賣交者謂見利而忘義也若寄父爲功臣而又執劫雖灌呂祿以安社稷誰存君親可也孝景前三年吳楚齊趙反上以寄爲將軍圍趙城十月不能下得俞侯欒布自平齊來裴駰曰俞音舒○索隱曰俞音飲縣名又音輸在河東乃下趙城滅趙王自殺除國孝景中二年寄欲取平原君爲夫人蘇林曰景帝王皇后母戚兒也景帝怒下寄吏有罪奪侯景帝乃以商他子堅封爲繆侯徐廣曰繆者更封邑名諡曰靖○續鄒氏後繆靖侯卒子康侯遂成立遂成卒子懷侯世宗立徐廣曰世一作他世宗卒子侯終根立爲太常坐法國除

汝陰侯夏侯嬰正義曰汝陰即今陽城沛人也爲沛廢司御索隱曰案楚漢春秋云滕公爲御也每送使客還過沛泗上亭與高祖語未嘗不移日也嬰已而試補

嬰之徒欲實報所曰、
之ヲ監スハ、己ニ其傷
ケザルヲ望ムルナリ
故又謂フ、故ニ嬰
坐獄マツレ、且降スル
ケタル也。注明テ獄ノ

降泗水監平ハ、
降ハ之ヲ監スナリ、
嬰ト何ト、或兵ヲ用
ヒ、或ハ之ヲ招降スル
ナリ、嬰既走ニ非ズ。

以兵車趣攻疾ハ、
即古曰趣、
次下亦同、
李軍從ト首ヲ凡五、
四、以兵車趣ト首ヲ凡
三、爲太僕及以太僕ト
首ヲ凡十、傳意正ニ嬰
太僕ヲ以テ其身ヲ其兵
車ヲ以テ趣、
元子代也。平城ノ圍ヲ
出テ、
清人ヲ以テ迎ヘ、
其所ニ在ルヲ見ル、
眞ニ大僕ナリ。

面雍樹乃種ハ、
日、
之ヲ抱持ス、
而巳ニ背カシ、
而之ヲ抱持ス、以テ

縣吏與高祖相愛。高祖戲而傷嬰，人有告高祖。章昭曰：告白也。高祖
時爲亭長，重坐傷人。如淳曰：爲吏傷人，其罪重也。自告不傷人，○索隱曰：案
晉灼云：獄結竟呼囚鞠語罪狀。嬰證之，後獄覆。索隱曰：案章昭云：高帝自言不
囚若稱枉，欲乞鞠者許之也。嬰證之，後獄覆。傷嬰嬰證之是獄辭翻覆也。嬰坐
高祖繫歲餘，掠笞數百。終以是脫。高祖之初與徒屬欲攻
沛也。嬰時以縣令史爲高祖使，上降沛一日。正義曰：上爲于僞反，使所
迎高。高祖爲沛公，賜嬰爵七大夫，以爲太僕。從攻胡陵，嬰與蕭
何降泗水監平。張晏曰：胡陵，平所止縣。何嘗給之，故與降也。平以胡陵降，賜嬰爵五大夫。從
擊秦軍，碭東攻濟陽，下戶牖，破李由軍，雍丘下。以兵車趣攻戰
疾，賜爵執帛。常以太僕奉車，從擊章邯軍，東阿濮陽下。以兵車
趣攻戰疾，破之。賜爵執珪，復常奉車，從擊趙賁軍，開封。楊熊軍

曲遇。嬰從捕虜六十八人，降卒八百五十人，得印一匱。索隱曰：案
匣也。謂得其時。因復常奉車，從擊秦軍，雒陽東。以兵車趣攻戰疾，賜
爵封，轉爲滕公。徐廣曰：令也。軀案鄧展曰：今沛郡公丘漢書曰：嬰爲滕令奉車，故
復奉車。從攻南陽，戰於藍田芷陽。索隱曰：芷音止地名。今霸陵也在京兆縣。以兵車趣攻
戰疾，至霸上。項羽至，滅秦，立沛公爲漢王。漢王賜嬰爵列侯，號
昭平侯。復爲太僕，從入蜀漢，還定三秦。從擊項籍，至彭城。項羽
大破漢軍，漢王敗不利，馳去。見孝惠，魯元載之。漢王急，馬罷，虜
在後，常蹶兩兒欲弄之。索隱曰：蹶音厥。又音巨月反。一音居衛反。漢書作蹶音撥。嬰常收，竟載之。徐
行，面雍樹，乃馳。服虔曰：高祖欲斬之，故嬰圍樹走也。面，向樹也。應劭曰：古者皆立乘
雍樹，而者大人以面首向臨之，小兒抱大人頭，似懸樹也。○索隱曰：
蘇林與晉灼皆同，今則無其言，或當時有此說，其應服之說蓋確也。漢王怒，行欲斬

聽スルヲ言フ、服樹チ
國ヲ走ルト言フ、魏尤
モ強ナリ、漢讀ア塊ト
曰フ。
注蘇林曰南陽、礼記云、
考禮云、漢書注南方二
作ル、按ズルニ、秦靈
引ク如キ、則モト南
方ニ作ル。
食新陽注漢書、礼記
云、志禮云、水經注、
沂陽ニ作ル。

嬰固徐行ハ、頗師古曰、
故フニ阻礙ヲ示ス、士
卒ノ心ヲ固クシ、而
敵ヲシテ酒ヲザラシメ
ル所以ナリ。

嬰者十餘卒得脫而致孝惠魯元於豐漢王既至滎陽收散兵
復振賜嬰食祈陽徐廣曰祈一作沂。○索隱曰蓋復常奉車從擊項籍追
至陳卒定楚至魯益食茲氏鄉名也漢書作沂楚無其縣。索隱曰縣名也。地理志屬太原漢王立爲帝其秋燕王
臧荼反嬰以太僕從擊荼明年從至陳取楚王信更食汝陰剖
符世世勿絕以太僕從擊代至武泉雲中○正義曰二縣在朔州善陽
縣益食千戶因從擊韓信軍胡騎晉陽旁大破之追北至平城
爲胡所圍七日不得通高帝使使厚遺闕氏冒頓開圍一角高
帝出欲馳嬰固徐行弩皆持滿外向卒得脫益食嬰細陽千戶
索隱曰地理志屬汝南復以太僕從擊胡騎句注北大破之以太僕擊胡騎
平城南三陷陳功爲多賜所奪邑五百戶○案漢書音義曰時有罪過奪邑者以賜之以太

六六八

嬰縣北第一ハ、漢
書縣字ナシ、頗師古曰、
北第ハ、北門ニ近キ、
第ナリ、嬰北第一ナリ。

僕擊陳豨黥布軍陷陳卻敵益食千戶定食汝陰六千九百戶
除前所食嬰自上初起沛常爲太僕竟高祖崩以太僕事孝惠
孝惠帝及高后德嬰之脫孝惠魯元於下邑之間也正義曰宋州碭山縣乃
賜嬰縣北第一曰近我以尊異之孝惠帝崩以太僕事高后
高后崩代王之來嬰以太僕與東牟侯入清宮廢少帝以天子
法駕迎代王代邸與大臣共立爲孝文皇帝復爲太僕八歲卒
諡爲文侯索隱曰案姚氏云三輔故事曰滕文公墓在飲馬橋東大道南俗謂之馬家
鬱鬱三千年見白日呼博物志曰公卿送嬰葬至東都門外馬不行踟地悲鳴得石室有銘曰佳城
嗟滕公居此室万葬之子夷侯竈立七年卒子共侯賜立三十一年卒
子侯頗尚平陽公主立十九歲元鼎二年坐與父御婢姦罪自
殺國除

及秦軍於紅里疾鬪，漢力疾戰，所將平受罷別擊，及已生得，身生得，以，眼口，爲，然，亦從字法以字法，其言，冠，錯，顛倒，變化，酒，ラ，レ，疾，疾，力，へ，類，古，日，力，ナリ。

穎陰侯灌嬰者。正義曰：今陳州南潁縣西。北十三里穎陰故城是。睢陽，賈，繪，者，也。正義曰：宋州宋城縣。高祖之爲沛公，略地至雍丘，下章邯，敗殺項梁，而沛公還軍於碭。嬰初以中涓從擊破東郡尉於成武，及秦軍於紅里，疾鬪，賜爵七大夫。從攻秦軍，亳南開封曲遇戰，疾力。服虔曰：疾攻之。賜爵執帛，號宣陵君。從攻陽武以西至雒陽，破秦軍，尸北北絕河津。南破，南陽守騎，陽城東遂定南陽郡。西入武關，戰於藍田，疾力至霸上，賜爵執珪，號昌文君。索隱曰：亦稱宣陵君。皆非爵士，加美號耳。沛公立爲漢王，拜嬰爲郎中。從入漢中。十月拜爲中謁者。從還定三秦。下櫟陽，降塞王，還圍章邯於廢丘，未拔。從東出臨晉關，擊降殷王，定其地。擊項羽將龍且，魏相項他軍，定陶南，疾戰破之。賜嬰爵列侯，號昌文侯。食杜

降下碭以迄彭城，漢書以下北字ナリ。

攻下黃，漢書攻下外黃，作ハ。

可爲車騎將者，札記云，車字ナリ，漢書車字ナシ。

平鄉。索隱曰：謂食杜縣之平鄉。復以中謁者從降下碭，以至彭城，項羽擊大破漢王。漢王遁而西，嬰從還軍於雍丘。王武魏公申徒反。張晏曰：秦將降爲公。今從擊破之，攻下黃。正義曰：故城在曹州考城縣東二十四里。西收兵，軍於滎陽。楚騎來衆，漢王乃擇軍中可爲車騎將者，皆推故秦騎士重泉人李必駱甲習騎兵。徐廣曰：重泉屬馮翊。○正義曰：故城在同州蒲城縣東南四十五里。今爲校尉，可爲騎將。索隱曰：必甲二人名也。姚氏案漢紀，桓帝延熹三年追錄高祖功臣，李必後黃門丞李遂爲督陽關內侯也。漢王欲拜之，必甲曰：臣故秦民，恐軍不信臣，臣願得大王左右善騎者傅之。如淳曰：傅音附，猶言隨從者。灌嬰雖少，然數力戰，乃拜灌嬰爲中大夫，令李必駱甲爲左右校尉。將郎中騎兵，擊楚騎於滎陽東，大破之。凡六用空四字。受詔別擊楚軍後，絕其餉道，起陽武至襄邑，擊項羽之將項冠於魯下，破之。凡九用所傳字。所將卒斬右

司馬騎將各一人。張晏曰：主右方之馬左亦如之。擊破柘公王武軍於燕西。徐廣曰：柘隱曰：案武柘縣令也。○正義曰：柘縣。所將卒斬樓煩將五人。李奇曰：樓煩縣名其淮陽國案滑州昨城本南燕國也。人為樓煩取其美稱未必樓煩人也。張晏曰：樓煩胡國名。連尹一人。張晏曰：大夫楚官。○索隱曰：案左傳莫敖連尹宮殿尹是。擊王武別將桓嬰、白馬、下破之。所將卒斬都尉一人，以騎渡河。南送漢王，到雒陽。使北迎相國韓信軍於邯鄲，還至敖倉，嬰遷為御史大夫。三年，以列侯食邑杜平鄉。以御史大夫受詔將郎中騎兵，東屬相國韓信，擊破齊軍於歷下。所將卒虜車騎將軍華毋傷及將吏四十六人，降下臨菑，得齊守相田光，追齊相田橫至贏博，破其騎。所將卒斬騎將一人，生得騎將四人，攻下贏博，破齊將軍田吸於千乘。所將卒斬吸，東從韓信攻龍且，留公於高密。索隱曰：田

使北迎相國，漢書使之從二作。

或置田公於高密，札記公下旋字アリ，云中

韓涇本、吳校金被此ノ如シ、宋本王柯校宅旋字ナシ、秦本旋字ナシ、注同、於

攻博陽、札記志隱云、攻ハ乃傳ノ誤ナリ。

縣令稱公，旋其名也。高密縣名，在北海。漢書作假密假密地名，不知所在，未知孰是耳。○正義曰：留縣在沛郡，公其令。卒斬龍且。文穎曰：生得右司馬連尹各一人，樓煩將十人，身生得亞將周蘭，齊地已定。韓信自立為齊王，使嬰別將擊楚將公杲於魯北，破之。轉南破薛郡長身虜騎將一人，攻博陽，前至下相，以東南，僮取慮。徐索隱曰：取音秋，慮音閏，取又音趨。度淮盡降其城邑，至廣陵。綱案：漢書音義曰：住僮，徐是二縣，取慮是一縣名。項羽使項聲、薛公、郟公復定淮北，嬰度淮，北城邑，乃至廣陵，皆平定也。項羽使項聲、薛公、郟公復定淮北，嬰度淮，北擊破項聲、郟公、下邳。正義曰：郟音談，東海縣。斬薛公，下下邳，擊破楚騎於平陽。索隱曰：小顏云：此平陽在東郡地理志，太山有東平陽縣。○正義曰：南平陽縣城，今兗州鄒縣也。在兗州東南六十二里。案鄒縣去徐州滕縣界四十餘里也。遂降彭城，虜柱國項佗，降留薛沛、鄒、蕭，相攻苦譙。正義曰：戶焦二音。復得亞將周蘭，與漢王會頤鄉。徐廣曰：苦縣有頤鄉。○索隱曰：音以之反。從擊項籍軍於陳，下破之所

復得亞將周蘭、漢書周蘭二字ナシ、按二上文生得亞將周蘭アリ、漢書是ナリ。

將卒斬樓煩將二人虜騎將八人賜益食邑二千五百戶項籍敗垓下去也。嬰以御史大夫受詔將車騎別追項籍至東城。正

曰縣在濠州定遠縣東南五十五里破之所將卒五人共斬項籍皆賜爵列侯降左右

司馬各一人卒萬二千人盡得其軍將吏下東城歷陽。正義曰和

即今州渡江破吳郡長吳下。如淳曰雄長之長也。○索隱曰下有郡守此長即令

城是也。吳郡長即吳郡守也。一破吳郡得吳守遂定吳豫章會稽郡還定淮

北凡五十二縣漢王立為皇帝賜益嬰邑三千戶其秋以車騎

將軍從擊破燕王臧荼明年從至陳取楚王信還剖符世世勿

絕食穎陰二千五百戶號曰穎陰侯以車騎將軍從擊反韓王

信於代至馬邑受詔別降樓煩以北六縣斬代左相破胡騎於

武泉北。正義曰縣名在朔州北二百二十里復從擊韓信胡騎晉陽下所將卒斬胡白

題將一人。服虔曰胡名也受詔并將燕趙齊梁楚車騎擊破胡騎於磬石

服虔曰磬音香沙。○索隱曰劉氏音千臥反至平城為胡所圍從還軍東垣從擊陳豨受詔

別攻豨丞相侯敞軍曲逆下破之卒斬敞及特將五人。文穎曰特

一之特也降曲逆盧奴上曲陽安國安平。正義曰盧奴定州安喜縣是曲陽定州曲陽縣是安平定州安平縣攻下東

垣黥布反以車騎將軍先出攻布別將於相破之斬亞將樓煩

將三人又進擊破布上柱國軍及大司馬軍又進破布別將肥

誅。徐廣曰一作錄。○索隱曰案漢書作肥誅嬰身生得左司馬一人所將卒斬其小將十

人追北至淮上益食二千五百戶布已破高帝歸定令嬰食穎陰五千戶除前所食邑凡從得二千石二人別破軍十六降城

卒斬敞及特將五人。斬
胡白、卒、將、半、少
所、卒、謂、特、將、半、少
獨、半、特、將、半、少

正長安爲國。漢書安下
以字アリ。

四十六。定國。一郡二縣五十二。得將軍二人。柱國相國各一人。二千石十人。嬰自破布歸。高帝崩。嬰以列侯事孝惠帝及呂太后。太后崩。呂祿等以趙王自置爲將軍。軍長安。爲亂。齊哀王聞之。舉兵西。且入誅。不當爲王者。上將軍呂祿等聞之。乃遣嬰爲大將。將軍往擊之。嬰行至滎陽。乃與絳侯等謀。因屯兵滎陽。風齊王以誅呂氏事。正義曰。風方風反。齊兵止不前。絳侯等既誅諸呂。齊王罷兵歸。嬰亦罷兵。自滎陽歸。與絳侯陳平共立代王爲孝文皇帝。孝文皇帝於是益封嬰三千戶。賜黃金千斤。拜爲太尉。三歲絳侯勃免相。就國。嬰爲丞相。罷太尉官。是歲匈奴大入北地上郡。令丞相嬰將騎八萬五千往擊匈奴。匈奴去。濟北王反。詔乃

六七六

六七七

平侯阿。札記。志疑
云。阿乃何ノ誤ナリ。
小。以。嬰。灌。夫。傳。漢書
通鑑傳。故。二。何。二。作。ル。
漢。表。ナ。テ。ズ。ル。ニ。亦。何
二。作。ル。然。ル。ニ。此。傳。各
本。當。阿。二。作。ル。結。之。之
二。仍。ル。

罷嬰之兵。後歲餘。嬰以丞相卒。諡曰懿侯。子平侯阿代侯。二十八年卒。子彊代侯。十二年。彊有罪。絕。二歲。元光三年。天子封灌嬰孫賢爲臨汝侯。續灌氏後。八歲。坐行賊。有罪國除。

太史公曰。吾適豐沛。問其遺老。觀故蕭曹樊噲滕公之家。及其素異哉。所聞。方其鼓刀屠狗。賣繪之時。豈自知附驥之尾。垂名漢庭。德流子孫哉。余與他廣通。爲言高祖功臣之興時。若此云。索隱曰。案他廣樊噲之孫。後失封。蓋嘗許太史公序蕭曹樊滕之功。委具。則從他廣而得其事。故備也。

索隱通贊曰。聖賢影響。雲蒸龍變。屠狗販繪。攻城野戰。扶義西上。受封南面。酈況賈交。舞陽內援。滕灌更王。葉葉繁衍。

柯維騏曰。太史公各傳文法各異。噲傳疊用先登字及斬首若干級字。商傳則疊用以字。夏侯嬰傳則疊用兵車趣攻疾戰字。灌嬰傳則疊用疾力疾戰字。斯子長文章之妙者也。

案陳通贊更王。札記云
誤ナリ。

史記評林卷之九十五終

六七八

六七九

史記評林卷之九十六

張丞相列傳第三十六

張丞相列傳、方苞曰、漢初文臣、御史大夫ト、丞相ト、並ニ重シ、張丞相、申屠嘉、兩職ヲ兼テ、故ニ合稱、其後御史大夫ト爲ル者五人、具ニ歷叙アリ、故ニ之ヲ列叙ス、丞相ト爲ル者六人、皆發明スル所ナシ、故ニ其名ヲ總記ル者ノ戒トナス。

張丞相蒼者陽武人也。案隱曰案縣名屬陳留。正義曰鄭州陽武縣也。好書律曆。秦時爲御史。

主柱下方書。如淳曰方版也。謂書事在版上者也。案以上置柱下史者爲御史。主其事。或曰四方文書。○案隱曰周秦皆有柱下史。謂御史也。所掌及侍立恆在

殿柱之下。故老聃爲周柱下史。今若在秦代亦居斯職。方書者方板謂小事書之於板也。或曰主四方文書也。姚氏以爲下云明習天下圖書計籍。主部上計。則方爲四方文書是也。

有罪亡歸。及沛公略地過陽武。蒼以客從。攻南陽。蒼坐法當斬。

解衣伏質。案隱曰小顏云質鎗也。身長大肥白如瓠。時王陵見而怪其美士。

乃言沛公赦勿斬。遂從西入武關。至咸陽。沛公立爲漢王。入漢

中。還定三秦。陳餘擊走常山王張耳。耳歸漢。漢乃以張蒼爲常

遷爲計相、顧謂古曰、
亦謂計相主也、故二
更以列侯爲主計也、顧
謂古曰、計相ノ名ヲ去
更メテ主計ト號ス。

十四年遷爲御史大夫、
方苞曰、漢興、御史

大夫ト爲シ者五人、皆
張敖ノ前ニ在リ、張敖
既ニ相トシテ、而ア中丞
南ニ相トシテ、故ニ張敖
十四年遷爲御史大夫
ナリ、然レテ後五人ノ
相トシテ、而主計ノ分
別然リ、蓋以御史相
ト爲ル者、名跡顯也、
故ニ復言フズ、蓋以後
丞相ト爲ル者六人、別
ニ其名氏ヲ最シ、而テ
從從員ニ稱アルヲ以テ
之ヲ散フ、別ニ見ルヲ
ノ餘ハ列モズ、皆職法
ナリ、按ニ按ニ、蓋ナ
封爲高景侯、徐廣曰元
年、札記九年、本元二
年、毛本九、本元二

山守從淮陰侯擊趙。蒼得陳餘。趙地已平。漢王以蒼爲代相。備邊寇。已而徙爲趙相。趙王耳卒。相趙王敖復徙相。代王燕王臧荼反。高祖往擊之。蒼以代相從。攻臧荼有功。以六年中封爲北平侯。食邑千二百戶。遷爲計相。文穎曰。能計。故號曰計相。一月更以列侯爲主計。四歲。張晏曰。以列侯典校郡國簿書。如淳曰。以其所主。因以爲官號。與計相同。時所卒立。非久施也。○索隱曰。謂改計相之名。更名主計也。此蓋權時立號。是時蕭何爲相國。而張蒼乃自秦時爲柱下史。明習天下圖書計籍。蒼又善用算律曆。故令蒼以列侯居相府。領主郡國上計者。黥布反。亡漢立皇子長爲淮南王。而張蒼相之。十四年遷爲御史大夫。周昌者沛人也。其從兄曰周苛。秦時皆爲泗水卒史。及高祖起沛。擊破泗水守監。於是周昌周苛自卒。史從沛公。

六八〇

沛公以周昌爲職志。徐廣曰。主旗幟之屬。○索隱曰。官名也。職。主也。志。旗幟也。謂掌旗幟之官也。音昌志反。周苛爲客。張晏曰。爲帳下賓客。不掌官。從入關。破秦。沛公立爲漢王。以周苛爲御史大夫。周昌爲中尉。漢王四年。楚圍漢王。滎陽急。漢王遁出去。而使周苛守滎陽城。楚破滎陽城。欲令周苛將。苛罵曰。若趣降漢王。不然。今爲虜矣。項羽怒。亨周苛。徐廣曰。四年三月也。於是乃拜周昌爲御史大夫。常從擊破項籍。以六年中與蕭曹等俱封。封周昌爲汾陰侯。周苛子周成以父死事。封爲高景侯。徐廣曰。元年封。封三十九年。文帝後元四年謀反。死國除。昌爲人。彊力。敢直言。自蕭曹等皆卑下之。昌嘗燕時入奏事。關案。漢書音義曰。以上燕時入奏事。高帝方擁戚姬。昌還走。高帝逐得。騎周昌項問曰。我何如主也。昌仰曰。陛下卽桀紂之主也。於是上笑之。然尤憚周昌。及

如其不可正禮日期
禮記期星三作也考禮
改之為期星三作也考禮
期星三作也考禮
期星三作也考禮
期星三作也考禮
期星三作也考禮
期星三作也考禮
期星三作也考禮
期星三作也考禮
期星三作也考禮

且代君之位ハ茅坤曰
方與何ヲ以テ堯ノ能ク
昌ニ代ルヲ知ル必ク
答テ與ニ謀テ而テ逆
メ之ヲ知ルナリ

趙堯進問ハ禮記云
志疑云宋謂曰問堯
四ニ作ル按ニ漢書
開ニ作ル漢書御
與呂后有御取漢書御
與呂后有御取漢書御

其人有堅忍質直禮記
有字ナシ云フ人雖志
字ナシ云フ人雖志
字ナシ云フ人雖志
字ナシ云フ人雖志
字ナシ云フ人雖志
字ナシ云フ人雖志
字ナシ云フ人雖志
字ナシ云フ人雖志
字ナシ云フ人雖志
字ナシ云フ人雖志

如其左遷注索隱不得下
生雖王禮記王上侯字
アリ云フ中統游本侯
字アリ

帝欲廢太子而立戚姬子如意為太子大臣固爭之莫能得上
以留侯策即止而周昌廷爭之彊上問其說昌為人吃又盛怒
曰臣口不能言然臣期期知其不可正義曰期以口吃每語故重言期也陛下雖欲
廢太子臣期期不奉詔上欣然而笑既罷呂后側耳於東廂聽
章昭曰殿東堂也○索隱曰小顏云正
寢之東西室皆號曰箱言似箱篋之形見周昌為詭謝曰微君太子幾廢
曰幾鉅是後戚姬子如意為趙王年十歲高祖憂即萬歲之後不
全也趙堯年少為符璽御史趙人方與公謂御史大夫周昌曰
孟康曰方與縣名公其
號環曰方與縣令也君之史趙堯年雖少然奇才也君必異之是且
代君之位周昌笑曰堯年少刀筆吏耳正義曰古用簡牘書有錯謬以刀削之故曰刀筆吏何能
至是乎居頃之趙堯侍高祖高祖獨心不樂悲歌羣臣不知上

之所以然趙堯進請問曰陛下所為不樂非為趙王年少而戚
夫人與呂后有卻耶備萬歲之後而趙王不能自全乎高祖曰
然吾私憂之不知所出索隱曰謂不知其計所出也堯曰陛下獨宜為趙王置貴
疆相及呂后太子羣臣素所敬憚乃可高祖曰然吾念之欲如
是而羣臣誰可者堯曰御史大夫周昌其人有堅忍質直且自
呂后太子及大臣皆素敬憚之獨昌可高祖曰善於是乃召周
昌謂曰吾欲固煩公公彊為我相趙王正義曰桓譚新論云使周相趙不
昌謂曰吾欲固煩公公彊為我相趙王如使取呂后家女為妃令戚夫人
善事呂后則索隱曰諸侯王表有左官之律章昭以為
如意無驚也周昌泣曰臣初起從陛下陛下獨奈何中道而弄之
於諸侯乎高祖曰吾極知其左遷左猶下也禁不得下仕於諸王也然地道
尊右若貴左賤故謂貶然吾私憂趙王念非公無可者公不得已彊行
秩為左遷他皆類此

無以易堯ハ、假師古曰、
堯之字爲ス可シ、他人
勝フル能ハザルナリ、
フ、易ハ代ナリ。

於是徙御史大夫周昌爲趙相既行久之高祖持御史大夫印
有在也弄之曰誰可以爲御史大夫者熟視趙堯曰無以易堯遂拜趙
堯爲御史大夫徐廣曰堯亦前有軍功食邑及以御史大夫從擊
陳豨有功封爲江邑侯徐廣曰十一年高祖崩呂太后使使召趙王其相
周昌令王稱疾不行使者三反周昌固爲不遣趙王於是高后
患之乃使使召周昌周昌至謁高后高后怒而罵周昌曰爾不
知我之怨戚氏乎而不遣趙王何昌既徵高后使使召趙王趙
王果來至長安月餘飲藥而死周昌因謝病不朝見三歲而死
徐廣曰謚悼也○索隱曰漢書列傳及表咸言周昌謚悼章昭云或說惠非也漢書又曰傳子至孫意有罪國除景帝復封昌孫左車爲安陽侯有罪國除後五歲
曰高后高后聞御史大夫江邑侯趙堯高祖時定趙王如意之畫

三歲免注正其二過也
也札記二作札記

平陽侯曹窋ハ札記留
二作ル、云フ何漢書
不與大臣共誅札記云
與大臣共誅昭曰、後坐
事免ト。

乃抵堯罪。徐廣曰呂后元年國除以廣阿侯任敖爲御史大夫。

任敖者故沛獄吏高祖嘗辟吏。正義曰辟音避吏繫呂后遇之不謹任敖

素善高祖怒擊傷主呂后吏及高祖初起赦以容從爲御史守

豐二歲高祖立爲漢王東擊項籍赦遷爲上黨守陳豨反時赦

堅守封爲廣阿侯食千八百戶高后時爲御史大夫三歲免。徐廣

曰文帝二年任敖卒謚懿侯曾孫越人元鼎二年爲太常坐酒醴國除幽案漢書任敖孝文元

年薨徐隱也○索隱曰此徐氏據漢書爲記而誤云二年裴駘又引任安書證爲得其實○正

義曰按史記書表云孝文二年卒漢表又云封十九年卒計高祖十一年以平陽侯曹

窋爲御史大夫高后崩不與大臣共誅呂祿等免以淮南相張

蒼爲御史大夫蒼與絳侯等尊立代王爲孝文皇帝四年丞相

灌嬰卒張蒼爲丞相自漢興至孝文二十餘年會天下初定將

緒正律曆 漢書法、文類曰、緒、非、律、之、緒、緒、二、本、非、而、之、其、正、ス、ナ、リ、ア、

吹律調樂、入之音聲、及以比定律令、若百工天下作程品、札記云、西劉入、錢晉云、阮氏史漢、許氏史漢、方駕錄、此傳入、作、今本皆入、云、入、而、之、方苞、八、子、從、七、之、ヲ、解、シ、曰、比、ハ、刑、刑、ノ、比、例、ナ、リ、尙、書、曰、刑、ニ、上、下、比、罪、禮、記、ニ、必、察、小、大、之、比、以、成、之、漢、初、法、約、造、刑、ノ、省、也、蕭、何、律、未、詳、也、之、大、小、比、例、ナ、リ、之、下、大、小、比、例、ナ、リ、之、此、刑、罰、ノ、律、也、故、二、律、令、ト、曰、樂、書、律、ト、樂、書、ト、曰、若、律、吹、律、樂、器、ト、人、等、ト、曰、又、比、例、ナ、リ、刑、律、ト、定、又、百、工、爲、二、程、品、ト、立、フ、故、二、及、ト、若、ト

ノ、文、ヲ、以、テ、相、本、圖、ハ、其、三、事、タ、ル、ヲ、別、シ、所、以、ナ、ル、者、ハ、律、四、谷、以、定、相、比、シ、而、之、新、律、定、也、即、文、帝、十、三、年、張、蒼、造、欽、隨、シ、テ、律、ヲ、定、ム、ル、ヲ、謂、フ、事、ナ、リ、詳、ニ、漢、書、刑、法、志、二、見、

子類注一作觀禮記云、緒云、緒ハ乃觀ノ禮ナリ、
若子復長、札記云、御覽五百十九、史ナ引キ、若子復長八尺、二作、漢書同、同、張、今本、取、

以材官蹶張類同古曰、今ノ蹶、手ヲ以テ蹶ル

相公卿皆軍吏。張蒼爲計相時。緒正律曆。文類曰緒尋也。或曰緒業也。以高祖十月始至霸上。因故秦時本以十月爲歲首。弗革推五德之運。以爲漢當水德之時。尚黑如故。正義曰姚察云蒼是秦人猶用推五勝之法。以周赤鳥爲火。漢勝火以水也。吹律諷樂。入之音聲。及以比定律令。如淳曰比謂五音清濁各有所比也。以定十二月律之法。於樂官使長行之。瓊曰謂以比故取類律之法。今於樂官使長行之。瓊曰謂以比故取類律之法。今於樂官使長行之。瓊曰謂以比故取類律之法。今於樂官使長行之。若百工天下作程品。如淳曰若順也。百工爲器物皆有尺寸斤兩。皆使得宜。此之謂順。晉灼曰若預及之。至於爲丞相。卒就之。故漢家言律曆者。本之張蒼。蒼本好書。無所不觀。無所不通。而尤善律曆。綱案漢書曰蒼歷曆。張蒼德王陵。王陵者安國侯也。及蒼貴。常父事王陵。陵死後。蒼爲丞相。洗沐。常先朝。陵夫人上食。然後敢歸家。蒼爲丞相十餘年。魯人公孫臣上書言。漢土德時。其符有黃龍。當見。詔下其

議。張蒼張蒼以爲非。是罷之。其後黃龍見成紀。於是文帝召公孫臣。以爲博士。草土德之曆。制度更元年。張丞相由此自絀。謝病。稱老。蒼任人爲中候。張晏曰所選保任者也。瓊曰中候官名。大爲姦利。上以讓蒼。蒼遂病。免。蒼爲丞相十五歲。而免。孝景前五年。蒼卒。諡爲文侯。子康代侯。八年卒。子類。徐廣曰一作類音曉。代爲侯。八年坐臨諸侯。喪後就位。不敬。國除。索隱曰案漢書云。傅子至孫類有罪。國除。今此文康代八年卒。子類代侯。則類即類與漢書略同也。初。張蒼父長不滿五尺。及生蒼。蒼長八尺餘。爲侯。丞相。蒼子復長。及孫類。長六尺餘。坐法失侯。蒼之免相。後老。口中無齒。食乳。女子爲乳母。妻妾以百數。嘗孕者不復幸。蒼年百有餘歲而卒。綱案申屠丞相嘉者。梁人。以材官蹶張。徐廣曰勇健有材力。開張。綱案如淳曰。材官之多力。能脚蹶。強弩張之。故曰蹶張。律

合之張丞相曰、是ナ
以テ國々者ナ張丞相曰
フ。

餘見無可者、張丞相曰、
見ハ見者、人ナ謂フ。

文帝嘗燕飲ノ嘗ハ、漢
帝嘗ニ作ル。

有張士。○索隱曰、孟康云、主張強
弩、厥其月反、漢令曰、張士百人也。
從高帝擊項籍、遷爲隊率。索隱曰、從擊
所類反。從擊
黥布軍、爲都尉、孝惠時、爲淮陽守、孝文帝元年、舉故吏士二千
石、從高皇帝者、悉以爲關內侯、食邑二十四人、而申屠嘉、食邑
五百戶、張蒼已爲丞相、嘉遷爲御史大夫、張蒼免相。徐廣曰、後
二年八月。孝
文帝欲用、皇后弟竇廣國爲丞相、曰、恐天下以吾私廣國、廣國
賢、有行、故欲相之、念久之、不可、而高帝時、大臣又皆多死、餘見
無可者、乃以御史大夫嘉爲丞相、因故邑封爲故安侯。正義曰、今
陽城中東南
剛故城是也。嘉爲人廉直、門不受私謁、是時太中大夫鄧通方隆
愛幸、賞賜累巨萬、文帝嘗燕飲通家、其寵如是、是時丞相入朝
而通居上、傍有怠慢之禮、丞相奏事畢、因言曰、陛下愛幸臣、則

六八九

吾輩之ハ、如師古曰、
私ニ之ハ、戒セント欲
スルヲ指フ。

富貴之、至於朝廷之禮、不可以不肅、上曰、君勿言、吾私之、罷朝
坐府中、嘉爲檄、召鄧通詣丞相府、不來、且斬、通恐、入言文帝、
文帝曰、汝第往、吾今使人召若、通至丞相府、免冠徒跣、頓首謝、
嘉坐自如、故不爲禮、責曰、夫朝廷者、高皇帝之朝廷也、通小臣、
戲殿上、大不敬、當斬、吏今行斬之。如淳曰、嘉語其吏
曰、今便行斬之。通頓首、首盡出
血、不解、文帝度丞相已困、通使使者持節召通、而謝丞相曰、此
吾弄臣、君釋之、鄧通既至、爲文帝泣曰、丞相幾殺臣、嘉爲丞相
五歲、孝文帝崩、孝景帝卽位、二年、罷錯爲內史、貴幸用事、諸法
令多所請、變更議、以謫罰、侵削諸侯、而丞相嘉自絀、所言不用、
疾錯、錯爲內史、門東出、不便更穿、一門南出、南出者、太上皇廟

他官居其中注漢書尤
官禮記禮志云尤ト
它ト形近シテ誤ス
後人又改テ他ト爲スナ

堙垣。服虔曰宮外垣也如淳曰堙音畏傾之傾。○索隱曰傾音乃喚反韋昭音而緣反又音輓。嘉聞之欲因此以法錯。擅

穿宗廟垣爲門。奏請誅錯。錯客有語錯。錯恐夜入宮上謁。自歸

景帝。正義曰自歸帝首露。至朝丞相奏請誅內史錯。景帝曰錯所穿非真廟

垣乃外堙垣。故他官居其中。索隱曰漢書作尤官爲散官。且又我使爲之。錯無罪。

罷朝。嘉謂長史曰吾悔不先斬錯。乃先請之爲錯所賣。至舍。因

歐血而死。謚爲節侯。子共侯蔑代。三年卒。子侯去病代。三十一

年卒。徐廣曰一本無侯去病而云共侯。蔑三十三年子與改封靖安侯。子侯臾代。六歲坐爲九江太守。受

故官。遂有罪國除。自申屠嘉死之後。景帝時開封侯陶青。桃侯

劉舍爲丞相。徐廣曰陶青高祖功臣陶舍之子也。蓋夷劉舍。本項氏親也。賜姓劉氏。父襄佐高祖有功。蓋哀侯。及今上時。柏至

侯許昌。徐廣曰高祖功臣許溫之孫。蓋哀侯。平棘侯薛澤。徐廣曰高祖功臣廣平侯薛歐之孫。平棘節侯薛澤。武彊侯莊

青翟。徐廣曰高祖功臣莊不識之孫。高陵侯趙周等爲丞相。徐廣曰周父夷吾爲楚王戊太傅諫爭而死。皆以列

侯。繼嗣。妮妮。徐廣曰妮音七角反一作爾。○索隱曰妮音側角反小顏云持整之貌。漢書作躡躡音初覺反。斷音都亂反。義如尙書斷斷。猶無他技。廉

謹爲丞相。備員而已。無所能發明功名。有著於當世者。

太史公曰。張蒼文學律曆。爲漢名相。而絀賈生公孫臣等。言正

朔服色事。而不遵明用秦之顛頊曆。何哉。張晏曰不考經典。專用顛頊曆何哉。周昌木

彊人也。正義曰言其質直。掘強如木石焉。任敖以舊德用。張晏曰謂傷辱呂后吏。申屠嘉可謂剛

毅守節矣。然無術學。殆與蕭曹陳平異矣。

孝武時丞相多甚。不記莫錄其行起居狀略。且紀征和以來。

有車丞相長陵人也。名千。卒而有章丞相代。索隱曰自車千秋已下皆褚先生等所記。然丞相傳都省略。漢書則備。章丞相賢者魯人也。以讀書術爲吏。至大鴻臚。有

略漢書則備。

孝武時丞相多甚云云
後略略曰此後重丞
相者丞相多甚云云
公原交三北不遊翼
征和以後相爲長者
增記。車千秋外
章實。賢相。陳吉。黃

而不遵明用秦之顛頊曆
ハ、禮記禮志云尤ト
スベカリス、漢書改送
用秦之顛頊曆ニ作ル。

讀アリ、皆宣帝ノ時ナリ、宣帝ノ匡衡ハ、則元帝ノ時ナリ、此皆少孫別ニ傳開アリ、各傳ニ後ニ綴ルナリ、按三孫先生、名ハ少孫、沛人、漢元帝成帝間ノ人ナリ。

相工相之。當至丞相。有男四人。使相工相之。至第二子。其名玄成。相工曰。此子貴。當封。韋丞相言曰。我即爲丞相。有長子。是安從得之。後竟爲丞相。病死。而長子有罪。論不得嗣。而立玄成。玄成時伴狂不肯立。竟立之。有讓國之名。後坐騎至廟不敬。有詔奪爵一級。爲關內侯。失列侯。得食其故國邑。韋丞相卒。有魏丞相代。

魏丞相相者。濟陰人也。以文吏至丞相。其人好武。皆令諸吏帶劍。帶劍前奏事。或有不帶劍者。當入奏事。至乃借劍而敢入奏事。其時京兆尹趙君。名廣丞相奏以。免罪。使人執魏丞相。欲求脫罪而不聽。復使人脅恐魏丞相。以夫人賊殺侍婢。

六九三

魏京兆尹趙君云云。以下文證明ナラズ、宜テ漢書趙廣漢傳ニ據テ解スベシ。

陳本中尙書、杜記云宋本無趙字ナシ。

事而私獨奏請驗之。發吏卒至丞相舍。捕奴婢。笞擊問之。實不以兵刃殺也。而丞相司直繁君。索隱曰繁。姓也。晉婆。奏京兆尹趙君迫脅丞相。誣以夫人賊殺婢。發吏卒圍捕丞相舍。不道。又得擅屏騎士事。趙京兆坐要斬。又有使掾陳平等劾中尙書。疑以獨擅劫事而坐之。大不敬。長史以下皆坐死。或下蠶室。而魏丞相竟以丞相病死。子嗣。後坐騎至廟不敬。有詔奪爵一級。爲關內侯。失列侯。得食其故國邑。魏丞相卒。以御史大夫邴吉代。

邴丞相吉者。魯國人也。以讀書好法令。至御史大夫。孝宣帝時。以有舊故。封爲列侯。而因爲丞相。明於事。有大智。後世稱。

之。以丞相病死。子顯嗣。後坐騎至廟。不敬。有詔奪爵一級。失列侯。得食故國邑。顯為吏。至太僕。坐官耗亂身。及子男有姦。贓免。為庶人。邴丞相卒。黃丞相代。長安中有善相工田文者。與章丞相魏丞相邴丞相微賤。時會於客家。田文言曰。今此三君者。皆丞相也。其後三人竟更相代。為丞相。何見之明也。黃丞相霸者。淮陽人也。以讀書為吏。至潁川太守。治潁川。以禮義條教。喻告化之。犯法者。風曉令自殺。化大行。名聲聞。孝宣帝下制曰。潁川太守霸。以宣布詔令。治民道不拾遺。男女異路。獄中無重囚。賜爵關內侯。黃金百斤。徵為京兆尹。而至丞相。復以禮義為治。以丞相病死。子嗣。後為列侯。黃丞相卒。

六九四
六九五

何見之明也。札記云。宋本無何上是字アリ。

以御史大夫于定國代。于丞相已有廷尉傳。在張廷尉語中。于丞相去。御史大夫章玄成代。

章丞相玄成者。即前章丞相子也。代父。後失列侯。其人少時好讀書。明於詩論語。為吏。至衛尉。徙為太子太傅。御史大夫薛君免。名廣德也。為御史大夫。于丞相乞骸骨。免。而為丞相。因封故邑。為扶陽侯。數年病死。孝元帝親臨喪。賜賞甚厚。子嗣。後其治容容。隨世俗浮沈。而見謂諂巧。而相工本謂之。當為侯代。父而後失之。復自游宦而起。至丞相。父子俱為丞相。世間美之。豈不命哉。相工其先知之。章丞相卒。御史大夫匡衡代。丞相匡衡者。東海人也。好讀書。從博士受詩。家貧。衡備作以

給食飲。才下數射策不中。至九乃中丙科。其經以不中科。故明習。補平原文學卒史。數年郡不尊敬。御史徵之。以補百石屬薦。為郎。而補博士。拜為太子少傅。而事孝元帝。孝元好詩。而遷為光祿勳。居殿中為師。授教左右。而縣官坐其旁聽。甚善之。日以尊貴。御史大夫鄭弘坐事免。而匡君為御史大夫。歲餘章丞相死。匡君代為丞相。封樂安侯。以十年之間。不出長安城門。而至丞相。豈非遇時而命也哉。深惟士之游宦。所以至封侯者。微甚。徐廣曰微一作微。然多至御史大夫。即去者。諸為大夫。而丞相次也。其心冀幸丞相物故也。高堂隆答魏朝訪曰。物無也。故事也。言無復所能於事。或乃陰私相毀害。欲代之。然守之日久不得。或為之日少。而

豈非遇時而命也哉。禮記云。御覽二百四。引之命。合二作。疑。今本誤。

六九七

得之。至於封侯。真命也夫。御史大夫鄭君守之。數年不得。匡君居之。未滿歲。而章丞相死。即代之矣。豈可以智巧得哉。多有賢聖之才。困屢不得者。衆甚也。索隱曰。案此論匡衡已來事。則後人所述也。或亦稱太史公。其序述淺陋。

一何誣也。

索隱述贊曰。張蒼主計。天下作程。孫臣始總。秦曆尚行。御史亞相。國阿衡。申屠面折。周子廷爭。其他姦姦。無所發明。

史記評林卷之九十六終

(漢文大系第六卷總紙數七百四十四頁)

明治四十四年四月九日印刷
明治四十四年四月十二日發行

(漢文大系第六卷發行)

正價金貳圓



發兌元

(明治廿九年六月設立)

東京神田區裏神保町

合資會社 富山房

電話本局一〇三六 振替貯金東京五〇一

校訂者 重野安釋

東京市神田區裏神保町九番地

編輯者 合資會社 富山房編輯部

合資會社 富山房社長

發行者 坂本嘉治馬

東京市牛込區市谷加賀町二丁目十二番地

印刷者 青木弘

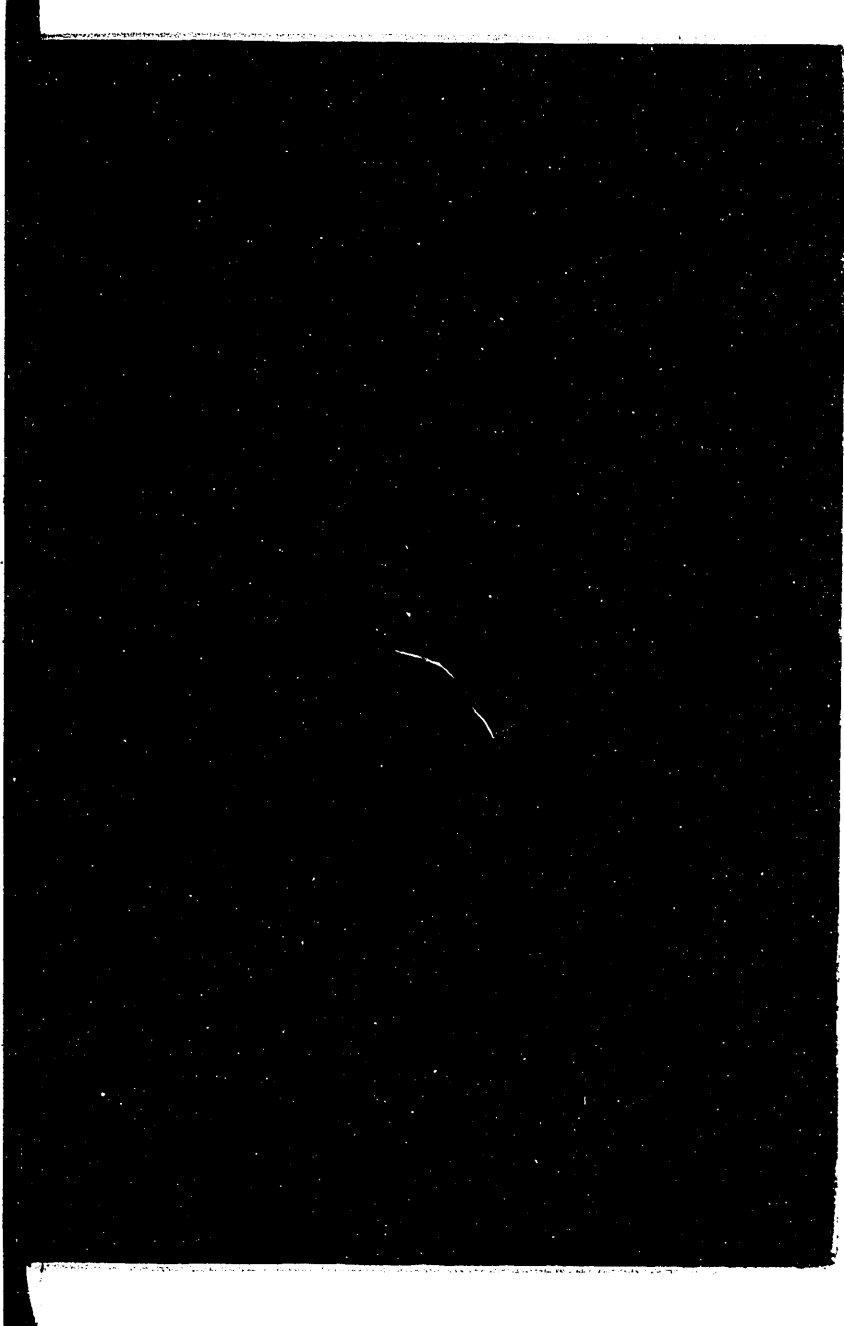
東京市牛込區市谷加賀町二丁目十二番地

印刷所 株式會社 秀英舍第一工場

12-2-25

316

138



316

138

202222-001-2

316-138

史記列伝

重野 安繹/校

上

M44

EDC-0078



20.12.44